

UCLA

UCLA Previously Published Works

Title

池間方言辞典 Ikema Dictionary

Permalink

<https://escholarship.org/uc/item/46t4r294>

ISBN

978-4-910257-12-9

Authors

Nakama, Hiroyuki

Takubo, Yukinori

Iwasaki, Shoichi

et al.

Publication Date

2022-03-26

Peer reviewed

# 池間方言辞典

仲間博之

田窪行則

岩崎勝一

五十嵐陽介

中川奈津子



# 謝辞

本辞典の凡例、構成などは、以下の文献を参照させていただきました。

上地徳男 (2021) 『佐良浜方言語彙辞典』 ボーダーインク.

内間直仁、野原三義 (2006) 『沖縄語辞典』 研究社.

国立国語研究所 (2001) 『沖縄語辞典』 国立国語研究所.

下地賀代子 (2017) 『たらまふつ辞典』 多良間村教育委員会.

富浜定吉 (2013) 『伊良部方言辞典』 沖縄タイムス社.

渡久山春英、セリック・ケナン (2020) 『南琉球宮古多良間方言辞典』 国立国語研究所.

本辞典の発刊に当たっては以下の財政的援助を受けた。

科学研究費補助金基盤研究 (B) 「言語使用と非言語的認知操作における空間指示枠の相関についての実験的研究」 (課題番号 17H02333 代表田窪行則)

科学研究費補助金基盤研究 (C) 「可能世界を用いない様相表現の意味論的枠組みの構築—日本語様相表現を中心に」 (課題番号 20K00586 代表今仁生美)

科学研究費補助金基盤研究 (B) 「時空間・論理領域の間の類比マッピングの形式モデル化とその検証」 (課題番号 23320085 代表田窪行則)

科学研究費補助金基盤研究 (A) 「消滅危機言語としての琉球諸語・八丈語の文法記述に関する基礎的研究」 (課題番号 24242014 代表狩俣繁久)

科学研究費補助金基盤研究 (B) 「比較言語学的方法による日本語・琉球諸語諸方言の祖語の再建および系統樹の構築」 (課題番号 17H02332 代表五十嵐陽介)

科学研究費補助金基盤研究 (C) 「日琉祖語の再建を目的とした同源性タグ・意味タグ付き語彙データベースの構築」 (課題番号 21K00517 代表五十嵐陽介)

UCLA Terasaki Center for Japanese Studies

UCLA Asia Pacific Center

印刷費用に関しては以下の援助を受けた。

2021 年度人間文化研究機構機構長裁量経費 「人間文化研究機構における博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化 (代表木部暢子)」

---

協力者(敬称略) 村の長老の方々に語の意味、発音、用法、などの確認をしていただきました。特に、池間吉子さんにはそのほかにも宮古上布、儀礼、習慣などに関する文化的な情報に関して多大なる御教示をいただきました。以下皆様のお名前と生まれ年をそえ感謝の代わりとさせていただきます。

(故)高里ハル(大正11年)、(故)仲間松子(昭和3年)、仲間初枝(昭和2年)、池間吉子(昭和12年)、砂川愛子(昭和13年)、仲間忠(昭和18年)

その他協力者 それぞれの専門分野に関する情報をいただきました。

仲間和俊(昭和20年)、池間清吉(昭和24年)、仲間正幸(昭和24年)、本村邦彦(昭和28年)、楚南聡(昭和31年)、仲間宣子(昭和23年)、砂川正吉(昭和22年)、仲原正昇(昭和22年)

仲間博之氏の次女仲間寛子さんにはさまざまなコンピューター使用に関するアシスタントをしていただきました。また池間島在住の伊良波盛男氏、具志堅基氏、「きゅーぬふから舎」代表の前泊博美氏からもいろいろな援助をいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

# まえがき

まえがきばが つーふあい っヴあがまぬ ときやんどう んまー かん ないたい。あやひどう ばー  
ばーん そうだていらいたい。ばーや がっこうまい いでいったんば ずーまい ゆまいん かつまい  
ひらいん やまとうむぬいまい あっじゃいん ひとつどうあたひ。ぼんどう ばーとうが むぬいや い  
つまい すまぬ むぬいどう あたい。また がっこういぎーまい すまぬ むぬいどう はーさかたい。

私が赤ん坊のころ、私の母親は亡くなりました。それでわたしは祖母に育てられました。祖母は学校もで  
ていなかったの、字も読めず、書くこともできない、共通語も話せない人でした。私と祖母の会話はいつ  
も村の言葉でした。また、学校に行っても村の言葉がたくさん話されていました。

あやひー っさらぬ こーこーんかい いぎー やまとうむぬいや まーぬ むぬっじゃいっだん。みど  
うんあぐたが なうやひー ひろゆきやー こーこーあいぎや なうちゆんま むぬっじゃだ うたいそう  
が んなまー なうやひー うんそうく むぬっじゅーがてい つきゅーば あがい うらー なうぬ く  
とうー あらん、やまとう むぬいぬ あっじゃいんだきどう あたいていー あいていがー ばらいー  
うたい。だいがくー いでいー こーこーぬ しーしーん なりー やまとう むぬい ほうっでいー あ  
すていがー ふっちゃ くぱりーうたい。

そして、平良の高校に行きましたが、共通語はあまりはなせませんでした。同級の女子学生たちがどうし  
て博之は高校の時は何も話さなかったのに、いまはどうしてたくさんはなすのかと聞くので、それはなんと  
いうことはない、共通語を話せなかっただけだと、言うときっていました。大学を出て、高校の教師になっ  
て、共通語を話そうとすると、口が固まってしまっていました。

すまぬ むぬいぬ じてんぬ っちゆふあつでい うむいたい むぬー んなまから 17かねんまい  
どう あたい。ばー かつまい うなが まっふあぬ あーぎん ほーげん のーとを うっきー うむい  
いですが かず かきゅーたい。ゆなか すばい っさっでいー あすとうきやんどう ゆながい つかい  
や みーん むぬいまい うむいだはい うたいば っふあどうくまんまい かきゅーたい。すばいや っ  
しーっでいから かかっでいー あすていがー んめ きつぎんていー ばっしーどう うたい。あいえい  
ば っふあどうくま やらばんまい わいていー かかだかーならっだん。

村の言葉の辞典を作ろうと思ったのはいまから17年前でした。私はいつも自分の枕の上に方言ノート  
置いて、思い出すたびに書きました。夜中、小便をしようとするときには長い間使っていなかった言葉も思  
い出したので、暗いところでも書いていました。小便をしてきてから書こうとしたら、(書こうとした単語  
を)きれいに忘れていました。だから、暗いところであっても、一生懸命書かないといけませんでした。

くぬ じてんな たくぼしーしーや とーきよー、いわさきしーしーや ろすあんぜるす、ばー うつな  
ーん うとうい、いふていまい へんしゅーかいぎゅー ひーったい。 あやひーまた あくせんとぬ い

---

がらし しーしー へんしゅーぬ なかがわ しーしーが そういー やぐみ じゃうたう あたい。

この辞典は、田窪先生は東京、岩崎先生はロスアンゼルス、私は沖縄にいて、なんども編集会議をしました。また、アクセントの五十嵐先生、編集の中川先生が、参加してくれてとてもよかったです。

くらー 17かねんまいん すきゃきたい むぬ えいば うなが かきゃー むぬまい ぼっしゅー  
むぬまい はーさ あたい。あいえいば すまぬ あにそうじゃんみんから ゆー ならいまい あすたい。  
いけまよしこ しーしー はずみ つむでいまい ほうだ ならーす じゃうっじゃひー ふいーさまいー  
やぐみ すでいがほー。あやひーまた たくぼしーしー はずみ こくりつこくごけんきゅーしよぬ や  
びとーんーな やぐみ すでいがほー。

これは17年前に始めたものですから、自分が書いたことを忘れていたものもたくさんありました。それで、村の先輩方からもしばしば教えてもらいました。池間吉子先生はじめ、怒りもせずに、ご教授下さり、大変ありがたく存じます。また、田窪先生はじめ、国立国語研究所のみなさん、とても感謝いたします。

2022年1月（文責 仲間博之 翻訳 田窪行則）

# 序

本辞典は南琉球宮古語池間方言（以下「池間方言」）のうち宮古島北部に位置する西原地区にみられる下位変種の基本的な語彙および成句、約 6,000 項目を収録したものである。池間方言は宮古島の北に位置する池間島を発祥の地とし、現在はその池間島のほか、佐良浜（宮古島西隣の伊良部島東部海岸より）、そして西原の三地区で話されている。佐良浜地区には約 300 年前、西原地区には約 150 年前（明治 7 年）に池間島から、琉球王府の命令により分村という形を通して池間方言話者が移住してきた。この三地域で話される池間方言は微細な違いはあるもののお互いのコミュニケーションには全く支障はないとされている。現在でもこの三地域の人々は「池間民族のつどい」という毎年の行事を通し、言語文化を共有する「一民族」というアイデンティティ継承の努力を続けている。

宮古島市・統計みやこじま (miyakojima.lg.jp) によると令和二年 (2020 年) 現在の人口は西原 (800 人)、池間島 (521 人)、佐良浜 (2654 人) であるが、このうち池間語を流ちょうに話せる話者は 60 歳から 65 歳以上の話者で、これは全人口の約 3 割にあたる 1300 人ほどと推定される。しかし、理解度テストを用いた我々の最近の調査では、30 代後半でも人によっては 60 代以上とほとんど変わらない理解力を持っていることがわかっている。つまり、これらの若い世代の話者は積極的に話すことはないものの、十分な理解力があり、潜在的には話者になる可能性があると思われる。このような潜在話者が池間方言を話さないのにはさまざまな要因があるが、年上の世代から言葉の使い方をとがめられたり、学校教育での共通語の強制的使用などがあげられるであろう。いずれにせよ若い世代が池間方言を使わない今の状態が持続すれば現在 60 歳の人口が 90 歳になる 30 年後には池間方言はユネスコの規定する消滅危機言語の中でも最も危機度のたかい「危篤状態」(Critically Endangered) の段階に達していると思われる。この状態を鑑み、宮古地域でも地元地域言語の活性化に関する関心は高まってきており、西原地区においては老人会総出の「西原村立て」という歌と踊りをともなったお芝居の発表や、「ひよどり」幼稚園園長花城千枝子氏による方言による創作絵本の作成、小学生による方言発表会などが行われている。本辞典はこのような方言活性化への貢献、特に将来の学習者育成へのささやかな手助けになればという思いで作成されている。正確性を保つためにやや専門的な解釈や記述も混ざっているが、なるべく一般の読者の理解の妨げにならないよう努力した。

本辞典に収められている見出し語は宮古語池間方言の西原下位方言の母語話者である仲間博之氏の内省によるものであるため、池間島、佐良浜の方言形は含まれていない。田窪行則 (約 3500 語)、岩崎勝一 (約 3500 語)、林由華氏 (約 800 語) がフィールドワークで採集した語彙を、仲間博之氏が独自で作成していたリストと照合しながらすべての語彙について、発音、品詞を確かめる形で進行した。例文については、仲間氏の作成したもの外に、田窪・岩崎がフィールドワーク中に記録した例や、ひよどり保育園園長の花城千枝子氏の創作童話や「西原村立て」のせりふなどからも適宜採用してある。例文作成に当たっては、理解のための語彙集ではなく、現代生活を池間方言で営むための例も取り入れるよう努力したが、十分ではないかもしれない。なお意味及び使用法が不確かな場合は他の母語話者に確認を依頼した。特に池間吉子さんには語彙の意義および文化的な情報に関して度重なるご協力をいただいた。



---

辞書の形にするにあたり、アクセントについては五十嵐陽介が改めて調査し、その結果を掲載してある(凡例のアクセントの項目参照)。エクセルの表を TeX に変換して、組版する作業は中川奈津子が行った。また、中川は編集全般を担当している。校正の最終段階では大野剛氏(カナダ・アルバータ大学教授)の協力を得た。

本辞典は 2006 年 1 月に正式に開始した「池間プロジェクト」の一成果である。このプロジェクトは大野剛氏が提案し、それに田窪行則(当時京都大学教授、現在国立国語研究所)と岩崎勝一(UCLA 教授)が加わり、さらに林由華氏、田村早苗氏、川田拓也氏をはじめとする京都大学の大学院生らが参加する形で綿々と継続されてきた。これら池間プロジェクトのメンバーおよび我々を支えてくださった支援者の皆さんとともにこの辞書の完成を喜びたい。この辞書はまだ完成には程遠いものである。さらに改訂を続けて行きたいと思う。

# 凡例

## 1 見出し語

本辞典に採用した見出し語の大部分は現在池間方言(西原下位変種)で使用されている語彙および成句であり、池間方言を理解し話すために必要なものである。少数日本語などからの借用語も含まれるが、借用元の言語は表示しない。さらに古謡の中から採集した語、現在では使われない古語や差別的と思われる用語、蔑称、卑語なども一部含まれているが、これらは歴史的記録として掲載することとした。例文についてはなるべく差別的なものは取り除く努力をした。

## 2 表記・表示

見出し語はひらがなで表記したが、長音は「い」や「う」を用いず、長音記号「ー」をもって示す(例:「みー(目)」、「どーそー(同窓、同級生)」、「そー(野菜)」など)。「じ・ぢ」「ず・づ」に関しては、語源にかかわらず、「じ」「ず」のみをもちいる。「ち」「つ」が連濁しても「ず」「じ」を用いる。例文の共通語訳では魚、植物、場所、人名などはカタカナ表記を用いた。ただし漢字が定着している場合は漢字を用いる(例:「平良」など)ひらがな表記とともに簡易発音記号および品詞を表示(下記参照)。名詞の意味分類が必要と思われる場合は略号(『魚』、『鳥』など)により表示(下記「略語・記号」参照)。動詞はその基本形を示しその活用タイプを表示(下記参照)。三モーラ以下の名詞、動詞、形容詞にはアクセント型を表示した。詳しくは(下記「アクセント」参照)。

## 3 音節表

この表はこの辞書の見出し語における音声表記に現れる音節を「ひらがな」および簡易音声表記で示したものである。簡易音声表記は精密な音声表記を記したものではなく便宜的なものである。また動詞の活用の説明ではこの表記とは完全に一致しないローマ字表記を使っているので注意されたい。簡易音声表記の留意点を以下にまとめた。

- 母音記号は [a, i, u, e, o] の五母音のほか中舌母音 [ɨ] を認める。
- 長母音は長音記号 [:] で表す。
- 中舌母音 [ɨ] は子音 [s, ss, z, zz, ts, tts] のあとにのみ現れる。
- 母音 [e] および [o] をもつ音節はほぼ終助詞、借用語、感動詞、オノマトペに限られており、頻度が極端に低いため、( ) にいれて示す。ほかのいくつか頻度の低い音節も ( ) に入れ示す。

### 3. 音節表

- 池間方言では「ぎ」はたまに「じゃ」の自由異音として現れる。この場合頭子音は [z]~[dz] の間で揺れることもある。音節表では [z] をもちいる。
- 「っぎ」「っぞう」も頭子音は [z] をもちいる。
- その他の有声歯茎子音は [z, ʒ, zz, zʒ] などです。
- 「は」行の音に関しては常に [h] を用いる。
- なお「ふ」[fu] と「ほう」[hu] は対立する:(「ふー」[fu:] (来る) 対「ほうー」[hu:] (船の帆))
- 「っら、っり、っる」は [rra, rri, rru] で示す。[rr] は正確にはそり舌 (retroflex) の完全な閉鎖に後続するそり舌はじき音、すなわち [dʀ] であるがこれも揺れがある。
- 促音は子音を重ねて示す: [zza, zza]
- 拗音は [j] の渡り音をもってしめす: [hja, kju]
- 撥音「ん」は [m][n][ŋ] (直後の子音の調音位置に同化) であらわす。語末は [n] であらわす。
- 形態素の最初のみにも現れる無声撥音「ん°」は、[ŋ̥][m̥] (直後の子音の調音位置に同化) であらわす。
- なお表の中で空欄になっている部分は普通使われない音節である。

あ	い		う	(え)	(お)	ちゃ	ち		ちゅ		(ちよ)
[a]	[i]	[i]	[u]	[e]	[o]	[tɕa]	[tɕi]		[tɕu]		[tɕo]
か	き		く	(け)	(こ)	っちゃ			っちゅ		
[ka]	[ki]		[ku]	[ke]	[ko]	[ttɕa]			[ttɕu]		
っか	っき		っく			だ	でい		どう		(ど)
[kka]	[kki]		[kku]			[da]	[di]		[du]		[do]
きゃ			きゅ		(きよ)	っだ	っでい		っどう		(っど)
[kja]			[kju]		[kjo]	[dda]	[ddi]		[ddu]		[ddo]
っきゃ			っきゅ			な	に		ぬ	(ね)	
[kkja]			[kkju]			[na]	[ni]		[nu]	[ne]	
が	ぎ		ぐ	(げ)	(ご)	にゃ			にゅ		
[ga]	[gi]		[gu]	[ge]	[go]	[nja]			[nju]		
ぎゃ			ぎゅ			は	ひ		ほう		
[gja]			[gju]			[ha]	[hi]		[hu]		

さ	し	す	そう	(せ)	(そ)	ぱ	ぴ	ぷ		
[sa]	[ɕi]	[si]	[su]	[se]	[so]	[pa]	[pi]	[pu]		
っさ	っし	っす			っそう	ば	び	ぶ	(べ)	(ぼ)
[ssa]	[ɕɕi]	[ssi]			[ssu]	[ba]	[bi]	[bu]	[be]	[bo]
しゃ			しゅ		(しよ)	ひゃ		ひゅ		
[ɕa]			[ɕu]		[ɕo]	[hja]		[hju]		
っしゃ			っしゅ		(っしよ)	ぴゃ		ぴゅ		(ぴよ)
[ɕɕa]			[ɕɕu]		[ɕɕo]	[pja]		[pju]		[pjo]
(ざ)	(じ)	ず				っば	っび	っぶ		
[za]	[zi]	[zi]				[bba]	[bbi]	[bbu]		
っざ	っじ	っず	っぞう			びゃ		びゅ		(びよ)
[zza]	[zzi]	[zzi]	[zzu]			[bja]		[bju]		[bjo]
じゃ			じゅ		(じよ)			っびゅ		
[za]			[zu]		[zo]			[bbju]		
っじゃ			っじゅ			ふあ	(ふい)	ふ		
[zza]			[zzu]			[fa]	[fi]	[fu]		
た	てい		とう	(て)	(と)	っふあ	っふい	っふ		
[ta]	[ti]		[tu]	[te]	[to]	[ffa]	[ffi]	[ffu]		
		っ				っふゃ		っふゅ		
		[tsi]				[ffja]		[ffju]		
った	ってい		っとう			(づあ)				
[tta]	[tti]		[ttu]			[va]				
		っっ				っづあ	っづい			
		[ttsi]				[vva]	[vvi]			
	っち					っづゃ		っづゅ		
	[tɕi]					[vvja]		[vvju]		
ま	み		む	(め)	(も)	ら	り	る		(ろ)
[ma]	[mi]		[mu]	[me]	[mo]	[ra]	[ri]	[ru]		[ro]
みゃ			(みゅ)			(っら)	(っり)	(っる)		
[mja]			[mju]			[rra]	[rri]	[rru]		
ゃ			ゅ		(よ)	りゃ		(りゅ)		
[ja]			[ju]		[jo]	[rja]		[rju]		
わ [wa]										
ん [n] [m] [ŋ] (直後の環境により変化) (「ん」の長音は「んー」で示す)										
ん° [ŋ] [m̥] (直後の環境(「ま、な」行のみ)により変化) (「ん°」に「ん」が続く場合は「ん°ん」で示す)										

## 4 見出し語の配列

見出し語の配列は日本語のひらがな五十音順に従うが、細部は以下の規則を適用してあるため日本語の辞書とは違う様相を呈している。

- 清音、濁音、半濁音は原則としてこの順序で示す。
- 長母音は短母音の後に現れる (例: 「な」「なー」)
- 二重母音は長母音の後に現れる (例: 「なー」「ない」)
- 拗音は長母音の後に現れる (例: 「きー」「きゃ」「きゃー」)
- 日本語にはない語頭促音は「つ」から始まる語とし、「た」行に入れる (例: 「つく」 [kku])
- このため実際の発音では語頭子音が全く異なるものでも連続して表示されることがある (例: 「っふ」 [ffu] 「つふ」 [tsifu])
- 日本語にない [v] 音はひらがな「う」に濁点をつけ「うゝ」の様に示すが、この音は少数の例外をのぞいて促音としてあらわれるので「っう」 [vv] として現れるのが原則である。
- しかも語頭音節として現れるのは「っうゎ」 [vva]、 「っうゐ」 [vvi]、 「っうゆ」 [vvju] にかぎられている。「っうや」 [vvja] は語中にのみ現れる。
- 同様に「っぞう・っそう」 [zzu/ssu] も促音としてしか現れない。
- 語頭促音で始まる見出し語の順は以下のようになる: 「っうゎ」、 「っうゐ」、 「っうゆ」、 「つく」、 「っさ・っざ」、 「っし・っじ」、 「っしや・っじや」「っしゆ・っじゆ」、 「っそう・っぞう」、 「った・っだ」、 「っちや」、 「っちゆ」、 「つつ」、 「ってい・っでい」、 「っふゎ」、 「っふゐ」、 「っふ」
- 無声撥音「ん°」は有声撥音「ん」の後に現れる (例: 「んな」「ん°な」)
- 「ん」の長音は「んー」と表すが、「ん°」と「ん」の連続は「ん°ー」でなく、「ん°ん」と表す。無声撥音の連続は存在せず、必ず後ろは有声になるためである。また、「かーかんまり (ケチな奴)」のように明らかに二つの単語として発音されるものは、「ん」が連続する場合でも長音表記を用いず、「ん」を明示的に表記した。

## 5 語義

語義にさらなる注釈が必要な場合は適宜 [ ] をもちいてしめした。語彙に下位分類が必要な場合は『 』をもって『魚』の様に示した。この下位分類は語義を明確にすることが目的であるため、普通名詞として確立している物、例えば「牛」「馬」などには『動』 (=動物) の下位分類を示すことはしない。また一つの言葉に二つ以上の分類が可能な場合はその主な下位分類のみ示すのを標準としている (例: 「ほうぎゃん」は高粱 (こうりゃん) で植物ではあるが、もっぱら食べ物としてとらえられているので『植』の表示はせず、『食』のみを示した)。ここで用いた分類項目は以下のものである。

〔生物〕	生物
〔動〕	動物
〔鳥〕	鳥類
〔魚〕	魚類
〔昆〕	昆虫
〔貝〕	貝類
〔植〕	植物
〔祭礼〕	祭礼
〔遊〕	遊戯
〔食〕	食べ物
〔果物・野菜〕	果物・野菜
〔道具〕	道具
〔蔑称〕	蔑称
〔地名〕	地名
〔人名〕	人名
〔古語〕	古語
〔歌語〕	歌語
〔幼児語〕	幼児語

語義が一つ以上にのぼり、それらの間に意味の隔たりがある場合はセミコロン(;)をもって示した(例「あら」(家の)外;(人や家の)外見)。さらに語義間に関係が認められるもののその意味拡張がさらに広がったと思われる場合は項目を別に立てた。(例①「あみかうー」(水を)浴びる②「あみかうー」(他人の)借金を引き受ける)。この表示は同音でも品詞が違う場合にも適用した(例①「いさら」名詞(畑の)石ころ②「いさら」形容詞(畑が)石ころだらけだ)。

ひとつの語に音韻論的に関係づけられる異形態がある場合は[変異]という項目により示した。たとえば「かりうし」(航海安全)の[変異]の項には「かりゆーし、かりゆす、かりうす」と記されているが、これは「かりうし」という言葉に対し三つの音韻論的に関係づけられる変異形があることをしめしている。さらにこの情報はクロスレファレンスされており、どの見出し語からでも関係する四つの形が探せるようになっている。

さらに一つの語に同義語がある場合は用例の最後に[類]という項目をもうけてしめた。たとえば「たま」は「分け前」の意味であるが「ばきだま、っじだま、とういまい」も同じ意味の言葉なので[類]として三つの言葉を示している。これもクロスレファレンスがされている。

## 6 用例

語義に続く用例はなるべく多くのものを示すようにしてある。特に動詞に関してはその格の取り方や活用形の使い方がわかるように工夫してある。語義の説明でセミコロン(;)を用いた場合は、用例もその順序に現れるようにしてある。用例の日本語訳はなるべく日本語としてこなれたものを用いるようにしているが、文の構成がわかるよう、あるものは直訳に従い、その意識を[ ]の中に入れて示した。その場合直訳は(>)または(<)の開き側、意識は閉じ側に来るようにした(例:ばが っじだまー いひなふだー(私の取り分は少ない [ >これだけしかないのか ] )。また[ ]は例文への注釈をするためにも用いた。さらに、池間方言と共通語で表現が対応しない場合、( )を用いて補足した(例:っうあー んじゃんかいが [お前はどこに

か [ >お前はどこに (行くの) か ] )。

## 7 品詞

以下の 12 の品詞および成句を認定した。ある品詞にはその下位分類をいくつか認め『形式名詞』の様に示した。

名詞	下位分類：『形式名詞』『疑問詞』『数詞』
代名詞	下位分類：『指示詞』『再帰代名詞』『不定代名詞』
動詞	基本形を見出し語とし、その活用パターンを示した(「活用形」の節を参照)。 動詞活用形「ちゅー(投げる)」の連用形、命令形「ていっぐい」のように、規則から動詞の活用形が予測しにくい場合、基本形に加えて、活用形そのものを見出しに入れてある(例：「ていっぐい」動詞活用形 動詞「ちゅー(投げる、放る)」の連用形および命令形)。
形容詞	形容詞と名詞は形態論上ほとんど区別がないので、便宜的なものである。形容詞として活用する場合は、接尾辞「かい」「かたい」や、否定形「つぶあにゃーん」を用いた例をあげ、名詞として活用する場合は、コピュラ「あい」「あたい」や否定形「あらん」を用いた例をあげるようにした。形容詞の見出し語は語幹で示した。
助詞	下位分類：『格助詞』『副助詞』『焦点助詞』『接続助詞』『終助詞』
副詞	動詞や形容詞を修飾するものは副詞とした。名詞の用法があるものでも「てい(と)」などをつけて主として副詞として用いられるものは副詞としても立項した。
オノマトペ	特に「擬声語、擬態語」などの下位分類はもうけない。
感動詞	下位分類：『間投詞』『応答詞』『フィラー』
補助動詞	主に動詞の連用形に後接し様々な意味を付加する。それ自体も活用する。
接頭辞	動詞、名詞、形容詞の前につき意味を付加する。
接尾辞	動詞、名詞、形容詞の後につき意味を付加する。
助数詞	物などを数える際に用いられる接尾辞。
成句	慣用句や決まり文句など一単語以上の組み合わせ。動詞で終わる成句は動詞の活用形を示した(例：っさ ん <sup>ん</sup> (m 語幹)「足が痺れる」など)。

## 8 活用形

### 8.1 動詞の活用

池間方言における活用語は動(コピュラを含む)及び補助動詞のみである。形容詞自体は活用せず、いわゆる「かり活用」である「かい」をつけて、存在動詞「あい」に準じた活用をするか、「むぬ」をつけ、それに「コピュラ」の「あい」をつけて、活用させる。

動詞・補助動詞は見出しにその活用形タイプを記してある。タイプは「母音活用」「子音活用」「不規則活用」にわかれる。「子音活用」はさらに語幹末に現れる子音の種類により分類される。この分類は便宜的なものであり、必ずしも言語学的に厳密なものではなく、活用のタイプを網羅的にするために採用されている。例えば、w 活用は共通語の「買う」の場合は、「買わない(kaw-anai)」のように w が未然形で現れるために kaw-を子音語幹として認める根拠となりえるが、池間方言では w の形が現れることはない。これは母音間

で w が脱落するためである。このため、「買わない」にあたる形は ka-an になるが、この ka-an の an の形は他の子音語幹の動詞と同じであり、子音語幹動詞に延長語幹-aを加えた、いわゆる「未然形」に否定の接辞 n をつけた形になっている。以下にみられるように使役形、受け身形などでも、このタイプの動詞はあたかも w があるかのようにふるまうため、便宜的に w 活用として子音活用の一種として扱う。

## 8.2 動詞の基本的な活用について

「不規則活用」動詞は活用形により語幹が変わる動詞「あす(する)」と「あい(言う、歌う)」「ふー(来る)」の三つを認める。ほかに、コピュラ「あい(だ、である)」と存在動詞「あい(ある)」、「うい(いる)」は否定形にいわゆる補充形 (suppletion) を持ち、過去形が他と異なるため、別に説明をした。音韻変化が複雑なため、やや活用形が予測しにくいものに関しては、できるだけ本文に見出し語としてあげ、本文中でも説明を加えた。

### 8.2.1 動詞活用のパラダイムの説明

池間方言の活用は他の宮古方言に比べると比較的単純で、「未然形」「連用形/命令形」「基本形」が分かれば、活用形式を示すことができる。語幹はこれらの活用形から取り出すことができる。動詞活用の語幹表記は煩雑さを避けるため本文中で使った簡略音声記号を使わず、池間方言を表記するためのローマ字正書法を使っている。この表記に付いては Takubo (2021) を参照。これは tts などの重子音表記を避けるためと視認性を高めるためである。また、なるべく混乱が生じない場合はかな表記を用いる(かな表記の方針については田窪 (2020) を参照)。8.2 節では左の音声記号の代わりに次の表記法を用いる。

[j] > y

[ts] > c

[dz] > z

[i] > I (小文字の i に横線の入ったものを大文字の I でしめす)

[tɕa] > cya

[tɕu] > cyu

長音記号は母音のみ「:」を用いた。

「ん」は視認性を重視して N で表記する。



語幹	語幹は子音語幹と母音語幹に分けた。語幹の名称は便宜的なものであり、音韻規則、音韻形態規則を設定することによりさらに一般化をすることができるが、複雑な規則なしに簡単に実際の活用形が導き出せることを目的とした。詳しくは林 (2009)、下地 (2018)などを参考にされたい。w 語幹は、「うむー」のように、語幹の最終母音が/u/になる場合は umuw-のように子音語幹としてふるまう場合と、umu:-のように母音語幹としてふるまう場合があるが、それらはここでは明示しなかった。詳しくは Takubo (2021)を参照されたい。ここでは基本的な活用形の作り方を述べた。
未然形	母音語幹は語幹と同じ形例：みー(見る)、いび(植える) 子音語幹は語幹に a をつける。例：あいか aik-a(歩く)
連用形	母音語幹は語幹が長母音「いー」i: の場合は語幹と同じ。例：みー 語幹が短母音「い」i の場合は、i をつけて長母音 i: にする。例：いびー
命令形	命令の意味を表し、文終止が可能。 母音語幹：語幹に「る」をつける。例：みーる(見る)、いびる(植える) 子音語幹：語幹に-i をつける。例：あいき aik-i(歩く)
基本形	文の終止形式としても使われるが、名詞修飾形式としても使われ、また様々な語を後続させることもできるため、終止形でなく、基本形とした。基本形は次のように作られる。 母音語幹の基本形は語幹と同じ。 子音語幹の基本形は、語幹末子音の種類によりいくつかのタイプに分類される。

基本形の作り方 子音語幹の基本形は、まず語幹の種類により i をつけるもの、I (= [i]) をつけるもの、u を付けるものにわかれるが、そのあと様々な二次的音韻変化をおこすことがある。

【1】 i をつけるもの [歴史的には舌尖母音だった I (= [i]) が付いて、子音が落ち、それから I (= [i]) が i に変化したと思われる]

-z, -r/-rr, -m/-n → -zi, -ri/-rri, -mi/-ni

(二次的音韻変化-1) zi, ri, rri はその子音が規則的に落ちる

zzi → i 例：azzi → ai あい(言う、歌う)

zi → i 例：bizi → bii びー(座る)

ri/rri → i 例：turi → tui とうい(取る)

mugyarri → mugyai むぎゃい(おなかがごろごろする)

(二次音韻変化-2)mi/ni は i が落ち鼻音が撥音化する

mi/ni → m/n → N (撥音)

例：yumi → yum → yuN ゆん(読む)

sIni → sIn → sIN すん(死ぬ)

nmi → nm → nN んー(膿む)

【2】 I (= [i]) をつけるもの

-ff, -c/-cc, -s/-ss → ffI, cI/ccI, sI/ssI

aic + I → aicI あいつ(歩く)

nbus + I → nbusI んぶす (蒸す)  
 cuff + I → cuffI ちゅっふ (作る)  
 cIcc + I → cIccI つっつ (切る)  
 ss + I → muss + I むっす (むしる)

(二次的音韻変化) 語幹が二重子音で終わるものはそれを短子音にし母音を長母音化する。「作る」「切る」「むしる」などの二音節以上の動詞は上の単純形とこの二次的音韻変化を経た形の両形が存在する。

ss + I → sI: すー (知る、わかる)  
 ff + I → fI: ふー (降る)  
 cuff + I → cuffI: ちゅふー (作る)  
 cc + I → cI: つー (釣る、切る、切れる)  
 cIcc + I → cIcI: つつー (切る)  
 ss + I → musI: むすー (むしる)

### [3] u をつけるもの

-ff, -b, -w, vv → -ffu, -bu, -wu, -vvu

(二次的音韻変化-2) bu, wu, vvu はその子音が落ちる

bu → u 例: ゆらう (呼ぶ)  
 wu → u 例: かう (買う)  
 vvu → u → u: 例: うー

## 8.2.2 活用の表

つぎの活用表には2種類の母音語幹と21種類の子音語幹動詞がまとめられている。母音語幹動詞は語末が短母音 /i/ か長母音 /i:/ によって区別する。子音語幹動詞は語幹の最後の子音によって区別するが、あるものはこの子音自体が変化する(例: k 語幹動詞は「いか」「いきー」「いつ・いふ」つまり k-k-c/f のように子音が変わっている)。また、あるものは連用形と命令形の間で規則的に子音が変わる(例: s/h 語幹は「うたひー(連用形)・うたし(命令形)」のように /h/ 系列と /s/ 系列の子音が使われている)。

## 8. 活用形

		未然形	連用形/命令形	基本形
母音語幹		語幹と同じ	連用形：語幹末が長母音の場合、語幹と同じ、短母音の場合は長母音にする/命令形：語幹に「る」を加える	語幹と同じ
母音語幹	mii- (見る)	みー	みー/みーる	みー
母音語幹	ibi- (植える)	いび	いびー/いびる	いび
子音語幹		語幹 + a	連用形：語幹 + i (i) (長母音 i: が原則であるが短くなることもある)/命令形：語幹 + i	語幹 + {i/I/u}
b 語幹	yurab- (呼ぶ)	ゆらば	ゆらびー/ゆらび	ゆらう
c/cc 語幹	cc- (切る、釣る、着る)	っちや	っちー/っち	っー
cc/tt 語幹	cIcc- (切る)~cItt- (切る)	つっちや	つっちー~つってい/つっち~つってい	つっつ~つ つー
f/ff 語幹	ff- (降る)	っふあ	っふいー/っふい	ふー
f/ff 語幹	cjuff- (作る)	ちゅっふあ	ちゅっふいー/ちゅっふい	ちゅっふ~ ちゅふー
g 語幹	u:g- (泳ぐ)	うーが	うーぎー/うーぎ	うーず
k 語幹	ik- (行く)	いか	いきー/いき	いつ~いふ
m 語幹	yum- (読む)	ゆま	ゆみー/ゆみ	ゆん
mm 語幹	mm- (膿む、濡れる)	んま	んみー/(んみ)	んー
n 語幹	sIn- (死ぬ)	すな	すにー/(すに)	すん
r/rr 語幹	tur- (取る)	とうら~(と うっら)	とურიー~(とורךりー)~とういー/とうい	とうい
r/rr 語幹	mugyar- ((水などが)濁る)	むぎやら~ むぎやっら	むぎやりー~むぎやっり/むぎやっり	むぎやーい
s 語幹	us- (なくす)	うさ	うしー/うし	うす
s/ss 語幹	ss- (知る、わかる)	っさ	っしー/っし	すー
s/h 語幹	utas- (打たす)	うたは	うたひー/うたし	うたす
c/t 語幹	tac~tat- (立つ)	たちや~た た	たていー~たちー/たてい~たち	たつ

		未然形	連用形/命令形	基本形
zz/dd 語幹	cIzz- cIdd- (妨害する)	つっだ〜つ っじゃ	つっでいー〜つっじー/つっでい〜つっじ	つっず〜つ ずー
vv 語幹	vv- (売る)	っうあ	っういー/っうい	うー
w 語幹	kau- (買う)	かー	かいー/かい	かう
z 語幹	biz- (座る)	びじゃ	びじー/びじ	びー
zz 語幹	azz- (言う、歌う)	あっじゃ	あっじー/あっじ	あい

### 8.2.3 使役形、受身・可能形、尊敬形の派生の仕方

**使役形** 母音語幹の場合：語幹に「っさす」をつける。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：みーっさす mii-ssasI、いびっさす ibi-ssasI

子音語幹の場合：語幹に-asI「あす」をつける。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：ゆます yum-asI、びじゃす bizy-asI、かわす kaw-asI >かーす ka-asI

**受身・可能形** 母音語幹の場合：語幹に rai「らい」をつける。結果は母音語幹の動詞になる。

例：みーらい mii-rai (見られる (受身、可能))、いびらい ibi-rai (植えられる (受身、可能))

子音語幹の場合：語幹に-ai「あい」を付けて表す。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：ゆまい yum-ai (読まれる、読める)、(かわい kaw-ai >) かーい ka-ai (買われる、買える)

「っそー (拾う)」のように「u:」で終わる動詞の場合は「ua > u: という規則がはたらくため「っそー ssu + あい ai」は「っそーい ssu:i」となる。

**尊敬形** 母音語幹の場合：語幹に「さまい」を付けて表す。結果は母音語幹の動詞になる。

例：みーさまい mii-samai (ご覧になる)、いびさまい ibi-samai (お植えるになる)

子音語幹の場合：語幹に「あまい」を付けて表す。結果は母音語幹の動詞になる。

例：いかまい ik-amai (いらっしゃる)、ゆまい yum-amai (お読みになる)

### 8.2.4 それぞれの活用形に続くもの

**未然形に続くもの**

否定：ん (しない)

母音語幹：みーん、いびん

子音語幹：あいかん、ゆまん

意向形：でい (しよう)

母音語幹：みーでい、いびでい

子音語幹：いかでい、ゆまでい

意志否定：じゃーん(しない(よ))

母音語幹：みーじゃーん、いびじゃーん

子音語幹：いかじゃーん、ゆまじゃーん

否定過去：っだん(しなかった)

母音語幹：みーっだん、いびっだん

子音語幹：いかっだん、ゆまっだん

条件：ば(すれば)

母音語幹：みーば、いびば

子音語幹：いかば、ゆまば

譲歩 1：(否定)+まい(しなくても)

母音語幹：みーんまい、いびんまい

子音語幹：いかんまい、ゆまんまい

譲歩 2：(条件)+ばんまい(しても)

母音語幹：みーばんまい、いびばんまい

子音語幹：いかばんまい、ゆまばんまい

連用形に続くもの

アスペクト形式など

うい(～ている)、あい(～てある)、にゃーん(～てしまう)、すてい(～てしまう)、うつつ(～ておく)

みー(～てみる)、はっじゃつ(～そこねる)

いつ(～ていく)、ふー(～てくる)、ふいー(～てやる、てくれる)

うとうい(～ながら、ていて)

接続助詞などから(=てから(時間の始点))

いきーから(行ってから)

基本形に続くもの

テンス・モダリティ

たい(過去形)、がまた(べきだ、予定だ)、はず(はずだ、だろう)、など

接続形

そうが(逆接：けれど)、んつきや(比較：より)、ぼどう(条件・理由：たら、れば；ので、から)、  
ていがー(条件：たら、と)、きや(～時)、が(目的：に)、っちやーん(同時進行：ながら)など

## 複合動詞

ぐり(～にくい)、やす(～やすい)、はっじゃつ(～失敗する)、ほうす(～たい)、はずみ(～始める)、すきゃき(～始める)、など

## 終助詞

な(禁止)、な(か、真偽疑問)、が(なの、疑問詞疑問)、どー(よ)、そーで(よ)、ちゃ(そうだ)、ていんどー(そうだ)、さ(だろう)、など

## 8.3 不規則動詞

## 8.3.1 コピュラあい ai (だ、である)

語幹	a～ya、ar, yar あい～やいあら～あ～やら
基本形	あい通常、肯定、文終止の位置では省略される。
過去形	あたい
連用形	(共通語の「で」に当たる活用形はない。「名詞＋や ひー」などを用いて表すこともできる 例：くりゃー まさいや ひー くりゃー かに。 「これはマサイで、これはカニだ。」
未然形	あら
否定	あらん 例：あいやあらん。 「そうではない。」
否定過去形	あらっだん 例：うらー あい あらっだん 「それはそうではなかった。」
否定連用形	あらだ 例：くまー がっこー あらだ こーみんかん。 「そこは学校ではなく、公民館だ。」
条件形	やらば 例：ばが どういやらば まいにつ ていんぬ とうー。「私が鳥だったら毎日空を飛ぶ(のに)。」
接続形	やい 普通「やいば(なので)」、「やいそうが(だけど)」、「やらばんまい(であっても)」、「やいていがー(だったら)」などの形をとる。 例：からー つむたみ やいば「かれは冷静な人だから...」 からー つむたみ やいそうが「かれは冷静な人だけれど...」

## 8. 活用形

---

### 8.3.2 存在動詞

	あい(ある)	うい(いる)
基本形	あい	うい
過去形	あたい	うたい
連用形	ありー	うりー
未然形	あら	うら
否定	にやーん	みーん
否定過去形	にやーっだん	みーっだん
否定連用形	にやーだ	みーだ
条件形	あらば	うらば
接続形	あいば(あるので、あるから)、あいそうが(あるけれど)、あらばんまい(あっても)、あいていがー(あったら)など	ういば(いるので)、ういそうが(いるけれど)、うらばんまい(いても)、ういていがー(いたら)など

### 8.3.3 あす(する)

語幹	as, hu, hii
基本形	あす
過去形	あすたい
連用形	ひー
未然形	ほう
否定	ほうん
否定連用	ほうだ
譲歩	ほうんまい、ほうばんまい
否定過去形	ほうっだん
否定連用形	ほうだ
接続形	あすば(するから)、あっそうが(するけれど)、 あすていがー(すれば)、 ひーから(してから)、 ほうばんまい(しても)、などの形をとる。
命令形	あっそう(しろ)

## 8.3.4 ふー (来る)

語幹	fu:/ku:/tt
基本形	ふー
連用形	ってい～っち
未然形	くー
否定	くーん
否定連用	くーだ
讓歩	くーばんまい、くーんまい
命令形	くー
過去形	ったい
否定過去形	くーっだん
接続形	ふーば (来るので、来るから)、ふーそうが (来るけれど)、ふーていがー (来たら)、 などの形をとる。

## 8.4 形容詞の活用

形容詞、「むぬ」などを付け、語幹を名詞扱いしてコピュラの「あい」を付けて活用させる場合と、「かい (r/r 語幹)」を付けて活用させる場合とがある。ここでは「あつかい (暑い、熱い)」の活用をあげる。

語幹	acIkar-
基本形	あつかい
連用形	あつかりー
未然形	あつから
否定	あつからん
否定連用	あつからだ
讓歩	あつからばんまい、あつからんまい
命令形	無し
過去形	あつかたい
否定過去形	あつからっだん
接続形	あつかいば (暑いので)、あつかいそうが (暑いけど)、 あつかいていがー (暑かったら)、などの形をとる。



## 9 提題形と目的格形の変化

提題助詞(「あ」a)は接続する名詞の最後の音節のタイプにより次の様に変化をする。

前接名詞の語末音	提題形		
短母音 (a)	(長母音)	さた(砂糖)+あ	さたー(砂糖は)
短母音 (u)	(長母音)	っぞう(魚)+あ	っぞうー(魚は)
長母音	や	きー(木)+あ	きーや(木は)
二重母音		まい(米)+あ	まいや(米は)
子音 + i	やー	あみ(雨)+あ	あみやー(雨は)
		さき(酒)+あ	さきやー(酒は)
す	っさ	かーす(菓子)+あ	かーっさ(菓子は)
つ	っちゃ	あかつ(血)+あ	あかっちゃ(血は)
ず	っじゃ	ぶーず(サトウキビ)+あ	ぶーっじゃ(サトウキビは)
ん <sup>1</sup>	んな	みどうん(女性)+あ	みどうんな(女性は)

目的格助詞(「う」u)は接続する名詞の最後の音節のタイプにより次の様に変化をする。

前接名詞の語末音			
短母音 (a)	う	さた(砂糖)+う	さたう(砂糖を)
短母音 (u)	(長母音)	っぞう(魚)+う	っぞうー(魚を) <sup>2</sup>
長母音	ゆ	きー(木)+う	きーゆ(木を)
二重母音		まい(米)+う	まいゆ(米を)
子音 + i	ゆー	あみ(雨)+う	あみゆー(雨を)
		さき(酒)+う	さきゆー(酒を)
す	っそう	かーす(菓子)+う	かーっそう(菓子を)
つ	っちゆ	あかつ(血)+う	あかっちゆ(血を)
ず	っじゆ	ぶーず(サトウキビ)+う	ぶーっじゆ(サトウキビを)
ふ	ふー	たうふ(豆腐)+う	たうふー(豆腐を)
	っふ		たうっふ(豆腐を)
ん <sup>3 4</sup>	ぬ	みどうん(女性)+う	みどうんぬ(女性を)

## 10 アクセント

池間方言は弁別的なアクセントを持ち、3種類のアクセント型(A型、B型、C型)が対立する(Igarashi et al. 2011; 五十嵐他 2012) A型、B型、C型は、琉球祖語に再建されるアクセント類であるA系列、B系列、C系列(松森 2000)におおよそ規則的に対応することから、池間方言は琉球祖語におけるアクセントの区別を比較的忠実に保持しているといえる。その一方で、祖語のA系列に属する2~3モーラ単純名詞の大

<sup>1</sup>高齢者(85歳以上)では語末のmとnは区別されるため、これらの話者では、im(海)、in(犬)の提題形は、「いんま」imma(海は)、「いんな」inna(犬は)のように区別される。

<sup>2</sup>-uで終わる名詞(「っぞう」)は提題形と目的格形がおなじになる。

<sup>3</sup>「ん」は「ぬ」でなく「ゆ」も許される。みどうん+う>みどうんゆ。

<sup>4</sup>提題助詞と同じく高齢者(85歳以上)では語末のmとnは区別されるため、これらの話者では、im(海)、in(犬)の目的格形は、「いんむ」immu(海を)、「いんぬ」innu(犬を)のように区別される。

部分が、池間方言では B 型として反映される(すなわちこの環境で A 系列と B 系列が合流している)という新しい特質も観察される(五十嵐 2016b)。対立するアクセント型の数は品詞ごとに異なり、名詞と形容詞は 3 種類、動詞は A 型と C 型の 2 種類が対立する(Igarashi et al. 2018)。

池間方言のアクセント型は広範な環境で中和するという特徴がある(五十嵐 2016a, 2016b)。例えば語を単独で発話した場合、2~3 モーラ名詞では A 型と B 型が中和し、4 モーラ以上の単純名詞ではすべての型が中和する。したがって、ある語がどのアクセント型を持つかを判定するためには、分析対象の語を特定のキャリア文に入れる必要がある。どのような環境において中和が生じないのかは完全には解明されていない。しかし(1)のキャリア文を用いると、名詞、動詞、形容詞それぞれのアクセント型の判定が行えることが明らかになっている。本辞書でも(1)のキャリア文を用いることによってアクセント型の同定を行った。(X は分析対象の名詞、動詞あるいは形容詞を表す。)

## (1) キャリア文

- a. 名詞 X まい にやーん「X もない」
- b. 動詞 X はず「X だろう」
- c. 形容詞 X むぬ はず「X だろう」

(1)のキャリア文に入れられた 2~3 モーラ語のアクセント型は(2)のように実現する。(“”と“”はそれぞれピッチの上昇、下降を表す。また太字は高く実現するモーラを表す。)

## (2)

## a. 名詞

A	B	C
た <sup>び</sup> まい にやーん 「旅もない。」	た <sup>き</sup> まい にやーん 「丈もない。」	な <sup>び</sup> まい にやーん 「鍋もない。」
ぬ <sup>るい</sup> まい にやーん 「呪いもない。」	む <sup>ぬい</sup> まい にやーん 「言葉もない。」	う <sup>むい</sup> まい にやーん 「思いもない。」

## b. 動詞

A	B	C
た <sup>つ</sup> はず 「焚くだろう。」		た <sup>つ</sup> はず 「立つだろう」
す <sup>かす</sup> はず 「耕すだろう。」		す <sup>かす</sup> はず 「騙すだろう」

## c. 形容詞

A	B	C
あ <sup>ま</sup> むぬ はず 「味が薄いだろう。」	な <sup>が</sup> むぬ はず 「長いだろう。」	し <sup>ば</sup> むぬ はず 「心配だろう。」
き <sup>ばす</sup> むぬ はず 「貧乏だろう。」	す <sup>だす</sup> むぬ はず 「涼しいだろう。」	が <sup>ばー</sup> むぬ はず 「大きいだろう。」

アクセント型は、フレーム文における 2 番目・3 番目の 2 モーラ以上の形態素の高さに基づいて決定される。双方ともが高くないものが A 型であり、2 番目が低く 3 番目が高いものが B 型であり、2 番目が高く 3 番目が低いものが C 型である。

池間方言には1モーラの自由形式は存在せず、4モーラ以上の語の多くは複合語である。複合語と単純語とでは、たとえ同じアクセント型であっても、その実現が異なる。また、ある型を持つ単純語の実現が、別の型を持つ複合語の実現と表面上類似することがある(五十嵐 2016b)。例えば、単純語「な<sup>1</sup>びや<sup>2</sup>ーら(へちま)」はC型であるが(な<sup>1</sup>びや<sup>2</sup>ーら 「まい<sup>1</sup>」にやーん)、「むず<sup>1</sup>(麦)」と「ぐる<sup>1</sup>(枯れた茎)」からなる複合語「むず<sup>1</sup>+ぐる<sup>1</sup>(麦の茎)」はB型である(むず<sup>1</sup>+ぐる<sup>1</sup> 「まい<sup>1</sup>」にやーん)。さらに、同じアクセント型を有する複合語であっても形態素境界の位置が異なると、アクセント型の実現が異なる。たとえば「みーか<sup>1</sup>(三日)」と「ない<sup>1</sup>(成り)」からなる「みーか<sup>1</sup>+ない<sup>1</sup>(一昨日)」と「みー<sup>1</sup>(目)」と「かない<sup>1</sup>(敵い)」からなる「みー<sup>1</sup>+かない<sup>1</sup>(目の良い人)」は同じくB型であるが、複合語内部のピッチ下降位置が異なる。

本辞書は、当該の語がどのアクセント型に属するかをA(A型)、B(B型)、C(C型)のアルファベットで表記する方法を用いる。この方法を採用した上で、4モーラ以上の語のアクセント型について十分な情報を記載するには、A, B, Cのアルファベットに加えて、問題の語が複合語か単純語かを示す必要がある。また、同じく複合語であってもアクセント型の実現は形態素境界によって異なるため、複合語には形態素境界情報も付与する必要がある。しかしながら、ある語が複合語か単純語かを包括的に判断できる方法が見つからないため、これらの情報を網羅的に与えることができない。したがって、語の長さや形態論的構造に拘わらずアクセント型に関する情報を統一的に与えるためには、A, B, Cのアルファベット表記法を排して、“<sup>1</sup>”や“<sup>2</sup>”といった記号を用いて表層のピッチパターンを表記する方法が最も有益であると考えられるが、それは紙面の都合上不可能である。

以上の理由から、本辞書は2モーラ・3モーラの名詞、動詞、形容詞について、A, B, Cのアルファベット表記法を用いてアクセント型の情報を記載した。その他の品詞に関しては、アクセント型の調査方法自体が確立していないため、アクセント型の情報は与えられていない。

3モーラの名詞、形容詞の中には、上記のA, B, Cの型に収まらないものが16語見つかっている。本辞書ではそれを「B特殊」「C特殊」と名付け表記している(3)。

### (3) B特殊とC特殊

#### B特殊

ほう<sup>1</sup>な<sup>1</sup>ん まい<sup>1</sup> 「にやーん

「大波もない。」

#### C特殊

ほう<sup>1</sup>ず<sup>1</sup>む 「まい<sup>1</sup> にやーん

「広い心もない。」

B特殊に属するのは「ほうなん(大波)」、「ほうんつ(大通り)」の2語、C特殊に属するのは「はーか(赤毛の人)」、「はーな(大きい穴)」、「はーぶ(大きな洞窟)」、「ほうーちゃ(大口をたたく人)」、「ほうーつ(伝染病の1種)」、「ほうがら(大柄な)」、「ほうぎゃん(高粱)」、「ほうずむ(広い心)」、「ほうだに(大きな睾丸)」、「ほうとうー(大海)」、「ほうどうー(立派な体格)」、「ほうどうー(リーフの名前)」、「ほうぶに(大きな骨)」、「ほうむず(大麦)」の14語であり、そのほとんどすべてが語源的に接頭辞「ほう(大きい)」を含む語である。(アクセント 文責 五十嵐陽介)

## 参照文献

五十嵐陽介、田窪行則、林由華、ペラール・トマ、久保智之(2012)「琉球宮古語池間方言のアクセント体系は三型であって二型ではない」『音声研究』16(1), 134-148.

五十嵐陽介(2016a)「南琉球宮古語池間方言・多良間方言の韻律構造」『言語研究』150, 33-57.

五十嵐陽介(2016b)「名詞の意味が関わるアクセントの合流：南琉球宮古語池間方言の事例」『音声研究』20(3), 46-65.

- 上地徳男 (2021) 『佐良浜方言語彙辞典』 ボーダーインク.
- 内間直仁、野原三義 (2006) 『沖縄語辞典』 研究社.
- 国立国語研究所 (2001) 『沖縄語辞典』 国立国語研究所.
- 下地賀代子 (2017) 『たらまふつ辞典』 多良間村教育委員会
- 下地理則 (2018) 『南琉球宮古語伊良部島方言』 くろしお出版
- 富浜定吉 (2013) 『伊良部方言辞典』 沖縄タイムス社.
- 田窪行則 (2020) 「方言を仮名で書く一琉球宮古語池間方言を例に」 『ことばと文字』 13 号, 102-110, 公益財団法人日本語のローマ字社.
- 渡久山春英、セリック・ケナン (2020) 『南琉球宮古多良間方言辞典』 国立国語研究所.
- 林由華 (2009) 「琉球語宮古池間方言の談話資料」 大西正幸・稲垣和也 (編) 『地球研言語記述論集 1』 総合地球環境学研究所インダスプロジェクト, 153-199.
- 松森晶子 (2000) 「琉球アクセント調査のための類別語彙の開発一沖永良部島の調査から」 『音声研究』 4(1), 61-71.
- Igarashi, Yosuke, Yukinori Takubo, Yuka Hayashi, and Tomoyuki Kubo (2011) How many tonal contrasts in Ikema Ryukyuan?. *Proceedings of the 17th International Congress of Phonetic Sciences*, 930-933.
- Igarashi, Yosuke, Yukinori Takubo, Yuka Hayashi, and Tomoyuki Kubo (2018) Tonal neutralization in the Ikema dialect of Miyako Ryukyuan. In: Haruo Kubozono and Mikio Giriko (eds.) *Tonal Change and Neutralization*, 81-128, Berlin: Mouton De Gruyter.
- Takubo, Yukinori (2021) Morphophonemics of Ikema Miyakoan. In: John Kupchik, José Andrés Alonso de la Fuente, and Marc Miyake eds. *Studies in Asian Historical Linguistics, Philology, and Beyond*, 65-79, Leiden: Brill.



# 目次

謝辞.....	i
まえがき.....	iii
序.....	v
凡例.....	vii
1 見出し語.....	vii
2 表記・表示.....	vii
3 音節表.....	vii
4 見出し語の配列.....	x
5 語義.....	x
6 用例.....	xi
7 品詞.....	xii
8 活用形.....	xii
8.1 動詞の活用.....	xii
8.2 動詞の基本的な活用について.....	xiii
8.3 不規則動詞.....	xix
8.4 形容詞の活用.....	xxi
9 提題形と目的格形の変化.....	xxii
10 アクセント.....	xxii
あ.....	1
い.....	35
う.....	51
え.....	75
お.....	77
か.....	79
き.....	105
く.....	111
け.....	119
こ.....	121
さ.....	123
し.....	133
す.....	141
せ.....	157

そ	.159
た	.167
ち	.183
つ	.187
て	.209
と	.217
な	.229
に	.245
ぬ	.251
ね	.257
は	.259
ひ	.283
ふ	.301
へ	.321
ほ	.323
ま	.333
み	.351
む	.363
も	.375
や	.377
ゆ	.389
よ	.401
ら	.403
り	.405
ろ	.407
わ	.409
ん	.411

# あ

**あ** [a] 【助詞】 提題を表す、「は」。提題を表す「あ」はつく語の最後の音に従って形が変わる (1) aで終わる語のあとでは、aaになる 例：っふぁ (子供) + あ=っふぁー (子供は) (2) uで終わる語のあとでは u+a = uuになる。例：っぞう (魚) + あ=っぞうー (魚は) (3) iで終わる語の後では i+a=jaaになる。例：さき (酒) + あ=さきゃー (4) 二重母音、長母音で終わる語の後では jaになる。例：まい (米) + あ=まいや (米は)。 (5) 子音+で終わる語の後では、子音を「っ」を入れて促音にしてから「あ」をつける。例 どうす (dus、友達) + あ=どうっさ (どもだちは)。 (6) 「ん」で終わる後ののあとでは、「んな」になる。例 みどうん (miduN、女性) + :みどうんな (女性は)。 (6) nで終わる名詞は、nnにして「あ」をつける。例：いん (海、犬) + あ=いんな (海は)。 【例】 あちゃー かでいふっちゃ (明日は台風だそう)。 あいっぞうー あうさいむぬ (アイゴは生臭い) うぬ さきゃー んめ あぱりーぬまいん (その酒はもうアルコール分が抜けていて飲めない)。 きゅーや やぐみ あうひぐるむぬ (今日はとても肌寒い)。 あかいらうっちゃ びゅーいむぬまいどう あい (アカイラウツは毒のあるものもある)。 かぬ みどうんな あてい あぱらぎかいばならん (あの女性は余りにも美しい)。 [変異] や。

**あ** [a] 【助詞】 目的語を表す (「う」に対して、第二目的格ともよばれる)、「を」。提題を表す「あ」と同じ変化をする。 【例】 さきゃー ぬみーみはなー あかたん なるー (酒を飲んで顔

が赤くなった)。 じかんな あーひー っさらんかい いかでい (時間を合わせて平良に行こう)。 [変異] や。 [類] う。

**あー** [a:] 【名詞】 [B] 粟。 【例】 あーだーら (粟俵)。 あーぬ っさ とうい (粟の下草取り)。 んきゃーんな あーひーどう じゃうなうゆ うさみゆーたいちゃ (昔は粟で税金を納めていたそう)。

**あーき** [a:ki] 【感動詞】 困ったなあ。 【例】 あーき、でいんぬどう ぼっしー っていにゃーん (困ったなあ お金を忘れて来ちゃった)。

**あーぎ** [a:gi] 【名詞】 [A] 上、高い方；上座；上級。 【例】 ほうんぬぎゃー つくいぬ あーぎん うっき (本は机の上におけ)。 たむぬーぎゃー かなまいぬ あーぎん ぬーひー かみる (薪を頭の上ののせろ)。 っづあが かないまいぬ あーぎんな かじゃんぬ とびゅー (お前の頭の上に蚊が飛んでいる)。 まさいが やーや ばが やーぬ あーぎなぎんどう あい (マサイの家はうちの家の北の方にある [上手の高い後ろの方が北に当たることが普通である])。 かじゃー きーぬ あーぎんどう ふつ (風は木の上に吹く [=波風は最高責任者に吹く (当たる)])。 そうじゃっそうー あーぎんかい いかまてい (先輩達は上座に行って下さい)。 あーぎぬ がっこー (高校以上の上級学校 [昔は旧制中学、旧制高校、大学のことを指した。])。 んきゃーんな きばんかいていがーうむくとう あらばんまい あーぎぬ がっこうんかいてい いかはいっだん (むかしは貧乏



だったら能力があっても上級学校には進学させられなかった)。[類] あーび、わーぎ、わーび、わーら。

**あーきどうーき** [a:kidu:ki] 【成句】開けっ放し。【例】かまぬ やーや いつまい あーきどうーき (向こうの家はいつも開けっ放しだ)。あーきどうーき やー (戸の開けっ放しの家)。

**あーぐ** [a:gu] 【名詞】[C] 歌。【例】あーぐー あい (歌を歌う)。かりやー さぐー いりー あーぐー あっじゅー (彼は彼独特の歌い方で歌をうたっている)。

**あーぐしや** [a:guʃa] 【名詞】歌の上手い人、御嶽で祈願専任役の人。

**あーさ** [a:sa] 【名詞】[C] 《食》あおさ [岩に付着する食用の海藻]。【例】あーさう とうい (あおさを取る)。ほうらばまんきー あーさかつが (大浦湾にあおさをむしり取りに (行く))。かーき あーさう むっす (乾いたあおさをむしり取る)。

**あーす** [a:si] ①【動詞】[s/h 語幹] [A] (時間、性格などを) 合わせる、重ねる; 重ね着する。【例】じかんな あーひー っさらんかい いかでい (時間を合わせて平良に行こう)。にんぎんの とうず ぶとうー うむくとう あい ひとつぬどう ほうりむぬんかい あーすぼどう じゃうかい (人間の夫婦は頭の良い人が馬鹿者に合わせる方が良い)。うぬきゃが ふたーいや あーはいん (その二人は合わせられない)。やりずんぬ あーひー かうー (古着を重ねて掛布団にする [＜重ねて被る])。②【動詞】[s/h 語幹] [A] 乗せる。【例】つうあが くるまんかい くるー あーし (お前の車にこれに乗せる)。ぬーまんぬ ぐずき ばかーいどう あーはい (馬には50斤 [= 30キロ] ぐらいが乗せられる)。[類] ぬーす。

**あーす** [a:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 押し出す、しぼり出す、(膿やニキビなどを) つぶしてだ

す。【例】つーゆ あーす (母乳を出す)。んつんぬ あーす (ニキビを潰す)。ほうがさーんみーどうーば んーくー あーし (おできは赤く化膿しているので膿を出せ)。

**あーつ** [a:tsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] (しまったものが) 開く。【例】やどうぬ あーつ (戸が開く)。くびんぬ ふたー あーかん (瓶の栓が抜けない)。みーぶたいかいば みーや あーかいん (まぶしくて目が開かない)。[変異] あーふ。[類] あつ、あふ。②【動詞】[k 語幹] [A] (しまったものを) 開ける。【例】やどうー あーつ (戸を開ける)。くびんぬ ふたう あーつ (瓶の栓を抜く)。みーゆ あーつ (目を開ける)。ふっちゅぎやー あーかだうり (口を開けるな [= いらぬことをしゃべるな])。[変異] あーふ。[類] あつ、あふ。

**あーったつばう** [a:ttatsibau] ①【名詞】粟の収穫時期に粟の実を取るために粟を叩く棒。【例】あーったつばうひー あーゆ ったつ (粟叩く棒で粟を叩く)。②【名詞】柔道の背負い投げ [棒を振り回すことと柔道の背負い投げが似ていることからそう言われている]。

**あーつな** [a:tsina] ①【形容詞】何をするか分からない、乱暴な、突拍子もない。【例】からー あーつなんまりむぬ やいば、なうゆ あすががら っさいん (彼は突拍子もないやつなので、なにをするかわからない)。からー いつまい あーつなかいばならん (彼はいつもなにをしだすかわからない)。[類] あじゃーな。②【名詞】何をするか分からない人、乱暴な人、突拍子もない人。

**あーなか** [a:naka] 【名詞】粟畑。【例】ばー あーなかう まーりー みーくーでい (私は粟畑を見て回ってこよう)。ばー あーなかー むちや うらん (私は粟畑は持っていない)。

**あーぬい** [a:nui] 【名詞】粟のおにぎり。【例】あーぬいゆ ふあう (粟のおにぎりを食べる)。

**あーぬいや ばりーどう** [a:nuija bar-i:du] 【成句】瓜二つ。【例】うぬきやが っざっふあー あーぬいや ちゃらていー ばりーどう (彼ら父子は (粟のお握りをまっぶたつに割ったように) 瓜二つだ)。

**あーぬうはつ** [a:nuuhatsi] 【名詞】粟の初もの [お供えに使う]。【例】あーぬうはつちゆ かんかい うさぎでい (粟の初物を神様にお供えする)。

**あーはな** [a:hana] 【名詞】上の方、表面。【例】つくえぬ あーはなう どうみーみーる (机の上を探してみる)。みずぬ あーはなん っさぬどう ゆりゆー。(水の上に草が揺れている)。あーはなう みーる (上側をみなさい)。ゆーいぬ すきむぬぬ あーはなう どういー かんかい すきー (お祝いの供え物の上 (の方の一部) を取って神に供える)。【類】はな。

**あーばん** [a:ban] 【名詞】「名詞+ {~ぬ・が}」や「節+ぬ」の後ろについて「~だけでなくその他に、~の上に」を表す。【例】りよこーぬ あーばん でいんまい っじたい (旅行をさせてもらった上に金も貰った)。りよこーんかい いきぬ あーばん でいんまい はーさ っじたい (旅行に行った上に、お金もたくさんもらった [ >行かせてもらった])。ういが あーばん (それ以外に、その上に)。【変異】わーばん。

**あーび** [a:bi] 【名詞】[A] 上、高い方; 上座; 上級。【変異】わーび。【類】あーぎ。

**あーび** [a:bi] 【名詞】[C] 《貝》アワビ。【例】あーびぬ からひどう ぶーゆぎゃー そーう (アワビの殻で苧麻の皮を削ぐ)。

**あーびゆーい** [a:bjui] 【名詞】大祭事日和、大日取り、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる。【類】ほうっびゆーい、かんびゆーい。

**あーふ** [a:fu] ①【動詞】[k 語幹] [A] (しまったものが) 開く。【変異】あーつ。②【動詞】[k 語幹] [A] (しまったものを) 開ける。【変異】あーつ。

**あーぶ** [a:bu] 【名詞】[A] 穴、洞窟。【例】やらびんみゃー あーぶぬ なかん かつふゆーたい (子供たちは洞窟の中に入って隠れていた)。【類】はーぶ。

**あーぶ** [a:bu] 【名詞】[B] 洞窟。【変異】あぶ。

**あーらうんーた** [a:raun:ta] 【名詞】《植》ヒメクマヤナギ。

**あーらうんーたぎー** [a:raun:tagi:] 【名詞】《植》ヒメクマヤナギの木。

**あい** [ai] 【動詞】[不規則動詞] [A] コピュラ「だ、である」の終止形。過去形は「あたい」、連用形はなく、代わりに「名詞+や ひー」などを用いる。否定形は「あらん」、否定過去形は「あらっだん」、否定連用形は「あらだ」。通常、肯定、文終止の位置では省略される。接続形 ~ば、~そうが、未然形+ばんまい、などでは「やいば」「やいそうが」「やらばんまい」の形をとる。

**あい** [ai] 【副詞】そのように、そう; そうだ; 「あいぬ」の形で、「そのような、そんな」。【例】あいや あらん (そうではない)。A: うらー あいな? B: んーでい あいだら (A: それってそうなの? B: そう、そうなんだよ)。うりゆーぎゃー あいや ほうん (それはそうはしない)。うりゆーぎゃー あいや あっじゃん (それはそうは言わない)。あい、あいていぬ くとうだら (そう、そういうわけなんだよ)。あいはず (そのはずだ [ <そうであるはず])。あいぬ むぬー にゃーん (そんなものはない)。あいにがら っさいん (そうかも知れない)。あいどう あたい (そうだった)。あいどう うむー (そう思う)。あいちや (そのはずだ)。あいだら (そうだよ)。

**あい** [ai] 【形容詞】[A] (人に対して) 付きまとう、じゃれつく。【例】かりゃー ばぬんかい どう うんそうく あいかい (彼は私につきまどっている)。[類] あり。

**あい** [ai] 【名詞】[B] 《植》藍。【例】みやこじょーふーぎゃー あいひどう そうみー (宮古上布は藍で染める)。

**あい** [ai] 【名詞】[B] 《魚》アイゴ。【例】あいや さすどうす (アイゴは(毒針があって)刺す)。[類] あいっぞう。

**あい** [ai] 【動詞】[母音語幹][C] 和える。【例】あい じゅー (和えた野菜)。んーぎーぬ はーゆ あいー まくぶなますていー ふあう (芋の葉をあえてブダイの刺身として食べる)。

**あい あっそう** [ai assu] 【成句】 そうしなさい。【例】しーしーが あすがにゃーん あい あっそう (先生がやる通り、そうしなさい [ $>$ やる通りにやりなさい])。 [変異] あいっそう、あやっそう。

**あい あらだ** [ai arada] 【成句】 そうではなくて、逆に。【例】うぬ くとうー あいや あらだ じょ かい ほうでい (そのことはそうじゃなくて、こうしよう)。うらー あい あらだ、かいぬ くとうちゃ (それはそうではなくて、こうらしい)。[類] かい あらだ。

**あい あり** [ai ari] 【成句】 すこしして、すこし時間がたってから；目的地まで行くのにすこし時間がかかる。【例】あいや ありどうかでいふつぬ かいすかじゃー ふつ (すこし間があってから台風の返しの風は吹く)。きゅーや あみ やいば すかまうぎゃー あい ありーからどう すきやきでい (今日は雨だから仕事をもう少ししてから始めよう)。っさらんかいや あい ありどう いきゅーたい (平良に行くのはある程度時間がかかった)。いきまたーひや ふにひー あい ありどう いかいー (池間までは舟である程度時間をかけない

と行けない [ $<$ ある程度時間をかけて (はじめて) いける])。

**あい** [ai] ①【動詞】[不規則動詞][C] 存在動詞、「ある」。「あい」は、本来連体形であるが、焦点助詞「どう」がある文では終止形として使われる。焦点助詞がない文では普通「あり」が終止形として使われる。過去形は「あたい」、否定形は「にゃーん」。【例】あかいらうっちゃ びゅーい むぬまいどう あい (アカイラウツは毒のあるものもある)。うたきんな かうるぬどう あい (ウタキには香炉がある)。かぬきやが まいんどう んまむぬぬ あい (あの人のたちの所にご馳走がある)。[類] あり。②【補助動詞】[不規則動詞] (連用形についてある状態になっていることを示す)～てある、～た [共通語の「てある」と違って、意志的な動作でなくとも使え、「前もって準備のために～してある」という意味はない]。【例】きーゆ たうひーあい (木をたおしてある)。やーんかい ばーっしやー むぬー とういが いつ (家に忘れ物を取りに行く [ばっしやー=ばっし+あい]) うらー ばが っちゃーい っぞう (これは私が釣った魚だ [っちー+あい=っちゃーい] やーぬ かぎゃー んじゃんかい うきゃーががら むいとう とうみらいん (家の鍵はどこに置いたのか全然見つからない [うきゃー=うき+あい])。きゅーや うまんかい っちゃーかいや ありーどうー (ここに来たかいがある [ $<$ ちゃー=ってい (来る)+あい])

**あい** [ai] ③【動詞】[r/rr 語幹][C] (人が) あばれる。【例】やらびんみゃー やーぬ なかん ありーどうー (子供たちは家の中で暴れまわっている)。[類] あり。④【動詞】[r/rr 語幹][C] (生き物が) 餌を求めて激しく集まる。【例】うぬ っぞうー うぬ びじゅんかいどう うんそうく あい (この魚はこの餌にとてもあばれる [ $>$ 良くくいつく])。びーやぬどう っさりむぬんかい ありゅー (ゴキブリが腐ったものに集まっている)。くぬいぬ やらびんみゃー あかばたういんかいや あらん (最近の子

供たちはスイカには集まらない)。[類] あり。  
 ◎【動詞】[r/r 語幹] [C] (海などが) 荒れる。  
 【例】きゅーぬ いんな ありーどうー (今日の海は荒れている)。[類] あり。

**あい** [ai] ㊦【動詞】[zz 語幹] [A] 言う [否定形：あっじゃん、連用形：あっじ、命令形：あっじ、過去形：あいたい]。【例】ばがなーゆぎやー まさいていどう あい (私の名前はマサイと言います)。っうあー んなまー なうていどう あいたいが (あなたは今何と言ったのですか)。っうあー んなまー なうががら あいたいな (あなたは今何か言ったのですか)。ばが あいがにやーん あっじ (私の言うとおりに言いなさい)。っうあが なーや あいぐりかいば なん (あなたの名前はとも言いにくい [>発音しにくい])。っうあが あっじゅーが にやーん (君の言う通りだ)。むぬいゆ あい (ものを言う)。[変異] あっじ。㊧【動詞】[zz 語幹] [A] (歌を) 歌う [否定形：あっじゃん、連用形：あっじ、命令形：あっじ、過去形：あいたい]。【例】さちこー あーぐー あいむぬぬどう うむっし (さちこは歌を歌うのが好きです)。っうあが んぬ あっじゅーたい あーぐーぎやー なうていどう あい (あなたが昨日歌っていた歌は何といますか)。

**あいあす かいあす** [aiasi kaiasi] 【成句】あれこれすること。 [変異] あやす かやす。

**あいえいそうが** [aieisuga] 【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。【例】あいえいそうが ばー ほうじゃーん (それはそうだけど、おれはやらない)。[変異] あいやいそうが、あいやそうが。

**あいえていがー** [aietiga:] 【接続詞】そうだったら、じゃあ。【例】あちゃー かでいふつちや。あいえていがー あちゃー いきまー いかいん (明日は台風だつてさ。だったら明日は池間にはいけない)。あいえていがー ばー いかじゃーん (そうだったら私は行かない)。[変異] あいやていがー。

**あいかい** [aikai] 【副詞】あれこれ、あれこれと。【例】あいかいぬ はなっそう あすたい (いろんな話をした)。からー ばが すかまうなうゆまい あいかい かしーや ひーふいーたい (彼は私の仕事をなんでもあれこれ手伝ってくれた)。

**あいがにやーん** [aiganja:n] 【成句】(～の) 言うとおりに。【例】ばが あいがにやーん あっじ (私のいうとおりに言いなさい)。かいが あいがにやーん あい あっそう (あの人の言うとおりにやりなさい)。っうあが あいがにやーん むぬいぼどう ばいかい (あなたの言うとおりに話したら (事態は) 悪くなるばかりだ)。

**あいぎだうり** [aigidauri] 【感動詞】『応答詞』そうらしい。【例】A: からー やみーどうー ちゃ B: あいぎだうり (A: あいつは病気だつて B: そうらしいね)。

**あいくとう にやーんくとう** [aikutu nja:ŋkutu] 【成句】あることないこと。【例】かりやー あいくとう にやーんくとうー なうまい んない むぬっじゅーたい (あいつはあることないことを何もかも全て話した)。

**あいたー** [aita:] 【名詞】ハンセン氏病患者の蔑称、ライ病患者。 [類] くんきや、くんちゃ。

**あいだーだら** [aida:dara] 【感動詞】『応答詞』そうだ、そうなんだよ。【例】あいだーだら、っうあが あっじゅーが にやーん (そうなんだよ、あなたの言っている通りだよ)。[類] あいだら。

**あいだい** [aidai] 【名詞】食べかす散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。 [変異] あいだり。

**あいだら** [aidara] 【感動詞】『応答詞』そうだ、そうなんだよ。【例】あいだら、っうあが あっじゅーが にやーん (そうなんだよ、あなたの言っている通りだよ)。[類] あいだーだら。

**あいだり** [aidari] 【名詞】 食べかす散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。【例】 やらびんみんみぬ むぬー ふあいぬ あとうー やぐみ あいだりどう あたい (子供たちが食事したあとは(食べかすで)とても散らかっていた)。むぬーふあいぬ あとうぬ あいだりゆーぎやー とうい (食べた後の食べかすを取りなさい)。あいだりぬ すきゃーりゆーい (食べかすなど(米粒など食べた時にこぼれたもの)が散らかっている)。**[変異]** あいだい。**[類]** くず、あいだりくず、あいだいくず。

**あいだりくず** [aidarikuzi] 【名詞】 食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。**[変異]** ありだいくず。**[類]** くず、あいだり、あいだい。

**あいちや** [aitca] 【感動詞】 『応答詞』 そうだつて(さ)、だそうだ(よ)。【例】 あいちや。かいが あすがにゃーん あっそう(だつてさ。あいつのやる通りにやってよ)。

**あいつ** [aitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 歩く；(学校や会社に) 通う；走る。**[変異]** あいふ。

**あいつー** [aitsi:] 【動詞】 [cc/tt 語幹] 言い込める、詰(なじ)る、非難する。【例】 あいや ひとつーぎやー あいっちゃん(そんなに他人を罵らない[>罵ってはいけない])。**[変異]** あいつつ。**[類]** あいっち。

**あいつそう** [aissu] 【成句】 そうしなさい。**[変異]** あい あっそう。

**あいつぞう** [aizzu] 【名詞】 『魚』 アイゴ。【例】 あいつぞうー ばかばいむぬ(アイゴは(食べると)吹き出物が出る)。あいつぞうぬ つーずんな ささいな(アイゴの刺には刺されるな)。**[類]** あい。

**あいつち** [aittci] 【動詞】 [母音語幹] 言い込める、詰(なじ)る、非難する。【例】 かりゆーぎ

やー ちゆーく あいっちたい(あいつを強く非難した)。**[変異]** あいってい。**[類]** あいつつ。

**あいつつ** [aittsi] 【動詞】 [cc/tt 語幹] 言い込める、詰(なじ)る、非難する。【例】 ひとつーぎやー まーぬ あいっちゃん(他人をあまり非難するな)。かいん あいっちゃんー ばーかさますかいば ならっだん(あいつになじられて私は悔しくて仕方がなかった)。かさますかいば たやん あいっちー すている(悔しいから強く言い返してやれ)。**[変異]** あいつー。**[類]** あいっち。

**あいつてい** [aitti] 【動詞】 [母音語幹] 言い込める、詰(なじ)る、非難する。**[変異]** あいっち。

**あいつびやー** [aitsibja:] ①【名詞】 歩く速度が速いこと。【例】 あいつびやー ひとつぬ あとうー うーいん(歩くのが早い人の後はついていけない)。②【名詞】 赤ちゃんの歩き始めが早いこと。【例】 ばんたが みどうんづーあー むいとう あいつびやー あたい(私たちの娘は、歩き始めるのがとても早かった)。

**あいつんつ** [aitsintsi] ①【名詞】 いつも行き慣れた道。【例】 うまぬどう ふくやまんかいぬ あいつんつ(これが福山へ行くいつもの道だ)。②【名詞】 目的地までの途中。【例】 どうーや ぶらんかいぬ あいつんつん っていー どうー(私たちは保良に行く道の間ぐらいに来ていた)。はいんかいぬ あいつんつん どうすん いじやうたい(畑に行く途中で友達に会った)。

**あいでい** [aidi] ①【名詞】 [C] 少しずつ大切に食べること、少しずつでもたくさんご飯が食べられるおかず、またその性質。【例】 むぬーぎやー あいでいがまーひー ふあい(ご飯は(おかずと)すこしずつ合わせて食べなさい[>少量のおかずを大切に少しづつ食べろ])。**[類]** かていー、かてい。②【形容詞】 [C] 食べでがある；少量でたくさんご飯が食べられる[お

かずに使う】。【例】 っづあから かうたい わーや やぐみ あいでいむぬ あたい (あなたから買った豚はとても食べてがあった)。やぐみ あいでい わー (見かけよりも多い豚肉)。ういがどう あいでいかい (これがたくさんご飯が食べられる (おかずだ))。

**あいていー** [aiti:] 【感動詞】『応答詞』 そうなんだ、(語尾を上げて) そうなの。 【例】 あいていー (そうなんだ)。あいていーだ (そう言うことらしい)。あいていーちゃ (そうだそうだよ)。

**あいていぬ くとう** [aitinu kutu] 【感動詞】『応答詞』 そういうことだ。 【例】 あいていぬ くとうだら (そう、そういうことなんだよ)。

**あいていぬ むぬ** [aitinu munu] 【感動詞】『応答詞』 そういうことだ。 【例】 うりやー あいていぬ むぬ (それは、そういうことなんだよ)。

**あいていんどー** [aitindo:] 【感動詞】『応答詞』 そうらしい、そうだそうだ。 【例】 A: まさいや みがとうどう あらういだすたいな B: あいていんどー (A: マサイはミガと婚約したのかい。 B: そうらしいよ)。

**あいていんぬがら** [aitinnugara] 【感動詞】『応答詞』 そうかも (しれない)。 【例】 A: まさいや みがとうどう とうずあすがまたびやーい。 B: あいていんぬがら (A: マサイはミガを嫁さんにするのかね。 B: そうかも (しれない) ね)。 [類] あいていんむがら。

**あいていんむがら** [aitimmugara] 【感動詞】『応答詞』 そうかも (しれない)。 【例】 A: まさいや みがとうどう とうずあすがまたびやーい。 B: あいていんむがら (A: マサイはミガを嫁さんにするのかね B: そうかもしれない)。 [類] あいていんぬがら。

**あいな** [aina] 【感動詞】『応答詞』 そうなの、そうか。 【例】 A: まさいや みがとうどう とうずあすがまたびやーい B: あいていんむがら (A: マサイはミガを嫁さんにするのかね。 B: そうかもしれない)。あいな、あいどう あたいな (そう、そうだったのか)。

**あいぬ** [ainu] 【連体詞】 こんな、そんな、あんな。 【例】 あいぬ むぬ ( {こんな、そんな、あんな} もの)。あいぬ んまり ( {こんな、そんな、あんな} 奴)。あい かいぬ ばーだら (そう言う訳だよ)。ばー んめ ふたかいてい や あいぬ くとうーぎやー ほうじやーんば たんでいやらー ゆらひー ふいーさまでい (私はもう二度とそんなことはしないのでお願いですから許してください)。

**あいぬ かいぬ** [ainu kainu] 【成句】 それくらのことも、あんなことも そんなことも。 【例】 ばー あいぬ かいぬ くとうがまうまい っさっだん (私はそれくらのことも知らなかった)。ばぬんな あいぬ かいぬ むぬまい とうみらいん (わたしにはそれくらのものも見つけれない (よ))。

**あいぬ ばー** [ainu ba:] 【成句】 そう言うわけ、こんな理由。 【例】 っづあが あっじゅーくとうー あいぬ ばーだら (あなたが言っていることは (結局) そう言うことなんだよ)。あいぬ ばーやひどう ばぬんな がっこーや いかいっだん (そう言うわけで私には学校に行けなかった)。また あいぬ ばー (へー、そうなのか [応答詞として使われる]) [類] かいぬ ばー。

**あいぬむぬ かいぬむぬ** [ainumunu kainumunu] 【成句】 あんなもの、こんなもの。 【例】 あいぬむぬ かいぬむぬ むちーふーな (こんなもの持ってくるな)。

**あいば** [aiba] 【感動詞】 そうなんだ。 [変異] あいびや。

**あいはず** [aihazi] 【感動詞】《応答詞》 そうだろう、そのはずだ。【例】A: まさいや っていーどうーな B: あいはず (A: マサイは来たの。B: そのはずだ)。あちゃー あみびやーいー。あいはず (明日は雨だろうね。だろうね)。  
[類] かいはず。

**あいひー** [aihi:] 【接続詞】 そうすることで、そのあとで、そして。【例】きゅーや すとうむてい ひやーひん うきー、あしやー ふあいー、あやひー いんかい いつたい (今日は朝早く起きて、朝ご飯を食べて、そして漁にでかけた)。でいんな はーさ まうきー あいひー ふにまい かうたい (金を儲けて、それで船まで買った)。  
[変異] あやひー。[類] かいひー。

**あいびや** [aibja] 【感動詞】 そうなんだ。【例】あいびや、ばー なうちゅんま っさっだんさー (そうなんだ。私は全然知らなかったよ)。  
[変異] あいば。

**あいびやーん** [aibja:n] 【成句】 そうかな、そうだろうな [自分の考えを疑っているとき、相手の言うことを疑っているときの両方使える]。  
【例】からー かい あっじゅーそうが、あいびやーん (あいつはそういっているが、そうなのかな)。うらー さにんな。あいびやーん (これは月桃かな。ちがうかも)。  
[類] かいびやーん。

**あいふ** [aifu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 歩く; (学校や会社に) 通う; 走る。【例】はいぬ あっじゃう あいふ (畑の端を歩く)。ひとうぬ あいふ んっちゅぎやー つっじゃん (人の歩く道をふさぐな)。ばー あてい うだいやひどう ひとまた あいふきやー いっちや はーみきーどうー (私はとても太っているので一歩歩くと息が切れる)。ていびゅーぎやー みーだ まいゆたーな みー あいき (後ろを見ずに前だけ見て歩け)。いんぬ あいふ (漁師をする [＜海を歩く＞])。がっこーんかい じて

んしゃひー あいふ (学校に自転車で通学する [＜学校に自転車で歩く＞])。かいんな んがいんやうんてい そうづいー あいき (あいつにおいつかれないように一生懸命走れ ([＜走って歩け＞])。[変異] あいつ。

**あいほうーきやー** [aihu:kja:] 【成句】 そうしている中に、そうこうしている間に。【例】あいほうーきやー ふにやー いでいー はりーにやーん (そうしている間に船は出ていった)。  
[変異] あやほうーきやー。[類] かいほうーきやー。

**あいほうーば** [aihu:ba] 【副詞】 そうしているから、そうだから。 [変異] あやほうーば。

**あいま** [aima] 【名詞】 [C] (ものや人との空間的) 間: (出来事が続く時間的) 間; (出来事と出来事の) 合間。【例】つづあが びー あいまー にやーん (お前が座る場所はない)。ひーまむぬー ふあう あいままい にやーん (昼ごはんを食べる時間もない)。うぐなーいぬ あいまん ぶとうぬ っちゅーたい (集まりの最中に旦那が来た)。すかまぬ あいま (仕事の合間)。

**あいや** [aija] 【副詞】 そのように。 [変異] あや。

**あいやいそうが** [aijaisuga] 【接続詞】 でも、しかし、そうだけれども。【例】あーぎぬ がっこーんかい いつぶすむぬ。あいやいそうが やーんな でいんな にやーん (上の学校に行きたい。でも、家には金がない)。っさらんきー あそーが いつぶすむぬ、いー。あいやいそうが、どうーや まどうー にやーん (平良に遊びに行きたいね。でも、僕たち、時間がないよ)。あいやいそうが ばー あいや うむーん (だけど、私はそうは思わない)。  
[変異] あいえいそうが、あっそうが、あいやそうが。

**あいやいていがー** [aijaitiga:] 【接続詞】 そうだったら、じゃあ。 [変異] あいやいていがー。

**あいやそうが** [aijasuga] 【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。[変異] あいえいそうが、あっそうが、あいやいそうが。

**あいやていがー** [aijatiga:] 【接続詞】そうだったら、じゃあ。【例】A: つづあー どうぞどうみぶすむぬな B: おー A: あいやていがー ばが みどうんつづあー なうばい (A: お前は結婚したいのかい。B: そうです。A: じゃー、うちの娘はどうだい)。[変異] あいえていがー、あいやていがー。[類] かいやていがー。

**あう** [au] 【動詞】[w 語幹] [C] (人が人に約束して、または、偶然に) 会う; (人が事故、災難などに) 会う。【例】んぬ かにんかい あうたい (昨日カニに会った)。みーかない ばがっふあー こーつーじこん あうたい (一昨日うちの子が交通事故にあった)。

**あう** [au] 【動詞】[w 語幹] [C] (着物などが人に) 似あう; (物の形状などが別の物の形状と) 一致する; (意見などが) 一致する 性格などが) 合う; 論理的に説明がつく。【例】くぬ つんな たるんかいまい あうどうす (この服はだれにでも合う)。くぬ かぎゃー かぎぬ あなんかいや あーん (このカギは鍵穴に合わない)。かいとうー はなっさ あーん (あいつとは話が合わない)。ばんな つむ あーん ひとつー みーん (私には気の合わない人はいない)。つづあが きゅーぬ はなっさ んぬぬ はなすとう あーん (お前の今日の話は昨日の話と合わない)。

**あう** [au] 【名詞】[C] 青。【例】みどうん しーとう んみゃー あうすかーとうー っちゅーたい (女子生徒は青いスカートをはいている)。[類] あう。

**あうー** [au:] ① 【動詞】[v 語幹] [C] (暖を取るために) 火に当たる。【例】きゅーや っしかいば うまっちゅ あうー (今日は寒いので(暖を取るために) 火に当たる)。っしかいば うまっちゅ あづい (寒いから火に当たれ)。

[類] あづい。② 【動詞】[v 語幹] [C] (食べ物を) あぶる; 火に当てる。【例】うまつひー っぞうー あうー (火で魚をあぶる)。ひんじゃぬ ばたう あづいー やきー ふあう (山羊の腸を(火に) あぶって焼いて食べる)。かじゃまきぬ とうきゃんな やりさばう あづいーとうい うりゅー かうかい とうくまんかい あたらすきゃー なういどうす (虫刺されの時には古い草履を火にあぶって、それをかゆいところにあてると治る)。[類] あづい。

**あうー** [au:] 【動詞】[v 語幹] [C] 扇ぐ。【例】あうずひー あうー (扇で扇ぐ)。あつかいば あづいー ふいーさまてい (暑いので扇いでください)。[類] あうず。

**あうい** [au:] ① 【動詞】[r/r 語幹] [C] (風や火が何かを) 煽(あお)る。【例】かでいん あうらい たうりーにゃーん (風に煽られて倒れた)。うまつん あうらい あつかいば ならっだん (火に煽られて暑くて仕方なかった)。② 【動詞】[r/r 語幹] [C] (人に何かさせるために人をおだてて) 何かをさせる。【例】かにゅー あうりー あーぐー あっじゃすたい (カニをおだてて歌を歌わせた)。まさいとう かにゃー んーんなん あうらい ぶどういすきゃきたい (マサイとカニは皆におだてられて踊りはじめた)。

**あうぎ** [augi] ① 【動詞】[母音語幹] [A] (水、土、石等を別の容器などに) 入れる。【例】うまんかい んたうぎゃー あうぎる (ここに土を流し入れろ)。[類] あうず。② 【動詞】[母音語幹] [A] (中のものを) 捨てる。[類] あうず。

**あうきや** [aukja] 【名詞】[C] 《生物》10 cm 位の小さいイカ。【例】あうきゃー たいがい かまさーとうどう ひとつみ うい (アウキヤはたいがいカマスと一緒にいる)。

**あうく** [auku] 【名詞】[C] 穀物を叩いて実を取り出したり、殻を落としたりする棒 [長い棒と



短い棒を連結し、短い方をもって長い方を穀物に叩きつける]。

**あうくばら** [aukubara] 【名詞】穀物などをあうくで叩くときに手にできたマメ。

**あうぐるくん** [augurukun] 【名詞】《魚》ハナタカサゴ。

**あうさり** [ausari] 【形容詞】(魚が)生臭い。  
【例】あいつぞうー あうさりむぬ(アイゴは生臭い)。

**あうず** [auzi] ①【動詞】[g 語幹] [C] (水、土、石等を別の容器などに)入れる。【例】うまんかい んたうぎゃー あうぎ(ここに土を流し入れろ)。  
[類] あうぎ。②【動詞】[g 語幹] [C] (中のものを)捨てる。【例】ばきつぬ みっじゅぎゃー あうぎー すている(バケツの水をすててしまえ)。  
[類] あうぎ。

**あうず** [auzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 扇ぐ。【例】あつかいば あうずひー あうず(暑いので扇で扇ぐ)。  
[類] あうー。

**あうず** [auzi] 【名詞】[C] 扇、うちわ。【例】くばがさぬ はーひーどう あうっじゅぎゃーちゅっふ(ピロウの葉で扇を作る)。

**あうそう** [ausu] 【名詞】[C] (浅瀬でなく)海の深いところ。【例】ふかあうそう(深い海)。

**あうそうん** [ausun] 【名詞】トンボ。【例】かでいふつゆらん ないていがー あうそうんぬどう うんそうく とうびーふー(台風の時期になるとトンボがたくさん飛んでくる)。あうそうんぬ とういー あそうー(トンボを取って遊ぶ)。

**あうだ** [auda] 【名詞】[C] 《道具》もっこ。【例】あうだんかい っさー かりー いりー(もっこに草を刈りて入れる)。

**あうたん** [autan] 【副詞】(植物などが)青く、青々と(茂る); (殴られて皮膚などが)青く

(なる)。【例】んーぎーや あうたん なりーういー はやいーどうーい(芋の蔓は青々と生い茂っている)。まさいや かにん なっじゅらいー みーや あうたん なるー(マサイはカニに殴られて、目が青くなった[>目の周りに青あざができた])。[類] あう。

**あうっどうい** [auddui] 【名詞】病気がちの人が顔色に血色がないこと。【例】やみどうみはなー あうっどういや ひーゆー(病気で顔には血色がよくない)。

**あうなず** [aunazi] 【名詞】《生物》青大将(ヘビの一種)。【例】あうなずぬ あっづあーはいがさぬ っそういん ない(青大将の脂は台湾坊主[=禿頭病]の薬になる)。

**あうぬー** [aunu:] 【感動詞】《フィラー》あの一、何というか[「あうぬぎゃー」ともいう]; 仕方がないので、とにかく[「あうぬぎゃー」とも言う]。【例】じょー いんかい いかっでいー うむいー うたいそうが あうぬー ばーかなまい やんかいば いかじゃーん(「さあ、海に行くぞ」と思っていたんだけど、あの一、頭が痛いんでいくのやめるよ)。あうぬーゆくい(どうでもいいからとにかく休め)。  
[類] あにやむぬー、あなむぬー。

**あうぬがま** [aunugama] 【名詞】それくらいの人、物。【例】あにや あうぬがまうぎゃーとうっじゅぎゃー ほうん(その程度の方は妻にしない)。(小さなみすぼらしい魚を渡されて)あうぬがまうぎゃー っじじゃーん(そんなものはうけとらない)。  
[類] あにやるがま。

**あうぬんみ** [aunummi] 【名詞】あんなやつら、そんなやつら。【例】あうぬんみゅーぎゃーていっづやーがらひー すちゅーき(そんなやつらはほっておけ)。あにや あうぬんみまいんかいや いかん(あんなやつらのところには行かない)。

**あうばい** [aubai] 【名詞】《昆》銀蠅。【例】さ

たんな あうばいぬどう たかりゆー (砂糖には銀蠅が集っている)。

**あうばじゃかい** [aubazakai] 【名詞】(手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げること; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開くこと。【例】うゆびゆー あうばじゃかい あっそう ((手や足)の指を広げろ)。またうぎゃー あうばじゃかいやー ひー びーな (股を開いて座るな)。あうっじゅ あうばじゃかい あす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばじゃかい ひーゆー (鳥が羽を広げている)。[変異] あうばだかい。

**あうばじゃかい** [aubazakai] 【動詞】[r/rr 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開く。【例】うゆびゆー あうばじゃかい ((手や足)の指を広げる)。ういびとうん なりー うゆびゃー あうばじゃからん [変異] あうばだかい。

**あうばじゃかす** [aubazakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。【例】うゆびゆー あうばじゃかす (指をひろげる)。またうぎゃー あうばじゃかひー びーな (股を開いて座るな) あうっじゅ あうばじゃかす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばじゃかひーゆー (鳥が羽を広げている)。[変異] あうばだかす。

**あうばじゃからす** [aubazakarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。【例】うゆびゆー あうばじゃからす (指をひろげる)。またうぎゃー あうばじゃからひー びーな (股を開いて座るな) あうっじゅ あうばじゃからす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばじゃからひーゆー (鳥が羽を広げている)。[変異] あうばだからす。

**あうばだかい** [aubadakai] 【名詞】(手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げること;

(手、股、扇など閉じてあるものが) 開くこと。

[変異] あうばじゃかい。

**あうばだかい** [aubadakai] 【動詞】[r/rr 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開く。[変異] あうばじゃかい。[類] あうばじゃかす、あうばじゃからす。

**あうばだかす** [aubadakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。【例】うゆびゆー あうばだかす (指をひろげる)。またうぎゃー あうばだかひー びーな (股を開いて座るな) あうっじゅ あうばだかす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばだかひーゆー (鳥が羽を広げている)。[変異] あうばじゃかす。[類] あうばじゃからす。

**あうばだからす** [aubadakarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。[変異] あうばじゃからす。[類] あうばじゃかす。

**あうひぐる** [auhiguru] 【形容詞】肌寒い。【例】きゆーや やぐみ あうひぐるむぬ (今日はとても肌寒い)。[変異] あうひぐる。

**あうぴぐる** [aupiguru] 【形容詞】肌寒い。[変異] あうひぐる。

**あうます** [aumasi] 【動詞】[s/h 語幹] (作物に肥料を入れて) 青々と成長させる。【例】ぶーずんかい っふあいや いりー あうます (サトウキビに肥料を入れて青々と成長させる)。

**あうまちや** [aumatca] 【名詞】《鳥》メジロ。[変異] あうまっちや。

**あうまっちや** [aumattca] 【名詞】《鳥》メジロ。[変異] あうまちや。

**あうみー** [aumi:] 【名詞】臆病者。【例】からー あうみー やいば あうやーゆぎゃー ほうだ すぐ ひんず (あいつは臆病だからケンカはせずによく逃げる)。[類] あうみーやから。

**あうみーやから** [aumi:jakara] 【名詞】臆病者。 [類] あうみー。

**あうやー** [auja:] 【名詞】ケンカ、言い争い、とっくみあい。 【例】あうやーゆぎゃー ほうん (ケンカをしない [ >ケンカをしてはいけない])。うぬぎゃが ふたーいや ばかかいぎゃー うんそうく あうやーゆまい ひーうたい (その二人は若い頃はいつもケンカばかりしていた)。

**あうん** [aun] 【動詞】 [m 語幹] [C] (作物に肥料が入って) 青々と成長する; (海の色、空の色) 青くなる。 【例】んーぎーぬ はーや むいとう あうみーどうー (芋の葉はとても青々としている)。ふかいんな むいとう あうみーどうー (深い海は青々としている)。きゅーぬ ていんな あうみーうい (今日の空は青い)。

**あか** [aka] ① 【形容詞】 [A] (周囲が) 明るい。 【例】くまどう あかかいば くまんかい くー (こっちが明るいからここにこい)。 ② 【形容詞】 [A] (色が) 赤い。 【例】あかぎー (赤い髪)。かんれきんな あかづんぬ つー (還暦には赤い服を着る)。からー いつまい さきゃーぬみー あかみはな (あいつはいつも酒を飲んで赤い顔をしている)。

**あか** [aka] 【名詞】 [C] (色の名前) 赤。 【例】あかいる (赤色)。いきまむぬいんな あか、あう、っふ、っそうぬ ほうかんな いるー にゃーん (池間のことばには赤、青、黒、白しか色はない)。

**あか** [aka] 【名詞】 [C] 髪の毛。 【例】んまぎあか (見事な髪の毛)。ふすひー あかう きっず (櫛で髪をすく)。あかう ゆー (髪を結う)。かなーいや みどうんまい びきどうんまい からっじゆぎゃー ゆっづいどう うたい (昔は女性も男性も髪を結っていた)。 [類] からず。

**あか** [aka] 【名詞】 [C] 船底にたまった水。 【例】ふにぬ あかう んん (船底にたまった水を汲みだす)。 [類] あかま。

**あか** [aka] 【感動詞】 期待とは裏腹のときに出る言葉、えっ、何だって。 【例】あか、あにやうさかがま (えっ、たったこれだけ)。 [類] あがい、あがー。

**あがー** [aga:] 【感動詞】 痛いときに出す悲鳴。 【例】いちゃかい とうきゃんな あがーていどう あい (痛いときにはアガーと言う)。あがーいちゃかいば ならん (アガー 痛くてしかたがない)。 [変異] あがい、あがえ、あがー。

**あかい** [akai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (雨が) 上がる。 【例】あみぬ あかりゆー (雨が上がった)。あみぬ あかいぎかい (雨が上がりそうだ)。

**あかい** [akai] 【名詞】 [B] 明かり、灯り。 【例】ゆーかーまんどー あかいぬ みーらいゆー (ずっと遠くに明かりが見える)。やーぬ あかい (家の灯り)。あかいゆ つきる (あかりをつける)。

**あかい** [akai] 【名詞】 [B] 蟻。 【例】あかいぬすー (蟻の巣)。まーぬ あかいや ゆみーあいつな (あんまりゆっくり歩くな [ <蟻を数えて歩くな])。

**あがい** [agai] ① 【感動詞】 ああもう、ああしまった、ああ残念だ。 【例】あがい ひんじゃー ひんがひーにゃーん (ああ山羊を逃がしてしまった)。あがい ぶとうー すにーにゃーん (ああ、夫が死んでしまった)。あがい んめくとうすまい やーっそう (ああ大変だ、今年も飢饉だ)。あがい んめ きゅーまい さきくたんでい (ああ、大変だ、今日も二日酔いだ)。あがい たんでい なうばい ほうでいが (ああもう、どうしようか)。 [変異] あがえ。 ② 【感動詞】 相手を制止することば、これ、こら。 【例】あがい んめどー、うまんかいや ふーな (こら、あぶない、こっちは来るな)。

**あがい** [agai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (太陽が) あがる、(月が) 出る; (値段、成績、給料など

が) 上がる; (家などに) 上がる。【例】ていだぬ あがりーふー (太陽が上がってくる)。つちゆぬ あがい (月が出る)。あがいていだ (朝、東から昇る太陽)。くぬいや むぬぬ だ いぬどう あがりゆー (最近は物価が上がっている)。んまがぬ がっこーぬ せいせきやー ならちゆんま あがらん (孫の学校の成績は全然あがらない)。**[類]** ぬーい。

**あがい** [agai] 【名詞】[A] 東。【例】あがいでいんからどう ていだー あがい (東の空から太陽は昇る)。あがいかた (東の方)。

**あがい** [agai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] いまやっている仕事を終える; 退勤する; 離職する。【例】くまぬ すかまー はやまり あがりー かまぬ すかまう すきやきでい (ここの仕事ははやく終わらせて、向こうの仕事にとりかかろう)。からー すかまー あがりー やーん かい はりーにやーん (あの人は仕事を終えて家に帰った)。ていねんな ひー こーちよーぬ すかまー あがりーにやーん (定年になって校長職を退職した)。**[変異]** あがいー。

**あがい** [agai] 【感動詞】痛いときに出す悲鳴。**[変異]** あがー。

**あがい たんでい** [agai tandi] 【感動詞】何とまあ、びっくりした時の悲鳴。【例】あがい たんでい、なうばい あすばどう じゃう かいが (あれまー、どうすれば良いんだろう)。**[類]** あがい んみや。

**あがい んみや** [agai mmja] 【感動詞】もう大変だ、びっくりした時の悲鳴。**[類]** あがい たんでい。

**あがいー** [agai:] 【動詞】[r/rr 語幹] いまやっている仕事を終える; 退勤する; 離職する。**[変異]** あがい。

**あがいがあがい** [agaigaagai] 【成句】まさか、そんなことがあるのか。**[類]** うばいがうばい。

**あがいじゃとう** [agaizatu] 【名詞】『地名』西原の東の集落 [東支部と南支部を合わせたもの]。【例】あがいじゃとう ぶとう むつていがー かーうり くーさんよ (東里の夫を持つとヒダガーでの水汲みが大変だよ)。

**あがいにやー** [againja:] 【名詞】東隣の家。【例】あがいにやーや むとうやー かーばた (東隣は本家の川端だ)。

**あかいらうつ** [akairautsi] 【名詞】『魚』魚の一種。【例】あかいらうつちや びゆーいむぬ まいどう あい (アカイラウツは毒のあるものもある)。

**あかうい** [akau] 【名詞】『果物・野菜』瓜 [表面がだいたい色の大き目の瓜。ふつうの瓜よりは硬い]。

**あかうぎーぬ んー** [akaugi:nu n:] 【成句】芋畑の取り残しの芋。【例】あかうぎーぬ んーぬどう ういゆー (取り残しの芋が生えている)。

**あがえ** [agae] 【感動詞】ああもう、ああしまった、ああ残念だ。**[変異]** あがい。

**あかがに** [akagani] 【名詞】銅。

**あかぎー** [akagi:] 【名詞】赤毛、赤毛の人 [実際には黒色が薄い髪、あるいはその髪の人を指す]。【例】あかぎー みどうんがま (赤い髪の女の子)。うまんな あかぎーや みーん (ここには赤毛の人はいない)。

**あかぐー** [akagu:] 【名詞】食紅 [昔はこれを入れて赤飯を作っていた]。

**あかぐい** [akagui] 【名詞】甲高い声、また、甲高い声をしている人。【例】うぬ みどうんがまぬ くいや あかぐい だらよ (その女の子の声は甲高い声なんだよ)。

**あかぐすな** [akagusina] 【名詞】つのまた [寒天の材料]。【例】あかぐすなひー たうふー

ちゅっふ (ツノマタで豆腐をつくる)。[類]  
うる。

**あかさ** [akasa] 【名詞】[C] 未婚女性の産んだ  
子供、私生児。 [類] あかさっぐあ。

**あかさっぐあ** [akasavva] 【名詞】 未婚女性  
の産んだ子供、私生児。 [類] あかさ。

**あかじゃら** [akazara] 【名詞】『魚』ベラ。  
【例】んなまから あかじゃらう つーが (今から  
ベラを釣りに (行こう))。

**あかじん** [akazin] 【名詞】『魚』赤メバル。

**あかす** [akasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 吉凶を  
占う、ユタが祈祷して予見したりする。【例】  
びきむぬすーぬ むぬー あかす (男性の祈祷  
師が吉凶を占う)。むぬすーぬ なうやひー  
んまー すにーはりーにやーンがていー あか  
す (祈祷師がなぜ母親は亡くなったか明らかに  
する [＜亡くなったかと])。

**あかすやー** [akasija:] 【名詞】床屋 [「あかそ  
ういやー」から来ているが「あかそうやー」と  
は言わない]。【例】あかすやーんきー あか  
ー そうりーくー (床屋に行って髪を切ってこ  
い)。[類] あかそういやー、さんぱつやー。

**あかそういやー** [akasuija:] 【名詞】床屋、散  
髪屋。【例】あかそういやーんきー あかう  
そうい (床屋に行って髪を切る)。[類] さんぱ  
つやー、あかすやー。

**あかたん** [akatan] ①【副詞】明るく (なる)。  
【例】すとうむていん なりどう ていんな  
あかたん なるー (朝になって空が明るくなっ  
た)。②【副詞】赤く (なる)。【例】さきや  
ーぬみー みはなー あかたん なるー (酒を  
飲んで顔が赤くなった)。あかぺんきやー  
ぬりー やーぬ かびゅーぎやー あかたん な  
しる (赤いペンキを塗って家の壁を赤くしな  
さい)。つみゅー あかたん そうみる (爪を赤  
く染める)。

**あかつ** [akatsi] 【名詞】[B] 血。【例】っざら  
ひー うゆびやー きりどう あかつちや い  
だひーにやーン (鎌で指を切って血が出てしま  
った [＜血を出してしまった])。

**あかつづあ** [akavva] 【名詞】赤ちゃん、赤ん  
坊。【例】あかつづあぬ んま (赤んぼの母親)  
あかつづあぬ んぎやーていー なつ (赤ち  
ゃんがおぎやーと泣く)。

**あかつすばい** [akatsisibai] 【名詞】血尿。  
【例】あかつすばいぬ いでいー いちやかいば  
ならん (血尿がでていたくて仕方がない)。

**あかつつ** [akatsitsi] 【名詞】明け方 [「しや  
ーか (深夜から午前3時ごろまで、未明)」より後  
で、日の出前]。 [類] しやーか。

**あかばたうい** [akabataui] 【名詞】スイカ。  
【例】あかばたういや うたひーみーきやー つ  
さきーにやーン (スイカを落としたら割れてし  
まった [＜「落としてみたら」意志的に落とし  
たという意味ではない])。

**あかばに** [akabani] 【名詞】赤毛、赤毛の人 [実  
際には黒色が薄い髪、あるいはその髪の人を指  
す]。 [類] あかぎー。

**あかばみつ** [akabamitsi] 【動詞】[k 語幹] 騒  
々しく騒ぐ。【例】みどうんみやー あかばみ  
きゅー (女性たちは騒々しくしている)。

**あかばみつ** [akabamitsi] 【名詞】騒々しく騒  
ぐこと。【例】みどうんみやー あかばみっ  
ちや ひーゅー (女性たちは騒々しくしている)。

**あかぶか** [akabuka] 【名詞】生理。【例】き  
ゅーや あかぶかぬどう いじゅー (今日は生  
理中だ)。

**あかぶす** [akabusi] 【名詞】金星。【例】てい  
んぬ あかぶす (天の金星)。

**あかふそう** [akafusu] ①【名詞】赤い便。 ②  
【感動詞】断るときに使う拒否の言葉、いやだ。

【例】あかふそう んば (いやと言ったら、いやだよ)。

**あかほうにや** [akahunja] 【名詞】人参。

**あかま** [akama] 【名詞】[C] 船底に溜まった水。

【例】ふにぬ あかまう ん<sup>ん</sup>み (船底に溜まった水を汲め)。<sup>ん</sup>[類] あか。

**あかます** [akamasi] 【動詞】[s/h 語幹] 赤くする；(顔を) 赤らめる。

【例】やどうんかい ぺんきやー ぬりー うまう あかます (ドアにペンキを塗ってそこを赤くする)。ばかすかいば みはなう あかますたい (恥ずかしくて顔を赤らめた)。

**あかやー** [akaja:] 【名詞】リーフと島の間にある岩の凸凹しているところ。魚がたくさんいる。

【例】あかやーんな っぞうぬどう むいとううい (アカヤーには魚がたくさんいる)。

**あかやっとう** [akajattu] 【副詞】「やっとう」

の強調形、やっとのこと。【例】だいがくんかいや あかやっとうがまんどう ごーかくあすたい (大学にはやっとのことで合格した)。<sup>ん</sup>[類] やっとう。

**あからす** [akarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (部屋などを) 明るくする。

【例】でんとーゆ つきーくまー あからし (電灯をつけてここを明るくしなさい)。

**あかん** [akan] ① 【動詞】[m 語幹] [A] (周りが) 明るくなる；陽が昇る。

【例】ていだーあがりどう ていんな あかみどうーたい (太陽が昇って、空が明るくなっていた)。んなーぎやー ていだー あかまん (まだ日が昇っていない)。ていだぬ あかんでいがー はいんかい (日が昇ったら畑に(行こう))。② 【動詞】[m 語幹] [A] (色が) 赤くなる。【例】ふがさーあかみどう んみゆー (おできは赤くなって膿んでいる)。

**あかた** [akanta] 【名詞】赤土。

【例】あかたばい (赤土の畑)。あかたんな むぬー

まーぬ でいきん (赤土には作物はあまりできない)。

**あかんちや** [akantça] 【名詞】《魚》ロクセン

フエダイ。【例】あかんちやう つー (ろくせんふえだいを釣る)。

**あき** [aki] 【動詞】[母音語幹] [A] (周りが) 明るくなる、陽が昇る、(夜が) 明ける。

【例】ていだぬ あきていがー はいんかい (日が昇ったら畑に(行こう))。[類] あつ (k 語幹)、あふ (k 語幹)、あかん (m 語幹)。

**あき** [aki] 【名詞】[B] 秋。

【例】くまんな あきやー にやーん (ここには秋はない)。

**あき** [aki] 【動詞】[母音語幹] [A] (ドアなどを)

開ける；(土地を) 開墾する。【例】やどうーあきる (戸を開けろ)。はいゆ あきー (開墾する)。<sup>ん</sup>[類] あつ、あふ。

**あきしゃる** [akiçaru] 【名詞】《古語》早朝。

【例】あきしゃるぬ つゆが はな (早朝の露の花 [古謡「豆が花」から])。[類] しゃーか。

**あきず** [akizi] 【名詞】[A] 《古語》トンボ。

【例】んきやーんな あうそうんぬぎやー あきずていーまい あっじゆーたいが おーかん (昔はトンボのことをアケズとも言っていたようだ)。

**あぎまーす** [agima:si] 【動詞】[s/h 語幹] せ

かす。【例】まーぬ ばぬー あぎまーすな (あまり私をせかすな)。すかまう はやまり あっそうていー あぎまーす (仕事を早くやれとせかす)。

**あきや ふー ふー** [akija fu: fu:] 【成句】

(戸を) 開けたり閉めたり。【例】やどうーあきや ふー ふー ほうー (戸を開けたり閉めたりしている)。

**あきやうだ** [akjauda] 【名詞】商人、仲買人。

【例】っぞうあきやうだ (魚の仲買人)。あきやうだぬ あつない あす (行商人が商いする)。

**あきんさう** [akinsau] 【名詞】(石切り場など使う非常に重い)金棒。【例】あきんさうゆうまんかい うすんき(金棒をそこに差し込みなさい)。あきんさうひー いっそう むたず(金棒で(てこの原理で)石を持ち上げる。あきんさうひー あなう あきー(金棒で穴を開ける [く上からたたきつけて開ける])。]

**あぐ** [agu] 【名詞】[C] 同じ干支の人 [ふつうは同じ年回りの人で集まったりする]、同級生。【例】まーらいが そうじゃぬ あぐ(一回り上の同じ干支の男性)。あぐー かなすかいばならん(同級の友だちはいとおいしい)。

**あくまがま** [akumagama] 【名詞】生後間もなく亡くなった子供 [墓に入れないので麻袋に入れて土に埋める]。【例】あくまがまうぎやー むとうんかいや いらん(生後間もなく亡くなった子供は墓には入れない)。

**あさ** [asa] 【形容詞】[A] 浅い。【例】あさ いんがま(浅瀬)。うまぬどう かまんつきやー あさかい(ここのほうがあそこより浅い)。

**あさぎ** [asagi] 【名詞】[C] 物置小屋、屋敷内の農具、薪等を入れる家。【例】たむぬーぎやー あさぎん うつつ(薪を物置小屋に置く)。たむぬー あさぎんどう あい(薪は物置小屋にある)。

**あさってい** [asatti] 【名詞】明後日。【例】あさっチャー うつなーんかい(明後日は沖縄に行く)。<sup>○</sup>[変異] あさてい。

**あさてい** [asati] 【名詞】[C] 明後日。[変異] あさってい。

**あし** [aci] 【名詞】[C] 朝食。【例】じよ、あしやー ふあいー はいんかい(朝ご飯を食べて、畑に(行こう))。じよ、あしゆー ふあーでい(さあ、朝ご飯をたべよう)。<sup>○</sup>[類] すとうむていむぬ。

**あし** [aci] 【名詞】[B] 汗。【例】あしゆー かつ(汗をかく)。あつふ ないていがー あしゆーどう かつ(暑くなると汗をかく)。あしやー たいたいていー たらほうー(汗をばたばたとたらしめている)。

**あじゃ** [aza] 【名詞】[B] ホクロ。【例】かりやー あじゃ あい びとう(あの人はホクロの多い人だ)。ふたいぬ あじゃ(額のほくろ)。

**あじゃーな** [aza:na] 【形容詞】(話すこと、行動に)自制心がない、短気な、急に何かをしでかす; (仕事などが)ちゃんとしていない。【例】あじゃーなんまり(何をしでかすかわからないやつ)。かりやー ふつあじゃーなかいばならん(あいつは言い出すと自制できない)。ふつあじゃーなんまり(言いたい放題に喋る奴)。にゆーあじゃーなんまり(寝癖の悪い奴)。あじゃーな すかま(駄目な仕事)。<sup>○</sup>[変異] あちゃーな。<sup>○</sup>[類] あーつな。

**あじゃんつ** [azantsi] 【動詞】[k 語幹] (駄々をこねている子を)あやす、なだめる、言い聞かす。【例】なつっじゃ っふあう あじゃんつ(泣く子をあやす)。つうあが ぶとうーぎっじゃ ひらいんば、まさぐんてい あじゃんきー ならーし。(あんたの旦那は言うことを聞かないので、よく言い聞かせなさい)。<sup>○</sup>[変異] あじゃんふ。

**あじゃんふ** [azanfu] 【動詞】[k 語幹] (駄々をこねている子を)あやす、なだめる、言い聞かす。[変異] あじゃんつ。

**あしん** [acin] 【名詞】[A] 汗疹(あせも)。【例】あつふ ないていがー あしんぬどう いでいー(暑くなると汗疹が出る)。

**あす** [asi] <sup>○</sup>【名詞】[B] 歩幅。【例】やぐみながあす(とても歩幅が大きい)。かいんかいや あすぬ うゆばんば ばぬんな きょうさにやーや かちやいん(彼には歩幅が負けるから私には(彼に)競争は勝てない)。やぐみ

ながあす は一びとう (コンパスが長くて速い人)。  
 ②【名詞】[B] 足取り。【例】あっさ むちゃん (足取りが心もとない) ③【名詞】[B] (建築物、自然物の) 下の土地、(山の) ふもと、(島などの) 海岸に接する下の部分。【例】ほうぎーぬ あっさ すだすむぬ (大きな木の生えている下は涼しい)。ぼんていが やーや やまぬ あすんどう あい (私たちの家は山のふもとにある)。

**あす** [asi] 【動詞】[不規則] [A] やる、する。  
 【例】ばが ほうでい (私がしよう)。んなまーなうゆどう ひーゆー (いまなにをしてるの) かんち あさまてい (こんなふうになさってください)。あんち ほうんまい ゆぬくとう (そんなことしてもおなじだ)。うるー たるがなーん あすみる (それをだれか (ほかの人) にやらせなさい)。やらびやー ばらいがま あす (子供は笑っている [＜子供は笑いをする])。うらー あすやすむぬ (それはやりやすい)。

**あず** [azi] 【名詞】[C] 味。【例】あずぶたむぬ (味が濃い)。あずぬどう うすかい (味が薄い)。あっじゃ にやーん (味が無い)。あずくーた (味がとても濃い)。

**あずがー** [aziga:] 【名詞】硬口蓋、上あご。  
 【例】あてい あずまむぬー ふあうていがー あずがーぬどう ひぎやうかいば ならん (とても甘いものを食べると硬口蓋がくすぐったくならない)。  
 【類】あずく。

**あすかた** [asikata] 【名詞】やり方。【例】なうばい あすかたまい にやーん (どうしようもない)。あすかたう ならひー ふいーさまてい (やりかたを教えてください)。うぬ げーむぬ あすかたうぎやー っしっどう うらまいな (このゲームのやり方をご存じですか)。

**あずき** [aziki] 【動詞】[母音語幹] [C] (もの、人をだれかに) 預ける。【例】ぎんこーんかいでいんぬ あずきー (銀行に金を預ける)。っ

ふあう むらにん あずきー (子供を子守に預ける)。

**あずく** [aziku] 【名詞】[C] 硬口蓋、上あご。  
 【例】あずくん むぬぬ たばりゆー (上顎に食べ物がかっついている)。  
 【類】あずがー。

**あずくや** [azikuja] 【名詞】シャコガイの殻。  
 【例】にぐーぬ からう あずくやていー あい (シャコガイの殻をアズクヤと言う)。

**あずつ** [azitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 預ける。  
 【例】どうすんかい でいんぬ あずつ (友だちに金を預ける)。  
 【類】あずき。

**あすはっじゃき** [asihazzaki] 【動詞】[母音語幹] やり損ねる。【例】あすはっじゃきー げんのーひー うなが うゆびゆー ったきー にやーん (間違えて金づちで自分の指を叩いてしまった)。  
 【類】あすはっじゃつ。

**あすはっじゃつ** [asihazzatsi] 【動詞】[k 語幹] やり損ねる。【類】あすはっじゃき。

**あずま** [azima] 【形容詞】[B] (味が) 甘い。  
 【例】さたー あずまむぬ (砂糖は甘い)。かーっさ あずまむぬ (お菓子は甘い)。

**あずまうつ** [azimautsi] 【名詞】おせじ、甘言。  
 【例】かりやー あずまうつびとう やいば かいが ふつぐるまんぬ ぬーいな (彼は口のうまい人だから彼の口車には乗るな)。

**あすみ** [asimi] 【動詞】[母音語幹] [A] 「あす」の使役形、させる。【例】すかまう あすみ (仕事をさせる)。

**あそうー** [asu:] 【動詞】[b 語幹] [A] 遊ぶ。  
 【例】みなかん いんがまとう あそうー (庭で犬と遊ぶ)。やらびやー あそうーたらーん (子供は遊び足りない)。まさいや すかまー ほうだ あそうびゆー (マサイは仕事をしないで、遊んでいる)。



**あそうー** [asu:] 【名詞】[A] 遊び。【例】やらびぬ すかまー あそうーどう すかま (子供の仕事は遊ぶことだ)。くぬいぬ やらびんみゃー あらぬ あそうーゆぎゃー っさん (最近の子供は外の遊びを知らない)。くぬいぬ やらびんみゃー あらん あそうーむぬーぎゃー ほうん (最近の子供は外で遊ぶことをしない)。

**あたい** [atai] 【動詞】[C] コピュラ、繫辞「あい (だ、である)」の過去形。「～であった、だった」の意味を表す。

**あたい** [atai] 【動詞】[C] 存在動詞「あい (ある)」の過去形、「あった」の意味を表す。

**あたい** [atai] 【名詞】[A] (「名詞+ぬ・が」、動詞基本形につけて) そのことの程度が大きくないこと、難しくないことを表す、「～くらい」、「～なんか」。【例】うぬ あたいがまー なうまいあらん (そのくらいのことは何でもない)。でいぬぬ じゃーん あいていがー、あめりかんかい いふ あたいや どうーやすむぬ (金さえあれば、アメリカに行くぐらいは簡単だ)。

**あたい** [atai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (的に) 当る、(答えが) 当たる、(いい人に) 当たる、正しい。【例】ふっじゃ あたりーにゃーん (くじは当たった)。うりゃー あたりゆーむなうむばぬんな さだかー ひらいん (それはあっているのか否か私には判断できない)。かりゃー じゃう とうずんかいどう あたりゆー (彼は良い奥さんに巡り合っている)。ばー きゅーや ふーや ありどう じゃうひとうんかい あたりゆーい (私は今日は運がよくていい人に当たった)。つうあー あたらん (あなたは間違っている)。

**あたい** [atai] 【名詞】[A] (くじなどの) 当たり、正解、正しいこと。【変異】あたり。

**あたいさわい** [ataisawai] 【名詞】支障、あたりさわい。

**あたくま** [atakuma] 【名詞】不意、急なこと。

【例】かいが たぬんな あたくまどう あたい (彼の頼みは急だった)。かいが あたくまぬ たぬん (あいつの急な頼み)。ういびとうー あたくまん すにーにゃーん (年寄りには急に亡くなった)。あたくまん ふにゃー すずみーにゃーん (あつという間に船は沈んでしまった)。  
【類】あたふず。

**あたくまん** [atakuman] 【副詞】急に、あつという間に。【例】あたくまん かでいっふちやうていーにゃーん (急に台風が来た)。やらびゃー あたくまん ほういふ なりゆーたい (子供はあつという間に大きくなっていった)。あたずむひとうー あたくまん つむでいー んなす (短気な人は急に怒ってしまう)。  
【類】あたふずん。

**あたずむ** [atazimu] 【形容詞】短気、短気な。

【例】かりゃー あたずむんまり (彼は短気な奴だ)。かりゃー あたずむ やいば なうちゃーにゃー つむでいー (彼は短期なのでなんでもないことに腹を立てる)。

**あだつ** [adatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] (足りないもの、必要なものを) 探し求める。【例】くらー うまんな にゃーんば まっちゃんきー あだていー くー (これはここにはないので、お店に行って買ってこい)。やーぬ ぬくずーや っちゃんば あがいにゃーんきー つーぬくずーゆ あだていー くーでい (家のノコギリは切れないので東隣りの家に行って借りて来よう)。  
【類】あだてい。

**あだてい** [adati] 【動詞】[母音語幹] [C] (足りないもの、必要なものを) 探し求める、買い求める。【類】あだつ。

**あだなす** [adanasi] 【名詞】〔植〕アダンの木の気根 [縄をなうのに用いる]。【例】んぎやまー まーりどう あだなっそう とういったい (アダンの木がたくさん生えているところを

回って気根を取ってきた)。あだなすひー ん°  
なう なう (アダナスで綱をなう)。

**あだなす ん°な** [adanasi ɲna] 【名詞】ア  
ダンの木の気根で編んだ綱。

**あたばかりい** [atabaka:i] 【名詞】ちょっと  
の間 [副詞としても使える]。【例】あたばかり  
いがま ばー いきー くーっじゃー うぬ  
っふあがまう みーうきよ (ちょっとの間出  
かけてくるから子供を見といてくれ)。あたば  
かりいぬ ちゃん ぬそどうー ひんぎーは  
りーにやーん (ちょっとの間に泥棒は逃げて行  
った)。

**あたふず** [atafuzi] 【名詞】あつという間。 [類]  
あたくま。

**あたふずん** [atafuzin] 【副詞】急に、突然に、  
あつという間に。【例】あたふずん ふにやー  
すずみーにやーん (あつという間に船は沈ん  
でしまった)。 [類] あたくまん。

**あたらか** [ataraka] ① 【名詞】大切なもの；大  
切なこと、大切である性質。【例】ばぬんな  
なうんつきやーまい とうずぬどう あたらか  
(私には何よりも妻が大切だ)。でいんな あた  
らか やいば まさぐん つかい (お金は大切  
なものだから正しく使いなさい)。 [類] あたら  
き。 ② 【形容詞】大切だ。【例】でいんな あた  
らかかいば まさぐん つかい (お金は大切な  
ものだから正しく使いなさい)。 [類] あたらき。

**あたらかぬ** [atarakanu] 【連体詞】大切な。  
【例】あたらかぬ みどうんつうあうぎやー つ  
うあんかいや ふいーん (大切な娘をお前には  
やらない)。 [類] あたらす。

**あたらき** [ataraki] ① 【名詞】大切なもの；大  
切なこと、大切である性質。 [類] あたらか。  
 ② 【形容詞】大切だ。 [類] あたらか。

**あたらす** [atarasi] 【形容詞】大切な、愛おし  
い。【例】ばが かなす あたらす ぶとう

(私の愛しい大切な夫)。あたらす ずん (大切  
な着物)。ばー みどうんぬぎやー あたらすか  
いば ならん (私は妻が愛おしくてならない)。  
 [類] あたらか、あたらき。

**あたらさ あす** [atarassa asi] 【成句】[s/h  
語幹] 大切にする。【例】むぬーぎやー あた  
らさひー ふあい (食べ物は大事にして食べ  
なさい)。さやふだうーゆぎやー あたらさ  
ひー つかい (大工道具を大切に使いなさい)。  
んぬっちゆぎやー あたらさ ほうだかーな  
らん (命は大切にしないとイケない)。

**あたらん** [ataran] 【動詞活用形】当たってな  
い、まちがっている [「あた (r/rr 語幹) : 答  
えが正しい、言っていることが正しい、適当で  
ある」の否定形]。【例】つうあー あたらん  
(あなたは間違っている)。つうあが むぬいや  
あたらん (お前の言っていること間違ってい  
る [内容、言い方の両方を指せる])。さんばん  
ぬ くだいや あたらんば なうし (3番の答  
えは間違っているから直しなさい)。

**あたり** [atari] 【名詞】[A] くじなどの 当たり、  
正解、正しいこと。【例】うぬ ふずんな あ  
たりやー にやーん (このくじにはあたりはな  
い)。つうあが くだいや あたり (お前の答  
えは正解だ)。かいが あっじゅー くとうー  
あたりや あらん (あいつが言っていること  
は正しくない)。 [変異] あたい。

**あたりゆーむ なうむ** [atarju:mu  
naumu] 【成句】正しいのか正しくないのか。  
【例】うりやー あたりゆーむ なうむ ばぬ  
んな さだかー ひらいん (それはあっている  
のかどうか私には確認できない)。

**あだん** [adan] 【名詞】[C] 『植』アダン。【例】  
あだんな ばすまい つばまい ふあーいどう  
す (アダンは中の実も外の実も食べられる [中  
の実を「ばす」、外の実を「つば」という])。 [類]  
あだんぎー、んぎ。

**あだんぎー** [adaŋgi:] 【名詞】〔植〕アダンの木。〔類〕あだん、んぎ。

**あだんば** [adamba] 【名詞】〔植〕アダンの葉〔草履や帽子を作るのに使われる〕。【例】あだんば やー (アダンの木で作られた家)。

**あちや** [atɕa] 【名詞】〔B〕明日。【例】きゅーや きゅー あちやー あちや (今日は今日、明日は明日だ [ > 今日できることは明日に持ち越さない ])。また あちゃんかい (また明日 [ 別れの挨拶に使う ])。あちやー あみ はず (明日は雨だろう)。

**あちやーな** [atɕa:na] 【形容詞】短気な、急に何かをしでかす。【例】あちやーなんまり (急に何かをしでかす短気な奴)。〔変異〕あじやーな。

**あちやがみやー ひとつに** [atɕagam-ja: hituni] 【成句】翌朝まで目覚めることなく寝ること。【例】すばいすーがまい いかだ あちやがみやー ひとつに ほうでい (小便しにも行かないで明日まで起きることもなく熟睡しよう)。きゅーぬ すかまー くーかたいば あちやがみやー ひとつにはず (今日の仕事はつらかったから朝までぐっすりだろう)。

**あつ** [atsi] ① 【形容詞】〔B〕(物が) 熱い。【例】あつみず (お湯 [ < 熱い水 ])。あつちやー (熱いお茶)。うまっちや あつむぬ やいば うまんかいや ゆっじゃだうり (火は熱いのでそこには近づくな)。② 【形容詞】〔B〕(天気) が暑い。【例】きゅーや あつかいば ならん (今日は暑くてたまらない)。きゅーや あつかいば うゆばん (今日は暑くてたまらない)。なつん なりー あつふ ならーにやーん (夏になって暑くなった)。

**あつ** [atsi] 【動詞】〔k 語幹〕〔A〕(周りが) 明るくなる、陽が昇る、(夜が) 明ける。【例】ていだぬ あつていがー はいんかい (日が昇っ

たら畑に (行こう))。〔変異〕あふ。〔類〕あき (母音語幹)、あふ (k 語幹)、あかん (m 語幹)。

**あつ** [atsi] 【動詞】〔k 語幹〕〔A〕開ける、(隙間) が空く。【例】やどろー あつ (戸を開ける)。やどろー あきや うらん (戸が開いていない)。〔変異〕あふ。〔類〕あーつ、あーふ、あき。

**あつづあ** [avva] 【名詞】〔B〕油、脂。【例】あつづあんそう (油みそ [ ブタの脂肉と味噌を炒めたもの ])。ひんじやぬ あつづあ (ヤギの脂)。

**あつづあうつ** [avvautsi] 【名詞】お世辞、綺麗ごと; またそれを言う人。【例】あつづあうつ むぬぬ むぬいゆぎやー つかだうり (お世辞を言う奴の話は聞くな)。あらうつびとー あらから あいそうが あつづあうつびとー ひとつー ほうみー ひとつんかい びらう (歯に衣着せず喋る人はストレートに話をするが、お世辞をいう人は人にへつらう)。

**あつづあびーた** [avvabi:ta] 【名詞】(肉などが) 脂っこい、油まみれ。【例】くぬ わーや あつづあびーた やいば んめ ふあーいん (この豚肉は油っこいのでもう食べられない)。かいが つんな あつづあびーた (彼の服は油まみれだ)。つづあが あつづあびーた みはなう ぁらいー くー (お前の脂ぎった顔を洗ってこい)。

**あつづあびーた** [avvabi:ta] 【形容詞】脂っこい、油まみれ。【例】くぬ わーや あつづあびーたかいば んめ ふあーいん (この豚肉は油っこいのでもう食べられない)。

**あつづあみー** [avvami:] 【名詞】〔魚〕クマノミ。【例】あつづあみーがまー っぞうぬみー とうどう ひとつみ ぅい (クマノミはイソギンチャクと一緒にいる)。

**あつづい** [avvi] ① 【動詞】〔母音語幹〕〔C〕火に当たる。〔類〕あうー。② 【動詞】〔母音語

幹] [C] (食べ物)をあぶる; (火に)当てる。  
[類] あうー。

**あっがー** [agga:] 【感動詞】痛いときに出す悲鳴。 [変異] あがー。

**あっく** [akku] 【名詞】 [C] 悪口。 [変異] あっこ。 [類] あっくー、あっこー。

**あっくー** [akku:] 【名詞】悪口。 【例】あっくー あす (悪口をする)。 [変異] あっこー。 [類] あっこ。

**あつぐー** [atsigu:] 【形容詞】分厚い。 【例】あつぐー かびー (分厚い紙)。あつぐー んみゅーつ (分厚い胸)。うぬ すーっさ あつぐーかいば そうらいん (この肉は分厚いので切れない)。

**あっこ** [akko] 【名詞】 [C] 悪口。 [変異] あっく。 [類] あっくー、あっこー。

**あっこー** [akko:] 【名詞】悪口。 【例】あいやひとぅーぎゃー あっこーゆぎゃー ほうん (そんなに人の悪口を言うもんじゃない)。 [変異] あっくー。 [類] あっく。

**あつさ** [atsisa] ① 【名詞】 [C] 熱さ、熱いこと。 【例】くぬ ちゃーぬ あつさー やぐみ あつさ (このお茶はとても熱い)。 ② 【名詞】 [C] 暑さ、暑いこと。 【例】なつぬ さなかー あつさぬ ばんず (真夏は暑さの盛り)。きゅーぬ ひーていーぬ あつさぬ (今日の太陽はとても暑い)。きゅーぬ あつさー やぐみ あつさ (今日の暑さはひどい)。

**あつさむい** [atsisamui] 【名詞】暑がり、暑さに弱い。 【例】くぬ やらびゃー むいとう あつさむい (この子はとても暑がりだ)。

**あっじ** [azzi] 【動詞活用形】 [A] 「あい (言う、歌う)」の連用形; 「あい (言う、歌う)」の命令形。 【例】あーぐー あっじーみーる (歌をうたってください)。やらびんかいや あっじー

つかひー ならーし (子供には言い聞かせて教えなさい。あーぐー あっじ (歌を歌って)。 [変異] あい。

**あっじや** [azza] 【名詞】 [B] (畑、道、教室などの) 端、すみ。 【例】はいぬ あっじやう あいつ (畑の端を歩く)。んつぬ あっじや (道の端っこ)。こーえんぬ あっじや (公園の端っこ)。きょーしつぬ あっじや (教室のすみ)。

**あっじやき** [azzaki] 【名詞】畑の端の草木を切ること。 【例】つぐあー きゅーや はいぬ あっじやきゅー ひーくー (お前は今日は畑の端の草刈りをしてこい)。はいぬ あっじやきゅー あす (畑の端の草かりをする)。

**あっそう** [assu] 【動詞活用形】 [不規則] [A] 「あす (やる、する)」の命令形。 【例】すかまう あっそう (仕事をやれ)。つぐあが あっそう (お前がやれ)。すかまう はやまり あっそうていー あぎまーす (仕事を早くやれと急かす)。かりゅーぎゃー っさん ふい あっそう (あいつのことを知らない振りしなさい)。

**あっそうが** [assuga] 【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。 【例】あーぎぬ がっこーん かい いつぶすむぬ。あっそうが やーんな でいんな にやーん (上の学校に行きたい。でも、家には金がない)。 [変異] あいえいそうが、あいやそうが、あいやいそうが。

**あったす** [attasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 沸かす、あたためる。 [変異] あっちやす。

**あったみ** [attami] 【動詞】 [母音語幹] (人、ものを) 叩く、(釘、ボールなどを) 打つ。 【例】たるが なーがどう やどうふっちゅ あったみゅー (だれかがドアを叩いている)。やらびゅー あったみや ならん (子供を叩いてはいけない)。ぼーるー ぱっとひー あったみる (ボールをバットで打ちなさい)。かにふっじゅ げんのーひー あったみたい (釘を金づちでたたいた)。

**あっち** [attɕi] 【動詞】[母音語幹] [C] 熱くなる、沸騰する。【類】あつ。

**あっちゃ** [attɕa] 【名詞】[C] 下駄。【例】あっちゃう ん<sup>ん</sup> (下駄を履く)。

**あっちゃい** [attɕai] 【動詞】[母音語幹] 託す、持って行ってくれと頼む。【類】あっちゃう。

**あっちゃう** [attɕau] 【動詞】[w 語幹] 託す、持って行ってくれと頼む。【例】うつな一んかいぬ むぬ一 かいんかい あっちゃい一 むたすたい (沖縄への物を彼に頼んで持ってってもらった)。むぬ一 どうすんかい あっちゃい一 っふあんかい むちやすたい (物を友人に託して子供に渡してもらった)。【類】あっちゃい。

**あっちゃす** [attɕasi] 【動詞】[s/h 語幹] 沸かす、あたためる。【例】みっじゅ あっちゃす (お湯を沸かす [＜水を沸かす])。ちゃーゆ あっちゃす (お茶を沸かす)。くぬ んつつーゆ あっちゃし (このみそしるをあたためてくれ)。【変異】あつたす。

**あっちゃぬぶ一** [attɕanubu:] 【名詞】下駄の緒。【例】あっちゃぬ ぶ一や つっちゅーば なのはだか一ならん (下駄の鼻緒が切れているのでなおさないといけない)。

**あつ** [attsɪ] 【動詞】[cc/tt 語幹] [C] 熱くなる、沸騰する。【例】みっじゃ あつちーどう一 (水は熱くなっている [＞沸騰している])。【類】あっち。

**あつない** [atsinai] 【名詞】商い。【例】あきやうだぬ あつないあす (行商人が商いする)。ぬずんどう あつない (希望するからこそ商い [＞商売は両者が望むからこそ成り立つ])。きゅーまい んま一 っさらんき一 あつないあすが (今日もお母さんは平良の町に商売に (出かけた))。

**あっは一い一** [ahhɪi:] 【感動詞】何を言っているかと相手を馬鹿にする時に使う。【例】A: ば一 でいんな さんおく あり一 B: あっは一い一 ほうりむぬいゆぎゃ一 あすな (A: 俺は金が三億ある。B: ばかなことを言うな)。【類】あっは一え一。

**あっは一え一** [ahha:e:] 【感動詞】何を言っているかと相手を馬鹿にする時に使う。【類】あっは一い一。

**あてい** [ati] ① 【副詞】(動詞を修飾して) 十分に (～することができる)。【例】うさきぬ さきがまうぎゃ一 たうか一ひ一 あてうどうぬん (それくらい酒は一人で十分に飲むことができる)。うぬ ふくるんかいや あていどう はい一 (この袋に十分に入る)。② 【副詞】理由表現の中に使われて形容詞の程度が大きいことを表す、余り (～ので)。【例】と一きょ一んな あてい ひとつぬ ういかいば ひとつびゅ一いぬ あす (東京には人が多すぎて人酔いする)。かぬ みどうんな あてい あばらぎかいばならん (あの女性は余りにも美しい)。ぶとう一 すなひ一 あてい かまらすかいばならん (旦那を亡くして余りにも悲しくてならない)。【類】あていくどう。

**あてい** [ati] 【名詞】[C] 当て、生きがい。【例】っふあぬどう ばが あてい (子供が私の生きがいだ)。【類】みあてい。

**あてい か一ん** [ati ka:n] 【成句】(～するのに) 十分すぎる、十分に (～することができる)。【例】うまんな ふあうむぬ一 あてい か一んどう あい (ここには食べるものは十分過ぎる程にある)。ばが たま一 うさきひ一 あてい か一ん (私の分はそれだけで十分過ぎる)。あてい か一ん っしーどう一 (十分過ぎる程に知っている)。

**あていが一** [atiga:] 【接続詞】それでは、じゃ一。【例】あていが一 ば一 や一んかい はらでい (それでは私は家に帰る)。

**あていくとう** [atikutu] 【副詞】 余り (～の  
で)。【例】 ばーが すんたい とうきやんな  
あていくとう かまらずかいば ならっだん  
(祖母が亡くなったときには余り悲しくてどう  
しようもなかった)。あがいー っづあが び  
ーや あていくとう っさかいば んびやーい  
ん (お前の屁は臭くてがまんできない)。ばか  
かいきやー あていくとう むぬふあう く  
かいば まいやーまいにち なきどう うたい  
(若いときは食べるにも困っていたので、毎日毎  
日泣いていた)。[類] あてい。

**あでいふ** [adifu] 【名詞】 [C] タコの巣、タコ  
の巣のありか。【例】 たくぬ あでいふーぎや  
ー たるんかいまい ならーはん (タコの巣の  
場所はだれにも教えない)。たくぬどう あで  
いふん びじやりーうたい (タコがタコの巣に  
デンと座っていた)。

**あとう** [atu] 【名詞】 [C] (時間的に) 後 (あと)。  
【例】 また あとうんかい (また後で)。か  
いが あとうから はり (あの人の後から帰りな  
さい)。あうやー ひーまい あとうー にや  
ーん ひとつ (言い合いをしても後に持ち越さ  
ない人)。あとうぬ ひーぬ ぶーとうい (最  
終日のブートウイ [ミヤークズツの最終日に旗  
を触って神様からの果報をもらう儀式])。あ  
とうぬ ゆー (後の世)。あとう ほうかんな  
あいどうすな (あとほかにありますか)。

**あどう** [adu] 【名詞】 [B] かかと。【例】 あどう  
ぐるー ふあーす ((人)を踵で強く打つ)。

**あとう ひとうむちやき** [atu hitu-  
mutçaki] 【成句】 残りの一踏ん張り、残り僅か  
の仕事。【例】 くーかいそうが あとう ひ  
とうむちやき やいば わいていー ほうだか  
ーならん (疲れているが残り僅かの仕事だから頑  
張らないとならない)。

**あとうがま** [atugama] 【名詞】 後妻、後添え。  
【例】 かが あとうがまー あばらぎ ばか

みどうん (彼の後妻は若くて美人だ)。[類] あ  
とうどうみ。

**あとうざん** [atuzan] 【名詞】 後産、胎盤。  
【例】 あとうざんぬ はやまり いだはだか  
ーならん (後産を早く出さないといけない)。

**あとうだま うーだま** [atudama u:dama]  
【成句】 残り物に福がある。【例】 いらう ぬ  
かすぬどう あとうだま うーだま (選び残し  
たものに残り福がある)。

**あとうどうみ** [atudumi] 【名詞】 後妻、後添  
え。[類] あとうがま。

**あとうなうい** [atunau] 【名詞】 大器晩成。  
【例】 ばが ぶじやー あとうなういや ひー  
うやきん なるー (私の叔父は大器晩成で金持  
ちになった)。

**あとうぬひー** [atunuhi:] 【名詞】 『祭礼』ミヤ  
ークズツの最終日 [ブートウイと呼ばれる]。

**あとうぬゆー** [atunuju:] 【名詞】 後の世。

**あな** [ana] 【名詞】 [B] 穴、(人や物の) 欠損。  
【例】 うまん かんぬ あなぬ あい (そこにカ  
ニの穴がある)。ういが あなー っふあはい  
ん (あの人の穴は埋められない [その人に能力  
があったので後が埋められないという意味と、  
その人が作った損失が埋められないという意味  
の両方がある])。あなう ぶーつ (穴を開ける  
[物理的に穴を開けるという意味と、損失を作る  
という意味がある])。

**あな** [ana] 【連体詞】 そんな (何でも無い物)。  
[変異] あにや。[類] あなる、あにやる。

**あなみ** [anami] 【動詞】 [母音語幹] [C] ねだ  
る。

**あなみ** [anami] 【動詞】 [母音語幹] [C] (人)を  
叱る。[類] あなん。

**あなむぬー** [anamunu:] 【副詞】 ほかに方法が  
ないから、しかたなく。[変異] あにやむぬー。

**あなる** [anaru] 【連体詞】 そんな (何でもない物)。 [変異] あにやる。

**あなん** [anan] 【動詞】 [m 語幹] [C] (人を) 叱る。 【例】 ひとつーぎゃー まーぬ あなまん (人をあまりしかるな)。 [類] あなみ。

**あなん** [anan] 【動詞】 [m 語幹] [C] (人にもものを) ねだる [「ひとつんかい (人に) むぬー (ものを あなん (ねだる))」の形と「ひとつー (人を) あなん (頼む)」の形がある]。 【例】 ひとつんかいや むぬーぎゃー あなまん (人に物をねだらない)。ひとつー あなみー むぬーっじー ふあう (人にねだって食事をもらって食べる)。 [類] あなみ。

**あに** [ani] 【名詞】 [C] 姉。 【例】 あに そうじやぬ むぬいゆぎゃー うっとうんみゃー わいていー つきーならい (姉、兄の忠告は弟・妹たちはしっかり聞いて身に付けなさい)。はーに (長女 [「親からいう長女」と「自分の一番上の姉」の両方使える])。なかーに (次女 [「親からいう次女」と「自分の上から二番目の姉」の両方使える])。

**あにそうじゃ** [anisuzja] 【名詞】 姉さんと兄さん。 【例】 みがとう まさいがどう ばが あにそうじゃ (ミガとマサイが私の姉と兄だ)。

**あにや** [anja] 【連体詞】 そんな (何でもない物)。 【例】 あにや かーかにがまぬどう でいんない (そんな何でもない空き缶がお金になる)。あにやむぬがまうぎゃー っじん (そんなものは受け取れない)。ばが たまー あにや うさきがまいー (私の分はそんなものなんだな)。 [変異] あな。 [類] あにやる。

**あにやむぬー** [anjamunu:] 【副詞】 ほかに方法がないから、しかたなく。 【例】 きゅーや あみまい っふゆーば、あにやむぬー やーん ゆくいー うらでい (今日は雨も降っているし、仕方がないから家で休んでいよう)。でいんまい にやーんば あにやむぬー うつなーん

かいや いかじゃーん (金がないので、仕方ないけど沖縄には行かない)。じゃうかいむぬーにやーんば あにやむぬー うるー かーでい (いいものはないので仕方ないからこれを買おう)。 [変異] あなむぬー。 [類] あうぬー。

**あにやる** [anjaru] 【連体詞】 そんな (何でもない物)。 [変異] あなる。 [類] あにや。

**あぬゆ** [anuju] 【名詞】 [A] あの世、かの世。 【例】 ぱーや あぬゆんかい はりーにやーん (祖母はあの世に行ってしまった)。 [変異] あぬゆー。 [類] かぬゆ。

**あぬゆー** [anuju:] 【名詞】 あの世、かの世。 [変異] あぬゆ。

**あば** [aba] 【感動詞】 あれ、何 [「あば、あば」と繰り返して使うこともある]。 【例】 あば うらー なうが (一体それは何だ)。あば うらー なうどう あた (あれ、それは何だったかな)。あば あば なうていーぬ ばーが (あれ、どうなってるの)。

**あば** [apa] 【名詞】 [C] 『魚』 オニオコゼ (毒魚の一種)。 【例】 あばぬ つーずんな どうくぬどう あい (オニオコゼの刺には毒がある)。

**あば うどうるつ** [apa udurutsi] 【成句】 いきなりビックリすること。 【例】 まずむぬー みー あば うどうるつちやひーにやーん (幽霊を見ていきなりビックリした)。

**あばい** [abai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (田畑が) 荒れる。 【例】 かまぬ はいぬ ぬっさ はいゆぎゃー みばからんば はいや ずみく っさー ういー あばりゆーい (あそこの畑の持ち主は畑を世話しないので、畑はたくさん草が生えて荒れている)。

**あぱい** [apai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] アルコール分が抜ける。 【例】 うぬ さきゃー んめ あぱりー ぬまいん (その酒はもうアルコール分が抜けていて飲めない)。

**あばさ** [abasa] ①【名詞】[C]《魚》ハリセンボン。②【名詞】[C] おしゃべりの人、大げさな奴。【例】うぬ あばさが ふっちゆぎやー ったきー ならーし（そのおしゃべりの口をたたきなおせ）。

**あばつな** [apatsina]【副詞】おかずなしに。  
【例】まいゆ あばつな ふあい（ご飯をおかずなしで食べなさい）。

**あばなつ** [apanatsi] ①【動詞】[k 語幹] あおむけになる。【例】あばなきー にっぐい（仰向けに寝ろ）。あばなきーみーる（仰向けになってみる）。やまぬ はなう あばなきー みー（山の頂上を仰ぎ見る。②【名詞】あおむけ。【例】あばなつにゆー（仰向けに寝ること）。

**あばなつみー** [apanatsimi:]【名詞】仰ぎ見ること。【例】ていんぬ あばなつみー あす（天を仰ぎ見る）。

**あばらぎがま** [aparagigama]【名詞】（感動詞的に使って）可愛い子供や動物。【例】あがい あばらぎがま（あらっ、可愛いー）。[類] あばらぎっふあがま。

**あばらす** [aparasi]【動詞】[s/h 語幹]（秘密を）ばらす。【例】うぬ しえいねんとう しよじよぬ くとうー あばらはいにやーん（その青年と娘のことはばれてしまった）。

**あばらぶに** [abarabuni]【名詞】あばら骨。  
[類] ゆんぶに、さうきぶに。

**あばらやー** [abaraja:]【名詞】あばら屋。【例】ばんていが やーや あばらやーがま（私たちの家はあばら屋だ）。

**あびやー** [apja:]【名詞】[C] 年取って子の産めなくなったメス豚。【例】っふあー なさがりゆー わーゆどう あびやーていー あい（年取って）子を産めなくなった豚を「アピヤー」と言う。[類] あびやーわー。

**あびやーわー** [apja:wa:]【名詞】年取って子の産めなくなったメス豚。【例】あびやーわーや ひつにかいば ならん（子の産めなくなった豚はかたくてしかたがない）。あびやーわーぬ かーや あつぐー ぶかむぬ（子の産めなくなった豚の皮は分厚くてかたい）。[類] あびやー。

**あふ** [afu]【動詞】[k 語幹] [A]（周りが）明るくなる、陽が昇る、（夜が）明ける。【例】ていだぬ あふていがー はいんかい（日が昇ったら畑に（行こう））。[変異] あつ。[類] あき（母音語幹）、あかん（m 語幹）。

**あふ** [afu]【動詞】[A] 開ける、（隙間が）空く。  
[変異] あつ。

**あぶ** [abu]【名詞】[B]《昆》虻（アブ）。【例】あぶん ささいていがー いちゃむぬ（虻に刺されたら痛い）。

**あぶ** [abu]【名詞】[B] 洞窟。【例】はーあぶ（大きな洞窟 [ > 「はーぶ」とも言う ]）。[変異] あーぶ。

**あふい** [afui]【動詞】[r/rr 語幹] [A]（水が容器から）溢れる；たくさんある。【例】たんくから みっじゃ あふりーどうー（タンクから水があふれている）。でいんな かさき あふりーどうー（お金はくさるほどある）。

**あふず** [afuzi]【名詞】[C] あくび。【例】あふっじゆ あす（あくびをする）。やらびやーかまりゆーんががら あふっじゆ ひーゆー（子供は飽きたのかあくびをしている）。ながばなっそう つふていがー あふずまい あすどうす（長話を聞くとあくびも出る）。

**あふた** [afuta]【名詞】[B] ゴミ、ちり；役に立たないやつ。【例】うまぬ あふたう うぐない（そのゴミを集めろ）。あふたう むーす（ゴミを燃やす）。あふたうぎやー っそうい（ゴミを拾いなさい）。すかまー ひらいん あふた（仕事のできない奴）。



**あま** [ama] 【名詞】[C] 《指示詞》あちら 「あまかま (あちらこちら)」としてしか使わない。

**あま** [ama] 【形容詞】[A] 味がうすい。【例】つうあが んつつーや あまかいば なん (あなたの味噌汁は薄味すぎる)。

**あまーす** [ama:si] 【動詞】[s/h 語幹] 甘やかす。【例】やらびゅーぎゃー あまーはん (子供を甘やかしてはいけない)。

**あまい** [amai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 甘える。【例】んまんかい あまりゅー (母親に甘える)。ていびぬつーふあやがまー あまいふだー (末っ子はよく甘える [豚の末っ子は一番後ろの乳を飲む。人間でも末っ子が最後の母乳を飲むことから末っ子のことを「ていびぬつーふあやがま」と言う])。ほういふ ないていが あまいや ほうん (大きくなったら甘えてはいけない)。<sup>[類]</sup> あまい (母音語幹)。

**あまい** [amai] 【動詞】[母音語幹] [C] 甘える。【例】んまんかい あまい うえ (母親に甘える)。<sup>[類]</sup> あまい (r/rr 語幹)。

**あまい** [amai] 【動詞】[母音語幹] [A] (ニコニコと) 笑う。【例】やらびがまー ひとつんかい あまいゅー (子供が人々にニコニコ笑っている)。<sup>[類]</sup> ばらい (r/rr 語幹)。

**あまい** [amai] 【名詞】[C] (食べ物の) 残りもの; (使った) 余り。【例】きゅーぬ ふあいぬ あまいや んみゃ にゃーん (今日の食事の残り物はもうない)。つんな かいぬ あまいひーや そうば ふあうが (服を買った余りでソバを食べに (行こう))。

**あまいあまい** [amaiamai] 【副詞】(こどもなどが) ニコニコする様子 「あまいあまいてい」ともいう。【例】やらびゃー たるんかいまい あまいあまいていー ひーゅー (この子は誰にでもニコニコしている)。

**あまいうむくとう** [amaiumukutu] 【成句】生きるための知恵。【例】にんぎんな あまいうむくとうぬ にゃーだかー なん (人間は生きるための知恵がなければならない [単なる知識だけでは生きていけない])。

**あまいづつ** [amaizitsi] 【名詞】閏月 (うるうづき)。【例】うるうどうすんな あまいづつぬどう あい (閏年には閏月がある)。

**あまいどうす** [amaidusi] 【名詞】閏年 (うるうどし)。【例】くとうっさ あまいどうすちゃ (今年は閏年だって)。

**あまいなう** [amainau] 【名詞】竜巻。【例】あまいなうぬどう いんかい うりーふー (竜巻が海に降りてくる)。

**あまかま** [amakama] 【副詞】あちこち。【例】やらびゃー あまかま とうみたいそうがどう とうみらいっだん (子供はあちこち探したがみつからなかった)。<sup>[類]</sup> あまくま。

**あまぐい** [amagui] 【名詞】雨乞い。【例】あみゃー つふあんば あまぐい ほうだかー なん (雨が降らないので雨乞いしないとならない)。

**あまくま** [amakuma] 【副詞】あちこち。【例】あまくま まーりー ったい (あちこち回ってきた)。<sup>[類]</sup> あまかま。

**あまた** [amata] 【連体詞】余計な、無駄な。【例】うらー あまたむぬ (それは余計なものだ)。あまたむぬいゆぎゃー あいな (余計なことをしゃべるな)。あまたでいんつかい (無駄使い)。

**あまだい** [amadai] 【名詞】雨だれ。【例】やーぬ んつきから あまだいぬ うちゅーい (家の軒から雨だれが落ちている)。

**あまたすかま** [amatasikama] 【名詞】徒労、余計な仕事。【例】つうあが すかまー あまたすかま (あなたの仕事は徒労だ)。あまたすかまうぎゃー ほうん (余計な仕事はしない)。

**あまたなんず** [amatananzi] 【名詞】 不要なことをやって後で苦勞すること。【例】くーっふあ にやーだ あまた なんっじゅぎやーほうん (楽しくて余計な苦勞をしてるわけではない)。

**あままい かままい** [amamai kamamai] 【成句】 あっちもこっちも。【変異】 うままいくままい。

**あままい くままい** [amamai kumamai] 【成句】 あっちもこっちも。【変異】 うままいくままい。

**あまみず** [amamizi] 【名詞】 淡水。【例】 ひだがーぬ みっじゃ あまみず (ヒダガーの水は淡水だ)。

**あまみず** [amamizi] 【名詞】 雨水。

**あまらす** [amarasi] 【動詞】 残す、余らせる。【例】 ふあいあまらす (食べ残す [「ふあうあまらす」とも言う])。

**あまり かまり** [amari kamari] 【成句】 十分だ。【例】 ばー うさきひー あまり かまり (私はそれだけで十分だ)。

**あまん** [aman] 【名詞】 [C] ヤドカリ。【例】 あまんぬ ふぐいひー っぞうー つー (ヤドカリの内臓で魚を釣る [「ふぐい」は睾丸のこと])。あまんぬ ふぐいあらい (ヤドカリが海の水にお腹の卵を産卵すること [「ヤドカリの睾丸洗い」])。

**あまんぶに** [amambuni] 【名詞】 踝 (くるぶし) の丸い骨。

**あみ** [ami] 【動詞】 [母音語幹] [A] 浴びる。【例】 みっじゅ あみ (水を浴びる)。[類] あん。

**あみ** [ami] 【名詞】 [B] 雨。【例】 あちやー あみ (明日は雨だ)。あちやー あみやー っふあん (明日は雨は降らない)。あみやー いらー

にやーん (雨はやんだ)。あみん ったかい (雨に打たれる)。あみん ふかい (雨に降られる)。あみぬ あかいきやたーひー まち (雨があがるまで待て)。やぐみ あみ (大変な雨、大雨)。ほうすずあみ (大粒の雨)。いみすず あみがま (霧状の雨、小粒の雨)。かでいふつあみ (台風の雨)。すまうていあみ (漁をしているときに島の見えなくなる雨)。かんないあみ (雷雨)。なつぬ あみ (夏の雨、スコール)。かたぶいあみ (片降り)。やーらあみ (やわらかい雨)。かんないあみ。(雷雨)。ひーていーあみ (天気雨)。

**あみかうー** [amikau:] ① 【動詞】 [vv 語幹幹] (水を) 浴びる。【例】 ひぐる みっじゅ あみかうー (冷たい水を頭からあびる)。[類] あみかづい。② 【動詞】 [vv 語幹幹] (他人の) 借金を引き受ける。【例】 ひとつぬ うっかう あみかうー (他人の借金をひっかぶる)。[類] あみかづい。

**あみかづあす** [amikavvasi] ① 【動詞】 [s/h 語幹] (水などを) かける。【例】 みっじゅ あみかづあす (水をかける)。ひぐる みっじゅ あみかづあはいーにやーん (冷たい水を頭から浴びせられた)。みっじゅ かなまいから あみかづあし (水を頭からかける)。[類] あみかづあらす。② 【動詞】 [s/h 語幹] (他人の) 借金を引き受ける。

**あみかづあらす** [amikavvarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (水などを) かける、浴びさせる。【例】 かにやー まさいんかい みっじゅ あみかづあらすたい (カニはマサイに {水を浴びさせた/水をかけた})。かにやー まさいんかい あっじー やらびんかい みっじゅ あみかづあらすたい (カニはマサイに言って {子供に水をかけさせた/子供に水を浴びさせた}) [類] あみかづあす。

**あみかづい** [amikavvi] ① 【動詞】 [母音語幹] (水などを) かける。[類] あみかうー。②

【動詞】[母音語幹] (他人の) 借金を引き受ける。  
 【類】あみかうー。

**あみがっふい** [amigaffi] 【名詞】雨宿り。  
 【例】きーぬ すたん あみがっふい あす (木の下に雨宿りする)。

**あみじやた** [amizata] 【名詞】飴。【例】あみじやたう なん (飴を舐める)。

**あみすず** [amisizi] 【名詞】雨粒、雨足。【例】あみすすぬどう うちゅー (雨が降っている)。

**あみっふあしや** [amiffaça] 【名詞】『昆』アメンボ。【例】あみっふあしやぬどう みずぬはなん うい (アメンボが水面にいる)。あみっふあしやぬどう みずぬ はなん とうぬぎーまーー (アメンボが水面を走り回っている)。

**あみふー** [amifu:] 【名詞】雨降り、雨の降っている日。【例】あみふーんな やーん にっぐいー うらでい (雨の日には家で寝ていよう)。きゅーや ひとつむていから あみふー (今日は朝から雨降りだ)。やぐみ あみふー (土砂降りだ)。くぬいや あみふー (最近は雨期だ)。あみふー わーつつ (雨降りの天気)。

**あめりか** [amerika] 【名詞】天国 (アメリカのように遠いところという意味)。【例】おばーや あめりかんかい はりーにやーん (おばあさんは亡くなった)。

**あや** [aja] 【副詞】そのように。【例】あや ほうだうり (そうはするな)。あやほうーきゃーふにやー いでいー はりーにやーん (そうしている間に船は出ていった)。[変異] あいや。

**あや** [aja] 【感動詞】「(それは) だめだ」と思ったときに発する感動詞、あちゃ、あらまあ。【例】あや、うらー だみ (あちゃ、これはだめだ)。

**あや** [aja] 【名詞】[B] 綾。【例】あやずん (綾のある着物)。つんぬ あや (着物の紋様)。

**あやかーり** [ajakari] 【副詞】特別に、本当に。  
 【例】かぬ みどうんな あやかーりどう かぎかい (あの女性は特別に美しい)。あやかーりどう ひぐるかたい (特別に冷たかった)。[変異] あやかりー。

**あやかい** [ajakai] 【動詞】[r/rr 語幹] (立派な人に) あやかる。【例】ながんぬつ ぱーが あやーかりゅーとうい ながんぬつ あっそう (長寿のおばあさんにあやかって長生きしなさい)。

**あやかりー** [ajakari:] 【副詞】特別に、本当に。  
 [変異] あやかーり。

**あやぎた** [ajagita] 【名詞】『昆』蝶。【例】あやぎたー かぎむぬ (蝶は美しい)。[類] あやばさ、あやばに。

**あやぐい** [ajagui] 【名詞】かすれ声。【例】からー あやぐいひー あーぐー あい (彼女はかすれ声で歌を歌う)

**あやす** [ajasi] 【形容詞】[A] 怪しい。【例】かがどう あやすかい (彼が怪しい)。

**あやす かやす** [ajasi kajasi] 【成句】あれこれすること。【例】あやす かやすていー ひーういきゃー ひーま なりーどうー (あれこれしていると昼になった)。あやす かやす ちゃうきゃー (そうこうしている中に)。[変異] あいあす かいあす。

**あやすていがー** [ajasitiga:] 【接続詞】そうしたら。【例】まーたー ゆっぐいー うまんさし、あやすていがー まずむぬまい ひとつまい とういや はらん (ススキの魔除けを結んでそこに挿せ。そしたら魔物も人も取って行かない)。

**あやすふ** [ajasifu] 【形容詞】あやふやだ、はっきりとしない。【例】くまぬ すかまー きゅーひーや あやすふだーい (ここの仕事は今日で(終えられるかどうか) ちょっと微妙だ)。ういが あっじゅー むぬいや いつまい あや

すふむぬ (彼が言うことはいつもあやふやだ)。  
[類] うかーすふ。

**あやたーい** [ajatai] 【動詞】[r/r 語幹] ずば抜けている。【例】うぬ やらびぬ うむくとうー あやたーりーどうー (この子の知能はずば抜けている)。「変異」あやたい、あやたり、あやたりー、あやたーりー。

**あやたーり** [ajata:ri] 【副詞】ずば抜けて。  
[変異] あやたり、あやたりー、あやたーりー。

**あやたーりー** [ajata:ri:] 【副詞】ずば抜けて。  
【例】はーにゃ すーがくー あやたーりー  
でいきゅーたい (長姉の計算力はずば抜けてよくできた)。「変異」あやたり、あやたーり、あやたりー。

**あやたい** [ajatai] 【動詞】[r/r 語幹] ずば抜けている。 [変異] あやたーい。

**あやたり** [ajatari] 【副詞】ずば抜けて。 [変異] あやたーり、あやたりー、あやたーりー。

**あやたりー** [ajatari:] 【副詞】ずば抜けて。  
[変異] あやたり、あやたーり、あやたーりー。

**あやっそう** [ajassu] 【成句】そうしなさい。  
[変異] あい あっそう。

**あやぬん** [ajanun] 【名詞】南京虫。【例】んきゃーんな あやぬんまい ぬんまい うんそく うたい (昔は南京虫もノミも沢山いた)。あやぬん かまいー かうかいば ならん (南京虫にかまれた)。

**あやばさ** [ajabasa] 【名詞】蝶。【例】あやばさー きつぎむぬ (蝶は綺麗だ)。「類」あやぎた、あやばに。

**あやばに** [ajabani] 【名詞】蝶。 [類] あやばさ、あやぎた。

**あやひー** [ajahi:] 【接続詞】そうすることで、そのあとで、そして。【例】みががまう かな

すかたいぼどう うるー とうっじゃひどう、あやひー んめ つふあまい いつぬひどう  
まうきたい (ミガちゃんが好きだったので、彼女をめとり、そして、子供も5人もうけた)。うらー ひんじゃ、あやひー うらー ぬーま (これは山羊、そして、これは馬だ)。「変異」あひひー。

**あやほうーきやー** [ajahu:kja:] 【副詞】そうしている中に、そうこうしている間に。【例】あやほうーきやー ふにゃー いでいー はりーにゃーん (そうしている間に船は出ていった)。「変異」あひほうーきやー。

**あやほうーば** [ajahu:ba] 【副詞】そうしているから、そうだから。【例】あやほうーばどうかりゃー うやきかい (だからあいつは裕福なんだ)。「変異」あひほうーば。

**あやみ** [ajami] 【動詞】[母音語幹] [C] 危害を加える [「殺す」という意味ではない]。【例】ひとうーぎやー あやみん (人に危害を加えない)。「類」あやん。

**あやら** [ajara] 【感動詞】なにくそ。 [類] あらら、あららがま、あやらがま。

**あやらがま** [ajaragama] 【感動詞】なにくそ。  
【例】あやらがま、つうあんな まきん (なにくそ、お前には負けないぞ)。「類」あらら、あやら、あららがま。

**あやん** [ajan] 【動詞】[m 語幹] [C] 危害を加える [「殺す」という意味ではない]。 [類] あやみ。

**あら** [ara] 【名詞】[C] (家の) 外 ; (人や家の) 外見。【例】やらびゃー んまぬ あらんかい  
いでいでいー あすていがー いつまい がんない (子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる)。とうか さうずばりゃーひー やらびゅー あらんかい いだひー ていだがなっそう うがます (10日目の魔除けを

した後に赤ちゃんを外に出して太陽神を拜ませる)。あらんかい いでいー あそー (外に出て遊ぶ)。からー あらー うとうなすぎ (彼は外見はおとなしそうだ)。

**あら** [ara] 【名詞】 [C] (コメなどにはいつている) 小石など; 欠点。【例】まいぬ あら (米に交じっている小石など)。ひとつぬ あらー とうみん (人の欠点はさがさないものだ)。

**あら** [ara] 【形容詞】 [A] (仕事などが) 荒い。【例】うぬ さやふぬ すかまー あらかいばうるー つかう ひとつー みーん (この大工の仕事は粗いので彼を使う人はいない)。

**あら** [ara] 【助詞】『終助詞』だろうね、だろうか、じゃないかな [「あらんな」の省略形]。【例】あいぬ さんみんまい かいぬ さんみんまいどう ひーゆーや あら (あれやこれやと考えるんじゃないのかな)。くらー びゆーいがっさ あら (これはクワズイモじゃないの)。[類] あらんな。

**あらいず** [araizi] 【名詞】 闘争心、勝負するときの元気、意気込み。【例】すまう とういとうきやんな あらいっじゆ むてい (相撲を取るときには負けないぞという意気込みを持つ)。

**あらいだす** [araidasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 結婚を申し込む [「あらう いだす」ともいう]。【例】かぬきやー んぬどう あらいだすたいちゃ (彼らは昨日結婚を申し込んでオーケーをもらったそうだ)。じょー みどうんぬ やーんかい さきやー むちーいきー あらう いだはでい (さあー女性の家に酒を持って行って結婚を申し込もう [昔は酒を持って行って相手の父親が許可をすれば婚約が成立した])。

**あらいだすゆーい** [araidasiju:i] 【名詞】 婚約式。

**あらう** [arau] 【動詞】 [w 語幹] [A] (体を) 洗う; (着物を) 洗濯する; (食器を) 洗う。【例】

どーゆー あらう (体を洗う)。つんぬ あらう (着物を洗う)。まかいゆ あらう (お椀を洗う)。まなちやうぎやー つかうていがー あらい (まな板を使ったら洗え)。かいが はなすん つむー あらーいたい (彼の話に心が洗われた)。

**あらうつびとう** [arautsibitu] 【名詞】 歯に衣着せずはっきりものを言う人。【例】あつづあうつびとうぬ むぬいゆぎやー つかだ、あらうつびとうぬ むぬいゆ つき (口のうまい人の話を聞かずに、歯に衣着せず話す人の話を聞け)。

**あらがー** [araga:] 【名詞】 (生き物、果物などの) 表皮。【例】わーぬ あらがーや くぼむぬ (豚の表皮はかたい)。

**あらかぎ なかつさり** [arakagi nakasari] 【成句】 外側は綺麗だが内側は汚い (外面だけの人間)。【例】かりやー あらかぎ なかつさり やいば かいが つむぬ なかー ゆまいん (あいつは外面はいい人だか、心の中は読めない)。からー むいとうぬ あらかぎ なかつさりんまり (あいつは外面だけの奴だ)。[類] あらかぎ なかふとうてい、あらかぎ なかやり。

**あらかぎ なかふとうてい** [arakagi nakafututi] 【成句】 外側は綺麗だが内側は汚い (外面だけの人間)。[類] あらかぎ なかつさり、あらかぎ なかやり。

**あらかぎ なかやり** [arakagi nakajari] 【成句】 外側は綺麗だが内側は汚い (外面だけの人間)。[類] あらかぎ なかつさり、なかふとうてい。

**あらから** [arakara] 【副詞】 直接的に、率直に。【例】あいや ひとつーぎやー あらからーんみかん (そのように人を真正面から叱らないものだ)。あらから あっじ (ちゃんと言え [ > 回りくどい言い方をするな])。

**あらがん** [aragan] 【名詞】《生物》オカガニ。

【例】あらがんな んまつふあにやーん（オカガニはうまくない）。

**あらす** [arasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（仕事で

金を）稼ぐ。【例】ぶとうー でいんぬぎやー  
あらひー やーでいん ふいーうたい（夫は  
仕事で稼いで、家族を養っていた〔＜家族に与  
えていた〕）。

**あらす** [arasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（魚を）

餌を求めて激しく集まらせる、撒き餌する。  
【例】びじゅー ていっづいー っぞうー あら  
し（餌を投げて魚を暴れるほど集める）。[類]  
ありっさす。

**あらずむびとう** [arazimubitu] 【名詞】心が

荒く短気な人。【例】あらずむびとうー すぐ  
なうちやーにやー つむでいどうす（短気な  
人はすぐ何でもないことに怒る）。

**あらだかーならんむぬ** [aradaka:naram-

munu] 【成句】なくてはならない。[変異]に  
やーだかー。

**あらでいーびとう** [aradi:bitu] 【名詞】仕

事が雑な人。【例】あらでいーびとうぬ すか  
まー じゃうっふあにやーん（仕事が雑な人の  
仕事は良くない）。

**あらどうくま** [aradukuma] 【名詞】幽霊が

出ると言われて恐れられている所。【例】ほう  
らだっちゃ あらとうくま（大浦集落の入口は  
幽霊等の出るところだ）。

**あらな一** [arana:] 【名詞】あだ名。【例】ひ

とうーぎやー あらな一ひや ゆらばん（人を  
あだ名では呼ばない）。

**あらは** [araha] 【名詞】[B] 外海から波が干瀬

に寄せて波打っているところ、波うち際。【例】  
あらはんな なんぬ ぶりゅー（干瀬の波うち  
際には波が大きく立っている）。

**あらはな** [arahana] 【名詞】一番最初。【例】

あらはな一 っづあから すきやきる（まず最  
初はあなたから始めなさい）。

**あらび** [arabi] 【名詞】[C] 《祭礼》（祭事や記

念行事）初日。【例】みやーくづつぬ あらび  
（ミヤークズツの初日）。

**あらまた** [aramata] 【名詞】相撲の外掛け。

【例】あらまたう かきー たうすたい（外掛け  
を掛けて倒した）。

**あらら** [arara] 【感動詞】なにくそ。[類] あ

らら、あやらがま、あらら。

**あららがま** [araragama] 【感動詞】なにくそ。

【例】あららがま まきやならん（なにくそ負  
けてはならない）。[類] あやら、あやらがま、  
あらら。

**あらん** [aran] 【動詞】[C]（コピュラ（指定辞

の否定形）～ではない、違う；間違いだ〔池間  
方言では「だ、である」にあたることばは現在  
の終止の形では通常現れない。条件形（～なら）  
は、「やいていがー」、理由形（～だから）は、  
「やいば」、過去形（～だった）は「あたい」、否  
定形（～ではない）は、「あらん」を使う。否定  
連用形（でなくて）は、「あらだ」。【例】う  
らー とういや あらん（これは鳥ではない）。  
あらん（違うよ〔応答詞として相手の言うこと  
を否定するときを使う〕）。うらー あらっだん  
（これではなかった）。あいや あらん（そうで  
はない）。

**あり** [ari] ①【動詞】[母音語幹] [A]（生き物が）

餌を求めて激しく集まる。[類] あい（r/rr 語  
幹）。②【動詞】[母音語幹] [A]（こどもがおと  
なに）付きまとう、じゃれつく；（好きな異性  
に）じゃれつく。【例】やらびやー んまんか  
いどう うんそうく ありー（（その）子供は  
お母さんにじゃれつきまくっている）。みがー  
かにんかいどう かなすかんががら うんそ  
うく ありゅーたい（ミガは（彼が）大好きな

のかカニにじゃれつき回っていた)。㊸【形容詞】[A] (人に対して) 付きまとう、じゃれつく。【例】くぬ つふあー むいとうぬ あま いっづあーひどう ばぬんかい うんそうく ありかい (この子は甘えん坊でとても私にじゃれつく)。㊹【形容詞】[A] (生き物が) 餌を求めて激しく集まる、たかる。【例】ぐるくんな びじゅんかい ありむぬ (グルクンはエサによくたかる [ > 撒き餌がよく効く魚だ])。㊺【動詞】[母音語幹] [A] (海などが) 荒れる。[類] あい (r/rr 語幹)。

**あり** [ari] 【動詞活用形】[r/rr 語幹] [C] 存在動詞「ある」の特別終止形 [終止形の「あい」は、焦点助詞「どう」があるときに使う。過去形は「あたい」、否定形は「にやーん」で、終止形と特別終止形の区別はなくなる]。【例】ばーでいんな はーさ あり (私はお金はたくさんある)。かいんな つふあー みちやーい ありちゃ (彼には子供が三人いるって)。

**ありだい** [aridai] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。 [変異] ありだり。 [類] くず、あいだり。

**ありだいくず** [aridaikuzi] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。 [変異] あいだりくず。

**ありだり** [aridari] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。 [変異] ありだ。 [類] くず、あいだり。

**ありや みーん** [arija mi:n] 【成句】またとない素晴らしい (人)。【例】まーずんまぬ あにやー ありや みーん じゃうひとう (まーずんまのおばさんは見たこともない素晴らしいひとだ [「まーずんま」は屋号])。

**あるまズー** [arumazi:] 【名詞】(そこにあるもの、いるもの) みんな。【例】あるまズー ふ

あい (あるもの全て食べなさい)。うまん うるー ひとうんみんかい あるまズー ほーびゆー ふいーる (そこにいる人みんなにほうびをあげなさい [ < そこにいる人にみんな])。

**あわてい** [awati] 【動詞】[母音語幹] [C] 慌てる、急ぐ。【例】たまっさにやーんんまり まーぬ あわていだうり (落ち着きのない奴だ、余り慌てるな)。あわている、 んめ ふにんぬーいうくいがまた (急げ、もう船に乗り遅れるぞ)。

**あん** [an] 【動詞】[m 語幹] [C] 編む。【例】びらふー あん (芋を入れるカゴを編む)。

**あん** [an] 【動詞】[m 語幹] [C] (水などを) 浴びる。【例】ひぐる みっじゅ あん (冷たい水を浴びる)。 [類] あみ。

**あん** [an] 【名詞】[B] 網。【例】あんぬ ひつ (網を引く [サディヒツ (= 小規模の地引網) など] に使う)。あんぬ がにー (網を (まとめて) 引き揚げる [漁船で使う規模の大きい網漁に使う])。あんぬ ちゅっふー (網を繕う)。

**あんぐーにや** [angu:nja] 【名詞】[昆] 蛾、主に沖縄クロホージャク (スズメ蛾科) という大型の蛾を指す。網に寄ってくるので網グーニヤと言う。外敵に見つからないようにホバーリングしながら花の蜜を吸う大型の蛾。 [類] グーにや。

**あんし** [ançi] 【副詞】そう。 [変異] あんていー。

**あんしー** [ançi:] 【副詞】そう。 [変異] あんていー。

**あんしーがら** [ançi:gara] 【成句】そうかも [「あんしーぬがら」とも言う]。【例】あんしーがら っさいん (そうかも知れない)。 [変異] あんしがら、あんちがら、あんちーがら。 [類] あいがら、あいぬがら。

**あんしがら** [anɕigara] 【成句】 そうかも 「あんしーぬがら」とも言う。 [変異] あんしーがら。

**あんだっちやる** [andattɕaru] 【連体詞】 そんな (人、こと、もの)。 【例】 あんだっちやる ひとつんかいや むぬー たぬまいん (そんな人にはものは頼めない)。あんだっちやる くとぅーぎゃー うむーだうり (そんなことを考えてはいけない)。

**あんち** [antɕi] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

**あんちー** [antɕi:] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

**あんちーがら** [antɕi:gara] 【成句】 そうかも 「あんちーぬがら」とも言う。 [変異] あんしーがら。

**あんちがら** [antɕigara] 【成句】 そうかも 「あんちぬがら」とも言う。 [変異] あんしーがら。

**あんつかい** [antsikai] 【名詞】 追い込み漁 「あんつかいまーい」の省略形。 [類] あんつかいまーい。

**あんつかいまーい** [antsikaimai] 【名詞】 追い込み漁。 【例】 あんつかいまーいや ひーいらうっちゅ とうい (追い込み漁でブダイを取る)。きゅーまい あんつかいまーいゆ できかひーみーでい (今日も追い込み漁で大漁だ [ < 大漁してみよう ])。 [類] あんつかい。

**あんつきぎー** [antsikigi:] 【名詞】 『植』 マングローブ。 【例】 あんつきぎーひー あんぬ そうみー (マングローブの木 (の樹液) で網を染める [マングローブの樹皮を煮詰めた樹液では防腐効果があるため])。

**あんてい** [anti] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

**あんていー** [anti:] 【副詞】 そう。 【例】 あんていー あいぬがら っさいん (そう言うかも知れない)。 [変異] あんてい、あんち、あんし、あんちー、あんしー。

**あんでいら** [andira] 【名詞】 (芋を入れる) 編みカゴ [アダンの木の根で網を作り、それを編んで作る]。

**あんぬ ほうかぬ うにや** [annu hukanu unja] 【成句】 網の外のフグ [ > 蚊帳の外、関係ない人 ]。 【例】 っづあー あんぬ ほうかぬ うにや やいば むぬっじゃだうり (お前は部外者なので黙っておれ)。

**あんばい** [ambai] 【名詞】 食べ物の味加減 (を調べる)。 【例】 あんばいゆ ひーみーみーる (味加減を試してみる)。んっつーぬ あんばい あす (味噌汁の味加減をする 「あんばいゆ あす」でもよい)。

**あんぱつ** [ampatsi] 【動詞】 [c/t 語幹] 負債や責任を背負う。 【例】 うっかー んない あんぱていーにやーん (借金を全部背負った)。

**あんぱつ** [ampatsi] 【名詞】 負債や責任を背負うこと、またその負債。 【例】 っづあが あんぱつちゅぎゃー っづあが あんぱつ あっそう (お前の借金はあなたが責任を負いなさい)。っづあ たうかーひー うっかうぎゃー あんぱつちやーひー かっづい (お前一人で責任を取って借金をかぶれ)。

**あんまーす** [amma:si] 【形容詞】 (気温や湿度のせいで) 気分が悪くなっている。 【例】 きゅーや あてい あつかいば あんまーすむぬ (今日は余りにも暑いので気分が悪い)。





# い

い [i] 【接尾辞】～のころ [時期を表す接尾辞]。

【例】くぬい (この頃)。ゆぬい ((前年と) 同じ頃)。きじゃい (祭日の頃)。

いー [i:] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 入る ; (日、月が) 沈む。【例】っぞうー あんかい いりーにゃーん (魚は網に入った)。ていだの いーんかい いー (太陽が西に沈む)。[類] いり。② 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (ものをなにかに) 入れる。【例】っぞうー あんかい いり (魚を網に入れる)。[類] いり。③ 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (雨、雷など天候が) 収まる。【例】あみゃーいりーにゃーん (雨は止んだ)。あまいなうやいりーはりーにゃーん (竜巻はおさまった)。かでいふっちゃ いりーにゃーん (台風はおさまった)。ん°むー いりーにゃーん (雲はなくなった)。[類] いり。

いー [i:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 要る、必要だ。【例】っづあー でいんな いかっさ いーどぅす (お前はお金はどれくらい要るの)。[類] いり。

いー [i:] 【名詞】 [B] 『魚』 エイ。【例】かまんたいー (エイ)。うまん いーぬ うーぎゅーい (そこにエイが泳いでいる)。[類] かまんた、かまんたいー。

いー [i:] 【名詞】 [A] 入江。【例】いーんかいふにぬ はいりっちゅーい (入江に船が入ってきた)。

いー [i:] 【名詞】 [A] 西。【例】ていだーいーんかい いー (太陽は西に入る)。いーにゃ

ーなぎ (西隣辺り)。

いー [i:] 【名詞】 [B] 千枚通し、錐。【例】いーひー かびーゆ ぴーつ (千枚通しで紙に穴をあける)。

いー [i:] 【助詞】 『終助詞』 ね、ねー。【例】くぬいや っづあー まーぬ みーらいったん いー (最近は余り見えなかったね)。

いーがま [i:gama] 【名詞】 『地名』 昔、村立ての際に人々が池間から西原に入った入江。【例】いーがまん あんぬ はい (イーガマに網を張る)。

いーがま くーがま [i:gama ku:gama] 【成句】 至る所、どこも。【例】ぶとうー いーがま くーがま とうみー まーいたい (夫をそこらじゅう探し回った)。

いーき [i:ki] 【動詞】 [母音語幹] [A] (ウロコを) はがす。【例】っぞうぬ いーきゅー いーきでい (魚の鱗をがそう)。[類] いーつ。

いーき [i:ki] 【名詞】 [B] ウロコ。【例】はだらぬ いーきゃー かたかいば はずぐりむぬ (やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい)。っぞうぬ いーきゅー はず (魚の鱗を剥ぐ)。[変異] いーつ。

いーさ [isa] 【名詞】 [C] 『蔑称』 聾啞者 (ろうあしゃ)。【例】いーさむぬい (手話)。

いーじゃとう [i:zatu] 【名詞】 『地名』 西原の北支部 (にぬは)、西支部 (さいぬは) を合わせた地名。【例】いーじゃとう ぶとう むつて

いがー あかじゃら ばんまいよ (イージャトゥの夫を持つとベラの食事だけだよ [アカジャラは魚の名前で、小さく鱗も剥ぎにくく美味しくない。まずい魚の代表])。]

**いーつ** [i:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 煎る。【例】まみゅー いーつ (豆を煎る)。いーつまみ (煎った豆)。

**いーつ** [i:tsi] 【名詞】 [B] ウロコ。 [変異] いーき。

**いーつ** [i:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (ウロコを) はがす。【例】っぞうぬ いーきゅー いーかでい (魚の鱗をはがそう)。[類] いーき。

**いーなずき** [i:naziki] 【名詞】 いいなづけ。

**いーにやー** [i:nja:] 【名詞】 西隣。【例】いーにやー なぎ (西隣辺り)。いいにやーや やまこー (西隣はヤマこー)。

**いーばー** [i:ba:] 【感動詞】 好都合だ、良かった。【例】うむい うたいんつきやー やすだい、いーばーがま (思ってたより安いね、ラッキー)。いーばー まいだー (良かった)。いーばーがま (よかった)。むいとう いーばーがま (とってもよかった) っぞうー ふいーっじゃ、いーばーどう っちやー (魚くれるんだって、来て良かったね [ふいーっじゃ <ふいーでい+ちや (「くれる」の意志形+伝聞の接辞)])。きゅーや かでいふっちやひー がっこーや にやーんちや、いーばーまいだー (今日は台風で学校は休みだって、良かったよね)。

**いーゆまい あがいゆまい** [ijumai agaijumai] 【成句】 西も東も。【例】からー いーゆまい あがいゆまい っさん (あいつは西も東も知らない [>なにも分からない])。

**いかーす** [ika:si] 【動詞】 [s/h 語幹] (何かを取るため、捕まえるために手を) 伸ばす。【例】ていーや いかーひー かっーそう とうい

みやらまてい (手を伸ばしてお菓子を取って食べてください)。

**いかう** [ikau] 【動詞】 [w 語幹] [A] (綱、糸、木等が何かに) 届く。【例】うぬ くばずーぬ ん°なー まるかいは いかーいん (このつるべの綱は短くて届かない)。

**いかがら** [ikagara] 【名詞】 (何に使うかわからない) 得体のしれないもの、正体のわからない人; 変な状況。【例】うらー いかがらむぬ (それは妙なものだ)。いかがらむぬーぎやー すている (何に使うかわからない得体のしれないものは捨てる)。うぬ みどうんな いかがらみどうん (この女性は正体がしれない人だ)。いかがらむぬ、うまん あたい っぞうぬどう にやーだ んぎーにやーん (おかしいな、ここにあった魚がなくなってしまった)。 [変異] いきやがら。

**いかがら** [ikagara] 【形容詞】 (何に使うかわからない) 得体のしれない、(人などが) 正体のしれない; (状況などが) 変だ。 [変異] いきやがら。

**いかっさ** [ikassa] 【名詞】 『疑問詞』 ものの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときにつかう 使う疑問詞、いくら、どれくらい。【例】うぬ っぞうー いかっさが だい (この魚の値段はいくら?)。うぬ うっさ ひとういん っさうぎやー いかっさばかーい ふあうどうす (この牛は一日にどれくらいの草を食べますか)。くまから っさらたーひー あいつていがー いかっさばかーい かかいどうす (ここから平良まで歩くとどれくらいかかりますか)。くまから いきまたーひや いかっさ ばかーい あり やいば (ここから池間までの距離はどれくらいあるの)。くぬ ばそこんぬ んぶさー いかっさばかーい あり (このパソコンはどれくらいの重さがありますか)。[類] いさか、いさき。

**いかっさまい** [ikassamai] 【副詞】 いくらで

も、(否定を伴って) いくらも。【例】うらー  
むぬーぎゃー いかっさまい ふあうどうす  
(あいつは飯をいくらでも食べる)。でいんな  
いかっさまい かしどうす (お金はいくらでも  
貸すよ)。からー むぬーぎゃー いかっさま  
い ふあーっだん (あいつは食べ物をあまり食  
べなかった)。

**いから** [ikara] 【形容詞】[B] (量が) 少ない。  
【例】ういがどう いからかい (これが少ない)。  
うらー いから (それは 少ない)。うらー  
いからかいば ばー っじじゃーん (これは少  
ないからもらわない)。**[類]** いからさ。

**いからさ** [ikarasa] 【形容詞】(量が) 少ない。  
【例】ういがどう いからさ (これが少ない)。  
**[類]** いから。

**いがんぐい** [igangui] 【名詞】遺言。【例】い  
がんぐいゆ っふあんみんかい あす (遺言を  
子供達にする)。ぱーが いがんぐいゆ っふ  
(おばあさんの遺言を聞く)。

**いきや ふーふー** [ikija fu:fu:] 【成句】頻  
繁に行ったり来たりすること。【例】むとうや  
ーんかい いきや ふーふー あす (実家に頻  
繁に行き来する)。

**いきやがら** [ikjagara] 【形容詞】(何に使うか  
わからない) 得体のしれない、(人などが) 正体  
のしれない; (状況などが) 変だ。【変異】い  
かがら。

**いきやがら** [ikjagara] 【名詞】(何に使うかわ  
からない) 得体のしれないもの、正体のわから  
ない人; 変な状況。【変異】いかがら。

**いさうがん** [isaugan] 【名詞】《生物》岩ガニ  
科モクズガニ。

**いさか** [isaka] 【名詞】[C] 《疑問詞》ものの値  
段、量、そこまでの距離を尋ねるときに使う疑  
問詞、いくら、どれくらい。【類】いかっさ、  
いさき。

**いさき** [isaki] 【名詞】[C] 《疑問詞》ものの値  
段、量、そこまでの距離を尋ねるときに使う疑  
問詞、いくら、どれくらい。【類】いかっさ、  
いさか。

**いさぐ** [isagu] 【名詞】[C] 咳。【例】いさぐ  
ー あす (咳をする)。かじゃー ひきどう い  
さぐー ほうー (風邪ひいて咳している)。い  
っだいびとうー いつまい いさぐーどう あ  
す (喘息の人はいつも咳をする)。

**いさら** [isara] ①【名詞】[B] (畑の) 石ころ。  
【例】かまー いさらぬどう はーさ あい (あ  
そこは石ころがたくさんある)。②【形容詞】[A]  
(畑が) 石ころだらけだ。【例】うまー いさら  
かいば ならん (そこは石ころだらけだ)。

**いさらばい** [isarabai] 【名詞】石ころだらけ  
の畑。【例】いさらばいんな んーぬ いびば  
どう じゃうかい (石ころだらけの畑には芋を  
植えると良くできる)。**[類]** いすぐーばい。

**いしだ** [icida] 【名詞】[C] 《魚》ヒレナガスズ  
メダイ [カツオの餌になる赤い小さな魚、「ジ  
ヤグ」の一種]。【変異】いすだ。**[類]** むぎゃ。

**いじや** [iza] 【名詞】[C] 《疑問詞》場所を尋ね  
る疑問詞、どこ。【例】かいが やーや いじ  
や (彼の家はどこだ)。っづあー いじやんかい  
が (お前はどこに (行くの) か [朝の挨拶に使  
う])。かりやー いじやんかいどう はりーに  
やー (あいつはどこに行ったの)。うぬ っぞ  
うー いじやんまい うり (この魚はどこにで  
もいる)。からー いじやんかい いかばんま  
い んーなから かなっさ ひらいゆー (あの  
人はどこに行っても人気者だ)。**[変異]** んじゃ。

**いじやー** [iza:] 【名詞】[C] どれくらいの長さ、  
距離。【例】いじやー ばかーい (どれくらい  
の長さ、または距離か)。**[類]** いなぎ、うなぎ。

**いじやい** [izai] 【名詞】[B] 足が不自由で立っ  
て歩けない人。【類】いじやら。

**いじゃい** [izai] 【名詞】[A] 夜の漁、漁 (いさ) り。【例】いじゃいや ゆいぬ いん (漁りというのは夜の漁のことだ)。いじゃい あすがいつ (漁りに行く)。

**いじゃう** [izau] 【動詞】[w 語幹] [C] (約束して) 会う、(偶然に) 出会う。【例】どうすんかい いじゃうが いつ (友達に会いに行く)。きゅーや すかまぬ あいば つづあとうや いじゃーいん (今日は仕事があるのであなたとは会えない)。かいかいや ゆながい いじゃいや みーっだん (彼には長い間会っていなかった)。きゅーや やびとうーんなとう いじゃーいー やぐみ ほうからすむぬ (今日は皆さんと会えてとてもうれしいです)。んぬ かいかい いじゃうたい (昨日、彼に出会った)。

**いじゃどうーす かまどうーす** [izadu:si kamadu:si] 【成句】方々、あちこち。【例】やらびゃー いじゃどうーす かまどうーす とうみたいそうが とうみらいっだん (子供は方々探し回ったが見つけれなかった)。  
[変異] んじゃどうーす かまどうーす。

**いじゃまい かままい** [izamai kamamai] 【成句】あちこち。【例】やらびゅー いじゃまい かままい とうみーまーい (子供をあちこち探し回る)。

**いじゃら** [izara] 【名詞】[C] 足が不自由で立って歩けない人。【類】いじゃい。

**いす** [isi] ① 【名詞】[B] 大漁；運がいいこと。【例】きゅーぬ いんな やぐみ いす あたい (今日の漁は豊漁だった)。いっさ つきーどー (運がついている)。  
[変異] いそう。② 【形容詞】[A] 大漁だ；運がいい。【例】きゅーや むいとう いすかたい (今日は大漁だった)。  
[変異] いそう。

**いす** [isi] 【名詞】[B] 石。【例】いっそう っそうー (石を捨てる)。いすぐー ばい (石ころだ

らけの畑)。いっそう ゆーかーまんかい ちゅー (石を遠くに投げる)。

**いす** [isi] 【名詞】[B] 椅子。【例】いすん びー (椅子に座る)。

**いす** [izi] 【名詞】[C] 元気、勇気。【例】うりゃー いっじゃ にゃーんまり えいば ならまい ひらいん (彼は意気地なしなのでなにもできない)。いっじゅ いだし (元気を出せ)。あらいす (勝負するときなどの最初の意気込み)。いっじゃ いだひー あいき (元気を出して歩け)。やぐみ いす あい びとう (とても元気のある人)。ならゆ あすんまい いすぬ にゃーだかー だみ (何をやるにしても元気がないとダメだ)。

**いすうす** [isiusi] 【名詞】石臼。【例】いすうすひどう まみゅーぎゃー ひつ (石臼で大豆を引く)。

**いすぐー** [isigu:] ① 【名詞】小石。【例】いすぐーばい (小石の多い畑)。うまー いすぐー (あそこは石ころだらけだ)。② 【形容詞】小石だらけの。

**いすじややふ** [isizajafu] 【名詞】石工。

**いすだ** [isida] 【名詞】[C] 『魚』ヒレナガスズメダイ [カツオの餌になる赤い小さな魚。「ジャグ」の一種]。【例】かっちゅぬ びじゅていー いすだう とうい (カツオの餌としてイシダを取る)。  
[変異] いしだ。

**いすぬまら** [isinumara] 【名詞】土が丸く固くなり石になっているもの。【例】いすぬまらー とうすんまい ないどうす (土が硬くなり石になったものは砥石にもなる)。

**いすぬみー** [isinumii:] 【名詞】『貝』牡蠣 (かき) [岩にくっついているカキ、岩ガキ]。【例】いすぬみーゆ ばりー とうい ふあう (牡蠣を割って取って食べる)。

**いすばい** [isibai] 【名詞】石灰。【例】さたう にーとうきやんな いすばいゆどう いら (黒

砂糖を煮るときには石灰を入れる)。うんどー  
かいんな いすばいひどう せんぬ ひつ (運  
動会には石灰で線を引く)。

**いすばぎ** [isipagi] ①【名詞】(漁で) 収穫がないこと; (仕事で) 成果がないこと。【例】きゅーぬ いんな いすばぎどう あたい (今日の漁は不漁だった)。**[変異]** いそうばぎ。②【形容詞】(漁で) 収穫がない; (仕事で) 成果がない。【例】きゅーぬ いんな いすばぎかたい (今日の漁は不漁だった)。**[変異]** いそうばぎ。

**いすびとう** [isibitu] 【名詞】獲物や賞金などが多くとれる幸運な人。【例】かりゃー いすびとう やいば きゅーまい はーさ たくー とういふーはず (彼は幸運な人だから今日も沢山タコを取ってくるはずだ)。マサイや いすびとう やいば ぱちんこん まきやー くとうー にゃーん (マサイはくじ運の強いくやつだからパチンコで負けたことはない)。**[変異]** いそうびとう。

**いずびやーき** [izibja:ki] ①【名詞】元気のある状態。【例】すかまー あすとうきゃんな いずびやーきぬどう いつばん (仕事をするときには元気なのが一番大切だ)。かりゃー いずびやーきひとう (彼は元気のある人だ)。**[類]** いずぶた。②【形容詞】元気のある。【例】からー んぬ いじゃうたい とうきゃんな いずびやーきかたい (あいつは昨日会った時は元気だった)。**[類]** いずぶた。

**いずぶた** [izibuta] ①【名詞】元気のあること。【例】かぬ ばかむぬー やぐみ いずぶた (あの若者はとても元気がある)。**[類]** いずびやーき。②【形容詞】元気のある。【例】かいがどう いずぶたかい (あいつが元気がある)。**[類]** いずびやーき。

**いそう** [isu] ①【名詞】[B] 大漁だ; 運がいい。**[変異]** いす。②【形容詞】[A] 大漁だ; 運がいい。**[変異]** いす。

**いそうがす** [isugasi] ①【動詞】[s/h 語幹] せかす、急がせる。【例】まーぬ いそうがすな (そんなに急がすな)。すかまうぎゃー いそうがし (仕事を急がせろ)。②【形容詞】忙しい。【例】きゅーや ひとむていから いそうがすむぬ (今日は朝から忙しい)。

**いそうばぎ** [isupagi] ①【名詞】(漁で) 収穫がない; (仕事で) 成果がない。**[変異]** いすばぎ。②【形容詞】(漁で) 収穫がないこと; (仕事で) 成果がないこと。**[変異]** いすばぎ。

**いそうばぎや** [isubagja] 【名詞】漁でなにも取れなかった人。

**いそうびとう** [isubitu] 【名詞】獲物や賞金などが多くとれる幸運な人。**[変異]** いすびとう。

**いたき** [itaki] 【動詞】[母音語幹] [A] (液体を) こぼす。【例】みっじゅ いたきー すている (水をこぼしてしまいなさい)。**[類]** いたつ。

**いだき** [idaki] 【名詞】[C] 《疑問詞》どれくらい (の高さ、の深さ、の値段) を表す疑問詞。【例】いだきばかーいぬ たかさ (どれくらいの高さ)。くぬ やーや たかさー いだきばかーい (この家は高さはどれくらいですか)。くまから いんぬ そうくたーひー いだきばかーい あり (ここから海底までどれくらいの深さがありますか)。くぬ くるまー いだきばかーいひどう かーいー (この車はどれくらいで買える)。ばー でいんな いだきまい にゃーんば くぬ てれびやー かーいん (私はお金はあまりたくさんないのでこのテレビは買えない)。

**いだす** [idasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (外に) 出す; (学校に) 通わせる; (手紙を) 送る; (お金を) 出す。【例】とうかんていん っふあがまう あらんかい いだす (トゥカンティには子供を外に出す [トゥカンティは出産後 10 日前後のお祝い])。っふあう がっこうんかい いだす (子供を学校に通わせる)。てがみゅー

うつな一んかい いだはでいやいそが でい  
んな いかっさ かかいどうす (手紙を沖縄に  
出そうと思うんだけどお金はいくらかかるの?  
[<だそう+だけど])。でいんな いかっさ い  
だすがまた (お金はいくらだすの?)。

**いだすうや** [idasuɯja] 【名詞】『祭礼』 出産祝  
で赤子を戸外に出すお爺さん。

**いだすぱー** [idasipa:] 【名詞】『祭礼』 出産祝  
で赤子を戸外に出すお婆さん。

**いたつ** [itatsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (液体を)  
こぼす。【例】みっじゅ いたつ (水をこぼ  
す)。んっつーゆ いたつ (みそ汁をこぼす)。  
[類] いたき。

**いたら一ん** [itara:n] 【形容詞】つまらない、  
必要のない、馬鹿な。【例】あいぬ いたら一  
ん くとうーぎゃー ほうん (そんなつまらん  
ことをするな)。いたら一ん むぬいゆぎゃー  
あすな (つまらんことは言うな)。かいが  
あっじゅー くとうー いたら一ん (彼が言っ  
ていることはつまらない)。

**いちころ** [itɕikoro] 【名詞】簡単であること。  
【例】うい あっさ いちころ (これをするこ  
とは簡単だ)。

**いち心** [itɕifu] 【名詞】[C] 従兄弟、従姉妹。  
[変異] いちゆふ。

**いちゃ** [itɕa] 【形容詞】[B] (体が) 痛い。【例】  
くっづあ あがいや ひどう くっづあー い  
ちやかいば ならん (こむらがえりして ふく  
らはぎが 痛くてならない)。ほうがさー い  
ちやかいば ならん (おできは痛くてしかたが  
ない)。ふすぶす やんかいば いちやかいば  
あいかいん (節々が痛むから痛くて歩けない)。  
かなまいや まーぬ いちやっふあにやーん  
(頭はあまり痛くない)。いじゃぬどう いちや  
かいがよ (どこが痛いですか)。

**いちゃ** [itɕa] 【名詞】[B] 板。【例】うまぬ  
いちゃんかい かにふっじゅ うんき (この  
板に釘を打ちなさい)。

**いちゃます** [itɕamasi] 【動詞】[s/h 語幹] いじ  
める、苦しめる; 痛めつける。【例】あいや  
ひとうーぎゃー いちゃまはん (そんなに人を  
いじめるな)。とうずんかいや ならぬまい ふ  
いーだ いちゃます びきどうんな だみ (妻  
に (生活費を) なにも与えずに苦しめる男はだ  
めだ)。ばー かいん いちゃまはいにやーん  
(私は彼に苦しめられた)。じんとーぜいや む  
いとう ひとうー いちゃますたいはず (人頭  
税はとても人を苦しめたはずだ)。かにゆー  
なっじゅりー いちゃますたい (カニをなぐっ  
て痛めつけた)。

**いちゃん** [itɕan] 【動詞】[m 語幹] [C] 痛む、  
苦しむ。【例】つむー いちやみーどうー (頭  
が痛い)。じんとーぜいひー ひとうー いち  
ちゃんたいはず (人頭税で人は苦しんだはずだ)。

**いちゃん** [itɕan] 【名詞】[C] 痛み。【例】か  
なまいぬ いちゃんていや にやーん (頭の痛  
みなどはない)。

**いちゃん** [itɕan] 【名詞】[C] 腰巻、長じゅば  
ん。【例】いちゃん ふかすまーい (腰巻めく  
り [現在のスカートめくりのいたずらにあたる  
もの])。

**いちゆ** [itɕu] 【名詞】[C] 糸。[変異] いとう。

**いちゆに** [itɕuni] 【名詞】[C] 高い音調。【例】  
みゃーくぬ あーぐー いちゆに (宮古の歌  
は高い音調だ [宮古民謡「とうがにあやぐ」か  
ら])。

**いちゆ心** [itɕufu] 【名詞】[C] 従兄弟、従姉妹。  
【例】いちゆふー きよーだいぬ んまりむぬ  
(いとこはきょうだいみたいなもの)。ゆまん  
ほうんぬ いちゆふんかい ゆるきたい (読ま  
なくなった本をいところに譲った)。またいちゆ  
ふ (またいところ)。[変異] いちふ。

**いちゅま** [itɕuma] 【名詞】[C] 休み、暇。[変異] いとうま。

**いつ** [itsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] 行く。【例】きゅーまい すかまんかい いつ (今日も仕事に行く)。っさらんかい いきーくー (平良に行つて来い)。けんちじぬ まいんかい いつ (県知事を訪問する)。かいたんかい あいきー いつ (狩俣に歩いていく)。しーとうー ゆみーいつていがー たうかー みーっだん (生徒をかぞえていったら一人いなかった)。いつていーいつ むぬー くーかいばならん (生きていくのは苦しくて仕方がない)。[変異] いふ。②【補助動詞】[k 語幹] 動詞の連用形について「～て行く」「場所から離れていく」「時間の経過とともに変化していく」などの意味を添える。【例】こがにまるー さんじん いでいーいつちや (黄金丸は三時発だつて [＜出ていく (スケジュールが三時という意味)])。らんぶぬ うまっちゃ ひーちやなー きやーりーいつ (ランプの灯が少しずつ消えていく)。[変異] いふ。

**いつ** [itsi] 【名詞】[C] 息；命；勢い、元気。【例】ばー あてい うだいやひどう あていっふあいやひどう ひとまた あいつきやー いっちや はーみきーどうー (私はとても太つているので一股歩くと息がハーハーする)。ばーや んめ いっちや にやーん (おばあさんはもう息を引き取つている)。あてい ほうからすかいば いつまい ひらいん (とてもうれしくて息もできない)。ながいつびとう (息を長く止められる人；長命の人)。ばが あいきやー うぬきやん まきやならん (私が元気があるうちはあいつらに負けてはならない)。

**いつ** [itsi] 【名詞】[A] 《疑問詞》いつ。【例】いつ うつなーんかい (いつ沖縄に (行くの)?)。いつどう じゃうかいが (いつがいいですか)。からー いつ っちゅーががら っさいっだん (あいつがいつ来たかわからなかった)。いつまい くー (いつでも来い [「いつ やらばんまい

くー (いつでもいいから来い)と同じ意味)。ばー いつまい さんじんどう うきー (わたしはいつも三時に起きる)。

**いっづあす** [ivvasi] 【動詞】[s/h 語幹] (人を)脅す、驚かす。【例】やぐいや かきー いっづあす (大声をあげて驚かす)。かいいん いっづあはいにやーん (あいつにビックリさせられた)。

**いっづい** [ivvi] 【動詞】[母音語幹] [A] 恐がる。【例】かりやー なうゆまい いっづいん (彼は何事をも怖がらない)。やらびやー っづあうぎやー いっづいーどうー (子供はあなたのことを怖がっている)。やらびやー かりゆーぎやー ほうーぐる いっづい。 (子供は彼を恐れ怖がっている)。いんぬぎやー いっづいだうり (犬を恐がるな)。かりやー なうゆまい いっづいん はてい みどうん (彼女は何をも恐れない強い女性だ)。[変異] うーっづい。[類] うー。

**いつか** [itsika] 【名詞】[A] 《数詞》五日。

**いっかうー** [ikkau:] ①【動詞】[vv 語幹] (水等を) ひっ被る。【例】みっじゅ かなまいから いっかうづいーにやーん (水を頭からひっかぶつた)。②【動詞】[vv 語幹] (借金などを) かぶる。【例】うっかう いっかうづいーにやーん (借金をひっかぶつた)。

**いつががら** [itsigagara] 【副詞】いつ頃か。

【例】うつなーんかい いたたいむぬー いつががらどう あたいががら うぶいや うらん (沖縄に行ったのはいつごろだったのか覚えていない)。

**いっかうづあす** [ikkavvasi] 【動詞】[s/h 語幹] (水等を人に) ぶっかける；(水を自分で) かぶる。【例】やらびんかい みっじゅ いっかうづあす (子供に水を浴びせる)。かーんきー みっじゅ いっかうづあひー くー (井戸に行つて水をかぶつてこい)。[類] いっかうづあらす。



**いっかつづあらす** [ikkavvarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (水等を人に) ぶっかける; (水を自分で) かぶる。 [類] いっかつづあす。

**いつがみまい** [itsigamimai] 【副詞】 いつまでも。 【例】 っづあが くとうー いつがみまい ばっしらいん (あなたのことはいつまでも忘れません)。ゆながい まちゅーそが かりゃー いつがみまい くーん (長い間まっているが彼はいつまでも来ない)。うりゃー ていびふぎゃ やいば いつがみまい うむくとうー いでいん (彼はものの覚えがわるいやつだからいつまでたっても知恵がつかない)。

**いつから** [itsikara] 【副詞】 とっくに、すでに。 【例】 からー いつから やーんかい はりーにゃーん (彼はとっくに家に帰った)。 [類] きさから。

**いつき** [itsiki] 【名詞】 [C] 勢い、影響力、健康で元気なこと。 【例】 っざぬ いつきぬ あいきゃー っづあまい わいてい かない (お父さんが元気なうちにお前も頑張れ)。いつき あい ひとつ (勢いのある人)。っざー ういびとうん なりー んみや いつきゃー にゃーん (父は年を取ってもう影響力はない)。

**いつぐ** [itsigu] 【名詞】 [C] 普段、いつも (使うもの、おいてあるもの、食べるもの)。 【例】 いつぐー うまんかいや いかん (普段はそこには行かない)。いつぐぬ むぬぬどう にゃーん (いつものものがない [>普段使っているもの、普段置いてあるもの])。

**いっさ** [issa] 【名詞】 [B] 戦、戦争。 【例】 いっさー ひーや ならん (戦をしてはならない)。いっさゆー (戦争の時代)。

**いっず** [izzzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [C] 生きる。 【例】 すなだ わいていー いっでい (死なないうでしっかり生きなさい)。ゆながい いっだんまい なうぬ みーんまい ならん (長い間生きてもなんの役にもたたない)。 [類] いっでい。

**いっだい** [iddai] 【名詞】 咳、痰、喘息。 【例】 いっだいびとうー いつまい いさぐーどう あす (喘息の人はいつも咳をする)。いっだいびとう ((病気がちで) 咳をして痰を吐く人)。いっだいや なまらん (喘息がとまらない)

**いっだす** [iddasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 生き返らせる。 【例】 うーっふいー すにーにゃーん ひとつー いっだす (溺れて死んだ人を生き返らす)。

**いっだま** [iddama] 【名詞】 人を呪うこと、呪いの言葉を言う。 【例】 ひとつー いっだま あすていがー うなが どうーんかいどう ふー (人を呪うと自分に来る [>人を呪わば、穴二つ])。ひとつーぎゃー いっだまうぎゃー ほうん (人を呪わない [>人を呪ってはいけない])。いっだまー ひー ぬるー (呪いの言葉を言って呪う)。

**いっちやー っさん** [ittçɑ: ssan] 【成句】 自制が効かない、分別のない。 【例】 まーぬ いっちやー っさん むぬふあいゆぎゃー あすな (あまり分別のない食べ方はするな)。かりゃー つむでいていがー いっちやーっさん ほうりむぬ (彼は怒ると自制心が効かなくなる馬鹿者だ)。まーぬ いっちやー っさん むぬいゆぎゃー あすな (あんまり馬鹿なことは言うな)。

**いっつ** [itsitsi] 【名詞】 [A] 『数詞』 五つ。

**いっつふい** [itsiffi] 【動詞】 [母音語幹] 息があがる、息ができない。 [類] いつふー。

**いっでい** [iddi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 生きる。 [類] いっず。

**いっとうつ** [ittutsi] 【名詞】 一時、すこししたら。 【例】 うぬくとうー いっとうつぬ ばんがま (そのことは一時的なものだ)。うりゃー いっとうつんな むどういどうす (彼はちよっとしたら戻ってくる)。

**いつなんどうつ** [itsinandutsi] 【成句】いつ何時。【例】いつなんどうつ ないぬ ふーががら っさいん (いつ何時地震が来るかもしれない)。

**いつぬにー** [itsinuni:] 【名詞】息の根。【例】いつぬにーぬ ふかっでいー あすきや くらはいたい (息の根が止まるほど殴られた「いつぬ にーゆ (息の根を)」でもよい)。

**いつぬひとう** [itsinuhitu] 【名詞】『数詞』五人。

**いつばかーい** [itsibakai] 【名詞】いつ頃。【例】っづあー やーにやー いつばかーいんど う ふーがまた (あなたは来年はいつ頃来るのか)。[類] いつなぎ。

**いつふー** [itsifu:] 【動詞】[f/ff 語幹] 息があがる、息ができない。【例】だりー いっちや ひらいんばかーい いつっふいー うたい (疲れて息もできないくらい喘 (あえ) いでいた)。[類] いつっふい。

**いつまい** [itsimai] 【副詞】いつも。【例】かぬきやが ふたーいや いつまい ひとうみ (あの二人はいつも一緒だ)。いつむすがまうぎやー かなっさ あっそう (動物をかわいがりなさい)。

**いつむす** [itsimusi] 【名詞】家畜、ベツト；動物。【例】いつむすんな むぬーまい ふいー みっじゅまい ぬまし (家畜に餌もやり、水も飲ませろ)。じょー、 どうーまい いつむすがまう、まゆがまう つかなーでい (さ、私達もベツト、猫を飼いましょ)。やまぬ いつむっそうぎやー かつまだうり (山の生き物は捕まえるな [山に住んでいる生き物は病気を持っていることが多いから])。やーぬ いつむっそう つかなう (家畜の世話をする)。

**いつむどうい** [itsimudui] 【名詞】往復。【例】きゅーや っさらとうぬ いつむどういや あ

いきー だりーどうーい (今日は平良との往復を歩いて疲れている)。

**いつむん** [itsimun] 【名詞】親戚。【例】ばんちゃー いつむん (私たちは親戚だ)。

**いつんつ** [itsintsu] 【名詞】往路、行く途中。【例】むとうやーや がっこうかい いつんつんどう あい (実家は学校に行く途中にある)。

**いでい** [idi] ① 【動詞】[母音語幹] [C] (外に出る、(偉い人物が) 出る。【例】あらんかい いでいー あそー (外に出て遊ぶ)。いでいー はり (出ていけ)。すかまんかい いでいー はたい (仕事に出ていった)。いでいふつから いでいる (出口から出る)。ぬーから どう ぶっさ いでいー (恵まれない家庭から偉人は生まれる)。② 【動詞】[母音語幹] [C] 発生する、発症する。【例】すばいがまぬどう いじゅー (コバエが発生している)。さみかうしゃーや いでいー かうかいば ならん (疥癬が出て痒くてしかたがない)。

**いでい** [idi] 【名詞】[A] 『疑問詞』どっち、どれ [人でも物でも可]。【例】いでいがどう っづあが みどうんっづあ (どっちがあなたの娘だい)。っづあー いじゅー とうらでい (君はどっちを取るの)。くいとう くいとうや いでいがどう ます (これとこれとはどっちがいい [[わらべ歌「ナビンマヤーヌ ムク」] にでる文句、日常語でも使う])。[変異] んでい。

**いでいーはいーふつ** [idi:hai:futsi] 【名詞】出入口、戸口。【例】っづあが やーぬ いでいはいーふつん たつていがー たるまい やーなかんかい はいらいんだらよ (お前が戸口に立ったら誰も家の中に入れなさい)。[変異] いでいはいふつ、いでいーはいふつ、いでいはいーふつ。

**いでいーはいふつ** [idi:haifutsi] 【名詞】出入口、戸口。[変異] いでいーはいーふつ。

**いでいいー** [idii:] 【名詞】(人の) 出入り、往来。【例】やどうふっちゃ いでいいー あすどうくま (玄関は出入りする所だ)。くまーにんぎんぬ まーぬ いでいいーや にやーん とうくま (ここはあまり人の往来がないところだ)。

**いでいそうるー** [idisuru:] 【動詞】[w 語幹] 出揃う。【例】きゅーや やびとうんーな いでいそうるい ふいーさまい やぐみ すでいがほー (今日はみなさんおそろいいただきありがとうございます)。まみがはなー いでいそうるいーよー (豆の花は出揃っているよ) [[古謡 豆が花から。次に「つゆがはなー さきそうるいーよー (露の花は咲き揃っているよ) と続く。古謡では一般に対句を成し韻を踏む]]。【類】いでそうるい。

**いでいはいーふつ** [idihai:futsi] 【名詞】出入口、戸口。【変異】いでいーはいーふつ。

**いでいはいふつ** [idihai:futsi] 【名詞】出入口、戸口。【変異】いでいーはいーふつ。

**いでいみー** [idimi:] 【名詞】分担金。【例】っうあが いでいみーや いちまんえん (お前の出し分は1万円だ)。【類】はらいみー、いでいみーはらいみー。

**いでいみーはらいみー** [idimi:haraimi:] 【名詞】分担金。【類】いでいみー、はらいみー。

**いでそうるい** [idesurui] 【動詞】[母音語幹] 出揃う。【類】いでいそうるー。

**いとう** [itu] 【名詞】[C] 糸。【例】はいんかい いとうー っちゃんつ (針に糸を通す)。【変異】いちゅ。

**いとうま** [ituma] 【名詞】[C] 休み、暇。【例】かりやー がんじゅーかいば ひとういぬ いとうままい にやーん (彼は健康だから一日の休みもない [>健康で休みをとらない])。【変異】いちゅま。【類】ゆくい。

**いなう** [inau] 【名詞】[C] 内海、リーフと島との間の内海。【例】みがに まーいゆ いなうん あす (巣潜り漁を内海です)。いなうん どう たくまい うい (内海にタコもいる)。

**いなぎ** [inagi] 【名詞】[C] [疑問詞] 長さ、高さ、幅、距離、どれくらい。【例】くぬ んなー いなぎばかーい あり (この綱の長さはどれくらいあるの)。かいが たかさー いなぎばかーい (あの人の背の高さはどれくらいあるの)。くぬ だいぬ はばー いなぎばかーい (この台の幅はどれくらいなの)。っさらたーひー いなぎばかーい (平良までどれくらい距離があるの)。【類】いじやー。

**いなびかい** [inabikai] 【名詞】稲光。【例】いなびかいは ひかりどう かんないまい なりゅー (稲光が光って雷もなっている)。

**いばい** [ibai] ① 【動詞】[r/r 語幹] [A] 威張る；自慢する。【例】うやきていー まーぬ いばいな (金持ちだと言って余り威張るな)。っふあぬどう りゅーだいんかい はいりーにやーんていー いばるー (子供が琉大に入ったと言って自慢している)。② 【名詞】[A] 威張ること；自慢すること。【例】からー うむくとうあい ひとう やいば まーぬ いばいていーまい にやーっだん (あの人は賢い人だから自慢ということはあまりなかった)。

**いばいさー** [ibaisa:] 【名詞】威張ること；自慢すること；ほら吹き、自慢する人。【例】からー いつまい むいとうぬ いばいさー だら (彼はいつも威張る奴だよ)。たくーぎやー まーぬ とういや くーんそうが はーさとういっチャーてい いばいさー やい (たこをたくさん取ってはこなかったけれどたくさん取ったと自慢ばかりしている)。からー でいんな はーさ ありーどうーてい いばいさー やいだらよ (彼はお金はたくさんあると自慢ってばかりいるよ)。【類】いばら。

**いばら** [ibara] 【名詞】[C] 威張る人。【例】か

らー いばら だら (あいつは威張るやつなんだ)。[類] いばいさー。

**いび** [ibi] 【名詞】[B] 御嶽のもっとも神聖な場所 [ここでナナムイの儀式やお祈りをする]。  
【例】いびんかい はな、さき、まーそーうー うさぎが いふ (イビに供物、酒、塩を供えに行く)。ななむいぬ ぼーたー いびんどう かんぬ にがう (七柱の巫女たちはイビで祈願する)。

**いび** [ibi] 【動詞】[母音語幹][A] (種、苗を) 植える。【例】かふーん そーうゆ いびー (屋敷内の畑に野菜を植える)。ぶーっじゅ いびー (サトウキビを植える) んーぎーゆ いびー (芋づるを植える)。ゆぬりゃ なりーどーうーば ぶーずまい いびだかーならん (その時期になっているのでサトウキビも植え付けられない)。

**いびがん** [ibigan] 【名詞】『生物』伊勢海老。  
【例】いびがんぬぎゃー ゆいぬ いんな ひど う とうい (伊勢海老は夜間の漁でとる)。いびがんぬ んまさ あい むぬー にゃーん (伊勢海老はどうまいものはない)。

**いひな** [ihina] 【名詞】[C] 少しの量; 少しの時間。【例】ばが っじだまー いひなふだー (私の取り分は少ない [ >これだけしかないのか])。だりーゆーば いひながまやらばんまい ゆくーっさし (疲れているので少しだけでも休ませてくれ)。

**いびら** [ibira] 【名詞】[C] 飯ヘラ、イモをこねる細長い棒。【例】いびらひー んーぬ ったつ (イビラでイモを叩く)。

**いふ** [ifu] 【接頭辞】『疑問詞』「たーい (人)」、「つ (つ)」、「かいま (回)」、「から (匹、頭)」、「うに (隻)」、「うず (本)」などの助数詞の前につき数量の疑問詞を作る いくつ、いくら、なんにん、何回、何匹、何隻、何本。【例】さうが

たーひーや んめ いふか ありーどう (正月までは後何日あるのか)。

**いふ** [ifu] ①【動詞】[k 語幹][A] 行く。[変異] いつ。②【補助動詞】[k 語幹] 動詞の連用形について「～て行く」(「場所から離れていく」「時間の経過とともにへんかしていく」など)の意味を添える。[変異] いつ。

**いふーず** [ifu:zi] 【名詞】『疑問詞』細長い植物や芋を数える疑問詞、何本、いくつ。【例】ぶーっじゅぎゃー ひとつたいひー いふーずなまるつ (サトウキビは一束に何本束ねるの)。あんでいらんな んーな いふーず あり ((この) アンディラには芋がいくつあるの [アンディラは芋を入れる網かご])。[変異] いふすず。

**いふか** [ifuka] 【名詞】[A] 『疑問詞』日にちを数える疑問詞、何日。【例】さうがつつたーひーや んめ いふか ありーどう (正月まではあと何日あるの)。

**いふかいま** [ifukaima] 【名詞】『疑問詞』回数を聞くための疑問詞、何回。【例】みゃーくん かいや いふかいま っていーだ (宮古には何回来たことがありますか)。やらびあいぎゃー ひとついん いふかいままい いんかいや いきゅーたい (子供の頃は一日に何回も海に行っていた)。くぬ しばいや いふかいま みーばんまい うむっし (この芝居は何回見ても面白い)。[類] いふん。

**いふから** [ifukara] 【名詞】『疑問詞』生き物、家畜、魚の数を数える疑問詞、何匹、何頭。【例】っごあるが やーんな うっさ いふから うるーたい (お前の家には牛は何頭いたの)。

**いぶぎ** [ipugi] 【名詞】[C] 『疑問詞』大きさ、高さ、重さを聞く疑問詞、どれくらい。【例】っぞうー いぶぎばかーい あた ((その) 魚はどれくらいの大きさだった)。からー たかさー いぶぎばかーい あり (あいつは身長はどれくらいあるの)。くぬ いっさ んぶさー

いぶぎばかーい あり (この石の重さはどれくらいあるの)。[変異] いほうぎ。

**いふすず** [ifusizi] 【名詞】『疑問詞』細長い植物や芋を数える疑問詞、何本、いくつ。[変異] いふーず。

**いふたーい** [ifutai] 【名詞】『疑問詞』人の数を聞く疑問詞、何名、何人。【例】つづあーんまがー いふたーい うり (おたくのお孫さんはなんにんいるの)。きゅーぬ うぐなーいんかいや いふたーい ふーがまた (今日の集まりには何人来るの)。

**いふつ** [ifutsi] 【名詞】[A]『疑問詞』(年が)何歳、(ものの数が)いくつ。【例】つづあーいふつ なりーどうー (あなたは何歳になったの)。かーっさ いふつ あり (お菓子はいくつあるの)。

**いふん** [ifun] 【名詞】[C]『疑問詞』回数を聞くための疑問詞、何回。【例】かいはんかいや いふん いじゃうどうすたー (あの人には何回会いましたか)。ほうんぬぎやー いふんまい いふんまい ゆんぼどう うぶいらい (本は何回も繰り返して読めば覚えられる)。ひとつぬ なーや いふん つかばんまい うぶいらいん (人の名前は名前は何回聞いても覚えられない)。[類] いふかいま。

**いほうぎ** [ihugi] 【名詞】[C]『疑問詞』大きさ、高さ、重さを聞く疑問詞、どれくらい。【例】つづあー つぞうだまー いほうぎ つじでい (あなたは漁の分け前をどれくらいにしようか)。ばが まうきやー いほうぎまい にやーん (私の稼ぎはいくらもない)。[変異] いぶぎ。

**いみ** [imi] 【名詞】[B] 夢。【例】ばーが す がたぬどう いみん みーらいうたい (おばあさんの姿が夢にでてきた [＜見えていた])。ゆびやー んまが いみゆー みーたい (昨夜は母の夢を見た)。[変異] ゆみ。

**いみ** [imi] 【形容詞】[B] 小さい。【例】ばが やーぬどう んながーな いみかい (うちの家が一番小さい)。だいやもんどー いみからばんまい じゃうとうー (ダイヤモンドは小さくてもいい)。うまんないみ つぞうがまぬどう はーさ うい (ここには小さな魚がたくさんいる)。くいんつきや いみかい ちゃばんな むちーくー (これより小さい茶碗をもってこい)。ばー ほういかいむぬ がばーかいむぬー とうらでい やいば つづあー いみかいむぬー とうい (私は大きい方の物を取るからあなたは小さい方の物を取れ)。[類] ぐま。

**いみ まそうー びとう** [imi masu: bitu] 【成句】夢が正夢になる人。【例】かりやー いみ まそうーびいとう やいば かいが いみやー いつまい あたりーどうー (彼は夢が正夢になるひとなので、彼の夢はいつも当たる)。

**いみあみ** [imiami] 【名詞】小雨。【例】あがい、いみあみがまぬどう つふゆーい (あ、小雨が降ってる)。

**いみかいきや** [imikaikja] 【成句】幼いころ。【例】ばんちやー いみかいきやー きばんあたい (私たちは幼いころは貧乏だった)。

**いみさみー** [imisami:] 【成句】見下して見る事 [いみさ=小さいこと]。【例】いみさみーあすな (見下して見るな)。ひとつーぎやー いみさみーゆぎやー ほうん (ひとを見下すことをしない [＞他人を見下してはいけない])。

**いみすず あみがま** [imisizi amigama] 【成句】霧状の雨、小粒の雨。

**いみすず んーがま** [imisizi n:gama] 【成句】(育ち切っていない) 小さい芋。【例】つさに んーがまうどう いみすず んーがまていーまい あい ((まだ育ち切っていない) ひげ根芋を「いみすずんーがま」とも言う)。

**いみずむ** [imizimu] 【形容詞】料簡が狭い、人間が小さい。【例】いみずむんまり（度量が小さい人）。

**いみでいーがま** [imidi:gama] 【名詞】手が小さい；ケチな人。【例】みがが ていーや やらびぬ ていーぬ んまらーひー いみでいーがま（ミガの手はこどもの手のように小さい）。かりやー いみでいーがま やいば ひとつんかいや なくゆまい ふいーん（彼はケチだから人には何も恵まない）。

**いら** [ira] ①【感動詞】『談話標識』話しはじめに言いよどむときにだすことば、あのね、えーと；『フィラー』つなぎ言葉として使うことば、ね、えーと。【例】いら、からー、いら あばらぎ（あのね、彼女はね、美人だ）。つうあー、いら なかん やらびどう あたい（あなたは、ね、泣かない子供だった）。いら、かぬ、いら（あのね あの、あのね）。②【助詞】『終助詞』文の最後に付けて念押ししたり、確認することば、いいかい。【例】ばんまい いかでい、いら（私も行くよ、いい）。

**いら** [ira] 【名詞】[C]（魚の）鰓（えら）。【例】つぞうー ぼっじゃう とうきやんな いらうまい とうい（魚をさばく時にはエラも取りなさい）。

**いらう** [irau] 【名詞】[B] 『地名』伊良部。

**いらう** [irau] 【動詞】[b 語幹] [C]（人）を選ぶ、（くじなどを）選ぶ。【例】すまぬ そうじゃっそうー いらう（村の役員を選ぶ）。つうあが じゃうかいていー うむー ふっじゅ いらび（君がいいと思うくじを選びなさい）。

**いらうつ** [irausti] 【名詞】『魚』ブダイ。

**いらじゃーらん** [iraza:ran] 【成句】必要のない、要らない [動詞「いらじゃい」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味]。 [変異] いらじゃらん。

**いらじゃい** [irazai] 【形容詞】必要のない、要らない。【例】いらじゃい むぬいゆぎやー あすな（要らないことを言うな）。

**いらじゃい** [irazai] 【動詞】[r/rr 語幹] 要る、必要だ。【例】いらじゃらん むぬいゆぎやー あすな（いらんことをいうな）。うぬ とうきやー みやーすかたいば でいんな いらじゃらだ ふあーいどうすたい（そのころは生活が楽だったので、金も要らずに生活できた）。つうあ でいんな いかっさばかーい いらじゃい どうすが（お前は金はどれくらい要るのか）。

**いらじゃらん** [irazara:n] 【成句】必要のない、要らない [動詞「いらじゃい」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味]。 [変異] いらじゃらん、いらじゃーらん。

**いらじゃらん** [irazaran] 【成句】必要のない、要らない [動詞「いらじゃい」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味]。 [変異] いらじゃらん。

**いらびーつー** [irabi:tsi:] 【動詞】[ccc/ttt 語幹] 厳選する [＜選び＋切る]。【例】うまぬ つぞう なかから じゃうかいむぬー いらびちー みーる（その魚のなかからいいものを選んでみる）。[類] いらびってい。

**いらびってい** [irabitti] 【動詞】[母音語幹] 厳選する [＜選び＋切る]。 [類] いらびーつー。

**いらびってい** [irabitti] 【副詞】選びに選んで、精選して。【例】いらびってい とうい（精選して（いいものを）取れ）。

**いり** [iri] ①【動詞】[母音語幹] [A] 入る；（日、月が）沈む。 [類] いー。

**いり** [iri] ①【動詞】[母音語幹] [A] 入れる。【例】みっじゅぎやー どんない いりる（水はどんどん入れなさい）。[類] いー。②【動詞】[母音語幹] [A]（ものをなにかに）入れる。[類] いー。③【動詞】[母音語幹] [A]（太陽が）沈む。

(夜が)更ける。【例】ていだー いりーにやーん (太陽は沈んだ)。ゆーや いりーにやーん (夜は更けた)。**[類]** いて。◎【動詞】**[母音語幹]**  
**[A]** (雨、雷など天候が) 収まる。**[類]** いて。

**いり** [iri] 【動詞】**[母音語幹]** **[A]** 要る、必要だ。  
**[類]** いて。

**いりずみ** [irizimi] 【名詞】刺青。【例】いりずみゆー ほうー やくざぬ うい (刺青をしているヤクザがいる)。**[類]** はずつ。

**いりばー** [iriba:] 【名詞】入れ歯。【例】ばーはーや にやーんぼどう いりばーゆー ひーゆー (私は歯がないので入れ歯している)。

**いりびたい** [iribitai] 【名詞】入り浸ること。  
 【例】かりやー いつまい かまぬ やーんどう いりびたいやひー むぬー ふあいゆー (彼はいつも向こうの家に入り浸りして飯を食っている)。

**いりよー** [irijo:] 【名詞】必要、入用。【例】でいんな いつまい いりよー (お金はいつも必要なものだ)。でいんぬ いりよーぬ とungskゃんな いつまいあっじ (金が必要な時にはいつでも言いなさい)。いんな むぬー ふいーきや たーひーや びーないや とろんまほうだ むゆかん (犬は食餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。

**いん** [in] ◎ 【名詞】**[C]** 海 [提題形、第二目的格形は「いんな」、目的格形は「いんぬ」であるが、80代後半以上の世代ではそれぞれ「いんま」、「いんむ」になる。【例】かりやー いんかい はりーにやーん (彼は海に行った)。いんぬ かじゃ (海のおい)。いんぬ あいつ (漁に出る [＜海を歩く])。じょ いんかい うーずが (海に泳ぎに (行こう))。◎【名詞】**[C]** 漁。【例】いんかい (漁に (行く))。かまんどう いんうりびとうぬ みーらいゆー (向こうで漁をしている人が見られる)。いじやいや ゆいぬ いん (漁りは夜の漁)。いんまーい (海に

行くこと、漁に出ること)。いんびとうんみ (漁師たち)。いん うりが (漁に (行く))。いんあす ひとつ (漁師)。いんしゃー (漁師)。

**いん** [in] 【名詞】**[B]** 犬 [「いん (海)」と異なり、提題形、第二目的格形は「いんな」、目的格形は「いんぬ (犬を)」で、80代後半以上の世代でも「いんま、いんむ」となることはない]。  
 【例】いんかい むぬー ふいーる (犬にエサをあげなさい)。いんぬ ぶいーゆー (犬が吠えている)。いん っふあいにやーん (犬に噛まれた)。

**いんうす** [inusi] 【名詞】《生物》ウミウシ。

**いんかないびとう** [in kanaibitu] 【名詞】良い漁師。【例】まさいや むいとうぬ いんかないびとう (マサイはとても良い漁師だ)。

**いんぐな** [inguna] 【名詞】祝いの時などに漁に出る担当者たち。【例】ばー きゅーや いんぐな やいば いんいきー っぞうー とういーくーでい (私は今日は祝い漁担当なので漁に行つて魚を取つてこよう)。

**いんしゃー** [inɕa:] 【名詞】漁師。【例】いんしゃーたー きゅーまい いんかい (漁師たちは今日も海に (行く))。**[類]** いんまーら。

**いんじゃう** [inzau] 【名詞】良い漁師。 **[類]** いんばう、いんしゃー。

**いんだうー** [indau:] 【名詞】漁具。【例】いんだうーゆ そうるい (漁具をそろえる)。

**いんとう まゆ** [intu maju] 【成句】犬猿の仲 [＜犬と猫]。【例】うぬきやが ふたーいや いつまい いんとう まゆ (彼ら二人はいつも犬猿の仲だ)。

**いんどうい** [indui] 【名詞】海鳥。

**いんどうい** [indui] 【名詞】《魚》ミノカサゴ。  
 【例】いんどういぬ つーずんな どくぬどうあい (ミノカサゴの刺には毒がある)。

**いんにんじゅ** [inninzu] 【名詞】（一緒に船に乗って漁に行く）漁師仲間。【例】ぼんていがいんにんじゅ いつぬ ひとつ（私たちの漁のメンバーは5名だ）。

**いんぬ いそう** [innu isu] 【成句】大漁〔＜海の幸〕。【例】きゅーまい いんぬ いそう つきどうーたい（今日も大漁だった）。

**いんぬ すばな** [innu sibana] 【成句】岸壁。【例】いんぬ すばなんかい ぬーい（岸壁のぼる）。

**いんぬ むー** [innu mu:] 【成句】海の藻。【例】ふゆん ないていがー いんぬ むーぬ ゆー うい（冬になると海の藻が良く生える）。

**いんぬーまがま** [innu:magama] 【名詞】〔生物〕タツノオトシゴ。【例】いんぬーまがまー びきむぬぬどう つふあうぎやー なすちや（タツノオトシゴは雄が子供を産むらしい）。

**いんばい** [imbai] 【名詞】好色な女性、不倫女。

【例】いんばいやーや かたなばー（好色女の家は争いがたえない）。いんばい みどうん（淫売婦）。

**いんぼう** [imbau] 【名詞】〔生物〕ウミヘビ（毒をもつ）。

**いんぼう** [imbau] 【名詞】優秀な漁師。〔類〕いんじやう、いんかないびとう。

**いんばた** [imbata] 【名詞】海のちかく（浜辺も含む）。【例】いんばたやー（海の近くの家）。いんばたう あいつ（浜辺を歩く）。ふにゅーぎやー いんばたんかい ゆっじゃし（舟を海辺に寄せろ）。

**いんまーら** [immarara] 【名詞】漁師。〔類〕いんしゃー。

**いんまらだに** [immaradani] 【名詞】股関節にあるリンパ腺。【例】いんまらだにぬ ふくりーにゃーん（股関節のリンパ腺が腫れた）。





# う

う [u] 【助詞】『格助詞』名詞について動作の対象を表す格助詞、を〔長音、二重母音で終わる名詞に付く場合「ゆ」、「ん」で終わる名詞に付く場合は「ぬ」、「す、つ、ず」で終わる名詞のあとでは、それぞれ「っそう、っちゆ、っじゆ」となる。子音+iで終わる名詞に付くときは、「み+う>みゆー、し+う>しゆー」のように「子音+ゆー」となる〕となる。「ふ」で終わる名詞に付く場合は、「たうふ（豆腐）+う>たうふー、たうっふ」のように「ふー」「っふ」のどちらも可能。それ以外の名詞に付く場合は「う」で現れる〕。【例】はうゆ かつん（蛇を捕まえる〔はう+う>はうゆ〕）いんかい むぬー ふうー（犬に食べ物をやれ〔むぬ+う>むぬー〕）。いすぐーばいぬ むるっそう っそうい（石が混ざった畑の石をとりのぞけ〔むるす+う>むるっそう〕）。あんつかいまーいや ひー いらうっちゆ とうい（追込み漁でブダイを取る〔いらうつ+う>いらうっちゆ〕）。いんばたう あいつ（海岸を歩く〔いんばた+う>いんばたう〕）。まみゆー ひきー たうふー ちゆふー（大豆をひいて豆腐を作る〔まみ+う>まみゆー、たうふ+う>たうふー、「たうっふ」でもよい〕）。[変異] ゆ。[類] あ。

うー [u:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 恐がる。【例】かりゃー ならゆまい うっぐあん（彼は何事をも怖がらない〔否定形として「いっぐあん」「ゆっぐあん」も可能〕、「ゆーん」、「うーん」も可とする人あり〕。ばー やらびあいきゃー まずむぬーぎゃー むいとう うっぐゆーたい（私はこどものときは幽霊がとても怖かった〔  
怖がっていた〕）。[変異] ゆー。[類] いっぐい。

うー [u:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 売る。【例】っぞうー っぐいー うるーたい（魚を売ってくらしていた）。うーぬくい（売れ残る/売れ残り）。うらー っぐあんまい でいんな ならん（これを売っても（大した）金にはならない）。

うー [u:] 【動詞】[w 語幹] [A] 追いつく、（あとを）追いかける。【例】まゆがまう うーたい しょうがどう かつみらいっだん（子猫を追いかけたが、つかまえられなかった）。ぬーまう うーい（馬を追いかける）。やらびゃー はーかいば うーいん（子供は足が早いので追いつかない）。[類] うー（母音語幹）、うーい。

うー [u:] 【動詞】[母音語幹] [A] 追いつく、（あとを）追いかける〔w 語幹の「うー」が受身形「うーい」、使役形「うーす」になるのに対して、母音語幹の「うー」は、受身形「うーらい」、使役形は「うーっさす」となる。〕。【例】ぶーっじゃ ぬそうみー ぬすん うーらいーにゃーん（サトウキビを盗んで主に追いかけられた）。[類] うー（w 語幹）、うーい（母音語幹）。

うー [u:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 怖がる、恐れる。 [類] うーっぐい。

うー [u:] 【動詞】[w 語幹] [A]（物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーい（風呂敷でそれを覆え）。[類] うー（vv 語幹幹）、うーい、うーう、うーっぐい。

**うー** [u:] 【動詞】 [v 語幹] [A] (物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて) 隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーづい (風呂敷でそれを覆え)。[類] うー (w 語幹)、うーい、うーう、うーづい。

**うーい** [u:i] 【動詞】 [母音語幹] [A] (あとを) 追いかける、追いつく。[類] うー (母音語幹)、うー (w 語幹)。

**うーい** [u:i] 【動詞】 [母音語幹] [A] (物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて) 隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーいる (風呂敷でそれを覆え)。[類] うー (w 語幹)、うー (v 語幹)、うーう、うーづい。

**うーう** [u:u] 【動詞】 [v 語幹] [A] (物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて) 隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーづい (風呂敷でそれを覆え)。[類] うー (w 語幹)、うー (v 語幹)、うーい、うーづい。

**うーじゆるかき** [u:zুরুkaki] 【名詞】 (煮物や汁ものをする) 中型の鍋。

**うーす** [u:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] (馬や牛に荷を) 負わせる、(馬車などに荷を) のせる。【例】ぬーまんかい っさう うーし (馬に草束を負わせる)。

**うーず** [u:zi] 【動詞】 [g 語幹] [C] 泳ぐ。【例】んすぬかーん いきー うーずが (ンスヌカーに行つて泳ぎに (行こう))。

**うーず** [u:zi] 【名詞】 [C] 水泳、水浴び。【例】きゅーや んすぬかーんきー うーず あすが (今日はンスヌカーに水浴びをしに (行こう))。すぶたい びとう、うーっじゅ あっそう (不潔な奴め、水浴びしろ)。

**うーづい** [u:vvi] 【動詞】 [母音語幹] (物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて) 隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーづい (風呂敷でそれを覆え)。[類] うー (w 語幹)、うー (v 語幹)、うーい、うーう。

**うーづい** [u:vvi] 【動詞】 [母音語幹] 怖がる、恐れる。【例】うーづいだうり (恐がるな)。かりゃー まずむぬーぎゃー うーづいどうー (あいつは幽霊を怖がっている)。くぬいぬ ひとつんみゃー まずむぬーぎゃー うーづいん (最近の人たちは幽霊を怖がらない)。[類] いづい。

**うーつつ** [u:tsitsi] 【名詞】 大きなハンマー。

**うーっふ** [u:ffu] 【動詞】 [f/ff 語幹] 溺れかける; 溺れて死ぬ。【例】うまん うーっふていがー すんがまた (ここで溺れたら死んでしまう)。ばー んぬ うーっふいー んめちやうたい (私は昨日溺れかけて大変だった)。やらびゃー んすぬかーん うーっふいーにゃーん (子供はンスヌカーで溺れた)。ばー やらびあいきや まじゃん うーっふあじやうたい (私は子供のころ真謝港で溺れかけた (ことがある))。[変異] うーふ、うーふー。[類] うーっふい。

**うーっふい** [u:ffi] 【動詞】 [母音語幹] 溺れかける; 溺れて死ぬ。【例】やらびぬどう うーっふいーにゃーん (子供が溺れてしまった [普通は溺れそうになることを意味するが、溺れて死ぬことも表せる])。[類] うーっふ、うーふ、うーふー。

**うーふ** [u:fu] 【動詞】 [f/ff 語幹] [A] 溺れかける; 溺れて死ぬ。[変異] うーっふ。[類] うーっふい。

**うーふー** [u:fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] 溺れかける; 溺れて死ぬ。[変異] うーっふ。[類] うーっふい。

**うーんま** [u:mma] 【名詞】『祭礼』七杜（ななむい）の行事を取り仕切る代表者、司祭者。

**うーんま とーい** [u:mma tu:i] 【名詞】『祭礼』七杜のウーンマの石油ランプ [ナナムイにはランプは一つだけでウーンマが持って行った]。

**うーんまぬ とーすぬばん** [u:mmanu tusinuban] 【名詞】『祭礼』ウーンマの健康祈願をする祈願の一つ。

**うい** [ui] ① 【動詞】 [母音語幹] [A] 生える、成長する。【例】っさぬ うい（草が生える）。やらびぬ ういむぬー は一むぬ（子供の成長は早いね）。やらびやー ういなかー あばらぎふ なるーたい（（この）子供は成長するにつれてだんだん {ハンサム/美人} になった）。② 【動詞】 [母音語幹] [A] （陰茎、陰核が）勃起する。【例】まらぬ うい（男性が催して）陰茎が勃起する）。びーぬ うい（女性が催して）陰核が勃起する）。③ 【動詞】 [母音語幹] [A] 老人になる、老いる。【例】っさだういきやー ういー はちじゅーごんまい なりーにやーん（知らないうちに年を取って85歳にもなってしまった）。

**うい** [ui] 【動詞】 [r/r 語幹] [A] （人、動物などが）いる、住む。【例】ぬーんどう みからぬーまぬ うい（野原に三頭馬がいる）つづあー んなま んじゃんどう うるーば（お前はいまどこに住んでいるのか）。ばー んきやーんな おーさかんど うたい（私は昔大阪にすんでいた）。

**うい** [ui] 【補助動詞】 [r/r 語幹] 動詞連用形について進行、結果の状態を表す、～ている。【例】からー なきー うたいちゃ（彼女は泣いていたって）。ふがます っぎー つむでいんきー うたい（口うるさい父は怒っていた）。みどうんがまー ばらいんきー うたい（女の子は笑いこけていた）。でいんぬどう んつん うちゅーい（お金が道に落ちている）。っふあー っ

ざん んーしゅー（（その）こどもはお父さんははてている [んーしー+うい]）。やらび あいきやー うつなーんどう うるーたい（子供の時は沖縄に住んでいた [うり+うい+たい]）。

**うい** [ui] 【動詞】 [r/r 語幹] [A] 織る。【例】ぶーずんぬ うい（苧麻の着物を織る）。ういんかい つふていがー っさいどうす（彼に聞いたらわかるよ）。

**うい** [ui] 【名詞】 [A] 『指示詞』 それ、その人；これ、この人 [「うい」と「くい」は基本的に区別なく使われるが、文脈指示は「くい」でなく、「うい」が使われる]。【例】ういがどう じゃうかい（{これ/それ} がいい）。ういひー じゃうぶん（{これ/それ} で十分）。うらー ながい（{これ/それ} は {何だろう/何だ}）。うまんかい いつていがー たるががらぬ ういはずやいば、ういんかい つき（そこに行ったらだれかいるはずなので、その人に聞いて）。

**うい** [ui] 【名詞】 [B] きゅうり；うり。

**うい** [ui] 【名詞】 [A] 神、神様。【例】ういんかい うがん（神に祈る）。ういぬ みゅーぶき たすきーふいーさまてい（神様のお力でお助けくださいませ）。ういか（神様からの果報）。ういびらい（神にお願いをすること）。[類] かんがなす。

**うい** [ui] 【名詞】 [A] 上。【例】ういが ういんかい うるーぬーし（その上にそれをのせる）。つづあが かないまいぬ ういんな はいぬどう とーびゅー（お前の頭の上にハエが飛んでる）。[類] はな。

**うい** [ui] 【名詞】 [A] 北。【例】ういんかい ふつ（北に向く）。ういかでい（北風）。ういでいん（北の空）。ういっしばら（北隣）。ういかた（北の方）。ういんかい ふきぬ やー（北向きの家）

**ういが はーさ** [uiga ha:sa] 【副詞】 そんなに早く。【例】なうやひー ういが はーさ

すかまから むどうりー ったいが (なぜこんなに早く仕事から戻ってきたのか)。

**ういかぎ** [uikagi] 【名詞】成長につれて、姿形が良くなったことを表す。【例】かぬ やらびやー ういかぎ (あの子は成長に従い {ハンサム/美人} になった)。かいが んまー ういかぎ あたいば うぬ っふあまい ういがきん ないはず (あの子の母親も成長して美人になったから、その子も美人になるだろう)。

**ういぐり** [uiguri] 【形容詞】住みにくい、いづらい。【例】くまぬ やーや ういぐりかいば はやまり ひっこさでい (この家は居ずらいからすぐ引っ越そう)。ぶとうとう ばきやーりってい むとうやーんかい むどうりっち ゆーそうがどう ういぐりかい (夫と分かれて実家に戻ったけどいづらい)。

**ういざん** [uizan] 【名詞】初産。【例】ばが みどうんつうあー ういざん やいば やーんかい っちゅー (娘は初産なので家に帰ってきている)。

**ういだつ** [uidatsi] 【名詞】生まれ育ち。【例】じゃう ういだつ (良い生まれ育ち)。

**ういだてい** [uidati] 【名詞】『祭礼』トゥカンティのときに初めて外に赤ん坊を出すこと。【例】ばかつうあぬ ういだていんな んまぬ うほうっじゅ うがなが いつ (赤ちゃんを最初に外にだすときにお母さんのご先祖を拝みに行く)。

**ういつ** [uitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。【例】うまう ういつな (そこを動かす) くるまぬ ういかな んぎーにやーん (自動車が動かなくなった)。[変異] ういふ、うゆつ。[類] むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

**ういていっじゅまい** [uitizzumai] 【成句】あいつというやつは。【例】ういていじゅまい うむくとうー にやーん ひと (あいつは知恵の足りない人だ)。

**ういなうす** [uinausi] 【動詞】[s/h 語幹] 成長に従い可愛くなる。【例】かぬ やらびやー ういなうひやー ひどう あばらぎふ なりゆー (あの子は成長するにつれてきれいになってきた)。とうっさ どういー ういびとう なりーどうー (年を取って年寄りになっている)。わいてい ういなうひー たかばなん なりよ (頑張って大きくなったら高い鼻になりなさい)。

**ういびとう** [uibitu] 【名詞】お年寄り。【例】びきういびとう (おじいさん)。みどうんういびとう (おばあさん)。くすまがいういびとう (腰の曲がった年寄り)。

**ういびとう ふい** [uibitu fui] 【成句】実年齢よりも年寄りにみえる、年寄りくさい。【例】かりやー ういびとう ふい びとう (彼は年寄りくさい)。

**ういびとうっじゃ** [uibituzza] 【成句】年を取って相応の分別がある [「ういびとうじやんまり (年寄みたいなやつ) は使わない]。[変異] ういびとうっじゃー にやーん。

**ういびとうっじゃー にやーん** [uibituzza: nja:n] 【成句】年を取って相応の分別がある [「ういびとうじやんまり (年寄みたいなやつ) は使わない]。【例】ういびとうっじゃーにやーんまり (年相応の分別がないやつ)。[変異] ういびとうっじゃ。

**ういびらい** [uibirai] 【名詞】『祭礼』神様をあがめてお願いをすること。

**ういふ** [uifu] 【動詞】[k 語幹] [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいて

あるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。

[変異] ういつ。

**ういまい かいまい** [uimai kaimai] 【成句】誰も彼も、あれもこれも。【例】ぼんていが やーにんじゅー ういまい かいまい いんしゃーどう あたい (うちの家族はみんな漁師だった)。ういまい かいまい うまぬ やーんな たるまい みーん (その家には誰もいない [＜誰も彼もその家には誰もいない])。

**ういやっづい** [uijavvi] 【動詞】[母音語幹] 成長に従い可愛くなくなる。【例】からー ういやっづいどう んずぎふ なるー (あいつ成長して不細工になった)。

**うかーす** [ukasi] 【形容詞】(雨や風が) 激しい、(人が) 予想がつかない。【例】やぐみ うかーす あみ (とてもとても大変な雨だ)。かりゃー やぐみ うかーすびとう (彼は(何を) するか分からない) とても大変な人だ)。

**うかーすふ** [uka:sifu] 【形容詞】(真偽について) 自信がない、確かでない。【例】あちゃかいが くーらい むぬー うかーすふかいば あちゃぬ うぐなーいゆぎゃ ほうだうり (明日あいつが来れるかどうかわからないので明日の会合はするな [＞やめよう])。[類] あやすふ。

**うかーすふ** [uka:sifu] 【名詞】(真偽について) 自信がないこと、確かでないこと。【例】ういが こーこんかいや ごーかくあすむぬー うかーすふだー (彼が高校に合格するかどうかはっきりしない)。ごうーかくほうーたいむぬー うかーすふだ (合格したかどうか怪しい [＞合格したと言っているがそれは怪しい、信じられないという意味になる])。からー うっかーかいひーだちやうそうが うらー うかーすふだ (あいつは借金を返したと言っているそれは怪しい)。[類] あやすふ。

**うかい** [ukai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (人や壁に) 寄りかかる。【例】なうががらんかい ど

うーゆ うからはだかー ばぬんな たちや うらいん (何かに身体を支えられていないと私には立ってられない)。うまんかい うかり (そこにもたれる)。[類] うかい (母音語幹)。

**うかい** [ukai] 【動詞】[母音語幹] [C] (人や壁に) 寄りかかる。[類] うかい (r/rr 語幹)。

**うかう** [ukau] 【動詞】[b 語幹] [C] (抵当になっている土地を) 借金を返して取り返す [もともと自分の借金でなく、それを肩代わりする形でもよい]。【例】ぼんな でいんな にゃーんば ずーや うかばいん (私には金がないから土地は買い戻せない)。かいしゃ ずーゆ うかびー はいや うながむぬん ないたい (会社(沖縄製糖のこと)の小作地を買い戻し畑は自分のものになった)。[類] うかび。

**うかす** [ukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (倒れているものを) 起こす; (寝ているものを) 起こす。【例】うまぬ まるたう うかし (その丸太を起こせ)。やらびゃー うかひー むぬー ふいー (子供を起こして食事をさせる)。[変異] うくす。

**うかす** [ukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (魚を三枚に) おろす。【例】っぞうー うかひー なまっそう きり (魚をおろして刺身にしろ [＜刺身を切れ])。

**うかずー** [ukazi:] 【名詞】春の順風。【例】きゅーや じゃう うかずーぬ ふきゅーば ほーうや はりー ふにゅー とうばはでい (今日は春の順風が吹いているので帆を張って船を走らせよう)。

**うかび** [ukabi] 【動詞】[母音語幹] [A] (抵当になっている土地を) 借金を返して取り返す [もともと自分の借金でなく、それを肩代わりする形でもよい]。[類] うかう。

**うかま** [ukama] 【名詞】[C] 竈(かまど)。【例】うかまんかい なびゅー うつつ (カマドに鍋を置く)。[類] かまどう。

**うかがん** [ukamagan] 【名詞】《祭礼》台所の神 [＞火の神]。

**うがん** [ugan] ①【動詞】[m 語幹] [C] 頭を下げる；謝る；挨拶する。【例】ぬすどー ゆらひーふいーるていー うがみゆーたい（泥棒が許してくださいと謝っていた）。しーしーんかいや いつまい うがみ（先生にはいつも頭を下げてあいさつしなさい）。にんぎんな でいんかいどー うがん（人間は金に頭を下げる [＞世の中は金次第]）。かりやー ひとつんな うがまいん（彼は（威張っていて）誰にも頭を下げられない）。[類] うがまい。②【動詞】[m 語幹] [C] 礼拝する、祈願する。【例】やらびゆーぎやー さうずばりやー ひーからどうていどうぎやー うがます（赤ちゃんはお清めをしてしてから外に出して太陽を礼拝させる）。[類] うがまい。

**うがん** [ugan] 【名詞】[C] 《地名》大神島。【例】うがんな いみずまがま（大神島は小さな島）。

**うがんぬ んまが っし** [ugannu mmaga ççi] 【名詞】《地名》島尻の後方にあるリーフの名前 [＜ウガンの母のリーフ]。

**うき** [uki] 【動詞】[母音語幹] [C] 起きる。【例】にゆーたら はやまり うきる（朝寝坊め、早く起きろ）。やらびやー うきばな なりーどーうーな（子供は起きる時間になっているのかい [＞子供の起きてくるころだな]）。

**うき** [uki] 【名詞】[C] 海の浜から遠く離れたところ、沖。【例】うきんかいぬ ふに（沖への船）。

**うきくたい** [ukikutai] 【名詞】応答、受け答え。【例】うぬ やらびぬ うきくたいや やぐみむぬ（この子の受け答えは素晴らしい）。

**うぎやー** [ugja:] 【助詞】（格助詞＋提題）「ゆぎやー」の変異形、目的格形に提題を付けた形、「をば」に当たる。[変異] ゆぎやー。

**うきやがい** [ukjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 浮ぶ。【例】ふにやー うきやがりーどーうー（船は浮かんでいる）。

**うきやがいそうー** [ukjagaisu:] 【名詞】満ち潮に向かっていること。【例】んなまー うきやがーそうーん なりーどーうー（潮が満ちてきている）。

**うきやん** [ukjan] 【名詞】[C] 虫の付く木 [和名不詳]。[類] うきやんぎー。

**うきやん** [ukjan] 【名詞】[C] 《魚》ブチアイゴ [アイゴの一種で、縞模様がついている]。

**うきやんぎー** [ukjaggi:] 【名詞】《植》虫のつく木。[類] うきやん。

**うぎん** [ugin] 【名詞】[C] 《道具》魚を突く漁具、銚（もり）。【例】うぎんひー っぞうー つふ（銚で魚を突く）。

**うくい** [ukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（決まった時間に）間に合わない、（到着の時間が）後になる、遅れる。【例】あわている、 んめふにん んめーいうくいがまた（急げ、船に乗り遅れるぞ [＜もう船に乗り遅れるぞ]）。きゆーまい みどーうんみやー うくりどーうー ふーはず（今日も女性たちは遅れて来るはず）。めーるぬ へんじゃー うくりー ばがどーうー ばいかたい（メールの返事が遅れて私が悪かったです [＞すみませんでした]）。

**うくい** [ukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（事件などが）起こる。【例】やぐみぐどーうぬどーうー うくりゆーい（大変なことが起こっている）。

**うくい** [ukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（ものを送付先に）送る；（出発する人を）送る；（人を）送って行く。【例】うつなーんかい にーゆーうくい（沖縄に荷物を送る）。えきたーひーうくらでい（駅まで送ろう）。[類] うくい（母音語幹）。

うくい [ukui] 【名詞】[A] 送ること。【例】う  
くいと うんかい (送り迎え)。

うくい [ukui] 【動詞】[母音語幹] [A] (ものを  
送付先に) 送る; (出発する人を) 送る。[類]  
うくい (r/rr 語幹)。

うぐい [ugui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 蜂等が  
何らかの刺激で一瞬の中に怒り、攻撃に出る。  
【例】んまばすぬ すーゆ つつきー みーて  
いがー んまばっさ うぐっりにゃーん (蜂  
の巣をついたら蜂は一瞬に飛び出し攻撃にで  
た)。んまばっさ うぐっらす (蜂を刺激し  
て一瞬の中に怒らせ攻撃に出させる)。につぐ  
ゆー はうゆ つつきーみーていがー うぐっ  
りにゃーん (寝ていた蛇をついたら、突然  
攻撃してきた)。

うくす [ukusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (倒れて  
いるものを) 起こす; (寝ているものを) 起こ  
す。[変異] うかす。

うくたい [ukutai] 【動詞】[r/rr 語幹] 怠る。  
【例】すかまうぎゃー うくたらん (仕事を怠ら  
ない [ > 仕事を真面目にしろ ] )。

うくつとう [ukuttu] 【形容詞】(人が) おと  
なしい; (心が) 安心だ、不安でない; (場所が)  
静かだ。【例】うくつとう びとう (おとなし  
い人)。かぬ つぶあがまー うくつとう つ  
ぶあがま (あの子はおとなしい子だ)。なうぬ  
どう うくいががら うくつとうー ひらいん  
(何が起こるのか (わからないので) 安心できな  
い)。くまー やぐみ うくつとう じゃうど  
うくま (ここはとても静かでいいところだ)。

うぐな一い [ugunai] 【動詞】[r/rr 語幹] 集ま  
る、会って話し合う。【例】ひとうとう うぐ  
な一いらかー うむくとうまい いでいん (人  
と会って話をしないと考える出ない)。じゃー  
がまん うぐな一い ((村の) 広場に集まる)。  
やーにゃー つぶあが やーんかい うぐな一

りー どーそーかい ほうでい (来年は君のと  
ころに集まって同窓会をしよう)。

うぐな一い [ugunai] 【名詞】集まり、会合。  
【例】ういびとうんみぬ うぐな一い (老人達の  
集まり)。うとうじゃ うぐな一い (親戚の集  
まり)。

うぐない [ugunai] 【動詞】[r/rr 語幹] (お金を)  
集める。【例】ばいでいんぬ うぐない (分担  
金を集金する)。ばなむぬー うぐない ((集落  
の各戸の) 割り当て金を集める [昔は各戸に災  
害時や祭事の際に必要なものを割り当てて持っ  
てこさせたが、現在はお金を集めるのが普通]。  
ぶーずぬ からう うぐない (サトウキビの枯  
れ茎を集める [「から」は枯れ葉も含む])。[類]  
うぐない (母音語幹)。

うぐない [ugunai] 【動詞】[母音語幹] (お金  
を) 集める。[類] うぐない (r/rr 語幹)。

うさい [usai] ① 【動詞】[母音語幹] [A] (手で)  
押さえつける。【例】うまう うさいる (そこ  
を押さえろ)。[類] うさい (r/rr 語幹)。

うさい [usai] ② 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (手で)  
押さえつける。[類] うさい (母音語幹)。③  
【動詞】[母音語幹] [A] 実際より能力等を低く  
見積もる、侮る; 他人を見下げて馬鹿にする。  
【例】ひとうーぎゃー あいや うさいん (人を  
そんなに侮らない [ > 侮るな ])。からー ひ  
とう うさい やなんまり (あいつは人を押さ  
えつけるダメな奴だ [ > パワハラするダメな人  
だ ])。[類] うさい (r/rr 語幹)。④ 【動詞】[r/rr  
語幹] [A] 実際より能力等を低く見積もる、侮  
る; 他人を見下げて馬鹿にする。[類] うさい  
(母音語幹)。

うさい [usai] 【名詞】[C] 料理、つまみ。【例】  
さきぬ うさいや んない ゆーいぬ うさ  
いや んない やらびんみんかい っつ  
むっちゃひー はらひーにゃーん (お祝いの料  
理は全部、お祝いの料理は全部、子供たちにそ



れぞれ持ち帰らせた [さきぬ うさい (酒の料理)、ゆーいぬ うさい (お祝いの料理) は同じ言葉の繰り返し]。

**うさか** [usaka] 【名詞】[C] これだけ；話の終わりに付け加えることば。【例】あか、あにゃうさかがま (何だって、たったこれだけなの)。きゅーぬ まうきゃー うさきがま (今日の稼ぎはたったこれだけ)。ばが はなっさ うさか (私の話はこれでおしまい)。[類] うさき。

**うさき** [usaki] 【名詞】[C] これだけ。【例】うさきだー (これだけしかない)。うさきがまぬむぬーぎゃー ひとつきゃん ふあい すている (僅かの物は一度に食べてしまいなさい)。ばが っじ だまー うさきひー あてい かーん (私の分け前はすこしで十分)。[類] うさか。

**うさぎ** [usagi] ①【動詞】[母音語幹] [A] 載せる；捧げる、供える。②【動詞】[母音語幹] [A] (学校教育を) 受けさせる。③【動詞】[母音語幹] [A] (人を見送る)。

**うさきな** [usakina:] 【名詞】こんなにたくさん。【例】まさいや うさきがまひー かにゃー うさきなーな (マサイは僅かこれだけで、カニはそんなに沢山か)。つうあんな うさきなーゆぎゃー ふいーじゃーん (お前にはそんなにたくさんはやらない)。

**うさず** [usasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (雑草などを) 取り除く。【例】たいわんなーづっちゃんとうが うさはいん (紫カタバミはなかなか除去できない)。

**うさず** [usasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (責任を) 押し付ける、人のせいにする。[変異] うっさず。

**うさず** [usazi] ①【動詞】[g 語幹] [A] 載せる；捧げる、供える。【例】たむぬー ばが かなまいんかい うさぎーふいーる (薪を私の頭に押し上げてくれ)。はなう とういー かんか

い はなう うさず ((供え物の) 上 (または端のごく一部) をとって神に供える)。しーしーんかいぬ うさず むぬ (先生へのみつぎもの)。②【動詞】[g 語幹] [A] (学校教育を) 受けさせる。【例】きばんかたいそうが つふあうぎゃー がっこうんかい うさぎたい (貧乏だった子供を学校教育を受けさせた)。③【動詞】[g 語幹] [A] (人を見送る)。【例】つふあー さーりゆー ひとつ、うさずがっちゆー ひとつぬどう すきゃかい うたい (子供を連れてきている人、見送りに来ているひとで混雑していた [＜人が混雑していた])。

**うさば** [usaba] 【名詞】[C] (皮膚病の一種) たむし。【例】うさばー かうむぬ (たむしは痒い)。

**うさまい** [usamai] 【動詞】[r/rr 語幹] (喧嘩が) おさまる、(風などが) 静まる。【例】やどうゆんな うさまりーどうー (ケンカはおさまっている)。かじゃー うさまりーどうー (風は静まっている)。

**うさみ** [usami] 【動詞】[母音語幹] [C] 納める。【例】じゃうなうゆ うさみー ったい (税を納めてきた)。[類] うさん。

**うさん** [usan] 【動詞】[m 語幹] [C] 納める。[類] うさみ。

**うしーはい** [uʃi:hai] 【動詞】[r/rr 語幹] 一家離散する；(ものが) なくなる。

**うじゃー** [uza:] 【名詞】[C] (ものの) 長さがこれくらい、(距離が) そんな遠く。【例】ばがみーたい はうや うじゃーばかーい ((長さが分かるものを見せて) 私が見た蛇の長さはこれくらいだ)。ばー うじゃーんかい いかじゃーん (私はそんな遠くには行かない)。

**うじゃーな** [uza:na:] 【名詞】とても長いこと、とても遠く。【例】かぬ はうや うじゃーなー あたい (あの蛇はこんなに長かつ

た)。うじゃーなーぬ すまから っていーふ  
いーさまい やぐみ すでいがほー (とても遠  
くの村から来ていただいて本当にありがとうご  
ざいます)。ぼんちやー うじゃーなーぬ ぶ  
らたーひー いきゅーたい (私達はずっと遠く  
の保良まで行っていた)。

**うじゅます** [uzumasi] 【動詞】[s/h 語幹] 見  
せびらかす。【例】っづあが なうばい うじ  
ゅまはんまい ばー なうていーまい うむー  
ん (お前がどんなに見せびらかしても私はちっ  
ともうらやましくない)。

**うしろい** [uciroi] 【名詞】白粉 (おしろい)。

**うす** [usi] 【動詞】[s 語幹] [A] (ものが) なく  
なる、消滅する、(人が) なくなる；一家離散  
する。【例】かじゃー うしーにやーん (風は  
なくなった)。っづあー かまんかい うしー  
はり (お前は向こうに消えうせろ)。うまん  
あたい でいんな うしーはりーにやーん (こ  
こにあったお金がなくなってしまった)。かま  
ぬ やーや うどうきー うしーはりーにやー  
ん (向こうの家は破産して一家離散した)。

**うす** [usi] 【動詞】[s 語幹] [A] (人が人を) 押  
す；(仕事などを) 押し付ける；推薦する；(台  
風などが) 近づく。【例】あいや ちゅーく  
うさだうり (そんなに強く押さないでくれ)。  
あいや ひとつんかいや すかまうぎやー う  
さん (そんなに人には仕事を押しつけない [＞  
押し付けるな])。んなまぬ せんきよんな か  
りゅー うさでい (今度の選挙には彼を推す)。  
かでいふつぬ みやーくんかい うしっちゅー  
(台風が宮古に近づいてきている)。

**うす** [usi] 【動詞】[s 語幹] [A] (～の) せい  
にする。【例】うぬ くとろーぎやー かいんか  
い うすな (この事を彼のせいにするな)。う  
なが ひーやー くとろー ひとつんかい う  
す (自分のやったことを他人のせいにする)。

**うす** [usi] 【名詞】[B] 牛。【例】びきうす (雄

牛)。んまうす (メスの親牛 [「っざうす (雄の  
親牛)」という言葉はない])。みーうす (牝牛)。

**うす** [usi] 【名詞】[C] 白。【例】いすうす (石  
臼)。きーうす (木臼)。うすひー まいゆ  
つつ (白で米を搗く)。あーゆ うすひー ひ  
つ (粟を白で挽く)。

**うす** [usi] 【名詞】[C] 《貝》水字貝の一種。

**うず** [uzi] 【名詞】[C] 《魚》ウツボ。【例】うっ  
じゃ あっづあむぬ (ウツボは脂っこい)。う  
っじゃ んぬつじゅー むぬ (ウツボは生命力  
が強い。[類] ぬず)。

**うず** [uzi] 【助数詞】芋、茎等を数える単位、個、  
本。【例】んーぬ ひとつうず ふあうたい  
(芋を1個食べた)。ぶーっじゅ にじゅーうず  
ひー ひとつたいゆ まるき (サトウキビを2  
0本で一束をくくれ ([＞20本で一束にしろ])  
[類] すず)。

**うすあい** [usiai] 【名詞】押し合い、レスリン  
グ；押し合いへし合い。【例】やらびあいきや  
ー ゆーどう そうじゃっそうんみん うすあ  
い あすみらいたい (こどものころよく先輩た  
ちにレスリングをさせられた)。はーさぬ ひ  
とうぬどう まっちやぬ やどうふつん うす  
あいや ひーゆー (たくさんの人が店の入口で  
押し合いへしあいしている)。

**うすつ** [usitsi] 【名詞】[C] 食べ物をのせて運  
ぶ膳。【例】むぬーぎやー うすつん ぬーし  
(食事をお膳にのせろ)。うすばーや ふとうて  
いーばー (奥歯は虫歯だ)。

**うすばー** [usiba:] 【名詞】奥歯、臼歯。【例】  
むぬーぎやー うすばーひー ちゅーく かん  
(食べ物は臼歯で強く噛む)。うすばーぬ にや  
ーだかー むぬー かまいん (臼歯がないと物  
は噛めない)。

**うすぶらす** [usiburasi] 【動詞】[s/h 語幹] 押  
し倒す。

- うすみ** [usimi] 【動詞】[母音語幹] [A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。〔変異〕うそみ。
- うずむす** [uzimusi] 【名詞】ウジ虫。【例】ふそんな うずむすぬどう むいとう たかりゆー（糞にはウジ虫がたかっている）。
- うすん** [usin] 【動詞】[m 語幹] [A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。〔変異〕うそん。
- うすん** [usin] 【名詞】[A] かがむこと、しゃがむこと、うつ伏せになること。〔変異〕うそん。
- うずん** [uzin] 【動詞】[m 語幹] [A] (ものを土中に)埋める。【例】うまんかい いっそううずみ（ここに石を埋める）。
- うすんつ** [usintsi] 【形容詞】引込み思案だ、消極的だ。〔変異〕うそんつ。
- うすんつ** [usintsi] 【動詞】[k 語幹] (ものを中に)押し込む；(ものをなにかの間に)差し込む。〔変異〕うそんふ。
- うすんつ** [usintsi] 【動詞】[k 語幹] うつむく。〔変異〕うそんふ。
- うすんつぐあい** [usinvvai] 【名詞】人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。〔変異〕うそんつぐあい。
- うすんつぐあや** [usinvvaja] 【名詞】隠れて食べる人。〔変異〕うそんつぐあや。
- うすんばい** [usimbai] 【名詞】人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。〔変異〕うそんつぐあい。
- うすんばい** [usimbai] 【名詞】隠れて食べる人。〔変異〕うそんつぐあや。
- うすんばや** [usimbaja] 【名詞】隠れて食べる人。〔変異〕うそんつぐあや。
- うずんばらやー** [uzimbaraja:] 【名詞】茅葺(かやぶき)の掘っ立て小屋〔真ん中に柱を埋め込んで作る小さな小屋〕。【例】んきやーんぬやーんな うずんばら やーまいどう あたい(昔の家には柱を埋め込んだ家もあった)。
- うすんふ** [usinfu] 【動詞】[k 語幹] (ものを中に)押し込む；(ものをなにかの間に)差し込む。〔変異〕うそんふ。
- うすんふ** [usinfu] 【動詞】[k 語幹] うつむく。〔変異〕うそんふ。
- うすんふあや** [usinfaja] 【名詞】隠れて食べる人。〔変異〕うそんつぐあや。
- うそー** [usu:] ① 【動詞】[w 語幹] [A] 覆う。【例】ほうんぬぎやー うつつーひー うそーい(本を風呂敷で覆え)。うまう うつつーひー うそーい(そこを風呂敷で覆え)。つぐあが うつつーや いみかいば うるー うそーんまい まんでいどうす(お前の風呂敷は小さいからそれを覆ってもはみ出すよ)。〔変異〕うそーい。② 【動詞】[w 語幹] [A] (地域を)支配する。【例】みやーくー とうゆみやん うそーいー うたい(宮古は豊見親に支配されていた)。〔変異〕うそーい。
- うそー** [usu:] 【動詞】[母音語幹] [A] (ものを覆いで)覆う。〔変異〕うそーい。
- うそー** [usu:] 【動詞】[母音語幹] [A] (地域を)支配する。〔変異〕うそーい。
- うそーい** [usui] ① 【動詞】[母音語幹] [A] (ものを覆いで)覆う。〔変異〕うそー。② 【動詞】[母音語幹] [A] (地域を)支配する。〔変異〕うそー。
- うそーい** [usui] 【名詞】[A] 茅葺家の天辺の半円形の覆い。【例】やーぬ うそーい(茅葺家の天辺の半円形の覆い)。
- うそーい** [usui] 【動詞】[w 語幹] [A] 覆う。〔変異〕うそー。

**うそうい** [usui] 【動詞】[w 語幹] [A] (地域を) 支配する。 [変異] うそうー。

**うそうみ** [usumi] 【動詞】[母音語幹] [A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。 [変異] うすみ。 [類] うすん。

**うそうん** [usun] 【動詞】[m 語幹] [A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。 【例】 あいぬ とくまん うそうまん (そんなところにしゃがみこまない [＜しゃがみこむな])。 やきゆーぬ ぼーるぬ とうびーふーば あたらんやうん うそうんたい (野球のボールが飛んできたのであたらないようにしゃがんだ)。 [変異] うすん。 [類] うすみ。

**うそうん** [usun] 【名詞】 [A] かがむこと、しゃがむこと、うつ伏せになること。 【例】 うまん うそうんにゆー あっそう (そこにうつ伏せになりなさい) [変異] うすん。

**うそうんつ** [usuntsi] 【形容詞】 引込み思案だ、消極的だ。 【例】 うそうんつびとう (目立たないようにする人)。 からー うそうんつかい ば なうゆまい ほうっでいや ほうん (あいつは引込み思案だからなにもしようとはしない)。 [変異] うすんつ。

**うそうんつ** [usuntsi] 【動詞】 [k 語幹] (ものを中に) 押し込む; (ものをなにかの間に) 差し込む。 [変異] うそうんふ。

**うそうんつ** [usuntsi] 【動詞】 [k 語幹] うつむく。 [変異] うそうんふ。

**うそうんつぎあい** [usunvvai] 【名詞】 人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異] うそうんばい、うすんつぎあい、うすんばい。 [類] うそうんつぎあや。

**うそうんつぎあや** [usunvvaja] 【名詞】 隠れて食べる人。 【例】 かつふいー ひとうん みーらいやうんていー むぬー ふあう ひとうーどう うそうん ばやていー あい (隠

れて他人には見られないように飯を食べる人をウソウンバヤと言う)。 [変異] うそうんふあや、うそうんばや、うすんつぎあや、うすんふあや、うすんばや。 [類] うそうんつぎあい。

**うそうんばい** [usumbai] 【名詞】 隠れて食べること。 【例】 からー なかじやん かつふいー うそうんばい あすたい (彼は台所に隠れて盗み食いをした)。 [変異] うすんばい。

**うそうんばい** [usumbai] 【名詞】 人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異] うそうんつぎあい。

**うそうんばや** [usumbaja] 【名詞】 隠れて食べる人。 [変異] うそうんつぎあや。

**うそうんふ** [usunfu] 【動詞】 [k 語幹] (ものを中に) 押し込む; (ものをなにかの間に) 差し込む。 【例】 むぬーぎやー びばききやたーひー うそうんきー ふあい (食べ物は吐き出すくらいつめこんで食べなさい)。 うそうんつきやー んなない はいーどうす はず (無理に押し込めたらみんなはいるはずだ)。 ぶーずぬ さにゆー まにんかい うそうんき (サトウキビの種子をうねに差せ)。 あきんさうゆいすぬ すたんかい うそうんき (金棒を石の下に差し込みなさい)。 [変異] うすんつ、うそうんつ、うすんふ。

**うそうんふ** [usunfu] 【動詞】 [k 語幹] うつむく。 【例】 うそうんきー あいつ (俯いて歩く)。 [変異] うすんつ、うそうんつ、うすんふ。

**うそうんふあや** [usunfaja] 【名詞】 隠れて食べる人。 [変異] うそうんつぎあや。

**うだ** [uda] 【形容詞】 [A] 太った、太っている。 【例】 うだびとう (太った人)。 くぬいや っぐあー うだふ なりーどうーいー (最近、君は太ってきたねえ)。

**うだい** [udai] 【名詞】 [C] 《道具》 縦 15 cm、横 20 cm、高さ 12 cm位の蓋のついた木箱、板厚は 1 cm位。 煙草、釣り針、釣り糸、水中メガネ等

貴重品を入れ、中の物が濡れないようになって  
いる。

**うだい** [udai] 【動詞】[母音語幹][A] 太る。  
【例】ばー あてい うだいや ひどう あてい  
つふあいや ひどう ひとまた あいつきや  
ー いっちゃ はーみきーどう (わたしはとて  
も太り過ぎて一歩歩いたら息が切れる [ > 「う  
だいや ひどう、つふあいや ひどう」は同じ  
じ意味の言葉の繰り返し])。

**うだい** [udai] 【名詞】[C] 『祭礼』上から言わ  
れた祭事の役割。【例】みゃーくづつぬ う  
だいゆぎゃー わいてい かなーだかー なら  
ん (ミャークズツの勤めを頑張ってやらないと  
いけない)。きゅーぬ うたきぬ うだい (今  
日の御嶽の勤め)。うたきぬ うだいゆぎゃー  
わいていー かなーでい (御嶽の役割はしっ  
かり果たそう)。きゅーぬ うだいや っぞう  
とういが いつ くとう (今日の役割は漁に  
行くことだ)。

**うだか** [udaka] 【名詞】[C] この高さ。【例】か  
いが たかー うだか (彼の高さはこの高さ)。  
[類] うだつ。

**うたがう** [utagau] 【動詞】[w 語幹] 疑う。  
【例】ひとぅーぎゃー うたがーん (人を疑わな  
い [ > 疑ってはいけない])。

**うたき** [utaki] 【名詞】[C] 『祭礼』御嶽。【例】  
ななむいぬ うたき (ナナムイの御嶽)。[類]  
かんぬやー。

**うたす** [utasi] 【動詞】[s/h 語幹][C] 落とす。  
【例】むぬー うたす (物を落とす)。あかばた  
ういや うたひーみーきやー っさきーにや  
ーん (スイカを落としたら割れてしまった)。[変  
異] うとうす。

**うだつ** [udatsi] 【名詞】[C] 税 (うだつ)、頭  
(あがらない)。【例】からー くぬいや う  
だっちゃ あがらん (あいつは最近うだつがあ

がらない [ > ぱっとしない])。かいんかいや  
うだっちゃあがらん (彼には頭が上がらない)。

**うだつ** [udatsi] 【名詞】[C] この高さ。 [類]  
うだか。

**うだつ** [udatsi] 【動詞】[c/t 語幹][C] おだて  
る。 [類] うだてい。

**うだつまーい** [udatsimai] 【名詞】春一番  
(旧暦二月に吹く強い風)。【例】うだつまーい  
んな ちゅーかでいぬ ふつ (旧暦2月ころに  
は強い風が吹く) [類] にがつまーい。

**うだてい** [udati] 【動詞】[母音語幹][C] お  
だてる。【例】うりゅーぎゃー うだていばど  
う науゆまい あす (彼はおだてたら何でも  
やる)。

**うだまぶた** [udamabuta] 【名詞】(分け前な  
どが) 多い; 神様からの沢山の果報。【例】き  
ゅーぬ ばが ばきだまー うだまぶた あた  
い (今日は私の分け前はたくさんだった)。み  
はなぶた うだまぶた がーらしゅーれ (満面  
の嬉しさ、笑み、神様からの沢山の果報で満ち  
溢れさせて下さい [御嶽の祈願の文句])。

**うちゃーい** [utçai] 【動詞】[r/rr 語幹] (人、  
車などが人、ものなどに) ぶつかる。【例】く  
るまぬどう んつやっづあしやんかい うちゃ  
ーりーにやーん (車がブルトラーにぶつかつ  
た [ んつ (道) + やっづあしや (ダメにするも  
の)])。くるまー うちゃーらはいーにやーん  
(車を追突させられた)。

**うちゃーす** [utçasi] 【動詞】[s/h 語幹] (人が  
ものを何かに) ぶつける、うっかりぶつけてし  
まう。【例】うーつちゅ いすんかい うち  
やーし (ハンマーを石にぶつける [ > 石をハン  
マーでたたけ])。くるまう ますぎたんかい  
うちゃーひーにやーん (車を石塀にぶつけてし  
まった)。たうりー ふたいや いすんかい  
うちゃーひーにやーん (ころんで額を石にぶつ  
けてしまった)。

**うちゃーす** [utɕa:si] 【動詞】[s/h 語幹] (人が人に) ぶつかっていく。【例】かまぬ ひとりんみんかい うちゃーし (あそこの人たちにぶつかれ [ナナムイのインギョウ (=引退の式) の時などに喜びを表すために皆でぶつかりあうことがあった])。)

**うちやい** [utɕai] 【動詞】[母音語幹] [C] (手や道具などで人やものを) 打つ; (雨などが体を) 打つ; (人や車などが人やものに) ぶつかる、(雨などがものに) 当たる。【類】うちゃう。

**うちゃう** [utɕau] 【動詞】[w 語幹] [C] (手や道具などで人やものを) 打つ; (雨などが体を) 打つ; (人や車などが人やものに) ぶつかる、(雨などがものに) 当たる。【例】ばうひー ていびたいゆ うちゃうたい (棒でお尻を叩いた)。かいんかい うちやい (あいつにぶつかれ)。あみぬ くるまぬ はなんかい うちやうたい (雨が車の屋根にあたった)。あみん うちゃーいーにやーん (雨に打たれた)。【類】うちやい。

**うちゃう** [utɕau] 【名詞】[C] 『祭礼』 御帳 (村で生まれた新生児の名前を記載して神様に報告する帳面)。【例】うちゃうぬす (仲間御嶽の神様の名前)。くとうすん んまりやー やらびゆー うちやうんかい ぬーす (今年に生まれた子供を御帳に記載する)。

**うちやうぬす** [utɕaunusi] 【名詞】『祭礼』 神様の名前。新生児が生まれたらこの神様に報告をする。

**うちやなく** [utɕanaku] 【名詞】『祭礼』 無病息災、五穀豊穡の祈願; その祈願に使う三段に重ねた餅 [お盆の両サイドに三段餅を置き祈願する。昔コレラ等の伝染病で多くの人亡くなったのでウチャナクで無病息災を祈願した]。【例】うちやなく にがい (健康祈願の祭り)

**うちゃん** [utɕan] 【名詞】[C] 投げ網。【例】うちゃんひー あさいぬ っぞうー とうい

(打ち網で浅瀬の魚をとる)。うちゃんぬ ちゅー (投げ網を投げる)。

**うちゃん** [utɕan] 【名詞】[C] 女性の下半身用の下着、腰巻。【例】みどんみやー うちゃんぬ っー (女性たちは腰巻を付ける)。

**うつ** [utsi] 【名詞】[A] (建物などや入れ物の) 奥。【例】やーぬ あがいぬ うっちゅ みーみーる (家の東を見てみる)。うつばら (奥座敷 [奥の小さな部屋])。

**うつー** [utsi:] 【名詞】[C] 薪や炭火の火の残ったもの、熾火 (おきび)、残り火。【例】んぬぬ うつーひー うまっちゅ たつきる (昨日の熾火で火を熾せ)。

**うつ** [utsi] ① 【名詞】[B] 「ふつ (口、口中)」の母音に挟まれた時の形。「ふつん っふん (口に含む)」のように単独で使う場合は「ふつ」が用いられる。【例】いみうつがま (小さい口) ひとううつ (一口)。【変異】ふつ。② 【名詞】[B] 「ふつ ((瓶などの) 口、入り口)」の母音に挟まれた時の形。単独では「ふつ」が用いられる。【例】かでいぬ かいすうつんな かじやー にやーん (台風の目に入ったら風はない)。【変異】ふつ。

**うつ** [utsi] ③ 【名詞】[B] 「ふつ (話すこと、話しぶり) の母音に挟まれた時の形。「ふつがる びとう (口の軽い人)」のように最初に来る場合には「ふつ」を用いる。【例】あらうつ (歯に衣着せぬ人)。あづあうつ (誉め言葉を並べる人)。あらうつ (歯に衣着せぬ人)。あづあうつ (誉め言葉を並べる人)。ひやーうつ びとう (早口の人)。ふつたーなぬ にんぎん (口 (口先) だけの人間)。ほうーつ (大げさな人)。うなが ふつん ふあーいーにやーん (自分の口に食われた (口は禍の元))。ふつかない びとう (雄弁な人)。【変異】ふつ。④ 【接尾辞】 ことば、普通接尾辞的に使って「～語」を表す。単独でことばを表すときは「むぬい」を使う。【例】すまうつ (故郷のことば)。みやー

くうつ (宮古語 [普通、平良のことばを言う])  
 やーまうっちゃ っさいぐりむぬ (八重山語は  
 分かりにくい)。やまとうっちゃ むぬっじ  
 ゃいん (共通語は話せない) あずまうつ (お世  
 辞 [くあまい言葉])。[変異] ふつ。

**うっか** [ukka] 【名詞】[C] 借金 ; (返してない)  
 恩や恨み。【例】うっかぬ あてい はーさ  
 かいば かなまいまい ぬどうまい まーらん  
 (借金が多すぎて頭も首も回らない)。ばー  
 づあんかい うんずぬ うっかぬ あいば う  
 るー かいほでい (私はあなたに借りがあるので  
 それを返します [く恩義の借り])。

**うっくー** [ukku:] 【名詞】面倒くさがること  
 [くおっくう]。【例】まーぬ うっくー あす  
 な (あまり面倒くさがるな)。

**うっさす** [ussasi] 【動詞】[s/h 語幹] (責任を)  
 押し付ける、人のせいにする。【例】かりゃー  
 うなが ひーやー くとーまい ひとつん  
 かい うっさひー ひんぎーはい (彼は自分が  
 やったことも人のせいにして逃げて行く)。[変  
 異] うさす。

**うっじゃ** [uzza] 【名詞】[B] 『鳥』ウズラ。  
 【例】うっじゃぬ とうぬか (うずらの卵)。

**うっずき** [uzziki] 【名詞】『地名』西原の北東  
 にある山。【例】うっずき やま (西原の北東  
 にある山)。うっずきとう ぴんふぬ んなか  
 ぬ ていびかたん まっさびぬ うたきぬ あ  
 い (ウズキとピンプの間の後方にマッサビの  
 御嶽がある)。

**うっそう** [ussu] 【名詞】[B] 後頭部。【例】  
 たうりー うっそうー いすんかい ふあーひ  
 ーにやーん (倒れて後頭部を石にぶつけてしま  
 った)。ながうっそう (長い後頭部)。っさたら  
 うっそう (平べったい後頭部)。

**うったーていー** [utta:ti:] 【副詞】そのため  
 だけに、わざわざ、特別に。【例】きゅーや

みどりかいぬ あいぼどう うつなーから う  
 ったーていー ったい (今日はみどり会がある  
 ので沖縄からわざわざ来た)。

**うっちはらす** [uttci:harasi] 【動詞】[s/h  
 語幹] 追い返す、追い払う。【例】うぬ さき  
 ふあやうぎゃー うっちはらし (この酒飲み  
 は追い返せ)。

**うっちやす** [uttçasi] 【動詞】[s/h 語幹] 移す、  
 移動させる。【例】うまぬ つくいゆ かまん  
 かい うっちやし (ここの机を向こうに移動さ  
 せなさい)。

**うっちやす** [uttçasi] 【動詞】[s/h 語幹] (写真  
 を) 写す。【例】しゃしんぬ うっちやす (写  
 真を写す)。

**うっちらす** [uttçarasi] 【動詞】[s/h 語幹]  
 追いかけさせる。【例】かいん かぬ ぎずぎ  
 やうなう うっちらし (あいつにあの腕白坊  
 主を追いかけさせる)。

**うつつ** [uttsi] 【動詞】[c 語幹] [C] (病気が) う  
 つる。【例】やんぬ うつつ (病気がうつる)。  
 がーなう うつつ (アヒルを追いかける)。

**うつつ** [uttsi] 【動詞】[c 語幹] [A] 追いか  
 ける、追い返す、追い出す。【例】とういぬ む  
 っじゅ ほうしゃー とうくまんかい っちゅ  
 ーば うるー うっち (鳥が麦を干してある所  
 に来ているからそれを追い返せ)。やらびゅー  
 ていびから うっち (子供を後ろから追いか  
 ける)。

**うつつ** [uttsi] 【動詞】[c 語幹] [C] (写真が)  
 写る。【例】くぬ しゃしん うっちゅーひと  
 うー たるやいば (この写真に写っているのは  
 だれですか)。んめひー まいがまん くとーだ  
 かー うっちゃんたら (もっと近くに來ないと  
 写らないよ)。

**うつつ** [uttsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (ものを)  
 ある状態にする、(ものを下に) 置く。[変異]  
 うっふ。

うつつー [utsitsi:] 【名詞】風呂敷、大きな袋を広げて風呂敷として使うもの（水浴びするときなどにタオル替わりに使ったりする）。【例】うつつーひー うそい（風呂敷で覆え）。

うっとう [uttu] 【名詞】[A] 年下、弟、妹。【例】からー ばぬんな みーつ うっとう（彼女はわたしより3つ年下だ）。うっとうー かなす（弟、妹は愛おしい）。

うっとうそう [uttossu] 【名詞】後輩。【例】うっとうっそうんみゃー そうじゃっそうんみぬ むぬいゆ つかだかー ならん（後輩たちは先輩たちのいうことを聞かないといけない）。【類】すたっさ。

うつな一 [utsina:] 【名詞】『地名』沖縄本島。

うつない [utsinai] 【名詞】身内、家庭内。【例】っふあぬ ゆーいゆぎゃー うつないたーなひー ほうでい（出産祝は身内だけでやろう）。

うつにつ [utsinitsi] 【名詞】内熱、こもり熱。【例】かんぼーやひどう うつにつぬ あい（風邪で内熱がある）。

うつぬ くーい [utsinu kuri] 【成句】奥の小さな部屋。【例】ぶじゃがまー うつぬ くーいんどう にっづゆーい（おじさんは奥の小さな部屋に寝ている）。【類】うつばら。

うつばら [utsibara] 【名詞】奥の小さな部屋。【例】ぶじゃがまー いつまい うつばらぬ くぶーがなんどう にづいーうい（おじさんは締め切られた奥の小さな部屋に寝ている）。【類】うつぬ くーい。

うつつ [uffu] 【動詞】[k 語幹] [C]（ものを）ある状態にする、（ものを下に）置く。【例】さかさん さぐなう さぎー うっきゅーふばどう ういが みーや たりー うていーふー（逆さまにほら貝を下げておいておけば（その）身は垂れて落ちてくる）。たむぬー なかじゃ

んかい うつつ（薪を台所に置く）。【変異】うつつ。

うつみつ [utsimitsi] 【名詞】『魚』マルヒラアジ。【例】うつみっちゅ つー（まるひらあじを釣る）。

うてい [uti] 【動詞】[母音語幹] [C] 落ちる。【例】きーから うていー かなまいや ぴーきーにゃーん（木から落ちて頭に穴があいた）。

うでい [udi] 【名詞】[B] 腕。【例】やぐみたやぎ うでい（とても力強そうな腕）。【類】かいな。

うとうがい [utugai] 【名詞】あご。【例】うさきがまぬ むぬーぎゃー ひとうきゃん ふあい すている（僅かの物は一度に食べてしまいなさい）。

うどうかす [udukasi] 【動詞】[s/h 語幹]（騙して金などを）まきあげる。【例】かいん うどうかはいーにゃーん（彼に騙されて金を巻き上げられた）。

うどうき [uduki] 【名詞】[C]（賭けや株などの）損失額。【例】っづあが きゅーぬ うどうきゃー いかっさ（あなたの今日の負けはいくらだ）。きゅーぬ うどうきゃー ゆまいんばかい（今日の損は数え切れないくらいだ）。かいが かいしゃー むいどうきゃー ひーにゃーん（彼の会社は大損した〔「むい」は「量の多いことを表す接頭辞」〕）。

うどうき [uduki] 【動詞】[母音語幹] [C]（賭けなどに負けて）損する、破産する。【例】ぱちんこー ひー さんまん うどうきーにゃーん（パチンコをして、三万円損した）。かまぬやーや うどうきー うしーはりーにゃーん（向こうの家は破産して一家離散した）。【類】うどうつ。

うとうい [utui] 【接尾辞】（動詞連用形について）～しておいて、～していて。【例】すまー



とうい うとうい ていづあい うじゃー  
すーたい (相撲を取っていて、投げられて腕を  
擦りむいた)。くまん かつふうとうい す  
ぐ まさいゆ うどうるかはい (ここに隠れ  
ていきなりマサイを驚かせよう [ >いきなり飛  
び出して])。]

**うとうさた** [utusata] 【名詞】音沙汰。【例】  
なうぬ うとうさたまい にやーん (何の音沙  
汰もない)。

**うとうじゃ** [utuza] 【名詞】[C] 親戚。【例】  
うとうじゃ うぐなーい (親戚の集まり)。う  
とうじゃぶた ひとつ (親戚の多い人)。[類]  
はらうず、かたい。

**うとうす** [utusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 落と  
す。【例】まかいや うたひー ばりー すて  
いーにやーん (碗を落として割ってしまった)。  
[変異] うたす。

**うどうす** [udusi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (人や  
動物を) 脅す。【例】ひとつーぎやー うどう  
はん (人を脅さない [ >脅してはいけない])。

**うどうつ** [udutsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (賭け  
や株などで) 損をする。 [類] うどうき。

**うとうなす** [utunasi] 【形容詞】おとなしい。  
【例】うとうなす やらび (おとなしい子供)。

**うどうぬ** [udunu] 【名詞】[C] 《祭礼》ウタキ  
の中、神に願うところ。

**うどうるかす** [udurukasi] 【動詞】[s/h 語幹]  
驚かす、びっくりさせる。【例】くまん かつ  
ふうとうい すぐ まさいゆ うどうるかはい  
 (ここに隠れていきなりマサイを驚かせよ  
う [ >いきなり飛び出して])。]

**うとうるす** [uturusu] 【形容詞】(人や話など  
が) 怖い; (雨などが) 多量な。【例】うとう  
るす はなす (怖い話)。うとうるす みどうん  
(怖い女)。うとうるす ゆみゆー みー (怖い

夢を見る)。やらびやー うとうるすぎ なり  
ー たちー うたい (子供はおどおどして立っ  
ていた)。うとうるす あみ (大変な雨、大雨)。

**うどうるつ** [udurutsi] 【動詞】[k 語幹] 驚く。

【例】あてい うどうるつちやーひー まずむ  
ぬん たまっさ とうらいーにやーん (余りに  
もびっくりして幽霊に魂を抜き取られた)。か  
いん かばていー うどうるかはいーにやーん  
(彼に急に驚かされた)。

**うどうるつ** [udurutsi] 【名詞】驚き; 反省。

【例】がばー はうや みー ばー うどうるつ  
あすたい (大きな蛇を見て私は驚いた)。うど  
うるつちや にやーん (驚きはない [ >失敗し  
ても改善しようとしめない])。かりやー なうぬ  
うどうるつまい にやーん ほうりもぬ (彼  
は何の反省もないバカ者)。

**うどうるつ** [udurutsi] 【名詞】カツオの心臓。

**うどうるつ うむくとう** [udurutsi

umukutu] 【成句】懲りる心、反省心。【例】か  
りやー なうばい うどうきぬ しゆくんな  
うどうるつ うむくとうー にやーん (彼はい  
くら損をしても反省しない)。かぬ ひとつー  
うどうるつ うむくとうー にやーん さう  
や にやーんまり (あの人は反省しない、懲  
りることのないやつだ)。

**うな** [una] 【名詞】[A] 自分。【例】うりやー

うなが むぬ (これは私のものだ)。うらー  
うなが むぬな (これはあなたのものかい [ <  
自分のものかい])。うぬ さきやー ん°ぬぬ  
ばが ぬん ぬくい やいば うらー うな  
が むぬ (この酒は昨日の私の飲み残りだから、  
それは私のものだ)。おい まさい、うらー  
うなが むぬていー いばいな (おい マサイ、  
これは自分のものだといって自慢するな)。せ  
んきよぬ とうきやんな うなが かたぬ は  
一さからだかー かちやいん (選挙のときには  
自分の味方が多くないと勝てない)。うなが

むきむきん かなうていがー あたり (各人の特性で頑張ればそれが良い)。うなが さみゃー かぎさみ (自分のサメ肌は綺麗な肌だ [ > アバタもえくぼ])。うなが つふあ (自分の子供)

**うな** [una] 【助数詞】～艘、船を数える数詞。  
【例】ひとつうな (一艘)。ふたうな (二艘)。

**うながい** [unagai] 【名詞】長い間。【例】あいぬ うながい (そんなに長い間)。  
【類】ゆながい。

**うながたき** [unagataki] 【成句】身の程。【例】かりゃー うながたきゆーぎゃー っさん ほりむぬ (彼は自分の実の程を知らないバカ者だ)。

**うながたま** [unagatama] 【成句】自分の分、自分なりに。【例】うなが たまうぎゃー うなが ふあい (自分の分は自分で食べる)。うなが たまうぎゃー かないーどうー (自分なりに頑張っている)。

**うながつむーぎゃー むちゃん** [unagatsimu:gja: mutçan] 【成句】自制心がない、直ぐに怒る。【例】かりゃー うなが つむーぎゃー むちゃん (彼は自分の心を持たない [ > 彼は直ぐに怒る])。

**うながどうー** [unagadu:] 【代名詞】『再帰代名詞』自分自身、自分の体。【例】うながどうーから すきゃきる (自分自身から始めなさい)。ひとつんかいや あっじゃだ うながどうーひー あっそう (人に頼まないで自分でやれ [ > 人に言わないで]) うながどうー むつつちゃー っさん (自分の体の管理の仕方を知らない [ > 自己管理能力がない、世渡りが下手])。うながどうーふあや (向こう見ずな奴) うながどうーふあいんまり うながどうーふあい すかま (自分の身体を消耗するだけの仕事)。

**うながどうーどうー** [unagadu:du:] 【成句】各自、それぞれ。【例】うながどうーどうー

ーぬ うむい (各自の考え方)。うながどうーどうーひー あっそう (自分のことは各自でやれ)。

**うなず** [unazi] 【名詞】[C] ウナギ。【例】うなっじゃ なびーむぬ (鰻はぬるぬるしている)。

**うにや** [unja] ① 【名詞】[C] フグ。【例】うにやうぎゃー ふあーん (フグは食べない)。② 【名詞】[C] 大食い [ < フグ]。【例】おい、うにや、まーぬ ふあうな (おい、大食い野郎、余り食べるな)。からー むいとーぬ うにや (あいつはとても大食いだ)。

**うぬきや** [unukja] 【名詞】[C] それら、彼ら。  
【類】うぬきやた。

**うぬきやた** [unukjata] 【名詞】それら、彼ら。  
【例】うぬきやた (それらだ)。  
【類】うぬきや。

**うぬしゆく** [unuçuku] 【名詞】その程度。  
【例】ういが かなまいや うぬしゆくだー (彼の頭はその程度だ)。  
【変異】うんそうく、うぬしゃく。

**うぬっさかん** [unussakan] 【名詞】(決めたことなどを言い訳をして) 無視すること。【例】かりゃー すかまぬどう あいていー いつまい うぬっさかんな ひー くーん (彼は仕事があると言って素知らぬ顔をして、来ない)。  
【類】っさんふい。

**うばいが うばい** [ubaiga ubai] 【成句】参った、懲りごりだ、大変だ。【例】うばいが うばい ばー んめ うまんかいや ふたかいまていや いかじゃーん (こりごりだ、私はもうそこには二度とは行かない)。あいぬ はなすまいどう あいな、うばいが うばい (そんな話もあるのか、もう大変だ)。あがいー うばいが うばいよー。ばー なうばい あすぼどう じゃうかいがよー (大変だ。私はどうすればいいんだ)。うばいが うばい。なうばいぬ はなすが (大変だ。何ということだ)。  
【類】あがいが あがい。

**うばつ** [upatsi] 【名詞】[C]『祭礼』農作物の初物の祈願祭、お初の収穫感謝祈願〔ウーンマの家で神酒を供えるなどして行う〕。【例】あーぬ うばつ（粟のお初祈願）。

**うはるず** [uharuzi] 【名詞】大主神社の神様。【例】うはるずんかい ていーゆ かん（ウハルズに祈願する〔西原のお祈りは両手を開き、手のひらを上に向けて上げる〕）。ぶとうぬ うぶきどう みゃーっさー ひー ふぁいゆー（旦那のおかげで楽しく生活できる）。[変異] うばるず。

**うぱるず** [uparuzi] 【名詞】大主神社の神様。[変異] うはるず。

**うぶ** [ubu] 【名詞】[C]『幼児語』水〔赤ちゃんに水を飲ます時に「うぶ、うぶ」と言う〕。[変異] おぶ。[類] おぶ。

**うぶ** [ubu] 【名詞】[C] 船の碇〔石を縄で巻いて碇にしていた〕。【例】ふにぬ うぶー うらし（舟の錨を下ろせ）。うぶん<sup>°</sup>なう まつ（錨の綱を巻く）。

**うぶい** [ubui] 【動詞】[母音語幹][C] 覚える。【例】ひとつぬ なーゆぎゃー すぐ うぶいる（人の名前は直ぐに覚えなさい）。ずーゆ うぶい（字を覚える）。

**うぶい** [ubui] 【名詞】[C] 記憶力、覚え。【例】かいが うぶいや いつまい にゆー（彼のもの覚えはいつも遅い）。ばー かまんかい いふたい うぶいや にゃーん（私はあそこに行った覚えはない）。やらびんみぬ なーや うぶいらいん（子供達の名前は覚えられない）。

**うぶき** [ubuki] 【名詞】[C] お陰で。【例】んまーさぬ うぶき むぬまい ふぁーいー うたい（両親のお陰で飯も食べることができた）。[類] みゆーぶき。

**うぶく** [ubuku] 【名詞】[C]『祭礼』火の神。

**うぶしゅー** [ubuçu:] 【名詞】『魚』近海にいるカツオの一種、宗太鰹。【例】うぶしゅーやはまうつんどう っちゃいー（宗太鰹は近海で釣れる）。

**うぷず** [upuzi] 【名詞】[C] 亡くなった先祖たち、先祖神。[変異] うほうず。

**うぷだらか** [upudaraka] 【名詞】大嘘〔大浦方言の借用とされる〕。【例】うぷだらか ひとつぬ むぬいゆぎゃー つかだうり（大嘘つきの言うことは聞くな）。[類] ゆくし。

**うぶゆー** [ubuju:] 【名詞】出産直後に親戚等に配るお粥。【例】つぶあがまぬ んまいていがー うとうじゃんみんかい うぶゆーゆ くぼりーまーい（赤ちゃんが生まれたらお粥を配ってまわる）。[類] しらゆー。

**うぶん<sup>°</sup>な** [ubuṅna] 【名詞】『道具』錨を取り付けてある縄、錨綱。【例】うまんかい うぶん<sup>°</sup>なう ていづい（そこに錨綱を投げろ）。うぶん<sup>°</sup>なゆ なう（錨縄をなう）。

**うほう** [uhu] 【形容詞】[B] 大きい。【例】うほうゆー（大きな幸福）。ういがどう うほうかい（これが大きい）。[類] がばー、ほうい。

**うほうが** [uhuga] 【形容詞】[C] これくらいの大きさだ。【例】うらー うほうが（それはこれくらいの大きさだ）。うほうがばかーいぬかにふっじゅ むちーくー（これくらいの大きさの釘をもってこい）。

**うほうず** [uhuzi] 【名詞】[C] 亡くなった先祖たち、先祖神。【例】うほうずんかいや ていーゆ かみだかー ならん（先祖には祈願しないとイケない）。[変異] うぷず。

**うほうにや** [uhunja] 【名詞】[C] 大根。[変異] ほうにや。

**うま** [uma] 【名詞】[C] そこ、ここ。【例】うままい あらん、くままい あらん、かぬちや

(そこでもない ここでもない 向こう側だ)。うまぬ ままーい(その周辺)。うま くま((近くの)あちこち)。むとうやーんかい いぎーみーたいそうが っぎー うまん な みーっだん(本家についてみたけれど、お父さんはそこにはいなかった)。

**うまかま** [umakama] 【副詞】あちこち。【類】あまくま。

**うまがま** [umagama] 【副詞】すぐそこ。【例】むとうやーや すぐ うまがま(本家はすぐそこだ)。

**うまくま** [umakuma] 【名詞】あちこち。【例】やらびやー うまくま あまくま とうみたいそうがどう とうみらいっだん(子供はあちこち探したが探せなかった[<そこここ、あちこち])。【類】うまかま。

**うます** [umasi] 【名詞】[C] 箸。【例】うますひー むぬー はさみー ふあう(お箸で食べ物を挟んで食べる)。【類】うみやす。

**うまつ** [umatsi] 【名詞】[C] 火。【例】うまっちゆ たつきでい(火をおこそう)。たむぬんかい うまっちゆ たつきる(薪に火をつける)。ろーそくぬ うまっちゆ ふーっていー ふきー きやーす(口ウソクの火をふーっと吹いて消す)。うまっちゆ つきー(火をつける)。うまつん んふばーい(火に温まる)。

**うまなぎ** [umanagi] 【名詞】そこら辺。【例】うまなぎゆー とうみる(そこら辺を探せ)。

**うままい かままい** [umamai kamamai] 【成句】あっちもこっちも。【類】うままい くままい。

**うままい くままい** [umamai kumamai] 【成句】あっちもこっちも。【類】あままい かままい。

**うみやす** [umjasi] 【名詞】[C] 箸。【類】うます。

**うむー** [umu:] ①【動詞】[w 語幹] [C] 思う。

【例】ばー あいどう うむー(わたしはそう思います)。からー くーんていどう うむー(あの人は来ないと思います)。かまんどう いんうりびとうぬ みーらいゆー(向こうで漁をしている人が見られる)。っづあ なるばいどう うむー(あなたは どう思いますか)。ばー あいぬくとうーぎやー ひとうかいままい うむいや みーん(私はそんなことはいちども考えたことはない)。②【動詞】[w 語幹] [C] (人)を思慕する、愛する。【例】ばー みどうんぬ くとうーどう うんそうく うむいーゆー(私は妻のことをとても愛している)。ばー んまりずまぬ くとうー うむいー なたぬ いでいたい(わたしは生まれ故郷のことを思って涙がでた)。

**うむい** [umui] ②【名詞】[C] 思い、考え方。

【例】うながどうーどうーぬ うむい(自分自分の思い、考え方)。ばが うむいや かい(私の考えはこうだ)。③【名詞】[C] 恋人、大切な人。【例】うむいぬ くとうー いつまい うむー(恋人のことをいつも思う)。くぬ っふあー ばが うむい(この子は私の大切な子だ[>「私が産ませた子だ」という解釈もある])。

**うむいが にやーん** [umuiga njɑ:n] 【成句】思いのまま。【例】うなが うむいが にやーん あっそう(自分の思いのままやれ)。

**うむいくがい** [umuikugai] 【動詞】[r/rr 語幹] 思い焦がれる。【例】っづあが くとうーどうひー うんそうく うむい くがりゆー(あなたのことでとても思い焦がれている)。

**うむいだす** [umuidasi] 【動詞】[s/h 語幹] 思い出す。【例】んきやーんぬ くとうー うむいだす(昔のことを思い出す)。なるばい かんがいばんまい うむいだはいん(いくら考えても思い出せない)。

**うむいやす** [umuijasi] 【形容詞】安心である。【例】っふあんみまい ほういふなりー うむ

いやすむぬ（子供たち成長して安心だ）。

**うむがい** [umugai] 【名詞】おもがい、馬の顔につける馬具の一つ。

**うむかじ** [umukazi] 【名詞】面舵、船の操縦で船首を右へ回すこと。【例】うむかじゅーきり（面舵を切れ）。

**うむくとう** [umukutu] ①【名詞】考え方、考え。【例】ばーあいぬ うむくとうーぎやーほうん（私はそういう考え方はしない）。つづあが うむくとうーあたらん（お前の考えは間違っている）。ばーあいぬ うむくとうーにやーん（私はそういう考えは持っていない）。ゆがうむくとう むちや ならん（曲がった考えは持ってはいけない）。②【名詞】知識、知恵、能力。【例】うむくとうあいぎ（頭の良さそうな）。うむくとう にやーんぎ（頭の悪そうな）。うむくとうあいかい むぬぬどう いつがみまい ぬくいていぬ むぬーあらんちゃ（賢いものがいつまでものこるというものではないそうだ）。うむくとうん そういどう なうまい ひらいー（能力があるからこそ何でもできる [＜（正しい）知識に沿ってこそ]）。かりやー うむくとうー にやーん さうや にやーんんまり（彼は知恵のない思慮深さのない奴だ）。

**うむくとうあい** [umukutuai] 【成句】頭の良い（人）。【例】うむくとうあい ぶりむぬ（知識はあるが社会性がない）。にんぎんぬ とうずぶとうー うむくとう あい ひとうぬどう ほうりむぬんかい あーすばどう じゃうかい（人間の夫婦は頭の良い人の方が人が馬鹿な方に合わせる方が良い）。

**うむくとうさーりどう** [umukutusa:ridu] 【成句】能力次第で。【例】うむくとうさーりどう なうまい ひらい（能力次第でなんでもできる）。

**うむっし** [umuççi] 【形容詞】面白い。【例】うむっし はなす（面白い話）。うむっしっふ

あにやーん（面白くない）。かりやー うむっし びとう（彼は面白い人だ）。かいが はなっさ うむっしかいば ならん（彼の話は面白くてならない）。

**うむてい** [umuti] 【名詞】[B] 表情。【例】つづあ いつまい つむでいゆーそうがんまり やいば うむちゅーぎやー つふあがらだうり（あなたはいつも怒っているような表情をしているから暗い顔をするな）。かいが うむちやー やな うむてい やいば かいとうや すかまー ひとうみやー ひらいん。（彼の表情は嫌な表情だから、彼とは仕事は一緒にできない）。やな うむちゅーぎやー みしだうり（嫌な表情は見せるな）。かりやー うむてい つふあぎやら（彼は表情が暗い）。やぐみ うむてい ほうからすぎ ひとう（とても表情の明るい人）。うむちやー はるきー ほうからすむいぎ ひとう（表情が豊かで、とてもうれしそうにしている人）。

**うむていふさがい** [umutifusagai] 【名詞】暗い表情。【例】まーぬ うむていふさがい あすな（あまり暗い顔をするな）。

**うや** [uja] 【名詞】[C] 祖父、おじいさん [複数形は「うやた」]。【例】ばんていが うやー いんしゃーどう あたい（私の祖父は漁師だった）。しゅーたまい うやたまい ばぬーぎやー かーばたぬ かにうやていどう あいどー、ならすじゃうっじゃひー ふいーさまてい（役人の皆さんもおじいさんたちも私はカワバタのカニウヤと申します、ご指導のほどよろしくお願い致します [カワバタは屋号、カニウヤは名前]）。

**うや** [uja] 【名詞】[C] 池間の主などの下級役人を指す。

**うやい** [ujai] 【動詞】[母音語幹] [A]（植物が生い茂る、（植物が生茂って）広がる。【例】ぎすっちゃ ひとむとうからどう うさきなーうやいーゆーい（ススキは一株からとても沢山

生えている)。んーぎーや あうたんなりー  
うやいーどーい (芋の蔓は青々と生い茂って  
いる)。

**うやいん** [ujain] 【名詞】御嶽の祭事等のた  
めの漁、役人のための漁労奉仕。【例】きじゃい  
んな うやいんぬ ほうだかー ならん (祭事  
には役人のための漁労奉仕をしなければなら  
ない)。

**うやき** [ujaki] 【名詞】[C] 金持ち、裕福、財  
産家。【例】うやきやー きた とうどうみ  
(裕福は家の桁に留まる [＞幸福は家庭の  
中にある])。うやきんなりー かりゆーぎやー  
みかいはでい (金持ちになってあいつを見返  
してやろう)。うやきていー まーぬ いばい  
な (金持ちだと言って余り威張るな)。

**うやきやー まーる** [ujakja: maru] 【成  
句】金持ちは順番に回ってくる [＞金は天下の  
回りもの]。

**うやぐに** [ujaguni] 【名詞】『歌語』首里。

**うやすとう** [ujasitu] 【名詞】小姑。【類】す  
たさうとう。

**うやつふあ** [ujaffa] 【名詞】親子。

**うやまいむぬい** [ujamaimunui] 【名詞】敬  
語。【例】くぬいぬ ばかむぬんみやー うや  
まいむぬいゆぎやー っさん (最近の若者は敬  
語の使い方を知らない)

**うやんま** [ujamma] 【名詞】役人(うや)の奥  
さん; 女陰。【例】うやんまー つむかぎ あ  
ばらぎ (役人の奥さんは心がきれいで美人だ)。

**うやんまふくる** [ujammafukuru] 【名詞】『祭  
礼』ナナムイの女性の持つたばこ袋。

**うゆー** [uju:] 【動詞】[b 語幹][A] (勝負に)勝  
つ; (持ち物などが相手に)勝る。【例】ばー  
っぐあんかいや うゆばん (私はお前には勝

てない)。かいんかいや あすぬ うゆばんば  
ばぬんな はーさにやーや かちやいん (彼  
には歩幅が及ばないから私には(彼に)競走は  
勝てない)。

**うゆつ** [ujutsi] 【動詞】[k 語幹][C] (機械、車  
などが)動く、(人間や動物などが)動く、(休  
んでないで)働き始める、(石やものなどおいて  
あるものがおしたりして)動く、(心が)動く。  
【例】やーからー うゆかん (家から動かない  
[＞いつも家にいる])。[変異] うゆふ、ういふ、  
ういつ。【類】むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

**うゆび** [ujubi] 【名詞】[C] 指。【例】ほうー  
ゆび (親指)。ひとうさすゆび (人差し指)。な  
かゆび (中指)。くゆび (小指)。

**うゆびずつ** [ujubizitsi] 【名詞】指さすこと、  
指さし。【例】ばが うゆびずつ あす とう  
くまう みーる (私が指しているところをみな  
さい)。ひとうーぎやー うゆびずच्चゆぎや  
ー ほうん (人を指さししてはいけない)。

**うゆふ** [ujufu] 【動詞】[C] (機械、車などが)  
動く、(人間や動物などが)動く、(休んでない  
で)働き始める、(石やものなどおいてあるもの  
がおしたりして)動く、(心が)動く。【例】う  
まからー うゆふな (そこからは動くな)。[変  
異] ういふ、ういつ、うゆつ。【類】むゆふ、む  
いふ、むいつ。

**うらー** [ura:] 【代名詞】『指示詞』「うい」の提  
題形、それは、これは、彼は、彼女は。

**うらじゃ** [uraza] 【名詞】[C] 奥の部屋、奥座  
敷、裏座。【例】ばんていが うらじゃー ベ  
んきよーしつどう あたい (うちの奥座敷は勉  
強部屋だった)。

**うらす** [urasi] ①【動詞】[s/h 語幹][C] 下ろす、  
降ろす。【例】にーゆ うらす (荷を下ろす)。  
[変異] うるす。②【動詞】[s/h 語幹][C] (穀物  
の種を)蒔く。【例】むぬだにゆー うらす (穀  
物の種を蒔く)。[変異] うるす。【類】まつ。

**うり** [uri] 【動詞】[母音語幹][A] (人が下に) 降りる; (霜が) 降りる; (下のほうの畑に) 行く; (海に) 漁に行く。【例】やまう うりー (山を降りる)。ちゅーぬどう うりゅー (露が降りている)。きゅーまい いんゆ うりがいかでい (今日も海に漁に行こう [＜今日も海を降りに行きます])。きゅーや かでいうす やいば いんな うりらいん (今日は時化だから漁には行けない [＜海には下りられない])。さかまう うりや ぬーい ぬーい あす (坂を降りたり上がったりする)。

**うり** [uri] 【動詞】[母音語幹][A] 存在動詞「うい(いる)」の特殊終止形。「うい」が焦点形「どう」を含む文の終止形に使われるのに対し、「うり」は焦点形を含まない文の終止に使われる。【例】ばー とうっじゃ うり (私は妻はいる)。【類】うい。

**うりー** [uri:] 【名詞】[C] (畑が) 潤っている時期。【例】あみゃー っふいー うりー なりゅーば ぶーずまい いびだかーならん (雨が降って (畑は) 潤っているからサトウキビの植え付けもしないといけない)。

**うりななつ** [urinanatsi] 【名詞】午後4時ごろ 御嶽に行く時間。【類】ていだななつ。

**うりふつ** [urifutsi] 【名詞】降り口。【例】はまんかいぬ うりふつ (海岸への降り口)。だんぬ うりふつ (階段の降り口)。うまなぎんな うりふっちゃ にゃーんば ゆーかーままい ほうだかー ならん (ここら辺には降り口はないから、遠回りしないといけない)。

**うる** [uru] 【名詞】[A] サンゴ。【例】うるいす (サンゴ)

**うる** [uru] 【名詞】[A] 《植》紅藻植物、スギノリ科の多年生海藻、ツノマタ、またツノマタで作った食べ物、炊くと寒天状になり食用となる。【例】うるひー たうふー ちゅっふ (ツノマタで豆腐をつくる)。

**うるー** [uru:] 【動詞】[w 語幹][C] 潤う。【例】あみゃー っふいー はいや うるいーどうーい (雨が降って畑は潤っている)。【類】うるい。

**うるい** [urui] 【動詞】[母音語幹][C] 潤う。【類】うるー。

**うるいす** [uruisi] 【名詞】サンゴ。【例】いんぬ うるいす (海のサンゴ)。

**うるす** [urusu] 【動詞】[s/h 語幹][C] 下ろす、降ろす。【変異】うらす。

**うるす** [urusu] 【動詞】[s/h 語幹][C] (穀物の種を) 蒔く。【変異】うらす。

**うるずつ** [uruzitsi] 【名詞】閏月。

**うるだうふ** [urudaufu] 【名詞】《食》ツノマタを炊いて寒天状にした食べ物。

**うるどうす** [urudusi] 【名詞】閏年。【例】うるどうすんな あまいずつぬどう あい (閏年には閏月がある)。

**うわい** [uwai] 【動詞】[r/tr 語幹][A] 終わる。【例】しばいぬ うわいきゃ みーうたい (芝居が終わるまで見ていた)。

**うわい** [uwai] 【名詞】[A] 終わり。【例】ばが はなっさ うさきひー うわいどー (私の話はこれで終わりだよ)。

**うん** [un] 【形容詞】[A] 大食いだ (ウニが大食いなことから)。【例】からー うんかいば たるからまい みっふあさ ひらいゆー (彼は大食いなのでみんなから嫌われている)。かづっちゃ うんかいぼどう うんていーまい あい (バフンウニは大食いなのでウニとも言う [＞ウニは大食いとされている])。ばー くぬいや むいとう うんふ なりーどうー (私は最近は大食いになった)。

**うん** [un] 【名詞】[B] ウニ。【例】うんびとー ー なんとが びとうらはいん (大食いの人はなかなか満腹にさせることはできない)。【類】かづつ。

うん [un] 【名詞】 [B] 鬼。

うん [un] 【名詞】 [C] 運。【例】 うんじゅー  
びとう (運の強い人)。

うんかづつ [un̄kazitsi] 【名詞】 《生物》 《食》  
バフンウニ。【例】 んきゃーんな うんそうく  
うんかづつまい うたいそうが んなまー  
むいとう みーん (昔はとてもウニもいたが今  
は全然いない)。[類] かづつ。

うんじゅー [un̄zu:] 【形容詞】 強運だ、強運  
の。

うんじゅー [un̄zu:] 【名詞】 強運、強運な人。  
【例】 からー うんじゅー やいば たからふっ  
じゅぎゃー かいん かーし (彼は強運な人だ  
から宝クジは彼に買わせる)。[類] ふーじゅー。

うんず [un̄zi] 【名詞】 [C] 恩、恩義。【例】 か  
りゃー うんっじゃ にゃーん ひとう やい  
ば ういんな なうゆまい ふいーだうり (彼  
は恩義を知らない人だからなにもやるな)。  
かりゃー うんっじゃ っさん ひとう やい  
ば かいんな なうゆまい いだはだうり (彼  
は恩義を知らない人だから彼には何もやるな)。  
んなまー かいんかい うんっじゅ かっづあ  
ほうーき (今は彼に恩を着せておけ)。かいん  
かいぬ うんっじゃ いつがみまい かいはい  
ん (彼にうけた恩はいつまでも返せない)。

うんそうく [unsuku] 【副詞】 沢山、何回も、  
頻繁に。【例】 わいてい あっそう、うんそう

くとうんまだら (しっかり頑張れ、それくらい  
はやらないと (いけない))。あみぬ つふいぬ  
あとうんどう はるんなー うんそうく う  
い (雨降りの後にカタツムリは沢山いる)。か  
でいふつ ゆらん ないていがー あうそうんぬ  
どう うんそうく とうびーふー (台風時期に  
なるとトンボがたくさん飛んでくる)。うぬき  
ゃが とうず ぶとうー ばかかいきゃー う  
んそうく やどうゆんぬまい ひーうたい (そ  
の夫婦は若い頃はいつもよくケンカしていた)。  
まさいや みがうどう うんそうく かなす  
かい (マサイはミガをととても愛している)。ま  
うきゃーいん さじゅー ひつていがー うん  
そうく さいぬ とらいたい (大浦湾で小網を  
引いたらたくさんエビがとれた)。

うんそうく [unsuku] 【名詞】 その程度。[変  
異] うぬしゆく。

うんた [unta] 【名詞】 [C] カエル。【例】 な  
びーうんた (殿様ガエル)。さみうんた (ヒキガ  
エル)。

うんつ [untsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (釘、柱等  
を) 打つ、打ち込む。【例】 かにふっじゅ う  
んき (釘を打ち込め)。かにふっじゅ うんか  
っでいー ひーはっじゃきー げんのーひー  
うなが うゆびゅー っつきーにゃーん (釘を  
打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打っ  
てしまった)。





# え

**えー** [e:] 【感動詞】『応答詞』うん [対等か目下の人に対する応答。目上に対しては「おー」という]。【例】A: ベー っぞう ふあい B: えー ふぁーでい (A: ほら、魚を食べる B: うん、食べる)。**[類]** んーでい。

**えい** [ei] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] コピュラ「やい」の変異形 [「えいば (だから)」、「えいそうが (だけれど)」などで現れる。また、未然形では「やら」を用いる。 **[変異]** やい、あい。

**えいば** [eiba] 【成句】～だから [コピュラの条件形「やいば」の変化した形]。【例】うい えいばどう あやほうー (彼だからそうしている [悪い意味にもいい意味にも使える])。まさいたが まゆ えいばどう あやほうー、ひとぬ まゆ やいていがー あいや むぬーぎゃー ぬそうまん (マサイんちの猫だから (こそ) そうしているんだ、よその猫だったらそういうふうには食べ物を盗まない)。**[変異]** やいばどう。

**えげ** [ege] 【感動詞】 (不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する) しまった。【例】えげ あいぬ たまうどう ちゅーびゃー (びっくり、そんな球を投げるのか)。えげー まゆぬどう はいりー っちゅーい、っぞう ふぁーいがまた (しまった。猫が入ってきた。

魚を食べられるぞ)。えげー くるまぬ めんきよ やーん ぼっしー っていにやーん (しまった。車の免許を家に忘れてきた)。んげー しまい、やらびゃー ひんがひーにやーん (しまった、子供を逃がしてしまった)。**[変異]** えげー、えっげー。

**えげー** [ege:] 【感動詞】 (不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する) しまった。**[変異]** えげ。

**えっげー** [egge:] 【感動詞】 (不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する) しまった。**[変異]** えげ。

**えていがー** [etiga:] 【接続詞】～だったら、「やいていがー」の変異形。【例】あちゃー かでいふつちや、あいえていがー あちゃー いきまー いかいん (明日は台風だってさ。だったら明日は池間には行けない)。**[変異]** やいていがー。

**えへーい** [ehe:i] 【感動詞】相手の言っていることが信じられずに、小ばかにした風に言うときの感動詞。【例】えへーい かに (お前何言っているんだ、カニ)。



# お

**おー** [o:] 【感動詞】『応答詞』はい（年長者に対する返事）。

**おーか** [o:ka] 【感動詞】相手の能力が低く、思ったほどできない場合に発する感動詞、なんだ。  
【例】おーか、つづあんな うらーとうんま ひらいんな（なんだ、お前にはそんなこともできないのか）。[類] おーこ。

**おーかん** [o:kan] 【助動詞】「節+がおーかん」あるいは「名詞+がおーかん」の形を取って、現在の観察状況や伝聞状況から～と推論できるということを表す、～らしい、～ようだ。【例】あいが おーかん（そうらしい）。くるまぬにやーん むぬー みーていがー からー やーんな うらんが おーかん（車がないのを見ると彼はいないようだ）。かまぬ みどうんっうあー だいがくー いでいーだーが おーかん（あそこの娘は大学を出ているらしい）。ていんぬ みーていがー あみふー わーつつが おーかん（空をみると雨がふる空模様かもしれない）。かりやー でいんむちやが おーかん（あの人は金持ちらしい）。[変異] やうかん。

**おーこ** [o:ko] 【感動詞】相手の能力が低く、思ったほどできない場合に発する感動詞、なんだ。

[類] おーか。

**おーっさり** [o:ssari] 【感動詞】『応答詞』年配者への返事に使う応答詞 「「おー」より丁寧。」。【例】A: かにー、がんじゅーな？ B: おーっさり（A: カニ、元気かい？B: 元気でございます）。

**おい** [oi] 【感動詞】（呼びかけ）おい。【例】おい かなす、うりゆー とういふいーる（おい カナス、それを取ってくれ）。

**おごい** [ogoi] 【感動詞】びっくりしたときに発する言葉。[変異] おごえ。

**おごえ** [ogoe] 【感動詞】びっくりしたときに発する言葉。【例】おごえ んめ（ぎゃー大変だ）。おごえ ばー まずむぬー みー かば たまがいや ひーにやーん（ぎゃ、私は幽霊を見て度肝を抜かれた）。[変異] おごい。[類] あがい。

**おしいり** [o:ciiri] 【名詞】押入れ。

**おぶ** [obu] 【名詞】[C]『幼児語』水。[変異] うぶ。



# か

**が** [ga] ①【助詞】『格助詞』共通語「の」に当たる。代名詞、人を表す固有名詞について所有格を表す、普通名詞に付く場合は「ぬ」を用いる。人を表す名詞に付ける場合は、「が」「ぬ」のどちらも可能な場合がある。【例】うりやー ばが むぬ（これは私の物）ばが うむいや かい（私の考えはこうだ）。ならが ぬーま（自分の馬）っぎが みがに（お父さんの水中メガネ）。[類] ぬ。②【助詞】『格助詞』共通語「が」に当たる。代名詞、人を表す名詞について主格（動作、状態の主体）を表す。普通名詞の場合は「ぬ」を使う。人を表す名詞に付ける場合は、「が」「ぬ」のどちらも可能な場合がある。【例】ばが いかでい（私が行こう）。ばが っちゃー っぞう（私が釣った魚）かいがどう んながーな かーかんかい（彼が一番ケチだ）。かぬきやが [類] ぬ。

**が** [ga]【接尾辞】動詞語幹について動作の目的を表す接尾辞、～に（行く、来る、帰るなど）。【例】どうすんかい いじゃうが いつ（友達に会いに行く）。じょ、いんかい うーずが（さあ、海に泳ぎに（行こう）。やーんかい ぼっしやー むぬー とういが（家に忘れ物を取りに行く）。でいんぬ とういが くー（金を取りに来い）。

**が** [ga]【助詞】『終助詞』疑問詞疑問文につく終助詞、「動詞」、「述語として使われた名詞」、「名詞+助詞」につくことができる。【例】っづあ izzoo かなだんかい はいがまたが（君はいつカナダに帰るんですか）。うらー なら

が（これはなんだい）。からー たるが（あいつは誰だ）。んじゃんかいが（どこに行くのか〔くどこにか〕）。たるが izzoo どう ますが（誰が行くのがいいんだい）。

**が** [ga]【助詞】『接続助詞』節について間接疑問詞節を作る接続助詞、共通語と異なり「～がてい（かど）」のように引用の「ていー（と）」を伴うことも多い。【例】はらう んじゃん うつつが にだん（柱をどこに置くか決める）。まさいや んなま んじゃん うるーがていにじゃみーふいーる（マサイがいまどこに住んでいるかしらべてくれ）。

**かー** [ka:]【名詞】[B] 井戸、水の湧き出ている所。【例】からー つむたみ やいば つむでいていぬ くとうー にやーん（彼は冷静な人だから怒るといふことはない）。かーゆ ほうい（井戸を掘る）。

**がー** [ga:]【名詞】[C] 口論、話。【例】がーや ひらいん（あなたには何を言っても無駄だ）。がーや ならん（あなたには何を言っても無駄だ）。

**がー** [ga:]【名詞】[C] 我（をはる）。【例】がーゆ はい（我を張る）。がーゆ あす（我を張る）。がーじゅー（我が強い）。まーぬ がーみつな（余りガーガーと意地を張るな）。

**かーい** [ka:i]【動詞】[r/rr 語幹] [A] 代わる、交代する；取り替える。【例】ばー だりゅーば すかまう かーいー ふいーる（疲れたから仕事を代わってくれ）。みーきかいんかい か

ーらし (新しい機械に取り替える) くまん く  
るまう かーらはでい (ここで車を替えよう)。  
じよ まっチャー かーりー かまんきー ぬ  
までい (店を変えてそこで飲もう [くさあ、店  
をかわって])。ひーちやがま むらにゅー か  
ーり (ちょっと子守りを変わって)。

**かーい** [ka:i] 【名詞】 [A] 代わり、代理。【例】  
ばー かいが かーいや ひどう ったい  
(私は彼の代わりで来た)。ばー かいが かー  
い (私は彼の代わりだ)。

**かーい** [ka:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (服、髪、  
土地など、濡れたものが) 乾く。【例】んなー  
ぎやー つんな かーらん (まだ服が乾いてな  
い [く乾かない])。あかー んめ かーりーど  
うー (髪はもう乾いている)。あみやー っふ  
あんば はいや かーりーどうー (雨が降らな  
いので畑は乾いている)。

**かーい** [ka:i] 【名詞】 [C] 乾くこと。【例】つ  
んな なまがーいやいば んなーぎやー っち  
やっでい ほうばんまい っちやいん (服はま  
だ十分に乾いていないので、まだ着ようとして  
も着られない)。

**かーい** [ga:i] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] おしや  
れをする。【例】ばー きゅーや がーりー  
っさらんかい いきーくーでい (私は今日  
はおしゃれして平良に行って来よう)。② 【名詞】  
[C] おしゃれ。【例】かぬ みどうんな やぐ  
み がーいびとう (あの女性はとてもおしゃれ  
だ)。やぐみ がーいゆ あす (とてもおしや  
れをする)

**かーい** [ga:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 気分がよ  
い、晴れ晴れとしている、満足した気持ちでい  
る。【例】んまがー すぐりーゆーば ばー  
がーりーどうー (孫がえらくなっているのでう  
れしい)。ばー がーりー うとういば нау  
ゆまい ほうでい (私は気分がいいからなんでも  
やろう)。

**かーい** [ga:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 自慢する。  
【例】ならがどう うむくとう あいていー  
まーぬ がーらだうり (自分が優秀だとあまり  
自慢するな)。からー いつまい うなが っ  
ふあぬ くとうー がーい (あいつはいつも自  
分のこどものことを自慢する)。

**かーい** [ga:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 勝つ。  
【例】いーじゃとうー ん<sup>な</sup>ひつん がーいた  
い (西里は綱引きに勝った)。つづあんかいや  
なうまい がーらいん (お前にはなんにも勝  
てない)。とうすんかいや がーらいん (年  
には勝てぬ)。

**かーいばい** [ka:ibai] 【名詞】 代わり映え。  
【例】かーいばいや にやーん (代わり映えがし  
ない)。

**かーいばな** [ka:ibana] 【名詞】 交替してすぐ、  
変わりばな。【例】かにやー かーいばなん  
ほーむらんな うちやいーにやーん (カニは変  
わった矢先にホームランを打たれてしまった)。

**かーうり** [ka:uri] 【名詞】 井戸に水汲みに行く  
こと [昔は西原ではヒダガーに水汲みに行くこ  
とを意味した]。

**かーかす** [ka:kasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (干物を  
つくるために) 乾かす、(乾かすために服を) 干  
す。【例】たくー かーかす (タコを乾かす)。  
きゅーや じゃう わーつつ やいば つんな  
あらいー かーかはでい (今日は天気がいい  
から服を洗って乾かそう)。

**かーかに** [ka:kani] 【名詞】 缶。【例】あにや  
かーかにがまぬどう でいん ない (そんな  
缶が金になる)。やりがーかに (古い缶)。

**かーかん** [ka:kan] 【形容詞】 ケチだ。【例】か  
らー かーかんんまり (彼はケチな奴)。あい  
ぬ かーかん くとーぎやー ほうん (そんな  
しみつたれたことをしてはいけない)。かいが  
どう んながーな かーかんかい (彼が一番ケ  
チだ)。[類] がず、ほうーらーす。

**かーき** [ka:ki] 【動詞】[母音語幹][C] (喉が) 渴く。【例】ばーぬどうーかーきーどうーばみっじゅぬまひーふいーる(私は喉が渴いているので水を飲ませてくれ)。やーっさかーき。(ひもじさ)。みずかーき。(水が飲みたいたいこと)。「類」かーつ。

**かーぎ** [ka:gi] 【名詞】[C] 顔だち。【例】あばらぎかーぎ(美しい顔だち)。ずみぎかーぎ(立派な顔だち)。じゃうかーぎ(良い顔かたち)。やなかーぎ(不器量)。くぬまゆがまぬかーぎやーじゃうかい(このねこの顔立ちは素晴らしい)。

**かーきだく** [ka:kidaku] 【名詞】 燻製のタコ。【例】かーきだくーぐむぬんまりやーひーひつにかいばならん(燻製のタコはゴムのよう硬くてしかたない)。

**かーじゃい** [ka:zai] 【名詞】 フナ虫 [海岸の岩場、浜辺の舟に見られる]。

**かーす** [ka:si] 【名詞】[C] 菓子。【例】かーっさあずまむぬ(お菓子は甘い)。

**かーつ** [ka:tʃi] 【動詞】[k語幹][C] 渴く。【例】ぬどうぬかーつていがーくぬちゃーゆぬみ(喉が渴いたらこの茶を飲め)。ばーなうちゆんまぬどうーかーきやうらん(私は全然喉は渴いていない)。「変異」かーき。

**かーな** [ga:na] 【名詞】[C] アヒル。【例】かーなううつつ(アヒルを追いかける)。

**かーはぎや** [ka:hagja] 【名詞】《魚》カワハギ。

**かーま** [ka:ma] ①【名詞】[A] 遠く。【例】かりやーかーまんかいはりーにやーん(彼は遠くに行ってしまった)。かーまーいあす(遠回りをする)。かーまばい(遠方の畑)。ぶらーかーま(保良は遠くだ)。②【形容詞】[C] 遠い。【例】むいとうゆーかーま(とても遠

い)。かまどうんながーなかーまかい(あそこが一番遠い)。

**かーまーす** [ga:ma:si] 【接尾辞】 期間を表す名詞を取ってその期間ずっとという意味を表す、～中。【例】ひとついがーまーす(一日中)。ふたいかーまーす(二日中)。なつかーまーす(夏中)。ひとつていがーまーす(一年中)。

**かーら** [ka:ra] 【名詞】[C] 瓦。【例】あかがーらやー(赤い瓦の家)。かーらんなびきかーらとうみーかーらぬどうあい(瓦には雄瓦と雌瓦がある)。

**かーら** [ga:ra] 【名詞】[B] 水流。【例】みずかーら(激流)

**かーら** [ga:ra] 【名詞】[B] 《魚》ヒラアジ。

**かーらい** [ga:rai] 【動詞】[母音語幹](～に) 負ける [「かーい(勝つ)の受身形」、～次第。【例】なうまいでいんどうかーらい(なんでも金次第だ)。くぬゆーやがっこーうむくとうんどうかーらい(この世は学校で学ぶ知識次第だ[>学歴次第だ])。]

**かーらきー** [ka:raki:] 【名詞】《遊》瓦蹴り。【例】じょ、かーらきーほうでい(さあ、瓦蹴りをしよう)。だいしゃーひーけんけんばーやひーかーらーきりーあそー(片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ)。

**かーらす** [ka:ra:si] 【動詞】[s/h語幹] (人を) 交替させる、変える、変化させる。【例】うぬやくいんななっちやかんかいばかーらし(この役員は怠け者だから交替させろ)。うながどうーゆかーらはいむぬぬどういつがみまいぬくいていぬむぬちゃ(自分自身を変えられるものが残るのだ)。くるまうかーらひーふいーる(車を取り替えてくれ)。

**かーらす** [ka:ra:si] 【動詞】[s/h語幹] (濡れた衣類などを) 乾かす。【例】つんなかーらひ



ゆー（服を乾かしている）。あーゆ かーらす（粟を乾かす）。

**かーらずみゃ** [ka:razimja] 【名詞】『昆』クマゼミ 「[っさずみゃ、なまだんずみゃ]の次に現れる大型のセミ」。

**かーらつ** [ka:ratsi] 【動詞】[k 語幹]（濡れた衣類などが）乾く。【例】んなーぎゃー つんなかーらかん（まだ服は乾いていない）。あかう かーらかし（髪の毛を乾かせ）。[変異]かーらふ。

**かーらふ** [ka:rafu] 【動詞】[k 語幹]（濡れた衣類などが）乾く。 [変異]かーらつ。

**がーらみつ** [ga:ramitsi] 【動詞】[k 語幹] どつと、ごうごう [大量のものが押し寄せる様子]。【例】はーさぬ ひとうぬどう がーらみつきゃー なうまい ひらいん（たくさんの人が押し寄せるのでなにもできない）。みずぬどう がーらみきー ながりゆー。（水がゴーゴート流れている）。

**かーん** [ka:n] ①【名詞】[C] 十分だ。【例】ばが っじ だまー うさきひー あてい かーん（私の分け前はこれぐらいで十分すぎる）。うすきぬ でいんがまひーや かーんな あらっだん（これぐらいのはした金では十分ではなかった）。うさきぬ さきがまうぎゃー たうかーひー あてい かーん ぬんどうす（それぐらい酒だったら十分一人で飲める）。②【形容詞】[B] 十分だ。【例】うさきひーや かーん っふあにゃーん（それだけでは十分ではない）。ばがたまー むいとう かーんかたい（私の取り分は十分だった）。

**かい** [kai] ①【代名詞】[A] 『指示詞』遠くにあるものを指す指示詞、あれ [提題形は「からー」、目的形は「かるー」または「かりゆー」。【例】からー なう やいば（あれはなに）。かりゆー くまんかい むちーくー（あれをここに持ってこい）。②【代名詞】[A] あの人、彼、彼女

[男女の区別はない。提題形は「からー」、目的格形は「かるー」または「かりゆー」。【例】かいが みどうん（彼の妻）。かいが びきどうん（彼女の夫）。からー たる やいば（あいつは誰だ）。かるー くまんかい さーりーくー（あいつをここに連れてこい）。

**かい** [kai] 【副詞】こう、このように、こんなに。

【例】あいかいぬ くとうーひどう かぬきゃが ふたーい とうずぶとうん なりゆーい（あれやこれやで彼ら二人は夫婦になった）。ばが うむいや かい（私の考えはこうだ）。ばが みーたい むぬー かいぬ むぬ あたい（私が見たのはこんなものだった）。かいぬ ンまっふあにゃーん むぬー ふあーいん（こんなまずいものは食べられない）。かいぬ ンまむぬーぎゃー ふあいや みーん（こんなにおいしいものは食べたことがない）。

**かい** [kai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 借りる。【例】でいんぬ かい（金を借りる）。

**かい** [kai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（草などを）刈る。【例】あちゃー っさまい かいが いかだかーならん（明日は草なども刈りにいかなければならない）。

**かい** [kai] 【名詞】[C] 甲斐。【例】きゆーや うまんかい っちゃー かいや ありーどうー（今日はここに来た甲斐がある）。

**かい** [kai] 【接辞】性質を表す形容詞性語幹について形容詞を作る接辞。【例】はーかい（速い）ほういかい（大きい）。あばらぎかい（美しい）。

**かい** [kai] 【動詞】[母音語幹] [A]（別のものに）変える、（別のものと）交換する；（店などを別のところに）移る。【例】うるー くいん かい かいー ふいーさまてい（それをこれに変えて下さい）。みー きかいんかい かいいる（新しい機械に取り替えろ）。きぶんぬ かいー（気分を変える）。まっちやう かいでい（店を変えよう）。[類]かーい。

**がい** [gai] 【名詞】[C] 害、言いがかり、迷惑。

【例】がいにん（人に意地悪する人）ひとんか  
いや がいゆぎゃー ほうん（人には言いがかり  
をつけないものだ）。ばぬんかい がいゆ  
かきーな（私に迷惑をかけるな）。

**かいー** [kai:] 【動詞】[r/tr 語幹] [C] 転ぶ。

【例】やらびゃー かいりーにゃーん（子供は転  
んだ）。かいりー ていーや ぶりーにゃーん  
（転んで手を骨折した）。うまん かいーていが  
ー やぐみぐとう（ここで転んだら大変だ）。う  
まん かいらだうり（ここで転ばないでくれ）。

**かいくん** [kaikun] 【動詞】[m 語幹] 心配して

ない、（勝つ、できる）自信がある。【例】ばー  
ういがまんま まきんていどう かいくみゆ  
ー（俺はそんなやつには負けな自信がある）。  
かいくんばらい（自信満々に笑うこと）。

**かいしうす** [kaiçiusi] 【名詞】台風の吹き返し

の風。【例】かじゃー かいしうすぬどう ま  
さりー ちゅーかい（風は吹き返しの風が更に  
強い。[変異] かいしうつ、かいしふつ、かいす  
うす、かいすうつ、かいすふつ）。

**かいしうつ** [kaiçiuŋtsi] 【名詞】台風の吹き返

しの風。[変異] かいしうす、かいしふつ、か  
いすうす、かいすうつ、かいすふつ）。

**かいしき** [kaiçiki] 【名詞】食べ物盛る器。

**かいしふつ** [kaiçifutsi] 【名詞】台風の吹き返

しの風。[変異] かいしうす、かいしうつ、か  
いすうす、かいすうつ、かいすふつ）。

**かいす** [kaisi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]（手などを）

返す；（借りたものを）返却する。【例】てい  
ーゆ かいす（踊りなどの所作で）手を返す）。  
かいんかいぬ うんっじゃ いつがみまい か  
いはいん（彼への恩義はいつまでも返せない）。

**がいず** [gaizi] 【副詞】とても、非常に。【例】

かぬ みどうんな がいず しゃしんばい ひ  
とう（あの女性はとても写真写りがいい）。うら

ー がいず そうぎやうや あい ひとつ（彼  
はとても格好の良い人）。

**がいず** [gaizi] 【名詞】[C] 駄々をこねること、

わがまま、めいわく。【例】んまんかいや が  
いっじゆ あすな（こどもにお母さんが）母さ  
んには駄々をこねるな）。くぬ やらびゃー  
いつまい んまんかい がいっじゆ あす（こ  
の子はいつも母親に駄々をこねる）。ひとー  
ぎゃー がいっじゆぎゃー ほうん（人を邪魔  
しない [＞してはいけない]）。がいずびとう  
（邪魔ばかりする人）。

**かिसうす** [kaisiusi] 【名詞】台風の吹き返し

の風。[変異] かいしうす、かいしうつ、かい  
しふつ、かいすうつ、かいすふつ）。

**かिसうつ** [kaisiuŋtsi] 【名詞】台風の吹き返

しの風。[変異] かいしうす、かいしうつ、か  
いしふつ、かいすうす、かいすふつ）。

**かिसふつ** [kaisifutsi] 【名詞】台風の吹き返

しの風。[変異] かいしうす、かいしうつ、か  
いしふつ、かいすうす、かいすうつ）。

**かいな** [kaina] 【名詞】[B] 腕（かいな）。【例】

やぐみ かいな（大きな（立派な）腕）。ずみぎ  
かいな（逞しそうな見事な腕）。

**がいにん** [gainin] 【名詞】変人、へそ曲がり。

[類] がいずびとう、がいずんまり）。

**かいぬ** [kainu] 【連体詞】こんな。【例】かい

ぬ むぬ（こんなもの）。かいぬ んまむぬー  
ぎゃー ふあいや みーん（こんなにおいしい  
ものは食べたことがない）。かいぬ んまっふ  
あにゃーん むぬー ふあーいん（こんなまず  
いものは食べられない）。

**かいたさなず** [kaimatasanazi] 【名詞】ク

ラゲ）。

**かいらく** [kairaku] 【名詞】態度、動作などが

定まっていない様子、体がふらつく様子。【例】  
まーぬ かいらくー あすな（どっちつかずの  
態度を取るな）。びゅーいびとうぬ かいらく

んなりー あいきー まーりゅー (酔っばらいがふらつきながら歩き回っている)。

**かいらす** [kairasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (ものを) ひっくり返す、(人を) 転ばす。【例】 いっそう かいらす (石をひっくり返す)。やらびゅー はっじゃ とういー かいらすたい (子供を足を引っかけて転ばした [「とうい (取る)」は足でひっかけることも意味する])

**かう** [kau] 【動詞】 [w 語幹] [A] 買う。【例】 まいゆ かう (コメを買う)。たかからばんまい やすからばんまい なうやらばんまい かーでい ((値段が) 高かろうが安かろうが何でも良いから買います)。ひとうぬ やどうゆんぬぎゃー かーん (他人のけんかは買わない)。くまなぎぬ とうくぬー たかかいば かーいん (ここらへんの土地は高くして私には買えない)。

**かう** [kau] 【名詞】 [B] 線香。【例】 かんにがいんな かうゆどう たつ (祈願には線香を焚く)。

**かう** [kau] 【形容詞】 [B] 痒い。【例】 さみかうしゃーや いでいー かうかいば ならん (疥癬が出て痒くてならない)。かうからばんまい かかだうり (かゆくても搔くな)。かうかい とうくまう かつ (痒い所を搔く)。

**がう** [gau] 【副詞】 物を噛むときの様子を表す擬態語、がぶり。【例】 ベー ばが ほうーゆびゅー がうていー かみ (さー私の親指をがぶりと噛め)。[類] がうがう。

**がう** [gau] 【助数詞】 米や酒などを測る単位、1合は180 cc。【例】 いつがう (1合)。まいゆ さんがう かいーくー (コメを3合買ってこい)。

**がう** [gau] 【名詞】 [C] 量、計量。【例】 がうや たらーん ((計量の間違いで) 量が不足している)。

**かうー** [kau:] ① 【動詞】 [vv 語幹] [C] (布団を自分に) かける、(帽子を) かぶる、(眼鏡を)

かける。【例】 やりずんぬ かつづいー にゅー (古着をかけて寝る)。ぼーしゅー かうー (帽子をかぶる)。みがにゅー かうー (眼鏡をかける)。[類] かつづい。② 【動詞】 [vv 語幹] [C] (水を) 被る。【例】 ひぐる みっじゅ あみかうー (冷たい水を頭から被る)。[類] かつづい。③ 【動詞】 [vv 語幹] [C] (借金を) 被る、(罰を) 受ける、(恩義を) 受ける。【例】 っづあー かいが うっかう かつづい (お前は彼の借金を被れ)。ひとうー すていじゃん あすていがー ういが ぼっちゅどう かうー (人をないがしろにしたらその罰を受ける)。うんっじゅ かうー (恩義を受ける)。[類] かつづい。

**がうい** [gaui] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 参る、降参する、負ける。【例】 ばー みどうんかいや がうりーどうー (私は妻には参っている)。うぬきやうぎゃー がういきやたーひー あっじー ならーし (彼らをもう降参だというまで教え諭しなさい)。[類] がーい。② 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (基本形について) ~し飽きる、参る。【例】 みーがうりーどうー (見飽きている)。わーゆぎゃー ふあうがうりーどうー (豚肉はもう食べ飽きた)。[類] がうり。

**がうがう** [gaugau] 【副詞】 擬態語、食事を元気よく食べるときの動作や音を表す、がぶがぶ、ががつ。【例】 がうがうていー ふあい (元気よく食べなさい)。

**かうがま** [kaugama] 【名詞】 臆病、引込思案、臆病な人。【例】 かうがま やらび (引込思案の子供)。からー むいとうぬ かうがま (あいつはとても臆病だ)。かうがまん なうまい ひらいん (臆病者者には何もできない)。

**かうき** [kauki] 【形容詞】 [B] 食べ物を欲しが、食いしん坊 (であること)。【例】 かりゃー いつまい かうき (あいつはいつも食べ物を欲しが)。かりゃー かうきびとう (あいつは食べ物を欲しが、食べ物を欲しが、食べる人だ)。

くぬ やらびやー むいとう かうき (この子はとても食いしん坊だ)。

**かうきや** [kaukja] 【名詞】 [C] 食べ物を欲しがる人、食いしん坊。【例】かりやー かうきや (彼は食べ物を欲しがる食べ物を欲しがる人だ)。

**かうさだい** [kausadai] 【形容詞】 (頭髮が) ばさばさで不潔な。【例】かうさだい やらび (頭髮がばさばさで不潔な子供)。からー いつまい かうさだい (あいつはいつも頭髮がばさばさで不潔だ)。

**かうさだり** [kausadari] 【形容詞】 (疥癬などで) 掻いた後肌がひどく荒れること。【例】かりやー むいとうの かうさだりびとう。

**かうさだりや** [kausadarja] 【名詞】 (頭髮が) ばさばさで不潔な人。【例】あかうまい あらーん かうさだりや (髪も洗わない不潔な奴)。

**かうしゃー** [kauʃa:] 【名詞】 疥癬 (かいせん)。【例】かうしゃーん ないていがー かうかいば ならん (疥癬になると痒くてしかたがない)。かうしゃーや ひー どうーや さみん なりゆー (疥癬で身体はサメ肌になっている)。

**かうす** [kausi] 【名詞】 [C] 女性が頭に物を乗せて運ぶ時に使う、茅でできた輪っかのクッション。【例】ゆーくいんな ぱーたー かうっさ かつがいー よーんてーるてい あいっちゃん すまう あいきーまーい (ユークイにはおばあさんたちは世を豊かにして下さいと言いながら集落を歩き回る)。

**かうず** [kauzi] 【名詞】 [B] 麴 (こうじ)。【例】かうっじゃ ちゅっふいーからどう んそうーぎやー つきー (麴を作った後に味噌を漬ける)。かうっじゃ んめ たていーどうー (麴はもうカビが発生している)。

**かうすばら** [kausibara] 【名詞】 粟収穫時に「かうす」でできたマメ。

**かうつつ** [kautsitsi] 【名詞】 線香を入れる竹製の筒。【例】んきやーんぬ ななむいぬ ぱーたー かうや かうつつんかい いりどう うたきんかい いきゆーたい (昔のナナムイのおばあさん達は線香を竹筒に入れて御嶽に行っていた)。

**がうみつ** [gaumitsi] 【動詞】 [k 語幹] がつつと食べる。【例】むぬーぎやー がうがうていー がうみきー ふあい (飯を元気よく食べなさい)。

**がうら** [gaura] 【名詞】 [C] 『果物・野菜』ニガウリ。【例】がうらー んぎや (ニガウリは苦い)。

**がうり** [gauri] 【動詞】 [母音語幹] [C] 飽きる、参る。【類】がうい。

**かうる** [kauru] 【名詞】 [C] 香炉。【例】うたきんな かうるぬどう あい (ウタキには香炉がある)。

**かかい** [kakai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 接触する、関わる。【例】うぬ まかいんかいかかいな (このお椀には触るな)。やなびとうんかいかいかかいな (悪い人には関わるな)。

**かかい** [kakai] 【名詞】 [C] 障害。【例】なうぬ かかいていや にやーん (何の障害もない)。

**かかいつじゃんふ** [kakaizzanfu] 【形容詞】 (こどもが) まとわりつく; (木などが) 引っかかる; (子供などがまとわりついて) イライラする; (木などに引っかかって) 引っかかってイライラする。【例】やらびやー かかいつじゃんふかいば すかままい いかいん (こどもがまとわりついて仕事にも行けない)。さるかぎーや かかいつじゃんふかいばならん (サルカケミカンの木 (の刺) は引っかかってイライラしてならない)。

**かかつず** [kakazzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] 引っ掻く、引っかかる、掻き集める。【例】まゆん かかつじやいたい とうくまぬ ほうがさん

なるー (猫に引っかかれたところが化膿して  
いる)。さるかん かかっじゃいにゃーん (サ  
ルカに引っかかった [サルカは棘のある木])。  
あーさう かかっじー とうい (アオサを掻き  
集めて取れ)。

**かかみきや** [kakamikja] 【名詞】慌て者。【類】  
ちやーふきや、とうとうっふや、とうっふや。

**ががら** [gagara] 【接尾辞】「なうががら (何か)」、  
「いつががら (いつか)」、「んじゃががら (どこ  
か)」などのように、疑問詞の後について不定名  
詞を作る。「～がら」でもよい。【例】かまん  
どう なうががらぬ あい (あそこになにかあ  
る)。いつががら じょ いじゃーでい (いつ  
か一度会いましょう)。なうやひーががら う  
まん でいぬ あるー (なぜかここにお金があ  
る)。

**ががら** [gagara] 【接尾辞】節のあとについて疑  
問詞節を作る、～か、～のか。【例】やーぬ か  
ぎやー んじゃんかい うきやーががら むい  
とう とうみらいん (家の鍵はどこに置いたの  
か全然見つからない)。ばぬんな うらー なう  
ばいどう ちゅっふやーががら っさいん (私  
にはそれはどうやって作ったのかわからない)。  
かりやー うっかぬ はーさ あたいががら  
ふっでいー すにーにゃーん (彼は借金が沢山  
あったのか首をくくって死んでしまった)。い  
じゃどう いじゃががら さだかーひらい (ど  
こかどこかわからない)。かりやー なうゆど  
う かんがいゆーががら っさいん (あいつは  
何を考えているかわからない)。

**かがん** [kagan] 【名詞】[B] 鏡。【例】っづあ  
が ぬどうぬ すかたいゆ かがんひー みー  
みーる (あなたの首の皺を鏡で見みなさい)。

**かき** [kaki] 【動詞】[母音語幹] [C] (秤で) 計  
量する。【例】さたう はかいひー かきー  
かう (黒糖を秤で計量して買う)。

**かき** [kaki] 【動詞】[母音語幹] [C] (声を) 掛  
ける、ものを (何かに) 掛ける。【例】から

ー みんぐ やいば やぐいゆ かきる (彼は  
耳が遠いから大声を掛けろ)。びらふー うま  
んかい かきる (カゴをそこに掛けろ)。

**かぎ** [kagi] 【名詞】[C] 陰、影。【例】ていだ  
ー あたらん きーぬ かぎ (太陽の当たらない  
木の陰)。うまー あつかいば かぎがまん  
いきー すなーかがま びじゅーき (そこは  
暑いから陰に行って静かに座ってなさい)。

**かぎ** [kagi] 【形容詞】[B] (見た目が) 美しい；  
(心が) きれいだ；(日取りなどが) 良い、めで  
たい。【例】あやばさー かぎむぬがま (蝶は  
美しいものだ)。かぎ ずっちゅ (綺麗な月  
[>満月])。つむかぎ (親切な人)。かりやー  
あら かぎ なか やり やいば かいがつむ  
ぬ なかー ゆまいん (彼は外面はいいが彼の  
心の中は読めない)。きゅーや かぎ みやー  
くずっちや んかいさまい おめでとーござい  
ます (今日は美しいみやーくずつを迎えられて  
おめでとーございます)。

**かぎさ** [kagisa] 【名詞】[C] (見た目が) 美し  
いこと、(心が) きれいなこと；(日取りなどが)  
良い、めでたいこと。【例】そうるいどう か  
ぎさ (集まることがめでたい)。

**かぎそうがい** [kagisugai] 【成句】盛装、お  
しゃれして着飾ること。【例】ささぎゆーいん  
かいや かぎそうがいや ひー いかでい (結  
婚式には盛装して行こう)。

**かぎでいー** [kagidi:] 【名詞】(仕事ぶりが) き  
ちんとしている。【例】かぎでいー じゃやふ  
(腕のいい大工) 【類】くまでいー。

**かきら** [kakira] 【名詞】[B] 欠片 (かけら)。  
【例】かーらぬ ひとつかきら (瓦の一枚かけら)。

**かきらいん** [kikirain] 【動詞】[母音語幹] 言  
うことを聞かない [ < 「かき (掛ける) の可能  
否定「かけられない」]。【例】かきらいん  
やらび (言うことを聞かないどうしようもない  
子供)。ぎっじゃ ひらいん かきらいん ぎ

ずぎやうな（言うことを聞かすことのできない、手に負えない腕白坊主）。

**がぐ** [gagu] 【名詞】[C] 縮れ毛；縮れ毛の人。

【例】かぬ みどうんがまー がぐがま（あの娘は縮れ毛だ）。

**かくまらす** [kakumarasi] 【動詞】[s/h 語幹]

縮めさせる。【例】うとうるすかいば どうーゆ かくまらし（怖いので身体を縮めさせる）。

**かくん** [kakun] 【動詞】[m 語幹] [C] 囲む。

【例】っぞうー あんひー かくん（魚を網で囲む）。

**かくん** [kakun] 【動詞】[m 語幹] [C]（身体の一部を）折る、屈める。

【例】あてい っしかいば どうーゆ かくみゆー（余りにも寒いので身を屈めている）。うとうるすかいば どうーゆ かくん（怖いので身体を縮める）。はっじゅ がぐん（足を折って座る（[>正座、あぐらなどを指す]）。[変異] がぐん）。

**がぐん** [gagun] 【動詞】[m 語幹] [C]（身体の一部を）折る、屈める。 [変異] かくん。

**かさ** [kasa] 【名詞】[B] 麻疹（はしか）。【例】

かさがまぬどう はやりゆー（麻疹が流行っている）。ういびとう なりーからぬ かさ いじゃー やぐみぐとう（年取ってから麻疹になることは大変なことだ）。やらびゃー かしー いでいどう ぬーっじゅー（子供は麻疹が出て唸っている）。

**かさき** [kasaki] 【副詞】こんなに沢山。【例】

でいんな かさき あふりーどう（お金はたくさん溢れている）。

**かさび かぎさ** [kasabi kagisa] 【成句】良いことが重なって素晴らしいこと。

**かさます** [kasamasi] 【形容詞】悔しい；面白くない、イライラしている。【例】かいん だ

まはいー かさますかいば ならん（彼に騙されて悔しくてしかたがない）。

ばー かさます かいば ばたー むぎやっりーどうーい（私はくやしくていきり立っている）。

**がさみ** [gasami] 【名詞】[C] 《生物》 マングローブガサミ。

**かさみき** [kasamiki] 【動詞】[母音語幹] イライラする。 [類] かさみつ。

【例】つむー かさみきーどうー（イライラしている [＜心がイライラしている]）。

**かさみき** [kasamiki] 【形容詞】落ち着きがない。 [類] かさみつ。

**かさみつ** [kasamitsi] 【動詞】[k 語幹] 苛立つ、イライラする。【例】つむー かさみきーどうー（イライラしている [＜心がイライラしている]）。

きゅーや かさますかいば かさみきーどうー（今日は面白くないので苛立っている）。かの やらびゃー いつまい かさみきーどうー（あの子どもはいつもいらいらして落ち着かない）。[変異] かさみふ。[類] かさみき（母音語幹）。

**かさみつ** [kasamitsi] 【形容詞】落ち着きがない。【例】かの やらびゃー かさみつんまり（落ち着きがない人）。かさみつ やらび（落ち着きのないこども）。[変異] かさみき。

【例】かの やらびゃー かさみつんまり（落ち着きがない人）。かさみつ やらび（落ち着きのないこども）。[変異] かさみき。

**かさみふ** [kasamifu] 【動詞】[k 語幹] 苛立つ、イライラする。 [変異] かさみつ。[類] かさみき（母音語幹）。

【例】つむー かさみきーどうー（イライラしている [＜心がイライラしている]）。

**かさん ぶん** [kasan bun] 【成句】重ね盆、更なる祈願盆。

**かし** [kaçi] 【名詞】[B] 織り糸。

**かしー** [kaçi:] 【名詞】[C] 加勢、手伝い。【例】

やーふつ かしー あす（家づくりの手伝いする）。みーがしー（家を建てる時などで見るだけで手伝うこと）。ふあうがしー（食べるだけの手伝い）。

**かしぎ** [kaçigi] 【名詞】[C] 紡いだ糸を巻き取って糸の長さを測る H 型や X 型の道具。杵木（かせぎ）。

**かじゃ** [kaza] 【名詞】[B] におい。【例】さきかじゃ（酒のにおい）。やまがらかじゃ（野生の生き物の臭い）。かじゃう かん（臭いを嗅ぐ）。なんつつかじゃ（焦げ臭いにおい）。ぴーかじゃ（ニンニクの臭い）。がばかじゃ（加齢臭）。あしかじゃ（汗の臭い）。かばす かじゃ（香ばしい臭い）。

**かじゃー** [kaza:] ① 【形容詞】[C] ずっと遠い。【例】ぶらー かじゃー（保良はずっと遠い）。【類】ゆーかーま。② 【名詞】[C] ずっと遠く。【例】からー かなだぬ かじゃーからどう っちゅー（あいつははるかカナダから来ている）。【類】ゆーかーま。

**かじゃう** [kazau] 【形容詞】[B] 風が強いこと。【例】きゅーや かじゃうかいば ならん（今日は風が強い）。

**がじゃてい** [gazati] 【オノマトペ】（木、紙、髪などを切るようすを表す擬音を）バサッと、バツサと、ピリッと。【例】きーゆぎゃー がじゃてい きり（木をバツサと切れ）。がじゃていー かびーゆ さつ（ピリッと紙を裂くさく）。あかう かじゃてい そうい（髪をバサッと切る）。

**かじゃまーい** [kazamai] 【名詞】急激に風向きが変わること、急激に強風になること。【例】いーかじゃまーい（急激に北向きの強風になること）。いーかじゃまーいぬ ふーぎかいば じょー はやまり やーんかい はらでい（北からの突風が来そうだから、さあ早く家に帰ろう）。【類】かでいまーい。

**かじゃまき** [kazamaki] 【名詞】（虫や植物で）皮膚がかぶれること。【例】やまんかい はいりどう かじゃまきやー ひーゆー（山に入ってむしかぶれしている）。かじゃまきぬ とうきやんな やりさばう あっづゆーとうい ーりゆー かうかい とうくまんかい あたらすきやー なういどうす（藪のなかに入ってかゆ

くなった時には古い草履をあぶっておいて、それをかゆいところにあてると治る）。

**がじゃみつ** [gazamitsi] 【動詞】[k 語幹]（人で）混雑する、がやがやとうるさい。【例】はーさぬ ひとうぬどう がじゃみきゅー（多くの人々で混雑している）。やらびんみぬどう がじゃみきゅー（子供達があやがやとうるさい）。【変異】がじゃみふ。

**がじゃみふ** [gazamifu] 【動詞】[k 語幹]（人で）混雑する、がやがやとうるさい。【変異】がじゃみつ。

**かじゃん** [kazan] 【名詞】[C] 蚊。【例】かじやんー ささいー っさ ーんぱずん ないちゃ（蚊に刺されて象皮病になるんだって）。

**かじゅーす** [kazu:si] 【動詞】[s/h 語幹] 増やす。【例】やーふつ にんじゅー かじゅーし（家づくりの人員を増やせ）。ういんかいや んめ ひーちやがま かじゅーし（これにはもう少しだけ増量しなさい）。

**かじゅい** [kazui] 【動詞】[母音語幹] [C]（人数やものの量が）増える、～より多い。【例】くとうっさ くじゅんつきやー やらびやー かじゅいーどうー（今年は去年より子供の人数が増えた）。すまぬ ひとうんみやー かじゅいーはたい（村の人口は増えていった）。っづあが たまー かいが たまんつきやー かじゅいーどうー（あなたの分け前は彼の分け前より多い）。

**かす** [kasi] 【動詞】[s 語幹] [A] 貸す。【例】でいんぬ かす（金を貸す）。

**かす** [kasi] 【名詞】[B] 糟、粕、滓、不要なもの。【例】っづあ むいとうぬ かす（お前は全くのカスだ）。

**かず** [kazi] 【名詞】[B] 舵、管理、仲良くやること、いうことを聞かすこと。【例】ふにぬ かつじゅ とうい（船の舵をとる）。っづあが

かつじゃ とうらいん (あなたの舵は取れない [ >あなたとは上手くやっていけない ])。やらびんみぬ かつじゃ とうらいん (子供に言うことは聞かせられない)。ぶとうぬ かつじゃ とうらいん (旦那の管理はできない)。

**がす** [gasi] 【オノマトペ】 ごっそり、全て。【例】 は一さぬ むぬ あたいそが がすていー ふあーいーにゃーん (たくさんの食べ物だったが全て食べられてしまった)。

**がず** [gazi] 【名詞】 [B] 物を吊り下げるもの、鉤 (木製もある)。【例】 びらふー がずんかい さぎー (籠を鉤に下げる)。

**がず** [gazi] 【名詞】 [B] お金やものを出し惜しみすること ; けちな人、お金やものを出し惜しみする人。【例】 がっじゃひー ういていがー うやきんな ならいん (けちけちしては金持ちにはなれない)。

**がず** [gazi] 【形容詞】 [B] けちだ、お金やものを出し惜しみする。【例】 ほうーらーす がずんまり (見せびらかしのケチ)。がずんな うやきん ならいん (ケチは金持ちにはなれない)。

**かすい** [kasii] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] かする、かかる。【例】 んなまぬ かでいふつちや みゃーくんかいや かすいや とうんま ほうん (今度の台風は宮古にはかすりもしない)。[類] かい。

**かすかう** [kasikau] 【形容詞】 むず痒い ; (幽霊などがでそうで) ぞくぞくする。【例】 あだんぬ ばっそう ふあうていがー かすかうむぬ (アダンの身を食べたらむずかゆい)。うまー まずむぬぬ いでいぎかいば かすかうむぬ (そこは幽霊が出そうでぞくぞくする)。

**かずつ** [kazitsi] 【名詞】 [C] 《生物》《食》 バフンウニ。【例】 かずつちや うんかいばどう うんかずつていー あっじゃいーゆーびやーい (ウニは大食いだから大食いウニと呼ばれているのだろうか)。[変異] うんかずつ。

**がずはなぎー** [gazihanagi:] 【名詞】 バツタ。【例】 はいぬ かつんな がずはなぎーぬどう ういゆー (畑の垣根にガジュマルの木を植えている)。

**かた** [kata] 【名詞】 [B] 味方。【例】 せんきよぬ とうきやんな うなが かたぬ は一さからだかー かちやいん (選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。かりやー かまぬ かた (彼は向こうの味方)。

**かた** [kata] 【名詞】 [C] 《昆》バツタ。【例】 は一かがた (殿様バツタ)。ぬーまぬ ふらがた (クルマバツタ)。

**かた** [kata] 【形容詞】 [A] (味などが) 濃い、(間が空いていない) 密な。【例】 かたちやー (濃いお茶)。かたんつつー (濃厚な味噌汁)。くまー あーぬ たにぬ あてい かたまっちや ひーゆーば あとうん っさう とうらだかー ならん (粟の種を密にまきすぎたのであとで間引きしないとイケない)。

**かたー** [kata:] 【名詞】 [B] 体に障害のある人。【例】 かたー むぬ (身体の不自由な人)。

**かたーつづあ** [kata:vva] 【名詞】 身体不自由な子供。【例】 かたーつづあがまー つんだらすむぬ (体の不自由なこどもはかわいそうだ)。

**かたーむぬ** [kata:munu] 【名詞】 体に障害のある人。

**かたあき** [kataaki] 【名詞】 役目、役割。【例】 んまーつざう つかなうや つづあが かたあき (両親の介護はあなたの役目だ)。ぬーまぬ っさかいや やらびんみぬ かたあき (馬の草刈りは子供たちの役目だ)。うぬ すかーまー つづあが かたあき (その仕事はお前の役目だ)。ひんじゃぬ っさかいぬ かたあきゆー やらびんかい びす (山羊の草刈りの責任を子供に負わせる)。



**かたい** [katai] 【名詞】[C] 親戚。【例】くらー ばが かたいぬ むくどー（これは親戚関係の婿だ）。[類] はらうず、うとうじゃ。

**かたいしや** [kataiça] 【名詞】『遊』足の親指を捕まえてケンケンする子供の遊び。

**かたうき** [katauki] 【動詞】[母音語幹] 傾く。【例】んみや ひーちゃ かたうきていがー たういどうすはず（もう少し傾いたら倒れるはずだ）。[変異] かたうつ。

**かたうさ** [katausa] 【名詞】かさぶた。【例】かたうさ いじゅーば んめ ほうがさー なうりーどー（かさぶたができてからもうおできは治っている）。

**かたうた** [katauta] 【名詞】片隅、(人の体の)横、となり。【例】うりゅーぎゃー かたうたん うっき（それは片隅に置け）。ばが かたうたんかい くー（私の横に来なさい）。

**かたうつ** [katautsi] 【動詞】[k 語幹] 傾く。【例】かたうきー みーみーる（傾いて見てごらん）。ますぎたー かたうきーどー（(その)石垣は傾いている）。[変異] かたうき。

**かたうふ** [kataufu] 【動詞】[k 語幹] 傾く、傾ける。【例】かなまいゆ かたうふ（頭を傾ける）。[変異] かたうつ。

**かたか** [kataka] 【名詞】[C] 風、陽の当たらない所、物陰、さえぎるもの。【例】うまー っしかいば かたかがまん いきー すなーかがま びじゅーき（そこは寒いので風の当たらないところに行ってじっとしていなさい）。やらびぬ かたかん ない（子供の遮蔽（しゃへい）になって子供を守る [ > 身をもって子供を守る ]）。うまーあつかいば きーぬ かたかがまんかい いき（ここは暑いので木陰に行きなさい）。かでいふつんな かたかんかいや かじゃー まーぬ あたらん（台風のときは物陰には風はあまり当たらない）。

**かたかす** [katakasi] 【名詞】『魚』通称：オジサン、和名：オオセジヒメジ。

**かたかなまい** [katakanamai] 【名詞】偏頭 [「かたかなまいぬ やん（偏頭痛がある）」の形で使われる]。【例】かたかなまいぬどう やんかいばならん（偏頭痛で頭が痛い）。

**かだき** [kadaki] 【副詞】こんなに、こんな高さ、こんなに沢山。【例】ばー でいんな かだきあり（私のお金は沢山ある）。

**かたぐー** [katagu:] 【形容詞】固い、水の量が少なくて粘度が多すぎる。【例】かたぐー いす（固い石）。くぬ かーっさ かたぐーかいばならん（この菓子はかたくて仕方がない）。くぬ みりきんぐーや かたぐーかいば みっじゅ んめ ひーちゃがま いる（このメリケン粉は固めだから水をもう少し入れろ）。[類] くば。

**かただり** [katadari] 【形容詞】こってりしている。【例】くぬ んーだりゃー やぐみ かただりかい（このいもがゆはとでもこってりしている）。くぬ んーだりゃー かただりかいば んめ ひーちゃがま みっじゅ いる（この芋かゆはこってりしているのもう少し水を入れろ）。

**かたていーむぬ** [katati:munu] 【名詞】独り者（男女とも）。【例】かりゃー ぶとうー みーん かたていーむぬ（彼女は夫のいない独り者だ）。[類] たうかーむぬ。

**かたとうき** [katatuki] 【名詞】片時、一瞬。【例】やらびゅーぎゃー かたとうきまい みーゆぎゃー はなすな（子供から片時も目を話すな [ < 子供を ]）。つゆがはな かたとうきよ（露の花一瞬よ [ 古謡「豆が花」から ]）。

**かたな** [katana] 【名詞】[C] 包丁。

**かたぶい** [katabui] 【名詞】片ぶり、一方で日が照って他方では雨が降ること。【例】かまー ていだー いじゅーそうがどう くまー か

たぶいや ひーゆー (向こうは日が照っているがここは片ぶりしている)。

**かたぶいあみ** [katabuiami] 【名詞】片ぶり雨。

**かたふっじゃから** [katafuzzakara] 【副詞】片っ端から。【例】かたふっじゃから んない ふあい (片っ端から全部食べる)。でいんぬ すていーにゃーん、じょー かたふっじゃから とうみでい (お金を落としてしまった。くまなく探そう)。

**かたまい** [katamai] 【動詞】[r/rr 語幹] 固まる。【例】せめんな かたまりーにゃーん (セメントは固まった)。

**かたみ** [katami] 【動詞】[母音語幹] [C] 担ぐ。【例】ぶーっじゅ かたみる (サトウキビをかつげ)。

**かたみ** [katami] 【名詞】[C] 形見。【例】んまが かたみ (母親の形見)。

**かたみー** [katami:] 【名詞】片目。【例】かさがまんどう にっちゃ いでいー かたみーやみーだ んぎーにゃーん (麻疹で熱が出て片目は見えなくなった)。

**かたむす** [katamusu] 【名詞】肩。【例】やらびあいきゃー っざが かたむすんかい うんそうく ぬーいたい (子供の頃は父親の肩車に良く乗ったものだ)。やらびゃー ひとついがーまーす くんぎー かたむすまい ふくりーうたい (子供を一日中おんぶして肩も腫れていた)。かぬ みどうんな ばが かたむす だつ (あの女性は私の肩の高さだ)。

**かたゆい** [katajuui] 【動詞】[r/rr 語幹] 片寄る。【例】ひだいんかいどう かたゆりゆー (左に片寄っている)。

**かたん** [katan] 【動詞】[m 語幹] [C] 担ぐ。【例】ぶーっじゅ かたみ (サトウキビを担げ)。

うらー ばぬんな んぶかいば かたまいん (それは私には重くて担げない)。**[類]** かたみ。

**かちや** [katca] 【名詞】[B] 蚊帳。【例】なつんな ゆさらびん ないていがー かちやう ほしい (夏には夕方になると蚊帳を張った)。

**かつ** [katsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (かゆいところを) 掻く。【例】かうからばんまい かかだうり (かゆくても掻くな)。っさぶきゆー かつ (フケを掻く)。

**かつ** [katsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 枯れた下葉、下枝等を取る；(石などについているアオサなどを) 取る。【例】ぶーずぬ はーゆ かつ (サトウキビの枯れた下葉を取る)。ふらばまんきー あうさ かつが (大浦湾にあおさを取りに行こう)。

**かつ** [katsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] 勝る、勝つ。【例】すまう とういていがー っぐあんな いつまい かつどうす (相撲を取るとお前にはいつでも勝つ)。せんきよぬ とうきやんなうなが かたぬ はーさからだかー かちやいん (選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。

**かつ** [katsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (汗を) かく。【例】にゆーあしゆー かつ (寝汗をかく)。**[変異]** かふ。

**かつ** [katsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 組み立てる。【例】ぶだいゆ かつ (舞台を組み立てる)。**[変異]** かふ。

**かつ** [katsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 書く。【例】きつぎ ずーゆ かつ (きれいな字を書く)。いーなずきんかい ていがみゆー かつ (許嫁に手紙を書く)。かきーうっちゃす (書いて写す)。かつやっづい (書き損じ)。またがつ (書き直し [**<**二度書き])。**[変異]** かふ。

**かつ** [katsi] 【名詞】[B] 垣根。【例】いすがつ (石垣)。はいぬかつ (畑の垣根)。やすつぬ かつ (屋敷の垣根) **[類]** かつに。

**がっづあ** [gavva] 【オノマトペ】(頭などを)ゴツン(と叩く)、(戸などを)ドンドンと叩く。

【例】かなまいゆ がっづあ ったつ(頭をゴツンと叩く)。やどうー がっづあてい ったつ(戸をドンドンと叩く)。

**がっづあみつ** [gavvamitsi] 【動詞】[k 語幹] たくさんいる。【例】っぞうんな はいぬどう がっづあみきー たかりゆー(魚には蠅が沢山集っている)。

**がっづあんなりー** [gavvannari:] 【成句】ぶんぶんと羽音をたてる。【例】っさりっぞうんな はいぬどう がっづあんなりー たかりゆー(腐った魚には蠅がぶんぶんと羽音をたてて集っている)。**[類]** ぐっづあんなりー。

**かっづい** [kavvi] ①【動詞】[母音語幹][C](布団を自分に)かける、(帽子を)かぶる、(眼鏡を)かける。**[類]** かうー。②【動詞】[母音語幹][C](水を)被る。**[類]** かうー。③【動詞】[母音語幹][C](借金を)被る、(罰を)受ける、(恩義を)受ける。【例】っづあー かいが うっかう かっづい(お前は彼の借金を被れ)。**[類]** かうー。

**がっこー** [gakko:] 【名詞】学校。【例】がっこーぬ なー(戸籍上の名前)。やーにやーうまん がっこーぬ ちゅっふあいがまた(来年そこに学校ができる)。

**がっこーうむくとう** [gakko:umukutu] 【名詞】(学校で習う)知識。【例】にんぎんな がっこーうむくとうたーなひや なくまい ならん(人間は知識だけではどうしようもない)。

**かっじゃ** [kazza] 【名詞】[B] 鍛冶屋、屋号。【例】かっじゃぬ きじやら(カッジャのキジャラ[キジャラは神様の名前、人名としても使われた])。**[類]** かんじゃーやー。

**がっじゅい** [gazzui] 【動詞】[r/rr 語幹] 奪う。【例】かいが むちゅー むぬー がっじゅり

ー とうい(あいつが持っているものを奪い取れ)。**[類]** ばかう。

**かったつ** [kattatsi] 【動詞】[k 語幹] 抱く。【例】うぬ なつっじゃ っふあがまう かったきゅーき(この泣き虫のこどもを抱いておけ)。んきゃーん やらび あいきゃー ばーん かったかい んふばーりうたい(昔、こどものときは おばあさんに抱かれてぬくもっていた)。みどうん びきどうん かったつ(男女が抱き合う)。**[変異]** かったふ。

**かったふ** [kattafu] 【動詞】[k 語幹] 抱く。**[変異]** かったつ。

**かっちゅ** [kattçu] 【名詞】[B] 《魚》カツオ。【例】かっちゅぬ がばーゆどう だいぼんていー あい(カツオの大型の物をダイバンと言う)。

**がっつり** [gattsiri] 【副詞】まったく(そっくり)[似ていることの強調]。【例】うぬ っぎ っふあー がっつり んーしーどうー(その父子はほんとうによく似ている)。うぬきやが っぎ っふあー がっつり ゆぬそうい(その父子は全くそっくりだ)。

**かつに** [katsini] 【名詞】[B] 垣根。**[類]** かつ。

**がっつぬ** [gattsinu] 【名詞】[C] 《魚》メアジ。【例】がっつぬー あんひー がにー(アジを網で囲み取る[>囲み網でとる])。

**かっふ** [kaffu] 【動詞】[f 語幹][C] 隠れる。【例】っづあ かまぬ ほうぎーぬ ていびん かっふい(お前はあの大きな木の後ろに隠れる)。**[類]** かっふい。

**かっふあす** [kaffasi] 【動詞】[s/h 語幹] 隠す。【例】でいんぬぎゃー かっふあし(金を隠せ)。

**かつみ** [katsimi] 【動詞】[母音語幹][A] 捕まえる。【例】ぬそうどうー かつみる(泥棒を捕まえろ)。んでい んでい っづあが ていーゆ かつみーみーみーでい(どれどれあなたの手を掴まえて(触って)みよう[<触ってみ

てみよう])。ぬそうどうー かつみらいにやーん (泥棒は捕まった)。

**から** [karra] 【名詞】[C] 居眠りして、こっくりする動作。【例】ゆび ゆーかひー ににゆーや からん なりゆー (昨晚、夜更かしして居眠りコックリしている)。

**からみきー** [karramiki:] 【副詞】フラフラと。【例】びゆーい びとうー からみきー あいきーまーるー (酔っぱらいはフラフラと歩き回っている)。

**かつん** [katsin] 【動詞】[m 語幹] [A] 捕まえる、握る。【例】ぬそうどうー かつん (泥棒を捕まえる)。みどうんぬ ていーゆ かつん (妻の手を握る)。んまが つんぬ まいちやう かつん (母親の着物の裾を掴む)。ぬそうどうー かつまいーにやーん (泥棒は捕まった)。

**かてい** [kati] 【動詞】[母音語幹] [C] (おかずとご飯を) ちよつとづつ合わせて。【例】まいゆ っぞうとう かていー ふあい (ご飯に魚をおかずとして食べなさい)。おかっじゃ はーさにやーんば かていがまひー ふあい (おかずは多くはないので少しづつ節約して食べなさい)。

**かてい** [kadi] 【動詞】[母音語幹] [C] 耕す、掘る。【例】んーぬ かていー (芋を掘る)。はいゆ かていー (畑を耕す)。

**かてい** [kadi] 【名詞】[B] 風。【例】あがいかてい (東風)。いーかてい (西風)。はいかてい (南風)。んすかてい (北風)。かていふつ (台風)。ゆぶすかてい (つむじ風)。かていまーい (風向きが変わること)。いーかていまーい (西風回り [>前線の通過で西風が北風が変わること])。きーぬ はなんどう かじゃー ふつ (木の上の部分に風が吹く [>上位のものが苦情などを受ける])

**がてい** [gadi] 【動詞】[母音語幹] [C] (縄をなうなどのために) 交差させる。【例】みーつ

ぬ ん<sup>°</sup>なう がていー うぶ ん<sup>°</sup>なう なう (3本の綱を交差させて碇綱を纏う)。

**かていうす** [kadiusi] 【名詞】時化 (しけ)。【例】きゆーや かていうす やいば いんなうらいん (今日は時化だから漁には出られない)。<sup>[変異]</sup>かていうつ。

**かていうつ** [kadiutsi] 【名詞】時化 (しけ)。<sup>[変異]</sup>かていうす。

**かていぬ** [katinu] 【連体詞】より以上の。【例】ぶとうー がず やいそが とうっじゃ うりやー かていぬ がず (旦那はケチだが奥さんはそれ以上のケチ)。

**かていぬ かいすふつ** [kadinu kaisifutsi] 【成句】台風の目。【例】かていぬ かいすふつんかい はいーていがー なうちゆんま かじゃー にやーん (台風の目に入ったら全然風はない)。

**かていふつ** [kadifutsi] 【名詞】台風。【例】ちゆー かていふつ (強い台風)。んなまぬ かていふつちや みやーくんかいや かすいや とうんまほうん (今度の台風は宮古にはかすりもしない)。

**かていふつあみ** [kadifutsiami] 【名詞】台風の前兆の雨。

**かていまーい** [kadimai:i] 【名詞】突風。【例】いーかていまーい (北からの突風)。<sup>[類]</sup>かじゃまーい。

**かていむぬ** [katimunu] 【名詞】おかず。

**がていらく** [gadiraku] 【名詞】(糸等が) 絡むこと、もつれること、(人に) 絡むこと。【例】いとうー がていらくんなりどう なうちゆんま はなはいん (糸がからまって全然離れない)。ばぬんかい まーぬ がていらく あすな (あまり俺に絡むな)。

**かどう** [kadu] 【名詞】[B] 角。【例】かまぬ かどう (向こうの角)。

**かどう かどう** [kadu kadu] 【名詞】この角あ  
の角、あちらこちら。【例】みどうんみぬ  
どう かどう かどうん むぬー ゆみゆーた  
い（女性達があちらこちらでお喋りしていた）。

**がどうい** [gadui] 【動詞】[r/r 語幹] [A] 奪い  
取る。【例】ぬそうどうん がどうらいーにや  
ーん（盗人に奪い取られた）。かいが でいんぬ  
がどうり（あいつの金を奪え）。[類] ばかい。

**かな** [kana] 【名詞】[B] 下ろし金、鉋。【例】  
ほうにやう かなひー うらし（大根を下ろし  
金でおろせ）。きーゆ かなひー きっず（木  
を鉋で削る）。

**かなーい** [kanai] ① 【名詞】遠方。【例】ぶ  
らー むいとう かなーいん あい（保良はず  
っと遠方にある）。[変異] かない。[類] ゆー  
かーま、かじゃー。② 【名詞】昔、ずっと以前。  
【例】かなーいや みどうんまい びきどうんま  
い からっじゅぎやー ゆっぐいどう うたい  
（昔は女性も男性も髪を結っていた）。かなーい  
んな うまー はいどう あたい（以前はそこ  
は畑だった。[変異] かない。[類] ゆーかーま、  
んきやーん）。

**かない** [kanai] ① 【名詞】[C] 遠方。[変異] かな  
ーい。[類] ゆーかーま、かじゃー。② 【名詞】  
[C] 昔、ずっと以前。[変異] かなーい。[類] ゆ  
ーかーま、んきやーん。

**かない** [kanai] 【形容詞】[A] 仕事の良くて  
できる。【例】かりやー いんかないびとう（彼は  
腕のいい漁師だ）。かいがどう かないかいば  
かいんかい たぬみ（あのの方が仕事の良  
くてできるのであの人に頼みなさい）。

**かない** [kanai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 駄目な  
状態である。[変異] かにやい。

**かない** [kanai] 【形容詞】[C] 駄目な状態であ  
る。[変異] かにやり。

**かない** [kanai] 【名詞】[C] 駄目な状態である  
人。[変異] かにやり。

**かなう** [kanau] 【動詞】[w 語幹] [C]（仕事な  
どを）頑張る。【例】がんにゅーや ひー ゆ  
ー かないーゆーんな？（元気でよく頑張っ  
ているか）。うなが たまうぎやー かないーど  
うー（自分なりに頑張っている）。うたきぬ  
うだいゆぎやー わいていー かなーでい（御  
嶽の役割はしっかり果たそう）。

**かなう** [kanau] 【動詞】[w 語幹] [C] 叶う；気  
に入る。【例】うむいや かなう（思は叶  
う）。かぬ みどうんな ばが つむんな かな  
なーだん（あの女性は私の気持ちにはそわな  
かった）。

**かなぎ** [kanagi] 【名詞】[C] これくらいの（長  
い）長さ。【例】ぶーずぬ ながさー かなぎ  
ありーどうー（サトウキビの長さはこんなに  
長い）。

**かなさ** [kanasa] 【名詞】[C] 『人名』[男女とも  
に使う]。【例】あばらぎ かなさがま（可愛  
いカナサちゃん）。

**かなす** [kanasi] ① 【動詞】[s/h 語幹] [A] 好き  
だ、愛している、大切にしている。【例】ばー  
とうっじゅぎやー かなはん（私は妻を愛し  
ていない）。ぶとうー かなす（夫が好き）。②  
【形容詞】[A] 好き、愛おしい。【例】かなす  
みどうん（愛おしい妻）。ばー みどうんぬぎ  
やー かなすかいば ならん（私は妻が愛おし  
くてならない）。

**かなす** [kanasi] 【名詞】[C] 『人名』[男女とも  
に使う]；（神様につける）接尾辞。【例】てい  
だがなす（太陽神）。かながなす（神様）。

**かなすぎ** [kanasigi] 【形容詞】親しそうな、愛  
おしそうな。【例】うぬきやが とうず ぶと  
うー いつまい かなすぎ（その夫婦はいつも  
仲がよさそうだ）。

**かなた** [kanata] ①【名詞】[A] 遠く、彼方。

【例】かまぬ かなたんどう いみずまがまぬ  
あい（ずっと遠方に小さい島がある）。やまぬ  
かなた（山のかなた）。[類] かーま。②【形  
容詞】[A] 遠い。【例】かまぬどう かなたか  
い（あっちの方が遠い）。ぶらぬどう っさら  
んつきゃー かなたかい（保良の方が平良より  
遠い）。[類] かーま。

**かなっさ** [kanassa]【名詞】かわいがること。

【例】とうず かなっさ びとう（奥さんを大切  
にする人）。

**かなっさ あす** [kanassa asi]【成句】[不規  
則動詞]（人、生き物を）可愛がる。【例】まゆ

がまう かなっさ あす（猫を可愛がる）。ん  
まがうぎゃー なんみや はってい はってい  
かなっさ あす（孫を大切に大切に愛する）。  
ばー とうっじゅぎゃー かなっさ ひーうた  
い（私は妻を愛していた）。っふあ かなっさ  
びとう（子煩悩）。

**かなまい** [kanamai]【名詞】頭；考える力。

【例】きーから うていー かなまいや ぴーき  
ーにゃーん（木から落ちて頭に穴が開いた）。ず  
ーじゅー かなまいや うむくとうー にゃー  
ん（頑固な人は知恵がない）。ういが かなま  
いや うぬしゅくだー（彼の考える力はその程  
度しかない）。

**かなまりや** [kanamarja]【名詞】間違った考  
えの人；人をけなすときの呼びかけ語、馬鹿野  
郎。【例】ゆがかなまりや（間違った考えの人）

くぬ かなまりや（この馬鹿やろう）。かりゃ  
ー ひとつぬ はなっそうぎゃー つかん ゆ  
ががなまりや（彼は人の話に耳を傾けない協調  
性がない人だ）。

**かなみ** [kanami]【名詞】[A] かなめ。【例】あ  
うずぬ かなみ（扇のかなめ）。

**かに** [kani]【名詞】[B] 鉄、金属、強いこと。

【例】かにふず（釘）。かりゃー ふっちゃ か

に えいば かいんな ばー うゆばん（彼が  
口が強いから彼には私には勝てない [＞あまり  
強く主張するので言い返せない]）。

**かに** [kani]【名詞】[B] 鐘。【例】かにぬ が

ーん がーんてい ない（鐘がガーン ガーン  
と鳴る）。

**かに** [kani]【名詞】[C]『人名』カニ、農業の神  
様。

**かに** [kani]【補助動詞】[母音語幹] 動詞基本形

についてその動作が困難であることを表す、～  
しかねる、～できかねる、～することが難しい。

【例】はっじゃ ぶりー あいつかにゆー（足  
を骨折して歩きかねている）。ばたー んてい  
ー んめ ふあうかにゆー（腹がいっぱいでも  
う食べられない）。やらびゃー にゆーかにゆ  
ー（子供はなかなか眠れない（＜眠りかねてい  
る]）。にゆーかに ふがましや（中々寝つかな  
いうるさいやつ [＜寝かねるうるさい子]）。

**がに** [gani]【動詞】[母音語幹] [C] 捻じ曲げる。

【例】はりがにゆー がにー（針金を捻じ曲げ  
る）。

**がに** [gani]【動詞】[母音語幹] [C]（人）集  
める、（網を束ねて）引き上げる、（足などを）

引っ張る。【例】いん にんじゅー がにー  
（漁に行く人数をかき集める）。あんな がにー  
っぞう とうらでい（網を束ねて魚を取ろう  
[そうでいあん（袖網）という網を使った漁では  
網の両端を交差させて中に入った魚を取る]）。  
あんかい っぞうー がにる（網に魚を束ねろ  
[＞網の両端を交差させて中に魚を入れる]）。

**かにふず** [kanifuzi]【名詞】釘。

**かにやい** [kanjai]【動詞】[r/tr 語幹] [C] 駄目

な状態である。【例】まさいや すかまー ほ  
うだ かにやりーうたい（マサイは仕事をしな  
いで駄目だ）。[変異] かない。

**かにやり** [kanjari] ①【形容詞】[C] 駄目な状  
態である。【例】まさいや すかまー ほう

ん かにやりんまり (マサイは仕事をしないで駄目なやつだ)。[変異] かない。◎【名詞】[C] 駄目な状態である人。【例】まさいや すかまー ほうん かにやり あたい (マサイは仕事をしないで駄目なやつだった)。[変異] かない。

**かにゆーんーた** [kanju:n:ta] 【名詞】山ブドウ。【例】やまんきー かにゆーんーたう とういが (山に行って山ブドウを取りに (いく))。

**かぬいー** [kanui:] 【感動詞】『フィラー』あのねー。

**かぬきや** [kanukja] 【名詞】[C] あの人たち。【例】かぬきやが ふたーいや いつまい ひとうみ (あの二人はいつも一緒だ)。かぬきやが まいんどう んまむぬぬ あい (あの人たちの所にご馳走がある)。[類] かぬきやた。

**かぬきやた** [kanukjata] 【名詞】あの人たち。[類] かぬきや。

**かぬちや** [kanutça] 【名詞】[C] 向こう側。【例】うままい あらん、くままい あらん、かぬちや (そこでもない、ここでもない、向こう側だ)。かぬちやうぎゃー みーだ くぬちやう みーる (向こう側を見ないでこちら側を見なさい)。やまぬ かぬちや (山の向こう側) うまの はいぬ かぬちや (そこの畑の向こう)。

**かぬゆー** [kanuju:] 【名詞】あの世。【例】ばーや すにー かぬゆーんかい はりーにやーん (おばーさんは亡くなってあの世に行った)。[類] かんぬゆー、かまぬゆー。

**かば** [kapa] 【オノマトペ】急に、いきなり、ビックリする時に発する言葉。【例】かいん かばていー うどうるかはいーにやーん (彼に急に驚かされた)。しーしーん かばていー まーまー ふあーはいーにやーん (先生に急にげんこつを食らわされた)。

**がば** [gaba] 【形容詞】[C] (人や動物が) 年取った、(食べ物などが) 古い。【例】がば うい

びとう (年取った老人)。がばかじゃ (加齢臭) がばぬーま (老馬)。くらー がばかいば ふあーいん (これは古いから食べられない)。

**がばー** [gaba:] 【形容詞】[C] 大きい、広い。【例】ばー ほういかいむぬ がばーかい むぬー とうらっじャー っづあー いみかい むぬー とうい (私は大きい方を取るからあなたは小さい方を取れ)。がばー っぞう (大きい魚)。がばー まっちゃ (大きい店)。がばー やー (大きい家)。ういがどう がばーかい (これが大きい)。くじゃひつぬどう んながーな がばーかい (客間が一番広いです)。

**がばういびと** [gabauibito] 【名詞】老人。【例】くすまがい がば ういびとう (腰の曲がった年寄り)。

**かばす** [kabasi] 【形容詞】[A] 香ばしい; 喜ばしい。【例】ふにゆーや かばす (ミカンが香ばしい)。かばす かじゃ (香ばしいにおい)。かばす はなす (喜ばしい話)。

**かばすぐい** [kabasigui] 【名詞】吉報。

**かばたまがい** [kapatamagai] 【名詞】突然の出来事に驚くこと。【例】おごえ ばー まずむぬー みー かばたまがいや ひーにやーん (ぎゃー、私は幽霊を見てビックリしてしまった)。

**がばみかす** [gabamikasi] 【動詞】[s/h 語幹] ゴツンと叩く、ドンドンと叩く。【例】やどー ー かばみかひー ったつ (戸をドンドンと叩く)。[類] どんみかす。

**かびー** [kabi:] 【名詞】[B] 紙 [複合語では「かび」となることもある]。【例】っそう かびー (白い紙)。かびとうい (凧)。

**かびーぎー** [kabi:gi:] 【名詞】『植』楮 (こうぞ) [紙を作る材料になる木で。宮古では紙はつくらないが、以前は内地の業者が買い取りにきていた。いまではあまりみられない]。

**かびとうい** [kabitui] 【名詞】 風。【例】 かびとういゆ まーす (風をあげる)。かびとういぬ ん<sup>ん</sup>なう たっづい (風の紐を手繰れ)。

**がびやう** [gabjau] ①【形容詞】 [B] 病弱だ。【例】 ういびとう なりどう がびやうふ なりーうい (年取って病弱になっている)。②【名詞】 [B] 病弱なこと、病気がちの人。【例】 かりやー がびやう ひつにん (彼は病気がちで何もできない人だ)。がびやう びとう (病気がちの人)。がびやうゆ みー むぬー くーむぬ (病気がちの人を看病するのは疲れる)。

**かふ** [kafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (汗を) かく。【変異】 かつ。

**かふ** [kafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 組み立てる。【変異】 かつ。

**かふ** [kafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 書く。【変異】 かつ。

**がふ** [gafu] 【オノマトペ】 ものともものがぴったり合うさまを表す。【例】 がふていー あいにやーん (かっちり合った)。あなんかい がふていー はまりーにやーん (穴にピッタリとはまった)。

**かふー** [kafu:] 【動詞】 [f 語幹] [C] 隠れる。【類】 かつふい。

**かふー** [kafu:] 【名詞】 [B] 屋敷内の畑。【例】 かふーん そーゆ いびー (屋敷内の畑に野菜を植える)。かふーん なびやーらぬ なりゆー (家庭菜園にヘチマがなっている)。

**がぶがぶ** [gabugabu] 【オノマトペ】 飲み物を飲むときの音、ゴクリゴクリ。【例】 さきゅーぎやー がぶがぶていー ぬみ (酒はガブガブと飲め)。

**かま** [kama] 【名詞】 [C] (話し手、聞き手から離れた場所を指す) あそこ、向こう。【例】 かまう みーる (あそこを見なさい)。かまなか

い はりーにやーん (向こうに行った)。かまんどう がっこーや あい (あそこに学校はある)。かまからどう あみぬ いりゆー、やどーう っふい (あそこから雨が入ってる。戸を閉める)。

**がま** [gama] 【名詞】 [B] 洞窟。【例】 ほうがま (大きな洞窟)。【類】 あぶ。

**がま** [gama] 【接尾辞】 小さいものや動作、かわいく感じるものや動作に着く指小辞。名詞、形容詞、動詞の連用形につくことができる。【例】 みどろんがま (女の子)。ぱーがま (おばーちゃん)。いみむぬがま (小さいもの)。やらびやーばらいがま あす (子供がすこし笑う)。

**かまい** [kamai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (人が) 嫌いになる、(動詞基本形について、その動作をすることに) 飽きる。【例】 ばー かりゅーぎやー かまりーどうー (私は彼のことを嫌になった)。ふあうがまい (食べ飽きる)。わーやあてい ふあうや ひー みーがまいまい ひーどうー (豚肉は食べ過ぎて見飽きもしている)。ばー うるーぎやー んぎやがまい (私はそれにはうんざりしている)。むいがまい (嫌なほどうんざりすること)。【類】 がうい。

**かまい** [kamai] 【名詞】 [C] 賄賂、貢ぎ物。【例】 かまいひー すぐい (貢ぎ物で偉くなる)。【類】 わいる。

**かまかた** [kamakata] 【名詞】 向こう側、向こうの方。【例】 かまかたうぎやー みーだ くまかたう みーる (違う。向こうの方を見ないでこちらの方を見なさい)。

**がまく** [gamaku] 【名詞】 [C] お尻の大きい骨のある部分。【例】 がまくぶに (お尻の両側の大きな骨)。

**かまさー** [kamasa:] 【名詞】 《魚》カマス。【例】 あうきやー かまさーとうどう ひとうみ うい (アウキヤはカマスと一緒にいる)。【類】 かます。



**かます** [kamasɪ] 【名詞】 [C] 《魚》カマス。  
[類] かまさー。

**かます** [kamasɪ] 【名詞】 [C] 麻であんだ袋。  
[類] かますぐー。

**かますぐー** [kamasigu:] 【名詞】 麻であんだ袋。【例】 かますぐーんかい ぶーずぬ さにゆー いりー (カマスにサトウキビの苗を入れる)。[類] かます。

**がまた** [gamata] 【接辞】 動詞基本形について、すでに決まっている未来の事態を表す、はずだ；(あるべき) 未来の行為を表す、べきだ。【例】 うまんどう やーに がっこーゆ ちゅっふがまた (ここに来年学校を作る (ことになっている))。いつどう やまとうんかい はいがまたが (いつ本土にかえるんだ)。うぬ あつないゆ あすていがー まーんてい まうきがまた (この商売をしたらかならず儲かるはずだ)。くぬ すかまー いつがみ あすがまたが (この仕事はいつまでやるんですか)。てれびやー くまんどう うつつがまた (テレビはここに置くべきだ)。しーとうんみやー べんきよー あすがまた (生徒たちは勉強すべきだ)。

**かまつ** [kamatsɪ] 【名詞】 [B] 顎 (のえらの部分) からほほにかけての部位。【例】 かいが かまच्चゆ だみる (彼の顎を殴れ)。はーや やみどう かまच्चや ふくりゆー (歯痛で頬が腫れている)。

**かまどう** [kamadu] 【名詞】 [B] 竈 (かまど)。  
【例】 かまどうんかい なびゆー うつつ (カマドに鍋を置く)。[類] うかま。

**かまぬゆー** [kamanuju:] 【名詞】 死後の世界。  
【例】 ぱーや かまぬゆーんかい はりーにやーん (おばあさんは向こうの世界に逝ってしまった)。[類] かぬゆー、かぬぬゆー。

**かまばく** [kamabaku] 【名詞】 カマボコ。

**かまらす** [kamarasi] 【形容詞】 悲しい。【例】 ばー かまらすかいば つむー やすまらん (私は悲しくて心は休まらない)。あいぬ くー かまらす ゆーゆぎやー ふあーん (こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない)。

**かまんだ** [kamanta] 【名詞】 《魚》エイ。【例】 かまんだー とういぬ んまりやーひどう うーず (エイは鳥のように泳ぐ)。[類] いー。

**かみ** [kami] 【動詞】 [母音語幹] [C] 荷を頭に乘せる；祈る。【例】 たむぬー かみー (薪を頭にのせる)。ていーゆ かみー (両手を開いたまま頭の高さまで上げて祈願する)。

**かみ** [kami] 【名詞】 [C] 瓶 (かめ)。【例】 んそうがみ (味噌瓶)。みずがみ (水瓶)。いっどがみ (一斗瓶)。

**がみ** [gami] 【格助詞】 (目的地) まで；(ある時間) まで 「[がみ]と「たーひー」は重ねて使うことができる。～がみたーひー、～たーひーがみ。【例】 ぶらがみまい いきったい (保良まで行ってきた)。さんじがみ うまん まち (三時までここで待て)。[類] たーひー。

**かみぬ くー** [kaminu ku:] 【成句】 亀の甲。  
【例】 かみぬ くーんつきやー とうすぬ くー (亀の甲より年の功)。

**かむー** [kamu:] 【動詞】 [w 語幹] [C] 出向いてくる、訪問してくる、訪ねてくる。【例】 うりやー うとうじやうぎやー かむーん (彼は親戚を見向きもしない)。かりやー くまんかいや かむいや くーん (あいつはここには訪ねて来ない)。[類] かむい。

**かむー** [kamu:] 【動詞】 [w 語幹] [C] (人に) かまう、かかわる；必要だ、要る。【例】 やらびんかいや かむーな ((その) 子にかまうな)。いすがすかいば つづあんかいや かむーいん (忙しいのでお前にはかまっていられない)。ばー うりゆーぎやー かむーん (私は、それは

必要ない)。いつとうー かむーん (行く必要ない)。**【類】** かむい。

**かむい** [kamui] **【名詞】** [C] 鴨居 (かもい)。

**かむい** [kamui] **【動詞】** [母音語幹] [C] (人に) かまう、かかわる; 必要だ、要る。 **【類】** かむー。

**かむい** [kamui] **【動詞】** [母音語幹] [C] 出向いてくる、訪問してくる、訪ねてくる。 **【例】** うりゃー うとうじゃうぎゃー かむいん (彼は親戚を見向きもしない)。**【類】** かむー。

**かや** [kaja] **【名詞】** [B] **【植】** 茅。 **【例】** かややー (茅葺の家 [実際にはすすきで作られていた])。

**かや** [kaja] **【名詞】** [B] 若い時の過労等が原因で年取ってから起きる神経痛。 **【例】** ういびとう ないていがー かやぬどう うんそあく やん (年を取ると神経痛が余りにも痛む)。

**かや** [kaja] **【感動詞】** **【間投詞】** 期待と違ったときに発する間投詞、あれ。 **【例】** かや つうあが どうみゆー むぬー かまん あいさ (あれ、あなたが探しているのは向こうにあるだろう)。**【類】** かやはい。

**がやーす** [gaja:si] **【動詞】** [s/h 語幹] (馬などに載せるために) 一對の束ねた草等を交差させる。 **【例】** っさー がやーひー ぬーまんかい ぬーす (草を交差させて馬にのせる)

**かやはい** [kajahai] **【感動詞】** **【間投詞】** 期待と違ったときに発する間投詞、あれ。 **【例】** かやはい つうあが どうみゆー むぬー かまん あいさ (あれ、あなたが探しているのは向こうにあるだろう)。**【類】** かや。

**かやばた** [kajabata] **【名詞】** **【昆】** 蜂の一種、チビアシナガバチ。

**かややー** [kajaja:] **【名詞】** 茅葺の家。 **【例】** かややーや かでいふつんな っちゆい やすむ

ぬ (茅葺の家は台風には壊れやすい)。かややーゆぎゃー ぎすつひどう ちゅっふ (茅葺家はススキで作る)。

**がやんちゅ** [gajantçu] **【名詞】** 雲雀 (ヒバリ)。

**【例】** がやんちゅがまー ちゅんちゅんていー なつ (雲雀はちゅんちゅんと鳴く)。**【類】** ちゅんちゅん、ちゅんくら。

**かゆー** [kaju:] **【動詞】** [w 語幹] [A] 通う。

**【例】** みどうんぬ まいんかい かゆー (妻のところに通う)。

**から** [kara] ① **【名詞】** [B] (貝の) 殻。 **【例】** にぐーぬ から (シャコガイの殻)。 ② **【名詞】** [B] (穀物の) 殻。 **【例】** まいがら (粳を脱穀したときの殻)。

**から** [kara] **【名詞】** [B] 茎、幹。 **【例】** ぶーざがら (サトウキビの茎)。きーがら (木の幹)。

**から** [kara] **【形容詞】** [B] 辛い。 **【例】** くーそーうー からむぬ (唐辛子は辛い)。

**から** [kara] **【助詞】** **【格助詞】** (名詞について) 出発地点をあらわす、「から」; (名詞や動詞連用形に付いて) 動作の始まりの時点をあらわす、「から」; 始点、経由、手段をあらわす、「で」。 **【例】** くまから いんぬ そうくたーひー いたきばかーい あり (ここから海底までどれくらいの深さがありますか)。つざから つきやーはなす (父親から聞いた話)。あちゃからーあみちや (明日からは雨だって)。つむーやすまひーから ばが はなっそう つき (心を落ち着けてから、私の話を聞きなさい)。うぬにゆーっさ てれびから みーたい (そのニュースはテレビで見た)。

**がら** [gara] **【名詞】** [C] 柄。 **【例】** がらずん (柄のある着物)。

**がら** [gara] **【助詞】** **【接続助詞】** 動詞に基本形について疑念を表す節を作る、～か (もしれない)、～のか。 **【例】** あいぬがらまい っさいん

(そうかも知れない)。うぬ ほうんな ゆみや  
一むがらまい っさいん (その本は読んだこと  
があるかもしれない)。あみぬ っふゆーたん  
ががら ずーや すとうりーどー (雨が降っ  
たのか地面がぬれていた)。[類] ががら。

**がら** [gara] 【接尾辞】疑問詞について不定名詞  
を作る。【例】なうがら ふあうむぬー むち  
ーくー (なにか食べ物をもってこい)。うまん  
な たるがらぬ うるーたんが おーかん (こ  
こには誰かいたらしい)。いじゃがらん あい  
はずやいそうが いじゃがら っさいん (どこ  
かにあるはずだが、どこかわからない)。いつが  
ら かまんかい いつたい (いつかあそこに行  
った (はずだ) [「いつたいはず」と言ってもよ  
いが「はず」はなくてもよい])。[類] ががら。

**がら** [gara] 【オノマトペ】簡単に、あっさり。  
【例】やきゅーや すぐ がらていー まきーに  
ゃーん (野球はすぐに簡単に負けた)。まかい  
や がらていー ぱりー はりーにゃーん (お  
椀は簡単に割れてしまった)。ぬそうどー  
がらていー ひんぎー はりーにゃーん (泥棒  
はするりと逃げて行った)。

**からー** [kara:] 【助詞】形容詞接辞「かい」の提  
題形「としては」、「のなかでは」。【変異】か  
りゃー。[類] やりゃー。

**からい** [karai] 【名詞】[A] 髪。【例】からい  
ゆ ゆー (髪を結上げる)。[類] からず。

**からいばい** [karaibai] 【名詞】空威張り。【例】  
まーぬ からいばい あすな (余り空威張りす  
るな)。

**からがい** [karagai] ①【動詞】[母音語幹] 世話  
をする、子守りをする；(畑などを) 手入れす  
る。【例】ばー いつまい ういびとー  
からがいゆー (私はいつも年寄りを世話して  
いる)。ばが はいんかい いきゅーきや っ  
づ あー やらびゅー からがいの (私が畑に行っ  
ている間、子供の面倒を見ろ)。[類] からがう。

②【動詞】[母音語幹] 修繕する。【例】きゅー  
まい やっづい くるまう からがい (今日も  
壊れた車を直す)。[類] からがう。

**からがい** [karagai] 【名詞】(人の) 世話；(畑  
などの) 手入れ；(お金などの) 管理。【例】う  
いびとー からがいや やぐみぐとー (年寄  
りの世話は大変なことだ)。ばー ういびとー  
ふたーいぬ からがいゆどー ひーゆー (私は  
年寄り二人の面倒を見ている)。はいぬ ぶー  
ずぬ からがい (畑のサトウキビの手入れ)。で  
いぬ からがいゆぎゃー みどうんぬどー  
ひーゆー (お金を管理を奥さんがしている)。

**がらかいー** [garakai:] 【動詞】[r/rr 語幹] ご  
ろりと倒れる。【例】みつふあまーいや ひど  
う がらかいらっじゃうたい (立ち眩みして急  
に倒れそうになった)。[類] ぶらかいー。

**からがう** [karagau] ①【動詞】[w 語幹] 世話を  
する、子守りをする；(畑などを) 手入れする。  
【例】ういびとー からがう (老人の世話を  
する)。ばぬんな はいぬ やそうるー から  
がーいん (私は畑の一反は世話できない)。[類]  
からがい。②【動詞】[w 語幹] 修繕する。【例】  
うぬ やぶりやどー からがいみーる (この  
壊れた戸を修理してくれ)。[類] からがい。

**がらがらていー** [garagarati:] 【オノマトペ】  
(戸を) ガラガラと開けるさま。【例】やど  
ぬ がらがらていー ない (戸ががらがらと鳴  
る) [類] がらてい。

**からぎ** [karagi] 【動詞】[母音語幹] [C] 絡げ  
る。【例】つんぬ からぎー まーい (着物を  
絡げて行く)。

**からぐびん** [karagupin] 【名詞】空瓶。【例】  
うらー ききゃー はいりや うらん からぐ  
びん (それは酒の入っていない空瓶だ)。

**がらさ** [garasa] 【名詞】[C] カラス。【例】は  
いぬ がらさ (畑のカラス)。

**がらさない** [garasanai] 【名詞】足の指の痙攣。

【例】がらさないや ひどう はずぬ うゆびぬ まがりゆー（痙攣して足の指が曲がっている）。

**がらさばう** [garasabau] 【名詞】『生物』ヒメヘビ（小型のヘビ）。

**からす** [karasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 貸す。

【例】でいんぬ からす（金を貸す）。

**からず** [karazi] 【名詞】[B] 髪。 [類] からい。

**からずー** [karazi:] 【名詞】地べた。 【例】からずーん うやたー びー（地べたにおじいさんたちは座る）。

**からた** [karata] 【名詞】[B] 体、体格。 【例】やぐみからた（立派な体格）。

**がらていー** [garati:] 【オノマトペ】（建物が）ガラガラと倒れるさま；（人が）くずれるように倒れるさま；戸が開く音。 【例】がらていー たうりー はりーにやーん。 [類] がらがらていー。

**からばい** [karapai] 【名詞】灰。 【例】からばい まゆがま（灰だらけの子猫）。うかまぬ からばい（釜の灰）。

**からはず** [karahazi] 【名詞】裸足。 [変異] からばず。

**からばず** [karapazi] 【名詞】裸足。 【例】んきやーんな くつまい にやーんば からばず ひー あいきー うたい（昔は靴もないので裸足で歩いていた）。 [変異] からはず。

**からまつ** [karamatsi] 【動詞】[k 語幹] 絡巻く、巻きつける。 [変異] からまふ。

**からまふ** [karamafu] 【動詞】[k 語幹] 絡巻く、巻きつける。 【例】ん<sup>なう</sup> からまき（綱を巻きつける）。 [変異] からまつ。

**がらみつ** [garamitsi] 【動詞】[k 語幹] がらがらと音を立てる；内部に何もなく空いている。

【例】がらみきー みずぬ ながりゆー（ガラガラと音を立てて水が流れている）。まーぬ がらみつな（余り音を立てるな）。うまぬ やーや がらみきー たるまい みーん（この家は空っぽで誰もいない）。

**からゆか** [karajuka] 【名詞】（何も引いていない）床。 【例】なつん からゆかん にゆーていがー すみやーすむぬ（夏になにも引いてない床に眠ったら心地良い）。

**かり** [kari] 【動詞】[母音語幹] [A] 嘎（か）れる。 【例】あてい むぬいやひー くいまい かりーにやーん（余りにも喋り過ぎて声も嘎れてしまった）。

**かりー** [kari:] 【形容詞】[C] 大事な、嘉例の。 【例】かりーな むぬ（大切なもの）。

**かりうし** [kariuŋi] 【名詞】航海安全、安全。 [変異] かりうす、かりうす、かりゆし、かりゆす。

**かりうす** [kariusi] 【名詞】航海安全、安全。 【例】かりうっさひー いき（安全で行け）。 [変異] かりうし、かりゆーし、かりゆし、かりゆす。

**かりやー** [karja:] 【助詞】形容詞接辞「かい」の提題形「としては」、「のなかでは」。 【例】みどうんやりやー たかびとう（女の人の中では背が高い）。 [変異] からー。 [類] やりやー。

**かりゆーし** [karju:ŋi] 【名詞】航海安全、安全。 [変異] かりうし、かりうす、かりゆし、かりゆす。

**かりゆし** [karijuŋi] 【名詞】航海安全、安全。 【例】かりゆしぬ たびゆー ひーくー（航海安全の旅をしてきなさい [ >道中お気をつけて]）。かりゆしぬ たびゆー ひーったい（無事に帰ってきた）。 [変異] かりうし、かりうす、かりゆーす、かりゆす。

**かりゆす** [karijusi] 【名詞】航海安全、安全。

【例】うつなーんかい かりゆっさひー いき  
(沖縄に航海安全で行きなさい)。[変異] かりう  
し、かりうす、かりゆーす、かりゆし。

**がる** [garu] 【形容詞】[A] 軽い。【例】うぬき  
ゃが ふた一つからー ういがどう がるかい  
(この2つではこっちの方が軽い)。

**がるいす** [garuisi] 【名詞】軽石。【例】がるい  
すぬ ゆりっちゅー (軽石が流れてきている)。

**かん** [kan] 【動詞】[m 語幹] [A] 嗅ぐ。【例】  
かじゃう かん (臭いを嗅ぐ)。

**かん** [kan] 【動詞】[m 語幹] [C] 噛む。【例】か  
なーいや みどうんまい びきどうんまい か  
らっじゅぎゃー ゆっぐいどう うたい (昔は  
女性も男性も髪を結っていた)。あーゆ かみ  
ー んっちゅ たい (粟を噛んで神酒を作る)。  
むぬーぎゃー かみー ふあい (飯は噛んで食  
べなさい)。

**かん** [kan] 【名詞】[B] カニ。【例】すでい  
がん (脱皮したばかりのカニ)。ばたらがん (食  
用の中型の蟹)。ん°ぬがん (食用の渡り蟹)。っ  
さかん (食用の小型の蟹)。いびがんぬ んま  
さあいむぬー にゃーん (伊勢海老ほど美味し  
いものはない)。

**かん** [kan] 【名詞】[C] 理解力。【例】かんな  
にゃーんんまり (理解力が悪い奴)。からー  
すーがくぬ かんな にゃーん (あいつは数  
学の理解力がない)。

**かん** [kan] 【名詞】[B] 神。【例】かんかい て  
いーゆ かみー (神に祈る) [類] かんがなす。

**かんがい** [kangai] ① 【動詞】[母音語幹] 考え  
る。【例】まさぎん かんがいる (ちゃんと考  
えよ)。② 【名詞】考え。【例】まさぐぬ かん  
がいゆ むち (正しい考えを持つ)。

**かんがなす** [kanganasi] 【名詞】神様。【例】  
かんがなすんかいや ていーゆ かみだかー

ならん (神様には手を合わせないといけない  
[両手を開いて上に向け、頭の上まで上げる])。  
ゆが かんがいゆぎゃー むちゃん (間違った  
考えをもたない [ >持つな])

**かんぎ** [kangi] 【名詞】[B] とさか、たてがみ。  
【例】とういぬ かんぎ (鶏のとさか)。ぬー  
まぬ かんぎ (馬のたてがみ)。

**かんきり** [kanjiri] 【名詞】『遊』缶蹴り。

**がんく** [ganjku] 【形容詞】[B] 頑固だ、頑固な。  
【例】むぬいゆぎゃー つかん がんくんまり  
( (人の) 言うことを聞かない頑固な奴)。

**かんじゃーやー** [kanzaja:] 【名詞】鍛冶屋。  
[類] かつじゃ。

**がんじゅー** [ganzu:] 【形容詞】健康。【例】  
がんじゅーさー いつばん、つむかぎさまい  
いつばん、うむくとうまい いつばん (健康は  
一番、心情も一番、知恵も一番 [西原老人会の  
標語])。がんじゅーや ひー ゆー かないー  
ゆーんな (元気でよく頑張っているか)。

**かんすとうばかーい** [kansitubakai:] 【成  
句】(人が) 神となって人でなくなる、死ぬ。[ <  
「かん ひとう ばきゃーい (神と人が別れる)」  
昔ユタが唱えるときに使った]。

**かんだか** [kandaka] 【形容詞】霊力が高い、霊  
力が強い。【例】かんだか みどうん (霊力の  
強い女性)。

**かんだっちやる** [kandattcharu] ① 【連体詞】  
こんな。【例】かんだっちやる むぬ (こんな  
もの)。② 【連体詞】『歌語』このような (素晴  
らしい)。【例】きゅーぬ ゆーいや かんだっ  
ちやる むぬ、くまぬ くがにが ゆーいだ  
らよー (今日の祝いは素晴らしいものだ、こ  
この子供のお祝いだよ [[歌語]「きゅーぬほうか  
らしゃ」というお祝いの歌の一部に囃子として  
付け加える])

**かんだな** [kandana] 【名詞】神棚。

**かんつ ぱだ** [kantsi pada] 【名詞】ユークイのときに着る白い着物 [これを着ることで神になるとされ、死ぬときに一緒に持って行く]。

**がんな** [ganna] 【名詞】[C] 《植》メイシバ。

**かんな にゃーん つつ** [kanna njam tsitsi] 【成句】7月の別称、不浄の月 [御嶽では一年を春(びーずん)、神不在の7月(かんなにゃーん つつ)、秋(っさんし)の3つに分ける]。

**かんない** [kannai] 【名詞】雷。【例】いなびかいぬ あとうんどう かんないや ない(稲光の後に雷は鳴る)。

**がんない** [gannai] 【動詞】[r/rr 語幹](子供などが)駄々を捏ねる。【例】んまんかい すがりんきー がんない(母親にすがりついて駄々をこねる)。やらびゃー んまぬ あらんかい いでいっでいー あすていがー いつまい がんない(子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる)。うぬ やらびぬ がんなりー からー たるが むぬいゆまい つかん(この子が駄々をこねたら誰の言うことも聞かない)。

**かんないあみ** [kannaiami] 【名詞】雷雨。

**かんにがい** [kannigai] 【名詞】《祭礼》祈願、神への祈願。【例】かんにがい あーぐ(祈願する時の歌 [御嶽では歌を歌うことも祈願の一つである])。[類] にがい。

**かんぬゆー** [kannuju:] 【名詞】あの世。[類] かまぬゆー、かぬゆー。

**かんぱな** [kampana] 【名詞】神様の一番上(になること)。【例】かんぱな とうゆまさ(こ

この神様をもっと地位をあげよう [ウタキで歌う神歌の歌詞の一部：現代語なら「とうゆまはでい]])。

**かんびゅーい** [kambju:i] 【名詞】《祭礼》神事の名前、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる、「ほうびゅーい」と同じ。[類] ほうっびゅーい。

**かんびよー** [kambjo:] 【名詞】看病。【例】ういびとうぬ かんびよー あす(年寄りの看病をする)。

**かんびよー** [kambjo:] 【名詞】干瓢。【例】かんびよーじゅー((おかずとしての)干瓢)。

**かんふ** [kanfu] 【名詞】[B] 岩。【例】あみぬふーていがー かんふんどう あみがっふい あす(雨が降ったら岩(の穴)で雨宿りをする)。

**かんぶり** [kamburi] 【名詞】神のことで病むこと。【例】かんぶり びとうー まうゆ あきばどう なうい(神のことで病んでいる人は自分自身の守護神を持てば治る)。

**がんま** [gamma] 【オノマトペ】ゴツン。【例】まーまう がんまていー ふあーず(げんこつでゴツンとくらわす)。

**がんみつ** [gammitsi] 【動詞】[k 語幹] 大声を出して騒ぐ；(頭が痛くて)ガンガンする様子。【例】まーぬ がんみつな(あまり大声出して騒ぐな)。やどー がんみかひー ったつ(戸をドンドンと叩く)。かなまいぬどー がんみきー やみゅー(頭がガンガン痛む)。

**かんる** [kanru] 【名詞】[C] 寒露(サシバの飛んでくる季節、10月ごろ)。



# き

**き** [ki] 【助数詞】斤（重さの単位、600 g）、10より下は「きん」であらわす。【例】ずき（10斤）。にずき（21斤）。さずき（30斤）。しずき（40斤）。ぐずき（50斤）。ろくずき（60斤）。ななずき（70斤）。はちずき（80斤）。くずき（90斤）。ひゃっき（100斤）。しえんぎ（1000斤）。

**ぎ** [gi] 【接尾辞】形容詞の語幹について、そういう様子を持つという意味を表す、～そうだ、～そうなの；動詞基本形について、そうなりそうだという意味を表す、～そうだ、そうなの。【例】がばーぎ（大きそうなの）。ずみぎ（立派そうなの）。かぬ みどうんな んなま なつぎかい（あの女はいまにも泣きそうだ）。やらびやー んめ あいつぎふだ（こどもはもう歩きそうだ）。あみぬ んなま ふーぎむぬ（雨がいまにも降りそうだ）

**きー** [ki:] 【名詞】[B] 木。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどう（ミカンの木は枝が集っている）。きーから うりー（木から下りる）。きーんかい ぬーい（木に 登る）。

**きー** [ki:] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 切る；（使ったり、売れたりして）切れる、なくなる。【例】きーゆ きー（木を切る）。っざらひー うゆびやー きりどう あかっちゃ いだひーにやーん（鎌で指を切って血を出してしまった）。たばくー きりーにやーん（煙草は切れてしまった）。

**きー** [ki:] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 蹴る。【例】はずひー ぼーるー きり（足で蹴れ）。っさうきー（躓く [＜足を蹴る]）

**きー** [ki:] 【名詞】[B] 毛。【例】まゆぬ きー（猫の毛）。っふぎ（陰毛）。ぼっだき（脇毛）。

**ぎー** [gi:] 【名詞】[C] びり、最下位。【例】うんどーかいぬ はーきにやーんな いつまいぎー（運動会のかけっこにはいつも最下位だ）。

**きーがら** [ki:gara] 【名詞】毛深いこと。【例】きーがらびと（毛深い人）

**きーつきひだ** [ki:tsikihida] 【名詞】海辺で木を浸けて置いておくところ。【例】んきやーんな きーつきひだん きーや つきーからどうやーゆぎやー ふきゆーたい（昔は木浸けひだに木を浸けてから家の家を建てた）。

**きーどうるん** [ki:durun] 【名詞】鳥肌。【例】うとうるすかいば きーどうるんまい ひーどうー（怖いので鳥肌も立っている）。

**きーぬそうら** [ki:nusura] 【名詞】木の天辺。【例】かじゃー きーぬ そうらんど う ふつ（風は木の天辺に吹く [＞リーダーに庶民は文句を言う]）。

**きーぬない** [ki:nunai] 【名詞】果実、木の実。

**きーぬにー** [ki:nuni:] 【名詞】木の根、木の根元。【類】きーぬ ほうむと。

**きーぬみー** [ki:numi:] 【名詞】木々の中。

**きーぬみん** [ki:numin] 【名詞】茸（きのこ）。

**きーはず** [ki:hazi] 【名詞】《遊》竹馬。【例】ふゆん ないていがー やらびんみやー きー



ぱずん めーりー あそびー うたい (冬になると子供達は竹馬に乗って遊んでいた)。  
[変異] きーぱず。

**きーぱず** [ki:pazi] 【名詞】『遊』竹馬。 [変異] きーはず。

**きーふか** [ki:fuka] 【形容詞】毛深い。【例】きーふかびとう (毛深い人) [類] きーがら。

**きーむす** [ki:musi] 【名詞】毛虫。

**ききやーす** [kikja:si] 【動詞】[s/h 語幹] かき回す、掻き乱す。【例】うまぬ みっじゅ ききやーし (ここの水をかき回しなさい)。うむくとう にやーん ほりむぬぬ うぐなーいんかい はいりってい うまぬ うぐなーいや ききやーはいにやーん (思慮分別のない馬鹿者が集会に入ってきてそこの集会は掻き乱された)。  
[変異] きぎやーす。

**きぎやーす** [kigja:si] 【動詞】[s/h 語幹] かき回す、掻き乱す。 [変異] ききやーす。

**ききやーらす** [kikja:rasi] 【動詞】[s/h 語幹] かき回す、掻き乱す。【例】うまぬ みっじゅ ききやーらし (ここの水をかき回しなさい)。  
[類] ききやーす。

**きさ** [kisa] 【名詞】[C] 先ほど、すでに、さっき、とうに。【例】ばー あしやー きさ ふあい にやーん (私は朝ご飯はもう食べた)。きさ やらびやー がっこうかい はりーにやーん (さっき子供は学校に行った)。  
[類] きさから。

**きさから** [kisakara] 【副詞】先ほど、すでに、さっき、とうに [副詞としても使われる]。【例】むぬー きさから ふあいーにやん (飯はとくに食った)。  
[類] きさ。

**きざん** [kizan] 【動詞】[m 語幹] [C] 刻む。  
[変異] きじゃん。

**ぎしぐや** [giciguja] 【名詞】『貝』紫貝 (ムラサキガイ)。  
【例】っしん'んな ひー ぎしぐ

やまい とういったい (潮干狩りで紫貝も取って来た)。

**きじや** [kiza] 【名詞】[C] 精霊、神様;『人名』男性の名前の一つ。【例】さきぬ はなー きじやが たま (酒 (容器、ビン) の上部は精霊の分)。  
[類] きじやら。

**きじやい** [kizai] 【名詞】[B]『祭礼』祭事日、精霊の日。【例】きじやいんな むとうやーん きー そーかう あす (祭事には本家に行って焼香する)。きじやいんな うたきん うぐなーい (祭日には御嶽で集まる)。きじやいんな んまむぬぬどう いでいー (祭事には美味しいものがでる)。

**きじやら** [kizara] 【名詞】[C] 精霊、神様;『人名』男性の名前の一つ。【例】かっじやぬ きじやら (鍛冶屋のキジャラ)。  
[類] きじや。

**きじやん** [kizan] 【動詞】[m 語幹] [C] 刻む。  
【例】きじゃんたばく (刻みタバコ)。  
[変異] きざん。

**きじゆる** [kizuru] 【名詞】[C] 魚などの獲物が集まる場所。【例】きじゆるん あんぬ はい (魚の集まる場所に網を張る)。じょー かまぬ きじゆるんきー たくー とうらでい (さあ 向こうの獲物の多くとれる所に行ってタコをとろう)。

**きす** [kisi] 【名詞】[B] 海岸の岩陰。【例】かないぬ なりゆーば きすぬ すたん かっふあでい (雷がなっているので岩陰に隠れよう)。

**ぎず** [gizi] 【名詞】[C] 管理すること、言い聞かすこと。【例】やらびゆー ぎずあす (子供に言うことを聞かせる [＜子供を言い聞かせる])。ぎっじゃ ひらいん ぎずぎやうな やらび (手に負えない腕白坊主)。

**ぎずぎやうな** [gizigjauna] ① 【名詞】やんちや、やんちやな人。【例】ぎずぎやうなーひー そーじゃん みんたつづあー ったかいたい (やんちやして 兄にびんたを張られた)。

【類】ふしびや。◎【連体詞】言うことを聞かない。【例】ぎずぎやうな ならっしゃう やらび (言うことを聞かないどうしようもない子供)。

**ぎすぐや** [gisiguja] 【名詞】『貝』アコヤガイ、真珠貝とも言う。

**ぎすつ** [gisitsi] 【名詞】[C]『植』ススキ。【例】かややーぬ くびやー ぎすつぬ すずひどうちゅっふあいゆー (茅葺家の外壁はススキの茎で作られている)。ぎすつだむぬ (枯れたススキの薪)。

**きた** [kita] 【名詞】[B] 家の桁、柱と柱を繋いだ横材。【例】うやきやー きた どうどうみ (裕福は桁に留め置く)。やーぬ きた (家の桁)。

**きたあん** [kitaan] 【名詞】『道具』袖網 [漁網の両わきに、さらに補助的に取り付ける網]。【類】そうでいあん。

**きたてい** [kitati] ①【副詞】とても、特別に。【例】きたてい ゆながい (とても長い間)。きたてい はーさ (とてもたくさん)。きたてい うむくとうあい ひとつ (非常に頭の良い人)。きたてい あばらぎ みどうん (際立った美人)。つんだらさ、かりやー きたてい やんな たびりー すにーにやーん (かわいそうに、あいつは悪い病気にかかってしんでしまった)。◎【形容詞】[A] 際立った、変わった。【例】からー むいとう きたていかい (あいつはとても変わっている)。きたていんまり (変わった奴)。きたていむぬい ((自分達の言葉とは) 変わった言葉)。かいが ふっちゃ きたていふつ (彼は何を言い出すかわからない)。

**きたてい** [kitati] 【動詞】[母音語幹] [A] 他と区別する、取り立てる。【例】うりゆーぎやー きたている (それは別にとっておきなさい)。

**きだむぬ** [kidamunu] 【名詞】木の枝や幹の薪。【例】きだむぬー むーし (薪を燃やせ)。

**きちゆい** [kitçui] 【形容詞】[A] 脂身が多く食べ難いこと。【例】わーぬ あっづあー きちゆいかいば ならん (豚の脂身が多く食べ難い)。きちゆい むぬー はーさー ふあーいん (脂っこいたべものはたくさんは食べられない)。

**きちゆみ** [kitçumi] 【動詞】[母音語幹] [A] 決めつけて厳しくすること、しめつける。【例】あいや ひとつーぎやー きちゆみん (そんなふうになんか決めつけない [ > 決めつけてはいけない])。[変異] きつみ。

**きつぎ** [kitsigi] 【形容詞】[B] 綺麗な、美しい。【例】きつぎ みどうん (美しい女性)。

**きつきぎー** [kitsikigi:] 【名詞】『植』シャリンバイ。

**ぎっさ** [gissa] 【名詞】[C] シラミの卵。【例】っさんぬ とうぬかうぎやー ぎっさていどうあい (シラミの卵のことをギッサと言う)。ぎっさー あかぬ にーんどう あい (シラミの卵は髪の毛の根元にある)。

**ぎっじゃ ひらいん** [gizza hirain] 【成句】管理・言い聞かすことはできない、手に負えない。

**きっず** [kizzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A] (櫛で髪を) とく、(カンナなどで木を) 削る。【例】ふすひー あかう きっず (櫛で髪をとく)。きーゆ かなひー きっず (木を鉋で削る)。

**ぎったー** [gitta:] 【名詞】能力のない者、下の者。【例】すかまー ひらいん ぎったー (仕事のできない無能者)。[変異] げったー。

**ぎっふあにやーん** [giffanja:n] 【接尾辞】(動詞基本形について)～しそうにない。【例】まくがんな ちゅーかいば とうらいぎっふあにやーん (ヤシガニは力が強いので捕れそうにない)。ばた んていー んめ ふあーいぎっふあにやーん (お腹がいっぱいでもう食べられ

そうにない)。あみやー ふーぎっふあにやーん (雨は降りそうにない)。

**きつみ** [kitsimi] 【動詞】[母音語幹] [A] 決めて厳しくすること、しめつける。 [変異] きちゆみ。

**きつみ** [kitsimi] 【形容詞】[B] 厳格な、難しい。【例】やぐみ きつみ ひとつ (大変厳格な人)。

**きな** [kina] 【名詞】[C] しゃもじ。

**きない** [kinai] 【名詞】[B] 所帯、世帯、家庭、家内。【例】うやき きない (裕福な家庭)。かぬ みどうんな きない むつじゃうず (あの女性は家庭持ち上手 [>あの女性はやりくり上手])。

**きないかず** [kinaikazi] 【名詞】各家。【例】きゅーや やーかず きないかず うぐなーりー ふいーさまでい (今日は各戸、各家お集まりください)。ふた きない (二世帯)。

**きないむつじゃうず** [kinaimutsizauzi] 【名詞】家庭経営が上手 (な人)。

**きばす** [kibas] ①【名詞】[A] 貧乏なこと。 [類] きばん。②【形容詞】[A] 貧乏な、貧乏だ。 [類] きばん。

**きばすがい** [kibasigai] 【形容詞】貧乏で頼りにならない。【例】かりやー きばすがいかいば なうまいひらいん (彼は貧乏で頼りなく何もできない)。くぬ きばすがいぎんまり (この貧相野郎め)。

**きばすがりや** [kibasigarja] 【名詞】貧乏で頼りにならない奴。【例】かりやー きばすがりや やいば なうまいひらいん (彼は貧乏で頼りにならない奴だから何もできない)。

**きばすぎ** [kibasigi] 【形容詞】頼りなさそうな、貧乏そうな。

**きばん** [kiban] ①【名詞】[A] 貧乏、貧乏なこと。

【例】きばん きない (貧乏な家庭)。ばんちやー やらびあいきやー きばんどう あたい (私達は子供だった頃は貧乏だった)。[類] きばす。②【形容詞】[A] 貧乏な、貧乏だ。【例】きばんかいば つふあんみやー うむくとうまい あいそうが がっこうまい いだはいん (貧乏だから子供たちは頭も良いが学校も出せない)。[類] きばす。

**きばんさだます** [kibansadamasi] 【成句】貧乏性。【例】みどうんつうあー きばんさだまっさ ひー むとうやーから ひつん むぬー とういはい (娘は貧乏性で実家からいつも食べ物を持っていく)。かりやー きばんさだますんまり (あいつは貧乏性だ)。

**きばんすまがま** [kibansimagama] 【名詞】貧乏な村。

**きふなず** [kifunazi] 【名詞】『魚』岩穴の中にいる白いウナギ。【例】きふなずっじゃ なんとうが とうみらいん (岩穴の中にいる白いウナギは中々見つけれない)。

**きみつ** [kimitsiki] 【動詞】[母音語幹] 他人のことを先入観を持って決めつける。 [類] きみつつ。

**きみつ** [kimitsitsi] 【動詞】[k 語幹] 他人のことを先入観を持って決めつける。【例】あいや ひとつーぎやー きみつかん (そんなに人を先入観を持って見てはいけない)。[類] きみつき。

**きや** [kja] 【接辞】動詞基本形についてその動作をする時間を表す、(～し)たら、(～する)とき、(～の)ころ。【例】ゆながい うーぎー みーきやー みずぶくい ひーゆー (長時間泳いでいたら水でふやけた)。くぬ きかいや くまう うすきやー すぐ むゆつどうす (この機械はここを押すとすぐ動く)。ばー やらびあいきやー きばんどう あたい (私はこど

ものころ貧乏だった)。ばたぶにぬ ぶいきや  
たーひー ばらいーにやーん (お腹の骨が折れ  
るくらい笑った)。みーや にやーんきや ば  
らいーにやーん (沢山笑った (目がなくなるほ  
ど沢山笑った)。やらびぬ にっぐゆーきやん  
んーぬ かでいー くーでい (子供の寝てい  
る間に芋を掘って来よう)。

**ぎゃー** [gja:] 【助詞】(目的格について) 提題を  
表す。【例】ばー うりゆーぎゃー っしーど  
う (私はそれを知っている)。

**ぎゃー** [gja:] 【接尾辞】時間を表す名詞につい  
て概数を表す、～位、程。【例】くぬ てれば  
やー ほうだ いかねんぎゃー なりーどう  
(このテレビは約一ヶ年位はなっている)。

**きやーい** [kja:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 消え  
る。【例】うまっチャ きやーりーにやーん  
(火は消えた)。

**きやーぎ** [kja:gi] 【名詞】[A] 〔植〕イヌマキ。  
【例】きやーぎぬ ないや ふあーいどうす (イ  
ヌマキの実は食べられる)。

**きやーす** [kja:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 消す。  
【例】うまっちゆ きやーす (火を消す)。

**きやーん** [kja:n] 【名詞】[C] 〔植〕蔓 (カズラ)  
[ビラフ (籠)、綱引き大会用の綱、およびユウ  
クイの時ウンマたちが「よーんてる・ゆーん  
ている」と唱えながら、ナナムイの御嶽を回っ  
て祈願する時に顔を覆うためにかぶる鬘 (かつ  
ら) の材料]。【例】きやーんひー ん<sup>ん</sup>なう  
なう (蔓草で綱を綱う)。

**きやうだい** [kjaudai] 【名詞】兄弟、姉妹。  
【例】ばぬんな きやうだいや にやーん (私  
にはきょうだいはない [兄弟、姉妹どちらも指  
す])。ばぬんな びきどうんきやうだいや ふ  
たーい みどうんきやうだいや みちやーい  
うり (私には男のきょうだいが二人、女のきよ  
うだいが三人いる)。

**きゆー** [kju:] 【助数詞】家を数える助数詞、軒。  
【例】ひとつ きゆー (一軒)。ふたきゆー (二  
軒)。

**きゆー** [kju:] 【名詞】[B] 今日。【例】きゆ  
ーや とうんでいさうがつ (今日は冬至正月だ  
[冬至正月は正月は12月20日ごろ行われる  
冬至の祝い、現在は干支を同じくする人たちの  
同期会のようになっている])。きゆーがーまー  
す (今日一日中)。きゆーや きゆー あちゃ  
ー あちゃ やいば きゆー あすがまたぬ  
くとうーぎゃー きゆーひー ひつなすばどう  
じゃうかい (今日は今日、明日は明日だから  
今日やるべきことは今日で片付けた方が良い)。  
きゆーどう きゆー んなまどう んなまだら  
(今こそやるべき時だ、今すぐに実行しよう)。

**きゆー** [kju:] 【形容詞】[B] 煙たい。 [類] き  
ゆーす。

**きゆーす** [kju:si] ①【名詞】[B] 煙。【例】か  
うぬ きゆーす (線香の煙) ②【形容詞】[A]  
煙たい。【例】たばくー ふきゆー ひとつぬ  
ういば きゆーすかいば ならん (タバコを  
吸っている人がいるので煙たくてしかたない)。  
[類] きゆー。

**きらす** [kirasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (品物な  
どの買い置きを) なくす。【例】たばくー き  
らひーにやーん (煙草を切らした)。

**ぎり** [giri] 【名詞】[B] 義理。【例】ぎりじゆ  
ー びとう (義理堅い人)。

**きん** [kin] 【助数詞】斤 (重さの単位、600 g)、  
10以上は [ずき (10斤)、ひゃっき (10  
0斤)] のように「き」で表す。【例】いっき  
ん (1斤)。ぐきん (6斤)。ろっきん (7斤)。な  
なきん (8斤)。つくぬきん (9斤) [類] き。

**きんだてい** [kindati] 【名詞】安全祈願 [建  
築着工時に糸を張り柱等の位置を定める]。  
【例】きんだちやーひー やーぬ ほういさ、

はらう んじゃん うつつが にだます (糸を張って家の大きさ、柱をどこに置くか決める)。

**きんちゃく** [kintɕaku] 【名詞】袋状の財布で上を縛る、巾着。

**ぎんとうどう** [gintudu] 【副詞】本当に、もしも。【例】ぎんとうどう つづあが うるーひーやーていがー つづあうぎゃー んがーはん (もしもあなたがそれをやったとしたらあなたを逃さない [>許さない])。

**きんぴ** [kimpi] 【名詞】[C] 化学肥料。【例】ほうつづあいぬどう きんぴんつきゃー じゃうかい (馬小屋、牛小屋等から出た肥料の方が化学肥料より良い)。ぶーずんかい きんぴゅー ふいー (サトウキビに化学肥料を蒔く)。

**きんみ** [kimmi] 【名詞】[B] 目方、重さ。【例】うぬ つぞうぬ きんみゅー はかりーみーる (その魚の重さを測ってみなさい)。

# く

- くー [ku:] 【助数詞】ものを数える助数詞、個。【例】ひとつ くー (一個)。ふた くー (二個)。
- くー [ku:] 【動詞】[w 語幹] [C] 乞う。【例】むぬー くーいー ふあう (飯をめぐんでもらって食べる)。むぬ にゃーんば むぬ くーいが (食べ物がないので食べ物を乞いにいく)
- くー [ku:] 【名詞】[B] 腰 [普通 「くーまがい」「くーぶい」などと使い、腰を単独で指す場合は「くす」を使う]。【例】くーぶい ういびとう (腰の折れた年寄り)。ういびとうないていがー くーや まがりー んじゃうなむぬ (年寄りになったら腰が曲がって残念だ)。  
[類] くす。
- くー [ku:] 【名詞】[B] 粉。【例】めりけんぐー (メリケン粉)。かまぬ くーゆ むちーくー (あそこの (メリケン) 粉をもってこい)。
- くー [ku:] 【名詞】[C] 昆布。【例】くーじゅー (おかずとしての昆布)。
- くー [ku:] 【名詞】[C] 着物などの破れたところを繕うこと、植え直すこと。【例】つんぬ くー あす (衣類の穴のあいているところを修繕する)。くーずん (継ぎ接ぎした着物)。ぶーずぬ くー あす (サトウキビの生えていないところに植え直す)。なうぬ くーががら っさいん (何を繕ったか分からない [>何のことだか分からない])。
- くー [ku:] 【形容詞】[B] 苦しい。【例】ばーやまだっちゃひー くーかいばならん (私は下痢して苦しくてならない)。あいぬ くー かまらす ゆーゆぎゃー ふあーん (こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない [<生きない])。
- ぐー [gu:] 【名詞】[C] 囲碁。【例】ひとつむていから ぐーゆ あす (朝から囲碁をする)。
- ぐー [gu:] 【名詞】[C] 仲良し、似た者同士。【例】うぬきゃが ふたーいや いつまい ぐー (その二人はいつも仲良しだ)。
- ぐー [gu:] 【名詞】[C] 固い岩。【例】ぷか ぐーゆ ばい (固い岩を割る)。
- くーい [ku:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (木の枝などが) 十分成長する、(人が) 大人びる。【例】ぶっーじゃ んめ くーりー ぶい ずぶん なりーどう (サトウキビはもう熟して収穫する時期にきている)。きーや くーらだかー ないや いでいん (木は成熟しないと実はでない)。くーいびゃー やらび (成長の速い子)。うぬみどうんやらびゃー くーりーどうー (あの女の子はもう大人びてきた)。
- くーい [ku:i] 【名詞】[C] 小さな物置 (<くり)。【例】うつばらぬ くーい (奥の小部屋の物置)。
- くーさ [ku:sa] 【名詞】[C] 苦しさ、困窮。
- くーさぬ だい [ku:sanu dai] 【成句】苦しきの代償。【例】ていまーぬ あてい やすだいかいば くーさぬ だいや にゃーん (手間賃が余りにも安いので疲れの代償にならない)。

- くーす [ku:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (大きな木の根や石などを) 掘り起こす。【例】ながうっちゃひー いっそう くーす (つるはしで石を掘り出す)。うぬ きーぬ にーゆー くーはでいな (この木の根を掘り起こすよ [「一緒に掘り起こそうか、お前は掘り起こそうとしているのか」の解釈も可])。
- くーす [ku:si] 【名詞】[B] 唐辛子。【変異】くーそう。
- くーすきや [ku:sikja] 【名詞】『魚』メガネクロハギ、ナミダクロハギ。【例】くーすきやー あうさり むぬ (メガネクロハギは 生臭い)。
- くーすみや [ku:simja] 【名詞】『生物』『食』甲イカ、こぶじめ。【変異】くーすみや。
- くーすふあや [ku:sifaja] 【名詞】『生物』木登りトカゲ。【変異】くーそうふあや。
- くーずん [ku:zin] 【名詞】破れた箇所を繕った着物。
- くーそう [ku:su] 【名詞】[B] 唐辛子。【例】やぐみ からぐーそう (とても辛い唐辛子)。【変異】くーす。
- くーそうふあや [ku:sufaja] 【名詞】『生物』木登りトカゲ。【例】ばなひー くーそうふあやう ふんず (罌で木登りトカゲを捕まえる [く縛る])。【変異】くーすふあや。
- くーた [ku:ta] 【名詞】[C] 『魚』箱フグ。【例】くーたがまー ふあーいどうー (箱ふぐは食べられる)。くーたがまー だみやすむぬ (ハコフグは突きやすい)。
- くーた [ku:ta] 【形容詞】[C] (味が) とても濃い。【例】くらー あずー くーたかいばー ふあーいん (これは味が濃すぎて食べられない)。うらー あずーくーたひー んまい (これは味が濃くておいしい)。うぬ わーにむんな まーぬ くーたつふあにやーだ んまい (この豚肉の煮物はあまり味が濃くなくてうまい)。
- ぐーにや [gu:nja] 【名詞】[C] 蛾の一種、沖繩クロホージャク (スズメ蛾科) [外敵に見つからないようにホバーリングしながら花の蜜を吸う大型の蛾]。【例】まずむぬぬー ぐーにやんなりー ひがっりー っちゅーい (幽霊が蛾になって化けてでてきた)。ぐーにやぬー どうびー うい (蛾が飛んでいる)。【類】あんぐーにや。
- ぐーはん [gu:han] 【名詞】左右反対。【例】うぬ やらびぬー くつぬー ん<sup>ん</sup>かたー ぐーはん (その子の靴の履き方は左右反対だ)。
- くーぶに [ku:buni] 【名詞】腰骨。【例】ういびとうー なりどうー くーぶにまいー まがりーゆー (年取って腰骨も曲がっている)。
- ぐーみつ [gu:mitsi] 【動詞】[k 語幹] つまらないことを言う。【例】まーぬー ぐーみつな (あまり馬鹿なことを言うな)。
- くーむや [ku:muja] 【名詞】室内にいる小さい蜘蛛。【例】くーむやぬー すー (蜘蛛の巣)。【類】ん<sup>ん</sup>む。
- くーる [ku:ru] 【名詞】[C] 『遊』独楽 (こま)、手製の独楽。
- くーわー [ku:wa:] 【名詞】昆布。【類】くー。
- くい [kui] 【動詞】[母音語幹] [C] (ものを) 乞う。【類】くー。
- くい [kui] 【名詞】[A] 近くにあるもの、人を指す、これ、こいつ、この人 [提題形は「くらー」「くりゃー」、目的格形は「くりゅー」「くるー」]。【例】ういとうー くい (それとこれ)。【類】うい。
- くい [kui] 【名詞】[C] 声。【例】がばー ぐいゆー いだし (大きな声を出せ)。くいばーき (声を限りに)。ほうぐい (大声)。やぐい (大声)。いみぐいがま (小声)。ぱーがー いがんぐ

- いゆ つふ (おばあさんの遺言を聞く)。かりぐい (かれた声)。なつぐい (泣き声)。
- くい** [kui] 【動詞】[母音語幹] [A] (溝などを) 超える、年末から年始になること (年越し)。【例】うまぬ ふぐんぬ またぎー くい (この溝を跨いで越えろ)。とうっそう くい (年を越す)。
- くいがーい** [kuigai:i] 【名詞】声変わり。【例】やらびゃー くいがーいや ひーどー (子供は変声している)。
- くいちゃー** [kuitɕa:] 【名詞】宮古の伝統踊り。
- くがい** [kugai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (思い) 焦がれる、疲れる。【例】うむいくがい (思い焦がれる)。きゅーや だり くがりーどー (今日は疲労困憊だ)。
- くがい** [kugai] 【名詞】[C] 焦がれること。【例】つむくがい (心が焦がれること)。みどーんぬ くどー あてい うむいくがりゃー ひーゆー (彼女のことを思い焦がれている)。
- くがに** [kugani] 【名詞】[A] 黄金、(大切なものとしての) 子供。
- くぐとう** [kugutu] 【名詞】[A] 小言。【例】まーぬ くぐとうがまー あいな (あまり小言を言うな)。
- くさーん** [kusa:n] 【副詞】(裏表) 逆に、裏返しに。【例】つんぬ くさーん つー (着物を裏返しに着る)。
- くさか** [kusaka] 【名詞】[C] これだけ。[変異] ふさか。[類] くさき。
- くさき** [kusaki] 【名詞】[C] これだけ。【例】たやー くさきていー いりー (力をこれだけと入れる [>思い切り入れる])。っうあが たまー くさき (あなたの取り分はこれだけだ)。[変異] ふさき。[類] くさか。
- くさんみ** [kusammi] 【名詞】背中。
- ぐしや** [guɕa] 【オノマトペ】砂や土を掘る音。【例】んぶらひー ぐしやぐしやていー しなう つふ (芋掘り棒でグシャグシャと貝をつく [>取る])。
- くじゃしつ** [kuɕaɕitsi] 【名詞】一番座 (床の間、客間)。【例】しーしーゆぎゃー くじゃしつんかい とうむーし (先生を一番座にお通ししなさい)。[変異] くじゃひつ。
- くじゃひつ** [kuɕahitsi] 【名詞】一番座 (床の間、客間)。[変異] くじゃしつ。
- くしゃん** [kuɕan] 【名詞】[A] くしゃみ。【例】かじゃー ひきどー くしゃんぬ ひーゆー (風邪引いてくしゃみしている)。
- ぐしゃん** [guɕan] 【名詞】[C] 杖。【例】ういびどー ぐしゃんな つきー んちちゆ あいつ (老人は杖をついて道を歩く)。うーんまー さつんなりー ぐしゃんな ぐしやぐしやていー つふっちやーん あいきゅー (ウーんマは先頭になって杖をグシャグシャとつきながら歩いていた)。[類] でいー。
- くじゆ** [kuzu] 【名詞】[B] 去年。【例】うらー くじゆぬ はなす (それは去年の話)。
- くす** [kusi] 【動詞】[s 語幹] [A] こす、ろ過する。【例】んーくっじゆ くす (芋くずをこす)。
- くす** [kusi] 【名詞】[B] 腰、後押し。【例】ういびどー ないていがー くっさ まがりー んじゃうなむぬ (年を取ると腰は曲がって残念だ)。くすぶい ういびどー (腰の曲がった年寄り)。にんぎんな くすぬ あいぼどー じゃうかい (人間は後押しがあった方がよい)。にんぎんぬ すぐいや くすまいどー あい (人間が出世するのは後押しもある)。[類] くー。
- くず** [kuzi] 【名詞】[C] ものが散らかっている様子。【例】あいだりくず



- くず** [kuzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 漕ぐ；生活する。【例】ふにゆー くず（舟を漕ぐ）。うまぬ きないや やっとうがまどう くぎゆーはず（その家庭はやっこのことで生活しているはずだ）。
- くずあに** [kuziani] 【名詞】子守姉。【類】むらに。
- くすぐー** [kusigu:] 【名詞】腰。【類】くす。
- くすぶに** [kusibuni] 【名詞】腰骨。
- くたんでい** [kutandi] 【名詞】苦しんでいること。【例】さきくたんでい（二日酔い）。かりやー ゆび あてい さきぬんな ひどう さきくたんじゃー ひどう くたんじゅーい（彼は昨晚酒飲み過ぎて二日酔いして苦しんでいる）。
- くつ** [kutsi] 【名詞】[C]（死人の）骨、お骨。【例】くつあらい（洗骨）。くつあぎ（お骨上げ）。
- くつづあ** [kuvva] 【名詞】[B] ふくらはぎ、こむら。【例】くつづあ あがいや ひどう くつづあー いちやかいば ならん（こむらがえりしてふくらはぎが痛くてしかたがない）。ばかむぬぬ くつづあ ばずみーどうーい（若者のふくらはぎは膨らんでいる）。
- くつづあ あがい** [kuvva agai] 【成句】[r/rr 語幹] こむら返りする。【例】ゆび につづゆーきやー くつづあ あがりー いちやかいばんびやーいっだん（夕べ寝ていたら、こむら返りして痛くてたまらなかった）。
- くつづあがい** [kuvvagai] 【名詞】ふくらはぎの痙攣、こむら返り。【例】くつづあがいや いちやむぬ（こむら返りは痛い）。
- ぐつづあんなりー** [guvvannari:] 【成句】ぶんぶんと羽音をたてる。【例】っさりっぞうんな はいぬどう ぐつづあんなりー たかりゆー（腐った魚には蠅がぶんぶんと羽音をたてて集っている）。【類】がつづあん なりー。
- くっじゃす** [kuzzasi] 【動詞】[s/h 語幹] 苦勞させる、難儀させる。【例】あいや ひとつーぎやー くっじゃはん（そんなには人を苦勞させない [＞苦勞させてはいけない]）。
- くっず** [kuzzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [C] 苦勞する、難儀する。【例】ばー でいんな すていー むいとう くっじーにやーん（私はお金を落としてとても難儀した）。【類】くっでい。
- くっそう たでいー** [kussu tadi:] 【成句】楽な姿勢を取るために柱などに腰を当てて寄りかかる。【例】ばー くすぬ いちやかいばうまん くっさ たでいー びじゃでい（私は腰が痛いのでそこに腰を当てて寄りかかって座ろう）。くっそう はらんかい たでいー（腰を家の柱に当てる）。
- くっでい** [kuddi] 【動詞】[母音語幹] [C] 苦勞する、難儀する。【類】くっず。
- くでい** [kudi] 【名詞】[C] 黒ずんでいること。【例】ばが ていーや あてい すかまー ひーどう くでいん なりゆー（私の手は仕事をやり過ぎて黒ずんでいる）。
- ぐでいんぶー** [gudimbu:] 【名詞】御前風（お祝いの時に歌う歌）。
- くとう** [kutu] 【名詞】[C] 《形式名詞》こと。【例】なうぐとうまい にやーん（何事もない）。きよーとんかいや いきやーくとうー にやーん（京都にはいったことはない）。あいぬ くとうぎやー ばー っさん（そんなことはわたしは知らない）。
- くとうす** [kutusi] 【名詞】[A] 今年。【例】くとうすき ゆがほうー（今年は豊年だ）。
- ぐどうん** [gudun] 【名詞】[B] 愚鈍、バカ。
- ぐな** [guna] 【接尾辞】～担当、～役割。【例】つづぐな（聞き役）。むぬいぐな（話役）。つぞとういぐな（魚とり役）。いんぐな（海に行つて魚をとる係り）。むぬにーぐな（食事を炊く係り）。

- くなぎ** [kunagi] 【名詞】[C] これくらいの（短い）長さ。〔変異〕くぬぎ。
- くなす** [kunasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 仕事を処理する、こなす。【例】すかまう くなす（仕事をこなす）。
- ぐに** [guni] 【動詞】[母音語幹] [C] 文句を並べ立てる、ごねる；（駄々を）こねる。【例】すかまー ひらいん なっちゃかんまりゃーんばていど ぐにゅー（仕事のできない奴は嫌だどごねている）。あいや ぐにーな（そんなに文句を言うな）。〔類〕ぐにゃい。
- ぐにゃい** [gunjai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 文句を並べ立てる、ごねる；（駄々を）こねる。【例】くぬ やらびぬ んまんかい ぐにゃいきゃー ぎっじゃ ひらいん（この子が母親に駄々をこねると手が付けられない）。〔類〕ぐに。
- くぬい** [kunui] 【名詞】[C] 最近。【例】くぬいや っづあー まーぬ みーらいったん いー（最近はある余り会えなかったねえー）。くぬいや みーや むーっでいー しんぶんまいゆまいん（最近は目がかすんで新聞も読めない）。
- くぬぎ** [kunugi] 【名詞】[C] これくらいの（短い）長さ。〔変異〕くなぎ。
- くぬきや** [kunukja] 【名詞】[C] この人たち。【例】くぬきゃー やぐみ うむくとう あいひとうんみ（この人たちはとても頭がいい人たちです）。〔類〕くぬきゃた。
- くぬきゃた** [kunukjata] 【名詞】この人たち。【例】くぬきゃたー ひとうーぎゃー まつぎぬ すたからどう みー（この人たちは他人をまつ毛の下から見る〔>見下している〕）。〔類〕くぬきゃ。
- くぬちや** [kunutça] 【名詞】[C] こちら側。【例】かぬちやうぎゃー みーだ くぬちやうみーる（向こう側を見ないでこちら側を見なさい）。
- くば** [kuba] 【名詞】[B] 〔植〕クバ、檳榔（ピロウ）。【例】くばずー（クバで作った釣瓶）。くばがさ（クバ傘）。くばぎー（クバの木）。
- くぱ** [kupa] 【形容詞】[B] 固い。【例】くぱいす（固い石）。くぬ かーっさ くぱかいばかまいん（この菓子はかたいから噛めない）。
- くばい** [kubai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 配る。【例】かーっそう くばい（菓子を配る）。
- くぱい** [kupai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（寒さなどで体が）硬くなる。【例】どうーや くぱりーどうー（身体が硬くなっている）。っしかいば ていーまい くぱりーどうー（寒いので手も凍えている）。
- くばずー** [kubazi:] 【名詞】釣瓶（つるべ）。【例】うむ くばずーぬ ん°なー まるかいはみっじゃ ん°まいん（このつるべの縄は短いので水が汲めない）。くばずーひー みっじゅ ん°ん（釣瓶で水を汲む）。
- くぱん** [kupan] 【名詞】[C] 〔祭礼〕御嶽で使われる言葉で「塩」を意味する。
- くび** [kubi] 【名詞】[B] 壁。【例】かややーぬくび（茅葺家の壁）。
- くび** [kubi] 【動詞】[母音語幹] [A] 縊（くび）る、しばる。【例】ひんじゃぬ はっじゅん°なひー くびー（ヤギの足を綱でしばる）。
- くび°** [kupi] 【名詞】[B] 小さいゴミ。【例】ふとんぬ くび（布団から出るゴミ）。
- くびん** [kupin] 【名詞】[C] 瓶。【例】さきくびん（酒瓶）。
- くぶー** [kubu:] 【名詞】[B] 締め切ること、また締め切られたところ。【例】うまぬ やどうー くぶーあっそう（ここの戸を閉め切りなさ

い)。ぶじゃがまー いつまい うつばらぬ  
くぶーがまんどろ にっづいーうい (おじさん  
は締め切られた奥の小さな部屋に寝ている)。

**くぶすみや** [kubusimja] 【名詞】『生物』『食』  
甲イカ、こぶじめ。【例】くぶすみやう つふ  
(甲イカを突く)。くぶすみやー ふゆんどろ  
ゆー とうらいー (甲イカは冬に良くとれる)。

**くま** [kuma] 【名詞】[C] ここ。【例】うま  
くま (あちこち)。かま くま (あちこち)。あ  
ま くま (あちこち)。くまんかい ってい  
びじ (ここにきて座れ)。

**くま** [kuma] 【形容詞】[B] (石や砂などが) 細  
かい、(織が) 細かい; (お金が) 細かい; (仕  
事が) 丁寧だ、丁寧な。【例】つうあー くま  
かい むぬー とうい (お前は小さいほうを取  
れ)。かいがどう くまかい (これが小さい)。  
くぬ いちまんえんぬ くまふ あっそう (こ  
の2万円をくずしてくれ)。みやーく じょうふ  
ー くま ぬぬ (宮古上布は織りの細かい布)。  
くまでいん (小銭)。うぬ さやふぬ すかま  
ー やぐみ くま すかま (あの大工の仕事は  
とても丁寧だ)。[変異] ぐま。

**ぐま** [guma] 【形容詞】[B] (石や砂などが) 細  
かい、(織が) 細かい; (お金が) 細かい。[変  
異] くま。

**くまい** [kumai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 籠る、  
閉じこもる。【例】まーぬ やーぬ なかん  
くまいな (あまり家の中に閉じこもるな)。や  
ーぐまい (家に閉じこもる)。ゆーぐまい (夜籠  
り [ >ウタキで夜を過ごすこと])。

**くまい** [kumai] 【名詞】[C] 籠ること。[変異]  
くむい。

**くまかた** [kumakata] 【名詞】こちら側、こち  
らの方。【例】かまかたうぎやー みーだ く  
まかたう みーる (向こうの方を見ないでこち  
らの方を見なさい)。

**ぐまずー** [gumazi:] 【名詞】細かく切ること、  
細切れ、たたきにすること。【例】っぞうーぎ  
やー ぐまずー あっそう (魚を細かく切りな  
さい)。

**ぐまたん** [gumatan] 【副詞】細かく、小さく。  
[類] ぐまみん。

**くまづかい** [kumazikai] 【名詞】お使い。【例】  
やらびゆー くまづかい あすみ (子供をお使  
いさせる)。

**くまでいー** [kumadi:] 【名詞】大工仕事等で  
手が細かい人、技術力のある人。【例】くまで  
いー じゃう さやふ (腕のいい大工)。[類]  
ぐまでいー。

**ぐまみ** [gumami] 【名詞】[B] 粉々。【例】い  
っさ ぱりー ぐまみん なす (石を割って粉  
々にする)。

**ぐまみん** [gumamin] 【副詞】細かく、小さく。  
【例】ぐまみん なしる (こなごなにしなさい)。  
[類] ぐまたん。

**くまやき** [kumajaki] 【形容詞】儉約な、几帳  
面な。【例】かりやー くまやき みどうん  
やいば きない むつじゃうず (彼女は儉約な  
女性だから家計をみるのが上手)。くまやき  
びとう (儉約な人)。

**くみ** [kumi] 【動詞】[母音語幹] [C] 入れる、込  
める。【例】あなんかい きーゆ くみー (穴  
に木を押し込める)。ばふ うっさ つーび と  
うきゃんな ばふていー まらう くみー (種  
牛は交尾するときにはずぼっとマラを入れる)。

**くみ** [kumi] 【名詞】[B] 米。【例】くみだーら  
(米俵)。[類] まい。

**ぐむ** [gumu] 【名詞】[B] ゴム。【例】かーき  
だくー ぐむぬ んまりやーひー ひつにかい  
ば ならん (燻製のタコはゴムのようにかたく  
てしかたがない)。

**くむい** [kumui] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 籠る。  
[変異] くまい。

**くむい** [kumui] 【名詞】[C] 籠ること。【例】  
うたきんぬ ゆーぐむいぬ かんにかい (御嶽  
での夜籠りの祈願)。  
[変異] くまい。

**ぐむかん** [gumukan] 【名詞】『遊』ぱちんこ  
(子供のおもちゃの一つ)。【例】ぐむかんひー  
っふあどうりやう あていー (パチンコで雀  
を当てる)。

**くや** [kuja] 【感動詞】ほら。【例】くや くや  
(ほら、ほら)。

**くゆび** [kujubi] 【名詞】[C] 小指。

**くゆん** [kujun] 【名詞】[B] 曆。

**くらす** [kurasu] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 殺す；  
懲らしめる。【例】さうがつか わーゆ くらす  
(正月用の豚を屠る)。むぬいゆぎやー つかん  
やらびゆーぎやー くらし (言うことを聞か  
ない子供は懲らしめなさい)。んぬつぬ ふか  
っでいー あすきや、いつぬ にーぬ ふか  
っでいー あすきや くらはいたい (命がなくな  
るほど、息の根が止まるほど懲らしめられた)。

**くり** [kuri] 【動詞】[母音語幹] [A] (お金を) 両  
替する。【例】でいんぐり (両替)。でいんな  
くりー つかーでい (お金を両替して使おう)。  
でいんな くりー やらびんみんかい おとし  
だま ふいーでい (お金を両替して子供達にお  
年玉をあげよう)。

**ぐり** [guri] 【接辞】(動詞基本形について)「～し  
にくい」、「～しがたい」という形容詞語幹を作  
る。【例】くぬ きかいかい や あつかいぐり (こ  
の機械は扱い難い)。あいぐりむぬ (言いに  
くい)。ふあうぐりかいはばならん (食べにくくて  
仕方がない)。

**ぐりし** [guriçi] 【名詞】[C] (1センチから2セ  
ンチぐらいまでの) 小石。[変異] ぐりす。

**ぐりす** [gurisi] 【名詞】[C] (1センチから2セ  
ンチぐらいまでの) 小石。【例】はいぬ ぐり  
っそう っそういー すていでい (畑の小石を  
拾って捨てよう)。  
[変異] ぐりし。

**ぐる** [guru] 【名詞】[C] 粟、高黍 (コーリヤン)  
等の枯れた茎、枯れた芋蔓。【例】ほうぎやん  
ぐる (高黍の枯れた茎)。んーぎーぐる (芋蔓の  
枯れたもの)。ぶーずぐる (枯れたサトウキビ  
の茎)。

**くるぎや** [kurukja] 【名詞】[C] 『魚』ヒレナ  
ガスズメダイ。

**ぐるくん** [gurukun] 【名詞】『魚』グルクン、タ  
カサゴ。[類] ぶるくん。

**くるず** [kuruzi] 【名詞】[C] 鍋の底にこびりつ  
いた食べ物。

**ぐるったー** [gurutta:] 【名詞】ごろつき、なら  
ず者。【例】かりやー ひとうだます ぐる  
ったー (あいつは人をだますごろつきだ)。

**くるぶす** [kurubusi] 【名詞】踝 (くるぶし)。

**くるまう むつ** [kurumau mutsi] 【動詞成  
句】[c/t 語幹] 車を運転する；車を所有するこ  
と。【例】ばー きゅーや くるまー むてい  
ー っさらんかい (私は今日は車を運転して平  
良に(行く))。からー んなーぎやー くるま  
ー むちゃー うらん (彼はまだ車を持って  
いない)。

**ぐるみつ** [gurumitsi] 【動詞】[k 語幹] 目が回  
る。【例】みーぬどう ぐるみきー まーりゆ  
ー (目がグルグルと回っている)。

**くろんぼー** [kurombo:] 【名詞】『蔑称』黒人。

**くん** [kun] 【動詞】[m 語幹] [C] 夜ごもりする。  
【例】うたきんな ゆーや くみー かんぬ  
にかう (ウタキでは夜ごもりして神に祈る [ <  
夜を籠って神を願う])。

**ぐん** [gun] 【名詞】[C] 『魚』ムッル (ムロアジ)  
が大きくなったもの。【例】ぐんぬどう ほう

んみん なりー っちゅーい (むろあじが大群で来ている)。

**くんきゃ** [kunjka] 【名詞】[C] 〔蔑称〕ライ病患者。〔類〕くんちゃー、あいたー。

**くんじゃう** [kunjau] 【名詞】(悪い) 性格。  
【例】かりゃー くんじゃうや あたらん (あいつは性格がよくない)。やなくんじゃうひとつ (性格の悪い人)。

**くんず** [kunzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 背負う。  
【例】っふぁう くんず (子供を背負う)。

**くんつ** [kuntsi] 【名詞】[B] 根気、元気。【例】  
くんっちゃ にゃーんんまり (元気のない奴)。  
んまむぬー ふぁいー くんっちゃ つきーど  
うーい (美味しいものを食べて体力がついている)。  
くんつじゅー びとう (根気強い人)。  
くんつまき (根負け)。

**くんつき** [kuntsiki] ① 【動詞】[母音語幹] (人や動物を) 押さえつける。【例】ひんじゃう  
くんつきる (山羊を押さえつける)。② 【動詞】  
[母音語幹] (子供などが) しがみつく。【例】や

らびゃー くんつきー はなりん (子供はしがみついて離れない)。

**くんぱい** [kumpai] 【動詞】[r/rr 語幹] (後ろに下がったり、前に引っ張られないように) 踏ん張る; (仕事や作業などを) 頑張る。【例】ん<sup>°</sup>なひつんな わいていー くんぱい (綱引きでは一生懸命に踏ん張る)。あてい くんぱりゃー ひー むいだり (頑張りすぎて疲れた)。  
くんぱりー ぶーっじゅ かたん (頑張ってサトウキビを担ぐ)。

**ぐんぼう** [gumbau] 【名詞】ごぼう。

**くんぱにー** [kumpani:] 【名詞】とても親しい友人。【例】かにとう まさいや くんぱにー (カニとマサイはとても親しい友人だ)。

**くんぱらす** [kumparasi] 【動詞】[s/h 語幹] (後ろに下がったり、前に引っ張られないように) 踏ん張らせる; 頑張らせる。【例】あちゃぬ  
ん<sup>°</sup>なひつんな んーなう わいていー くん  
ぱらし (明日の綱引きではみんなをしっかりと踏ん張らせる)。

# け

**けー** [ke:] 【名詞】[B] おびえること。【例】や  
らびやー んめ うどうるきー けーん なり  
ーどろー (子供はもう驚いておびえている)。

**けーさん** [ke:san] 【名詞】計算。【例】から  
ー けいさんじゅー (あいつは計算高い)。け  
ーさんばっばい あす (計算間違いをする)。

**けーひ** [ke:hi] 【名詞】[C] 経費。【例】やー  
ふっちゃ けーひじゅー (家を作るのは経費が  
かかり過ぎる)。

**げったー** [getta:] 【名詞】能力のない者、下の

者。 [変異] ぎったー。

**けんけんぱー** [kenkempa:] 【名詞】『遊』片  
足飛びの遊び。【例】だいしゃーひー けん  
けんぱーや ひー かーらー きりー あそ  
ー (片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊び  
をして遊ぶ)。

**げんのー** [genno:] 【名詞】金槌。【例】かに  
ふっじゅ うんかっでいー ひーはっじゃきー  
げんのーひー うなが うゆびゅー つつき  
ーにゃーん (釘を打とうとして打ち損じて金槌  
で自分の手を打ってしまった)。



# こ

**こーたい** [ko:tai] 【名詞】交代、交替。【例】

じょ すかまう こーたい ほうでい（仕事を交替しよう）。

**こーどうい** [ko:dui] 【名詞】フクロウ。【例】

ゆなか こーどういぬ こーこーてい なつ

（夜中フクロウがコーコーと鳴く）。

**ごん** [gon] 【オノマトペ】ごつん。【例】かな

まいゆ ごんていー ふあーす（頭をゴツンと叩く）。





**さ** [sa] 【接尾辞】形容詞語幹について名詞化する接尾辞、「～さ」。【例】くぬ まんごーぬ んぶさー いかっさばかーい（このマンゴーの重さはどれくらいだ）。ほういさう はかい（大きさを測る）。いみさ みー（小ささを見る [＞馬鹿にする]）。くぬ みどうんぬ あばらぎさー みゃーくいち（この女性の美しさは宮古ーだ）。くとうすぬ ぼーなすぬ さかふさん うどうるつたい（今年のボーナスの少なさに驚いた）。

**さ** [sa] 【助詞】『終助詞』よ、だよ、だろう。【例】つうあが どうみゆー むぬー かまん あいさ（君が探しているものはあそこにあるだろう）。

**さー** [sa:] 【名詞】[C] 差。【例】やぐみ さーや あり（大変な差がある）。

**さー やい** [sa: jai] 【成句】「ーかい、ーむぬ」のように形容詞語幹について述語化する機能をもつ。「のだ」、「のだよ」。【例】からー いつまい いばいさー やい、がずさーやい ひーゆー（彼はいつもいばったり、ものをけちったりする）。ばー つうあうぎゃー いつまい すーじゃさー やい（おれはいつもお前がうらやましい）。ばが むちゆー つぞうぬどう ほういさー やい（私が持っている魚の方が大きいのだ）。くいがどう いみさー やいだら（こっちの方が小さいのよ）。

**さーい** [sai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 連れる。【例】うやう さーりーくー（おじいさんを連

れて来なさい）。やらびんみゃー さーりー っさらんかい いつ（子供たちを連れて平良に行く）。ばーや ばぬー さーりー ぶらぬ むぬすーぬ まいたーひー いきゆーたい（おばあさんは私を連れて保良のユタのところまで行った）。② 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 子守する。【例】つふあう さーい（子守する）。きゅーや つふあ さーい（今は子守だ）。

**ざーざーていー** [za:za:ti:] 【オノマトペ】（雨の降る様子）ザーザーと。【例】あみぬどう ざーざーていー つふゆーたい（雨がザーザーと降っていた）。[変異] じゃーじゃーていー。

**さーるかもーたー** [sa:rukamo:ta:] 【名詞】カマキリ。【例】さーるかもーたーん かかつ じゃいにゃーん（カマキリにひっかかれた）。

**さい** [sai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（植物が）枯れる；（魚が）ひからびる；（着物が）乾く。【例】ひむーひー ぶーっじゃ さりー はりーにゃーん（早魃でサトウキビは枯れてしまった）。さりっぞう（きびなごの干物）。つぞうー さらす（魚を干す）。いすぬ あーぎん さるまたう さらす（石の上でパンツを乾かす）。あかう さらす（髪を乾かす）。あかー さりーにゃーん（髪が乾いた）。[類] さり。② 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（土地などが）干上る。【例】っしゃー っしどう さりーゆー（礁は潮が引いて干上がっている）。[類] さり。

**さい** [sai] 【名詞】[C] 悪だくみ、考え、計画。【例】かいが さいや んがーいーにゃーん（彼の

悪だくみがばれた)。かいが さいや ばぬんな っさいん (彼の考えは私にはわからない)。

**さい** [sai] 【名詞】 [C] エビ [いびがん (伊勢海老) 以外のエビは「さい」という]。【例】さでいあんな ひきー さいゆ とうい (手網を引いてエビを取る)。まうきゃーいん さじゅー ひつていがー うんそうく さいぬ とらいたい (大浦湾で手網を引いたらたくさんエビがとれた)。

**さいじゅー** [saizu:] 【形容詞】 計算高い。【例】からー さいじゅーかいば かいんな だまはいだうり (彼は計算高いので彼にはだまされるな)。

**さいぬは** [sainuha] 【名詞】 酉 (西) の方。

**さいぬはでいー** [sainuhadi:] 【名詞】 西支部 [西原は東西南北の4つの支部に分かれており、その西支部のこと]。

**ざいばん** [zaiban] 【名詞】 在番 [人頭税時代の宮古の最も偉い人で首里王府から派遣された役人]。

**ざいんみ** [zaimmi] 【名詞】 ずぶ濡れ。【例】あみん ったかいー ざいんみん ないたい (雨に叩かれてずぶ濡れになった)。[変異] じゃいんみ。

**さう** [sau] 【名詞】 [C] 思慮、分別。【例】かりゃー さうや にゃーん つつとうい ぱぎんまり (彼は分別がないやつだ)。かりゃー さうや ありゅーんががらどう まさがん むぬーぎゃー ふあいゅー (あの子は分別があるのか、ちゃんと食事をしている)。やらびゃー ほうりみつっじゃひどう みーんな さうや にゃーん (子供は右往左往して目には落ち着きがない)。さう ぱぎんまり (分別がないやつ)。みーんな さうや にゃーだ ほうりみつず (目には落ち着きがなく視点が定まらない)。

**さう** [sau] 【名詞】 [B] 竿。【例】むぬほうすじやう (物干し竿)。つんふすざう (物干し竿)。

**さう** [sau] 【名詞】 [C] 知恵。[変異] しゃう。

**さうー** [sau:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] 刀等で突き刺す、突き刺す。【例】ひんじゃぬ ぬどうー さづい (山羊の首を突き刺せ)。ひどうー さづいや ならん (人を突き刺してはいけない)。

**さうか** [sauka] 【名詞】 [C] 『食』 ショウガ。

**さうがつ** [saugatsi] 【名詞】 正月。【例】さうがつんな なうばいぬ むぬーどう ふあうが (正月にはどんなものを食べますか)。くとうすぬ さうがっちゃ やぐみじやう わ一つつどう あたい

**さうがつわー** [saugatsiwa:] 【名詞】 正月に食べるために飼ってきた豚。

**さうき** [sauki] 【名詞】 [C] 竹籠 [1メートルくらいの平たい底の浅いかごで天井からぶらさげる]。【例】かぬ さうきんな なうぬどう はいりゅーば (あの竹籠には何が入っていますか)。

**さうきぶに** [saukibuni] 【名詞】 あばら骨。【例】びきどうんな さうきぶにぬどう っていつ たらーんば うむくとうー にゃーん (男性はあばら骨が一つ足りないから頭が悪い)。[類] やかたぶに。

**さうず** [sauzi] ① 【名詞】 [C] 掃除。【例】みなかぬ さうず (庭の掃除)。② 【名詞】 [C] お祓い、お清め。【例】うまんな やなむぬぬどう ういば まーそうさうず あっそう (そこには悪霊がいるから塩でお清めをする)。とうかさうずばり (出産後、10日目頃のお祓い)。

**さうずがら** [sauzigara] 【名詞】 塵、芥。【例】さうずがらう とうい すている (塵を取ってしまいなさい)。[類] あふた。

**さうずばり** [sauzibari] 【名詞】『祭礼』出産後約10日(トゥカンティ)に行うお祓い。

【例】とうかんていんな さうずばりゃー ひど  
う あかつうあん ていだがなっそう うが  
ます(出産祝いにはお祓いをして赤ちゃんに太陽  
神をおがませる)。やらびゆーぎゃー さうず  
ばりゃー ひーからどう ていだうぎゃー う  
がます(赤ちゃんをお祓いをしてから外に出し  
て太陽を礼拝させる)。

**さうだん** [saudan] 【名詞】相談、談合。【例】  
かいんかいや さうだんな ひらいん(彼には  
相談できない)。[類] だんがー。

**さうみ** [saumi] 【名詞】[C]『蔑称』斜視。

**さうみん** [saumin] 【名詞】素麺。【例】さう  
みん ぶっとうら(茹でた素麺を炒めたもの)。

**さかー** [saka:] 【名詞】[C] さかさま、逆、裏返  
し。【例】つうあが つんぬ つーかたー さ  
かー(あなたの服の着け方は表裏が逆だ)。[類]  
さかさ、さかさー。

**さかい** [sakai] 【名詞】[B] 境、境界。【例】や  
ーぬ さかい(家の境界)。くまぬどう やす  
つぬ さかい(ここが屋敷の境)。

**さがい** [sagai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (実など  
が木から)下がる、(人がものにつかまって)ぶ  
らさがる。【例】ばさぬ ないぬどう さがり  
ゆー(バナナの実がぶら下がっている)。かた  
ていーひー きーから さがらいどうすな(片  
手で木からぶら下がるかい)。

**さがい** [sagai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] つけで  
物を買うこと。【例】まっちゃんきー たばく  
ー さがりーったい(店に行ってタバコをつけ  
で買って来た)。むぬー さがりー かう  
(物をつけで買う)。

**さかさ** [sakasa] 【名詞】[C] さかさま、逆、裏  
返し。【例】つんぬぎゃー さかさんな っち

ゃん(着物を裏返しでは着ない)。[変異] さか  
さー。[類] さかー。

**さかさー** [sakasa:] 【名詞】さかさま、逆、裏  
返し。[変異] さかさ。

**さかずき** [sakaziki] 【名詞】杯、盃。

**さかなやー** [sakanaja:] 【名詞】料亭、遊郭。

【例】さかなやーんいきー じゅりゆー かう  
(料亭に行って遊女を買う)。さかなやーん じ  
ゅりとう あそー (料亭で遊女と遊ぶ)。とう  
いしやう ほーりむぬー きゆーまい さかな  
やーんかい(助平な馬鹿者は今日も料亭に(行  
く))。[変異] さかぬやー。

**さかぬやー** [sakanuja:] 【名詞】料亭、遊郭。

[変異] さかなやー。

**さかふ** [sakafu] 【形容詞】[C] 少ない。【例】  
ばが つぞうだまー つうあが むぬんつきや  
ー さかふだー(私の魚の取り分はお前のもの  
より少ない)。

**さかま** [sakama] 【名詞】[B] 坂、坂道。【例】さ  
かまう あいつ(坂を歩く)。[類] さかまんつ。

**さかまんつ** [sakamantsi] 【名詞】坂、坂道。  
【例】さかまんちゆ あいつ(坂を歩く)。[類]  
さかま。

**さき** [saki] 【名詞】[B] 酒。【例】さきゆー  
かーぬ みずひー ばいー くー(酒を井戸水  
で割って来い)。さきん ぬまいー すん(酒  
に吞まれて死ぬ)。

**さぎ** [sagi] ① 【動詞】[母音語幹] [C] 下げる、ぶ  
ら下げる。【例】さぐなうぎゃー きーん さ  
ぎどう みーゆぎゃー いだす(ほら貝を木に  
下げて中身を出す)。うまぬ がずん いんか  
らぬ びらふー さぎる(そのの鉤に海からの  
カゴを下げる)。[変異] さず。② 【動詞】[母音  
語幹] [C] 下痢をする。【例】ばー さぎー  
っしぬ ばん(私は下痢してトイレの番 [ >ト

イレからでられないこと])。きゅーや さぎーや  
やまだっちゃ ひーゆー (今日は下痢が止まらない)。わーぬ あっづあう はーさ ふあう  
ていがー さずどうす (ブタの脂をたくさん食べると下痢する)。**[変異]** さず。

**さきくたんでい** [sakikutandi] 【名詞】二日酔い、またその人。【例】んぬ あてい さきぬんな ひどう きゅーや さきくたんじやー ひーゆー (昨日飲みすぎて今日は二日酔いだ)。さきくたんじやー ひー くーかいばならん (二日酔いで苦しくてならない)。あがいんめ きゅーまい さきくたんでい (ああもう大変、今日も二日酔いだ)。**[類]** さきぬっち。

**さきじゃう** [sakizau] 【名詞】大酒飲み。【例】ひとうむていからぬ さきぬん さきじゃう (朝からの酒飲み大酒飲み)。**[類]** さけじゃうぐ、さきぬみや、さきふあや。

**さきじゃうぐ** [sakizaugu] 【名詞】大酒飲み。【例】さきぬん さきじゃうぐ (酒飲み、大酒飲み)。**[類]** さきぬみや、さきふあや。

**さきじゅーばりがみ** [sakizu:barigami] 【名詞】酒豪、割れ瓶。【例】さきやー いかっさぬまばんまい びゅーいん さきじゅーばりがみ (酒をいくら飲んでも酔わない酒豪)

**さきそうるー** [sakisuru:] 【動詞】[w 語幹] 咲き揃う。【例】ひまわりぬ さきそうるいゆー (ひまわりが咲きそろっている)。つゆがはなー さきそうるいーどうー (露の花は咲き揃っている [古謡「豆が花」から])。

**さきたりやー** [sakitarija:] 【名詞】酒屋。【例】さきたりやーんきー たりかっそう かいくー (酒屋に行つて酒かすを買つてこい)。

**さきぬっち** [sakinuttçi] 【名詞】二日酔い。**[類]** さきくたんでい。

**さきぬみや** [sakinumja] 【名詞】酒飲み。【例】うぬ さきぬみやー びゅーいどう ぶいたが

ぶいたていー ぶいたみきゅーい (この酒飲みは酔っぱらつたらいろいろと愚痴をこぼす)。いっちゃーっさん さきぬみや (加減を知らない酒飲み)。かりやー むいとうぬ さきぬみや (彼はとてもの酒飲み)。**[類]** さきふあや、さきじゃうぐ。

**さきぬん** [sakinun] 【名詞】酒を飲むこと。【例】さきぬんまい だうりぬどう あいむぬ (酒飲むことにも道理があるものだ)。

**さきぬんあぐ** [sakinunagu] 【名詞】酒飲み友達。**[類]** さきぬんどうす。

**さきぬんどうくま** [sakinundukuma] 【名詞】酒の席、酒座。【例】からー いつまい さきぬん どうくまう とうみーまーい (彼はいつもどこか酒の席を探しまわっている)。

**さきぬんどうす** [sakinundusi] 【名詞】酒飲み友達。**[類]** さきぬんあぐ。

**さきふあや** [sakifaja] 【名詞】酒飲み。**[類]** さきぬみや。

**さきやー** [sakija:] 【名詞】酒屋。

**さぐ** [sagu] 【名詞】[C] その人の独特な身振り、歌い方等。【例】かりやー さぐー いらー あーぐー あっじゅー (彼は独特の歌い方で歌をうたっている)。

**さぐな** [saguna] 【名詞】[C] ホラ貝。【例】さかさん さぐなう さぎー うっきゅーふばどう ういが みーや たりー うていーふー (逆さまにほら貝を下げておいておけばその身は垂れて落ちてくる)。

**ささぎ** [sasagi] 【名詞】[C] 結婚すること。

**ささぎゆーい** [sasagijui:] 【名詞】結婚式。【例】きゅーや うぬきやが ささぎゆーいちや (今日のはかれらの結婚祝だつてさ)。

**さし** [saçi] 【名詞】[C] 柄杓。【例】みっじゅさしひー ぬん (水を柄杓で飲む)。

**さす** [sasi] ①【動詞】[s 語幹] [C] (指や手でものを) 指す、指し示す。【例】ばが さす とくまう みーる (私が指すところをみなさい)。②【動詞】[s 語幹] [C] (液体を入れ物に) 注ぐ。【例】ちゃーゆ ちゃばんかい さす (お茶を湯呑に注ぐ)。③【動詞】[s 語幹] [C] (針やキリなどの細いものを) 刺す; (ものをものの間に) 差す; (傘を) さす。【例】はいゆ さしー んーくー いたす (針を刺して膿をだす)。んーぶらう んなぐんかい さしー しなう とうい (芋掘り棒を砂に刺して二枚貝を取る)。まーたー ゆっぐいー うまん さし (マータを結んでそこにさしなさい [「まーた」はススキを結んだ魔除け])。さなう さす (傘をさす)。④【動詞】[s 語幹] [C] (蚊や鉢などの虫が肌を) 刺す。【例】かじゃんぬ さしどう っさ んーばずん ないちゃ (蚊が刺して象皮病になるんだって)。ばー たうんまばすん ささいーにやーん (私はスズメバチにさされた)。あいっぞうぬ つーずんな ささいな (アイゴの刺には刺されるな)。かたなひー ひとつー さす (包丁で人を刺す)。ばー ばかかいきやー たうんまばすん ささいーにやーん (スズメバチに刺された)。かじゃんー ささいー っさ んーばずん ないちゃ (蚊に刺されて象皮病になるんだって)。かじゃん ささいーにやーん (蚊に刺された)。⑤【動詞】[s 語幹] [C] (寒さが肌を) さす。【例】きゅーや ひぐるかい ば みずまい さしーどうーい (今日は寒いので水は刺すように冷たい)。⑥【動詞】[s 語幹] [C] 魚肉等が腐って、食べようとしたら唇等に痛みを感じる。【例】っさり っぞう ふあうていがー すばう さすどうす (腐った魚を食べると唇を痛いほど刺激する)。**[類]** そっぐい。

**さず** [sazi] ①【動詞】[g 語幹] [C] 下げる、ぶら下げる。【類】 さぎ。②【動詞】[g 語幹] [C] 下痢する。【例】わーぬ あっぐあう はーさ ふあうていがー さずどうす (ブタの脂をたくさん食べると下痢する)。**[類]** さぎ。

**さず** [sazi] 【名詞】[C] 佐司 (昔の役人の役職の

一つ)。【例】さずばい (佐司の畑)。

**さず** [sazi] 【名詞】[C] タオル。【例】さっじゆかなまいん まつ (タオルを頭に巻く)。ペー っうあが っふすー みはなう さずひーぬぐい (ほら、お前の汚れた顔をタオルでぬぐえ)。

**さた** [sata] 【名詞】[C] 砂糖。【例】っふじやた (黒砂糖)。さたうぎやー ぶーずからどうちゅっふ (砂糖をサトウキビから作る)。

**さだい** [sadai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 先導する。【例】ばが まうきやーゆ さだりー あいき (私の前を先に歩け)。

**さだいあに** [sadaiani] 【名詞】(人生の) 先導役のお姉さん。

**さだいそうじや** [sadaisuza] 【名詞】(人生の) 先導役のお兄さん。

**さだか** [sadaka] 【名詞】[C] 理解すること、定めること、確認すること。【例】うりやー あたりゆーむなうむ ばぬんな さだかー ひらいん (それはあっているのかどうか私には確認できない)。みーまーいや ひー いじやどういじやががら さだかーひらいん (目がくらんでどこがどこか分からない)。っぐあーなうていー あっじゅーががら ばぬんな さだかー ひらいん (あなたが何と言ったの分からない)。ばぬんな うらー さだかー ひらいん (私にはそれは分からない)。

**さたていんぷら** [satatimpura] 【名詞】穴の開いてない沖縄風ドーナツ、。

**さだり** [sadari] 【名詞】[B] 海岸の角のない丸くなった小石、さざれ石。【例】はまぬ さだり (浜のさざれ石)。

**さつ** [satsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 咲く。【例】はなぬ さつ (花が咲く)。**[変異]** さふ。

**さつ** [satsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (紙や布などを) 手で二つにする、裂く; (仲を) 裂く。【例】ほ

うんぬ さふ(本を裂く)。かびーゆ ふた一つん さつ(紙を二枚に割く)。うぬきやが ふたーいが なかー さかいーにやーん(彼ら二人の仲は引き裂かれてしまった)。**[変異]** さふ。

**さつ** [satsi] 【名詞】[A] 先。【例】ばー さつん はらでい(私は先に失礼します)。さつん なり(先になれ [>先に行け])。にんぎんぬ っふあー ぼうぬ さつんどう そうだつ(人間の子は棒の先に育つ [>愛の鞭で育つ、可愛い子には旅をさせよ])。

**さつづい** [savvi] 【動詞】[母音語幹] [A] 突き刺す。【例】ひんじゃぬ ぬどうぐらう さつづい(山羊の喉を突き刺せ)。**[変異]** さうー。

**さつばい** [satsibai] 【名詞】先頭、先導役、指導役。【例】んきやーんな みどうんな いっさぬ さつばいどう あたいちゃ(昔は女性は戦争の先頭に立ったそうだ)。さだいそうじゃー っふあがまぬ さつばい(サダイスジャは赤ちゃんの先導役)。ばが さつばいん ならでい(私が先頭にたとう)。

**さでい** [sadi] 【名詞】[B] 小網、掬い網の一つ、またその漁、叉手(さで)網。【例】さじゃー ひきー っぞう とうらでい(叉手網を引いて魚をとろう)。まうきやーいん さじゅー ひつていがー うんそうく さいぬ とらいたい(大浦湾で叉手網を引いたらたくさん小エビがとれた)。**[類]** さでいあん。

**さでいあん** [sadian] 【名詞】小網、掬い網の一つ、またその漁、叉手(さで)網。**[類]** さでい。

**さでいふ** [sadifu] 【名詞】[C] 『植』浜木綿、ハマオモト。【例】さでいふひー はらんぬ ちゅっふ(ハマオモトで風船を作る)。

**さどうい** [sadui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 手探りする。【例】っふあどうくまう さどうりー あいつ(暗いところを手探りで歩く)。いす

ぬ みーぬ かんぬ さどうりー とうい(石の中のカニを手探りでとる)。

**さとうびと** [satubito] 【名詞】隣人。【例】ゆーかーま うとうじゃんつきやー さとうびと う(遠くの親戚より隣人だ)。

**さとうやー** [satuja:] 【名詞】隣の家。【例】かりやー さとうやーや まーりーどう むぬー くい ふあいゆー(彼は隣近所を回り、飯を乞うて食べている)。

**さな** [sana] 【名詞】[C] 傘、笠。【例】さなう さす(傘を差す)。きゅーや あみぬ ふーぎかいば さなう むちーはり(今日は雨が降りそうだから傘を持って行け)。あみふーん なかさう かうー(雨の日には笠をかぶる)。

**さなか** [sanaka] 【名詞】[C] 日中、9時から10時の間で(暑くなる前)。【例】なつぬ さなかー あつかいば ならん(夏の日中は暑くてならない)。

**さなず** [sanazi] 【名詞】[C] ふんどし。【例】さなっじゅ つー(ふんどしをつける)。

**さに** [sani] ①【名詞】[C] サトウキビの種[芽が出る莖を切ったものを植える]; オスの精子。【例】ぶーずぬ さに(サトウキビの種)。さにんま(種馬)。**[類]** たに。②【名詞】[C] 血筋、親戚。【例】ながんぬつ さに(長生き系統)。うぬきやが さにやー うむくとう あい さに(この人たちの系統は頭の良い系統だ)。にんぎんな さにんどう がーらいー(人間の出来不出来は血筋による)。

**さにかーい** [sanigai:] 【名詞】変種、親と出来の違う子がうまれること、またその子。【例】からー さにかーいや ひー ぶんかーりー うむくとう あいかい(彼は親、祖父母とは違って頭が良い)。**[類]** たにかーい。

**さにつ** [sanitsi] 【名詞】[B] 旧暦の3月3日の大潮の日。【例】さにつんな っしん いきー

っしん°ん あす (旧暦3月3日には礁 (リーフ) で潮干狩りする)。

**さにん** [sanin] 【名詞】 [B] 『植』月桃。【例】  
さにんな かばすむぬ (月桃は香ばしい)。

**さにんま** [sanimma] 【名詞】 種馬。【例】 さ  
にんまー ほっかいどーからぬ ばんばどう  
あたい (種馬は北海道からのばん馬だった)。

**さば** [saba] 【名詞】 [C] 草履。【例】 あだんば  
さば (アダンの葉で作られた草履)。さばぬ  
にゃーん (草履がない) [類] ふだみ。

**さば** [saba] 【名詞】 [B] 鮫 (サメ)。【例】 さば  
う つー (サメを釣る)。

**さばーす** [sapa:si] 【動詞】 [s/h 語幹] そのほか  
す、おだてる。【例】 うらー すかまうぎゃー  
ほうん なっちゃかんむぬ やいば さばー  
ひー あすみる (彼は仕事をしない怠け者だから  
おだてて、(仕事を) やらせなさい)。かるー  
ぎゃー さばーひー ぶどうらひーみーる (彼  
をおだてておどらせろ)。

**さばつ** [sabatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 問いた  
だす。 [変異] さばふ。

**さばつ** [sabatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (魚など  
を) 捌 (さば) く。 [変異] さばふ。

**さばに** [sabani] 【名詞】 [C] くりぶね、小舟。  
[類] そーに。

**さばふ** [sabafu] ① 【動詞】 [k 語幹] [C] 問いた  
だす。【例】 ひとつー さばふ (人を問いただ  
す)。ぬそうどう さばふ (泥棒を問い質す)。  
かりゅーまい さばきーみーる (あいつにも聞  
いてみる)。 [変異] さばつ。 ② 【動詞】 [k 語幹]  
[C] (魚などを) 捌 (さば) く。【例】 っぞうー  
さばふ (魚を捌く)。 [変異] さばつ。

**さびー** [sabi:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 没落する。  
【例】 かまぬ やーや さびりー はりーにゃ  
ーん (向こうの家は貧乏になってしまった)。

**さびーていー** [sabit:i] 【副詞】 物静かに。  
【例】 かりゃー さびーていー びじゅーたい  
(彼は物静かに座っていた)。

**さびす** [sabisi] 【形容詞】 [A] 寂しい。【例】  
やーにんじゅぬ みーだかー さびすかいば  
ならん (家族がいなくて寂しくてならない)。た  
うかー ういていがー さびすかいば ならん  
(一人でいると寂しくてならない)。

**さふ** [safu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (紙や布などを)  
手で二つにする、裂く; (仲を) 裂く。 [変異]  
さつ。

**さふ** [safu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (花などが) 咲  
く。 [変異] さつ。

**さぷん** [sapun] 【名詞】 [C] 石鹸。【例】 さぷ  
んひー みはなう あらう (石鹸で顔を洗う)。

**さまい** [samai] 【接尾辞】 [母音語幹] 尊敬の接  
尾辞 母音語幹の動詞に付く。子音語幹に付く  
場合は「まい」、未然形につく。

**さまい** [samai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (熱いも  
のが) 冷める。【例】 あつむぬ やいば さま  
いきゃたーひー まちーから ふあーでい (熱  
いので冷めるまで待ってたべよう)。

**さまらす** [samarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (熱い  
ものを) 冷ます。【例】 あつむぬーぎゃー さ  
まらひーから ふあい (熱いものは冷ましてか  
ら食べなさい)。

**さみ** [sami] 【名詞】 [B] 疥癬 (かいせん) 肌。  
【例】 うなが さみゃー かぎさみ (あばたもえ  
くぼ [ > 自分の疥癬は綺麗な疥癬だ])。さみ  
かうしゃーや いでいー かうかいば ならん  
(疥癬が出て痒くてならない)。かうしゃーやひ  
ー どうーや さみん なりゅー (疥癬で身体  
はざらざら肌になっている)。

**さみうんた** [samiunta] 【名詞】 ヒキガエル。  
[類] さみつふなた。



**さみっふなた** [samiffunata] 【名詞】ヒキガエル；侮辱的な呼びかけ。【例】おい さみっふなた（おい ヒキガエル [＞他人を侮辱するときに使う]）。[類] さみうんた。

**さむい** [samui] 【接尾辞】形容詞の語幹について形容詞語幹を作る接尾辞～に弱い、～がり。【例】あつさむい（暑がり）。っしさむい（寒がり）。ひぎやうさむい（くすぐったがり）。うとうるっさむい（怖がり [「うとうるすさむい」もあり]）。

**さむい** [samui] 【名詞】[C] 《遊》数字遊び（数字を出し合って遊ぶ）二人で同時に指を出し、相手の指の数と合計した数字を言った方が勝ち、両方正解か、両方間違ったら引き分け。両者の前に箸を数本置き、勝者は箸を一本とり、箸が無くなれば終わり。

**さや** [saja] 【名詞】[B]（豆の）莢（さや）。【例】まみぬ さや（豆の莢）。

**さやふ** [sajafu] 【名詞】[B] 大工。【例】ていぬん じゃやふぬ すかまー みーらいん（下手な大工の仕事は見られたものではない）。

**さやふだうー** [sajafudau:] 【名詞】大工道具。【例】さやふだうーゆぎやー あたらっさひーつかい（大工道具は大切に使いなさい）。

**さゆい** [sajui] 【名詞】[C] 《魚》サヨリ。【例】さゆいや っそうっぞう（サヨリは白い魚）。

**さら** [sara] ① 【名詞】[B] 皿 [連濁するときには「じゃら」になる]。【例】ほうじゃら（大皿）。なかじゃら（中皿）。いみじゃらがま（小皿）。むぬー ふあいや うなが さらう あらい（ご飯をたべたら自分の皿を洗え）。② 【名詞】[B] 仕事 [「皿」からの比喩]。【例】ばーきゅーや むぬ ふあうじゃらう とうみが（私は今日は仕事をさがしに行く）。

**さらう** [sarau] 【動詞】[w 語幹] [A] 浚（さら）う、井戸の底に溜まった泥を浚う。【例】かーぬ どうるー さらい（井戸の泥をさらえ）。

**さらす** [sarasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 空気に晒す、干す；人に見せる；人に見せびらかす。【例】どうーゆ さらす（体を干す）。つんぬ さらす（着物を干す）。まーぬ でいんぬぎやー ひとつんかい さらすな（あんまり金を人に見せびらかすな）。

**さらたみ** [saratami] 【副詞】わごと、わざわざ。【例】みどりかいぬ あいば さらたみ ったい（みどり会があるのでわざわざ来た）。さらたみていー あいぬ くとうーぎやー ほうん（わごとそんなことはしない [＞してはいけない]）。ほうだ うらばんまい くとうー さらたみていー あす（やらなくても（良い）ことをわごとやる [＜していなくてもことを]）。さらたみていー やどう ばい（（怒って）わごと雨戸を割る）。かまんかいや いつたっふあにやーっだんそうが さらたみていー いきゅーたい（向こうには行きたくなかったが仕方なく行った）。

**さらに** [sarani] 【名詞】[A] 再来年。

**さらばんず** [sarabanzi] 【名詞】（人生の）最高の盛り。【例】うぬ ばかむぬー んなまどう さらばんず（この若者はいまが人生の最高潮）。[類] さい。

**さり** [sari] ① 【動詞】[母音語幹] [A]（植物が）枯れる。【例】ひやーいな ぶーずまい さりどうす（早魃にはサトウキビも枯れる）。ゆながい あみやー っふあんば ぶーずまい さりーにやーん（長い間雨は降らないのでサトウキビも枯れてしまった）。[類] さい。② 【動詞】[母音語幹] [A]（土地などが）干上る。【例】っしゃー っしどう さりーゆー（礁は潮が引いて干上がっている）。

**さりっぞう** [sarizzu] 【名詞】きびなごの乾燥したもの。

**さる** [saru] 【名詞】[C] 猿、顔を洗わずに不格好な人のこと。【例】おい やまじやる っづ

あー んじゃんかいが (おい、山猿、お前はどこに (行くの) か)。

**さるか** [saruka] 【名詞】[C]『植』サルカケミカン [刺がある]。【例】さるかぬ とうず (サルカケミカンの刺)。さるかんな つーずぬ あい (サルカケミカンの木には刺がある)。さるかひー みどうんぬ つんぬ からぎー (サルカケミカンで女性の着物を絡げる)。

**さるつ** [sarutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 仲間外れにする。【例】うりゆーぎゃー さるきー んなし (そいつを仲間外れにしてみえ)。

**さるまた** [sarumata] 【名詞】猿股、股引、パンツ。【例】やり さるまた (古いパンツ)。

**さん** [san] 【名詞】[B] 高い岩山。【例】まじやぬ さん (真謝の岩山)。

**さん** [san] 【名詞】[B] 魚のエラ。【例】っぞうぬ さん。(魚のエラ)。

**さんぎ** [sanggi] 【名詞】[C] 鳥肌。【例】さんぎぬどう たちゆーい (鳥肌が立っている)。

**さんじゃい** [sanjai] 【動詞】[r/rr 語幹] (高いところから) 落ちる。【例】きーぬ はなからさんじやりー うていーにやーん (木の上から落ちた)。[変異] しゃんじゃい。

**さんじゅつ** [sanzutsi] 【名詞】算術、算数、数学。

**さんしん** [sançin] 【名詞】三線。【例】さんしんぬ ちる (三線の弦)。さんしんぬ ちんだみ (三線の調弦)。

**さんしんばなり** [sançimbanari] 【名詞】大浦湾の沖にある三線の形をした岩礁。

**さんだん** [sandan] 【名詞】(ますむいの) 会計をすること、(ますむいの) 会計係。【例】ますむいぬ くとうー さんだんあす (ますむいのことを算段する)。からー ますむいぬ さんだんちゃ (彼はますむいの算段役だつて)。[類] さんとうりや。

**さんとうら** [santura] 【名詞】『祭礼』ナナムイの役の名前 (その年に生まれた子供の数を数えて記録し、みゃーくずつの時に発表する役)。

**さんぱつやー** [sampsatsija:] 【名詞】床屋、散髪屋。[類] あかそういやー。

**さんまい すなーにやーん** [sammai sina:nja:n] 【成句】(形容詞語幹について)〜でどうしようもない。【例】んずぎさんまい すなーにやーん (醜くくてどうしようもない)。あばらぎさんまい すなーにやーん (美人でどうしようもない「>とても美人だ」)。がずさんまい すなーにやーん (ケチでどうしようもない)。

**さんみん** [sammin] 【名詞】考えを巡らすこと、計算、予測、予定。【例】あいぬ さんみんまい かいぬさんみんまいどう ひーゆーや あら (あれやこれやと考えていたのではないか) ばぬんな うらー さんみんな ひらいん (私にはそれは理解できない)。あちゃー うつな一んかい いつ さんみん (明日は沖縄に行く予定)。



# し

しー [ɕi:] 【感動詞】赤ちゃんにおしっこを促すときに発する言葉。【例】すばいゆ しーって い っし (小便を「シー」としなさい)。

しー [ɕi:] 【名詞】[B] 岩。【例】しーぬ みーゆ あまんぬ とうみーまーい (岩の中をヤドカリを探して回る)。[類] かんふ。

じー [zi:] 【名詞】[B] 痔。【例】じーぬどう やんかい (痔が悪い)。じーぬ しゅじゅつちゆ あすたい (痔の手術をした)。

しーぐ [ɕi:gu] 【名詞】[C] 小刀。【例】かぬやらびやー しーぐひー えんぴちちゆ きっじゆーい (あの子は 小刀で鉛筆を削っている)。しーぐー んじゃん うっきやーがていー ばっしーにやーん (小刀をどこに置いたか忘れた)。

しーしー [ɕi:ɕi:] 【名詞】先生。【例】しーしーが とうず (先生の奥さん)。くらー いぬ しーしーが かぼんが (これはどの先生のカバンですか)。くぬ がっこーんな しーしーや にじゅーめーばかーいどう うい (この学校には先生が20人くらいいる)。びきつづあー ちゅーがっこーぬ しーしーん ないたい (むすこは 中学校の先生になった)。

しーたう [ɕi:tau] 【名詞】製糖。【例】しーたうやー (製糖工場)。

しーとう [ɕi:tu] 【名詞】[C] 生徒。【例】しーとうやらびんみ (生徒たち)。くぬしーとうぬ んまぬどう んぬ がっこーんかい っ

ちゅーたい (この生徒の お母さんが 昨日学校に来ていた)。びきどうんしーとうんみやー ぼうずがなまいどう あたい (男子生徒たちは坊主頭だった)。みどうんしーとうんみやー あうすかーとうー っちゅーたい (女子生徒は青いスカートをはいている)。

しーとうやらび [ɕi:tujarabi] 【名詞】生徒。【例】がっこうんな しーとうやらびんみぬ うい (学校には生徒たちがいる)。んなま しーとうやらび んみやー うんどーじょーん うぐなーりゆー (いま生徒たちが運動場に集まっています)。しーとうやらびんみぬ なーゆんーな うぶいどうーな (生徒たちの名前を皆覚えていますか)。

しーなう [ɕi:nau] 【名詞】《道具》篩 (ふるい)。【例】しーなうひー みりくんぐーゆ ゆい (篩でメリケン粉をよる)。

しーぶ [ɕi:bu] 【名詞】[C] 《祭礼》年末の男性の祭事、歳暮。

しーる [ɕi:ru] 【名詞】[C] トイレの汚水。

しおから [ɕiokara] 【名詞】《食》塩辛、カツオの腸の塩漬け。

しかかい [ɕikakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 混み合う。 [変異] すかかい。

しがかい [ɕigakai] 【名詞】釣り針が海底の石に引っかかること。【例】つーぬどう しがかい や ひーゆー (釣り針が石に引っかかっている)。

**しちぐつ** [ɕitɕigutsi] 【名詞】旧暦7月のお盆。

【例】んすむらんな しちぐつちゃ にやーっ  
だん（西原にはお盆はなかった）。[変異] しつ  
ぐつ。

**しつ** [ɕitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (寝具を) 敷く。

【例】ふとんぬ しき (布団を敷きなさい)。

**しつ** [ɕitsi] 【名詞】[C] 物入れ箱、タンスの引き

出し。【例】しつんかい つんぬ いりー (物  
入れ箱に着物をいれる)。

**しつき** [ɕitsiki] 【動詞】[母音語幹] [A] 虐待す

る、厳しくしつける。【例】ばが ぶとう あ  
たいひとう ばぬー あていくとう しつきゆ  
ーたいぼどう とうずぶとう ばきやーい あ  
すたい (私の夫だった人は私をととても虐待した  
ので離婚した)。やらびゆーぎやー しつきー  
ならーし (子供を厳しく教える)。

**しつぐつ** [ɕitsigutsi] 【名詞】旧暦7月のお盆。

【例】んすむらんな しつぐつちゆぎやー ほう  
だどう みやーくづつちゆ あす (西原ではお  
盆はしないで宮古節をやる)。[変異] しちぐつ。

**しどう** [ɕidu] 【名詞】[C] 船頭、船長。 [類]

しんどう。

**しな** [ɕina] 【名詞】[C] ハマグリなどの二枚貝。

【例】しなとうい (二枚貝取り)。ほうらばま  
んな しなぬどう むいとう うたい (大浦湾  
にはハマグリが沢山いた)。んーぷらひー し  
なう とうい (芋掘りでハマグリをとる)。

**しば** [ɕiba] ① 【名詞】[C] 心配。 【例】いんか

い はりーにやーん ぶとうぬ くとぅー む  
いとう しばよ (海に行った夫のことがとても  
心配だ)。ばが みーぬ っふかいきやー と  
うず っふあんみゆーぎやー むぬふあいぬ  
しばうぎやー あすみん (私の目の黒いうちは  
妻子には食べ物のお心配はさせない)。んなまが  
っさー しばー にやーん (今のところ心配  
はない)。しばあすな (心配するな)。っふあー

ゆららひー むいとう しば (子供を迷子に  
させてしまつてとても心配だ)。やらびやー

たうかーひー うつなーんかい はらひー し

ば (子供を一人で沖縄に行かせて心配だ)。[変

異] しわ。② 【形容詞】[C] 心配だ。【例】ばー

しばかいば ならん (私は心配でならない)。

[変異] しわ。

**しば** [ɕiba] 【形容詞】[C] 狭い。 【例】うまー

しばかいば びー まーや にやーん (ここ  
は狭いから座るところがない)。

**しばな** [ɕibana] 【名詞】[B] 海岸の崖の上。

【例】いんぬ しばな (海岸の崖の上)。

**しば** [ɕibi] 【名詞】[B] マグロ。 【例】しばの

っぞう なます (マグロの刺身)。しばぬ

はいなー (マグロの延縄)。[変異] しゅび。

**しばら** [ɕibira] 【名詞】[C] 背中。

**しばらぶに** [ɕibirabuni] 【名詞】肩甲骨。【例】

さうがつんな わーぬ しばらぶにゆーどう

さだいそうじゃが まいんかいや むちーいき

ゆーたい (正月には豚の肩甲骨を先導役のお兄

さんに前には持って行った)。

**しばに** [ɕibuni] 【名詞】[B] 背骨。【例】しば

にゆー んばす (背骨をのばす)

**しまい** [ɕimai] 【感動詞】しまった。【例】しま

まい。むいとう うどうきーにやーん (しまつ

た。大損してしまつた)。

**しまな** [ɕimana] 【名詞】[B] 《果物・野菜》《食

島菜。

**しみ** [ɕimi] ① 【動詞】[母音語幹] [C] (縄など

で) 締める。【例】ぶーずぬ にーゆ ちゆ  
ーく しみる (サトウキビの荷を強く締めろ)。

② 【動詞】[母音語幹] [C] 催促する。【例】うっ

かう しみー とうい (借金を催促して取る)。

③ 【動詞】[母音語幹] [C] 狭める、追い込む。

【例】つづあが まいから っぞうー しみーく

ー (あなたの所から魚を追い込んで来い)。

④ 【動詞】[母音語幹] [C] 責める。【例】いつまい

むぬいぎゃー つかん やらびん くるまう  
かい ふいーるてい しみらいゆー (いつも  
言うことを聞かない子供に車を買ってくれと責  
められている)。

**しみ** [çimi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 閉める。

【例】 やどうー しみー (戸を閉める)。

**じゃー** [za:] 【感動詞】 目上の人に何か差し出す  
時の言葉。【例】 じゃー うりゆー みやらま  
てい (どうぞ これを召し上がって下さい)。

**じゃー** [za:] 【名詞】 [C] (村の) 広場、集会場。  
【例】 じゃーがまん うぐなーい ((村の) 広  
場に集まる)。

**しゃーい** [çai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (心が)  
逸 (はや) る、心がいきり立つ、意地を張る。  
【例】 まーぬ しゃーいな (余り焦るな、意地を  
張るな)。[類] しゃーがい。

**しゃーか** [ça:ka] 【名詞】 [A] 早朝、未明。  
【例】 しゃーかん うきー ひとつむていんない  
ば あしゆー ふあうたい (未明に起きて朝に  
なったので朝食を食べた)。しゃーかん うき  
ー っさかいが いたたい (未明に起きて草刈  
りに行った)。っざたー しゃーかんどう い  
んかいや いつ (父親たちは朝早く漁に行く)。

**しゃーがい** [ça:gai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (心  
が) はやる、意気込む; あれこれ駄々をこねる。  
【例】 からー なうちャーにャー つむでいー  
しゃーがりゆーたい (彼は理由もなく怒って  
意地を通そうとしていた)。かにャー まさい  
とう すまとうらでいー しゃーがりゆーたい  
(カニはマサイと相撲をとろうと意気込んでい  
る)。まーぬ なうちャーにャー しゃーがい  
な (あまりあれこれ文句を言うな)。[類] しゃ  
ーい。

**じゃーじゃーていー** [za:za:ti:] 【オノマト  
ペ】 (雨の降る様子) ザーザーと。 [変異] ざ  
ーぎーていー。

**じゃーにャー** [za:nja:] 【接尾辞】 (お互い  
に) ~同士。【例】 うぬぎャー んまじャーにャ  
ー きょーだい (その人達は母親同士が兄弟)。

**しゃーみつ** [ça:mitsi] 【動詞】 [k 語幹] 焦る、  
意地をはる。【例】 まーぬ しゃーみかだう  
り (あまり焦るな、意地をはるな)。[類] しゃ  
ーがい。

**じゃーん** [za:n] 【接尾辞】 動詞未然形について  
意思否定を表す「~しない」、「~するつもりは  
ない」。【例】 ばー いかじャーん (私は行かな  
い)。ばー ふあーじャーん (私は食べない)。  
ばー ほうじャーん (私はしない)。ばー あっ  
じャじャーん (私は言わない/歌わない)。っづ  
あが いかじャーだかー ぼんまい いかじャ  
ーん (あなたがいかないのなら私も行かない)。

**じゃーん あすていがー** [zan asitiga:]  
【成句】 動詞基本形について「~さえしたら (十  
分だ、ほかは必要ない)」ことを表す。【例】  
ふあうじャーん あすていがー ばー っさん  
(自分さえ食べたら私は (ほかの人のこと) 知ら  
ない)。いつじャーん あすていがー んめ  
じャうぶん (行きさえしたらそれで十分だ)。

**じゃいんみ** [zaimmi] 【名詞】 ずぶ濡れ。 [変  
異] ざいんみ。

**しゃう** [çau] 【名詞】 [C] 知恵。【例】 むぬ  
かんがいや にャーん しゃうやにャーん ん  
まり (浅薄で馬鹿な奴)。[変異] さう。

**じゃう** [zau] 【形容詞】 [B] 良い。【例】 うい  
がどう じゃうかい (これが良い)。

**じゃう** [zau] 【接尾辞】 ~が上手な人、上戸; ~  
が好きな人。【例】 さきじゃう (酒上戸)。わ  
ーじャう (豚肉の好きな人)。

**じゃう** [zau] 【名詞】 [C] 門。【例】 やーぬ  
じゃう (家の門)。

**じゃうかいがにャーん** [zaukaiganja:n]  
【成句】 (あなたが) 良いように (しろ)。【例】

じゃうかいがにやーん あっそう (良いように  
しなさい)。

**じゃうじゃ** [zauza] 【形容詞】[C] 上手。[類]  
じゃうず。

**じゃうず** [zauzi] 【形容詞】[C] 上手、(動作に  
ついて)～名人、名手。【例】かりやー なう  
ゆ あすんまい じゃうず (彼は何をしても上  
手)。あすじゃうず (やるのが上手)。うんてん  
じゃうず (運転上手)。かいがどう んながー  
な じゃうずかい (彼が一番上手い)。[類] じ  
やうじゃ。

**じゃうそうく** [zausuku] 【名詞】天井、天井  
壁。【例】たか じゃうそうく (高い天井)。  
じゃうそうくー にやーん やー (天井のない  
家)。

**じゃうとうー** [zautu:] 【形容詞】上等だ。  
【例】ういがどう じゃうとうーかいば うるー  
とうい (これが一番上等だからそれにしろ)。

**じゃうどうきや** [zaudukja] 【名詞】良い天  
気、良い日、良い時。【例】きゅーや じゃう  
どうきやひどう とうりーゆー (今日は晴れて  
いる)。きゅーや じゃうどうきやがま (今日  
は良い天気だ)。[類] じゃうどうり。

**じゃうなう** [zaunau] 【名詞】税金。【例】じ  
やうなうゆ うさみー (税を納める)。

**じゃうひかず** [zauhikazi] 【名詞】良い日取  
り。[類] じゃうひゆーい。

**じゃうひゆーい** [zauçuri] 【名詞】良い日取  
り。[類] じゃうひかず。

**じゃうぶん** [zaubun] 【名詞】十分。【例】ば  
が たまー うさきひー じゃうぶん (私の分  
はそれだけで十分だ)。

**じゃか** [zaka] 【名詞】[C] モグラ。【例】じ  
やかー ゆなかどう いでいー まーい (モグ  
ラは夜、出て回る)。

**じゃかひとう** [zakahitu] 【名詞】イルカ。  
【例】じゃかひとうー うむくとう あい いつ  
むす (イルカは頭がいい生き物だ)。

**しゃく** [çaku] ①【名詞】[C] 人を表す人称代名  
詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、  
程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～  
ばかり、～みたいな。[変異] そうく。[類] し  
ゆく。②【名詞】[C] ものを表す指示代名詞の  
ノ格について、それ程度くらいでしかないとい  
う量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐら  
い、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格に  
ついてだいたいの時期を表す、～ころ。[変異]  
そうく。[類] しゆく。

**じゃぐ** [zagu] 【名詞】[B] カツオを釣るとき  
の餌にする小魚 (<雑魚)。【例】じゃぐがま  
(カツオの餌)

**しゃし** [çaci] 【名詞】[C] 水差 (みずさし)。

**しゃしんばい** [çaçimbai] 【形容詞】写真写り  
が綺麗な、写真映えのする。【例】かぬ みど  
うんな やぐみ しゃしんばい ひとう (あの  
女性はとても写真写りのいい人だ)。くいがど  
う んながーな しゃしんばいかい (これが一  
番写真写りがいい)。

**じゃっていー** [zatti:] 【オノマトペ】さっさ  
と。【例】じよ、すかまうぎやー じゃってい  
ー ひーすていでい (さあ、仕事はさっさとや  
ってしまおう)。

**じゃまーにやーだ** [zama:nja:da] 【成句】こ  
れ以上 (以下) はないくらい、とても、非常に。  
【例】っざたー じゃまーにやーだ はーさ  
っぞう といっちやーい (お父さんたちはとて  
もたくさん魚を取ってきた)。じゃまにやーだ  
ひーちやがまぬ っぞう (とても少ない魚)

**じゃまーにやーん** [zama:nja:n] 【成句】こ  
れ以上 (以下) はないくらいの、とても。【例】  
じゃまーにやーん はーさぬ っぞう (これ以  
上はない位の大量の魚)。じゃまーにやーん

あばらぎ みどうん (とても美しい女性)。じゃまーにやーん んずぎ みどうん (とても不美人)。

**じゃらていー** [zarati:] ①【副詞】突然に、不意に。【例】どうすん じゃらていー いじゃうたい (友達に思いがけず出会った)。②【オノマトペ】ものを叩いたり割ったりする時の音、がちゃんと；藁やサトウキビなどを切り倒す時の音、バサっと。【例】さらう じゃらていー ばい (皿をガチャンと割る)。じゃらていー ふあーし (がつんと食らわせろ)。っざらひー じゃらていー なぎー たうし (鎌でバサッとなぎたおせ)。

**しやり** [çari] 【形容詞】[A] おしゃれな。【例】しやりびとう (おしゃれな人)。かいがどうんながーな しやりかい (彼女/彼が一番おしゃれだ)。

**じやり** [zari] 【動詞】[母音語幹] [A] 戯れる、ふざける。【例】やらびんみぬどう じやりんきー あそうびゅー (子供たちがじゃれ合って遊んでいる)。

**じやり** [zari] 【名詞】[C] 砂利。

**じゃん** [zan] 【名詞】[B] ジュゴン。【例】いんぬ いつむすかりやー じゃんぬどう んながーんな んまかたいちゃ (海の生き物の中ではジュゴンが一番おいしかった)。

**しゃんじやい** [çanzai] 【動詞】[r/rr 語幹] (高いところから) 落ちる。[変異] さんじやい。

**じゃんぬ ひぎ** [zannu higi] 【名詞】ジュゴンの食べる海藻。【例】じゃんぬ ふあう っさうどう じゃんぬ ひぎていー あい (ジュゴンが食べる海藻をジュゴンのひげという)。

**しゅー** [çu:] 【名詞】[C] 役人、主。

**じゅー** [zu:] ①【接尾辞】(名詞について)～が強い人。【例】みーじゅー (よく見える人)。ど

うーじゅー (体の強い人、健康な人)。ばたじゅー (お腹の強い人)。さき じゅー びとう (酒の強い人)。うんじゅー びとう (強運の持ち主)。②【接尾辞】(動詞について)よく～する人。【例】なつじゅー やらび (よく泣く子)。ばらいじゅー やらび (よく笑う子供)。ふあうじゅー (よく食べる人)。

**じゅー** [zu:] 【名詞】[B] 尻尾、しっぽ。【例】わーぬ じゅー (豚の尻尾)。ぬーまぬ じゅー (馬の尻尾)。

**じゅーぐや** [zu:guja] 【名詞】十五夜。

**じゅーさ** [zu:sa] 【名詞】[C] 『食』雑炊。【例】たか じゅーさ (鷹(サシバ)の具の入った雑炊)。

**じゅーばく** [zu:baku] 【名詞】重箱。

**しゅく** [çuku] ①【名詞】[C] 人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みたいな。【例】かぬ しゃくーぎやー ゆらはん (あいつのことは許さない)。ういが しゃくがまんな でいんぬぎやー かしん (そんなやつにはお金は貸さない)。かいが しゅくがまうぎやー ばらいー すている (あいつのことは笑ってしまえ)。っづあが しゅくがまんな なうまい ひらいん (お前みたいなやつにはなにもできない)。かぬきやが しゅくがまんな まきん (あいつらなんかには負けない)。[変異] そうく。[類] しゃく。②【名詞】[C] ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。【例】ういが すかまー いつまい うぬ しゅく だら (彼の仕事はいつもその程度だ)。ばが たまー うん しゅくな (私の取り分はこれくらいか)。[変異] そうく。[類] しゃく。



**しゆく** [çuku] 【名詞】[C] 悪い習慣にはまって抜けられないこと、悪い癖、またその人のこと。【例】からー さきぬんな しゆくかりやー いつまい でいんかいや しゆく（彼はいつも金に対する奴隷（ばくちなどにはまってお金を浪費する））。

**しゆく** [çuku] 【名詞】[C] 仕事。【例】ばー きゅーや しゆく とうみが（私は今日は仕事探しに（行く））。

**しゆくとうら** [çukutura] 【名詞】公務員、会社員などの給料取り、サラリーマン。【例】しゆくとうらたがどう みやーすかい（給料取りが生活は楽だ）。

**しゆしゃー** [çuçɑ:] 【名詞】[C] 緊張状態。【例】うらー いつまい みどうんぬ みーきゃー しゆしゃーん なりゅー（彼はいつも女性を見たら緊張する）。

**しゆび** [çubi] 【名詞】[B] マグロ。【例】しゆびの っぞう なます（マグロの刺身）。[変異] しび。

**じゆふぎ** [zufugi] 【名詞】[C] 『植』デイゴ。[変異] じゆふず。

**じゆふず** [zufuzi] 【名詞】[C] 『植』デイゴ。【例】じゆふずぎー（でいごの木）。[変異] じゆふぎ。

**じゆり** [zuri] 【名詞】[B]（遊郭の）遊女。【例】さかぬ やーんいきー じゆりゅー かう（料亭に行って遊女を買う）。

**じゆるん** [zurun] 【動詞】[m 語幹] [C] 騙す、騙し取る。[変異] じるん。

**じゆんていー** [zunti:] 【副詞】ちゃんと、はっきりと。【例】やんな じゆんていー なうりーどう（病気はちゃんと直っている）。ばー うちーぎやー じゆんていー っしーどう（私はそれがはっきりと分かる）。

**じよ** [zo] 【感動詞】『間投詞』動作を誘うときにいう、さあ。【例】じよ いかでい（さあ 行こう）。じよ ふあーでい（さあ 食べよう）。ゆくいにやーんば じよー すかまう すきやきでい（休んだから、さあ 仕事を始めよう）。[変異] じよー。[類] じよーはい。

**じよー** [zo:] 【感動詞】『間投詞』動作を誘うときにいう、さあ。[変異] じよ。

**しよーじき** [çoziki] 【形容詞】正直。

**じよーはい** [zo:hai] 【感動詞】『間投詞』動作を誘うときにいう、さあ。【例】じよーはい いかでい（さあー 行こう）。[類] じよ。

**しよじよ** [çozo] 【名詞】[C] 若い独身女性（15歳位から20歳位）。

**しら** [çira] 【形容詞】[C] お産したての。【例】しらぬーま（お産したての馬）。しらいん（お産したての犬）。しらどうい（しら鳥）。しら わー（お産したての豚）。しらぼう（お産したてのへび）。

**しらやー** [çiraja:] 【名詞】お産したての家。【例】しらやーんかいや みどうんんまたが ってい ンまつふあう みばかい（出産直後の家には女性たちが来て母子を見守る）。

**しらゆー** [çiraju:] 【名詞】お産して間もない頃に親戚、近隣に配るお粥。【例】っふあぬ ンまいていがー しらゆーゆ うとうじゃんみんかい むちー まーい（子供が生まれたらお産のお粥を配って回る）。

**しる** [çiru] 【名詞】[C] 精液。【例】ていんまらーひー しるー いだす（自慰行為で精液を出す）。

**じるん** [zirun] 【動詞】[m 語幹] [C] 騙す、騙し取る。【例】ばー やなびとうん でいんな じるまいにやーん（私は悪人にお金を騙し取られた）。でいんぬ じるん（金を騙し取る）。かいが でいんぬぎやー じるみ すている（彼の金を騙し取れ）。[変異] じゆるん。

**しわ** [ɕiwa] ㊦【名詞】[C] 心配。[変異] しば。  
㊧【形容詞】[C] 心配だ。[変異] しば。

**しんか** [ɕiŋka] 【名詞】[C] 仕事仲間、(船の) 乗組員、メンバー、遊び友達。【例】ばんていが ふにぬ しんかー んなない かないむぬ (私たちの船乗り仲間はみんなよく仕事ができる)。さきぬんしんか (酒飲みの仲間)

**しんき** [ɕiŋki] 【名詞】[C] フィラリア、フィラリアの震え。【例】しんきぬ うくりゅー (フィラリアの震えが起きている)。

**しんぎり** [ɕiŋgiri] 【名詞】切り干し大根。

**しんどう** [ɕindu] 【名詞】[C] 船頭、船長。  
[類] しんどう。



# す

**すー** [si:] ①【動詞】[s/ss 語幹] [A] (腹が) 減る。

【例】ばたぬ すー (お腹が減る)。②【動詞】[ss 語幹] [A] (潮が) 引く。【例】むいとう そーぬ すーていがー さんしんばなりたーひーまい あいきー いかいどうす (大潮になるとサンシンバナリまで歩いて行ける)。そーぬ っしーから っしん<sup>ん</sup> かい いかでい (潮が引いてから潮干狩りに行こう)。そーぬ っさし、そーぬ っさだかー っしんかい ურიらい<sup>ん</sup> (潮が引くまで待て、潮が引かないと岩礁には行けない [＜潮を引かせろ])。]

**すー** [si:] 【形容詞】[B] 酸っぱい。 [変異] そー。

**すー** [si:] 【動詞】[s/ss 語幹] [A] 小便をする。  
【例】すばいゆ すー (おしっこをする)。

**すー** [si:] 【動詞】[s/ss 語幹] [A] 擦って擦り傷を作る。【例】すまー とうい うとうい ていっぐあーいー うじゃー すーたい (相撲を取っていて、投げられて腕を擦りむいた)。ぎひつぬ はーひ どうーぬ かーゆ っさいたい (ススキの葉で皮を擦って擦り傷を受けた)。

**すー** [si:] 【動詞】[s/ss 語幹] [A] 知る ; 分かる。  
【例】かいが なーゆぎゃー っしーどうーな (あいつの名前をしってるかい)。ばー っさん (私は {知らない / 分からない})。かりゃー なくゆまい すーじゃうず (彼は何でもよく知っている)。ばー っしゅーね (おれが知っているかよ [＞私が知ってるわけないでしょ])。つうあー かぬ みどうんぬゆぎゃー っしゅ

ーだら (お前、あの女の人のこと知ってるだろう)。たるまい すーんまー [誰も知らないんだよ [＜誰でもしってるかよ (反語)]]。ばー ურიゆーぎゃー じゅんていー っし (私はそれを明確に知っている)。つうあー うぬ すーがくぬ もんだいゆぎゃー すーどうすな (あなたはこの数学の問題が分かりますか)。つぎぬ ぼっさー なんじんどう ふーていー っしな (次のバスは何時に来るかわかりますか)。

**すー** [si:] 【名詞】[C] 巣 ; (噂などの) 発信源、またその人。【例】とういぬ すー (鳥の巣) うぬきゃが ふたーいや いつまい ひとつっじゃぬ すー (彼女たち二人はいつも人の噂の発信源だ)。

**すー** [si:] 【名詞】[B] 汁。【例】んー にー すーゆ すたん (芋の煮汁をこぼす)。

**すー** [si:] 【名詞】[C] 酢。【例】すーや そーーむぬ (酢は酸っぱい)。

**すー** [si:] 【名詞】[B] 水分、水気、汗。【例】すーや たいたいていー たらほうー (水滴をぽたぽたと垂らしている)。

**ずー** [zi:] 【名詞】[B] 文字 ; 勉強。【例】ばぬんな いみぐま ずーがまー かかいん (私には小さい字は書けない)。ずーゆ ならーす (勉強を教える)。

**ずー** [zi:] 【名詞】[C] 頭。【例】ずーや っふあつつひー ったかいー ばりーにゃーん (頭を鍬でなぐられてケガした)。かにが ずーや

ほうがなまい (カニの頭は大頭だ)。**[類]** かなまい。

**ずー** [zi:] **[名詞]** **[C]** 考え。【例】うなが ずー ずーやひー なうまい きみらいん (各人の意見が意見なのでなにも決められない [ > 各人の意見が違って ] )。かりゃー うなが ずーや ずーひぬ ひとうやいば なんとうがぶりん (彼は自分の意見が意見の人なので全然折れない [ < 自分の意見だけが正しいと思っている人だから ] )。**[類]** かなまい。

**ずー** [zi:] **[名詞]** **[B]** 土地、地面。【例】やーだま ずー (長男が引継ぐ先祖代々の土地)。がば ういびとうー ずーや つふいー どうーい (古老は腰が曲がって頭は地面に着くほどだ (古老は地面に噛みついて))。んす ずー (肥沃な土地)。いさら ずー (石ころだらけの土地)。

**ずー** [zi:] **[名詞]** **[C]** ススキ。【例】ずーん° なひー ぶーっじゅ すまい (すすきの葉でできた綱でサトウキビを縛る)。**[類]** ぎひつ、ぎすつ。

**ずーくまりや** [zi:kumarja] **[名詞]** 《古語》芋 [ < 土に籠っているもの ] 。**[類]** んー。

**すーじゅー** [si:zu:] **[名詞]** 物知り、知恵のある人。【例】ばんていが っぎー なうゆまい すーじゅー (うちのお父さんはなんでも知っている)。からー すーがくーぎゃー すーじゅー (彼は数学をよく知っている)。すーじゅーびとう (物知りで頭脳明晰な人)

**ずーじゅー** [zi:zu:] **[形容詞]** 頑固だ、意地っ張りだ。【例】ずーじゅー びとう (意地を張る人)。かりゃー ずーじゅーかいば ならーはいん (彼は頑固なので言うことを聞かない)。

**すーす** [si:si] **[動詞]** [s/h 語幹] **[C]** 擦り傷をつける。【例】ぎひつぬ はーひ どうーぬ かーゆ すーはいたい (ススキの葉で皮を擦って擦り傷を受けた)。

**すーす** [si:si] **[名詞]** **[B]** 赤肉。【例】わーぬ すーす (豚の赤肉)。

**すーつー** [si:tsi:] **[動詞]** [cc/tt 語幹] (魚、肉を) 切る。【例】あっちゃぬ ぶーや すーつちゅーぼ なうはだかーならん (下駄の鼻緒が切れているので直さないといけない)。っざらひー ぶうーっじゅ すーってい (鎌でサトウキビを切れ)。っざらひー ていーゆ すーつーたい (鎌で手を切った)。やらびゃー いとうー すーっていー はりーにゃーん (こどもは糸を切ってしまった)。**[変異]** すーつつ。

**すーつつ** [si:ttsi] ① **[動詞]** [cc/tt 語幹] (ものや糸が) 切れる。**[変異]** すーつー。② **[動詞]** [cc/tt 語幹] (魚、肉を) 切る。**[変異]** すーつー。

**すーとうず** [si:tuzi] **[動詞]** [g 語幹] (使いすぎて) 擦り切る。【例】ずぼんな すーとうがいー あなー あきーにゃーん (ズボンは擦り切れて穴が開いた)。

**ずーぱ** [zi:pa] **[名詞]** **[C]** 簪 (かんざし)。【例】ぱーや ずーぱう さす (おばあさんは簪を差す)。

**すーはがい** [si:hagai] **[動詞]** [母音語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車などが) すって傷がつく; (皮膚が) 擦り剥ける。【例】たうりー はっじゃ すーはがいにゃーん (倒れて足をすりむいてしまった)。ぎすつぬ はーん すーはがいにゃーんてい まないん あいき (すすきの葉ですりむかないように気を付けて歩きなさい)。んつん たうりー みはなー すーはがいにゃーん (道に転んで顔を擦り切った)。すまー どういー うでいぬ かーや すーはがいにゃーん (相撲を取って腕の皮が擦り剥いた)。**[変異]** すーぱがい。**[類]** すーはず、すーぱぎ。

**すーぱがい** [si:pagai] **[動詞]** [母音語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車などが) すって傷がつく; (皮膚が) 擦り剥ける。**[変異]** すーはがい。**[類]** すーはず、すーぱぎ。

**すーはぎ** [si:hagi] 【動詞】[母音語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車などが) すって傷がつく；(皮膚が) 擦り剥ける。[変異] すーぱぎ。

**すーぱぎ** [si:pagi] 【動詞】[母音語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車などが) すって傷がつく；(皮膚が) 擦り剥ける。[変異] すーはぎ、すーぱず、すーはず。[類] すーはず、すーはがい。

**すーぱぎ んだい** [si:pagi ndai] 【名詞】擦り傷。【例】すーぱぎんだいんかい っそういゆぬい (かすり傷に薬を塗る)

**すーはず** [si:hazi] 【動詞】[g 語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車などが) すって傷がつく；(皮膚が) 擦り剥ける。[変異] すーはず、すーはがい、すーぱがい。[類] すーぱぎ、すーはがい。

**すーぱず** [si:pazi] 【動詞】[g 語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車などが) すって傷がつく；(皮膚が) 擦り剥ける。[類] すーぱぎ。

**すーまん** [si:man] 【名詞】小満 [太陽暦で5月21日ごろ、旧暦で4月の中頃。24節気のひとつ]。

**すーや にゃーん** [si:ja njam] 【成句】隙間なく密集している。【例】ふにゅーや すーや にゃーだ すだりんきーどう (みかんが隙間なく鈴なりになっている)。

**すーん ない** [si:n nai] 【成句】水泡 (水滴) のように消え失せる。【例】うぬきやが うやきゃー んなない すーんなりー にゃーん (この人たちの富は水の泡となって消えていった)。

**すいひ** [si:hi] 【名詞】[C] 肥溜めの水肥。

**すいひだみ** [si:hidami] 【名詞】肥溜め。

**すかーらす** [sika:rasi] 【動詞】[r/rr 語幹] 無駄遣いする。[類] すきゃーい。

**すがい** [sigai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 痩せ衰える、苦しみやつれる。【例】つむー やみどうすがりゅー (心を痛めて痩せ衰えている)。

**すがい** [sigai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (人に) 縋(すが) りつく。【例】んまんかい すがりんきー がんない (母親に縋り付いて駄々を捏ねる)。あいや ひとつんかいや すがらん (そんなには人にすがりつかない [すがりついてはいけない])。[変異] すがり。

**すかかい** [sikakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 混み合う。【例】きゅーや まっちゃんな ひとつぬどう すかかいゆ (今日は店には人が混み合っている)。きゅーぬ ぼっさ すかからっだん (今日のバスは混んでいなかった) きゅーや ひとつー みーんば まっチャー すかかいんはず (今日はひとつがいなくて混んでいないはずだ) [変異] すきゃかい、しかかい、っさかい。[類] すかかい (母音語幹)。

**すかかい** [sikakai] 【動詞】[母音語幹] 混み合う。[類] すかかい (r/rr 語幹)。

**すかす** [sikasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 鋤で耕す。【例】はいゆ すきひー すかす (畑を鋤で耕す)。[類] かでい。

**すかす** [sikasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 騙(だま)す。【例】かりゃー やなじゃい やいばかいんな すかはいな (彼はうそつきなので彼に騙されるな)。あいや ひとつーぎゃー すかはん (そんなに人を騙さない [騙してはいけない])。

**すがた** [sigata] ①【名詞】[B] 姿、恰好。【例】ぱーが すがたぬどう ゆみん みーらいうたい。(おばあさんの姿が夢に見られた)。②【名詞】[B] 本性、態度、振る舞い、言動。【例】かいが すがたうぎゃー きゅーどう みー (彼の本性を今日こそ見る)。かいが すがたーみーにゃーんば んめ かいが まいんかいや いかじゃーん (彼の(私に対する)態度、振る舞いを見たからもう彼の所には行かない)。

**すかたい** [sikatai] ①【動詞】[r/rr 語幹] (皮膚の皮が老齢などで) 垂れ下がる。【例】ういびとう ないていがー かーや すかたりーどうー (年取ったら皮膚の皮は垂れ下がっている)。  
 ②【名詞】(顔、体の皮等が) 垂れ下がること、皺、皺くちやの様子。【例】かーぬ すかたい (皮膚の皺) つうあが ぬどうぬ すかたいゆ かがんひー みーみーる (あなたの首の皺くちやのようすを鏡で見みなさい)。かいが みはなんな すかたいや ならぬ ひていつまいにやーん (彼女の顔には皺がぜんぜんない)。うぬ っそういひー かーすかたいや ならぬ どうす (この薬で皮膚のしわくちやが治る)。

**すかま** [sikama] 【名詞】[C] 仕事。【例】すかまー にやーん (仕事はない)。くりやー ていーくばぬ すかま (これは不器用な人の仕事)。

**すかま** [sikama] 【名詞】[C] 昼間。【例】ばー きゅーや すかまー にやーんば すかまん ってい あそうび (私は、今日は仕事がないので昼間に来て遊びなさい)。[類] ひーま。

**すかみ** [sikami] 【動詞】[母音語幹] [C] (顔を) しかめる、(威張った感じで) 鼻をツンとする。「すかん」を参照。【例】はな すかみや (ツンとした仕草)。じょー すかまう すきやきでい (さー 仕事を始めよう)。[類] すかん。

**すがり** [sigari] 【動詞】[母音語幹] [A] (人に) 縋(すが)りつく。【例】まーぬ ひとうんかい すがりー まーいな (余り他人に縋りつく)。[類] すがい。

**すかん** [sikan] 【動詞】[m 語幹] [C] (顔を) 顰(しか)める、(威張った感じで) 鼻をツンとする。【例】みはなう すかみ (顔をしかめる)。[類] すかみ。

**すき** [siki] 【動詞】[母音語幹] [A] 供える。【例】うぼうずんみんかい むぬー すきる (先祖神に物を供えなさい)。

**すき** [siki] 【名詞】[C] 〔道具〕鋤(すき)(農機具)。

**すきじゅー** [sikizju:] 【名詞】供え物。【例】かんにがいんな すきじゅーゆ すきだかー ならん (祈願には供え物を供えないといけない)。[類] すきむぬ。

**すきなふ** [sikinafu] 【名詞】家づくりの無料奉仕、相互扶助の手伝い。【例】ほうかでいふつん やーや っちゅらはいにやーんば あちやー やー ふかつじゃー すきなふー ひーふいーさまてい (台風に家を壊されてしまったので明日家を建てるから手伝いをしてください)。やーふつ すきなつふ たぬん (家づくりの奉仕を頼む)。やーふつ すきなふー あす (家づくりの相互扶助の手伝いをする)。

**すきむぬ** [sikimunu] 【名詞】供物。[変異] すきじゅー。

**すきやーい** [sikja:i] ①【動詞】[r/rr 語幹] 無駄遣いする。【例】うぬきやー でいんな すきやーりーや むぬー ふあーいん (彼は金を使いすぎて、飯が食えない)。[変異] すかーらす。②【動詞】[r/rr 語幹] (家の中が) 取り散らかっている、(ものが) 散乱する。【例】うまぬ やーや すきやーりーどうーい (ここの家は(物が) 散乱しているよ)。うまぬ まっちやぬ むぬー すきやーりーどうー (ここの店の商品は散乱している)。

**すきやーい** [sikja:i] 【形容詞】(家の中が) 取り散らかっている、(ものが) 散乱して整理されていない。[類] すきやーり。

**すきやーらす** [sikjarrasi] ①【動詞】[s/h 語幹] 無駄遣いする。【例】うぬきやー でいんな すきやーらひーや むぬー ふあーいん (彼は金を使いすぎて、飯が食えない)。[類] すきやーい。②【動詞】[s/h 語幹] (家の中を) 取り散らかす、(ものを) 散乱させる。【例】むぬー すきやーらす (ものを散乱させる)。うまぬ く

ぴんぬぎやー ぱりー すきやーらひーすてい  
る((ストレス解消に)この瓶を割ってこなご  
なにしてみえ)。むぬーぎやー すきやーら  
はん(ものは散らかさない)。**[類]** すきやーい。

**すきやーり** [sikja:ri] 【形容詞】取り散らかっ  
た、整理されていない。【例】うまー すき  
やーり まっちゃん(ここは整理整頓されていな  
い店)。**[変異]** すきやーい。

**すきやか**い [sikjakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 混み  
合う。【変異】すかかい。

**すきやかす** [sikjakasi] 【動詞】[s/h 語幹] 急  
がせる、せかす。【例】まーぬ すきやかすな  
(余りせかすな)。

**すきやき** [sikjaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 始  
める。【例】みどうんみぬ ゆがたいゆ すき  
やきていがー んめ ゆさらびたーひー なま  
らん(女たちが話を始めたらもう夕方まで終わ  
らない)。ゆくにゃーんば じょー すかま  
う すきやきでい(休んだから(さあ)仕事を  
始めよう)。あらはなー つうあから すきや  
きる(最初はあなたから始めなさい)。

**すきやき** [sikjaki] 【名詞】[A] やり方、具合。  
【例】ぶばがまが すきやきやー かいだら(お  
ばちゃんのやり方はこうだ)。かいが すかま  
ー なうばいぬ すきやきが?(あの人の仕事  
(ぶり)はどんな具合なの?)。

**すく** [siku] 【動詞】[k 語幹] [C] 空く。【変異】  
すふ、そうつ、ふふ。

**すぐ** [sigu] 【副詞】直ぐ、直ぐに。【例】かり  
やー ひやーすていがー すぐ ぶどういどう  
す(彼ははやし立てたら直ぐに踊る)。

**すぐ ていびから** [sigu tibikara] 【成句】  
直ぐ後から、即座に。【例】ういびとう なり  
ー ひとつぬ はなっそうぎやー すぐていび  
から ばっしーどうーい(年取って人の話した  
ことを即座に忘れてしまう)。

**すぐい** [sigui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 出世する。  
【例】にんぎんな くすぬ あいだかー すぐ  
らいん(人は後押しがないと出世できない)。

**すぐす** [sigusi] 【名詞】[A] ひざ。【例】すぐ  
すからまい なたぬ いでいばかーい ほうか  
らすむぬ(膝から涙が出るほどうれしい(すご  
くうれしい))。ういびとう ないていがー す  
ぐすぬどう うんそうく やん(年を取ると足  
の関節が良く痛む)。すぐすぬどう やみゆー  
(膝が病んでいる)。

**ずくず** [zikuzi] 【名詞】[C] 『蔑称』(人が体が  
小さい人、チビ; 能力が低い人。【変異】ず  
ふず。

**ずくず** [zikuzi] 【形容詞】[C] 『蔑称』(人が体  
が)小さい; 能力が低い。【変異】ずふず。

**すくつ** [sikutsi] 【形容詞】[B] 粗雑な人、根性  
が悪い。【変異】そうくつ。

**すくつ** [sikutsi] 【名詞】[C] 粗雑な人; 粗末に  
すること。【変異】そうくつ。

**すくつ** [sikutsi] 【副詞】粗雑に(扱う)、乱暴に  
(扱う)。【変異】そうくつ。

**すくつな** [sikutsina] 【形容詞】粗雑だ、粗雑  
な、根性が悪い。【変異】そうくつな。

**すくつな** [sikutsina] 【名詞】粗雑な人; 粗末  
にすること。【変異】そうくつな。

**すくつな** [sikutsina] 【副詞】粗雑に(扱う)、  
乱暴に(扱う); (粗末に)する。【変異】そう  
くつな。

**ずくにや** [zikunja] 【名詞】[C] 『蔑称』(人が  
体が)小さい、また小さい人、能力が低い人。

**ずくにや** [zikunja] 【形容詞】[C] 『蔑称』(人  
が体が)小さい; 能力が低い。【類】ずまる。

**すぐりびとう** [siguribitu] 【名詞】優れた人、  
偉い人。【例】やぐみ すぐり びとう(凄く  
優れた人)。



**すす** [sisi] 【名詞】[B] 煤(すす)。【例】すすぬ あい やーんな っさいや つかん(すすのある家には白蟻はつかない)。[類] っふすー。

**すず** [sizi] 【助数詞】サトウキビ、芋等を数える単位。【例】んーぬ ひとつすず ふあうたい(芋を1個食べた)。[類] うず。

**すず** [sizi] 【名詞】[C] (サトウキビや芋などの)茎; 薪の束。【例】ぶーずぬ すず(サトウキビの茎)。ぶーっじゅ にじゅーすずひー ひとつたいゆ まるき(サトウキビを20本で一束をくくれ(〔>20本で一束にしる])かややーぬ くびゃー ぎすつぬ すずひどう ちゅっふあいゆー(茅葺家の外壁はススキの茎で作られている)。

**すず** [sizi] 【名詞】[C] 家筋、よいこと。【例】まんちゅーや まん やいば にんぎんぬ やーぬ すたん ういていがー すずうす あすちや(パパイヤは「万」なので人の軒下に生えたら家系が絶えるそうだ[パパイヤを軒下に植えるのは家系が絶えるので縁起が悪いというたとえ])。

**すず** [sizi] 【名詞】[C] 粒。【例】ほうすずあみ(大粒の雨)。たむぬ すず(薪)。

**すず うそー** [sizi usu:] 【成句】家の繁栄を阻む。【例】んつきぬ すたぬ まんちゅーぎーや すず うそー むぬ やいば っちゅひー すている(軒下のパパイヤの木は家の繁栄を阻むものだから切りすてしまえ)。[変異] すずうす、すずすー、すずうそー。

**すずうす** [siziusu] 【成句】家の繁栄を阻む。[変異] すず うそー。

**すずうそー** [siziusu] 【成句】家の繁栄を阻む。[変異] すず うそー。

**すずうそーい** [siziusu] 【名詞】精神的に抑えられること。【例】びきどうんな みどうん すずうそーいや ひらいどう はーひーん

すにーにやーん(夫は妻に精神的に抑圧されて早死した)。ほうすず まみ(大粒の豆)。

**すすず** [sisizi] 【動詞】[g 語幹] [A] 濯ぐ(すすぐ)。【例】つんぬ すずず(着物を濯ぐ)。つんな あらいぬ あとうんな すずぎ(着物は洗った後には濯げ)。

**すずすー** [sizisizi] 【成句】家の繁栄を阻む。[変異] すず うそー。

**すずだむぬ** [sizidamunu] 【名詞】枯れたススキの茎の薪。[変異] すだむぬ。

**すずだむぬ** [sizidamunu] 【名詞】枯れたススキの茎の薪。[変異] すだむぬ。

**すずみ** [sizimi] ①【動詞】[母音語幹] [A] 沈む。[類] すずん、つずん。②【動詞】[母音語幹] [C] しまう、整頓する。[類] すずん、つずん。

**すずん** [sizin] ①【動詞】[m 語幹] [A] 沈む。【例】ふにやー すずみー はりーにやーん(船は沈んでいった。あたくまん ふにやー すずみーにやーん(あつという間に船は沈んでしまった)。[類] すずみ、つずん。②【動詞】[m 語幹] [C] しまう、整頓する。【例】まかいゆぎゃー すずみ うき(お椀をしまっておきなさい)。むぬふあう だうーゆぎゃー すずみる(食器は片付けなさい)。やーゆ すずみる((散らかっている)家を片付けろ)。[類] すずみ、つずん。

**すたい** [sitai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 廃れる。【例】かまぬ きないや うんそうく うやきやー ひー そうるきゅーたいそうが んめ きばんふなりー すたりー はりーにやーん(あそこの家はとても金持ちで、がんばっていたが貧乏になってすたれてしまった)。[類] すたり。

**すだい** [sidai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 鈴なりになる。【例】ふにゅーや すーや にやーだ すだりんきーどうー(ミカンは密集してすずなりになっている)。

- すだき** [sidaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 育つ、巣立つ。〔変異〕すだつ、そくだつ、そくだき。
- ずだき** [zidaki] 【名詞】[C] 織物を織る際に模様をだすこと。
- すたさ** [sitasa] 【名詞】[C] 舅(しゅうと)、夫または妻の父。【例】すたさうまい すとうまうまい わいていー たかさ あっそう(舅も姑もちゃんと大切にしなさい)。
- すたさ** [sitasa] 【名詞】[C] 義理の父。〔変異〕すとうまっざ。
- すだす** [sidasi] 【形容詞】[B] 涼しい。【例】すだす かでいがま(そよ風)。きーぬ かぎゃー すだすむぬ(木の下は涼しい)。
- すだす** [sidasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 抱卵する。【例】とうぬかう すだほうー とういんなむすぬどう つぶ(抱卵中の鶏には虫がつく)。
- すたすた** [sitasita] 【オノマトペ】さっさと。〔類〕すたすたていー。
- すたすたていー** [sitasitati:] 【オノマトペ】さっさと。【例】すたすたていー あっそう(サッサとしなさい)。あかいゆぎゃー ゆまだすたすたていー あいき(アリを数えずにさっさと歩け[>止まらずに早く歩けという意味])。むぬーぎゃー すたすたていー ふあい(さっさと食べる)。〔類〕すたすた。
- すだすない** [sidasinai] 【名詞】涼しくなること。【例】すだすないがま ひーゆー((ちょっと)涼しくなっている)。なつんな きーぬ したーら すだす(夏には木の下辺りは涼しい)。
- すだつ** [sidatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 育つ、巣立つ。【例】んまー みーだ うらんまい っふぁー すだつどうす(母親はいなくても子供は育つ)。とういぬ すだつ(鳥が巣立つ)〔変異〕そくだつ。〔類〕すだき。
- すだき** [sidaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 育つ、巣立つ。〔変異〕そくだき。〔類〕すだつ。
- すたっさ** [sitassa] 【名詞】後輩。〔変異〕うつつそう。
- すだてい** [sidati] ①【動詞】[母音語幹] [A] 育てる。【例】たうかーっづぁー すだていぐりむぬ(一人っ子はそだてにくい)。うやどういぬ っふぁうどういがまう すだていー(親鳥がひなをそだてる)。〔変異〕そくだてい。②【動詞】[母音語幹] [A] (作物などが)育つ;(子供が)大きくなる、育つ。〔変異〕そくだてい。
- すたていー** [sitati:] 【オノマトペ】さっさと。〔類〕すたすたていー。
- すたばー** [sitaba:] 【名詞】下葉。【例】ぶーずぬ すたばーゆ かつ(サトウキビの下葉をむしり取る)。
- すたばらい** [sitabarai] 【名詞】嘲笑、小ばかにした笑い、見下した笑い。【例】うぬひとうー っづぁんな うらー ひらいんてい すたばらい ひー うたい(その人はお前にはそれはできないと小ばかにしていた)。ばー っづぁうぎゃー すたばらいや ひーどうー(私はお前を見下し笑いしている[>お前なんかに負けないぞという気持ちを表す])。
- すだま** [sidama] 【名詞】[C] じゅずだま(植物名)、イネ科の多年草。【例】すだますずぬみぬい(じゅずだまが実る)。
- すたみ** [sitami] 【動詞】[母音語幹] [C] 炊いた芋汁、塩煮などを鍋蓋を当てて捨てる。〔変異〕すたん。
- すたみー** [sitami:] 【名詞】見下すこと。【例】ひとうーぎゃー すたみーゆぎゃー ほうん(ひとを見下さない)。すたみー ひらいていがー にんぎんな うむっしっふぁにゃーん(上から目線で見られたら人間は面白くない)。

**すたらしや** [sitarasja] 【名詞】評判を下げる人。【例】なー すたらしや（名前を廃らす者）。

**すたらす** [sitarasi] ①【動詞】[s/h 語幹] 評判を下げる、悪く言う。【例】うとうじゃう すたらす ひとつ（親戚中の評判を下げる人）。かりやー ひとつっじゃぬ すー やいば いつまい ひとつー すたらす（彼女は人の噂の巣窟だからいつも人を悪く言いふらす）。②【動詞】[s/h 語幹] 蔑（さげす）む；惨めな思いをさせる。【例】あいや ひとつーぎやー すたらはん（そんなに人を蔑むな）。あいや とうずっふあんみゆーぎやー すたらはん（そんなに妻子に惨めな思いをさせるな）。

**すたん** [sitan] 【動詞】[m 語幹] [C] 炊いた芋汁、塩煮などを鍋蓋を当てて捨てる。【例】んーにーずーゆ すたん（芋の煮汁をこぼす）。[変異] すたみ。

**すつ** [sitsi] 【接尾辞】～好き。【例】あそーずつ（遊び好き、また、その人）。[変異] すふ。

**すつ** [sitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 好きだ。【例】まさいや みがうどう すつ（マサイはミガが好きだ）

**すつ** [sitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 鋤く。【例】はいゆ すきひー すつ（畑を鋤ですく）。[類] すかす。

**すつ** [sitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 敷く。【例】なうさうどう んつんかい すつ（石子を道路に敷く）。むっそー すき（筵を敷け）。[変異] すふ。

**すつ** [sitsi] 【名詞】[B] 時季。【例】ぶーずいび すつ（サトウキビを植える時季）。

**すっかかう** [sikkakau] 【動詞】[w 語幹] 引っかかる。【例】さるかぎーぬ んずん すっかかいーにやーん（サルカケミカンの木の刺に引っかかった）。

**すったーうー** [sitta:u:] 【動詞】[vv 語幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。[変異] すったうー。[類] すったーつづあす、すったーす、すっていつづあーす、すってい。

**すったーす** [sitta:si] 【動詞】[s/h 語幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。【例】うりゆぎやー すったーし（彼を引き離せ）。かいんな ばぬー すったつづあーはいん（（仕事や徒競争などで）彼には私を追い抜けない）。[類] すったーう、すったーつづあす、すっていつづあーす、すってい。

**すったーつづあす** [sitta:vvasi] 【動詞】[s/h 語幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。【例】んみや ひーちやがま あすきやー からー ばぬー すったーつづあすどうす（もうちよっとしたら彼は私を追い越すだろう）。ばーかいん すったつづあーはいにやーん（彼に追い越された）。[類] すったーうー、すったーす、すっていつづあーす、すってい。

**すったうー** [sittau:] 【動詞】[vv 語幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越す；（追い越して）差をつける。[変異] すったーうー。

**すっだむぬ** [siddamunu] 【名詞】枯れたスキの茎の薪。[変異] すずだむぬ。

**すったらす** [sittarasi] 【動詞】[s/h 語幹]（鼻などを）垂らす；（ふんどしのひも、ずぼんのベルトなどが緩んで）ずり落ちる。【例】やらびやー ぱんだいや すったらひー まーりゆー（子供は鼻を垂らしながら歩き回っている）。ずぼんぬぎやー すったらはだ まーり（ズボンをずらしたまま歩き回るな〔<ずらぎずに歩き回れ〕）。

**すってい** [sitti] 【動詞】[母音語幹] [A]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く、追い越

す；(追い越して) 差をつける。【例】んみや  
ひーちやがま あすきやー からー ばぬー  
すっていどうす (もうちょっとしたら彼は私  
を追いぬくだろう)。かいん たるーゆ すっ  
ていっさし (彼に太郎を追い抜かせよう)。**[類]**  
すていー、すったーう、すったーづあす、すっ  
たーす、すっていっづあーす。

**すっでい** [siddi] 【動詞】[母音語幹] [C] (骨  
の髄などを) 吸い取る；(人のお金などを) 吸  
い取る。【例】ほうにぬ ずーゆ すっでいる  
(骨の髄を穿れ(吸引しなさい))。ひとうーぎや  
ー まーぬ すっでいだうり (他人をあまり搾  
取するな)。かりゆーぎやー すっでいー う  
どうかし (彼を(金、財産を) 吸い取れ)。ばー  
ぱちんこんきー すっでらいにやーん (私は  
パチンコに行ってきたくさんすった)。

**すっていっづあーす** [sittivva:si] 【動詞】  
[s/h 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追  
い抜く、追い越す；(追い越して) 差をつける。  
【類】すったーう、すったーづあす、すった  
ーす、すってい。

**すつなす** [sitsinasi] 【動詞】[s/h 語幹] 終わら  
せる。【例】さんじたーひー くぬすかまう  
すつなひー ふいーさまてい (3時までにこの  
仕事を済ませてください。 )。【変異】すてい  
なす。

**すつむてい** [sitsimuti] 【名詞】朝。 【変異】  
ひとうむてい。

**すてい** [siti] ①【動詞】[母音語幹] [A] 捨てる；  
なくす。【例】ばー やりずんぬぎやー す  
ていにやーん (私は古い着物を捨てた)。でい  
んぬどう すていーにやーん (金を無くした)。  
すてい じゃん ひらい (粗末にされる)。②  
【補助動詞】[母音語幹] (動詞連用形について)~  
してしまう。【例】ふあいーすている (食べて  
しまえ)。ばらいー すている (笑ってしまえ)。  
うるーぎやー あてい いばいかいば ばらい  
ーすている (彼は余りにも威張るので笑ってし

まえ)。っぞう なまつそうぎやー ふあいー  
すている (刺身は食べてしまいなさい)。ふあ  
いーすていーにやーん (食べてしまった)。ふ  
あいーすていーたい (食べてしまった)

**すでい** [sidi] 【動詞】[母音語幹] [C] 脱皮す  
る、生まれる、生まれ変わる、再生する。【例】  
すでいがん (脱皮した直後のカニ [殻が軟らか  
い])。すでいばう (脱皮したばかりのヘビ)。す  
でいみず (人間の子供を生まれ変わらせる水)。  
すでいみずがー (人間を生まれ変わらせる水の  
ある井戸)。

**すていー** [siti:] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (徒競  
争や学校の成績などで他を) 追い抜く；(追い  
抜いて) 差をつける。【類】すってい、すった  
ーう、すったーづあす、すったーす、すっ  
ていっづあーす。

**すていーうー** [siti:u:] 【動詞】[vv 語幹] (徒競  
争や学校の成績などで他を) 追い抜く；(追  
い抜いて) 差をつける。【例】うりゆぎやー  
すていーづい (彼を引き離せ)。【変異】すて  
いーうー。【類】すってい、すったーう、すった  
ーづあす、すったーす、すっていっづあーす。

**すていうー** [sitiu:] 【動詞】[vv 語幹] (徒競  
争や学校の成績などで他を) 追い抜く；(追  
い抜いて) 差をつける。【変異】すていーうー。  
【類】すってい、すったーう、すったーづあす、  
すったーす、すっていっづあーす。

**すでいがほー** [sidigaho:] 【感動詞】ありが  
とう。【例】やぐみ すでいがほー (大変あり  
がとうございます)。

**すでいがら** [sidigara] 【名詞】脱殻 (ぬけが  
ら)。【例】かんぬ すでいがら (カニの脱殻)。  
ほうぬ すでいがら (蛇の脱殻)。つみやぬ  
すでいがら (セミの脱殻)。【変異】すでいぐる。

**すでいぐる** [sidiguru] 【名詞】脱殻 (ぬけが  
ら)。【変異】すでいがら。

**すていじゃん** [sitizan] 【成句】 ないがしろにすること、大切にしないこと、存外に、粗末にあつかうすること、ほったらかしすること。  
【例】 むぬーぎゃー すていじゃんぬぎゃー ほうん (ものを粗末にしない)。すていじゃんやらび (ほったらかされている子供)。ひとつー すていじゃん あすていがー ういが ばっちゅどう かうー (人をないがしろにしたらその罰を被る)。うぬ つふあー すていじゃんなひー そうだていらいたい (その子供はほったらかしにして育てられた)。

**すていなす** [sitinasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 終わらせる。 [変異] すつなす。

**すていらーす** [sitira:si] 【動詞】 [s/h 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く; 追い抜いて差をつける。 [変異] すていらす。

**すていらす** [sitirasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く; 追い抜いて差をつける。【例】 むいとう すていらーはいどうー (差をつけられすぎた)。[変異] すていらーす。[類] すってい、すったーう、すったーぐあす、すったーす、すっていぐあーす。

**すとうい** [situi] 【形容詞】 [B] 湿っぽい。【例】 あみふーぬ とうきゃんな すとういむぬ (雨降りの時には湿っぽい)。[変異] すぶたい。

**すとうい** [situi] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 湿る。  
【例】 あみゃー つふいどう はいや すとうりーゆー (雨が降って畑が潤っている)。

**すとうま** [situma] 【名詞】 [C] 姑 (しゅうとめ)、義理の母。【例】 すとうまー いつまいんまがう かなっさ あす (姑はいつも孫をかわいがる)。[変異] すとうまんま。

**すとうまうや** [situmauja] 【名詞】 義理の父。  
[変異] すとうまっざ。

**すとうまっざ** [situmazza] 【名詞】 義理の父。  
【例】 ばー すとうまっざうぎゃー うとうる

す (私は義理の父が怖い)。[変異] すとうまうや、すたさ。

**すとうまんま** [situmamma] 【名詞】 姑 (しゅうとめ)、義理の母。 [変異] すとうま。

**すとうむてい** [situmuti] 【名詞】 朝。【例】 すとうむてい うきーていがー すぐ ぬーまぬ っさ かが (朝起きたら直ぐに馬の草刈りに (行く))。[変異] ひとつむてい。

**すな** [sina] 【名詞】 [C] 品、品格、品位、風格。  
【例】 すなかぎ ぶどうい (品のある踊り)。すなかぎ みどうん (上品な女性)。すなーにやーんんまり (品性のない奴 [>どうしようもない奴])。

**すなーか** [sina:ka] 【副詞】 静かに、音を立てずに。【例】 やらびぬ にっづゆーば はずならうぎゃー いだはだ すなーかがま あいき (子供が寝ているから足音は立てずに静かに歩け)。

**すなーす** [sina:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 合わせる。  
【例】 やそうる ばずんかいは くっちゃ すなーはいん (大きい足には靴は合わすことはできない)。

**ずない** [zinai] 【名詞】 [C] 地鳴り、地響き。  
[変異] ずなり。

**すなう** [sinau] 【動詞】 [w 語幹] [C] (靴、服装等サイズが) 合う、(心が) 合う。【例】 くっちゃ すないー どうー (靴のサイズは合っている)。やそうる ばずん すなう くっちゃにやーん (大きい足に合う靴はない) [「やそうる」=一反(300坪)のこと]。うぬ ふくー いみかいば すなーん (この服はサイズが小さいので合わない)。しゅーが つむん すなう (主(あるじ)の心に合う)。

**すなす** [sinasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 亡くす、死なせる。【例】 ぱーや っうあが ンまー すなひー つむー やまひー うたい (おばあ

さんはおまえのお母さんを死なせて心を痛めていた。

**ずなら** [zinara] 【名詞】[C] 地響き。

**ずなり** [zinari] 【名詞】[C] 地鳴り、地響き。

【例】みゃーくずつんな うやたがどう ずなり  
あすっちゃーん あいつ（ミャークズツにはおじいさん達が地響きさせながら歩く）。[変異] ずない。

**すぬい** [sinui] 【名詞】[C] 《食》モズク。【例】

すぬいや なびーむぬ（モズクはすべすべしている）。[変異] そうぬい。

**すば** [siba] 【名詞】[B] 唇。【例】かりゃー

すばー だりー つむいでいー うたい（彼は下唇を垂らして怒っていた）。あつちゃーん  
すばー っさらはいにゃーん（熱いお茶に唇は曝された [＞熱いお茶に唇が当たった]）。ほうすば（厚い唇）。すたすば（下唇）。あーぎすば（上唇）。

**すばい** [sibai] 【名詞】[C] 《昆》コバエ（小さなハエ）。【例】なつん ないていがー すば

いがまぬどう ゆー いでいーふー（夏になるとコバエがよく発生する）。すばいがまぬどう  
いじゅー（コバエが発生している）。

**すばい** [sibai] 【名詞】[C] 小便。【例】すばい

ゆ すー（小便をする）。すばいゆ ふかす（小便を漏らす、失禁する）。すばい かじゃ（小便の臭い）。

**すばいづつん** [sibaizitsin] 【名詞】膀胱。

【例】すばい すーたかいば すばいづつんぬ  
ぱずきーはらっじゃう（小便をしたくて膀胱が破裂しそうだ）。

**ずばた** [zibata] 【名詞】[C] 地機（じばた）手

織り機的一种、地面に座って織るもの。【例】  
んきゃーんな ずばたひどう つんぬぎゃー  
うりゅーたいちゃ（昔は地機で着物を織っていた）。

**すばだら** [sibadara] 【名詞】下唇の垂れていること（人）。

**すばな** [sibana] 【名詞】[B] 山や海で絶壁になっているところ。

**すばびー** [sibabi:] 【名詞】口笛。【例】すば  
びーゆ ふつ（口笛を吹く）。ゆなかー すばび  
ーゆぎゃー ふかん（夜は口笛は吹かない [＞吹いてはいけない]）。

**すびー** [sibi:] 【名詞】[B] 《貝》子安貝、寶貝。

【例】まうきゃーいんどう すびーがまー う  
んそうく とうらいー（大浦湾で小さい寶貝はたくさんとれる）。

**すびに** [sipini] ① 【形容詞】[B]（噛みきれなくて）固い。【例】くぬ わーや なまにーわー

やいば すびにかいば かまいん（この豚は生煮えの豚だから固くてかめない）。② 【形容詞】[B] 粘り腰のある。【例】たかのはなー  
やぐみ すびに すまとうら（貴乃花は粘り腰のある関取だ）。

**すびゃー** [sibja:] 【形容詞】[B] 素早い。【例】

なうゆ あすみんまい すびゃー びとう（何をさせても素早い人だ）。やぐみ すびゃー  
びとう（とても動きの早い人だ）。かりゃー  
すかま すびゃー びとう（彼は仕事が素早い人だ）。

**すふ** [sifu] 【動詞】[k 語幹] [C] 空く。[変異]

すつ、そうつ、そうふ。

**すふ** [sifu] 【動詞】[k 語幹] [A] 敷く。【例】

むっそうー すふ（筵を敷く）。[変異] すつ。

**すふ** [sifu] 【接尾辞】～好き。[変異] すつ。

**すぶい** [sibui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 搾る。

【例】うすぬ つーゆ すぶい（牛の乳を搾る）。

**ずふず** [zifuzi] ① 【名詞】[C] 《蔑称》（人が体が

小さい人、チビ；能力が低い人。【例】か  
いがどう あぐたが なかんな んながーな  
ずふずかい（彼が同級生のうちで一番小さい）。

かりゃー ずぶず ずまるがま (彼は小さい背の低い人)。つづあー すかまー ひらいん ずぶず (お前は仕事のできないくずだ)。<sup>①</sup>【変異】 ずくず。<sup>②</sup>【類】 ずまず、ずまる。<sup>③</sup>【形容詞】 [C] 『蔑称』 (人が体が) 小さい; 能力が低い。

**すぶたい** [siputai] <sup>①</sup>【形容詞】 不潔な。【例】 すぶたい びとう (不潔な人)。<sup>②</sup>【形容詞】 (天気が) 湿っぽい。【例】 きゅーや あみゃー っふいぬ あとう やいば すぶたいむぬ (今日は雨の後だから湿っぽい)。<sup>③</sup>【類】 すとうい。

**すぶたら** [siputara] 【名詞】 不潔野郎。【例】 おい すぶたら うぬ すぶたい つんぬぎゃー はっでい (おい、この不潔野郎め、その汚れた服を脱ぎなさい)。

**ずふにや** [zifunja] <sup>①</sup>【名詞】 [C] 『蔑称』 (人が体が) 小さい、また小さい人、チビ、能力が低い人。【例】 ずふにやがま (小さいもの (人))。<sup>②</sup>【変異】 ずくにや。<sup>③</sup>【類】 ずまず、ずぶず、ずまる。<sup>④</sup>【形容詞】 [C] 『蔑称』 (人が体が) 小さい; 能力が低い。

**ずぶる** [ziburu] 【名詞】 [C] 頭。【例】 ほうずぶる (大きな頭)。<sup>①</sup>【類】 かなまい。

**すぶん** [sibun] 【動詞】 [m 語幹] [C] (植物が) 萎える、しぼむ。【例】 そうーや すぶみーにゃーん (野菜は (ふるくなって) しなっとなつてしまった)。きつぎんていー さきゅーたい はなー すぶみーにゃーん (きれいに咲いていた花はしぼんでしまった)。

**ずぶん** [zibun] 【名詞】 [B] 時分、頃、時期。【例】 くぬ まんごーや ふあう ずぶんなりーどー (このマンゴーは食べ頃になっている)。いつ ずぶん (行く時分)。ぶとう むつ ずぶん (結婚適齢期)。ゆい ふあい ずぶん (夕食を食べる時分)。んぬつ あいむぬー すん ずぶんな すなだかー ならん (命あるものは死ぬ時期には死ななければならない)。かりゃー ふー ずぶん なりーどー (彼は来る時

分になっている)。ぶーずまい いび ずぶんなりーどー (サトウキビも植える時期になっている)。

**すま** [sima] 【名詞】 [C] 故郷、村、集落、島。【例】 どうーぬ すま ひとつ (同郷の人)。くまー ばが ンまりずま (ここは私の生まれた村 (故郷))。びつずま (別の集落)。すまぬ そーじやっそうー いらう (村の役員を選ぶ)。

**すま** [sima] 【名詞】 [B] 相撲。【例】 すまとうりゃ (相撲取り)。すまう とうらでい (相撲をとろう)。

**すま ならす** [sima narasi] 【成句】 地面を鳴らす (ぐらい踊る)。【例】 みゃーくずっちゃ すまー ならし ンみゃいばよ (みゃーくづつは地面を鳴らしながらおいでくださいませ [みゃーくずつ歌詞 今なら「すまーならひー」となる])。

**すまーす** [sima:si] 【名詞】 島端、島裾、島が海と接して所。【例】 いらうぬ すまーすからどー ふにがまぬ みーらいゆー (伊良部の島端から小舟が見えている)。

**すまーた** [sima:ta] 【名詞】 ウエスト、腰回りの細くくびれている部分。【例】 しょじよがまぬ すまーたがま (若い女性のお腹のくびれ)。

**すまい** [simai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 括 (く) る、たばねる、縛る。【例】 ひんじやう くらはっじゃー ういが はっじゅ すまり (ヤギをつぶすので足を縛れ)。ぬーまぬ ン ならう ぎすつん すまい (馬の綱をススキに縛る)。っさう すまい (草を束ねる)。

**すまいふつ** [simaifutsi] 【名詞】 結び目。

**すまうさら** [simausara] 【名詞】 村の厄払い祈願の一つ。【変異】 すまうさら。

**すまうつ** [simautsi] 【名詞】 方言。【例】 くぬいぬ ばかむぬんみゃー すまうっちゅぎゃー まーぬー っさん (最近の若者たちは方言をあまり知らない)。<sup>①</sup>【変異】 すまふつ。

**すまうていあみ** [simautiami] 【名詞】(海で漁をしている時などに降る)大雨 (島が落ちて見えなくなるという意味)。【例】すまうていあみぬ つふいー すまー みーらいん。(大雨が降って、島が見えない)。

**すます** [simasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (水などを)汚れを沈殿させてきれいにする、澄ます。【例】ゆぐい みっじゅ すます (汚れた水をきれいにする)。みっじゅぎやー どうるー すまひーから ぬみ (水は泥を澄ませてから飲め)。

**すまづーほうつびじ** [simazi:hubbizi] 【名詞】『地名』礁、リーフの名前 [島尻の近くに位置する]。

**すまだてい** [simadati] 【名詞】村立て、集落の始まり。

**すまばき** [simabaki] 【名詞】島分け。【例】んすむらー いきまとう さらはまから すまばき ひらいたい (西原は池間、佐良浜から島分けされた)。

**すまばす** [simabasi] 【名詞】島と島との間 (の海峡)。【例】いらうとう いきまぬ すまばっさ ゆーかーま (伊良部と池間の島と島との間はとても遠い)。

**すまふさら** [simafusara] 【名詞】『祭礼』悪霊払いの祭事で、村の入口にナガミツジを張る。【例】すまふさらんな ながみつっじゅどう すまぬ はいーふつん はい (スマフサラには村に病気等の悪霊が入らないように村の入口にナガミツジを張る)。

**すまふつ** [simafutsi] 【名詞】方言。[変異]すまうつ。

**すまみ** [zimami] 【名詞】[C] 落花生。【例】すまみゆー ふあうていがー なまらいん (落花生を食べたら止められない)。

**ずまる** [zimaruru] 【形容詞】[C] 『蔑称』(人が体が)小さい。【例】うまぬ すまんな ずまるー みーん (この村には小さい人はいない)。【類】ずふにや、ずふず、ずくにや。

**ずまる** [zimaruru] 【名詞】[C] 『蔑称』(人が体が)小さい人、能力が低い人。【例】うまぬ すまんな ずまるー みーん (この村には小さい人はいない)。【類】ずふにや、ずふず、ずくにや。

**すみ** [sими] 【動詞】[母音語幹] [C] (顔、手を)洗う。【例】{みはなう/ていーゆ/どうーゆ/はっじゅ} すみー くー (顔を/手を/身体を/足を)洗って来い)。ひとうむてい うきや みはなう すみー (朝起きたら顔を洗う [<起きては])。

**すみ** [sими] 【動詞】[母音語幹] [A] 澄む。【類】すん。

**ずみ** [zimi] 【形容詞】[C] 快適である、最高、最高の、格好良い、素晴らしい。【例】くまー ずみ (ここは快適だ)。やぐみ ずみぎ やー (とても素晴らしい家)。

**ずみ** [zimi] 【接尾辞】(動詞基本形について)～心地がよい。【例】つつずみ (聞き心地が良い)。ぬーいずみ (乗り心地が良い)。ういずみ (居心地が良い)。

**ずみぎ** [zimigi] 【形容詞】[A] 心地良さそう、見事な、見た目がきれいな、心地よさそう、見事だ、見た目がきれいだ。【例】ずみぎ みどうん (壮麗で見事な女性)。きゆーぬ ぼくしんぐぬ しあいや ずみぎどう あたい (今日のボクシングの試合は最高だった)。

**ずみじや** [zimiza] 【名詞】[C] あばた、おどきのあともいう、あばたを馬鹿にしている場合もある。【例】くぬいや ずみじや やらびやー みーらいん (最近はおばたのあるの子供は見られない)。ずみじやー ほうがさぬ あとう



(ズミジャはおできの跡)。ほうりむぬ、くぬ  
ずみじゃ (馬鹿野郎)。

**ずみず** [zimizi] 【名詞】[C] ミミズ。【例】ず  
みっじゅ とういぬ ふあう (ミミズを鳥が食  
べる)。

**ずみゃー にゃーん** [zimja:nja:n] 【成句】  
気持ち悪い、(雰囲気が悪くて) 面白くない。  
【例】みんきゃー はーばすんかい っふあまら  
ひー ずみゃー にゃーん (するめが歯の間  
にはさまって気持ち悪い)。ん°ぬぬ うぐなーい  
や ずみゃー にゃーっだん (昨日の集まりは  
面白くなかった)。

**すみゃーす** [simja:si] 【形容詞】心地良い、気  
持ち良い、爽快な、爽やかな。【例】なつん  
からゆかん にゅーていがー すみゃーすむぬ  
(夏に床に直接に眠ったら心地良い)。きゅーぬ  
かじゃー すみゃーす かでいがま (今日の  
風は爽やかな風だ)。っそういや ぬみー ば  
たー すみゃーすふ なりーどうーい (薬を飲  
んでお腹の調子は良くなっている)。

**すむい** [simui] 【名詞】[C] 巣守、孵化しない  
で巣の中に残っている卵、巣籠。【例】すむい  
どうぬか (孵化しないで巣の中に残っている  
卵)。

**すむずま** [simuzima] 【名詞】『地名』下島、多  
良間・八重山諸島。

**すん** [sin] 【形容詞】[B] しみて痛い。【例】う  
ぬ っそういや すんかいば ならん (この  
薬はしみて痛い)。

**すん** [sin] 【動詞】[m 語幹] [A] (水などが) 澄  
む。【例】ひだが一ぬ みっじゃ すみーどう  
ー (ヒダガーの水は澄んでいる)。[類] すみ。

**すん** [sin] 【動詞】[n 語幹] [A] 死ぬ。【例】く  
ぬ みゃーくー あてい くーかいば すんば  
どう んぎゃーらい (現世は余りにも苦しいの  
で死ぬことで逃れられる)。っづあが くとう

ー あてい うむいやひどう すなっじゃうた  
い (あなたのことを思いすぎて死にそうだ)。ほ  
うりむぬー すなだかー なうらん (バカは死  
なないと治らない)。

**すん** [sin] 【名詞】[B] 墨。【例】すんひー か  
きゃー ずーや きゃーらん (墨で書いた文字  
は消えない)。すんしどう ぼが ずしどう  
しゅー ないたいよ (文字で学問で主になっ  
たよ (<墨で、自分の字で、四つのしまの主にな  
った [古謡「ゆすまの主」から])。]

**すんがた** [singata] 【名詞】死期の近いこと。  
【例】ういびとうー すんがた なりーどう (老  
人は死期が近くなっている)。[類] すんばた。

**すんつ** [sintsi] 【補助動詞】[k 語幹] [A] (形  
容詞の語幹、動詞基本形、動詞連用形、をとり)  
そのような状態になる [形容詞の語幹は最終  
母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」  
などのように「たん(に)」、「ん(に)」などを  
付けて結果状態を示すのが原則。【例】やー  
ゆ ちゅふ たみん ずーや っきたらー す  
んきー あい (家を作るために 土地を平らに  
してある)。やらびゃー んまー みーんば  
なす すんつ (子供はお母さんがいないので  
なっている [<泣く状態になっている]) たか  
たん なりー すんきー うい (高くなってい  
る)。まゆー まーくん なりー すんきー  
うい (猫は丸くなっている)。かりゃー ひどう  
んつきゃー ぬどうから あーぎゃー いでい  
ー すんきゅー (彼はひとより (高いので) 首  
から上は出ている状態だ)。[変異] つんつ。

**すんどう んがーい** [sindu ngai:] 【成句】  
(あまりにもつらくて) 死ぬことが逃れること、  
死んだ方がまし [「すんぬどう んがーい」と  
も言う]。【例】あいぬ くー とうくまん  
うりや んめ すんどう んがーい。(こんな  
に苦しいところにいるよりは死んだほうがまし  
だ)。

**すんばた** [simbata] 【名詞】死期の近いこと。

【類】すんがた。

**すんぱっじゃき** [simpazzaki] 【名詞】死に

損ない。【例】すんぱっじゃきんまり（死に損ない）。

**すんばてい** [simpati] 【名詞】死に物狂い。

【例】すんばちゃー ひー すかまひー まうきたい（死に物狂いで仕事して稼いだ）。

**ずんびやう** [zimbjau] 【名詞】淋病。

**すんぶり** [simburi] ① 【名詞】死ぬほどに惚れ

ていること、またその状態。【例】ばー っづあんかい すんぶりやー ひーゆー（私はあな

たに死ぬほど惚れている）。②【形容詞】べたぼれだ、べたぼれな。【例】からー むいとうぬみどうんかい すんぶりむぬ（彼は奥さんにべたぼれだ）。

**ずんみ** [zimmi] 【名詞】[B] 話し合い、議論。

【例】ゆびやー ゆながいたーひー うぐなーいぬ くとうー ずんみ あすたい（昨日は夜遅くまで集会のことを議論した）。

**ずんみじゃー** [zimmiza:] 【名詞】集会所、公

民館。【例】んきやーんな ずんみじゃーん うぐなーりどう すまー なうばい あすぼど う じゃうふ ないがていー はなっそう ひーうたいちゃ（昔は集会所に集まって、村をどうすればよくなるかと話をしたそうだ）。



# せ

せ [se] 【助数詞】 畝（一反（300坪）の10分の1）。 【例】 いっせ（1畝）。



# そ

そーしき [so:ciki] 【名詞】葬式。

そうー [su:] ①【名詞】[B] おかず。【例】ゆいぬ そー (夕食のおかず)。まうきやー いんきー ゆいが そー とういが (前の海 (大浦湾) に行って夕食のおかずを取りに (行く))。②【名詞】[B] 野菜。【例】そーゆ いびー (野菜を植える)。くとうっさ はいぬ そーや むいとう でいきーどうー (今年の畑の野菜は豊作だ)。

そうー [su:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] (苧麻の木の皮を繊維を取るために) 削ぎとる、(カンナで木の皮を) 削る、(穀類を) 脱穀する。【例】あーびぬ からひーどう ぶーゆぎやー そー (アワビの殻で苧麻の皮を削ぐ)。かなひー きーゆ そうっぐい (カンナで木を削れ)。まいぬ ほーや ていーひーや そうっぐあいに (稲の穂は手ではすけない [ > 脱穀できない])。

そうー [su:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 腐る。  
[類] そうっぐい。

そうー [su:] 【形容詞】[B] 酸っぱい。【例】そー ふにゆーや ふあいー はーや びぐあっぐいー どうーい (酸っぱいミカンを食べて歯にしみている)。  
[変異] すー。

そうー [su:] 【動詞】[vv 語幹幹] [C] 走る。  
【例】わいていー そうっぐい (一生懸命に走れ)。おい ほーりむぬ、まーぬ そーな (おい バカ者、余り走るな)。ぶーっじゃ ぬそーみや ちゃー そー (サトウキビを盗んだら一目散に走る)。

そうー [su:] 【名詞】[C] 冬瓜 (トーガン)。  
【例】そーや がばー (冬瓜は大きい)。

そうー [su:] 【名詞】[C] 潮、潮流 [複合語では「そう」]。【例】なまそう (小潮 [干満の差が小さいものを言う])。そーつ (大潮 [干満の差が大きいものを言う])。さがいじゅー (引き潮)。んていじゅー (満ち潮)。そーや ひきーどうー (潮は引いている)。そーや んていーどうー (潮は満ちている)。そーじゅー むぬ (潮流が速い)。

そうー [su:] 【名詞】[B] 『形式名詞』節を名詞化する形式名詞、「の」「こと」; 節を取って逆接を表す、「そうが」と同じ; 引用をする際に用いる、「(~いう) のには」。【例】やらびぬ ほーいふ ないそー やぐみ はーむぬ (こどもの大きくなるのはとてもはやい)。かいが やりぐるまん ぬーいたいそー ずみやー にやーっだん (あいつのおんぼろ車にのったが乗り心地が悪かった)。しーしーたが あいそー あいや あらんちゃ (先生がいうにはそうじゃないって)。ばが つふたいとうー かいあたい (私が聞いたのはこうだった)。  
[類] とうー、そうが。

そうー やい ーうい [su: jai ui] 【成句】動詞基本形についてそれぞれ別の動作をしている複数の人がいることを表す。「うい (いる)」は「あい (ある)」でもよい。【例】ふあうそー やい、ぬんそー やい ーうたい (食べている人も、飲んでいる人もいた)。ひんずそー

やい、ひんがんそうー やい あたい (逃げ  
る人も、逃げない人もいた)。

**そうー やい ひーうい** [su: jai hi:ui]

【成句】動詞基本形について 複数の人がそれぞれ別の動作をしていることを列挙する。「うい (いる)」は「あい (ある)」でもよい。一人の人の動作を列挙する場合は、「ばらいまい あす、なつまい あす」のように言う。【例】やらびんみゃー ばらうそうー やい、なつそうー やい ひーうたい (子供たちは笑ったり、泣いたりしていた)。いつそうー やい、ぬくいそうー やい ひーうい (行く人もいれば、残るもいた)。

**そうー んつ** [su: ntsi] 【成句】 [c/t 語幹] 潮

が満ちる。【例】んなーぎゃー そうーや んたん (まだ潮は満ちていない)。

**そうーうつ** [su:utsi] 【名詞】旧暦の1日、15

日頃の干満差が最も大きい時期。一年で潮の干満差が最も大きいのは新暦4~5月。旧暦3月3日は節句の行事になっている。。【例】そうーうつんな っしん<sup>ん</sup>かい いつ (旧暦3月頃の干潮時にはリーフで潮干狩りする)。**[変異]** そうーつ。

**そうーかう** [su:kau] 【名詞】『祭礼』(正月や

「きじゃい」(祭事)などに実家などに行って)ものを供えること、焼香、法事。【例】むとうやーんきー そうーかう あすが (本家に行ってお供え物をする)。そうーかう でいん (香典)。

**そうーかうやー** [su:kauja:] 【名詞】(ものを

供えに行く)実家、親戚の家。【例】きゅーや さうがつ やいば そうーかうやーんきー むぬー すきーくーでい (今日は正月なので実家に行ってものをそなえいってこよう)。ばーそうーかうんかい (私は法事に (行く))。

**そうーじゃ** [su:za] 【形容詞】[A] 羨ましい。

【例】つぎあー じゃうぶとうー むちー

そうーじゃ (あなたは立派な旦那を持って羨ましい)。ばー つぎあうぎゃー そうーじゃか  
いば ならん (私はあなたが羨ましくてならない)。

**そうーずがま** [su:zigama] 【名詞】小道。

【例】はいんかい そうーずがまう あいきー  
いつ (畑に小道を歩いて行く)。

**そうーつ** [su:tsi] 【名詞】[C] 旧暦の1日、15

日頃の干満差が最も大きい時期 一年で潮の干満差が最も大きいのは新暦4~5月。旧暦3月3日は節句の行事になっている。**[変異]** そうーうつ。

**そうーで** [su:de] 【助詞】『終助詞』自分の推論

をのべる、とくに根拠がなくてもいい。「~なんだよ」「だよね」。【例】あいそうーで (そうなんだよ)。ういが すかまー いつまい うぬしゆく そうーで (彼の仕事はいつもその程度なんだよ)。あいぬ やなつむっちゃ むちや だみそうーで (そんな悪い根性ではいけないんだよ)。ぶばがまが すきゃきゃー かいそうーで (おばちゃんのやり方はこうだ)。つぎあまい いたたいそうーでい (お前も行ったよね)。

**そうーてい** [su:ti] 【名詞】[A] 潮流。【例】か

まぬ そうーちゅーぎゃー まないん うーぎ (向こうの潮流は気を付けて泳ぎなさい)。**[変異]** そうーでい。

**そうーでい** [su:di] 【名詞】[A] 潮流。【例】

そうーでいぬ あい とうくま (潮流のあるところ)。**[変異]** そうーてい。

**そうーに** [su:ni] 【名詞】[C] 瘤 (こぶ)。

**そうーに** [su:ni] 【名詞】[C] 小舟。【例】そ

うーにん ぬーりー たくとういが (小舟に乗ってタコ取りに (行く))。**[類]** さばに。

**そうーひー** [su:hi:] 【名詞】干潮。【例】そ

うーや っしー そうーひー なりーどうー (潮

が引いて干潮になっている)。そうーひーんど  
う っしん<sup>ん</sup>かいや いつ (干潮時に潮干狩  
りに行く)。そうーひーんど う しなうぎやー  
とうい (干潮にハマグリをとる)。

**そうーます** [su:masi] 【動詞】 [s/h 語幹] 見せ  
びらかす、欲しがらす。【例】たかだいぐるま  
う ひとつんかい みしー そうーます (高価  
な車を見せて自慢する)。

**そうーみや** [su:mja] 【名詞】 [C] うらやまし  
く思っている対象の人。【例】つうあー そう  
ーみや (あなたのことが羨ましい)。

**そうーん** [su:n] 【動詞】 [m 語幹] [C] うらや  
ましがる。【例】あいや ひとつー そうーま  
ん (そんなに人のことをうらやましがらないも  
のだ)。ひとつんかい むぬーぎやー そうー  
まはん (人にもものを見せびらかさない [見せび  
らかしてはいけない])。

**そうーんつ** [su:ntsi] 【名詞】 満潮。【例】き  
ゆーぬ じゆーにっじゃ そうーんつ (今日の  
12時は満潮)。んなまー そうーんつ (今は満  
潮だ)。そうーんつん うーず (満潮に泳ぐ)。  
[変異] そうーうつ、そうーつ。

**そうい** [sui] 【動詞】 [母音語幹] [C] 連れる ;  
(に) 比例して。【例】うつなーんかい やら  
びやー そういー いつ (沖縄に子供を連れて  
行く)。うむくとうん そういどう なくまい  
ひらいー (能力次第で何でもできる)。

**そうい** [sui] 【名詞】 [C] 一緒にいること。【例】  
うぬきやが ふたーいや いつまい そうい  
(彼等二人はいつも一緒だ)。

**そうい** [sui] 【名詞】 [C] 同じもの、同じような  
もの、そっくり。【例】うぬ ふたーっちゃ  
そういぬ むぬ (その二つは同じもの)。うぬ  
きやが っざっふあー むいとう そうい (あ  
の父子はそっくりだ)。そうい ふたーい (似  
た二人)。

**そうい** [sui] 【動詞】 [母音語幹] [A] 加える、  
添える。【例】うるー ういんかい そうい  
る (これをそれに加えなさい)。かいが たま  
ー ひーちゃかいば っぞうー みから そう  
いる (あいつの取り分は少ないので魚を三匹付  
け足せ)。

**そうい** [sui] 【動詞】 [母音語幹] [A] 沿う、従  
う。【例】ぶとうとうん そういー ひとつみ  
まーり (夫に従って一緒に行動しなさい)。

**そうい** [sui] 【動詞】 [r/r 語幹] [C] (髪、草、  
紙)を (はさみ、鎌などで) 切る ; (ひげをカミ  
ソリなどで) 剃る [「(木を) 切る」は「きー」を  
使う]。【例】あかう そうい (髪を切る)。か  
やう そうい (茅を切る)。ひぎゆー そうい  
(髭を剃る)。あかうぎやー にーから そうり  
(丸坊主にしてくれ [＜髪を根から剃れ])。

**そういなうい** [suinaui] 【動詞】 [r/r 語幹] 一  
緒になって実を結ぶ (成功する)。【例】かぬ  
びきりやとう そういなうい (あの青年と一  
緒になって成功しろ)。

**そうが** [suga] 【助詞】 『接続助詞』 節をとって  
逆接を表す、「～が」、「～けれど」 [動詞の文終  
止の形につく]。【例】やーぬ かぎやー み  
ーがま くーがま とうみたいそうが なくち  
ゆんま とうみらいん (家の鍵は隈なく探した  
が全く見つからない)。ゆながい まちゆーそ  
うが かりやー いつがみまい くーん (長い  
間まっているが彼はいつまでも来ない)。さう  
がつ やいそうが どうすまい やらびんみ  
ていっじゆまい くーん (正月だが友達も子供  
たちでさえも来ない)。まちゆーそうが (待っ  
ているが)。ふあいゆーそうが (食べているが)。  
ばらいーゆーそうが (笑っているが)。あいき  
ーゆーそうが (歩いているが)。うーぎーゆー  
そうが (泳いでいるが)。

**そうがい** [sugai] ① 【動詞】 [r/r 語幹] [C] 装  
う、着飾る。【例】ばーたー かぎそうが いや  
ひー いでいー はたい (おばあたちは着飾っ



ででかけていった)。[類] そうがい (母音語幹)。  
 ◎【名詞】[C] 準備、支度、装い。【例】いんかいぬ そうがい (海への支度)。かぎ そうがい (きれいな装い [ > 出かけるまえにきれいに着飾ること])。やぐみ そうがい (すごいお洒落)。ひゃー そうがい (速い支度)。しゃり そうがい (お洒落な身仕度)。かぎずんな っちー かぎそうがいやひー ゆーいんかい いかでい (きれいな着物を着て着飾ってお祝いにいこう)。[類] そうぎやう。◎【形容詞】[B] (いつも) 着飾るのに時間がかかる。【例】みどうんみゃー あてい そうがいかいば まちゃいん (女性たちは余りにも着飾るので待てない)。

**そうがい** [sugai] 【動詞】[母音語幹] [C] 装う、着飾る。 [類] そうがい (r/r 語幹)。

**そうから** [sukara] 【形容詞】[B] 塩辛い。【例】そうから んつつー (塩辛い味噌汁)。んつつーや そうからかいば ぬまいん (味噌汁は塩辛いので飲めない)。

**そうから** [sukara] 【名詞】[C] 脛 (すね)。

**そうからぶに** [sukarabuni] 【名詞】脛骨。  
 【例】そうからぶにゃー ぼーるん ふぁーはいー いちゃかいば んびゃーいん (脛骨をボールをぶつけられて痛くて我慢できない [ < ボールに])。

**そうぎやう** [sugjau] 【名詞】[B] 姿、見かけ、恰好、踊る姿・歩く姿等の立ち居振る舞い。  
 【例】やぐみ じゃう そうぎやう (とても良い恰好だ)。かいが ぶどういや やぐみ そうぎやう かぎむぬ (彼女の踊りはとても品がある)。

**そうく** [suku] ①【名詞】[C] 人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みたいな。【例】かぬ しゃくーぎゃー ゆらはん (あいつのことは許さない)。ういが そうくがまん な でいんぬぎゃー かし

ん (そんなやつにはお金は貸さない)。かいが そうくがまうぎゃー ばらいー すている (あいつのことは笑ってしまえ)。つづあが そうくがまん な うまい ひらいん (お前みたいなやつにはなににもできない)。かぬぎゃが そうくがまん な まきん (あいつらなんかには負けない)。[類] そうく、しゃく。◎【名詞】[C] ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。【例】うんそうく あすたー んめ じゃうぶん あらんな (これくらいで十分じゃないかい)。すかまんかい んなまが そうく ふーぬが (今頃仕事に来るのか)。ういが すかまー いつまい うぬ そうく だら (彼の仕事はいつもその程度だ)。ばが たまー うん そうくな (私の取り分はこれくらいか)。[類] そうく、しゃく。

**そうく** [suku] 【名詞】[A] 底、低い場所。【例】いんぬ そうく (海の底)。そうくずー (低いところにある土地)。そうくにゃー (< そうくぬ やー、周りよりも低いところにある家)。

**そうく** [suku] 【名詞】[C] 〔魚〕アイゴの稚魚。  
 【例】そうくぬどう ゆりーつつちゅーい (アイゴの稚魚が海流に乗って寄ってきている)。

**そうぐ** [sugu] 【副詞】すぐに。【例】そうぐくー (直ぐに来い)。

**そうくー** [suku:] 【名詞】[B] 帯。【例】つんぬぎゃー そうくーひどう すまい (きものを帯で結ぶ)。かーそうくー (皮のベルト)。

**そうくい** [sukui] ①【動詞】[r/r 語幹] [A] ずれる。【例】つづあが ずぼんな そうくりー はりーにゃーん (お前のズボンはずり落ちかけてる) ②【動詞】[r/r 語幹] [A] 滑る。【例】うるー うまんかい そうくらし (それをそこに滑らせろ)。なびー どうくまん そうくりーにゃーん (すべすべした所で滑ってしまった)。

やらびゃー なびー どうくまん がらていー  
 そうくりーはりーにゃーん (子供はすべすべ  
 した所で滑ってしまった)。③【形容詞】[A] 滑  
 りやすい。【例】うまー なびーかいば そうく  
 いかいば ならん (ここは すべすべして よ  
 く滑ってしまう)。

**そうくがらす** [sukugarasi] 【名詞】〔食〕アイ  
 ゴの稚魚の塩漬け。【例】そうくがらっさ そ  
 うからむぬ (アイゴの稚魚の塩漬けは塩辛い)。  
 そうくがらっさ ろくがつぬ かんないと ひ  
 とうみ うていーふー (アイゴの稚魚は月の雷  
 と一緒に落ちてくる)。[変異] そうくがらそう。

**そうくがらそう** [sukugarasu] 【名詞】〔食〕  
 アイゴの稚魚の塩漬け。[変異] そうくがらす。

**そうくつ** [sukutsi] ①【形容詞】[B] 粗雑な人、  
 根性が悪い。【例】かいがどう んながーな  
 そうくつかい (彼が一番粗雑だ)。[変異] すく  
 つ。②【名詞】[C] 粗雑な人；粗末にすること。  
 【例】あいぬ そうくつや つかーいん (あんな  
 粗雑なやつは雇えない)。かりゃー そうくつ  
 びとう やいば なうゆどう かんがいゆー  
 ががら っさいん (あいつは粗雑なやつだから  
 何を考えているかわからない)。[変異] すくつ。  
 ③【副詞】粗雑に (扱う)、乱暴に (扱う)。【例】  
 むぬーぎゃー そうくつ あすな (物を粗末に  
 扱うな)。[変異] すくつ。

**そうくつな** [sukutsina] ①【形容詞】粗雑だ、  
 粗雑な、根性が悪い。 [変異] すくつな。[類]  
 そうくつ。②【名詞】粗雑な人；粗末にすること。  
 【例】むぬーぎゃー そうくつなうぎゃー  
 ほうだ あたらっさひー つかい (物を粗末に  
 しないで大切に使いなさい)。[変異] すくつな。  
 [類] そうくつ。③【副詞】粗雑に (扱う)、乱暴  
 に (扱う)；(粗末に) する。[変異] すくつな。  
 [類] そうくつ。

**そうくびー** [sukubi:] 【名詞】底冷え。 [類]  
 そうくひぐい、そくひぐる。

**そうくひぐい** [sukuhigui] 【名詞】底冷え。  
 【例】きゅーや そうくひぐいやひー っしか  
 いば ならん (今日は底冷えして寒くてならな  
 い)。ふゆ ないていがー そうくひぐい あ  
 す (冬になると底冷えする)。[類] そうくびー、  
 そうくひぐる。

**そうくひぐる** [sukuhiguru] 【名詞】底冷え。  
 [類] そうくびー、そくひぐい。

**そうじゃ** [suza] 【名詞】[C] 兄。【例】あに  
 そうじゃぬ むぬいゆぎゃー うっとうんみ  
 ゃー わいていー つきーならい (姉・兄の忠  
 告は弟・妹たちはしっかり聞いて身に付けなさい)。  
 そうじゃが むぬいゆぎゃー つき (兄  
 の言うことには従え)。

**そうじゃっそう** [suzassu] 【名詞】先輩たち、  
 村の役員、男の年長者。【例】うたきんな そ  
 うじゃっそうんみぬ むぬいゆぎゃー まさぐ  
 んていー つき (御嶽では先輩たちの話はちゃ  
 んと聞け)。すまぬ そうじゃっそうー いら  
 う (村の役員を選ぶ)。そうじゃっそうんみゆー  
 ぎゃー たかさ ほうだかーならん (年長者は  
 大切にしないといけない)。うっとうっそうん  
 みゃー そうじゃっそうんみぬ むぬいゆ つ  
 かだかー ならん (後輩たちは先輩たちにいう  
 ことに従わないとならない)。さきゅー そう  
 じゃっそうんかい つづ (酒を先輩に注ぐ)。

**そうだき** [sudaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 育  
 つ、巣立つ。 [変異] すだき。

**そうだつ** [sudatsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (作  
 物などが) 育つ；(子供が) 大きくなる、育つ。  
 【例】くぬはなー かぎんな そうだかん (こ  
 の花は日陰では育たない)。くとうっさ はー  
 さぬ まんごーぬどう そうだきゅー (今年  
 はたくさんマンゴーが育っている)。[類] そうだ  
 つ (c/t 語幹)。

**そうだつ** [sudatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [A] (作  
 物などが) 育てる；(子供を) 育てる。【例】く

ぬはなー かぎんな そっだたん (この花は日陰では育たない)。くとうっさ はーさぬ まんごーぬどう そっだちゅー (今年はたくさんマンゴーが育っている)。んまー みーだ うらんまい つふあー そっだつどうす (母親はいなくても子供は育つ)。**[変異]** すだつ。**[類]** そっだつ (k 語幹)。

**そっだつ** [sudatsi] **[動詞]** [k 語幹] [C] 育つ、巣立つ。 **[変異]** すだつ。

**そっだてい** [sudati] **[動詞]** [母音語幹] [A] (作物などが) 育つ; (子供が) 大きくなる、育つ。 **[例]** つふあうぎゃー まながん そっだてい (子供はちゃんと育てる)。**[変異]** すだてい。

**そっだてい** [sudati] **[動詞]** [母音語幹] [A] 育てる。 **[変異]** すだてい。

**そっつ** [sutsi] **[動詞]** [k 語幹] [C] 空く。 **[変異]** すつ、すふ、そっふ。

**そっつづあす** [suvvasi] **[副詞]** [s/h 語幹] 走る。

**そっつづい** [suvvi] ① **[動詞]** [母音語幹] [C] (炊いたコメ等が) 腐る、腐りかける。 **[例]** まいや そっつづいー どうーい (ご飯は腐っている)。② **[動詞]** [母音語幹] [C] 魚肉等が腐って、食べようとしたら唇等に痛みを感じる。 **[例]** つぞうー そっつづいー すばうまい さしーどうー (魚は腐っていて唇を刺すように刺激する)。うぬ つぞうー んめ そっつづいーどう (その魚はもう腐りかけている)。**[類]** さす。

**そっつづい** [suvvi] **[動詞]** [母音語幹] [C] 勢いよく走る。 **[例]** たやん そっつづい (力を入れて走れ)。**[類]** そっうー。

**そっつふい** [suffi] **[動詞]** [母音語幹] [C] 掬(すく)う; こそぐ。 **[例]** だいだまぬ つぞうー だぶひー そっつふいー とうい (ダイ

ナマイトでの密漁の魚を網カゴで掬ってとる)。**[類]** そっふー。

**そっでい** [sudi] **[名詞]** [B] 袖。 **[例]** つんぬ そっでい (着物の袖)。

**そっでいあん** [sudian] **[名詞]** **[道具]** 袖網 [漁網の両わきに、さらに補助的に取り付ける網]。 **[類]** きたあん。

**そっに** [suni] **[名詞]** [C] **[歌語]** 海の向こうの岩のような小さな島、漁師が魚を取る場所でもある。 **[例]** みゃーくぬ あやぐー そっにーずま (宮古の歌は沖の離れ小島までも(届くように) [古謡「とうがにあやぐ」三番より])

**そっぬい** [sunui] **[名詞]** [C] **[食]** モズク。 **[例]** そっぬいや なびーむぬ (モズクはぬるぬるしている)。**[変異]** すぬい。

**そっば** [suba] **[名詞]** [B] (正面ではない方向) 側。 **[例]** そっばみー あすな (よそ見するな)。ばが そっばんかい くー (私の側にこい)。

**そっば** [suba] **[名詞]** [B] **[食]** 宮古ソバ (そば粉でなくメリケン粉でできた麺)。 **[例]** じょ つさらんきー そっば ふあうが (平良に行って宮古そばをたべよう)。

**そっふ** [sufu] **[動詞]** [f/ff 語幹] [C] 空く。 **[例]** むぬー にゃーだ んぎー まっちゃー そっつふいー どうー (商品は減って店は空っぽの状態である)。**[変異]** すつ、すふ、そっつ。

**そっふー** [sufu:] **[動詞]** [f/ff 語幹] [C] 掬(すく)う; こそぐ。 **[例]** なびぬ すーゆ そっつふいー いだす (鍋の汁を掬ってだす) なびぬ そっくー そっつふいー いだす (鍋の底(のおこげを)をこそげてだす)。**[類]** そっつふい。

**そっまい** [sumai] **[動詞]** [r/rr 語幹] [A] 染まる; においがつく。 **[例]** つうあー かじゃー そっまりー ふさかいば なん (お前は臭

いがついて臭くてしかたがない)。っそう か  
じゃぬどう そうまりゆー (糞の臭がついてい  
る)。

**そうまりや** [sumarja] 【名詞】[C] 見染めた  
人、好きな人。【例】くりゃー ばがとうず、  
ばが そうまりや (これは私の妻です。見染め  
た人です)。<sup>[変異]</sup> そうみやりや。<sup>[類]</sup> そうみ  
やー。

**そうみ** [sumi] 【動詞】[母音語幹] [A] 染める。  
【例】あいひー つんぬ そうみー (藍で着物  
を染める)。

**そうみむぬ** [sumimunu] 【名詞】染物。【例】  
みゃーく じょうふー あいひぬ そうみむぬ  
(宮古上布は藍での染物)。

**そうみやー** [sumja:] 【名詞】[C] 見染めた人、  
好きな人。【例】くりゃー ばがとうず、ばが  
そうみやー (これは私の妻です。最愛の人で  
す)。<sup>[類]</sup> そうまりや (<そうまい (染まる))。

**そうむつ** [sumutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 背  
く。【例】あいや ひとつんかいや そうむか  
ん (あまりひとに背かない [背くな])。<sup>[類]</sup> そ  
うむき。

**そうら** [sura] 【名詞】[C] 先の方、先端部分。  
【例】きーぬ そうら (木のとっぺん)。そうら  
っそうがい (末広がり)。きーぬ そうらんど  
う かじゃー ふつ (木の先端に風は吹く [ >  
上に立つものに波風は立つ])。ぶーずぬ そう  
らう きー (サトウキビの先端を切る)。

**そうりんだい** [surindai] 【名詞】切り傷。  
【例】くまー ぎすつひぬ そうりんだいどー  
(ここはすすきで切った切り傷だよ)。

**そうるー** [suru:] 【動詞】[w 語幹] [C] 揃う。  
【例】やーじゃー んーな そうるいーどう (家  
族は皆揃っている)。

**そうるいどう かぎさ** [suruidu kagisa]  
【成句】(家族皆が)揃う事が一番良い。【例】

きゅーまい そうるいどう かぎさどー、やび  
とうーんな (きょうもみな一同に集まりすばら  
しいぞ、みなさん)。

**そうるかす** [surukasi] 【動詞】(座を)盛り上  
げて賑やかにさせる。【例】そうるつ びとう  
から ぶどうりー んーなう そうるかす (盛  
り上げる人から踊ってみんなを引き入れて賑や  
かにさせなさい)。

**そうるき** [suruki] 【形容詞】[B] (人がものご  
とに参加することに)積極的な、躍動的な、動  
的な、賑やかな、元気な；(場所が)賑やか。  
【例】からー むいとうぬ そうるきびとう (彼  
はとつても (物事に参加することに)積極的  
だ)。そうるき ぶどうい (動的な踊り)。くま  
んつきやー かまぬどう そうるきかい (ここ  
よりむこうのほうが賑やかだ)。<sup>[類]</sup> そうるつ。

**そうるき** [suruki] 【動詞】[母音語幹] [C] 元  
気よく頑張る、躍動する、そうるきー・そうる  
きん・そうるきる。【例】じょー やびとう  
ーんーな わいていー そうるきー みーでい  
(さあ 皆さん元気よく頑張ってみよう)。<sup>[類]</sup>  
そうるつ。

**そうるつ** [surutsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 積極  
的に参加する。【例】からー ぶどういとうき  
ゃんな ならからどう いつまい そうるきー  
ぶどうい (彼はいつも踊りの時は自分から積  
極的に参加する)。<sup>[類]</sup> そうるき。

**そうるみつ** [surumitsi] 【形容詞】清潔な。  
【例】くまぬやーや そうるみつ やー (この  
家は清潔な家)。<sup>[類]</sup> そうるき。

**そうん** [sun] 【動詞】[m 語幹] [A] 染める；染  
まる。【例】ぶーずんぬぎやー あいひどう  
そうみー (宮古上布は藍で染める)

**そうん** [sun] 【名詞】[C] 損。【例】ん°ぬー  
ばくちやーひー そうんな ひーにやーん (昨  
日博打で損をした)。

**そうんうー** [sunu:] 【動詞】 [b 語幹] (植物や生き物などが) 成長する、(体が) のびる、(道などが) のびる；(曲がったものを) のぼす；(道を) 延長する。【例】やらびゃー どうーや そうんび んきー なきゅーたい (子供は身動き一つせず泣いていた)。**[類]** そうんばす。

**そうんがん** [sunɡan] 【名詞】 家にある最も大きなお椀。 **[類]** そうんがんまかい。

**そうんがんまかい** [sunɡammakai] 【名詞】 家にある最も大きなお椀。【例】うやんかいや そうんがんまかいんかい むぬーぎゃー いりー みゃらし (おじーさんには一番大きなお椀に食事をいれて差し上げなさい)。**[類]** そうんがん。

**そうんつきゃー** [suntsikja:] 【接尾辞】 (動詞基本形に付いて) のよりも [そう (の、もの) +んつきゃー (よりは)]。【例】にんぎんな っじそうんつきゃー ふいーぼどう ほうから すかい (人間は貰うのより与える方が嬉しい)。

**そうんばす** [sumbasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (体を) 真っ直ぐにする；(釘など曲がったものを) のぼす；(道などを) のぼす。【例】くっそう そうんばす (腰を伸ばす)。かにふっじゅ そうんばす (釘をのぼす)。くまぬ んっちゅ っさらたーひ そうんばし (ここの道を平良まで伸ばせ)。

**そろばん** [soroban] 【名詞】 算盤。

# た

**だ** [da] 【接尾辞】動詞否定形「ん」の連用形。動詞未然形について、「～しないで、～せずに」を表す。【例】くるまぬ ういかだ んぎーにやーん（自動車が動かなくなった）。ゆみんかい いかだ やーん うたい（嫁に行かずに家にいた）。ぼっしだ ういきゃ なうゆまい ほうだかー ならん（何事も忘れないうちになんでもやらないといけない）。

**だ** [da] 【助詞】『終助詞』提題形について「～はどう？」という意味を表す。【例】っうあーだ（あなたはどうかの？）。

**たー** [ta:] 【接尾辞】動詞基本形について過去を表す接尾辞 [名詞述語の過去「名詞+だった」は「名詞+あたい」、形容詞述語の過去形は「形容詞語幹+かたい」で表す。 [変異] たい。

**だー** [da:] 【助詞】『終助詞』述語として使われる名詞について、「その程度だ」という意味を表す；「名詞+ん（に）」について、「～次第だ」を表す。【例】ういが かなまいや うぬし ゆくだー（彼の考える力はその程度しかない）。ばー でいんな うさきだー（私はお金はこれだけだ）。っうあんだー（あなた次第だ）。うぬ みどうんぬ とうっじゅ あす むぬー っうあんだー（その女の人を妻にするかどうかはお前次第だ）。びきどうんぬ すぐりーむぬー みどうんだー（男の出世は妻次第だ [みどうんだー＝みどうん+ん+だー]）。

**たーい** [tai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 熟睡している、眠りこけている；（酔っぱらうなどして）

正体不明である。【例】やらびやー たーいていがー んめ うきん（子供は熟睡したら起きない）。びゅーいー たーりーどうー（酔っぱらって眠りこけている）。にゅーたーりびとう（眠りこんだ人）。びゅーいたーりーどうー（ぐでんぐでんに酔っぱらっている）

**たーう** [ta:u] 【動詞】 [vv 語幹] [C] めまいがする、ふらふらする。【例】わーぬ あっうあー ふあいー たーっういーどうー（豚のあぶら肉を食べてくらくらしている）。さきゅーぬみー たーっういどうー（酒を飲んでふらふらする）。

**たーがみ** [ta:gami] 【名詞】タガメ、カメムシ、水生昆虫。【例】くぬいや たーまい にやーんば たーがみまい みーらいん（最近は田もないので、タガメもいない）。[類] たーぬかみ。

**たーす** [ta:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 無駄遣いする。【例】まーぬ でいんぬぎやー たーすな（あんまり金を無駄遣いするな）。みっじゅぎやー まーぬ たーはだうり（水を無駄使いするな）

**たーっづい** [ta:vvi] 【動詞】 [母音語幹] めまいがする、ふらふらする。 [類] たーう。

**たーっぞう** [ta:zzu] 【名詞】鮒（フナ）。【例】たーっぞう とうい うやがま（鮒を取るおじいさん [昔は鮒を取って薬にするために売っていた]）。[類] たーぬっぞう。

**たーな** [ta:na] 【助詞】（名詞のあと、格助詞のあとについて）それ以外はない、～しないこと

を表す、～だけ。【例】じゃう はなっそうたーな あっそう (いい話だけしなさい)。ていびゅーぎゃー みーだ まいゆたーな みーあいき (後ろを見ずに前だけを見て歩け)。まいたーな ふあーだ っぞうまい ふあい (ご飯だけでなく魚も食べる)。やらびんみたーな っちゅーたい (子供だけが来た)。っさらん かいたーな いったい (平良にだけ行った)。

**たーぬかみ** [ta:nukami] 【名詞】『昆』タガメ。

【例】くぬいや たーぬかみまい みーらいん (最近タガメも見えない)。**[類]** たーがみ。

**たーぬっぞう** [ta:nuzzu] 【名詞】鮒 (フナ)。

**[類]** たーっぞう。

**たーぬびー** [ta:nupi:] 【名詞】蛭 (ヒル)。

【例】たーぬびーん あかっちゃ ゆばいーにゃーん (蛭に血をすわれた)。

**たーひー** [ta:hi:] 【助詞】場所を表す名詞についてその場所まで (移動することを) を表す、

まで; 時を表す名詞についてその時間まで動作を継続することを表す; 時を表す名詞についてその時間に動作を終えることを表す、までに

**[時間を表す動詞につくときは、「～きや (時)」**

をつける]。【例】ばんちゃー うじゃーなーぬ ぶらたーひー いきゅーたい (私達はずっと遠くの保良まで行っていた)。みどうんみぬ

ゆがたいゆ すきゃきていがー んぬ ゆさ

らびたーひー (女性たちがおしゃべりを始めたらなんと夕方まで (終わらない))。さんじたー

ひー にゅー (三時まで寝る)。ばが ふーき

ゃたーひー まちゅーとうい ふいーさまてい (私が来るまで待っていてください)。さんじたー

ひー くぬ すかまう とうどうみ ふいー

さまてい (3時までこの仕事を済ませてください)。

**たーまい** [ta:mai] 【名詞】水稻。

**たーら** [ta:ra] 【名詞】[A] 俵。【例】あーだ

ーら (粟俵)。くみだーら (米俵)。まいだーら (米俵)。

**たーらぐー** [ta:ragu:] 【名詞】『祭礼』御嶽で

使われる言葉、お供え物を載せるため木の葉などをお盆の代わりにしたもの。葉の大きい「ゆなぎーぬはー」(ゆうなの木の葉) (「やらうぎーぬはー」(テリハボクの葉)「ばさぬはー」(芭蕉の葉)などが使われた。[「たーら」は「俵」からか]。

**たーらん** [ta:ran] 【成句】ありえない (話)。

【例】からー いつまい たーらんくとうー ずまん あす (彼はいつもありえないほら話を自慢する)。

**たーん°ん はず** [ta:n°n hazi] 【成句】大きな

足 [＜田を踏む足] (稲を植える前に田んぼを踏みこむが、大きい足はより効果的なので、その時に有利な大きな足のことを言う)。【例】たーん°ん はずひー たーゆ ン°ん (大足で田んぼを踏む)。たーん°ん はず びとう (とても足の大きい人)。**[変異]** たーん°ん ぱず。

**たい** [tai] 【接尾辞】動詞基本形について過去を表す接尾辞 [名詞述語の過去「名詞+だった」

は「名詞+あたい」、形容詞述語の過去形は「形容詞語幹+かたい」で表す。【例】きゅーや

はちじん うきたい (今日は8時におきた)。ひ

とうむてい ていびぬ んっちゅ あいつたい (今朝、裏の通りを歩いた)。くじゅー やぐみ

はーさ すかまう あすたい (去年とてもたくさん仕事をした)。**[変異]** たー。

**たい** [tai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] (酒を粟を口

で噛んで) 作る。【例】あーゆ かみー んっ

ちゅ たい (粟を噛んで神酒を作る)。

**たい** [tai] 【動詞】[母音語幹] [C] 腹を立てる;

(配偶者などに対し) やきもちを焼く; (配偶者などの愛人に) 嫉妬する。【例】とうっじゃ

ぶうとうぬ すかまー ほうんぼどう たい

ゆー (奥さんは旦那が仕事をしないので腹を立てている)。ばが みどうんな いつまい ば

ぬんかい たいーどうー (私の妻はいつもわたしにやきもちをやいている)。やーぬ とうっ

じゃ にごーんかいどう うんそうく たいゆー (家の妻が(旦那の)愛人にとっても嫉妬している)。

**たい** [tai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 「またう たい」の形で、(幼児や酔っ払いが)足元がふらつきながら歩く [「たい」単独では使わない] 「またたい」を参照。

**たい** [tai] 【名詞】 [C] 態度、考え。【例】うぬきゃが ふたーいや ゆぬたい (その二人は同じような考えや態度をしている)。

**だい** [dai] 【形容詞】 [B] なまけもの; だるい。【例】まさいや むいとうぬ だいむぬ (マサイはとても怠け者だ)。ぼー きゅーや だいかいば すまうぎゃー ほうじゃーん (私は今日はだるいので仕事はしない)。

**たいがいじゃんみん** [taigaizammin] 【名詞】 適当なやり方、いい加減なやりかた [〈たいがい+さんみん〉]。【例】たいがいじゃんみんぬぎゃー ほうだ まさぐん すかまうぎゃー あっそう (適当なやり方をせず、ちゃんと仕事をしなさい)。

**だいきし** [daigici] 【名詞】 怠け者、鼻持ちならない人 [〈代議士〉]。【例】すかまーひらいん なまだん だいきし (仕事のできない怠け者)。

**だいきや** [daikja] 【成句】 疲れるまで、時間が大分経過していること。【例】すかまー だいきや ひーにゃーん (仕事は疲れる程たくさんやった)。かいが はりーからー だいきや なりーどう (彼が帰ってからは大分時間は経過している)。

**だいさ** [daisa] 【名詞】 [C] なまけ癖。【例】かいが だいさー たるんまい ならーはいん (あいつのなまけ癖はだれにもなおせない)。

**だいしゃ** [daɕa] 【名詞】 [C] 《遊》ケンケンする (遊びの一つ: 一つの足を反対の手でもって

片足でけんけんする)。【例】じょ、んーなひー だいしゃう ほうでい (みんなでケンケン遊びをしよう)。だいしゃー ひー けんけん ぱーや ひーかーらー きりー あそうー (片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ)。

**だいずがだいず** [daizigadaizi] 【成句】 まさか、そんなことがあるのか。

**たいたい** [taitai] 【擬態語】 (よっぱらいや幼児が)足元がふらつきながら歩く様子を表す、ふらふら、よちよち。【例】やらびゃー たいたいてい あいつ (こどもがよちよちと歩く)

**だいだま** [daidama] 【名詞】 ダイナマイト。【例】だいだまー ぱずきーにゃーん (ダイナマイトは破裂した)。だいだまーい (ダイナマイトでの密漁)。

**だいだまーい** [daidamamai:] 【名詞】 ダイナマイトでの密漁。【例】だいだまーいやんぬつ ふあう (ダイナマイトでの密漁は命を奪う)。

**たいつき** [taitsiki] 【動詞】 [母音語幹] (相撲等でうわ手投げで人を)投げる、(ものを)たたきつける。【例】まさいや かにん たいつきらいーにゃーん (マサイはカニに投げられてしまった)。くぬ なうぬ みーんな ならん ばりまかいゆぎゃー たいつきーすている (この役立たずの割れ茶碗を叩きつけてしまえ)。

**たいていー** [taiti:] 【副詞】 ピタッと (くつつける)。【例】たいていー むったーらし (ピタッとくつつける)。

**だいばん** [daiban] 【名詞】 《魚》大型のカツオ。

**たいみつ** [taimitsi] 【動詞】 [k 語幹] 口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。【類】だいみつ、ぶいみつ。



**だいみつ** [daimitsi] 【動詞】[k 語幹] 口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。【類】たいみつ、ぶいみつ。

**だいむぬ** [daimunu] 【名詞】怠け者。【例】かりゃー すかまー ひらいん だいむぬ（彼は仕事のできない怠け者だ）。

**たいわんなーずつ** [taiwannazitsi] 【名詞】『植』紫カタバミ、四葉のクローバー。【例】たいわんなーずつちや なんとが うさはいん（四つ葉のクローバーはなかなか除草できない）。

**たいわんばるんな** [taiwambarunna] 【名詞】『生物』アフリカマイマイ。【例】たいわんばるんなー がぼー はるんな（アフリカマイマイは大きなカタツムリだ）。

**だう** [dau] 【形容詞】[C] 沢山ある。【例】うまんな なうまい だう（ここには何でも沢山ある）。かいがどう んながーな でいんな だうかい（彼が一番お金を沢山持っている）。

**たうー** [tau:] 【動詞】[vv 語幹] [C]（綱や綱を）手繰る、引き寄せる。【例】あんぬ たうー（綱を手繰り寄せる）。あんぬ たうぐい（綱を手繰りよせろ）。ん<sup>ろ</sup>なう たうぐい（綱を引き寄せる）。うりゅーぎゃー たうぐい すてい（彼を追い抜いてしまえ）。

**だうー** [dau:] 【名詞】[C] 道具。【例】だいだまー やなだうー やいば うりゅーぎゃー つかーだうり（ダイナマイトは危険な道具なのでそれを使うな）。かんにがいだうー（祭具）。さやふだうー（大工道具）。ふなだうー（船具）。まかいだうー（食器）。あそーだうー（遊び道具）

**たうい** [taui] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 倒れる。【例】まさいや かにん うさいー たうりーにゃーん（マサイはカニに押し倒された）。がらていー たうりー はりーにゃーん（崩れるよ

うに倒れた）。かでいふつんな きーぬ たうい（台風には木が倒れる）。たちやっでい あすきゃー みっふあまーいや ひー、たういぎかたい（立とうとしたらめまいがして倒れそうになった）。

**たうかー** [tauka:] 【名詞】一人、独り。【例】うまんな ばん たうかーどう うたい（そこには私一人だけがいた）。きゅーや たうかーや っさらんかい んめ たうかーや うるかにかいちゃ（今日は一人は平良に、もう一人はウルカ（砂川）に（行くん）だつてさ）。【変異】たうきゃー。

**たうかーなー** [tauka:na:] 【成句】1人ずつ。【例】たうかーなー たうかーなー ならーす（一人ずつ教える）。

**たうかーぬからだ** [tauka:nukarada] 【成句】ひとり残らず。【変異】たうかーぬくらだ。

**たうかーぬくらだ** [tauka:nukurada] 【成句】ひとり残らず。【例】やらび ういびとう たるーまい たうかーぬくらだ ゆーいんか いや とうむーし（子供も年寄りも一人残らずお祝いの席に招待しなさい）。【変異】たうかーぬからだ。

**たうかーびとう** [tauka:bitu] 【名詞】独り者。【類】たうかーむぬ。

**たうかーむぬ** [tauka:munu] 【名詞】独り者。【例】うりゃー とうっじゃ みーん たうかーむぬ（彼は奥さんがいない独り者だ）。【類】たうかーびとう。

**たうかーむぬい** [tauka:munui] 【成句】独り言。【例】かりゃー いつまい たうかーむぬいゆどう あす（彼はいつも独り言を言う）。【類】たうかーむぬゆん。

**たうかーむぬゆん** [tauka:munujun] 【成句】独り言。【類】たうかーむぬい。

**たうがに** [taugani] 【名詞】宮古民謡の一つ【「とうがに」とも発音する】。

**たうきやー** [taukja:] 【名詞】一人、独り。

[変異] たうかー。

**たうしんがー** [tauŋga:] 【名詞】南京袋、麻袋。

【例】たうしんがーゆ かっづいー にゆー (南京袋をかぶって寝る)。たうしんがーぶくる (南京袋)

**たうしんばい** [tauŋmbai] 【名詞】おたふく風邪。

【例】たうしんばいや いでいどう かまっちゃ ふくりゆー (おたふく風邪が出て頬は腫れている)。たうしんばいや ひどう みはなー ふくりゆー (おたふく風邪で顔が腫れている)。

**たうす** [tausi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 倒す、(サトウキビを)収穫する。

【例】ゆつひー きーゆ たうす (斧で木を倒す)。ぶーじゆ たうす (サトウキビを収穫する)。

**たうに** [tauni] 【名詞】[C] 豚に餌を与える容器。

【例】わーぬ ふあうむぬー たうにんかい いりー (豚の食べ物容器に入れる)。

**たうふ** [taufu] 【名詞】[C] 豆腐 [提題形(～は)は、「たうふー」、「たうっふあ」のどちらでもよい。目的格形(～を)も、「たうふー」、「たうっふ」のどちらでもよい]。

【例】あぎだうふ (揚げ豆腐)。たうふゆー (ゆし豆腐)。

**たうふがす** [taufugasi] 【名詞】オカラ [〈たうふ+かす]。

**たうふゆー** [taufuju:] 【名詞】《食》ゆし豆腐。

**たうみつ** [taumitsi] 【動詞】[k 語幹] しなる。

【例】っぞう つー さうや たうみきーどう (釣り竿はしなっている)。  
[変異] たうみふ。

**たうみふ** [taumifu] 【動詞】[k 語幹] しなる。

[変異] たうみつ。

**だうり** [dauri] 【名詞】[B] 道理、理由。【例】

だうりぬ あい むぬいゆ あっそう (理屈の通った話をしろ)。

**だうり** [dauri] 【成句】動詞の未然形について

禁止を表す [動詞否定形「ん」の連用形「だ」+「うい(いる)」の命令形「うり」]、～するな、～しないでいる。【例】ふあーだうり (食べるな)。なかだうり (泣くな)。あいかだうり (歩くな)。たちやだうり (立つな)。

**たうんぎ** [taunggi] 【名詞】《生物》オニヒトデ。

【例】たうんぎゆー ん<sup>°</sup>んていがー やなむぬ (オニヒトデを踏んづけたら大変なことになる)。たうんぎぬ つーづんな どくぬどうあい (オニヒトデの刺には毒がある)。

**たうんまばす** [taummabasi] 【名詞】《昆》蜂

の一種、ハラナガスズメバチ。【例】ばー ばかかいぎや たうんまばすん とうーいつからん ささいたい (私は若い頃スズメバチ 15 匹に刺された)。たうんまばすぬ すーゆ っざらひー ったきー みーていがー んまばっさうぐりー にやーん (スズメバチの巣を鎌で叩いてみたら蜂は攻撃態勢に入った)。

**たか** [taka] 【名詞】[B] 《鳥》サシバ。【例】た

かぬどう やぐみ はーさ まいゆー (サシバがとともたくさん舞っている)。うんどうかいぬ ずぶんどう たかー とうびーふー (運動会の時期にサシバは飛来する)。

**たか** [taka] 【名詞】[C] 高さ。【例】ていんぬ

たか (天の高さ)。やーぬ たか (家の高さ)。ばー かまぬ やまぬ たかうぎやー っさん (私はあの山の高さを知らない)。っづあー たかー いっかっさ (あなたの身長はどれくらいなの)。

**たか** [taka] 【形容詞】[B] (値段が、身長が、地上からの高さが) 高い。【例】たかだい (高価な) たかびとう (身長の高い人)。たかやま (高い山)。うだか (この高さ/この値段 [「くだか」ともいう])。

**だかー** [daka:] 【接続助詞】(未然形について)

否定の条件を表す (～しないと)。【例】なう

ががらんかい どうーゆ うからはだかー ばぬんな たちや うらいん (何かに身体を支えられていないと私には立って居れない)。いかだかー ならん (行かないといけない)。つづあが いかじゃーだかー ばんまい いかじゃーん (お前が行かないなら僕も行かない)。

**たかい** [takai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 集る、まとわりつく、病気にかかる。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどう (ミカンの木は枝が繁茂している)。ほうに たかい っぞう (小骨の多い魚)。さたんな あうばいぬどう たかりゆー (砂糖には銀蠅がたかっている)。まーぬ ばぬんかいや たかいな (余り私に纏わりつく)。やなやんな たかりーにやーん (悪い病気にかかった)。

**たかさ** [takasa] 【名詞】[C] 尊敬、崇拜。【例】ういびとうーぎやー たかさ ほうだかーならん (お年寄りには尊敬しなければならない)。

**たかだい** [takadai] 【形容詞】高価、高価な。【例】たかだい むぬ (高価な物)。たかだいぐるま (高価な車)。かまぬ まっチャー くまんつきやーまい たかだい (あそこの店はここより高い)。くまぬ まんごーぬどう んながーな たかだいかい (ここのマンゴーが一番高い)。

**たかっじゃー** [takazza:] 【名詞】屋号、高鍛冶屋。【例】たかっじゃーぬ しどう (タカッジャーの船長 [>ある人のあだ名])。

**たかはずばい** [takahazibai] 【名詞】赤ちゃんの四つ足歩き。【例】やらびやー たかはずばいゆ ひーゆー (子供は四つ足立ててハイハイしている)。

**たかはずびー** [takahazibi:] 【名詞】立ち座り [>しゃがんだ姿勢]。【例】たかはずびーや くーさぬ だいや にやーん (立ち座りは苦しさの代償はない [>いいことはなく疲れるだけ])。

**たかび** [takabi] 【動詞】[母音語幹] [A] 崇める、尊敬する、敬う。【例】ういびとうーぎやー たかびだかー ならん (年寄りには敬わないといけない)。

**たかま** [takama] 【名詞】[C] 『魚』トビハゼ。【例】たかま とうぬず (ジャンプしながら進む)。たかまー いすぬ はなん とうぬーぎー みーらい (トビハゼは岩の上に跳んでいるのが見られる)。

**たかんな** [takanna] 【名詞】『貝』高瀬貝 [かつては高級ボタンの材料だった、身は硬い]。【例】んきやーんな たかんなひどう たかだい ぼたんぬ ちゅっふーたい (昔は高瀬貝で高価なボタンを作っていた)。

**たき** [taki] 【名詞】[B] 身長；身分；程度；限度。【例】つづあが たきやー いかっさ (あなたの身長はどれくらいなの)。たきやー たらーいーどう (十分に成長している)。あいぬ たんちゃーゆぎやー たきゆーぎやー ほうだうり (そんな短気な者は相手にするな)。つづあー あてい すぐりかいば、ばが っふあー っづあとうや たきやー あらん (君はとても優秀なので僕の子は君の相手にはならない)。んまつまーゆぎやー たきゆーぎやー ほうん (バカは相手にしない)。かりやー うながたきゆーぎやー っさん ほうりむぬ (彼は自分の程度を知らない馬鹿者だ)。ほうりむぬと ゆぬ たきん ないな (馬鹿と同程度になるな)。ばんちゃー くーかいが たきやー ありどう くーかい (私達は苦しみの限界にあるので生活が苦しい。) [類] たかー。

**だき** [daki] 【助詞】だけ。【例】やらびやー なつだき なきや にっづいーにやーん (子供は泣くだけ泣いて眠った)。

**だきーまーい** [daki:ma:i] 【動詞】[r/rr 語幹] 一周する。【例】んっちゃ すまー だきーまーりゆー (道は島を一周している)。

**たきだき** [takidaki] 【名詞】(身分、富貴などで) 差別をすること。【例】ひとうーぎやー たきだきゆーぎやー ほうん (人を差別するな)。

**たきたらい** [takitarai] 【動詞】[母音語幹] 成長する(「丈が足りる」から)。【例】ういが たきたらいきやー みばかり (彼が大きくなるまで面倒を見る)。

**たきぬふす** [takinufusi] 【名詞】竹の節。

**たきほうどう** うい [takihudu ui] 【成句】 それなりの年齢に成長していること。【例】やらびやー んめ たきほうどう ういーどうー (子供はそれなりの年齢になり成長している)。

**たきやーならん** [takja:maran] 【成句】 相手にならない、相手にしない。

**だきやう** [dakjau] 【名詞】[C] ラッキョウ。【例】だきやうぬ つきなう っちゅっふあっじやー だきやうゆ っちゅっふいる (ラッキョウの漬物を作るのでラッキョウのひげ根などを切って下ごしらえをしる)。

**たく** [taku] 【名詞】[B] タコ。【例】たくぬ ていー (タコの足)。たくー いふから どうい だー (タコは何匹とったの?) かーきだく (タコの燻製)。ぐっとうーっとうとう たくぬて いーや っとうていー (ぐっとうーっとうとう タコの足は一足 [鳩の鳴き声をまねして数を数えながら遊ぶ歌、10まで数える])。

**たぐ** [tagu] 【名詞】[C] 『道具』箱メガネ、海の底の様子を見るための大きなメガネ、円筒形。【例】たぐひー いんぬ そうくぬ たくー とうみー (大メガネで海の底のタコをさがす)。たぐひー いんぬ なかう ぬさきーみー (タグで水中を覗いてみる)。たぐんかい みっじゅ いりー いんぬ そうくー みーやすふ あす (箱メガネ (の内側に) 水を入れて、海の底をみやすくする)。

**たくー** [taku:] 【動詞】[b 語幹][A] (布団、毛布等の寝具、着物)を片付ける。【例】ふとんぬ たくび (布団を片付けなさい)。[類] たくび。

**たぐい** [tagui] 【名詞】[C] 役割; 類 (たぐい)、種類。【例】うらー ならぬ たぐいまいにやーん (これは何の使い道もない)。うらー ならぬ たぐい やいば (それは何の類なのか)。

**たくっづあ** [takuvva] 【名詞】足が不自由で立って歩けない人。

**たくび** [takubi] 【動詞】[母音語幹][A] (布団、毛布等の寝具、着物)を片付ける。[類] たくー。

**たくみ** [takumi] 【動詞】[母音語幹][C] 騙す、陥れる、台無しになる。【例】かいが でいんぬぎやー たくみーすている (彼の金を騙し取ってしまえ)。かいいん でいんまい やーまい ならぬまい んない たくみらいーにやーん (彼に金も家も何もかも全て騙し取られた)。[類] たくん。

**たくみーふあう** [takumi:fau] 【成句】[w 語幹] 騙して食べ物にする。【例】かまぬ うやきやーや かいいん たくみーふあーいーにやーん (向こうの裕福な家はかれに騙されてくいものにされた)。

**たくん** [takun] 【動詞】[m 語幹][C] 企む、悪事を企てる、陥れる、謀る。【例】かりゆーぎやー たくみーすている (彼を騙してしまえ)。かなっさ ゆぬすん たくまいー うどうきーにやーん (カナスはユヌスに騙されて損をした)。かいいん たくまいー うっかー あみかっづいーにやーん (彼に騙されて借金をたくさん被った)。かいいん たくまいー すまー っづいー ふあーいーにやーん (彼の策略にかかって集落の共有地を売って取られてしまった)。

**たす** [tasi] 【動詞】[s 語幹][C] 加える。【例】うぬ さきやー ちゅーかいば んめ ひーち

やがま みっじゅ たし (その酒は強いからもう少し水を加える)。

**たず** [tazi] 【名詞】[C] 《植》ソクズ [庭などに自生し、乾燥させてお茶のようにして飲むと便秘薬として効果があるとされる]。

**たすき** [tasiki] 【動詞】[母音語幹][C] 助ける。  
[類] たすつ。

**たすつ** [tasitsi] 【動詞】[k 語幹][C] 助ける。  
【例】かいいん たすかいい なんとうが んぬつちや ぶいらいどうー (彼に助けられて何とか命はもらったようなものだ)。  
[類] たすき。

**たずな** [tazina] 【名詞】[C] 手綱 (たづな)。  
【例】ぬーまん ぬーい とうきやんな たづなうぎやー はなはん (馬に乗るときには手綱は離さない)。

**ただーていー** [tadati:] 【オノマトペ】水、物等がこぼれる様子、ジャー。 [変異] だだていー。

**ただつ** [tadatsi] 【動詞】[k 語幹][C] 訪ねる、付き合う。 【例】かりやー ゆーどう うとうじやうぎやー ただつ (彼は親戚とよく付き合いをする)。かりやー ひとうーぎやー ただかん (彼は人とは親交しない)。かりやー きゆーまい かじやーなーから ただきーつちゆーい (彼は今日も遠くから訪ねてきている)。  
[変異] ただふ。

**だだていー** [dadati:] 【オノマトペ】水、物等がこぼれる様子、ジャー。 【例】みっじゅ だだていー いたつ (水をジャーとこぼす)。  
[変異] ただーていー。

**ただ心** [tadafu] 【動詞】[k 語幹][C] 訪ねる、付き合う。 [変異] ただつ。

**たたん** [tatan] 【動詞】[m 語幹][C] (衣類・寝具を) 畳む。 【例】もーふー たたん (毛布を畳む)。

**たたん** [tatan] 【名詞】[B] 畳。

**だちやー** [datɕa:] 【接尾辞】(動詞基本形について) ほど、～くらい。 【例】あてい くーかいば すんだちやー あたい (とても苦しくて死にそうだった)。あいかいんだちやー だりゆーい (歩けないほど疲れた) [類] だちやーい。

**だちやーい** [datɕa:i] 【接尾辞】(動詞基本形について) ほど、～くらい。 [類] だちやー。

**たちやす** [tatɕasi] 【動詞】[s/h 語幹][C] (物を) 立てる、(人を) 立たせる。 【例】うまん はらう たちやし (ここに柱を立てろ)。しーとうやらび あいきやー しーしーん ぼつちや ひらいー たちやはいたい (学童だった頃先生に罰せられて立たされた)。

**たつ** [tatsi] 【名詞】[C] 歩いて行くこと。 【例】たつからどう ったい ((馬、馬車等を利用することなく) 歩いてきた)。

**たつ** [tatsi] 【動詞】[k 語幹][A] 焚く。 【例】かんにがいんな かうゆどう たつ (祈願には線香を焚く)。

**たつ** [tatsi] 【動詞】[c/t 語幹][C] (座った状態から) 立つ、立ち上がる。 【例】やらびやー たちー あいきーどうーい (子供は立って歩けるようになっている)。たちやっでい あすきやー みーや まーるーたい (立とうとしたら目が回った)。うまん たつていがー んめどー (そこに立つとあぶないよ)。

**たつ** [tatsi] 【動詞】[c/t 語幹][C] 発つ、出かける、場を離れる。 【例】からー っさらんかい たちー はりーにやーん (彼は平良に出かけてしまった)。まーぬ うむっしっふあにやーんば かまぬ うぐなーいから たちったい (あまり面白くないので、その会議から抜けてきた)。

**たつ** [tatsi] 【名詞】[C] (馬の) 小屋。 【例】ぬーまぬたつ (馬小屋)。

**だつ** [datsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 抱く。【例】や  
らびゅー だつ (子供を抱く)。「類」かつたつ。

**たつづあみつ** [tavvamitsi] 【動詞】[k 語幹]  
揺れる、ふらつく、(態度が)ぐらつく; 落ち着  
かない。【例】かでいぬ ちゅーかいば きー  
や たつづあみきーどうー (風が強いので木が  
ゆれている)。さきゅー ぬみー たつづあみ  
きーどうー (酒を飲んでふらついている)。

**たつづい** [tavvi] 【動詞】[C] (綱や綱を) 手繰  
る、引き寄せる。「類」たうー。

**たつづや** [tavvja] 【名詞】[C] 蛍 (ホタル)。  
【例】たつづやー ゆなかどう とうー (蛍は夜  
中に飛ぶ)。

**たっかーす** [takkas:i] 【動詞】[s/h 語幹] (サ  
ービスとして品物を) 加える。【例】っぞうー  
んめ ひとつから たっかーし (魚をもう一  
匹おまけにつけなさい)。

**たつき** [tatsiki] 【動詞】[母音語幹] [A] 火を  
つける。【例】うまっちゅ たつきでい (火を  
おこそう)。たむぬんかい うまっちゅ たつ  
きる (薪に火をつける)。きだむぬー たつき  
る (まきに火をつける)

**たっじゃす** [tazzasi] 【動詞】[s/h 語幹] (冷め  
たものを) 温める、炊く、煮る。【例】さまり  
ゅー わーにむんぬぎやー たっじゃし (冷め  
たブタの煮物を温めなさい)。

**たつず** [tazzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A] 煮える。  
【例】んっつーや たっでいーどうー (味噌汁  
は煮えている)。どろどろていーどうー たっじ  
ゅー (ぐつぐつと煮えている)。んーな た  
っでいぬ あとうんな んぶすばどう んまか  
い (芋は煮えたあとの後に蒸したらうまい)。

**たつた** [tatta] 【副詞】更に、いっそう。【例】  
うぬ しよじょー たつた あばらぎふ なり  
ーどうー (その娘はいっそうきれいになった)。

**たつつ** [tatts:i] 【動詞】[ct 語幹] [A] (他人の  
提案、申し入れなどを) 断る、聞き入れない。  
【例】かいが あっじゅー くとうー たつち  
ーすている (彼が言っていることを聞き入れる  
な)

**だつづあ** [datsivva] 【名詞】赤ちゃん。【例】  
だつづあぬ んま (赤ちゃんの母親)

**たつびー** [tatsibi:] 【名詞】膝を曲げて座るこ  
と。【例】たつびー あす (中腰で膝を曲げて  
座る)。

**だんまくらす** [dammakurasi] 【動詞】[s/h 語  
幹] 騙される。【例】ばー かぬ ゆががなま  
いん ずみく だんまくらはいーにやーん (私  
はあの馬鹿野郎にきれいに騙されてしまった)。

**たてい** [tati] 【助数詞】種類の数え方 [1 から  
10 までの種類の数え方: ひとつたてい、ふた  
たてい、みたてい、ゆたてい、いつたてい、ん  
たてい、ななたてい、やたてい、つくぬたてい、  
とうたてい]。

**たていたてい** [tatitati] 【副詞】色々、様々、  
「たていたていぬ」で名詞修飾。【例】きゅ  
ーぬ ゆーいんな たていたていぬ うさいぬ  
どう いじゅー (今日のお祝いにはいろいろな  
料理が出ている)。たていたていぬ んまむぬ  
(色々なご馳走)。たていたていんどう とうゆ  
みゅーい (色々なことに名をはせている [古語  
「まいぐむいもうや」より])

**たとうい** [tatui] 【動詞】[母音語幹] [C] たと  
える。【例】たとういていがー うらー なう  
ぬんまり (例えたらなにに似てるのか)。

**たない** [tanai] 【名詞】[C] (仕事ぶりなどが)  
頼りになること。【例】びきつづあんみやー  
なうぬ たないまい にやーん。(男の子はな  
んの助けにもならない)。つづあがどう ばが  
たない (お前のことを頼りにしている)。う  
りやー たないや にやーん なつちやかん

んまり (彼は頼りにならない遊び人だ)。かりやー たないや ありどう すかまうぎやー ひーゆー (彼は手際よく仕事している)。すかまぬ たない あい ひとつ (仕事の手際良い人)。いんたない (漁が上手い人)。はいたない (畑仕事が上手な人)。すかまたない (仕事が上手な人)。

**たなっら** [tanarra] 【名詞】『魚』スズメダイ。

【例】たなっらう つーが いつ (スズメダイを釣りに行く)。

**たに** [tani] 【名詞】[C] 陰囊 (ふぐり)、ヤドカリのお腹。

【例】わーぬ たにとぅい (豚の去勢 (豚の陰囊取り)。ひんじゃぬ たにゆー あっづい やきー ふあう (山羊の睾丸を炙って焼いて食べる。[類] さに)。

**たに** [tani] 【名詞】[C] 種。

【例】むぬだに (穀物等の種)。ひとつだに (人間の血統)。そうーだにゆー まつ (野菜の種を蒔く)。むぬだにゆーぎやー いらうどうす、ひとつだにゆーまい いらうどうす (物種は選ぶもの。結婚相手も選ぶもの。[類] さに)。

**だに** [dani] 【動詞】[母音語幹] [C] 振 (ねじ)

る; (足首などを) くじく。【例】ん<sup>ろ</sup>なうぎやー だにどう なる (綱をねじって綱 (な) う)。はっじゆ だにーにやーん (足を挫いた)。

**だに** [dani] 【名詞】[C] リンパ腺。

【例】いんまら だにぬ いじゆー (股間のリンパ腺が腫れている)。ばっだだに (わきのリンパ腺)。

**たにがーい** [tanigai] 【名詞】変種、親と出来

の違う子がうまれること、またその子。 [類] さにがーい。

**たにく** [taniku] 【名詞】[C] 入り乱れていること、塊になっていること。

【例】まっちゃんな はーさぬ ひとつぬどう たにくん なりーうい (店には多くの人が入り乱れている)。かまんな ひとつぬどう たにくんなりー んちゆ

ー (向こうには人が塊になってたくさんいる)。たにくぬどう いふからまい たにくん なりーうたい (タコが何匹も塊になっていた)。

**たにず** [tanizi] 【名詞】[C] (夫のせいで) 子供

ができないこと。【例】かまぬ やーや たにっじゃ ひーゆい (あそこの家は後継ぎができないでいる)。

**たぬん** [tanun] 【動詞】[m 語幹] [C] 頼む。

【例】むぬー たぬみー むちやす (ものを頼んで持たす)。やーふつ すきなふー たぬん (家づくりの奉仕を頼む)。からー ひとつんな たぬまいん (彼は人には頼めない)。

**たばい** [tabai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] (人が人

に、ものが服などに) くつつく; ケンカする。

【例】やらびやー ういびとん たばりー うたい (子供はお年寄りにくっついていた)。まずむぬぬみーつつうさぬ とうずぬどう ふくんかい うんそうく たばりゆー (シロバナセンダングサの刺が服に沢山くっ付いている)。かぬきやが ふたーや きゆーまい また たばりーにやーん。(あの二人は今日もまた喧嘩を始めた)。

**たばい** [tabai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] (病気に)

かかる、(悪霊に) とりつかれる。【例】かりやー やなやんな たばりー すにーにやーん (彼は悪い病気にかかって死んでしまった)。

**たばく** [tabaku] 【名詞】[C] 煙草。

【例】たばくー っていーひー ふつ (煙草をキセルで吸う) んきやーんぬ たばくふつ ひとつんみやー ふじゃうから きぎみたばくー とういー うるー っていーんかい いらー ふきーうたい (昔の煙草を吸う人達は煙草入れから刻み煙草を取ってそれをキセルに入れて吸っていた)。たばくの ふつぐる (タバコの吸い殻)。

**たび** [tabi] 【名詞】[A] 旅。

【例】たびんかい いでい (旅に出る)。

**たぶ** [tabu] 【名詞】[B] 〔道具〕たも網、水中の魚類をすくうのに用いる。【例】たぶひー っぞうー っそー (たも網で魚をすくう)。

**だふ** [dafu] 【動詞】[k 語幹] [A] 抱く。【例】っふあう だふ (子供を抱く)。「変異」だつ。

**だふ** [dafu] 【オノマトペ】ドスン (と落ちる)、ズボツ (と入って抜けない)。【例】あなんかい だふていー うていーにやーん (穴にドスンと落ちた)。うゆびやー くびんかい だふてい はまりー、なんとが ながいん (指が瓶にすぽっとはまってなかなか抜けない)。やーぬ きたー はらぬ あなんかい だふていー はまりーにやーん (家の梁は穴にスポツと填まった)。

**たま** [tama] 【名詞】[B] 分け前。【例】んーなんかい っぞうだまう なかーり (皆に魚の分け前を分ける)。うらー ばが ふあうぬ たまー にやーん (それは私の食べる分はない)。うらー っづあが っじだま (それはあなたのもらう分け前)。っぞうだまう ばきー (魚の分け前を分ける)。ばきだま (分け前)。っじだま (貰う分、分け前)。たまうつ (分配)。「類」ばきだま、っじだま、とういまい。

**だま** [dama] 【名詞】[B] ダマ、(衣類の小さい糸など)が絡まって玉状に固まったもの。【例】いんぬきーや だまん なりーどう (犬の毛はダマになっている)。いとうがまぬどう だまん なりゆー (小さい糸が玉になっている)。

**たまーつつ** [tama:tsitsi] 【動詞】[k 語幹] 癲癇の発作を起こす。「[たまう つきたい]」でもいいが「たま」だけでは使わない。【例】たまーつきたい (癲癇をおこした)。たまーつきーどうー (癲癇の発作を起こしている)

**たまい** [tamai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 溜まる。【例】ていび ほうぎ ばーきんな みっじや たまらん (竹籠には水は溜まらない)。

**たまう うつ** [tamau utsi] 【成句】均等に配分する。

**たまがい** [tamagai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] 驚く、怖がる、びっくりする。【例】からー なうゆ ほうんまい たまがらん (彼は何をしても驚かない) からー あうみー やいば かばていー たまがらし (彼は臆病だからわっと驚かしてやれ)。「類」だまがい。② 【名詞】驚くこと、怖がること。【例】ばー まずむぬー みー かば たまがいや ひーにやーん (私は幽霊を見てぎよっとたまげた)。「類」だまがい。

**だまがい** [damagai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] 驚く、怖がる、びっくりする。「類」たまがい。② 【名詞】驚くこと、怖がること。「類」たまがい。

**たまがらす** [tamagarasi] 【動詞】[s/h 語幹] びっくりさせる。【例】かいん たまがらはいー にやーん (彼にビックリさせられた)。「類」だまがらす。

**たまぐつ** [tamagutsi] 【動詞】[c/t 語幹] 分配する。【例】じょー いんからぬ っぞうー たまぐちゃでい (さあ漁からの魚を分配しよう)。

**たまじやり** [tamazari] 【名詞】玉砂利。

**たます** [tamasi] 【名詞】[C] 魂。【例】あてい うどうるっちやーひー まずむぬん たまっさ とうらいーにやーん (余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた)。

**だます** [damasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 騙す。【例】ひとうーぎやー だまはん (人は騙さない [ >だましてはいけない])。みどうんみぬ なつむぬいん だまはいな (女達の泣き落としに騙されるな)。ばー やなびきどうん だまはいにやーん (私は悪い男に騙された)。

**たまっさにやーん** [tamassanja:n] 【成句】魂がない、落ち着きのない。【例】たまっさにやーんんまり、まーぬ あわていだうり (落ち着きのない奴め、余り慌てるな)。



**たまつ** [tamatsitsi] 【動詞】[k 語幹] 癲癩の発作を起こす。

**たまつやん** [tamatsitsijan] 【名詞】癲癩。  
[類] つづいやん。

**たまな** [tamana] 【名詞】[B] キャベツ。【例】  
たまなう ふあう (キャベツを食べる)。

**たまびーぎー** [tamabi:gi:] 【名詞】〔植〕蓮葉桐 (ハスノハギリ) [中心部はかたく水が沁み込まないため、これで水中眼鏡をつくった]。  
【例】たまびーぎーひー みがにゆー ちゅっふ (蓮葉桐で水中メガネを作る)。

**たみ** [tami] 【動詞】[母音語幹] [A] 溜める、留める、心穏やかにする。【例】つむたみびとう (冷静な人、心穏やか人)。つむでいだ つむー たみる (怒らないで心穏やかにしなさい。かんなにがいー んぬっちゆ たみー (祈願して命を留める。んぬつ だみ にがい (命を溜める祈願)。

**たみ** [tami] 【動詞】[母音語幹] [A] (狙いを) さだめる、(三線を) 調弦する、向かう、目指す。【例】はいぬ みーゆ たみー (針の目を当てる)。っぞうーぎゃー たみゆーとうい つき (魚は狙いを定めて突け)。うまぬ まとうんかい たみーみーる (この的に狙いを定めてみる)。うぎんぬ っぞうんかい たみー つき (銚を魚に狙いを定めて突け)。まうきやーんかい たみー ふにゆーぎゃー はらし (前に向かって舟を走らせろ)。さんしんぬ ちるー たみー (三線の調弦をする。ひとうぬ はなっそうぎゃー みんな たみー つき (人の話は耳に全神経を集中して聞け)。からー いつまい うまー たみどう ってい むぬー ふあい はい (彼は毎日ここに来て飯を食べて帰る))。

**たみ** [tami] 【動詞】[母音語幹] [A] 貯める。  
【例】でいんぬぎゃー まーぬ ふあーだ ひー

ちやうぎゃー たみる (金は余り無駄遣いしないで少しは貯蓄しなさい)。

**たみ** [tami] 【動詞】[母音語幹] [A] (銃や銚などで) ねらう、目指す。【例】っぞうー うぎんひー たみー つふ (魚を銚でねらって突く)。うまー たみどう ってい むぬー ふあい はい (ここに来て飯を食べて帰る)。

**たみ** [tami] 【動詞】[母音語幹] [A] 貯める。  
【例】ばー でいんな たみー はわいりよこーんかい いかでい (私はお金をためてハワイ旅行に移行)。

**たみ** [tami] 【名詞】[C] (主に不倫で) ~との間にできた子。【例】うぬっふあー っづあが たみ (この子はあなたの子供だ)。くぬっふあー かいがたみ (この子は彼との間にできた子)。

**たみ** [tami] 【名詞】[C] 抑制、抑制すること。  
【例】つむたみ (自制心) つむたみ じゅー (自制心が強い)。

**たみ** [tami] 【名詞】[C] 目的、ため; 理由節を作る。【例】くらー っづあが たみん ひーやー くとう だら (これはあなたのためにしたことだ)。だいがくん ごーかくあす たみん ぬめひ わいてい べんきよー ほうだかー ならん (大学に合格するためにはもっと勉強しないといけない)。かいが うくりっチャー たみん ひこーきんな ぬーらிட்டん (彼が遅れてきたために飛行機に乗れなかった)。

**だみ** [dami] 【動詞】[母音語幹] [A] (ものや人などを強く) (銚で) 突く; (こぶしで) 殴る、叩く。【例】うぎんひー っぞうー だみー (銚で魚を突く)。くぬ くるまぬ がらっさ っづあが なうばい だみたんていー ばりん (この車のガラスはお前がいくら叩いても割れない)。なうばい つむでいたんていー ひとー だみや ならん (どんなに腹が立っても他人を殴ってはいけない)。

**だみ** [dami] 【名詞】 [A] 駄目だ (述語として使う)。【例】うらー だみ (それは駄目だ)。からー むいとうぬ だみな んまり (彼はとてもダメな奴だ)。つんぬ んみていがー だみ やいば つんぬ すそーぎゃー むたぎる (着物が濡れたらだめなので着物の裾を持ち上げろ)。

**たみーたみ** [tami:tami] 【副詞】 落ち着いて、慎重に。 [変異] たみーたみー。

**たみーたみー** [tami:tami:] 【副詞】 落ち着いて、慎重に。【例】むぬーぎゃー たみーたみー あっそう (物事は落ち着いてやりなさい)。たみーたみー ふあい (慌てずにたべなさい)。 [変異] たみーたみ。

**たみす** [tamisi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 予測する。【例】くぬ やらびゃー ほういふないていがー なうばいぬ にんぎんてい ないがてい たみひーゆー (この子はおおきくなったらどんな人間になるだろうかと予測している)。たからくっじゃ あたりゆーむ なうむ たみひーみーでい (宝くじが当たるか否か予測してみよう)。

**たむぬ** [tamunu] 【名詞】 [C] 薪 (たきぎ) の総称 (ススキ・木の葉、木の枝等を使う)。【例】たむぬんかい うまっちゆ たつきる (たきぎに火を起こせ)。ぎすつ だむぬ (枯れたススキの薪)。すだき だむぬ (枯れたススキの茎の薪)。まつぎーだむぬ (松の木の薪)。

**たむぬぶー** [tamunubu:] 【名詞】 薪 (たきぎ) や農具をしまう小屋。

**たや** [taja] 【名詞】 [C] 力、体力、力持ち。【例】やぐみ たやあい ばかむぬ (凄く体力のある若者)。かりゃー たや (彼は力持ちだ)。たやー くさきていー いりー んぶむぬー むつ (力はこれくらいあるぞと 重いものを持つ [＞力の限りをふりしぼって重いものを持つ])。たや びゃーき なっじゆり (力いっぱい殴れ)。

**たやん** [tajan] 【副詞】 力を入れて、力いっぱい、たくさん。【例】むぬー たやん ふあうたい (飯をたくさん食べた)。むぬーぎゃー たやん ふあい (飯をたくさん食べなさい)。たやん そうづい (一生懸命走れ)。かまぬ びょうういんな っそういゆどう たやん むちやす (向こうの病院は薬をたくさん持たせる)。

**だら** [dara] 【助詞】 『終助詞』 (形容詞、名詞、動詞基本形などについて) 相手が知らない情報を言うときに付ける、～なんだ、～だよ; 『終助詞』自分が推論した内容を自分、あるいは聞き手に示す、～だろう。【例】うらー がばー だら (それは大きんだよ)。あばらぎ だら (きれいだよ)。からー なうふや だら (彼は格好をつける人なんだ)。ぶばがまが すきゃきゃー かいだら (おばちゃんのやり方はこうだ)。あいだら (そうだ)。んーでいだら (そうだよ)。

**たらーす** [tara:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 不足を補う。【例】やーふつ にんじゆー たらーす (家づくりの人数の不足を補う)。

**たらう** [tarau] 【動詞】 [w 語幹] [A] 足りる。【例】つん かーでい やいそうがどう でいんな たらーん (洋服を買いたいがお金が足りない)。びきどうんな さうきぶにぬどう っていつ たらーんば うむくとうー にゃーん (男性はあばら骨が一つ足りないから頭が悪い)。きゅーぬ いんにんじゆー たらーいどうー (今日の漁員数は足りている)。かーっさ んーなが たまー たらーん (お菓子は皆の分は足りない)。びーるー はーさ かいやーば んーなが たまー たらーいどうー (ビールはたくさん買ってあるからみんなの分足りてるよ)。

**だらか** [daraka] 【名詞】 [C] ウソ [大浦の方言からの借用、西原では「ゆくす、ゆくし」と言う]。

**たらき** [taraki] 【名詞】 [C] 親戚一族。【例】うぬきゃが たらきゃー やぐみ すぐり た

らき（この親族一同はとても優れた親族だ）。うむくとうあい たらき（優秀な家系）。

**だらく** [daraku] ①【名詞】[C] なまけもの。

【例】からー むいとうぬ だらく（彼はとても怠け者）。②【形容詞】[C] なまけものだ。【例】まさいがどう だらくかい（マサイが怠け者だ）。

**だらくげった** [darakugetta] ①【名詞】なまけもの（「だらく」よりも程度がひどい）。【例】

かりゃー すかまー ひらいん だらくげった（彼は仕事のできない怠け者だ。②【形容詞】なまけものだ。【例】まさいがどう だらくげったかい（マサイが怠け者だ）。

**だらす** [darasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 困らす、

疲れさせる。【例】あいや ひとつーぎゃー だらはん（そんな人に人を困らてはいけない）。ばー かいん だらはいーにゃーん（私は彼に疲れさせられた）。

**たらま** [tarama] 【名詞】[C] 『地名』多良間島；

遠いことのとえにつかう。【例】ぶとうぬ はたらちちゆぎゃー ばらいどう ふあう、つふあぬ はたらちちゆぎゃー なきどう ふあう、んまがぬ はたらちちや たらまどうー（夫の稼ぎは笑って食べる、子供の稼ぎは泣いて食べる、孫の稼ぎははるかかなた [池間の格言]）。

**たらみつ** [taramitsi] 【動詞】[k 語幹] だらだ

らとした様子でなにかをする。【例】まーぬ たらみかだうり（あんまりだらだらするな）[場面によっては「文句を言うな」のような意味にもなる）まーぬ たらみきー あいつな（あまりだらだら歩くな）。

**たり** [tari] 【動詞】[母音語幹] [C]（酒や神酒を）造る。【例】まいひー さきゅーぎゃー

たりー（米でさけをつくる）。

**たり** [tari] 【動詞】[母音語幹] [C] 垂らす；（男性器、女性器、乳房などを）露・顕（あらわ）に

する。【例】んきゃーんな つんぬ そうく

一ゆ たりー まーりゅー やらびまい うたい（昔は着物の帯紐を垂らして歩き回る子どももいた）。

**たり** [tari] 【動詞】[母音語幹] [C] 垂れる。

【例】さかさん さぐなう さぎー うっきゅー ふばどう ういが みーや たりー うていー ふー（逆さまにほら貝を下げておいておけばその身は垂れて落ちてくる）。

**だり** [dari] ①【動詞】[母音語幹] [C] 疲れる。

【例】きゅーや すかまー ひー だりーどうー（今日は仕事をして疲れた）。だりーていがー うぬー つふじやたう ふあい（疲れたらこの黒砂糖をたべなさい）。んぬ あてい だりー きゅーや ぶがりかいば ならん（昨日余りにも疲れたので今日は疲労感が残っている）。きゅーや むいだり（今日は非常に疲れている）。はっじゃ だりーにゃーん（足が疲れた）。だりー ににゅーや かつらん なりゅーたい（疲れて居眠りコックリコックリしていた）。だりー ぬどうふずまい たりーどうー（疲れて首筋までも垂れている）。ういびとうー みばかりー だりーどう（年寄りを介護して疲れている）。ばー んなーぎゃー だりや うらん（私はまだ疲れてはいない）。②【形容詞】[B] 疲れている。【例】きゅーや だりかいばならん（今日はとても疲れた）。③【名詞】[C] 疲れ。【例】きゅーや だりんかい つふ やちゅーゆどう ひーったい（今日は疲れに効く灸をしてきた）。さきゅー ぬみー やなだりゅー とうい（酒を飲んでひどい疲れを取る）。

**だり** [dari] 【接尾辞】[名詞について形容詞を作る接尾辞]～まみれだ。【例】あしだり（あせまみれ）。あかつだり（血だらけ）きゅーや あ

つかいば あしだりかいば ならん（今日は暑いから汗をかいて仕方がない）。

**た리카す** [tarikasi] 【名詞】泡盛を作った後に出る酒かす。

**たりかす** [tarikasi] 【名詞】《鳥》サシバの幼鳥。

**たる** [taru] 【名詞】[A] 人を表す疑問代名詞、誰  
〔複数は「たーどう」。【例】つうあー た  
る（君はだれだ？）ばがほうだかー たるがど  
う あすがまた（お前がしなかったら誰がする  
のか）。つうあ うりゃー たるがどう ちゅ  
っふゃーがてい っしな（君は、これを誰がつ  
くったかわかりますか〔＜誰が作ったかと〕〕。

**たる** [taru] 【名詞】[C] 樽。【例】さた だる  
（砂糖樽）。

**だるー** [daru:] 【形容詞】[C] ダラダラしてい  
ること。【例】すかまー ひらいん だるーん  
まり（仕事のできない怠け者）。からー むい  
とうぬ だるーんまり（あいつはとても怠け者  
だ）。

**たるががら** [tarugagara] 【名詞】誰か。【例】  
ばー かりゃー たるががら っさん（私はあ  
いつが誰なのかわからない）。

**だん** [dan] 【名詞】[B] ダニ。【例】やまだん  
（山ダニ）。だん ささいていが むいとう か  
いかいばならん（ダニに刺されるととてもかゆ  
い）。

**だんがー** [danga:] 【名詞】相談。【例】じょ、  
まうきだんがーう ほうでい（さー、儲かる話  
をしよう）。

**たんかーばい** [tanjka:bai] 【名詞】酒と水を  
半々に割ること。【例】さきゅー たんかーば  
い ひーくー（酒を水と半々に割って来い）。

**たんかーゆーい** [tanjka:ju:i] 【名詞】《祭礼》  
数え年3歳の祝〔ノート、お金等を子供に取  
らせて将来を占う〕。

**だんかーりー** [danjka:ri:] 【副詞】特別に、際  
立って。【例】かいが かなまいや だんか

ーりどう ちゅーかい（彼は際立って頭脳明晰  
だ）。

**たんた** [tanta] 【名詞】[C] 《鳥》鶯（ミサゴ）。  
【例】たんたー いんぬ はなから っぞう  
とうみー ますたんかい とうびー っぞうー  
とうい（鶯は海の上空から魚を探して直滑降  
で海に飛び込み魚を取る）。

**だんだん** [dandan] 【副詞】段々に、次第次第  
に。

**たんちゃー** [tantɕa:] 【名詞】短気者。【例】  
あいぬ たんちゃーゆぎゃー たきゅーぎゃー  
ほうだうり（そんな短気者は相手にするな）。  
〔変異〕たんちゃー。〔類〕たんちゃ。

**たんつ** [tantsi] 【形容詞】[B] 短気だ。【例】  
かりゃー うなが つむーぎゃー むちゃん  
たんつんまり（彼は自分の気持ちを制御できな  
い怒りん坊だ）。たんつ ずむびとう（短気な  
人）。

**たんでい** [tandi] 【副詞】どうか、お願いだか  
ら。【例】たんでい いきーふいーる（どうか  
行ってくれ）。

**たんでいやらー** [tandijara:] 【副詞】どうか、  
お願いだから。〔変異〕たんでいやりゃー。

**たんでいやりゃー** [tandijarja:] 【副詞】ど  
うか、お願いだから。【例】ばー んめ ふた  
かいまていや あいぬ くとうーぎゃー ほう  
じゃーんば たんでいやりゃー ゆらひー ふ  
いーさまてい（私はもう二度とそんなことはし  
ないのでお願いですから許してください）。〔変  
異〕たんでいやらー。

**だんどうい** [dandui] 【名詞】段取り。【例】  
すかまうぎゃー だんどういや とういー あ  
っそう（仕事は段取りを取ってやりなさい）。

**だんびー** [dambi:] 【名詞】太って大柄な人。  
【例】すまとうらたー だんびー（相撲取りは体  
格が大きい）。

**だんま** [damma] 【オノマトペ】どたん。【例】つくいゆ だんまていー ったつ（机をどんと叩く）。【類】どうんま。

**だんまみつ** [dammamitsi] 【動詞】[k 語幹]どたんという音を出す。【例】かでい ふつんな やどうぬどう だんまみきー なりゆーたい（台風には戸がどたんどたと鳴っていた）。

# ち

**ちーぬん** [tɕi:nun] 【名詞】お尻の穴；お尻。  
【類】ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

**ちーるん** [tɕi:run] 【名詞】お尻の穴；お尻。  
【類】ちびるん、ちびぬん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

**ちかみ** [tɕikami] 【名詞】[C] 近眼。

**ちびぬん** [tɕibinun] 【名詞】お尻の穴；お尻。  
【類】ちびるん、ちーるん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

**ちびるん** [tɕibirun] 【名詞】お尻の穴；お尻。  
【類】ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

**ちや** [tɕa] 【終助詞】名詞、動詞の終止の形について伝聞を表す、って、そうだ。【例】いつむっさ ちゅーかいむぬぬ ぬくいていぬ むぬーあらんちゃ（生き物は強いものが残るとは限らないそうだ）。かまぬ んまがー だいがくんかいどう ごーがくひーゆーちゃ（あそこの孫は大学に合格したんだって）。んきやーんどう くまぬ すまんな やぐみ あばらぎ みどうんぬ うたいちゃ（昔この村にはとても美しい女の人がすんでいたそうです）。からーすかまー なまりどう すまん むどうりー ちゅーちゃ（彼は仕事をやめて村に帰ってきたそうだ）。かまぬ んまがー うむくとう あいちゃ（あそこの孫は賢いんだって）。A：あちやー かでいふつちや B：あいえていがー

あちやー いきまー いかいん（明日は台風だっけ。そうだったら明日は池間はいけない）。みがー だいがくせいちゃ（ミガは大学生だっけ）。【類】ていんどー。

**ちやー** [tɕa:] 【副詞】いつも、しょっちゅう。  
【例】かりやー いつまい ちやー ほうりむぬゆん（彼はいつもいつも馬鹿な事を言う）。まさいや ちやー すかまんかい うくりー ふう（マサイはしょっちゅう仕事に遅れてくる）。

**ちやーい** [tɕai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] ぶつかる、衝突する。【例】くるまぬ ちやーい（車がぶつかる）。おーとばいぬ ばすんかい ちやーりーにやーん（オートバイがバスに衝突した）。くるまー ちやーらひー やっぐやひーにやーん（車をぶつけて壊してしまった）。

**ちやーす** [tɕa:si] 【形容詞】[B] 簡単だ、容易だ。【例】うい あっさ ちやーすむぬがま（それをやることは簡単なことだ）。

**ちやーつづい** [tɕa:vvi] 【形容詞】行動に落ち着きのない。【例】ちやーつづい っざ（行動に落ち着きのないお父さん「>浮気者」）。

**ちやーふきや** [tɕa:fukja] 【名詞】慌て者。  
【類】かかみきや、とうとうっふや、とうっふや。

**ちやう** [tɕau] 【名詞】[C] 『祭礼』新しく生まれた子供の名前を記録する神様の帳面。【例】っふあぬ んまいていがー ちやうんかい あぎー（子供が生まれたら（神様の）帳面に上げる）。【類】うちやう。

**ちやうき** [tɕauki] 【名詞】[C] お茶うけ。【例】

ちやーぬ ちやうきやー きゅーまい んそう  
がま (お茶のお茶請けは今日も味噌だ)。

**ちやうぬぬす** [tɕaununusi] 【名詞】『祭礼』御

帳の主、新しく生まれた子供の名前を報告する  
神様の名前。

**ちやばん** [tɕaban] 【名詞】[C] 湯呑。【例】

んなまから ばが ほうちやばんじゃきゅー  
まーはっじゃ んまいてい みやりー ふいー  
さまてい (いまからおとりの湯飲みのお酒を  
回しますので、うまいといって召し上がって  
ください)。

**ちやら** [tɕara] ①【オノマトペ】割れる音、バリ。

【例】こっぷー ちやらていー ばりーにやー  
ん (コップはバリと音を立てて割れた)。②【オ  
ノマトペ】よく似ている様子。【例】つぎ つふ  
あー かーぎやー ちやらていー ばりーど  
うー (父子の顔かたちはそっくりだ)。

**ちゃん** [tɕan] 【名詞】[C] (時間を表す名詞+

の、動詞基本形について)～うちに、間に、隙  
に。【例】あちやぬ ちゃん (明日中に)。ん  
なまぬ ちゃん (今のうちに)。まうきやーん  
かい たみー ふにゅーぎやー はらし (前  
に向かって舟を走らせる)。ゆなかぬ ちゃん  
ぬそうどうん はいらい にやーん (夜中の間  
に泥棒に入られた)。あたばかーいぬ ちゃん  
みどうんな ひんぎーはりーにやーん (ちよ  
っとの間に妻は逃げて行った)。にっぐゅー  
ちゃん やぐみ あみぬ つふゅーたい (寝  
ている間に、大雨が降っていた)。

**ちゃんくら** [tɕaŋkura] 【名詞】小さいもの、小

さい人。【例】ちゃんくらがま (小さいもの)。  
【類】ちゃんくる。

**ちゃんくる** [tɕaŋkuru] 【名詞】小さいもの、

小さい人。【類】ちゃんくら。

**ちゅー** [tɕu:] 【動詞】[vv 語幹幹] [C] (渡すた

めに) 投げる、(すてるために) 放る [語幹は

tiv であり、基本形は「ちゅー」になる。[否定形  
[+あん]] ていっづあん、[ている形 [+うい]]

ていっづいーうい、ていっづゅー、[過去形  
[+たい]] ちゅーたい。【例】あいぬ とう  
くまん いっそうぎやー ちゅーな (こんなと  
ころで石を投げてはいけない)。いっそう あ  
んち ちゅーていがー だみ (石をそんなに放  
つたらいけない)。むぬー ちゅーとうきやん  
な ひとつー みーから ていっづい (ものを  
投げるときはまわりに人がいるかどうかを確認  
してから投げろ)。うまんかい うぶん<sup>°</sup>なう  
ていっづい (そこに錨綱を投げろ)。うまんかい  
ひらう ていっづい (こっちにへらを放れ)。  
うにやー ふあーいんば いんかい ていっづ  
いすている (ウニは食べられないから海に放っ  
てしまえ)。いっそう うまんかい ていっづ  
あっじゃ かまんかい ゆっでい (石をそっち  
に投げるからあっちに寄れ)。でいんぬぎやー  
ていっづあだうり (お金を投げちゃいけませ  
ん)。【類】ていっづい。

**ちゅー** [tɕu:] 【名詞】[C] 露、朝露。【例】ち

ゅーぬ うりーゅー (朝露が降りている)。

**ちゅー** [tɕu:] 【形容詞】[B] 強い。【例】ちゅ

ー びとう (力の強い人)。ちゅーくん ひき  
(強く引け)。まくがんな ちゅーかいば とう  
らいぎつふあにやーん (ヤシガニは力が強い  
のでつかまえられそうにない)。

**ちゅーい** [tɕu:i] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 強く

なる、成長する。【例】やらびやー ちゅーり  
どう あいきゅー (子供は強くなって歩ける)。  
やらびやー ちゅーりーどうーい (子供は成長  
している)。

**ちゅーか** [tɕu:ka] 【名詞】[C] 急須。【例】

ちゅーかぬ ちやーゆ ぬん (急須のお茶を飲  
む)。

**ちゅーぎ** [tɕu:gi] 【形容詞】[B] 強そうな。

【例】かりやー じゃうからた なうががら ち  
ゅーぎ びとう (彼は立派な体格で何となく強

そんな人だ)。ちゅーぎ ふい (力が強そうな振り)。

**ちゅーく** [tɕu:ku] 【副詞】強く。【例】ちゅーく たやう いりー ん<sup>ん</sup>なうぎゃー ひき (強く力を入れて綱を引け)。

**ちゅーずむびとう** [tɕu:zimubitu] 【成句】心の強い人。

**ちゅーばー** [tɕu:ba:] 【名詞】自分の考えを曲げない人、有能な人、やり手(「がーじゅー」とは違い、良い意味にも使う)。【例】からー やぐみ ちゅーばーやひー うむくとう あいびとう (彼はとても考えがしっかりして賢い人だ)。ちゅうばー かないびとう (有能でよく働く人)。

**ちゅーばん** [tɕu:ban] 【名詞】《魚》中型のカツオ。

**ちゅきゃー** [tɕukja:] 【副詞】すでに、すぐに、あっという間に。【例】うりゃー ちゅきゃー いでいー はりーにゃーん (彼はすでに出ていった)。かいが やーや ちゅきゃー とうみらいどう うたい (彼の家はすぐに探せた)。うらー ちゅきゃーぬ はなす (それはあっという間の話だ)。やらびゃー ちゅきゃーん ほうどういどうす (子供はあっという間に大きくなる)。かりゃー ちゅきゃーん みーだんぎーにゃーん (あいつはあっという間にいなくなった)。

**ちゅっふ** [tɕuffu] 【動詞】[f 語幹] [C] (ものを作る；(作物を)栽培する。【例】んきゃーんな あーひどう んっちゅぎゃー ちゅっふゆーたい (昔は粟で神酒を作っていた)。さんしんぬ ちゅっふ (三線を作る)。はいん そうーゆ ちゅっふ (畑で野菜を作る)。[変異] ちゅふー。[類] ちゅふー。

**ちゅっふい** [tɕuffui] 【動詞】[母音語幹] 野菜の泥や毛根を取ってきれいにする；布や綱を繕

う、。【例】{そうーゆ／んーぬ／だきやうゆ} ちゅっふいる (野菜／芋／ラッキョウの泥、毛根をきれいに取りなさい)。あんぬ ちゅっふいる (綱を繕え)。

**ちゅっふいかい** [tɕuffikai] 【名詞】造り替え。【例】やーぬ ちゅっふいかい (家の改造)。

**ちゅふー** [tɕufu:] 【動詞】[f 語幹] [C] (ものを作る；(作物を)栽培する。[変異] ちゅっふ。[類] ちゅっふい。

**ちゅんくら** [tɕuŋkura] 【名詞】《鳥》雲雀(ヒバリ)。【例】ちゅんくらがまー ちゅんくら ちゅんくらていー なつ (ひばりはチュンクラ チュンクラと鳴く)。[類] ちゅんちゅん。

**ちゅんちゅん** [tɕuntɕun] 【名詞】《鳥》雲雀(ヒバリ)。【例】ちゅんちゅんがまぬ ちゅんちゅんていー なつ (雲雀がチュンチュンと鳴く)。[類] ちゅんくら。

**ちゅんな** [tɕunna] 【副詞】～さえも、も。[類] ちゅんま。

**ちゅんま** [tɕumma] 【副詞】～さえも、も。【例】ういびとう なりー んまがみぬ なーや ちゅんま うぶいらいん (年取って孫たちの名前さえも覚えられない)。うまぬ いんな っぞうまい たくまい なうちゅんま みーん (この海には魚もタコも全然いない)。[類] ちゅんな。

**ちよーず** [tɕo:zi] 【名詞】[C] 手水、手を洗うこと、簡便な手洗い器。【例】がっこうの しーしーたー ちよーずひー ていーゆあらう (学校の先生達は簡便な手洗い器で手を洗う)。

**ちよろ** [tɕoro] 【副詞】簡単に。【例】うりゅーぎゃー ちよろ あすどうす (これは簡単にできる)。

**ちりぐい** [tɕirigui] 【名詞】甲高く響きのある声。



**ちる** [tɕiru] 【名詞】 [C] (三線の) 弦。

**ちるだい** [tɕirudai] 【名詞】 三線の弦が緩んでいる；疲れ気味、体がだるい。【例】 きゅーやちるだいや ひーどう (今日は疲れ気味だ)。

**ちるだみ** [tɕirudami] 【名詞】 (三線の) 調弦。  
【例】 さんしんぬ ちるだみ あす (三線の調弦

をする)。さんしんぬ ちんだみやー むずかすむぬ (三線の調弦は難しい。[類] ちんだみ。

**ちんくるがた** [tɕiŋkurugata] 【名詞】 〔昆〕 精霊バツタ、キリギリス。

**ちんだみ** [tɕindami] 【名詞】 (三線の) 調弦。  
[類] ちるだみ。

# つ

- つー [tsi:] 【動詞】[b 語幹] [A] 交尾する。【例】  
いんぬどう つーびゅー (犬が交尾している)。  
[類] つーび。
- つー [tsi:] 【動詞】[c/cc 語幹] [A] 釣る。【例】  
うつみっちゅ つー (まるひらあじを釣る)。っ  
ぞう つー が (魚釣りに (行こう))。ん°ぬ  
つーたい っぞう (昨日釣った魚)。
- つー [tsi:] 【動詞】[c/cc 語幹] [A] 着る。【例】  
つんぬ っち (着物を着れ)。きつぎつんな  
っちいー っさらんかい いつ (きれいに着飾  
って平良に行く)。きつぎつんぬ っちゅーい  
みどうん (きれいな着物を着た女性)
- つー [tsi:] 【動詞】[vv 語幹] [A] (目を) つぶ  
る。【例】みーゆ つーていがー なうまい  
みーらいん (目をつぶるとなにも見えない)。  
[類] つづい。
- つー [tsi:] 【動詞】[vv 語幹] [A] 癲癩の発作を  
起こす。【例】つづい すにーにやーん (癲  
癩などの病気で死ぬ)。つづいー ぶらかい  
りー にやーん。(癲癩で気を失ってひっくり  
返った)。つづいやん (癲癩) [類] つづい。
- つー [tsi:] 【名詞】[B] 乳 ; 乳房。【例】つー  
ふいー (母乳を飲ませる)。つーや にやーん  
(母乳はでない)。つーふあい っづあ (乳飲み  
子)。やらびやー つーゆ ぬん (子供は乳を  
飲む)。ていびぬ つーふあや (末っ子。子豚  
達の中で一番後ろの乳を飲む一番小さい子豚)。  
ほうずー (巨乳)。
- つー [tsi:] 【名詞】[B] 血、血の気、[体外に出た  
ものは「あかつ」というのが普通]。【例】か  
いが みはなんな つーや にやーん (彼の顔  
には血の気がない)。かりやー つーや ひき  
ーどうー。つーんつ (血管)
- つー [tsi:] 【名詞】[B] 釣り針。【例】っぞうぬ  
つーゆ っふいーゆー (魚が釣り針を食って  
いる)。つーんかい びじゅー つきー (釣り  
針に餌をつける。っぞう つー つー (魚を釣  
る釣針)。
- つー [tsi:] 【名詞】[B] 気、気力、気持ち。【例】  
つー あい びとう (元気な人)。つーや に  
やーんんまり (元気がない人)。つーゆ いだ  
し (元気を出せ)。
- つー [tsi:] 【形容詞】[B] よく切れる、切れ味の  
良い。【例】つー がたな (よく切れる刀)。つ  
ー っざら (切れ味の良い鎌)。くぬ かたな  
ー つーむぬ (この包丁はよく切れる)。
- つー [tsi:] 【補助動詞】[c/cc 語幹] (動詞連用形  
について) 徹底してやる。【例】からー う  
むくとう にやーんば あいっちー ならーし  
(あいつは頭が悪いから、強く言って教えろ)。  
ふあいっちーにやーん (洗いざらいみんな食べ  
た)。むぬーぎやー まーぬ ふあいっちやだ  
うり (食べ物をそんなに食べるな)。まさいや  
さきゅー ぬんっちーにやーん (マサイは酒  
を全部飲み干した)。まさいや さきゅー ぬ  
んっつたい (マサイは酒を全部飲み干した)。

**つーき** [tsi:ki] 【名詞】[C] 雨季。【例】んめ  
つーき なりーどうー (もう雨期になっている)。  
つーきゃーひどう うんそうく あみぬ  
つふゆー (雨季で雨が良く降っている)。

**つーきや** [tsi:kja] 【名詞】[C] (皮膚病ではなく) 小さく突起している皮膚。【例】みんどう  
つーきやがまぬ あい (耳に小さなこぶがある)。

**つーず** [tsi:zi] 【名詞】[B] (魚の) 刺、(草木の) とげ。【例】あいつぞうぬ つーずんな  
ささいな (アイゴの刺には刺されるな)。あだ  
んぎーぬ つーず (アダンの木の刺)。

**つーだり** [tsi:dari] 【形容詞】元気がない、やる気がでない。【例】つーだりんまり (元気がない奴)。  
きゅーや あみやー つふいー な  
うががら つーだりかいば ならん (今日は雨が降ってなんとなく元気がでない)。

**つーつ** [tsi:tsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (魚を) 鰓(えら)から口にススキで通す。【類】つーつ。

**つーつつ** [tsi:ttsi] 【動詞】[k 語幹] (魚を) 鰓(えら)から口にススキで通す。【例】つぞう  
ー ぎすつひー つーつき (魚をススキで鰓から口に通せ)。  
【類】つーつ。

**つーにや** [tsi:nja] 【名詞】[C] 乳の出ない女性。【例】つーにやんまぬ つふあー いつまい  
やーっさがーき (乳の出ない母親の子供はいつもひもじい思いをしている)。

**つーぬ つぶんがま** [tsi:nu tsibuŋgama] 【名詞】乳首。【類】つーぬ ふつ。

**つーぬ ふつ** [tsi:nu futsi] 【名詞】乳首。【類】つーぬ つぶんがま。

**つーばー** [tsi:ba:] 【名詞】上前歯の後ろの一对の歯、牙、犬歯。

**つーび** [tsi:bi] 【動詞】[母音語幹] [C] 交尾する。【類】つー。

**つーふつ** [tsi:futsi] 【名詞】切り口。

**つづあ** [vva] 【代名詞】[A] あなた、お前。【例】つづあー んじゃぬ つふあ (お前はどこの子供だ)。  
つづあが どうい (お前が取れ)。  
つづあう とうずあす ぶすむぬ (お前をめとりたい)。  
つづあんかい くるー ふいーでい (お前にこれをやろう)。

**つづあーす** [vva:si] 【形容詞】細い(糸); 細い(人)。【例】つづあーす いとうがま (細い糸)。  
つづあーす ひとつがま (痩せて細身の人)。

**つづあどう** [vva:du] 【代名詞】[C] つづあ(お前)の複数形、お前たち。【変異】つづある。

**つづある** [vvaru] 【代名詞】[C] つづあ(お前)の複数形、お前たち。【変異】つづあどう。

**つづあん** [vvan] 【動詞】[vv 語幹] [A] 「うー(売る)」の否定形。

**つづい** [vvi] 【動詞】[vv 語幹] [A] 「うー(売る)」の連用形。

**つづゆー** [vvju:] 【動詞】[A] 売っている [(売る)の連用形「つづい(売って)」+「うい(いる) = 「つづいーうい(売っている)」の変異形]。

**つづゆー** [vvju:] 【動詞】[vv 語幹] [A] (酸っぱさが歯に) しみる。【例】そうー ふにゆーや  
ふあいどう はーや つづいづづゆー (酸っぱいミカンを食べて歯が沁みている)。  
【類】つづいづづい。

**つが** [tsiga] 【名詞】[C] 上面と底面は正方形の形で穀物の量を量る枡、木製の度量衡器の1つ、5合・1升がある。【例】いっしょ つが (1升枡)。  
まみゆー つがひー はかい (豆を枡ではかる)。

**つかい** [tsikai] 【動詞】[母音語幹] [A] 聞こえる、聞ける、理解できる; 信用できる。【例】

いんぬ なつぐいぬ つかい (犬の鳴き声が聞こえる)。からー ほうむぬゆみや やいば  
とうー ぬなか ひていっちゃとうんま つか  
いん (彼は犬ぼら吹きだから 10 の中 1 つも信用できない)。くぬいぬ ばかむぬんみゃー  
むぬいや つかいそが むぬっじやいん (最近の若者たちは方言は聞けるが話せない)。う  
らー ひとつんな つかいん むぬい (それは人には信用されない話だ)。

**つかい** [tsikai] 【名詞】 [A] 使うこと、使い。  
【例】 やらび つかいや どうー つかい (子供使いは自分使い [ > 知恵の足りないものを使うと自分の身に降りかかってくる ] )。

**つがい** [tsigai] ① 【動詞】 [母音語幹] [A] 着替える。  
【例】 つがいゆ むちゅーていがー つが  
いる (着替えを持っていたら着替える)。 ②  
【名詞】 [A] 着替え。

**つかいでい** [tsikaidi] 【名詞】 使い勝手。【例】  
あいぬ いみむぬがまー つかいでいーや に  
ゃーん (こんな小さいものは使い勝手が悪い)。

**つかいはー** [tsikaiha:] 【名詞】 使途、用途、使  
い道。【例】 うらー なうぬ つかいはーまい  
にゃーん (それは何の使い道もない)。つか  
いはーや っさいん でいん (使途の分からない  
金)。

**つかう** [tsikau] 【動詞】 [w 語幹] [A] 使う。  
【例】 でいんぬ つかう (お金を使う)。ひとつ  
ー つかう (人を使う)。くぬ すかまんかい  
や まーぬ じかんぬぎゃー つかうな (この  
仕事にはあまり時間を使うな)。くらー かな  
いゆ つかう すかまー あらん (これは頭を  
使う仕事ではない)。

**つがき** [tsigaki] 【名詞】 [B] (ミカン、アダン  
の実の中の) 小袋、またその実。【例】 あだん  
ぬ つがきゃー まーぬ あずまっふあにゃー  
ん (アダンの実はあんまり甘くない)。

**つかさやー** [tsikasaja:] 【名詞】 漲水神社。

**つかす** [tsikasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 聞かせ  
る。【例】 はなっそう つかす (話を聞かせる)。  
きゅーや うむっそう はなっさ つかひーふ  
いーさまいー やぐみ すでいがほー (今日は  
面白い話を聞かせていただいて大変ありがとう  
ございます)。

**つかなう** [tsikanau] 【動詞】 [w 語幹] (家畜、  
動物を) 飼う、育てる、(妻子を) 養う、年寄の  
世話をする。【例】 いつむすがまう つかなう  
(家畜を飼う)。ういびとうー つかなう (年寄  
りの面倒を見る)。っふあう つかなう (子供  
を養育する)。うなが はだんな わいていー  
かないー とうず っふあうぎゃー つかな  
ーだかーならん (自分が生きている間にはしっ  
かりと働いて妻子を養わないとならない。[類]  
みばかい)。

**つかん** [tsikan] ① 【動詞】 [m 語幹] [C] つかむ。  
【例】 っぞうー ていーひー つかみ (魚を手  
で掴め)。 ② 【名詞】 [C] つかむこと。【例】 ほ  
うずかん あす (たくさん掴み取る)。

**つかんふい** [tsikanfui] 【名詞】 聞かないふり。  
【例】 かりゃー ふつあじゃーなびとう やい  
ば ういが むぬいゆぎゃー つかんふい あ  
っそう (彼は言いたい放題ものをいう人だから  
彼の話には耳を傾けるな)。

**つき** [tsiki] 【動詞】 [母音語幹] [A] 漬ける、塩  
漬けにする。【例】 んきゃーんな きーつきひ  
だん きーや つきーからどう やーゆぎゃー  
ふきゅーたい (昔は木つけ浜に木を浸けてか  
ら家を建てた)。そうーゆ つきー つきなう  
ちゅっふ (野菜を漬けて漬菜をつくる)。かう  
っじゃ ちゅっふいーからどう んそうーぎゃ  
ー つきー (麴を作った後に味噌を漬ける)。

**つぎ** [tsigi] 【動詞】 [母音語幹] [A] 付ける。  
【例】 っぎらぬ ゆるー ぶりーにゃーんば う  
いが ゆるー つぎる (鎌の取っ手が折れたの  
でその取っ手を付けろ)。

**つきだき** [tsikidaki] 【名詞】マッチ。【例】つきだきぬ にやーだかー むぬー にーらいん (マッチがなければ飯は炊けない)。

**つきな** [tsikina] 【名詞】[B] 『食』塩漬けた野菜。

**つぎゃーい** [tsigja:i] 【動詞】[r/rr 語幹] 繋がる。【例】くまぬ んっちゃ かまぬ んつんかどう つぎゃーりゆー (ここの道は向こうの道に繋がっている)。

**つぎゃーらす** [tsigja:rasi] 【動詞】[s/h 語幹] つなげる。【例】くまぬ んつとう かまぬ んच्चゆ つぎゃーらし (ここの道と向こうの道を繋がらせろ)。

**つきゃがい** [tsikjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 思い上がる、つけあがる。【例】まーぬ つきゃがいな (あまり思い上がるな)。

**つきゃがい** [tsikjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] (感情が) こみあげる。【例】かりゃー むいとう どう つきゃぎやりゆー (彼はとても押えきれない感情がこみあげている)。

**つきゃふ** [tsikjafu] 【名詞】[A] 海猫; 不美人 (女性を貶したりする時に使う)。【例】つきゃふがまぬどう すでーいゆー (海猫の雛が卵から生まれている)。

**つぐい** [tsigui] 【名詞】[C] 瓢箪 (ひょうたん)。【例】つぐいぬどう なりゆー (ひょうたんがなっている)。きつぎ つぐいがま (形の綺麗な瓢箪)。

**つくつ** [tsikutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 重ねる。【例】ふゆんな やりずんぬ つくきー かうー (冬には古い着物を重ねて被る)。

**つくつぎー** [kkutsigi:] 【名詞】『植』福木。【例】つくつぎーや やーぬ かつんどう ない (福木は家の垣になる)。

**つくぬか** [kkunuka] 【名詞】『数詞』九日。

**つくぬつ** [kkunutsi] 【名詞】『数詞』九つ。

**つくぬぬひとう** [kkununuhitu] 【名詞】『数詞』九人。

**つさ** [ssa] 【名詞】[B] 噂、悪口。【例】ひとうぬ つさ あっさ どうーぬ つさ あす (人の悪口を言う事は自分の悪口を言うようなもの [ > 全て自分に返ってくる ] )。ひとうぬ つさ (人の噂)。かりゃー ひとうっじゃぬ すー やいば いつまい ひとぬ つさう ゆみーまーい (彼女は人の噂の発信源だからいつも人の噂を言いふらす)。[類] ふさ (fsa)。

**つさ** [ssa] 【名詞】[B] 草。【例】ぬーまぬ つさかいや やらびんみぬ すかま (馬の草刈りは子供達の仕事)。ぬーまー つさう ふあう (馬は草を食べる)。みなかぬ つさう ひつ (庭の草を引く)。

**つさ** [ssa] 【名詞】[B] 足のくるぶしより下の部分、足の甲、足首。【例】つさう きー (躓く)。つさー ん<sup>o</sup>まん (足が地につかない)。[類] つさびじゃ。

**つさ** [ssa] 【名詞】[B] 低い。【例】つさびとうがま (身長の低い人)。

**つさ** [ssa] 【名詞】[B] 痺れ。【例】くぬ ていーぬ つさー とうらいん (この手のしびれは取れない)。

**つさ** [ssa] 【形容詞】[B] 臭い。【例】あがーいー つづあが びーや あていくとう つさかいば んびゃーいん (あれ、お前の屁はあんまり臭くて我慢できん)。なうばいぬ つさ びーが (なんて臭いおならなんだ)。

**つざ** [zza] 【名詞】[C] 父親、お父さん。【例】つざー いつまい わいていー すかまう かないーゆー (お父さんはいつも一生懸命働いている)。つざ、はやまり くー (お父さん早く来て)。

**っさ ん°ん** [ssa ŋn] 【成句】 [m 語幹] 神経が麻痺して痺れる、足が痺れる。【例】あがいはずぬどう っさー ん°みー あいかいん (あーもー 足が痺れて歩けない)。ばーていーまい はずまい っさー ん°みーどうー (私は手も足も痺れている)。

**っさい** [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 熱い物に触れる。【例】あつむぬんかいや っさいな (熱いものには触るな)。んーぬ すーや すたまっじゃいきー っさりーにやーん (芋の煮汁をこぼそうとしてそれに触れてしまった)。うまつん っさらはいにやーん (火に触れてしまった [ <触らされてしまった])。うまつん っさりーにやーん (火に触れてしまった)。

**っさい** [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 腐る、腐った。【例】っさりー ふあーいん (腐って食べられない) っさい むぬ (腐った物)。

**っさい** [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 「言う、伝える」の謙譲語。【例】かまの ういびとうんかいどう とうっじゃ とうみたいていー っさいたい (あそこの長老に結婚したとお伝えしてきた)。  
[変異] ふさい。

**っさい** [ssai] 【名詞】 [B] 白蟻。【例】ぼんていが やーや っさいん たくまいーにやーん (私たちの家はシロアリにやられてしまった)。

**っさい** [ssai] 【名詞】 [A] 『鳥』メジロ。

**っさい** [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 発情する。【例】わーぬどう っさりゆー (豚が発情している)。いつむすまい にんぎんまい っさいていがー науちゆんま ぎっじゃ ひらいん (動物も人間も発情するとどうしようもない)。

**っさうちや** [ssautɕa] 【名詞】 『貝』高瀬貝に似た貝、身は軟らかい。

**っさうつ** [ssautsi] 【名詞】 口の形容、唇があまりでてない、のっぺりした口をしていること。

【例】からー っさうつびとう (彼は口が平たい)。

**っざがー** [zzaga:] 【名詞】 『地名』西原の裏手にある大きな洞窟、この洞窟の中には川が流れていて、ンスヌカーに通じていると言われている。

**っさかい** [ssakai] 【名詞】 草刈り。

**っさかい** [ssakai] 【動詞】 [r/rr 語幹] 混み合う。  
[変異] すかかい。

**っさがい** [ssagai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (道を) ふさぐ、(人を) とうせんぼする、(目を) つぶる。  
【例】んっちゆ っさがいな (道をふさぐな) みーゆぎゃー っさがらだうり (目を閉じるな)。

**っさがい** [ssagai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (木などに) ぶら下がる。【例】きーん っさがい (木からぶら下がる) くぬやらびゃー んまが すかまんかい いかっでい あすきゃー なきー っさがい (この子はお母さんが仕事に行こうとすると泣いて (お母さんの腕に) ぶら下がる)。

**っさかう** [ssakau] 【動詞】 鳥肌が立つ様な変な気持ちになる、不気味な変な気持ちになる、(怖くて) 足が竦(すく)む。【例】かまー うとうるす っさかう とうくま (向こうは怖くて鳥肌が立つようなところ。んきゃーん ばかぬまいゆ あいつていがー っさかうむぬ (昔の墓の前を歩くと足が竦む)。

**っさかす** [ssakasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (怒って皿などを) 滅茶苦茶に割る。【例】さらう っさかす (皿を滅茶苦茶に割る)。

**っさからす** [ssakarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (怒って皿などを) 滅茶苦茶に割る。【例】さらう っさからす (皿を滅茶苦茶に割る)。

**っさがりや むちゃい むちゃい** [ssagarija mutɕai mutɕai] 【成句】 ぶら下がったり抱かれたりすること。【例】くぬやらびゃー

いつまい っさがりや むちやい むちやい  
どー (この子はいつも、駄々をこねて抱っこ抱  
っこ言うんだよ)。

**っさかん** [ssakan] 【名詞】『生物』パタラに似  
た小さなカニ。

**っさき** [ssaki] 【動詞】[母音語幹][C] 割れる。  
【例】あかばたういや っさきーにやーん (ス  
イカは割れてしまった)。

**っさぎ** [ssagi] 【名詞】[C] 白髪。【例】うい  
びとう なりどう っさぎ がなまいん なり  
ゆー (年取って白髪頭になっている)。

**っざく** [zzaku] 【名詞】[B] 櫂 (かい)。【例】  
っざくひー ふにゆー くず (櫂で舟を漕ぐ)。

**っさぐい** [ssagui] 【名詞】濁 (だみ) 声。【例】  
かいが っさぐいや つつずみ (彼の濁声は聞  
きやすい)。

**っざくぎー** [zzakugi:] 【名詞】『植』櫂を作る  
木 [チーク、チーク材]。【例】んきゃー  
んな っざくぎー ひどう っざくーぎやー  
ちゆふゆーたい (昔はチーク材で櫂は作って  
いた)。

**っさす** [ssasi] 【動詞】[s/h 語幹][A] 知らせる、  
教える。【例】かいが くとうー ばぬんかい  
まい っさし ((彼がどんな人か、彼がいまど  
うしてるのか) 私にも教えてくれ)。かいは  
っさはだうり (彼には知らせるな)。かいが  
がんじゆーや ひーゆーむ なうむ っさし  
(彼が元気であるのかどうか教えてくれ)。か  
いんかい っさすたい (彼に知らせた)。

**っさずみやがま** [ssazimjagama] 【名詞】『昆  
草ゼミ [季節の最初に現れるセミで小型)]。

**っさだ ういきや** [ssada uikja] 【成句】い  
つの間にか、しらないうちに。【例】やらびや  
ー っさだ ういきや ほういふ なりーどう  
ー (子供はいつの間にか大きくなっている)。

**っさだつ** [ssadatsi] 【名詞】(深さ、高さが) 足  
首までの深さ、高さ。【変異】ひさだつ。

**っさたら** [ssatara] 【形容詞】平べったい。【例】  
っさたら かなまい (頭の後ろが平べったい人)  
っさたら うっそう (後頭部が平べったい人)  
っさたら どうくま (平べったい所)

**っさたらす** [ssatarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 平  
たくする。【例】うまう っさたらし (そこを  
平たくしろ)。

**っさつ** [ssatsi] 【動詞】[k 語幹][A] 割く、裂  
く。【例】たきゆー っさつ (竹を割る)。

**っさでい** [ssadi] 【名詞】[C] 芋のひげ根。  
【類】っさでいら、っさに。

**っさでいら** [ssadira] 【名詞】芋のひげ根。  
【例】かいが まいんな でいんな っさでい  
ん なりー んちゆーんだら (彼のところはお  
金が芋のひげ根のようにたくさんあるだろう)。  
っさでいらんーな っさに (ひげ根芋は芋のひ  
げ根)。【類】っさでい、っさに。

**っさに** [ssani] 【名詞】[B] (小さい芋などが付  
いた、主根になりかけている) 根。【例】んー  
ぬ っさにゆー とうい (芋のひげ根を取る)。  
【変異】ふさに。【類】っさでいら、さでい。

**っさぱず** [ssapazi] 【名詞】裸足 (はだし)。  
【例】なうや んまん っさぱずひー やまん  
かい はいりー いたい (何も履かない裸足  
で山に入っていった)。

**っさばな** [ssabana] 【名詞】低い鼻。【例】っ  
さばな やらび (低い鼻の子供)。

**っさばや** [ssapaja] 【名詞】白癬。

**っさび** [ssabi] 【名詞】[C] 楔 (くさび)。【例】  
っさびゆー っふあし (楔を噛ませろ)。っさ  
びゆー かまし (楔を噛ませろ)。

**っさび** [ssabi] 【名詞】[C] しゃっくり。【例】  
っさびぬどう ひとうむていから なまらだ

いじゅーい (しゃっくりが朝から止まらず出る)。っさびぬどう なまらはいん (しゃっくりが止められない)。

**っさび** [ssabi] 【動詞】[母音語幹][C] (土地の) 草、塵などをとって綺麗にする、(土地を) 整備する；苧麻木の葉を取る、脱穀する。【例】やーゆ っさび (家を整備する)。

**っさびじや** [ssabiza] 【名詞】足首から下の部分、足の甲。【例】つうあが っさびじやー やそうる っさびじや (お前の足は一反足のデカ足) たーん<sup>°</sup>ん がばー っさびじや (田を踏む大足)。<sup>°</sup>[類] っさ。

**っさびつ** [ssabitsi] 【動詞】[k 語幹] 引きずる。【例】うるー っさびきー かまんかい ゆっじゃし (これを引きずって、向こうに寄せる)。

**っさひつにん** [ssahitsinin] 【名詞】「ひつにん」の強調形。[類] ひつにん。

**っさぶき** [ssabuki] 【名詞】フケ。【例】っさぶきゅー かつ (フケを搔く)。

**っさやん** [ssajan] 【名詞】フィラリア虫による象皮病。【例】んきやーんな っさやん ひとうぬどう うたいそうが んなまー みーん (昔は象皮病の人がいたが今はいない)。っさやんなひー ほうーりゅーたい (象皮病の発作で震えていた)。

**っさら** [ssara] 【名詞】[A] 『地名』平良。【例】んきやーんな っさらたーひー あいきー いちじかんばかーい かかいたい (昔は平良まであるいて1時間ぐらいかかった)。

**っざら** [zzara] 【名詞】[C] 『道具』鎌。【例】つー っざら (切れ味の良い鎌)。たうんまばすぬ すーゆ っざらひー ったきー みーていがー ンまばっさ うぐっりー にやーん (スズメバチの巣を鎌で叩いてみたら蜂は攻撃態勢に入った)。

**っさらす** [ssarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 熱い物で火傷する。【例】はっじゃ あつみずん っさらはいにやーん (足を熱い水でやけどした)。あつなびん っさらはい にやーん (暑い鍋に当たってやけどした [くさらされて])。

**っさり** [ssari] 【動詞】[母音語幹][C] 腐る。【例】うぬ っぞー っさりー ふさかいば ならん (その魚は腐っていて臭くてならない)。っさり っぞうー さすどうす (腐れた魚を食べると唇が痛くなる)。<sup>°</sup>[類] ふさり、っさい。

**っさり** [ssari] 【動詞】[母音語幹][C] 発情する。【例】ぬーまー っさりー どうー (馬は発情している)。ばんていが わーや っさりやー ひどう わーぬ っしから ひんぎー まーりゅー (うちのブタは発情して豚小屋から逃げ回っている)。<sup>°</sup>[類] っさい。

**っさり** [ssari] 【接尾辞】様、敬意を表す接辞。【例】っざ っさり (お父様)。んま っさり (お母様) やびとうーんーなっさり (皆様)。

**っさん** [ssan] 【名詞】[C] シラミ。【例】っさんぬ とうぬかー あかぬ にーんどう あい (シラミの卵は髪の毛の根っこにある)。かなまいん っさんぬ うりー かうかいば ならん (頭にシラミがいて痒くてならない)。っさんぬ とうぬかうぎやー ぎっさていどう あい。(シラミの卵のことをギッサと言う)。

**っさん<sup>°</sup>んぱず** [ssaṃpazi] 【成句】象皮病(フィラリア症)で太くなった足。【例】かじやんー ささいー っさん<sup>°</sup>んぱずん ないちや (蚊に刺されて象皮病になるんだって)。

**っさんす** [ssansi] 【名詞】旧暦10月、11月ころ。【例】っさんすぬ ふたゆぐむい ((ウタキでミャークズツの後) 秋に二晩夜ごもりをすること)。

**っさんすぎー** [ssansigi:] 【名詞】『植』チークの木、櫛を作る木。[類] っざくぎー。



**っさんふい** [ssanfui] 【成句】知らないふり、こっそりと。【例】からー いつまい ばぬん いじゃうていが っさんふいゆ ひーゆ (あいつは私にあつたら、いつも知らないふりをしている)。っさんふいや ひー いかっさまい ふあう ひとつ (こっそりといくらでも食べる人だ)。

**っし** [çci] 【名詞】[C] リーフ [＜ひし(干瀬)]。【例】さにつんな っしぬ いでいー (旧暦の3月3日にはサンゴ礁が現れる)。やびじ (八重干瀬)。ほうかびじ (外干瀬)。すまずーほうっびじ (島尻大干瀬)。

**っし** [çci] 【名詞】[C] トイレ。【例】わーぬ っし (豚小屋 [昔は豚小屋で用便をしていたから])。

**っし** [çci] 【形容詞】[B] 寒い。【例】っし どうきやん あつ んつつーゆ ぬんていがー どうーぬどう んふばーい (寒いときは暑い汁を飲んだら体が温まる)。ひーふんな っしかいば んびゃーいん (寒波のときは寒くてしかたがない)。っしきぐばい (寒さで震え上がる)。っしびーふんな いんきー っぞうー っそうー (寒波到来時には海に行つて魚を拾う)。

**っじ** [zzi] 【動詞】[母音語幹] [C] 受け取る、もらう [共通語の「もらう」と違い、話し手から聞き手が受けとる場合も使う。「～てもらう」のような補助動詞用法はない]。【例】かいから っぞうー っじー ふあうたい (彼から魚をもらつて食べた)。っじ ぶすかいていがー くー (貰いたければ来なさい)。べー うるー っじる (ほら、これを受け取りなさい [＞これあげるよ])。うりゆー っじる (これを受け取りなさい)。にんぎんな っじそうん つきやー ふいーぼどう ふからすかい (人間は貰うよりも与える方が嬉しい)。

**っしがい** [çcigai] 【動詞】[r/rr 語幹] (大勢の人で) ごつた返している。【例】うんどーかい

んな ひとつぬ っしがりゆーたい (運動会には多くの人でごつた返していた)。

**っしさ** [ççisa] 【名詞】[C] 寒さ。【例】きゅーや っしさぬ ちゅーかい (今日は寒さが厳しい)。

**っしさぶかい** [ççisabukai] 【名詞】寒さで凍えること。【例】やまとうー あていくとう っしかいば っしさぶかいや ひーうたい (内地は余りにも寒いので寒さで凍えていました)。きゅーや とおりひぐいや ひー っしさぶかい (今日は底冷えで、寒さに凍えている)。

**っしさむい** [ççisamui] 【形容詞】寒がりだ。【例】ういびとう なりどう っしさむいふ なりゆー (年取つて寒がりになっている)。[類] っしさむや。

**っしさむや** [ççisamuja] 【名詞】寒がりや。[類] っしさむい。

**っじだま** [zzidama] 【名詞】取り分、分け前。【例】ばが っじだまー くさき (私の取り分はこれだけだ)。うらー っづあが っじだま (それはあなたが受け取る分だ)。[類] たま、ばきだま、とういまい。

**っしばら** [ççibara] 【名詞】裏手、後方、後ろ隣。【例】っしばらたが やー (後ろ隣の家)。

**っじや** [zza] 【接尾辞】～ぱい、～らしい。【例】やらびっじやんまり (こどもみたいなやつ)。ういびとうっじやー にやーん (老人らしくない)

**っじやー** [zza:] 【接尾辞】(動詞未然形について)次に続く動作の理由を表す、～するから、～しようと思うから。【例】ばんまい いかっじやー っづあまい いきーふいーる (私も行くのでお前も行ってくれ)。いっそう うまんかい ていっづあっじや かまんかい ゆっでい (石をそつちに投げるからあつちに寄れ)。

**っじやーきやー** [zza:kja:] 【接尾辞】(動詞未然形について)～しようとしていたら。[変

異] っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃいきー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

**っじゃーにやーん** [zza:njam] 【成句】(年寄)らしくない、分別がない。【例】かりやー っじゃにやーん ういびとう (彼は老人らしくない老人だ [= 元気だ、分別がない])。からー っじゃーにやーんまり (あいつは分別がないやつだ)。

**っじゃーんきー** [zza:nki:] 【接尾辞】(動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、~しようとしていたら。【変異】っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃーんきー。

**っじゃいきー** [zzaiki:] 【接尾辞】(動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、~しようとしていたら。【例】さかなやーんかい いかっじゃいきー とうずん んみかいー いかっだん (遊郭に行こうとしたが、妻に叱られて行かなかった)。すていっじゃいきー あたらかていー ほうっだん (捨てようとしたがもったいなくてやめた)。むぬー とらっじゃいきー、とういはっじゃきーにやーん (ものを取ろうとして取り損ねた)。【変異】っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

**っしやう** [cɕau] 【接尾辞】[w 語幹] (動詞基本形について) その動作ができなかったことをあらわす、~しそこねる。【例】すかまぬ ありーみーきやー うつなーんかい いつっしやうたい (仕事があったので沖縄に行きそこねた)。じかな ばっしどう かいん いじやうっしやうたい (時間を忘れて彼に会いそこねた)。ん っちや あてい くるまぬ ういどう ひこーきん ぬーいっしやいーにやーん (道はとても車が多く、飛行機に乗りそこねた)。っぞうー とういっしやいーにやーん (魚を取りにがした)。

**っじゃうかー** [zzauka:] 【接尾辞】(動詞未然

形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、~しようとしていたら。【変異】っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

**っじゃうきー** [zzauki:] 【接尾辞】(動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、~しようとしていたら。【変異】っじゃうかー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

**っしやな** [cɕana] 【形容詞】[B] 汚い、不潔な、汚れた。【例】かりやー うーっじゅまい ほうん っしやな んまり (彼は水浴びもしない汚い奴)。っしやな みず (汚れた水)。っしやな むぬいゆぎやー ほうん (汚い言葉づかいはしない)。

**っじゃんきー** [zzaŋki:] 【接尾辞】(動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、~しようとしていたら。【変異】っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃーんきー。

**っじゆ** [zzu] 【名詞】[C] 火鉢 (そこに穴の空いた鍋を使うことも多かった)、《祭礼》ウタキでお茶を沸かすところ。【例】んきやーんな っじゆん うまっちや たつきー んふみゆーたい (昔は火鉢で火を熾して暖を取っていた)。っじゆん ちやーゆ あっちやす (御嶽の囲炉裏でお茶を沸かす)。

**っしゆーつ** [cɕu:tsi] 【動詞】[k 語幹] (人や動物の) 相手をせずにおく、構わずにおく。【例】かりゆーぎやー っしゆーき (あいつのことは構うな)。

**っしゆーとうい** [cɕu:tui] 【成句】知っていながら ((こどもなどのやることを) 干渉せずに自由にやらせておく) [っしゆーとうい]。【例】やらびやー なうゆどう あすがていー っしゆーとうい みーんふい あっそう (子供が何をやろうとしても (干渉せずに) 見ないふりをしなさい)。

**っしん°ん** [çciɲn] 【名詞】潮干狩り [＜リーフを踏む]。【例】さにんな っしん いきー っしん°ん あす (旧暦3月3日には礁 (リーフ) で潮干狩りする)。

**つず** [tsizi] 【副詞】更に。【例】かいまい ばいはいそらが っづあー つず (彼も悪いがお前は更に悪い)。かりやー むいとうぬ がず やいそらが、とっじゃ つず (彼はケチだが、奥さんはもっと (ケチ) だ)。

**つず** [tsizi] 【動詞】[g 語幹] [A] 継ぐ。【例】くまぬ やーや さんなんぬどう つずちゃ (この家は三男が継ぐらしい)。

**つず** [tsizi] 【動詞】[g 語幹] [A] 注ぐ、(酒、水等)を注ぐ。【例】さきゅー どうすぬ ちゃばんかい つず (酒を友達の茶碗に注ぐ)。んめ とーとー、さきゅーぎやー んめ つがだうり (もう十分だ。酒はもう注ぐな)。

**つず** [tsizi] 【名詞】[B] 唾 (つば)。【例】つじゅ とうばっていー とうばつ (唾をぺっと吐く)。

**つず** [tsizi] 【名詞】[A] 頂上。【例】やーぬ つずんかい ぬーいたい (屋根のてっぺんにのぼった)。やまぬ つず (山の頂上)。

**つずん** [tsizin] 【動詞】[m 語幹] [C] (開いた手のひらを)閉じる。【例】っづあが ていーんかい でいんぬ うっかっじゃー ていーゆ つづみ (あなたの手にお金を置くから手を握ってとじろ)。

**つずん** [tsizin] 【動詞】[m 語幹] [C] しまう、整理する。【例】つんぬ たんすんかい つずん (着物をタンスにしまう)。[変異] すずん、すずみ。

**っそう** [ssu] 【名詞】[B] 糞。【例】っしんきー っそうー まい (トイレに行って糞をする)。っそうまたむぬ (糞をしたい)。っそうまたふ

なりーにやーん (糞がしたくなった)。[類] っそう。

**っそう** [ssu] 【形容詞】[B] 白い。【例】っそうびとう (色白の白い人)

**っそう** [ssu] 【形容詞】[B] 細い。【例】っそうびとうがま (細い人)。

**っぞう** [zzu] 【名詞】[B] 魚。【例】っぞう っー (魚釣り)。っぞうー あんひー がにー とうい (魚を網で巻き取る)。まーっぞう (近海魚)。びゅーいっぞう (それを食べると中毒をおこす魚)。

**っぞう すん びーふ** [zzu sin bi:fu] 【成句】魚が凍死する寒さ [「ひーふ」=寒波]。

**っそうー** [ssu:] 【動詞】[w 語幹] [A] 拾う；掬(すく)う。【例】うまん うちゅー かー っそう っそうい (そこに落ちているお菓子を拾え)。たぶひー っぞうー っそうー (たも網でさかなをすくう)

**っそうい** [ssui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 拭く。【例】ゆかう っそうり (床を拭け)。

**っそうい** [ssui] 【名詞】[C] 薬、農薬。【例】っそういや んがむぬ (薬は苦い)。っそういまき (薬負け)。っそういゆ ほうい (農薬を撒く)。

**っそうい あす** [ssui asi] 【成句】一緒に行きたがる。【例】やらびやー んまんかい っそういー ひー なつ (子供は母親と一緒にきたがって泣く)。

**っそうがー** [ssuga:] 【形容詞】薄い。【例】ぶーぬぬー っそうがー むぬ (苧麻布は薄い)。

**っそうがい** [ssugai] 【動詞】[r/rr 語幹] (手や足などを)広げる；うわさや伝染病などが広がる；子孫などが増えて行く。【例】たくぬどう はっじゅ っそうがりゅー (タコの足が広げ

ている)。ころなー あたくまん っそうがりー  
にゃーん (コロナはあつというまに広がった)。  
っふあんまがー っそうがりーどうー (孫や子  
が多い [ < (家系図的に) 広がっている ] )。

**っそうがい** [ssugai] 【動詞】 [母音語幹] (手  
や足などを) 広げる; うわさや伝染病などが広  
がる; 子孫などが増えて行く。

**っそうぎ** [ssugi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (手や  
足などを) 広げる; うわさや伝染病などが広が  
る; 子孫などが増えて行く。 [類] っそうず。

**っそうず** [ssuzi] 【動詞】 [g 語幹] [A] (空間  
的に) 広げる、(商売などを) 広げる、(自分  
のものを人に) 分け与える。【例】ふにぬ ほう  
ーゆ っそうず (船の帆を広げる)。うつつー  
ゆ っそうず (風呂敷を広げる)。かまぬ や  
ーゆ はいんかい っそうぎ (あの家を南にひ  
ろげる)。ていーゆ っそうずばどう まさり  
ーまい うやきふ ない (手を広げれば益々裕  
福になる [ > 自分のもを皆に分け与えればよ  
り裕福になる ] )。 [類] っそうぎ。

**っそうすー** [ssusi:] 【名詞】 よだれ。【例】っそ  
うすーびーた やらび (よだれまみれの子供)。  
やらびゃー っそうすーや たらすっちゃん  
ういびとうぬ はなっそう むいとう たみ  
ー つきゅーたい (子供はよだれを垂らしなが  
ら年寄りの話を夢中になって聞いていた)。

**っそうすばい** [ssusibai] 【名詞】 大小便。  
【例】っそうすばいや むつ (大小便の世話をす  
る)。ういびと なりー っそうすばいや む  
ちゃいー、かまらすかいば ならん (年取って  
下の世話になり悲しくてならない)。

**っそうだすからんまり** [ssudasikaram-  
mari] 【成句】 どうしようもない奴 (< っそう  
だすからん + んまり)。【例】からー すかま  
まい ひらいん っそうだすからんまり (あい  
つは仕事もできないどうしようもない奴だ)。

**っそうだすたらーん んまり** [ssu-  
dasitara:n mmari] 【成句】 クソにも足りない(っ  
そうだすたらーん + んまり)。【例】くぬ すか  
まー ひらいん、っそうだすたらーんまり (こ  
の、仕事ができないくその足しにもならない奴  
め)。

**っぞうだま** [zzudama] 【名詞】 (漁での) 魚の  
取り分。【例】んーなんかい っぞうだまう  
なかーり (皆に魚の取り分をを分けろ)。

**っそうっさぎ** [ssussagi] 【名詞】 白髪。【例】  
っそうさぎ がなまい (白髪だらけの頭)。っそ  
うっさぎぬ ういゆー (白髪が生えている)。

**っぞうぬみー** [zzunumi:] 【名詞】 魚の目 [手、  
足の皮膚病の一種]。【例】うゆびんどう っ  
ぞうぬみーぬ いじゅー (指に魚の目ができて  
いる)。

**っぞうぬみー** [zzunumi:] 【名詞】 イソギン  
チャク。【例】あつづあみーがまー っぞうぬ  
みーとうどう ひとつみ うい (クマノミはイ  
ソギンチャクと一緒にいる)。

**っそうひだ** [ssuhida] 【名詞】 サザエの蓋。  
【例】っそうひだう はずき (サザエの蓋を弾け  
[昔はサザエの蓋をおはじきにして遊んだ])。

**っそうひだぶに** [ssuhidabuni] 【名詞】 半月  
板 [膝関節の間にあつてクッションの役割をす  
る軟骨組織]。【例】たうりー っそうひだぶ  
にゃー ばりーにゃーん (転んで半月板が割れ  
てしまった)。

**っそうます** [ssumasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 白く  
する。【例】おしろいや つきー みはなう  
っそうます (白粉をつけて顔を白くする)。

**っそうまた** [ssumata] 【形容詞】 便意をもよ  
うす。【例】っそう またかいば んびゃーい  
ん (糞したくて我慢できない)。

**っそうん** [ssun] 【動詞】 [m 語幹] [A] 白くな  
る、白む、明け方になる。【例】ていんぬ っ

そうん (空が白む)。ていだーあがりー ていんな っそうみー っちゅー (日が昇って空は白んできている)。

**った** [tta] 【名詞】 [B] 舌。【例】 やらび あいきゃー やーら やっぐい じゃたう ったひー なんたい (こどもの時はやわらかい質の悪い黒糖を舌で舐めた (ものだ))。

**った** [tta] 【名詞】 [B] 高瀬貝、ほら貝、水字貝などのエナメル状の蓋 [サザエの蓋は「っそうひだ」という]。

**ったー** [tta:] 【接尾辞】《接続助詞》「ていがー」の縮約形、節を取って仮定条件を表す、「たら」、「れば」、「なら」。[変異] ていがー。

**ったい** [ttai] 【動詞】 [C] 動詞「くー」(来る)の過去形。【例】 たるがどう ったいが (誰が来たのか)。かいがどう ったい (彼が来た)。

**ったつ** [ttatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 叩く、殴る。【例】 ひとつー ったきや ならん (人を叩いていけない)。やらびゅーぎゃー ったかだ ならーし (子供は叩かないで教えろ)。がばていー ったつ (ゴツンと叩く)。ぎずぎやうなーひー そうじゃん みんなつうあー ったかいたい (やんちゃして、兄にびんたを張られた)。かまぬ ぎずぎやうなうぎゃー ったきー ならーし (向こうの腕白坊主は叩いて教えなさい)。[変異] ったふ。

**ったていー** [ttati:] 【副詞】 さっさつと。【例】 ったていー ふあい (さっさつと食べる)。

**つだに** [tsidani] 【名詞】 [A] お産直後、乳が固くなっていること。【例】 つだにゅー ばい (お産直後、固くなっている乳をやわらかくすること)。

**ったふ** [ttafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 叩く、殴る。[変異] ったつ。

**っだん** [ddan] 【接尾辞】 動詞未然形について過去の否定を表す。【例】 ゆまっだん (読まなか

った)。つかっだん (聞かなかった)。ほうっだん (しなかった)。つうあっだん (売らなかった)。っちやっだん (着なかった、釣らなかったなど [「つー」の否定過去])。くーっだん (来なかった)。

**っちやー** [ttɕa:] 【接尾辞】 (動詞基本形について) 方法、～方 (の基本を知っている) [「知る、知らない」だけがあとに続く]。【例】 ふあう っちやー っさん (ちゃんとした食べ方を知らない)。くぬ やらびゃー んなーぎゃー あいつっちやー っさん (この子供はまだ歩けない)。ならーすっちやー っしーどうー ((一応の) 教えかたを知っている)。ばらう っちやー っさん ゆがばらい (笑い方を知らない不自然な笑い)。

**っちやー** [ttɕa:] 【接続詞】 それでは。【例】 じよ っちやー すかまう すうぎゃきいでい (さあ それでは仕事を始めよう)。っちやー ばんちやー やーんかい はらでい (それでは私達は家に帰ります)。

**っちやーん** [ttɕa:n] 【接尾辞】 (動詞基本形について)～しながら。【例】 ふあう っちやーん あっそう (食べながらやりなさい)。かぬ やらびゃー なつっちやーん あいきー ったい (あの子は泣きながら歩いて帰ってきた)。

**っちやす** [ttɕasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] (直接相手に) 着せる、(相手に言って他の人に) 着させる。【例】 うっとうんかい つんぬ っちやし (弟に着物を着せろ、弟に着物を着させろ)。かいいん っちやす つんな にやーん (あいつに着せる着物がない)。

**っちやすみ** [ttɕasimi] 【動詞】 [母音語幹] (相手に言って他の人に) 着させる。【例】 うっとうんかい つんぬ っちやすみる (弟に着物を着させろ [母親が姉に命令して、その結果弟が服を着る場合などに使う])。

**っちやまい** [ttɕamai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (人が) 成熟する、大人っぽくなる。【例】 うぬ

みどうんがまー っちゃまりゆーががら み  
つりーどうー (その女の子は成熟しているのか、  
女性っぽくなっている)。みどうんつぎあー  
っちゃまりどう ぶとむつ はだん なりーう  
い (女の子は成熟して結婚する頃になった [く  
夫を持つ])。うぬ びきどうんやらびゃー っ  
ちゃまりどう みっりーゆー (その男の子は成  
熟して男らしくなっている)。

**っちゃまいびゃー** [ttɕamaibja:] 【形容詞】  
(人が) 成熟が早い、早熟だ。【例】かぬ や  
らびゃー っちゃまいびゃー やらび (あの子  
供は早熟だ)。

**っちゃんつ** [ttɕantsi] 【動詞】[k 語幹] (針の)  
目を通す；(運ぶために魚のエラの方から口の  
方に、ススキを) 通す。【例】はいぬ みーゆ  
っちゃんつ (針の穴から糸を通す)。はいん  
かい いとうー っちゃんつ (針に糸を通す)。  
ぎすつひー っぞうー っちゃんつ (ススキを  
魚の鰓(えら)から口に通す)。**[変異]** っちゃん  
ふ。

**っちゃんふ** [ttɕanfu] 【動詞】[k 語幹] (針の)  
目を通す；(運ぶために魚のエラの方から口の  
方に、ススキを) 通す。**[変異]** っちゃんつ。

**っちゃんふ** [ttɕanfu] 【形容詞】くやしい。  
【例】っちゃんふむぬ (くやしい)。

**っちゆい** [ttɕui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 壊れ  
る、倒れる。【例】やーや かでいふつん っ  
ちゆりー はりーにゃーん (家は風で壊れてし  
まった)。

**っちゆす** [ttɕusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 壊す、  
倒す。【例】やりやーゆ っちゆす (古い家を  
壊す)。ますぎたう っちゆす (石垣を壊す)。  
んつきぬ すたぬ まんちゆーぎーゆぎゃー  
っちゆひー すている (軒下のパパイヤの木を  
倒して捨てる)。ほうかでいふつん やーや  
っちゆらはいにゃーん (大風で家が壊されてし  
まった)。

**つつ** [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (銚で) 突く、  
(杖を) 突く、(まりを) つく、(杵で) 搗 (つ)  
く。【例】っぞうー うぎんひー つつ (魚を  
銚で突く)。うすひー まいゆ つつ (白で米  
を搗く)。**[変異]** つふ。

**つつ** [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 聞く；聞き従  
う；尋ねる、質問する；(言葉を聞いて) 理解  
する。【例】むぬいゆ つつ (話を聞く)。ぱ  
ーが いがんぐいゆ つつ (おばあさんの遺言  
を聞く)。からー ほうむぬ ゆみや やいば  
とうーぬ なか ひていっちゃとうんま つ  
かいん (彼は大ぼら吹きだから 10 の中 1 つも  
聞けない [ >信用できない])。むぬーぎゃー  
つきどう ならう (ものを聞いて学ぶ)。ゆー  
かーまん ひんじゃぬ なきゆーむぬぬ つか  
いたい (遠くでヤギのなくのが聞こえた)。そ  
うじゃが むぬいゆぎゃー つき (兄の言うこ  
とには従え)。なーゆ つふ (名前を聞く)。く  
ぬいぬ ばかむぬんみゃー すまぬ むぬいゆ  
ぎゃー つつそうが むぬっじゃいん (最近の  
若い人たちは、方言を理解することはできるけ  
ど話すことはできない)。**[変異]** つふ。

**つつ** [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 効く。【例】  
うぬ っそいや やんかいや つかっだん (そ  
の薬は病気には効かなかった)。つつ っそう  
い (利く薬)。つかん っそくい (きかない薬)。  
**[変異]** つふ。

**つつ** [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 着く、到着す  
る。【例】うつなーんかい つきーどうーな  
(沖縄本島に着いたか)。**[変異]** つふ。

**つつ** [tsitsi] 【名詞】[B] 月(暦)、月(天体)。  
【例】つつぬ ゆーんな ていんぬ ほうっそう  
みー (月夜には天の星を眺める)。ひとうつ  
つ、ふたつつ (一月、二月) くぬいや ふたつ  
つひー やーや ちゅっふあいどうす (最近  
は二か月で家はできる)。

**つつー** [tsitsi:] 【動詞】[cc/tt 語幹] [C] 切る。  
【例】わーゆ つっちー にーふあう (豚肉を切

- つたいて食べる)。いとうーぎゃー つちやだうり (糸を切るな)。
- つっ** [tsitsi:] 【名詞】 [C] ナマコ。【例】つっや なびー むぬ (ナマコはつるつるしている)。ぬーまぬはなずつー (黒ナマコ)。
- つっづい** [tsivvi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (目) つぶる。 [類] つー。
- つっづい** [tsivvi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 癲癩の発作を起こす。【例】つっづい すにーにゃーん (癲癩などの病気で死ぬ)。つっづいーぶらかいりーにゃーん。(癲癩で気を失ってひっくり返った)。 [類] つー。
- つっづいやん** [tsivvijan] 【名詞】 癲癩。 [類] たまつつやん。
- つっぐたい** [tsitsigutai] 【名詞】 聞きごたえ。
- つっじゃうず** [tsitsizauzi] 【名詞】 聞き上手。【例】つっじゃうっじゃ ひー ふいーさまでい (よく聞いてください)。
- つっず** [tsizzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] 妨害する; 塞ぎとめる。【例】ぎずぎゃうぬやらびぬどう あぐー あいかはじゃんていー んちちゅ つっじゅー (腕白坊主が友達をあるかせないと道をふさいでいる [ >通さないと])。ひとぬ とうーい んちゆぎゃー つっじゃん (人の通る道は遮らない)。っぞうー ひんがはんやうん うまう つっでい (魚を逃がさないようにそこを塞ぎ止める)。
- つっちやす** [tsittçasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 切らす。【例】まいや つっちやひーにゃーん (米を切らした)。
- つっちゅ** [tsittçui] 【名詞】 [A] 月 (天体)、月夜。【例】つっちゅ ぬどう いでいーうい (月が出ている)。つっちゅぬ ゆーんな ていんぬ ほうっそう みー (月夜には天の星を眺める)。 [類] つつ。
- つっちゅい** [tsittçui] 【動詞】 [r/rr 語幹] 拳で殴る。【例】かいが かまっちゅ つっちゅり (彼の頬を殴れ)。
- つっつ** [ttsitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (金槌等で) 叩く; (棒などで) つつく。 [変異] つつ。 [類] つつふ、つつつ。
- つっつ** [tsittsi] 【動詞】 [cc/tt 語幹] [C] (糸などを) 切る; 切れる。【例】やらびゃー いとうー つっていー はりーにゃーん (こどもは糸を切って行ってしまった)。あっちゃぬ ぶーや つっちゅーば なくはだかーならん (下駄の鼻緒が切れたので直さないといけない)。まーにぬ ん<sup>o</sup>なー なんとが つっちやいん (黒ツグのひもはちょっとやそっとでは切れない)。 [類] つつー。
- つっつ** [tsitsitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (金槌等で) 叩く; (棒などで) つつく。【例】かにふっじゅ うんかっでいーひー はっじゃきーげんの一ひー うなが うぶゆー つつきーにゃーん (釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった)。んまばすぬ すーゆ つつきー みーていがー んまばっさうぐりーにゃーん (蜂の巣をつついたら蜂は一瞬に飛び出し攻撃にでた)。 [変異] つつふ。 [類] つつふ、つつつ。
- つっつふ** [tsitsiffu] 【動詞】 [f/ff 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす。【例】うぬやらびゃー んまー とうみかにー つつっふいーまーりゅーい (この子はお母さんをみつけられずパニック状態になって歩き回っている)。 [変異] つつんつ。
- つってい** [tsitti] 【動詞】 [母音語幹] [C] 切る、切れる。【例】あがい、あっちゃぬ ぶーや つっていーにゃーん (あっ、下駄の緒が切れちゃった)。 [類] つつー、つつつ。
- つつとうい** [tsittui] 【名詞】 思慮、分別、判断、反応。【例】うるー つつとういや ひーみーる (それをよく検討してみなさい)。

**つとぅいばぎ** [tsittuipagi] 【名詞】思慮分別にかけている人、間抜け。【例】つとぅいばぎやー たきやー ひらいん（間抜けは相手にできない）。かりやー さうや にやーん つとぅいばぎんまり（彼は思慮がない、無分別な奴だ）。【類】つとぅいばぎや。

**つとぅいばぎや** [tsittuipagja] 【名詞】思慮の足りない奴。【類】つとぅいばぎ。

**つつふ** [tsitsifu] 【動詞】[k 語幹] [C]（金槌等で）叩く；（棒などで）つつく。【類】つつつ、つつつ。

**つつふい** [tsitsifui] 【成句】聞くふり。【例】むぬいゆぎやー つつふい あす（話を聞くふりをする）。

**つつぶり** [tsitsiburi] 【名詞】聞きほれること。【例】かいが あーぐんかい つつぶりやー ひーにやーん（あいつの歌に聞きほれてしまった）。

**つつむどうい** [tsitsimudui] 【名詞】とんぼ返り、着いたらどどまらず、取って返すこと（着き+戻り）。【例】つつむどうい あっそう（とんぼ返りしろ）。

**つつむらす** [tsitsimurasi] 【動詞】[s/h 語幹] 聞き洩らす。

**つつやう** [tsitsijau] 【成句】聞きよう、聞き方次第。【例】むぬー つつやう（ものは聞きようだ）。

**つつんく** [tsitsin̄ku] ①【動詞】[k 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。【例】まーぬ ほうりぎなりー つつんかん（そんなに落ち着きなく動き回るな）。【変異】つつんつ、つつんふ。【類】つつんつ、つつんふ、つとぅっふ。②【名詞】慌てふためくこと、パニックを起こすこと、落ち着きなく動き回ること。【例】まーぬ ほうりぎなりー つつんく あすな（そんなに落ち着きなく動き回

るな）。【変異】つつんつ、つつんふ。【類】つつんつ、つつんふ。

**つつんつ** [tsitsintsi] ①【動詞】[k 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。【例】やらびやー んまー とぅみかにー つつんきー まーりゆー（この子はお母さんを見つけられずパニック状態になって歩き回っている）。【変異】つつんふ、つつんく。【類】つとぅっふ。②【名詞】慌てふためくこと、パニックを起こすこと、落ち着きなく動き回ること。【変異】つつんく。

**つつんふ** [tsitsinfu] 【動詞】[k 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。【変異】つつんつ、つつんく。【類】つとぅっふ。

**つていー** [tti:] 【名詞】[B] キセル。【例】たばくー つていーひー ふつ（煙草をキセルで吸う）。んきやーんな きぎみたばくー つていーんかい いりー ふきゆーたい（昔は刻み煙草をキセルに入れて吸っていた）。

**つていー** [ddi:] 【成句】でいていー（意志の接尾辞「でい（よう）」+引用助詞「ていー（と）」の省略形、「ようと」。【例】たちやっでい あすきやー みーや まーるーたい（立とうとしたら、目が回った）。【類】あていがー。

**つていつ** [ttitsi] 【名詞】[C] 一つ。【例】たうかーひー つていつなー とぅい（一人で一つずつ取れ）。んなない ゆーいぬ うさいや つていつ むっちゃひー はりーにやーん（全員 お祝いの料理をそれぞれひとつずつ持ち帰らせた）。【類】ひていつ。

**つとぅ** [tsitu] 【名詞】[C] お土産。【例】うぬ たんかんな うつなーからぬ つとぅ（このみかんは沖縄からのお土産だ）。くりやーやまと からぬ つとぅがま（これは内地からのお土産です）。



**つとうっふ** [tsituffu] 【動詞】[f 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。[変異] つとうふー。[類] つつんつ、つつんふ、つつんく。

**つとうふー** [tsitufu:] 【動詞】[f 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。[変異] つとうっふ。

**つなず** [tsinazi] 【動詞】[g 語幹] [A] 繋ぐ。  
【例】ん<sup>ろ</sup>なう つなず (綱を繋ぐ)。

**つば** [tsiba] 【名詞】[B] アダンの実の外の方の実。【例】あだんな ばすまい つばまい ふあーいどうす (アダンは中の実も外の実も食べられる)。

**つばい** [tsibai] 【名詞】[A] 柱等に強度を持たせるための斜めの梁、筋交い。【例】つばいやいりー はらう ちゅーふ なす (筋交いを入れて柱の強度を強くする)。

**つふ** [ffu] 【形容詞】[B] 黒、黒い。【例】っふあか (黒髪)。っふじやた (黒糖)。っふつ (黒い血)。っふがー (黒い肌の人)。っふびかい (黒光り)。っふ あじゃ (黒いあざ)。うまぬ んたー っふ (そこの土は黒い)。ばが みはなぬどう っづあんつきやー っふかい (俺の顔の方がお前より黒い)。

**つふ** [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [A] (銚で) 突く、(杖を) 突く; (まりを) つく; (杵で) 搗 (つ) く。【例】うぎんぬ っぞうんかい たみーつき (銚を魚に狙いを定めて突け)。ういびとう ないていがー でいーや つきーまーい (年を取ると杖を突いて歩く)。まーいゆ つふ (毬をつく)。うすひー まいゆ つつ (白で米を搗く)。[変異] つつ。

**つふ** [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [C] 着く、到着する; (岸などに) 接岸する。【例】ばっさ んなーぎやー つかん (バスはまだ到着しない)。ふにゅーぎやー うまんかい つかし (舟をそこに着ける)。[変異] つつ。

**つふ** [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [A] 聞く; 聞き従う; 尋ねる、質問する; 理解する。【例】からー ほうむぬゆみや やいば かいが むぬいや とうーん ひていっちゃ つかいん (彼は大ぼら吹きだから彼の言うことは10の中1つも聞くことができない [>信用できない])。ひとうぬ はなっそうぎやー みんな たみーつき (人の話は耳を傾けて聞け)。[変異] つつ。

**つふ** [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [A] (薬などが) 効く。【例】うぬ っそーいや やんかいや つかっだん (その薬は病気には効かなかった)。つふ っそーい (利く薬)。[変異] つつ。

**つぶ** [tsibu] 【名詞】[B] つば、灸所; 話の要点。  
【例】つぶー やちゅーさ ひー やつ (ツボをもぐさで焼く)。はなすぬ つぶ (話のつば [>話の大事な所])。

**つぶ** [tsibu] 【名詞】[B] 壺。【例】っしん ばら じゃんぬ あす とうきやんな みじゅきぬ つぶん あんな はりゅーとういどう っぞうーぎやー がにー とうい (リーフで追い込み漁をするとき瀬と瀬の間の深みの壺に網を張っててそこに魚を追い込み巻き込んでとる)。

**つふあ** [ffa] 【名詞】[A] 子供。【例】かまぬ やーんな びきどうんっづあ いつぬひと みどうんっづあー むゆぬひとう うりーどう (向こうの家には男の子は5人、女の子は6人いる)。っふあだに (子種)。っづあが っふあう ばぬん ふいーる (あなたの娘を私にくれ)。

**つふあ** [ffa] 【形容詞】[A] 暗い。【例】っふあゆー (暗い夜)。っふあふ ない (暗くなる)。うまー っふあかいば ならん (ここは暗くてならない)。

**つふあーす** [ffa:si] 【動詞】[s/h 語幹] 穴を埋める、(失敗などの) 穴埋めをする。[類] っふあす。

**つふあい** [ffai] 【動詞】[母音語幹] [C] 太る、太った。【例】っふあいびとう (肥満の人)。か

りやー くぬいや つふあいーどうー (彼は最近は太っている)。まどうづあい あすていがー つふあいどうす (間食すると太る)。

**つふあい** [ffai] 【名詞】[B] 肥料。【例】つふあいゆ はいんかい いりー (肥料を畑に入れる)。ぬーまぬ たつから つふあいゆ いだす (馬小屋から堆肥を出す)。

**つふあさーい** [ffasai] 【名詞】子守すること、また子守する人。

**つふあす** [ffasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 穴を埋める；(楔などを) 噛ます；(失敗などの) 穴埋めをする；げんこつなどを食らわせる。【例】うまぬ あなう つふあし (そこの穴を埋めろ) つさびゆー つふあし (楔を噛ませろ)。ういが みーや つふあはいん (彼の失敗は取り戻せない)。あどうぐるー つふあし (踵で叩け)。  
[類] つふあーす。

**つふあつ** [ffatsi] 【名詞】[B] 《道具》 鍬 (くわ)、農具。【例】つふあつひー んーぬ かでいー (鍬 (くわ) で芋を掘る)。

**つふあどうい** [ffadui] 【名詞】スズメ。[類] つふあどうりや、ふあどうら。

**つふあどうら** [ffadura] 【名詞】スズメ。[変異] つふあどうりや。[類] つふあどうりや、ふあどうい。

**つふあどうりや** [ffadurja] 【名詞】スズメ。【例】うさき うたい つふあどうらまい くぬいや まーぬ みーらいん (あんなに沢山いたスズメも最近は余りみかけない)。  
[変異] つふあどうら。[類] つふあどうら、ふあどうい。

**つふあなす** [ffanasi] 【動詞】[s 語幹] 子供を産む、お産する。【例】うぬ みどうんな んなまどう つふあなす はだ (この女性は今が子供を産みそだてる年ごろだ)。

**つふあまい** [ffamai] 【動詞】[r/rr 語幹] 隙間がない位密集する、窮屈である；隙間なくはま

る。【例】やーんな うとうじゃんみぬどう つふあまりゆー (家には親戚達が沢山集まっている)。つふあまりー びじ (くつついて座れ)。くさびやー ずみく つふあまりー どう (楔はきちんとはまっている)。

**つふあまい** [ffamai] 【形容詞】狭い、隙間がない位密集している、窮屈である、隙間なくはまる。【例】うまー つふあまいかいば たるが びー まどうまい にやーん (ここは狭いので誰の座る場所もない)。

**つふあまらす** [ffamarasi] 【動詞】[s/h 語幹] きつくする、窮屈な状態にする。【例】くさびゆー つふあまらし (楔を噛まして動かないようにしろ)。あなんかい うりゆー つふあまらし (穴にそれをはめろ)。

**つふあみつ** [ffamitsi] 【動詞】[k 語幹] 息をハーハーする、息切れする。[類] はーみつ。

**つふあむい** [ffamui] 【名詞】子守すること、また子守する人。【例】つふあむいや くーむぬ (子守りは大変だ)。

**つふあむつ** [ffamutsi] 【名詞】子育て。【例】んなーぎやー つふあむつ ばな (まだ子育ての真っ最中)。

**つふあむつじやうず** [ffamutsizauzi] ①【名詞】子育て上手。【例】つふあむつじやうつじや あらん (子育て上手ではない)。②【形容詞】子育て上手な。【例】つふあむつじやうずつふあにやーん (子育て上手ではない)。

**つふあむつばな** [ffamutsibana] 【名詞】子育て真っ最中。[類] つふあむつばんず。

**つふあむつばんず** [ffamutsibanzi] 【名詞】子育て真っ最中。[類] つふあむつばな。

**つふあむらがん** [ffamuragan] 【名詞】《生物》カニの一種、ソデガラッパ。【例】つふあむらがんな ふあうとうくまー にやーん (ソデガラッパには食べる場所がない)。

**つふあんまが** [ffammaga] 【名詞】子と孫、子孫代々。【例】ばいさう あすていがー つふあんまがたーひーまい とぅがまいどうす（悪事を働いたら子孫代々まで咎まれる）。つふあんまがー いふたーい うり（子と孫は何人いますか）。

**つふあんみ** [ffammi] 【名詞】「つふあ（こども）」の複数形、子供たち。【例】あちゃ あめりかから つふあんみぬ んまがー さーりー むどうりーふー（あしたアメリカから子供たちが孫を連れて帰ってきます）。つふあんみぬ まいんきや むぬーぎやー びびききや ふあうだら（子供たちのところにいったら食べ物吐き出すまで食らんだよ [＞親が成人した子供の家に行ったらたくさんごちそうになったほうがいい]）。

**つふい** [ffi] 【名詞】[B]（習字に使う）墨、（タコやイカの）墨。【例】たくぬ つふい（タコの墨）。

**つふいま** [ffima] 【名詞】[B]『地名』来間島。

**つふがー** [ffuga:] 【名詞】色黒の人。

**つふぎ** [ffugi] 【名詞】[C] 陰毛。【例】つふぎぬどう ういゆー（陰毛が生えている）。

**つふすー** [ffusi:] 【形容詞】汚い、汚れた、黒くなった。【例】つふすーみず（黒く汚れた水）。つふすーみはな（汚れた顔）。つふすー つんぬぎやー みずん つきーから あらい（汚れた服は水につけてから洗え）。

**つふた** [ffuta] 【名詞】[C]『蔑称』馬鹿野郎。

**つふたん** [ffutan] 【副詞】黒く（なる）。【例】なつぬ ひーていー じゃりやー ひどう どうーや つふたん なりゆーい（夏の日太陽にさらされて体が黒くなっている）。

**つふなず** [ffunazi] 【名詞】『魚』フエフキダイ。【例】つふなっじゆ つーたい（フエフキダイを釣った）。

**つふなた** [ffunata] 【名詞】ヒキガエル；相手を馬鹿にする言葉、この野郎。【例】くぬ つふなた（この馬鹿野郎）。

**つふはんず** [tsifuhanzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] 突きそこなう。【例】つぞうー つふはんじーにやーん（魚を突きそこなった）。[変異] つふはんつず。

**つふはんつず** [tsifuhanzzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] 突きそこなう。[変異] つふはんず。

**つふます** [ffumasi] 【動詞】[s/h 語幹] 黒くする。

**つふみ** [ffumi] 【動詞】[母音語幹] [C] 黒くなる。[類] つふん。

**つぶや** [tsibuja] 【名詞】[B] 瓦窯を持つ瓦屋 [＜壺屋]。

**つふん** [ffun] 【動詞】[m 語幹] [C] 黒くなる。【例】ていぬ つふん（空が雨雲で暗くなる）。[類] つふみ。

**つふん** [ffun] 【動詞】[m 語幹] [C]（口に）含む。【例】やらびやー あみじゃたう ふつん つふみゆー（こどもは飴を口に含んでいる）。みっじゆ つふみ（水を口に含め）。

**つぶん** [tsibun] 【名詞】[B] 蕾（つぼみ）；乳首；皮膚等の尖がったもの。【例】はなぬつぶん（花の蕾）。[類] つーぬふつ。

**つまい** [tsimai] 【名詞】[A] 血便、鼻たれみたいな便（液状になった便）。

**つみ** [tsimi] 【名詞】[B] 爪。【例】つづあが つみやー んびゆーば きり（お前の爪は伸びているから切れ）。

**つみぐる** [tsimiguru] 【名詞】糸を巻く竹の筒 [宮古上布を折るとき、横糸を巻く竹のこと。ヤマ（糸車）で整形してから、カシギにかけて長さを測り、バフに巻いてから、ツミグルに移して使う]。

**つみや** [tsimja] 【名詞】[C]《昆》セミ。【例】  
つみやぬ すでいぐる（セミの脱け殻）。

**つみやー** [tsimja:] 【名詞】[C] せい、原因。  
【例】ほうかでいふつぬ つみやーん やーや  
っちゅりー にやーん（台風のせいで家は壊れ  
てしまった）。

**つむ** [tsimu] 【名詞】[B] 心、肝、気、気持ち。  
【例】からー ほうずむびとう（彼は心の大きな  
人だ）。からー いみずむびとう（彼は心の大  
きな人だ、小さな人だ）。つむまい んみまい  
やすまらん（心も胸も休まらない）。つむぬ  
そうくから みどうんぬ くとうー うむー  
（心の底から妻のことを思う）。つむー ほうが  
はいー にやーん（心は満足させられた）。う  
なが つむーぎやー むちゃん ひとつ（短気  
で直ぐに怒る人）。かりやー たるんかいまい  
つむ つかう ひとつ（彼は誰にも気配りの  
人）。つづあが つむー とうらいん（あなたの  
心は理解できない（>あなたとは上手くやって  
いけない）。すかまうぎやー つむー ひてい  
つん なりー あす（仕事は心をつつになっ  
てやる）。にんぎんな つむぬ またぎす（人間関  
係は心次第（人間は心の良い人には共感する）。

**つむ かさみつ** [tsimu kasamitsi] 【成句】[k  
語幹] 心が煮えくり返る。【例】かさますかい  
ば つむー かさみきーどうー（悔しくて心は  
煮えくりかえっている）。

**つむー いだす** [tsimu: idasi] 【成句】[s/h  
語幹]（誰かに対して）怒る；（誰かを）怒らせ  
る。【例】あいや つむーぎやー いだすな  
（そんなに怒るな）。やぐみ つむ いだす ひ  
とう いー（とても {怒る/人を怒らせる} 人な  
んだね）。

**つむー だり** [tsimu: dari] 【成句】[母音語  
幹] 気落ちする。【例】ぬーまん ひんがい  
つむー だりーどう（馬に逃げられて気落ちし  
ている）。

**つむー なうす** [tsimu: nausi] 【成句】[s/h  
語幹] 機嫌を直す、機嫌がなおる。【例】やら  
びやー なきゅーたいそうがどう つむー な  
うひー ばらいーゆー（子供は泣いていたが機  
嫌が直って笑っている）。

**つむー にやーん** [tsimu: nja:n] 【成句】 思  
いやりが無い、薄情な。【例】かりやー うと  
うじゃうまい ただかん つむーにやーん ひ  
とうんまり（彼は親戚も世話をしない薄情な奴  
だ）。

**つむー ぷず** [tsimu: puzi] 【成句】[g 語幹]  
満足する。【変異】つむーほうず。

**つむー ほうず** [tsimu: huzi] 【成句】[g 語  
幹] 満足する。【例】すかまー まさぐん ひ  
らいー つむー ほうがはいーにやーん（仕事  
は成就出来て満足した（<満足させられた））。  
【変異】つむー ぷず。

**つむー ほうず** [tsimu: huzi] 【成句】[g 語  
幹] 満足する。【変異】つむー ぷず。

**つむー やます** [tsimu: jamasi] 【成句】[s/h  
語幹] 心を痛める、（人の）心を苦しめる。【例】  
ばーや つづあが んまー すなひー つむー  
やまひー うたい（おばあさんは あなたの  
母親を亡くして心を痛めていた）。

**つむー やん** [tsimu: jan] 【成句】 悩む。  
【例】つむー やんむぬ（心が痛む）。

**つむー ゆるつ** [tsimu: jurutsi] 【成句】[k  
語幹] 人を信用して心を許す。【例】しーとう  
んみやー しーしんかい つむー ゆるきー  
なうゆまい あい（生徒たちは先生に心を許し  
て、なんでも打ち明ける）。

**つむあいひとつ** [tsimuaihitu] 【名詞】 情の  
ある人、やさしい人。【例】からー つむあい  
ひとつ やいば、ひとつーぎやー みつふあさ  
ほうん（彼は優しい人なので、他人を嫌うこ  
とはない）。【変異】つむあいひとつ。

**つむあいびとう** [tsimuaibitu] 【名詞】情のある人、やさしい人。[変異] つむあいひとつ。

**つむいでい** [tsimuidi] 【動詞】[母音語幹] 怒る。[変異] つむでい。[類] つむいだす。

**つむうつ** [tsimuutsi] 【名詞】みぞおち。【例】つむうつぬ ったかいていがー いちやかかいば ならん (みぞおちを叩かれて痛くてならない)。

**つむがーい あす** [tsimugai asi] 【成句】心を入れ替える、改心する、心変わりする。【例】やらびあいきやー ぎずぎやうな あたいそがどう たきやー たらいーみーていが つむがーいや ひー うとうなすふ なりーうい (子供の頃は腕白だったが年齢相応になったら心を入れ替えて、大人しくなっている)。うぬ みどうんな つむがーいや ひー ゆそうぬ びきどうんぬ まいんかい はりーにやーん (その女は心変わりをして、別の男のところに行ってしまった)。

**つむかぎ** [tsimukagi] 【形容詞】心が良い、情け深い；気前がいい。【例】つむかぎかいばどう うやきんな ならいー (心が良いので金持ちになれる)。がんじゅーさー いつばん、つむかぎさまい いつばん、うむくとうまい いつばん (健康が一番、心根の良さも一番、知恵も一番) [「みどり会 (西原老人会) の標語】。

**つむかさみつ** [tsimukasamitsi] 【形容詞】イライラする。【例】かさますかいば つむかさみつむぬ (うるさいのでイライラする)。[類] かさみつ。

**つむがま** [tsimugama] 【名詞】短気、短気な。【例】かりやー つむがま えいば すぐ つむでいー (彼は短気だから直ぐに怒る)。

**つむじゃ** [tsimuza] 【名詞】[C] よく怒る人。

**つむだす** [tsimudasi] 【動詞】[s/h 語幹] (誰かを) 怒らせる。【例】つむだすんまり (人を怒

らせる奴)。かりやー やぐみ ひとつぬ つむだす ひとつ いー (あいつはとても人を怒らせる人だ)。[類] つむいだす。

**つむたみ** [tsimutami] ① 【名詞】冷静 (な人)、心穏やか (な人)。【例】からー つむたみ やいば つむでいていぬ くとうーにやーん (彼は冷静な人だから怒るということはない)。つむたみやー あらん (冷静でない)。② 【形容詞】冷静だ、心穏やかだ。【例】つむたみつふあにやーん (冷静でない)。つみたみびとう (冷静な人)

**つむたみや** [tsimutamja] 【名詞】冷静な人、心穏やかな人。[類] つむたみ。

**つむちやー** [tsimutca:] 【名詞】互いに心が通いあう関係にあること、持ちつ持たれつのあること。【例】にんぎんな つむちやー (人間はおたがいに持ちつ持たれつだ)。[類] つむちやい。

**つむちやい** [tsimutcai] 【名詞】互いに心が通いあう関係にあること、持ちつ持たれつのあること。【例】にんぎんな つむちやい やいば いつまい まさぐん あすばどう じゃうかい (人間はもちつもたれつなのだから、正直にしている方がいい)。

**つむつ** [tsimutsi] 【名詞】[B] 気立て、性質。【例】つむつ かぎびとう (気立てのいい人)。じゃうつむつみどうん (気立てのいい女性)。

**つむつかうひとつ** [tsimutsikauhitu] 【名詞】気をつかう人。【例】かりやー たるんかいまい つむつかう ひとつ (彼は誰にも気配りをする人だ)。[変異] つむつかうひとつ。

**つむつかうひとつ** [tsimutsikaubitu] 【名詞】気をつかう人。[変異] つむつかうひとつ。

**つむぬなか** [tsimununaka] 【名詞】心の中。

**つむひぐりや** [tsimuhigurja] 【成句】薄情なひと。【例】かりやー ほうーらーす つむひぐりや (彼はケチで薄情な人だ)。

**つむひぐる** [tsimuhiguru] ①【名詞】薄情な人。

【例】からー つむひぐる やいば でいんぬぎゃー かしゃー ふいーんよ（彼は薄情者だから金は貸してくれないよ）。②【形容詞】薄情だ。【例】からー つむひぐるかいば でいんぬぎゃー かしゃーふいーんよ（彼は薄情だから金は貸してくれないよ）。

**つむびやー** [tsimubja:]【名詞】急に怒り出す人。

**つむやん** [tsimujan]【成句】[m 語幹] 心が痛む、心が苦しい。【例】みどうんぬ くとぅーひどう つむー やみゅーい（彼女のことで心が苦しい（恋煩い））。

**つむん かなう** [tsimun kanau]【動詞】[w 語幹] 意に適う、心が寄り添う。【類】つむんすなう。

**つむん すなう** [tsimun sinau]【動詞】[w 語幹] 意に適う、心が寄り添う。【例】うらーばが つむんな すなーん（それは私の意に合わない）。うぬきやが とうずぶとぅー つむー すないーどぅー（その夫婦は心が寄り添っている）。【類】つむん かなう。

**つん** [tsin]【動詞】[m 語幹] [A]（糸を）紡ぐ。【例】いとうー つん（糸を紡ぐ）。ぶーやつみー いとうん なしる（苧麻を紡いで糸にしなさい）。

**つん** [tsin]【動詞】[m 語幹] [A] つねる。【例】ちゅーく つんな（強くつねるな）。【類】つんみ、つんむい。

**つん** [tsin]【名詞】[B] 着物。【例】つんぬ つー（着物を着る [「つんゆ つー」ともいう]）。ふたいずん（二重の着物）。ぶーずん（宮古上布）。

**つん** [tsin]【名詞】[B] 稗（ヒエ）。【例】ばーつんぬぎゃー ふあいや みーん（私は稗を食べたことはない）。

**つん** [tsin]【名詞】[B] 〔魚〕黒鯛。

**つん** [tsin]【動詞】[m 語幹] [A] 積む。【例】ぶーずぬ にーゆ とらっくんかい つん（サトウキビの荷をトラックに積む）。

**つんかー** [tsinjka:]【名詞】衣類。【例】きばんかいば つんかーまい にゃーん（貧乏だから衣類もない）。つんかーゆ ほうす（衣類を干す）。

**つんだみ** [tsindami]【名詞】（三線の）調弦。

**つんだらさ** [tsindarasa] ①【名詞】可哀想な人。【例】うぬ つふあがまー んまー にゃーん つんだらさがま（その子は母親のない可哀想な子どもです）。②【形容詞】可哀想だ。③【感動詞】可哀想に。【例】つんだらさ、かりゃー きたていやんな たばりー すにーにゃーん（可哀想に、彼は悪い病気にかかって亡くなってしまった）。

**つんだらすぎ** [tsindarasigi]【形容詞】可哀想な。【例】つんだらさ つんだらすぎ やらび（可哀想 可哀想な子供）。

**つんつ** [tsintsi]【補助動詞】[k 語幹] [A]（形容詞の語幹、動詞基本形、動詞連用形、をとり）そのような状態になる [形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん（に）」、「ん（に）」などを付けて結果状態を示すのが原則]。【変異】すんつ。

**つんつき** [tsintsiki]【動詞】[母音語幹] 積み重ねる。【例】ぶーずぬ にーゆ とらっくんかい つんつきる（サトウキビの荷をトラックに積み重ねる）。【変異】つんつぶ。

**つんつぶ** [tsintsifu]【動詞】[k 語幹] 積み重ねる。【変異】つんつき。

**つんぬっそう** [tsinnussu]【名詞】着物の裾。【例】ばー やらびあいきゃー いつまい ばーが つんぬっそぅー かつみーまーりゅーたい（私は子供の頃、いつも祖母の着物の裾を捕まえていた）。

**つんぬふず** [tsinnufuzi] 【名詞】着物の襟。

【例】あかー つんぬふずたーひー ぬびゅーたい (髪は着物の襟まで伸びていた)。

**つんま** [tsimma] 【名詞】[A] ネギ。 【例】つ

んまー かばすむぬ (ねぎは香ばしい)。

**つんみー** [tsimmi:] 【名詞】『鳥』サシバの成鳥。

**つんむい** [tsimmui] 【動詞】[r/rr 語幹] つねる。

【例】ちゅーく つんむらだうり (つよくつねるな)。  
[類] つん、つんみ、つんむい (母音語幹)。

**つんむい** [tsimmui] 【動詞】[母音語幹] つね

る。 【例】ちゅーく つんむいな (強くつねるな)。  
[類] つん、つんみ、つんむい (r/rr 語幹)。

# て

**てー** [te:] 【名詞】 [C] 数を数えるときの言い方、1 [「てー (ていーも可)、たー、みー、ゆー、いつ、むゆ、なな、やー、くぬ、とうー」と数える]。 [変異] ていー。

**てーち** [te:tçi] 【名詞】 [C] 数を数えるときの言い方、一つ [「てーち [ていーち も可)、たーち (つ)、みーち (つ)、ゆーつ、いつつ、んーつ、ななつ、やーつ、つくぬつ、とうー」と数える]。 [変異] ていーち。

**てい** [di] 【接尾辞】 動詞未然形について自分の意志をあらわす。疑問文では聞き手の意志、相手に対する勧誘が可。2人称、3人称も「～しようとしている」の意味で可。【例】 ばが いかでい (私が行こう)。うぬ きーぬ にーゆくーはでいな (この木の根をほりおこすのか)。まさいが あーぐ あっじゃでいな (マサイが歌を歌うのか)

**ていー** [ti:] ① 【名詞】 [B] 手。【例】 んすでいー (利き手、右手) ひだいていー (左手) ていーゆ あぎー (手をあげる)。② 【名詞】 [B] 空手。【例】 かいが ていーや やぐみ (彼の空手は凄い)。③ 【接辞】 [B] 西原の4つの支部の土地名に使う接尾辞。【例】 とうらぬはでいー (東支部)。さいぬはでいー (西支部)。んまぬはでいー (南支部)。にぬはでいー (北支部)。

**ていー** [ti:] 【助詞】 『接続助詞』 名詞や節に付いて引用を表す、「と」; 動作の資格を表す「～として」。【例】 ばが なーゆぎやー まさいていどう あい (私の名前はマサイといいます)。

あいや あたらんていー あい (それは間違っていると言う)。こーちよーていー はなすあすたい (校長として話をした)。あぎちよーていー うぐなーいんかい いでいたい (村長として集まりに出席した)。かっちゆぬ びじゆていー いすだう とうい (カツオの餌としてイシダを取る)。 [変異] てい。

**ていー** [ti:] 【接尾辞】 名詞について副詞を作る接尾辞、に。【例】 まさがんていー (ちゃんと) [変異] てい。

**ていー** [ti:] 【名詞】 [B] 数を数えるときの言い方、1 [「てー (ていーも可)、たー、みー、ゆー、いつ、むゆ、なな、やー、くぬ、とうー」と数える]。 [変異] てー。

**ていー** [di:] 【名詞】 [C] 杖。【例】 ういびと うなりーどう ていーや つきー まーりゆー (年取って杖ついてまわっている)。 [類] ぐしゃん。

**ていー ばっじゃーしゃ** [ti: bazzɑ:çɑ] 【名詞】 手であちこち触る人、べたべたする人、(冗談で) 触り魔。【例】 ばぬんかい かかいな、ていー ばっじゃーしゃ (私に触るな、触り魔め)。

**ていー ばっじゃーす** [ti: bazzɑ:si] ① 【動詞】 [s/h 語幹] 手であちこち触る、べたべたする。【例】 くぬ やらびやー んまんかい いつまい ていーばっじゃーす (この子供はお母さんにいつもべたべたしている)。ていー ばっじゃーすんまり、まーぬ ばぬんかい か



かいな（この触り魔、そんなに私にさわるな）。  
 ◎【形容詞】いたずらな。【例】かぬ ぎずぎやうな やらびやー いつまい ていーばっじゃーすかいばならん（あの腕白坊主はいつも落ち着きなく、いたずらでしようがない）。

**ていーくば** [ti:kupa] ①【名詞】不器用な人。  
 【例】くりやー ていーくばぬ すかま（これは不器用な人の仕事だ）。②【形容詞】不器用だ。  
 【例】かいがどう んながーんな ていーくばかい（あいつが一番不器用だ）。

**ていーたーり** [ti:ta:ri] 【形容詞】手間のかかる、面倒な。【例】うぬ すかまー ていーたーりむぬ（その仕事は面倒だ）。ていーたーりすかまーうぎやー あすたつふあにやーん（面倒な仕事はやりたくない）。

**ていーち** [ti:tcɪ] 【名詞】[C] 【変異】てーち。

**ていーっそうぎびとう** [ti:ssugibitu] 【名詞】行動範囲の広い人、付き合いの広い人。

**ていーぬん** [ti:nun] 【名詞】お尻の穴；お尻。  
 【例】ていーぬんぬ ふかでい（お尻を拭こう）。がばー ていーぬん（おおきなおしり）。  
 [類] ちびるん、ちびぬん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん。

**ていーぬん じゃやふ** [ti:nun zaja:fu] 【名詞】下手な大工（ていーぬん＋さやふ）。  
 【例】ていーぬん じゃやふぬ すかまー みーらいん（下手な大工の仕事は見られたものではない）。

**ていーはず** [ti:hazi] 【名詞】手足。【例】ていー はっじゅぎやー むゆかひー すかまうぎやー あっそう（手足をちゃんと動かして仕事をしてください）。[変異] ていーばず。

**ていーぱず** [ti:pazi] 【名詞】手足。 [変異] ていーはず。

**ていーはず かないびとう** [ti:hazi kanaibitu] 【成句】行動的な人、仕事のよくて

きる人。【例】かりやー ていーはず かないびとう やいば ならゆまい あすどうす（彼は行動的な人だから何にでも挑戦する）。

**ていーばっじゃーす** [ti:bazza:si] 【名詞】いたずら。【例】おい ぎずぎやうな、まーぬ ていーばっじゃーす あすな（おい やんちや坊主、あまりいたずらするな）。

**ていーふず** [ti:fuzi] 【名詞】手首。【例】んぬ ていーっふじや ないらひー みーていがー まがらすまい ひらいん（昨日手首を痛めてしまったので曲げることもできない）。ぶどういゆ ぶどうい とうきやんな ていーふっじゅ まさぐんていー つかうぼどう じゃうずんない（踊りを踊るときには手の関節を上手く使えば上手になる）。からー ていーふずぬ ほういかいば くぬ とけいや はいらはいん（あいつは手首が太いのでこの時計は入らない）。[変異] ていふず。

**ていーや** [ti:ja] 【成句】とは、というものは、などというものは [＜ていー（と）＋や（は）]。  
 【例】なうぬ かかいていーや にやーん（なんの障害もない [＜障害とは]）。びきどうん みどうんていーや むまだ かないかい ひとつー いらび（男女を問わず仕事のできる人を選べ）。

**ていーゆ かみ** [ti:ju kami] 【成句】[母音語幹] 祈りを捧げる、祈願する [西原では祈願するときは、両手の平を上にして開いたまま、頭の高さまで持ち上げる]。【例】うぷずんかいや ていーゆ かみだかー ならん（先祖には祈願しないとイケない）。[類] ていーゆ かん。

**ていーゆ かん** [ti:ju kan] 【成句】[m 語幹] 祈りを捧げる、祈願する。 [類] ていーゆ かみ。

**ていーゆ とうい** [ti:ju tui] 【成句】[r/rr 語幹] 手をとる、協力する。【例】つぐあとうや ていーゆぎやー とうらじやーん（あなたとは協力しない）。

**ていーるん** [ti:run] 【名詞】お尻の穴；お尻。  
 [類] ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬ  
 ん、ていびるん、ていびぬん、ていーぬん。

**ていうさ** [tiusa] 【名詞】[C] 《祭礼》ユーク  
 イの時に人を見ないために両手にそれぞれ持つ  
 草、手草 [ユークイのパーたちに見られた人は  
 死ぬと信じられていた]。【例】ひとつー み  
 ーん たみん ていうさー ふたていーひー  
 むちー みーゆ うーい (一般の人々を見ない  
 ために手草を両手で持ち目を覆う)。ていうさ  
 ひどう みはなー かっふあひー よーんてー  
 るてい あっじー すまう まーい (手草で顔  
 を隠してヨーントール (世を満たせ) と言って  
 御嶽から御嶽に行進する)。

**ていがー** [tiga:] 【助詞】《接続助詞》節を取っ  
 て条件を表す。「(実際に)～てみたら、～すると」  
 のような事実条件と「もし、～たら、なら」のよ  
 うな仮定条件のどちらにも使える、「と」、「た  
 ら」、「れば」、「なら」。【例】すとうむてい う  
 きーていがー すぐ ぬーまぬ っさ かいが  
 (朝起きたら直ぐに馬の草刈りに (行く))。なつ  
 ん ないていがー すばいがまぬどう ゆー  
 いでいーふー (夏になるとコバエがよく発生す  
 る)。ぱちんこんかい いつていがー でいん  
 ぬ たにやー にやーん (パチンコに行くと直  
 ぐにお金がなくなる)。[類] とうー、ったー。

**でいかす** [dikasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 大漁  
 になる；(植物などを)大きくする、成長させ  
 る。【例】きゅーや ぐんな ごひやつき で  
 いかひー ったい (今日はムロアジを500斤  
 という大漁だった [＜大漁してきた]) っふあ  
 いや はーさ いりー ぶーっじゅ でいかひ  
 ーみーでい (肥料をたくさん入れてサトウキビ  
 をたくさん収穫できるようにしてみよう [＜豊  
 作させてみよう])。

**ていがに** [tigani] 【名詞】[C] 指輪。【例】てい  
 がにゆー かうが いつ (指輪を買いに行く)。  
 てがにやー たかだいむぬ (指輪は高価だ)。

**でいき** [diki] 【接頭辞】質の良い。【例】でい  
 きまい (良く実った米)。でいきぶーず (良くで  
 きたサトウキビ)。

**でいき** [diki] 【動詞】[母音語幹] [C] (作物な  
 どが) できる。

**でいきぶつ** [dikibutsi] 【名詞】優秀な人、勉  
 強が良くできる人。【例】んながーんな でい  
 きぶつ (一番良く勉強ができる人)。

**ていぐすい** [tigusii] 【名詞】ナイロン製の釣  
 り糸、てぐす。

**ていぐすに** [tigusini] 【名詞】十分に準備して  
 待ち構える、手ぐすねを引く。【例】ていぐす  
 にゆー ひつ (手ぐすねを引く)

**ていぐすにや** [tigusinja] 【名詞】手ぐすねを  
 引く人。

**ていじゃーかー** [tizaka:] ①【形容詞】雑な、  
 粗い、手抜き。【例】かいが すかまー い  
 つまい ていじゃーかーかいばならん (彼の仕  
 事はいつもいいかげんだ)。かいが すかまー  
 いつまい ていじゃーかー すかま。②【名  
 詞】雑なこと、大雑把なこと、またそのような  
 人。【例】まーぬ ていじゃーかー あすな (余  
 りいい加減なことをするな)。

**ていじゅー** [tizu:] 【形容詞】[B] 経済力のあ  
 る(家)。【例】かまぬ やーや やぐみ て  
 いじゅー きない (向こうの家は非常に経済力  
 のある家だ)。

**ていだ** [tida] 【名詞】[C] 太陽。【例】ていだ  
 ぬ ぬーい (日が昇る)。ていだぬ あがい (日  
 が昇る)。ていだぬ いーん (日がしずんでい  
 ない)。ていだ いーりー っふあふ なりに  
 やーん (太陽が沈んで暗くなった)。にんぎ  
 んな ていだやぐみぬ まか (人の一生はお天  
 道様の思し召し次第だ)。あがい ていだがな  
 す (お天道様 [＞池間の主])。んま ていだが  
 なす (お月様 [＞池間の主の奥さん])。

**ていだななつ** [tidananatsi] 【名詞】『祭礼』御嶽に行く時間帯（午後4時ごろ）。【例】じょー ていだななつ なりゅーば うたきんかい（4時頃だから御嶽に行こう）。ていだななつん ないていがー ぱーたー うたきん そうるい うたい（午後4時ごろになると、おばあさんたちは御嶽にそろっていた）。

**ていだい** [tidai] 【動詞】[母音語幹] [C]（人に食事などを）奢る、物をあげる、賄賂を与える。【例】まーぬ ひとつんかいや むぬーぎやー ていだいな（あまり人に物をあげるな）。んきやーんな しーしーんたんかいどう うんそうく むぬー ていだいー うたい（昔は先生によく付け届けをしていた）。

**ていだい** [tidai] 【名詞】[C] 贈り物、賄賂。【例】たんになぬ しーしーんかい ていだいあす（担任の先生に賄賂をする）。

**ていだいびとう** [tidaibitu] 【名詞】気前がいいひと。【例】からー やぐみ ていだいびとう（彼はとても気前がいい）

**ていづあん** [tivvan] 【動詞活用形】動詞「ちゅー」の否定形。【類】ていづいん。

**ていづい** [tivvi] 【動詞】[母音語幹] [C]（渡すために）投げる、（すてるために）放る。【例】うまんかい ひらう ていづいいる（こっちにへらを放れ）【類】ちゅー。

**ていづい** [tivvi] 【動詞活用形】動詞「ちゅー（投げる、放る）」の連用形および命令形。【類】ていづいいる。

**ていづやがらーす** [tivvja:gara:si] 【動詞】[s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】ていづやがらす、ていづやがらーす、ていづやがらす。【類】ていづいーすてい。

**ていづやがらす** [tivvja:garasi] 【動詞】[s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】て

いづやがらーす、ていづやがらーす、ていづやがらす。【類】ていづいーすてい。

**ていづやがらーす** [tivvja:gara:si] 【動詞】[s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】ていづやがらーす、ていづやがらーす、ていづやがらす。【類】ていづいーすてい。

**ていづやがらす** [tivvja:garasi] 【動詞】[s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】ていづやがらーす、ていづやがらーす、ていづやがらーす。【類】ていづいーすてい。

**ていなー** [tina:] 【名詞】[C] 魚の一本釣り、手縄。【例】ていなーや ひー っぞうー つー（一本釣りで魚を釣る）。

**ていぬ** [tinu] 【助詞】『接続助詞』引用表現を名詞修飾表現にする、「との」、「という」[「ていーぬ」]であるが通常「ていー」は「てい」と発音される];「～としての」。【例】なうていぬ ばーが（どういうことだ）。からー つむたみ やいば つむでいていぬ くとうー にやーん（彼は冷静な人だから怒るということはない）。やーまんな おもとだけていぬ たかやまぬどう あい（八重山には於茂登岳という高い山がある）。あていがー っづあー いかいんていぬ ばーな（じゃあ、お前はいけないのか）。まさいや くとうすんな そつぎょー あすがまたていぬ くとうな（マサイは今年には卒業するということですか）。こーちよーていぬ はなっそう あすたい（校長としての話をした [＜挨拶した]）。あぎちよーていぬ くとうーひー うぐなーいんかい いでいたい（字長として集会に参加した [＜字長ということ]）。

**ていび** [tibi] ① 【名詞】[A] お尻。【例】やーんな ていびやー つかん（家には尻をつかない [＞落ち着きなくいつも外に出歩く]）。② 【名詞】[A] 後ろ;（家の）裏、後ろ、後方、（鍋の）底。【例】ていび にー（積み荷が後ろの方が重くバランスが良くないこと）。ていびんかいぬ

ふつ（後ろ向き）。つんぬ ていびやー ま  
いや ひー つー（服を後ろを前にして着る）。  
ていびんかいどう はーかい（一歩前進二歩後  
退）。ていびゆーぎやー みーだ まいゆたー  
な みー あいき（うしろは見ないで前だけ見  
て歩きなさい）。やーぬ ていびんどう かふ  
ーぬ あい（家の裏に家庭菜園がある）。なび  
ぬ ていびぬ んーぬ とうい ふあう（鍋の  
底の芋を取って食べる）。

**ていび ふっず** [tibi fuzzi] 【成句】 [zz/dd  
語幹] 他人の気に障ることを言ったり、したり  
する。【例】からー むいとうぬ ていび  
ふっずんまり（あいつやたらと悪さをするやつ  
だ）。つづあー なうばいぬ ひとつぬ てい  
び ふっじゃが（お前は何でそんなに人の気に  
障ることを言うのか [＜どんな、ひとの気に障  
る人なのか]）。[類] ていび ふっでい、ばた  
ふっず。

**ていび ふっでい** [tibi fuddi] 【成句】 [母  
音語幹] 他人の気に障ることを言ったり、した  
りする。[類] ていび ふっず、ばた ふっず。

**ていびがる** [tibigaru] ①【名詞】腰の落ち着  
かない人、尻軽。【例】ていびがる みどうん  
（尻軽女）。②【形容詞】腰の落ち着かない。【例】  
くぬ みどうんがどう ていびがるかい（この  
女の方が尻軽だ）。

**ていびぐー** [tibigu:] 【名詞】お尻。【例】か  
ぬ みどうんぬ ほうていびぐーゆ みーみー  
る（あの女の人の大きなお尻を見みなさい）。

**ていびぐーぶに** [tibigu:buni] 【名詞】坐骨。  
【例】ていびぐーぶにやー ぶりーにやーん  
（座骨を折った）。

**ていびたい** [tibitai] 【名詞】臀部、お尻から  
っ太ももの部分。【例】ほうていびたい（大き  
なお尻）。

**ていびぬ つーふあやがま** [tibu  
tsi:fajagama] 【成句】末っ子 [豚の子で一番小

さい子（末っ子）は一番後ろの乳を飲むため。  
人間でも末っ子が最後の母乳を飲むことから末  
っ子のこともさす。【例】ていびぬ つーふ  
あやがまー あまいふだー（末っ子はよく甘え  
る）。

**ていびぬん** [tibinun] 【名詞】お尻の穴：お尻。  
[類] ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬ  
ん、ていびるん、ていーるん、ていーぬん。

**ていびほうぎば一き** [tibihugiba:ki] 【成  
句】後ろの穴の開いた竹籠 [稼ぎはするが浪  
費が強いことのたとえに使う]。【例】ていび  
ほうぎば一きんな みっじゃ たまらん（竹籠  
には水は溜まらない）。うぬきやが っぎー  
ていびほうぎば一き やいば なんとが う  
やきんな ならいん（彼らの父親は稼ぐが浪費  
癖があるので全然裕福にはなれない）。

**ていびふきや** [tibifukja] 【名詞】やったこと  
を学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪  
い人。[変異] ていびほうきや。

**ていびふぎや** [tibifugja] 【名詞】やったこと  
を学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪  
い人。[変異] ていびほうぎや。

**ていびふちや** [tibifutca] 【名詞】やったこと  
を学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪  
い人。[変異] ていびほうちや。

**ていびふっでいむぬ** [tibifuddimunu] 【名  
詞】（鍋の底に）へばりついた食べ物。【例】な  
びぬ そうくぬ ていびふっでいむぬーぎやー  
くらずていどう あい（鍋の底の残り物のこ  
とをクルズと言う）。

**ていびほうきや** [tibihukja] 【名詞】やった  
ことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末  
の悪い人。[変異] ていびふきや。[類] てい  
びほうぎや、ていびほうちや。

**ていびほうぎや** [tibihugja] 【名詞】やった  
ことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末

の悪い人。[変異] ていびふぎゃ。[類] ていびほうちや、ていびほうぎゃ。

**ていびほうちや** [tibihutça] 【名詞】 やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。【例】 うりやー ていびほうちや やいば いつがみまい うむくとうー いでいん (彼は前にやったことを学習しないからいつまでたっても知恵がつかない)。[変異] ていびふちや。[類] ていびほうぎゃ、ていびほうぎゃ。

**ていびやー つかん** [tibja: tsikan] 【成句】 居座らない、落ち着いていない。【例】 いそがすかいががら うぬ みどうんな やーんな ていびやー つかん (忙しいのかその女性は家には落ち着いていない)。

**ていびやーまい** [tibja: mai] 【成句】 後ろにあるべきものが前に来ていること、後ろ前。【例】 っうあが つんぬ つーかたー ていびやーまい (あなたの服の着方は後ろ前だ)。

**ていびやーい** [tibjai:] 【名詞】 後ろから、一緒に。【例】 やらびやー いつまい んまぬ ていびやーい まーい (子供はいつも母親の後ろについてまわる)。[変異] ていびやーうい。

**ていびやーうい** [tibja: ui] 【名詞】 後ろから、一緒に。[変異] ていびやーい。

**ていびゆー ほうがす** [tibju: hugasi] 【成句】 秘密をばらす、秘密がばれる。【例】 まーぬ ていびゆーぎゃー ほうがすな (そんなすぐばれる嘘を言うな [ >見え透いた嘘をつくな])。っうあが ていびやー いつまい ほうがはいどうーい (お前の嘘は見え透いている)。

**ていびら** [tibira] 【名詞】 [C] 手のひら。

**ていびるん** [tibirun] 【名詞】 お尻の穴；お尻。[類] ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

**ていふず** [tifuzi] 【名詞】 [C] 手首。[変異] ていーふず。

**ていまー** [tima:] 【名詞】 [C] 手間賃。【例】 ひでいまー (日当)。ひでいまーびとう (日当で働く人)。たかだい でいまー (高い賃金)。

**ていまーぶい** [tima: bui] 【名詞】 手間賃での稼ぎ。

**ていまさり** [timasari] 【名詞】 器用 (な人)。[類] ていまさりや。

**ていまさりや** [timasarja] 【名詞】 器用 (な人)。【例】 むぬちゆふー じゃうず ていまさりや (物を作るのが上手なひと、器用な人、あるいはそのこと)。[類] ていまさり。

**ていむちやー** [timutça:] 【名詞】 てきぱき仕事ができない人、仕事が遅い人。【例】 かりやー ていむちやー やいば すかまー ぬー がらん (彼は仕事が遅いから仕事がはかどらない)。

**ていらじや** [tiraza] 【名詞】 [C] 《貝》巻貝の一種。【例】 ていらじやぬ みーゆ とうい (巻貝の身を取る)。

**ていん** [tin] 【名詞】 [A] 天。【例】 ていんぬ ん°む まい きーぬ ん°む まい ゆぬ ん°む (天の雲も木の蜘蛛も同じ「くも」だ)。ていんぬあかぶす (金星)。

**でいん** [din] 【名詞】 [B] お金。【例】 ばー でいんな にやーん (私は金がない)。でいんぬ まうきが (金を稼ぎに (行こう))。でいんふあや (金のかかる人)。かりやー ばくちやー ひー でいんな はーさ うどうきーにやーん (彼はばくちで大金をなくした)。ばくちやー ひー でいんぬ まうきかたう ならーひー ふいーさまでい (ばくちでお金を儲ける方法を教えてください)。

**ていんくーとうんま** [tijku: tumma] 【副詞】 全然。【例】 でいんな ていんくーとうんま むちゃん (お金は全然持っていない)。

**でいんぐり** [dinguri] 【名詞】両替すること、金回りが厳しいこと。【例】ぎんこーんきー  
でいんぐり ほうでい（銀行に行って両替する）。

**ていんじやう** [tinzau] 【名詞】天井。【例】  
ていんじやうゆ みーる（天井をみなさい）。ん  
きやーんな ていんじやうから さぐなう さ  
ぎー みっじゃ ばかほうーたい（むかしは  
天井からほら貝を下げて水を沸かしていた）。

**ていんたうがなす** [tintauganasi] 【名詞】  
天の神様。【例】にぎんぬ んぬちちゆ て  
いんたうがなすぬ まか（人間の命は天の神様  
のみぞ知る [＜神様しだいだ]）。

**ていんど** [tindo] 【接尾辞】動詞基本形につ  
いて伝聞を表す、～そうだ、～らしい [動詞は省  
略することができる]。【変異】ていんどー。

**ていんどー** [tindo:] 【接尾辞】動詞基本形に  
ついて伝聞を表す、～そうだ、～らしい [動詞  
は省略することができる]。【例】かりやー  
きゅーや うつなーんかい ていんどー（彼は、  
今日は沖縄に行くらしい）。【変異】ていんど。  
【類】ちゃ。

**でいんぬ たにやー にやーん**  
[dinnu tanja: nja:n] 【成句】お金は直ぐになく  
なる [＜お金の種はない]。【例】ぱちんこ  
んかい いつていがー でいんぬ たにやー

にやーん（パチンコに行くと直ぐにお金にな  
る）。

**ていんぬたか** [tinnutaka] 【名詞】天の高さ。  
【例】でいんな ていんぬたか ありーどー  
（お金は天の高さほどある（＞たくさんある））。

**ていんばう** [timbau] 【名詞】虹。【例】あ  
みがまぬ つふいー ていんばうぬ いじゅー  
（小雨が降って降って虹が出ている）。

**ていんばな** [timpana] ①【名詞】おてんば。  
【例】かぬ ていんばなー むぬいかいばならん  
（あのおてんばはよくしゃべる）。②【形容詞】  
おてんばな、おてんばだ。【例】かぬ ていんば  
な みどうんな いばいかいば ならん（あ  
のおてんば女はよく威張る）。

**ていんびー** [timbi:] 【名詞】女性の自慰行為。

**でいんびつ** [dimbitsi] 【名詞】博打。【例】で  
いんびつちゅぎやー ほうん（博打はしない）。

**ていんぷら** [timpura] 【名詞】天ぷら。昔は天  
ぷらの衣だけをあげていたが、最近は魚の天ぷ  
らなども指す。

**ていんまら** [timmara] 【名詞】自慰行為。  
【例】ていんまらーひー するー いだす（自慰  
行為で精液を出す）。



# と

とー [to:] 【感動詞】 終わり、十分という掛け声。

【例】 んめ とーとー、さきゅーぎゃー んめ  
つがだうり (もう十分、酒をもう注がないで  
くれ)。

どー [do:] 【終助詞】 相手が知らないと思えるこ

とを述べる終助詞、「よ」、「だよ」。【例】 うら  
ー、あらんどー (それは違ってるよ)。ぼが は  
なっさ うさきひー うわいどー (私の話はこ  
れで終わりだよ)。ひとうんかい ていーゆぎ  
ゃー にゃーらんどー (人に手を出して (叩い  
て) はいけないよ))。

とう [tou] 【名詞】 [C] 『地名』 唐、中国のこと。

[変異] たう。

とう [tu] 【助詞】 『格助詞』 共同格を表す、「と」。

【例】 ういとう くいとうー ゆぬむぬ (それ  
とこれとは同じだ)。うぬきゃが ふたーいや  
いつまい いんとう まゆ (彼ら二人はいつ  
も犬猿の仲だ)。

どう [du] 【助詞】 『焦点助詞』 (名詞+助詞、動  
詞連用形、形容詞語幹、形容詞+フ、副詞、述  
語としての名詞について) 焦点や強調を示す。

【例】 ういがどう んながーんな じゃうかい  
(それが一番いい)。ばー ういびとう ふたー  
いぬ からがいゆどう ひーゆー (私は年寄り  
二人の面倒を見ている)。ういまいどう じゃう  
かい (それもいい)。からー んなま すかまう  
ひーどうー (彼は今しごとをしている)。[ひ  
ーどうー<ひーどう うい] ぼが とうっじゃ  
ばかかいきゃー あばらぎどう あたい (私

の妻は昔はきれいだった)。ぼが ぼきだまー  
んーなんつきゃー はーさふだー (私の分け  
前はほかの人より多い [はーさふだー <はー  
さふどう あい])。A: かまんな たるがどう  
うい? B: かにがどう うい (A: 向こう  
には誰がいるの? B: カニ (人名) がいる)。  
はやまりどう いかだかー なん (早めに行  
かないといけない)。ぼが っぎー いんしゃ  
ーどう あたい (私の父親は漁師だった)。ん  
まむぬまいだーい (うまいなあ [<んまむぬま  
い+どう+あい (うまくもぞある)])

どう [du] 【成句】 「どうー (焦点助詞「どう」+  
「うい)」の変異形、前に付く動詞連用形が長音  
になるときは「どうー」でなく、「どう」になる  
ことも多い。【例】 ぬーまん ひんがい つむ  
ー だりーどう (馬に逃げられて気落ちしてい  
る [<つむー だりーどうー])。

とうー [tu:] 【名詞】 [A] 『数詞』 十。

とうー [tu:] 【動詞】 [b 語幹] [A] 飛ぶ。【例】  
たつづゃー ゆなかどう とうー (蛍は夜中に  
飛ぶ)。とういぬ とうー (鳥が飛ぶ)。

とうー [tu:] 【名詞】 [C] 海洋、大海原。【例】  
ふにゃー とうー ほうとうーんかい いでい  
たい (船は大海原に出た)。[類] とうなか。

とうー [tu:] 【助詞】 『接続助詞』 節を取って条  
件節を作る、「と」、「たら」、「れば」、「なら」[事  
実条件「~てみると」も、仮定条件も可能、「も  
し~たら」; 節を取って名詞節を作る、「~の」。  
【例】 んみやひー でいんぬ あいとうー みゃ



ーっさひー うraitたいはず (もっとお金があったら楽に暮らせたはずだ)。かまぬ かどうー まがいとうー まっちゃんぬ あいば かうゆ かいー んみゃてい (あそこの角をまがったら店がありますから、お香を買ってきてください)。すとうむてい うきとうー すぐぬ ーまぬ っさ かいが (朝起きたら直ぐに馬の草刈りに(行く))。ぼが つふとうー かいどう あたい (私が聞いたのはこうだった)。しーしーたが あいとうー あいや あらんちゃ (先生たちが言うにはそうじゃないって)。[類] ていがー、そー。

**どうー** [du:] 【代名詞】 [C] 自分 [コンテキストにより話者(単数、複数)、相手(単数、複数)をさすことができる。他の代名詞と異なり、属格、主格は「ぬ」を取る] 通常聞き手も含む。聞き手を含まないときは「ぼんてい、ぼんた」が使われる。【例】 どうーぬ すま (我々の村 [聞き手も含む]) どうーぬ やー (私たちの家 [家族同士で話すとき])。 どうーぬ ほうだかー たるがどう あすがまた。(我々がやらなければ誰がやるのか)。 やらび つかいや どうー つかい (子供使いは自分使い [＜能力のない物に仕事を任せると責任は自分に回ってくる])。

**どうー** [du:] 【名詞】 [C] 体格、体。 【例】 ほうどうー (大きな体格)。 ういびとうなりー どうーや かなーん (年取って身体は思うように動かない)。 きゅーや あみゃー っふいー どうー ぶがりむぬ (今日は雨が降って体がだるい)。 どうーや むつじゃうず あっそう (体の管理はしっかりしなさい)。

**どうー** [du:] 【接尾辞】 (ほかの土地との) 距離、間。 【例】 いらうどうー (池間と伊良部との間)。 たらまどうー (自分たちの村と多良間との間 [遠いことの比喩に使う])。 っさらどうーゆ かゆー (西原と平良の間を通う)。 ぶとうぬ はたらっちゆぎゃー ばらいどう ふあう、っふあぬ はたらっちゆぎゃー なきど

う ふあう、んまがぬ はたらっちや たらまどうー (旦那の働きは笑って食べる。息子の働きは泣いて食べる。孫の働きは多良間との距離 [＞遠い未来のことであてにならない])

**とうーい** [tu:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (道を) 通る。 【例】 ひとぬ とうーい んっちゆぎゃー つっじゃん (人の通る道はさえぎらない)。 かまらすかいば なくばいぬ んまむぬまいぬ どうー とうーらん (かなしくて、どんなおいしいものも喉を通らない)。

**とうーい** [tu:i] 【名詞】 [C] 燈火、ランプ。 【例】 とうーいぬ さうず (ランプの掃除)。

**とうーか** [tu:ka] 【名詞】 [A] 『数詞』 十日。 [変異] とうか。

**とうーかす** [tu:kasi] 【動詞】 貫通させる、貫く。 【例】 いーひー いちやう とうーかす (錐で板を貫通させる)。 やまー とうーかひー とんねるー ちゅっふ (山を貫通させてトンネルをつくる)。 [類] とうーつ、とうーす。

**どうーかつ** [du:katsi] 【名詞】 自分自身の垣、自分自身を守るもの。 【例】 でいんな にんぎんぬ どうーかつ (お金は人間を守るものだ)。

**とうーきみん** [tu:kimin] 【成句】 良く聞こえる耳 (の人)、地獄耳。 【例】 かぬ ういびとうぬ みんな やぐみ とうーきみん やいば なくばいぬ みそうか むぬいがまうまい つふどうす (あの年寄りの耳はよく聞こえるのでどんなひそひそ話でも聞きとる)。

**どうーぐり** [du:guri] 【形容詞】 気まずい。 【例】 うるー つふむぬー どうーぐりかいばならん (それを聞くことは気まずくてならない)。 かりゃー どうーぐりんまり (彼はやり難い奴だ)。 かいんかいや どうーぐりかいば むぬ っじやいん (彼には気まずい思いがあるので喋り難い)。

**どうーじゅー** [du:zu:] 【形容詞】 体が丈夫な、体が丈夫だ、体力がある。 【例】 かりゃー や

ぐみ たや どうーじゅー びとう (彼は力の強い強健な身体の持ち主だ)。

**とうーす** [tu:si] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (穴をあけて貫通させる (穴に糸などを) 通す。【例】うまん あなう あきー とうーす (ここに穴を開けて貫通させる)。はいぬ みーんかい いたうー とうーす (針の穴に糸を通す)。【類】とうーつ、とうーかす。

**とうーずき** [tu:ziki] 【動詞】届ける、(願いなどが) 届く、伝わる。【類】とうーずふ、とうーずつ。

**とうーすたい** [du:sitai] 【形容詞】気だるい。【例】きゅーや どうーすたいかいば ならん (今日は気だるくてしかたがない)。

**とうーずつ** [tu:zitsi] 【動詞】[k 語幹] 届ける、(願いなどが) 届く、伝わる。【例】くるー ばが っふあんかい とうーずきー ふいーさまてい (これを私の子供に届けて下さい)。きゅーぬ にかいや かんがなすんかい とうーずきーどうー (今日の祈願は神様に届いている)。【類】とうーずふ。

**とうーずふ** [tu:zifu] 【動詞】届ける、(願いなどが) 届く、伝わる。【変異】とうーずき。【類】とうーずつ。

**とうーずん** [tu:zin] 【名詞】石油ランプの芯、(ダイナマイトの) 信管。【例】だいだまぬ とうーずんかい うまっちゅ つきー (ダイナマイトの信管に火をつける)。

**とうーつ** [tu:tsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (穴をあけて貫通させる (穴に糸などを) 通す。【類】とうーす、とうーかす。

**どうーむつ** [du:mutsi] 【名詞】自己管理能力。【例】どうーむつ じゃうず びいとう (自己管理が上手な人、世渡り上手) どうー むつ っちやー っさん (体の管理の仕方を知らない [「っちやー」は「方法」を意味する接尾辞]) か

りやー いつまい さきやー ぬみー どうー むつっちやー っさん (彼はいつも酒を飲んで自己管理の仕方を知らない)。

**どうーやす** [du:jasi] 【形容詞】安易な、容易な; 身軽な。【例】うい あっさ どうーやす むぬ (それをやることは簡単なことだ)。どうーやす びとう (すぐ機敏に動く人)。どうーやす すかま (簡単な仕事)。

**とうい** [tui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (連用形は「とうい」または「とうり」)、(ものを) 取る、(他人のものを) 盗む、(魚や貝を) 採る、(席を) とる。【例】うるー とうらでい (それを取ろう)。うりゅーぎやー かまんかい とういー ゆっじゃし (これは向こうに取って寄せろ)。なまっそう とういー ふあい (刺身を取って食べなさい)。たかう とうい (鷹を捕獲する)。つくえぬ あーぎぬ むぬー とういくー (机の上のものを取ってこい)。ひとうぬ むぬー とういや ならん (人のものを盗ってはいけない)。しな とういが まうきやーいんかい いかでい (はまぐりを取りに前の海 (大浦湾) に行こう)。ばが たまうまい びーどうくまう とうい うっきゅーき (私の分も席を取っておけ)。

**とうい** [tui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (連用形は「とうい」または「とうり」) (写真を) 撮る。【例】しゃしんぬ とうい (写真を撮る)。あてい うどうるっちやーひー まずむぬん たまっさ とうらいーにやーん (余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた)。

**とうい** [tui] 【名詞】[B] 干支。【例】くとうすぬ とういや なうどう あた (今年の干支は何だった)。

**とうい** [tui] 【名詞】[B] 鳥。【例】びきどうい (雄鶏)。みーどうい (雌鶏)。にぶいどうい (寝ぼけた鶏 [>間違っただけを告げる鶏])。とういぬ はにかい (鳥の翼)。とういぬ すーやーがま (鳥の巣の様な小さな家)。

**とういかいす** [tuikaisi] 【動詞】[s/h 語幹] 取り返す。【例】ばかーいーやー むぬー とういかいす (奪われたものを取り返す)。

**とういがますだしや** [tuigamasidaça] 【名詞】《貝》タイラギ貝。

**とういしゃう** [tuicaü] 【名詞】スケベな人。

**とういたいつき** [tuitaitsiki] 【動詞】[母音語幹] (人、動物や物を) 取って投げる。【例】ばー べんきょーや あすっふあにやーんば ほうんぬぎやー とういたいつきすている (俺は勉強なんかしたくないから本なんか放りすててくれ)。

**とういていづい** [tuitivvi] 【動詞】取って投げる。【例】はくほーや ことしよーぎくー とういていづいー すていーにやーん (白鵬は琴奨菊を取って投げた)。

**とういどうくま** [tuidukuma] 【名詞】取り柄。【例】かりやー とういどうくまー にやーん (彼は取り柄がない)。

**とういはっじゃつ** [tuihazzatsi] 【動詞】[k 語幹] 取り損なう。【例】とういはっじゃきー にやーん (取りそこなった)。

**とういまい** [tuimai] 【名詞】取り分、分け前。【例】ばが とういまいや にやーん (私の取り分はない)。[類] たま、ばきだま、っじだま。

**とういまつ** [tuimatsi] 【名詞】鳥の舞う群れ。【例】とういまつぬ すたんどー かっちゅーうい (鳥の舞う群れの下にカツオはいる)。

**とういまやーす** [tuimaja:si] 【動詞】取って(宙に浮かせて)投げる。【例】はくほーや ことしょうぎくー とういまやーひーにやーん (白鵬は琴奨菊を取って投げた)。とういまやーはいにやーん (取って投げられた)。

**とういみ** [tuimi] 【名詞】[A] 鳥目、夜盲症、夜盲症の人。【例】とういみやー ひー ゆな

かー むぬー みーらいん (夜盲症で夜中はものが見えない)。とういみんな ゆなかー むぬー みーらいんちや (夜盲症には夜中には物が見えないんだって)。

**とういむす** [tuimusü] 【名詞】抱卵中の鶏につく小さな虫。【例】とうぬかう すだほうー とういんな とういむすぬどう つふ (卵を抱いている鶏には虫がつく)。

**とうか** [tuka] ①【名詞】[B] (名詞の) 決めた通り、やる通り、次第; 「動詞基本形+ぬが(どう)+とうか」の形で、~の方がいい。【例】かんぬ とうかどう ひらいー (神様の決めた通りにやる)。うらー っづあが とうか (それはあなた次第)。ふにひー いつんつきやー ひこーきひー いつがどう とうか (船で行くより飛行機で行く方がいい)。②【名詞】[A] 「とうか」の前に「動詞否定形+「が」または「ぬ」がついて「~ない方がいい」という意味を表す。[「が」「ぬ」は省略も可。さらに「がどう とうか」、「ぬどう とうか」でもよい。]。【例】あいぬ くとうーぎやー っさんが とうか (そんなことは知らぬ方がいい)。ふあーんが とうか (食べない方がいい)。

**とうか** [tuka] 【名詞】[A] 《数詞》十日。[変異] とうーか。

**とうが** [tuga] 【名詞】[C] 咎、罪。【例】かりゅーぎやー んみつな、かいんな なうぬ とうがまい にやーん (彼を叱るな、彼には何の罪もない)。

**とうがい** [tugai] 【名詞】[C] 岬、土地の先端部分。【例】かまぬ とうがいん っぞうー つーたい (向こうの岬で魚を釣った)。んなー っしぬ とうがいんどー はーさ うい (サザエはリーフの先端にたくさんいる)。

**とうがい** [tugai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C] 尖がる。[類] とうんず、とうんでい。②【動詞】[r/rr 語幹] [C] (角、釘などが中から) 突き出

る、(乳房、お尻、目玉など体の部分)外に出る。[類] とうんず、とうんてい。

**とうがい** [tugai] ①【動詞】[母音語幹][C] 尖がる。[類] とうんず、とうんてい。②【動詞】[母音語幹][C] (角、釘などが中から)突き出る、(乳房、お尻、目玉など体の部分)外に出る。[類] とうんず、とうんてい。

**とうかきん** [tukakin] 【名詞】『魚』イソマグロ。【例】ん<sup>ん</sup>ぬ とうかきんぬ っちゃいーうたい(昨日、イソマグロが釣れた)。きたてい がばー とうかきん(とても大きな磯マグロ)。

**とうかさうずばり** [tukasauzibari] 【名詞】『祭礼』生後10日頃の魔除、出産祝い。[類] さうずばり。

**とうがん** [tugan] 【動詞】[m 語幹][C] 咎める、非難する。【例】ひとうーぎゃー まーぬ とうがまん(他人をあまり非難してはならない)。ばいさう あすていがー つふあんまがたーひーまい とうがまいどうす(悪事を働いたら子孫代々まで咎められる)。

**とうかんでい** [tukanti] 【名詞】『祭礼』出産祝(出産後10日目頃に行う)。

**とうきや** [tukja] 【名詞】[C] 時。【例】なんあらとうきやんな いんかいや いかん(波の荒いときには海には行かない)。あみふーど とうきや(雨降りの時)。いつとうきや(行く時)。すんとうきや(死ぬとき)。やらびぬ なつたい とうつんな ぎっじゃ ひらいん(子供が泣いた時にはどうしようもない)。[類] とうつ。

**どうきや** [dukja] 【名詞】[C] 生まれつき皮膚の白い人、アルビノ。【例】どうきやびとうーっそうびとう(アルビノの人は白い)。

**とうくつとう** [tukuttu] 【名詞】静かにしていること、おとなしくしていること。【例】うぬびき やらびゃー とうくつとうぎゃー ほう

ん(この男の子はおとなしくしてられない)。とうくつとうーひー びじー ური(静かに座っておけ)。

**とうくぬ** [tukunu] 【名詞】[B] 土地、敷地。【例】やーふつどうくぬ(家を建てる土地)。

**とうくぬだみ にかい** [tukunudami nigai] 【名詞】『祭礼』家屋敷を繁盛させるための祈願。

**とうす** [tusi] 【名詞】[B] 砥石。【例】いすぬ まらー とうすんまい ないどうす(土が硬くなり石になったものは砥石にもなる)。とうす ひー っざらう とうず(砥石で鎌を砥ぐ)。

**とうす** [tusi] 【名詞】[B] 年齢、年。【例】とうっさ いふつ(年齢はいくつか)。とっそう くい(年を超える)。とうすかず はだかず(年年歳歳)。とうっさ とういー ういびとう なりーどうー(年を取って年寄りになっている)。

**とうず** [tuzi] 【名詞】[A] 妻。【例】さつぬ とうず(先妻)。とうっじゅ とうみー(妻を探す>結婚する)ばー とうっじゃ みーん(私は妻はいない>独身です)。とうずとうみゃー ひー うえい(結婚相手を探している)。

**とうず** [tuzi] 【動詞】[g 語幹][C] 研ぐ。【例】っざらう とうすひー とうず(鎌を砥石で研ぐ)。

**とうず** [tuzi] 【名詞】[C] 刺。【例】さるかぬ とうず(サルカの刺)。

**どうす** [dusi] 【名詞】[C] 友達。【例】ん<sup>ん</sup>ぬ すーたい どうっそう やーんかい さーりっ たい(昨日知り合った友達を家に連れてきた)。どうす びらい(友達にいろいろな送りものをする)。

**どうす** [dusi] 【助動詞】動詞基本形に付いて述語に焦点を当てる表現、「だよ」「どう(焦点助詞)+あす(する)」の縮約形。

**とうずあす** [tuziasɪ] 【動詞】妻にする。【例】  
 まさいや かなっそう とうずあすたい (マサイはカナスを妻にした)。

**とうすかず はだかず** [tusikazi hadakazi] 【成句】毎年毎年、年年歳歳。【例】  
 とうすかず はだかず がんじゅーや ひー  
 うらまてい (いつもいつもお元気でいらっしゃ  
 って下さい)。

**とうずっふあ** [tuziffa] 【名詞】妻子。【例】  
 ばー とうずっふあうぎゃー やぐみ かなす  
 (私は妻子をととも愛おしく思っている)。

**とうすぬ くー** [tusinu ku:] 【成句】年の  
 功。【例】かみぬ くーんつきゃー とうすぬ  
 くー (亀の甲より年の功)。

**どうすぬ はな** [dusinu hana] 【成句】友達  
 の中の一番。【例】びきどうん やらばん み  
 どうん やらばん あぐぬはな どうすぬ は  
 なひー とうゆまだかーならん (男性であろう  
 が女性であろうが同級生達、友達の花として頑  
 張らないとならない)。

**とうすびー** [tusibi:] 【名詞】生まれた干支の  
 年。【例】くとうっさ どうーぬ とうすびー  
 (今年は私たちの生まれた干支の年だ)。

**とうずぶとう** [tuzibutu] 【名詞】夫婦。【例】  
 かぬきゃが ふたーいや とうずぶとうん  
 ないがまたちゃ (あの二人は夫婦になるんだっ  
 て)。

**とうずぶとうばかーい** [tuzibutubakai:]  
 【成句】離婚 (夫婦別れ)。【変異】とうずぶと  
 うばきゃーい。

**とうずぶとうばきゃーい** [tuzibutubak-  
 jai:] 【名詞】離婚 (夫婦別れ)。【例】とうず  
 ぶとうばきゃーいや ひー まーいかたーにや  
 ーん (離婚して八方ふさがりだ)。ばがぶと  
 う あたいひとう ばぬー あていくとう し  
 つきゅーたいぼどう とうずぶとうばきゃーい

あすたい (私の夫だった人はあまりにも私を  
 怒ったので離婚した)。【変異】とうずぶとうば  
 かーい。

**とうずます** [tuzimasi] 【動詞】[s/h 語幹] 終  
 了する、完成する。【例】くまぬ すかまうぎ  
 やー きゅーぬちゃん とうずまはだかー な  
 らん (この仕事は今日中に終えないとならな  
 い)。【類】とうどうます、とうずみ、とうど  
 うみ、とうずん、とうどうん。

**とうずみ** [tuzimi] 【動詞】[母音語幹] [C] 終  
 了する、完成する。【例】くまぬ すかまうぎ  
 やー きゅーぬちゃん とうずみでい (この  
 仕事は今日中に終えよう)。【類】とうずます、  
 とうどうます、とうどうみ、とうずん、とうど  
 うん。

**とうずん** [tuzin] 【動詞】[m 語幹] [C] 終了す  
 る、完成する。【例】やーふっちゃ きゅーん  
 な とうずまいん (家づくりは今日には終了で  
 きない)。【類】とうずます、とうどうます、と  
 うずみ、とうどうみ、とうどうん。

**とうつ** [tutsi] 【名詞】[C] 時。【類】ときゃ。

**とうっふや** [tuffja] 【名詞】[C] 慌て者。【類】  
 ちゃーふきゃ、かかみきゃ、とうとうっふや。

**とうどうか** [tuduka] 【形容詞】[B] (人が)お  
 となし、静かな、(海などが)静かな。【例】  
 とうどうか やらび (おとなしい子供)。きゅ  
 ーぬ いんな とうどうか いん (今日の海は  
 静かな海だ)。

**とうとうっふあす** [tutuffasi] 【動詞】[s/h  
 語幹] はやし立てて何かやらせる。【例】かい  
 ん ぶどういや とうとうっふあはいー だり  
 どう うたい (あいつに踊りを(しろと)囃子  
 立てられて疲れた)。

**とうとうっふい** [tutuffi] 【副詞】一目散に。  
 【例】ぶーっじゅ ぬすまっじやうたい やら  
 びんみゃー はいぬ ぬすん みちきらいー  
 とうとうっふい ひんずたい (サトウキビを盗

もうとしていた子供達は、畑の持ち主に見つかり一目散に逃げだした。

**とうとうつふや** [tutuffja] 【名詞】慌て者。  
[類] ちゃーふきや、かかみきや、とうつふや。

**とうどうまい** [tudumai] 【動詞】(風などが)一か所に留まる、止まる；終わる。【例】かじやー とうどうまりーどー (風は留まっている)。くまぬ すかまうぎやー きゅーじゅーん とどうまらはい (この仕事は今日中に終わらせよう)。くるまう とうどうまらし (車をとめる)。

**とうどうます** [tudumasi] 【動詞】[s/h 語幹] 終了する、完成する。【例】くまぬ すかまー きゅーひや とうどうまらはいんはず (この仕事は今日で終わることができないはずだ)。  
[変異] とうずます。[類] とうずみ、とうどうみ、とうずん、とうどうん。

**とうどうみ** [tudumi] 【動詞】[母音語幹] [C] 終了する、完成する。【例】うやきやー きた とうどうみ (裕福は桁に留め置く [家の富は桁のように家のなかに留めろということわざ])  
[変異] とうずみ。[類] とうずます、とうどうます、とうずん、とうどうん。

**とうどうん** [tudun] 【動詞】[m 語幹] [C] 終了する、完成する。[変異] とうずん。[類] とうずます、とうどうます、とうずみ、とうどうみ。

**とうなか** [tunaka] 【名詞】[C] 海洋、大海原。  
【例】ふにやー とうなかんかい いでいー はりーにやーん)。船は大海原に出帆していった。[類] とうー。

**とうなみ** [tunami] 【動詞】[A] (数を) ならす；(土地を) 平らにする。【例】うまん うるー ひとつんみぬ とうつそう とうなみていがー にじゅーばかーい (そのにいる人の年を平均すると 20 ぐらいだ)。うまうぎやー とうなみー んなし (ここをなだらかにしなさい)。

**とうなみ** [tunami] 【名詞】[A] 平均；平らなこと、またその様子。【例】しーとうぬ せーせきぬ とうなみやー さん (生徒の成績の平均は 3 だ)。うまー とうなみ どんまびやーい (ここは平らな土地かなー)。

**とうなら** [tunara] 【名詞】[C] 『植』アキノノゲシ。【例】とうならー んぎやむぬ (秋ののげしは苦い)。

**とうぬか** [tunuka] 【名詞】[C] 卵。【例】うっじゃぬ とうぬか (うずらの卵)。すむいど うぬか (巣籠の卵 [>雛の孵らない卵])。

**とうぬがなす** [tunuganasi] 【名詞】お殿様。

**とうぬかぬ あかみー** [tunukanu akami:] 【成句】卵黄。

**とうぬぎ** [tunugi] 【動詞】[母音語幹] [A] 飛び上がる、ジャンプする。[類] とうぬず (g 語幹)。

**とうぬず** [tunuzi] 【動詞】[g 語幹] [A] 飛び上がる、ジャンプする；飛び越える。【例】うまぬ ばだうぎやー とうぬぎー ばたり (この溝はジャンプして渡れ)。たかま とうぬず (ジャンプするように走る)。うまう とうぬぎ (ここを飛び越える)。[類] とうぬぎ (母音語幹)。

**とうぱ** [tupa] 【オノマトペ】(唾を吐くときの音) ペツ。【例】つっじゅぎやー とうぱていー とうぱつな (唾をペツと吐くな)。

**とうばす** [tubasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 走る、疾走する。【例】とうばひー まうきやーぬ ひとつー んがし (疾走して前の人を追い越せ)。

**とうぱつ** [tupatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (唾を) 吐く。【例】つっじゅぎやー とうぱつな (唾を吐くな)。んじゃんまい つっじゅぎやー とうぱかん (どこにも唾を吐かない)。あか

つちゆ とつばちゆー (血を吐いている) [類]  
とつびやつ。

**とつびやがい** [tubjagai] 【動詞】 [r/rr 語幹]  
飛び上がる。 [変異] とつびやぎやい。

**とつびやぎやい** [tubjagjai] 【動詞】 [r/rr 語幹]  
飛び上がる。 【例】 かりゆー とつびやがりー とつうい (あれを飛び上がって取れ)。 [変異] とつびやがい。

**どうま** [duma] 【名詞】 [B] 土間。

**どうまい** [tumai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 泊まる、宿泊する；(船が) 停泊する。 【例】 ほてるんな とつまらだ どうすぬ まいん とつまいたい (ホテルに泊まらずに友達のところに泊まった)。んなとつうんどつう ふにやー とつまい (港に船は泊まる)。 [類] とつまい (母音語幹)。

**どうまい** [tumai] 【動詞】 [母音語幹] [A] 泊まる、宿泊する。 [類] とつまい (r/rr 語幹)。

**どうまい** [tumai] 【名詞】 [A] 泊まり、泊まり込むこと。 【例】 うたきぬ とつまいがんにがい (御嶽における泊まり込みの願い)。

**どうまいいん** [tumaiin] 【名詞】 泊まり込み漁 [昔はフディ岩礁 (大神島の1キロほど北東ある岩礁) まで行って泊まり込みで漁をしたという。そこには頑丈に積まれたた石垣の宿泊用屋敷跡があった。フディ岩礁までは手漕ぎのサバニで行くと一日かかる]。

**どうまづい** [dumavvi] 【動詞】 [母音語幹]  
戸惑う、迷う。 【例】 ばー いじゆー いらばでいががら どうまづいーどうー (私はどれを選ぼうか迷っている)。どうまづいんまり (戸惑っている奴)。ばー なうばい ほうでいががら どうまづいー さだかまい ひらいん (私はどうするか迷っていて分からない)。ばー どうまづいどう つづあー たるががら っさいん (私は混乱してあなたが誰なのか分

からない)。おい どうまづいんまり つづあー なうゆどう かんがいゆー (おい、うすらとんかち、お前は何を考えているんだ)。

**とつみ** [tumi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 探す、捜す；見つける。 【例】 ぶとうぬ さきふあやう とつみが いつ (酒飲みの旦那を探しに行く)。ひとうぬ あらうぎやー とつみん (他人の欠点は探さない)。とつっじゆ とつみる (嫁になる人を探せ)。なうゆどう とつみーゆーが (何を探しているの)。すかまうぎやー はかうつちや とつみー あすぼどう ぬーがい (仕事を段取りを探してやれば捗る [＜段取りを考えて])。ばー うまん たからむぬー とつみたい (わたしはそこで宝物を見つけた)。

**とつむ** [tumu] 【名詞】 [C] 船尾。 【例】 ふにぬ とつむ (船の船尾)。

**とつむ** [tumu] 【名詞】 [C] 《祭礼》とも [うたきの用語、ウーンマに1人、アードスンマに1人に付く、ナカバイにはつかない。 <http://kikigengo.jp/nishihara/doku.php?id=exhibition:daily:religion> 参照。 【例】 うーんまが とつむ (ウーンマのお供)

**とつむーす** [tumu:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 一緒に連れてくる、招待する；お供する。 【例】 ぶじやう とつむーす (おじさんを一緒に連れてくる) うやう ゆーいんかい とつむーはでい (おじいさんをお祝いに招待する)。ういびとつー とつむーひー くー (お年寄りをお連れして来なさい)。 [変異] とつむす。

**とつむす** [tumusi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 一緒に連れてくる、招待する；お供する。 [変異] とつむーす。

**とつやーす** [tuja:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 問い合わせ。 【例】 なうばい なるーがてい とつやーひーみーる (どうなっているか問い合わせてみなさい)。

**とうゆみや** [tujumja] 【名詞】[C]《人名》仲宗根豊見親（なかそね とうゆみや）（西暦 1500 年に八重山に侵攻した）；優れ者。【例】とうゆみやー ゆなうす あす（豊見親は世直しする [＞指導者はいいい世の中を作る（べきだ）]）。

**とうゆん** [tujun] 【動詞】[m 語幹] [C] 響（とよむ、鳴り響く、名高くなる。【例】どうすぬ はな あぐぬ はな とうゆみ（友達のなかの一番、同級生のなかの一番として成功しろ）。

**とうらす** [turas] 【動詞】[s/h 語幹] [C]（借金などを返す；渡す；《補助動詞》連用形を取って「～てやる」。【例】かいんかい うっかう とうらす（彼に借金を返す）。かいん いんかい むぐらひー っぞうー とうらし（あいつに海に潜らせて魚をとらせろ [＞あいつを]）。かいん くぬ っぞうー むちーきー とうらし（彼にこの魚をもって行ってわたせ）。くぬ ひゃーゆぎゃー ひつきー とうらし（この野郎を躡けてやりなさい）。

**とうらぬい** [turanui] 【名詞】寅の日。【例】きゅーや とうらぬい（今日は寅の日だ）。

**とうらぬは** [turanuha] 【名詞】寅（東）の方。

**とうらぬはでいー** [turanuhadi:] 【名詞】東支部（西原東部）。

**とうり** [turi] ①【動詞】[母音語幹] [A] 風がなくて天気がおだやかになる、風や波がなくなる。【例】きゅーや じゃう なぎ、かじゃー とうりーどうーい（今日は海が穏やかで、風は凧いでいる）。きゅーぬ いんな とうりーどうー（今日の海は穏やかだ）。あちゃー とうりん はず（明日は天気が悪くなるはず）。あちゃー とうりていがー みがにまーい あすが（明日晴れたら素潜り漁に（行こう））。[類] とうりー。②【名詞】[A] 凧いでいること。【例】きゅーぬ いんな じゃうどうりがま（今日の海は良い凧だ）。③【名詞】[A] 天気がいいこ

と。【例】きゅーや じゃうどうり（今日は良い天気だ）。[類] とうりー。

**とうりばい** [turibai] 【動詞】[r/rr 語幹] 集中できずものが考えられない、仕事ができない、ぼんやりする。【例】ばー みどうんぬ くと うー うむいどう とうりばりー うたい（私は妻のことを思ってぼんやりしていた）。おい とうりばらだ はやまり すかま あっそう（おい ぼんやりしないで早く仕事しなさい）。

**とうりばら** [turibara] 【名詞】ぼんやりしている者。【例】おい とうりばら っづあー なうゆどう ほうー（このぼんやり者、お前は何かをしているんだ）。

**とうりひぐい** [turihigui] 【名詞】冬の晴れた日に寒気がおそうこと、放射冷却。【例】きゅーや とうりひぐいや ひー っしかいばならん（今日は放射冷却で寒くてならない）。ふゆんな とうりひぐいぬどう あい（冬には放射冷却がある）。きゅーや とうりひぐいや ひーゆーば いんぬ っぞうまい すにゅー はず やいば っそういが いかでい（今日は底冷えしているから、海の魚も死んでいるはずだから拾いに行こう）

**どうる** [duru] 【名詞】[B] 泥、奴。【例】ふたてい どうる（馬鹿な奴）。

**どうるだり** [durudari] 【名詞】泥まみれ。【例】ぎずぎやうな やらびゃー きゅーまい どうるだり（いたずら小僧は今日も泥だらけだ）。[類] どうるびーた。

**とうるな** [turuna] 【名詞】[C]《植》アキノノゲシ。【例】とうるなー んぎやむぬ（アキノノゲシは苦い）。

**どうるびーた** [durubita] 【名詞】泥まみれ。[類] どうるだり。

**どうるんた** [durunta] 【名詞】泥土。

**とうん** [tun] 【副詞】ぐるっと、即座に。【例】うまう とうん まーり（ここをぐるっと回



れ)。っさらん いきー とうん むどうい (平良に行って直ぐに引き帰す)。

**とうんから** [tunj kara] 【名詞】まだ結婚していない若者達が (男女別々に中学生くらいから) 一緒に寝泊りすること。「とうんからあぐ」は一生の友達となる。【例】とうんからあぐ (一緒に寝泊りする友達)。とうんから やー (友達同士一緒に寝泊りする家)。

**とうんぎ** [tungi] 【動詞】[母音語幹] [A] (角、釘などが中から) 突き出る、(乳房、お尻、目玉など体の部分が) 外に出る。

**どうんぎや** [duŋgja] 【名詞】[C] 大きなマグロの群。【例】どうんぎやう みーみーぶすむぬ (マグロの大群を見てみたい)。

**とうんくい** [tunj kui] 【動詞】[母音語幹] 飛び越える。【例】うまぬ ばだうぎやー とうんくい (その溝を飛び越えろ)。

**とうんず** [tunzi] 【動詞】[g 語幹] [A] 尖がる; (角、釘などが中から) 突き出る、(乳房、お尻、目玉など体の部分が) 外に出る。【例】とうんがらす (尖がらす)。[類] とうがい。

**とうんず** [tunzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A] 尖がる; (角、釘などが中から) 突き出る、(乳房、お尻、目玉など体の部分が) 外に出る。【例】かいが ながうっそー とうんじゅーい (あいつの後頭部は尖がっている)。かにふずぬどう とうんじゅー (釘が突き出ている)。かいが ていびるんな とうんでいーどうー (あいつのお尻は突き出ている)。[類] とうがい。

**とうんでい** [tundi] 【動詞】[母音語幹] [A] 尖がる; (角、釘などが中から) 突き出る、(乳房、お尻、目玉など体の部分が) 外に出る。[類] とうがい、とうんず。

**とうんでい** [tundi] 【名詞】[A] 冬至。

**とうんでいさうがつ** [tundisaugatsi] 【名詞】冬至正月、小正月 [冬至正月は正月は12

月20日ごろ行われる冬至の祝い、現在は干支を同じくする人たちの同期会のようになっている]。【例】とうんでいさうがつんな どーそーかいゆ あす (冬至には同期会をやる)。

**とうんびやん** [tumbjan] 【名詞】《植》竜舌蘭 (リュウゼツラン)。【例】とうんびやんな とうずくぬどう あい (竜舌蘭には刺がある)。

**とうんま** [tumma] 【助詞】《副助詞》～も、さえも。【例】うりやーとうんま っさんな (それさえも知らないのか)。うらーとうんま ひらいんな (それさえもできないか)。んなぎやー すかまー なからーとうんま くーん (今のところ仕事は半分も来ていない)。つづあんな とうずどうんま とうみらいんな (お前には結婚もできないのか)。[類] どうんま、とうんな、ちゅんま、ちゅんな。

**とうんま** [tumma] 【助詞】《副助詞》少しも変化しないこと強調する、(微動) さえ、だに (しない)。【例】いんな むぬー ふいーきやたーひーや びーないや とうんま ほうだ むゆかん (犬は餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。うまぬ やーや ないんまい びーないや とうんま ほうん (この家は地震でもびくともさえしない)。

**どうんま** [dumma] 【オノマトペ】ドンと。【例】うまん どんまでいー うっき (そこにドンと置け)。

**どきよー** [dokjo:] 【名詞】[B] 度胸。【例】どきよーや にやーんんまり (度胸のない奴)。

**とうすかず はだかず** [tusikazi hadakazi] 【成句】毎年毎年、いつもいつも。【例】とうすかず はだかず がんじゅーや ひーうらまでい (いつもいつもお元気でいらっしやて下さい)。

**とつづあずー** [tovvazi:] 【名詞】《地名》真謝の北東辺り、船で10分から15分くらいのところにあるリーフの名前。

**どんない** [donnaï] 【オノマトペ】 どんどん。

【例】 みっじゅぎゃー どんない いる (水は  
どんどん入れなさい)。どんない ふあい (ど

んどん食べなさい)。

**どんま どんま** [domma domma] 【オノマ  
トペ】 どたんどたん。



# な

**な** [na] 【助詞】『終助詞』動詞基本形について禁止の意味を表す。【例】ふあうとうきやんな  
ふつならう いだすな（食べるときにはくちやくちや音をだすな）。うまん なまいな（ここに止まるな）。

**な** [na] 【助詞】『終助詞』動詞基本形について、真偽疑問文を作る。【例】つうあ きやうだいや  
うりな（兄弟はいますか）。ういひー じゃ  
うぶんな（これで足りえますか）。うらー つう  
あが むぬな（これはあなたのですか）。きよ  
ーとんかいや いきやー くとう ありどう  
うらまいな（京都にいったことがありますか）。  
うぬ まんごーや んまいどう あたいな（このマンゴーはうまかったですか）。つうあまい  
いかでいな（お前も行くのか）。

**なー** [na:] 【名詞】[B] 名前。【例】ばが なー  
や かに（私の名前はカニです）。ばが なー  
ゆぎやー まさいていどう あい（私の名前は  
マサイと言います）。なーゆ ならーひー ふ  
いーさまてい（名前を教えてください）。

**なー** [na:] 【感動詞】『応答詞』聞き返すときに使う、なに、えっ。【例】なー、なうていー（え、何だって）。なー、つうあー んなま なうてい  
どう あいたー（え、君いまなんて言ったの）。

**なー** [na:] 【名詞】[B] 縄。【例】なーゆ なう  
（縄をなう）。[類] ん<sup>ナ</sup>な。

**なー** [na:] 【接尾辞】名詞について、量を同じだけ割り当てることを表す、ずつ、だけ、ごと。

【例】たうかーなー たうかーなー ならーす  
（一人ずつ教える）。たうかーひー っていつな  
ー とうい（一人で一つずつ取れ）。ふた一つ  
が ゆいなーや ひぬ ゆたーいぬ きよーだ  
い（二つおきの4人の兄弟）。

**なーぎ** [na:gi] 【動詞】[母音語幹] [A] 敬う。  
【例】かんぬ なーぎでい（神様を敬おう）。[類]  
なーず。

**なーぎ むぬい** [na:gi munui] 【名詞】敬語。  
【例】そうじゃっそうんかいや なーぎ むぬ  
いゆ あい（先輩には敬語を使う）。

**なーす** [na:si] 【動詞】[C]（太陽に芋を）晒す。  
【例】んーぬ なーす（太陽に芋を晒す）。

**なーず** [na:zi] 【動詞】[g 語幹] [C]（人、神を）  
尊敬する、褒めたたえる。【例】とゆみやー  
たるからまい なーがいどうー（豊見親は皆か  
ら尊敬されている）。かながなっそう なーぎ  
ーうい（神様をたたえている）。[類] なーぎ。

**なーすたらしゃ** [na:sitaraxa] 【名詞】名を  
下げる人、一家の恥。

**なーどう** [na:du] 【代名詞】[C]『再帰代名詞』  
「なら」の複数形、自分たち [主語が1人称なら「私たち」、主語が二人称なら「お前たち」、主語が三人称なら「彼ら、彼女ら」を指す]。【例】  
おい まさいた、うらー なーどうが むぬて  
いー しばいな（おい、マサイ、お前たち、それは自分たちのものだど自慢するな [＜マサイ  
たち]）。うぬ っふあっちや つうあるが む

ぬ— あらだ、うら— な—どうが むぬ (おい その鍬はお前たちのものではなくて、それは私たちのものだ)。うぬ さきゃー んぬぬ ばんていが ぬん ぬくい やいば うら— な—どうが むぬ (この酒は昨日の私達の飲み残りだから、それは私たちのもの)。かぬきゃー な—どうが むちっちゃー むぬ— つくえぬ はなんかい ならびゅ—たい (あいつらは自分たちが持ってきた品物を机の上にならべた)。**[変異]** な—る。**[類]** ならどう。

**な—どうが かた** [na:duga kata] **[名詞]**  
自分たちの味方；自分たちの親戚。

**な—る** [na:ru] **[代名詞]** **[C]** 《再帰代名詞》「なら」の複数形、自分たち [主語が1人称なら「私たち」、主語が二人称なら「お前たち」、主語が三人称なら「彼ら、彼女ら」を指す]。**[変異]** な—どう。

**ない** [nai] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[A]** (AがBに) 変化する；形容詞を取る場合は、形容詞語幹に「ふ」を付けて「～ふ ない」と言う；節を取る場合は「～やうん ない (ようになる)」と言う。【例】とうず ぶとうん ない (夫婦に成る)。ながみんふ なり—にゃ—ん (耳が遠くなった)。ば— ういびとう なりどう ひとつぬ むぬいや つかいだ んぎゅ— (私は年取って人の話が聞こえなくなっている)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[A]** (実などが) 実る。【例】ふにゅ—ぬどう なりゅ— (みかんがなっている)。みなかぬ ばさぬ ないや んな—ぎゃ— なりや うらん (庭のバナナの実はまだなっていない)。

**ない** [nai] **[名詞]** **[B]** 実。【例】き—ぬ ない (木の实)。ばさない (バナナ [＜芭蕉の実])。

**ない** [nai] **[名詞]** **[B]** 地震。【例】ほうない や やぐみ うとうるすむぬ (大地震はほんとうにこわい)。ないや ひ— や—や かたうき—にゃ—ん (地震で家は傾いた)。こんくり

や—や がば— ないんまい び—ないや とうんま ほうん (コンクリートの家は大地震でもびくともしない)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[A]** 太陽にさらして甘くなる。【例】ない ん— (太陽に晒した甘い芋)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[A]** 鳴る。【例】ないぬ とうきやんな ず—うぬどう ない (地震のときには地響きする「＜地面が鳴る)。かんないぬ ない (雷が鳴る)。

**ない** [nai] **[名詞]** **[B]** 苗。【例】ん—ぎ—ぬ ない (芋の苗)。ぶ—ずぬ ない (サトウキビの苗)。ん—ぎ—ぬ ない (芋づるの苗)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[母音語幹]** **[C]** 萎える、枯れる。【類】ない (r/rr 語幹)、ない— (r/rr 語幹)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[C]** 萎える、枯れる。【例】そう—や ない—どう (野菜は枯れている)。**[類]** ない (母音語幹)、ない— (r/rr 語幹)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[母音語幹]** **[C]** 捻挫する、痛める。【類】ない (r/rr 語幹)、ない— (r/rr 語幹)。

**ない** [nai] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[C]** 捻挫する、痛める。【類】ない (母音語幹)、ない— (r/rr 語幹)。

**ない—** [nai:] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[C]** 萎える、枯れる。【類】ない (母音語幹)、ない (r/rr 語幹)。

**ない—** [nai:] **[動詞]** **[r/rr 語幹]** **[C]** 捻挫する、痛める。【例】はっじゅ ないらす (足を捻挫する)。**[類]** ない (母音語幹)、ない (r/rr 語幹)。

**ないがた** [naigata] **[成句]** ～になりそうである。【例】かいまい ういびとう ないがた (あの人も年寄りになりそうだ)。

**ないかに** [naikani] **[名詞]** 神名、御帳主。**[類]** うちやうぬす。

**ないぎゃ** [naigja] 【名詞】[C] 足の不自由なひと。【類】ないず びとう。

**ないくっじゃ** [naikuzza] 【名詞】成長の良くないもの。【例】ないくっじゃがまー いみふだー（成長の良くないものは小さい）。ないくっじゃ やらびがま（生育の悪い子供）。ないくっじゃがまー やらびあいきやどう やみーうたいちゃ（成長の良くない人は子供の頃に病気にしていたんだって）。

**ないず** [naizi] 【動詞】[g 語幹] [C] びっこを引く。【例】はっじゃ ぶりー ないぎーどうー（骨折してびっこを引いている）。

**ないず** [naizi] 【名詞】[C] びっこの人、足の不自由な人。【例】ないず びとう（びっこの人）。

**ないていがー** [naitiga:] 【副詞】できたら、なるべく。【例】ばー ないていがー いふたつふぁにやーん（私はできたら行きたくない）。

**ないらす** [nairasi] 【動詞】[s/h 語幹]（足や手を）捻挫する、（自分を）捻挫させる。【例】いすぐーん はっじゃ とうらいー はっじゃ ないらひーにやーん（石ころに足を取られて、捻挫した）。はっじゃ ないらはいにやーん（足は捻挫した）。

**なう** [nau] 【動詞】[w 語幹] [C] 綱（な）う。【例】ぶーず たうすぬ ん<sup>°</sup>なう なう（サトウキビ収穫用の縄を綱（な）う）。ん<sup>°</sup>なう だにー なう（綱をねじって綱（な）う）。ん<sup>°</sup>なうぎゃー だにどう なう（綱はねじらせて綱（な）う）。みーつぬ ん<sup>°</sup>なう ゆいー がぼーん<sup>°</sup>なう なう（三本の縄をなつて太い縄をなう）。

**なう** [nau] 【名詞】[C] 『疑問詞』何、どれ（ぐらい）、なん（の）。【例】うらー なう（それは何）。なうんまい ならん（何の役にも立たない）。かりやー なうばかーいぬ ほうりむぬ

（彼はどれ位のバカ者）。うりゆーぎゃー なうていどう あい（これはなんというか）。なうぬ くとうが（何の事だ）。

**なう あすかたー にやーん** [nau asikata: nja:n] 【成句】退屈、何をすることもない。【例】きゅーや なう あすかたー にやーん（今日は退屈だ（何もすることもない））。

**なう ほうっでい** [nau huddi] 【成句】なにをしに、なんのために。【例】つうあー なうほうっでいどう うまんかい った（お前はなにをしにここに来たのか）。

**なう やらばんまい** [nau jarabammai] 【成句】何でも、何であっても。【例】なう やらばんまい ゆぬむぬ やいぼ ぼぬんなうー ふいーる（なんでもおんなじだから俺にはこれをくれ）。

**なうい** [nau] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（穀物などが）実る；（地域などが）豊かになる；添い遂げる。【例】くとうっさ あーぬ ゆー なうりゆー（今年は粟が良く実っている）。なうい まい（実った稲）。ゆーや なうりーどう（村は豊かになっている）。なぐかでいぬ なうらす（穏やかな風が実らす）。かぬ びきりやとう そういなうり（あの男と添い遂げろ）。なうい ゆー（豊かな世）。

**なうい** [nau] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（病気が）治る。【例】ほうりむぬー すなだかー なうらん（バカは死なないと治らない）。ほうがさー なうりーどう（おできは治っている）。

**なうががら** [naugagara] 【代名詞】『不定代名詞』なにか。【例】うまん なうががらぬどう うい（そこに何かいるよ）。なうががらんかい どうーゆ うからはだかー ぼぬんなたちや うらいん（何かに身体を支えられていないと私には立って居れない）。【類】なうがら。

**なうががら** [naugagara] 【副詞】なぜか原因はわからないが、何となく；見るからに、いか

にも。【例】きゅーや なうががら かなまいぬ やみゅー（今日はなんとなく頭が痛い）。かりゃー じゃうからた なうががら ちゅーぎ びとう（あの人は立派な体格でいかにも強そうな人だ）。

**なうががら** [naugagara] 【成句】何か、何であるか。【例】うらー なうががら っさいん（これが何だか分からない）。かぬ とうきやん っづあが かうたい むぬー なうががらていー うぶいどうー（あの時君が買ったのはなんだか覚えてるか）。

**なうががらむぬ** [naugagaramunu] 【成句】変だな、どうしたんだろう。【例】なうががらむぬ、うぬ やらびゃー うまん あそうびゅーたいそうがどう とうみらいん（変だな、その子はそこで遊んでたはずだけど、いなくなった）。

**なうがら** [naugara] 【感動詞】『フィラー』えーと、何というか、あの一。

**なうさ** [nausa] 【名詞】[B] 石子、小石、サンゴの化石で道路の舗装に使った。【例】なうさうどう んつんかい すつ（石子を道路に敷く）。

**なうじゃん** [nauzan] 【名詞】『疑問詞』理由、目的を尋ねる疑問詞、なんで、どういうわけ。【例】っづあー きゅーや なうじゃんぬ ばーが（お前は今日は何しに来たの）。んぐぬー なうじゃんな ひどう からー くーっだんが（昨日はなんで彼は来なかったの）。[類] なうばい。

**なうす** [nausi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]（壊れたものを）直す；（病気などを）直す：（人の仲を）修復する。【例】あっちゃやぬ ぶーや つっちゅーば なうはだかーならん（げたの鼻緒が切れたから、直さなければならぬ）。きかいゆなうす（機械を直す）。から いしやんな なうはいん やな やん なりゅー（彼は医者には直せない難病にかかっている）。

**なうす ふあーっでい** [nausi fa:iddi] 【成句】どういうつもりで、なんのために。【例】っづあー なうす ふあーっでいどう うまんかい った（お前は何しにここに来た）。

**なうすたる** [nausitaru] 【成句】（相手を非難して）どうなっているんだ。【例】っづあが すかまー なうすたるむぬ やいば（お前の仕事はなんだ [＞ダメじゃないか、もう一回やり直せ]）。

**なうすなうす** [nausinausi] 【副詞】（機械や人間の仲を）直し直し、直しながら [「なうす」の反復形]。【例】やり きかいゆぎゃー なうすなうす つかいゆー（古い機械を直しながら使っている）。うぬきや とうずぶとうー いつまい やどうゆんな ひや なうすなうす ひーゆー（その夫婦はいつも喧嘩をしては仲直りする）。

**なうちゃーなー** [nautɕa:na:] 【成句】無意識的に；[否定を伴って] なんでも（いいわけではない）；（「すぐ」をあとにつけて）いきなり、突然に。[変異] なうちゃーにやー。

**なうちゃーにやー** [nautɕa:nja:] 【成句】無意識的に；[否定を伴って] なんでも（いいわけではない）；（「すぐ」をあとにつけて）いきなり、突然に。【例】かりゃー なうちゃーにやー すばー っふいどう つむでいーうたい（あいつは無意識に唇を噛んで怒っていた）。かりゃー むぬがま やいば なうちゃーにやーや ふあーん（彼は小食だからなんでも食べるわけではない）。かりゃー あたずむ やいば なうちゃーにやー つむでいー（彼は短気だから何にでも腹を立てる）。なうちゃーにやーや ふあーいん（何でもかんでも食べられる訳はない）。なうちゃーなー すぐ っづあん うどうるかはい にやーん（いきなり、お前にびっくりさせられてしまった [＞いきなりじゃないか、びっくりしたぞ]）。[変異] なうちゃーなー。

**なうちゅん** [nautɕun] 【副詞】何も、全然、主  
題形の「な(ま)」を伴うことがある。【例】  
かりゃー くぬいや なうちゅん みーらいん  
(彼は最近全然見かけない)。**[類]** なうとうん。

**なうちゅんな** [nautɕunna] 【副詞】何も、全  
然。**[変異]** なうちゅんま、なうとうんま、な  
うとうんな。

**なうちゅんま** [nautɕumma] 【副詞】何も、全  
然。【例】つづあが むぬいや なうちゅん  
ま あたらん(お前の言っていることは全然的  
外れだ)。つづあが すかまー なうちゅんま  
ぬーがらん(あなたの仕事は全然捗らない)。  
なうちゅんま あいや あらん(全然そうでは  
ない)。ばぬんな うらー なうちゅんま っ  
さいん(私にはそれは全然分からない)。**[変異]**  
なうちゅんな、なうとうんま、なうとうんな。

**なうっしゃー** [nauɕɕa:] 【成句】何のために。  
**[類]** なうほうっじゃ、なうっしゃーな。

**なうっしゃーな** [nauɕɕa:na:] 【成句】何  
のために。【例】なうっしゃーなー なうやひ  
ー つづあー うまんかい いつたいが(何の  
ために、なぜ君はそこに行ったのか)。**[類]** な  
うほうっじゃ、なうっしゃー。

**なうてい** [nauti:] 【感動詞】『応答詞』聞き  
返すときにつかう、何だって、まさか。【例】  
なうてい、かりゃー すにーにゃーん(何だ  
って 彼は亡くなったのか)。

**なうていどう あい** [nautidu ai] 【成句】  
『フィラー』言いよどむときに使う、えーっと、  
何というか。

**なうていぬ ばーが** [nautinu ba:ga] 【成  
句】どうしたんだろう。【例】なうていぬ ば  
ーが、やどらー あかん(どうしたんだろう。  
戸が開かない)。

**なうでいんね** [nauðinne] 【成句】大したこ  
とはない。**[類]** なうでいんまー。

**なうでいんまー** [nauðimma:] 【成句】大し  
たことはない。【例】なうでいんまー なう  
まいあらん(大したことはない。大丈夫だよ)。  
**[類]** なうでいんね。

**なうとうが** [nautuga] 【副詞】どうしても～  
ない、全然～ない。【例】なうとうが ひとう  
ぬ むぬいゆぎゃー つかん(どうしても人の  
言うことを聞かない)。**[変異]** なんととうが。

**なうとうん** [nautun] 【副詞】何も、全然。

**なうとうんな** [nautunna] 【副詞】何も、全  
然。**[変異]** なうちゅんま、なうちゅんな、な  
うとうんま、

**なうとうんま** [nautumma] 【副詞】何も、全  
然。【例】ばー すまぬ くとうーぎゃー  
なうとうんま っさん(私は村のことは何も知  
らない)。**[変異]** なうちゅんま、なうちゅんな、  
なうとうんな。

**なうぬ くとうまい にゃーん**  
[naunu kutumai nja:n] 【成句】何の連絡もない、  
何の便りもない。【例】かいが あめりかんか  
い はりーからー みーていないそうが なう  
ぬ くとう まいにゃーん(彼がアメリカに行  
ってから3年だが何の便りもない)。

**なうぬ みーんな ならん** [naunu  
mi:nna naran] 【成句】何の役にも立たない。  
【例】やっづい ぐるまー なうぬ みーんまい  
ならん(故障した車は何の役にも立たない)。

**なうばい** [naubai] 【名詞】「ぬ」を付けて、性  
質を聞く疑問詞、どうい、どんな。【例】な  
うばいぬ むぬ(どういうもの)。なうばいぬ  
ひとう(どんな人)。なうばいぬ くとう(ど  
んなこと)。なうばいぬ ばーが(どうしたわ  
けだ) **[類]** いんしー。

**なうばい** [naubai] 【副詞】『疑問詞』どんなに、  
どうやって。【例】なうばいどう くまんかい  
った(どうしてここに来たの)。なうばい ふ  
あーんまい ふあうはていらいん(どんなに食



べても食い尽くせない)。なうばい あすばど  
う じゃうかい (どうすればよいのか)。なう  
ばいちゃーにやー ひとつぎゃー んみかん  
(何となしに人を叱らない [ > 叱ってはいけな  
い])。なうばい あすかたまい にやーん (ど  
うしようもない)。でいんまい にやーん、なう  
ばい ほうでい (金もない。どうしよう)。

**なうばいが** [naubaiga] 【感動詞】『応答詞』知  
り合いに会ったときにする挨拶、どうだい、う  
まくいっているか。

**なうばいていー** [naubaiti:] 【感動詞】『応  
答詞』相手の言ったことを聞き返すときに使う。  
え、何だって。 [類] なー、なうていー。

**なうふあーっでいー** [naufa:ddi:] 【成句】  
何をしに、なんのために 「なうす ふあーっ  
でい」と同じ。【例】 っうあー なうふあーっ  
でいどう うまんかい った (お前は何しにこ  
こに来た)。

**なうふい** [naufui] 【形容詞】格好をつける。  
【例】 なうふいんまり (格好をつける奴、目立  
たがり屋、自惚れの強い奴)。

**なうふい** [naufui] 【名詞】格好をつける人。  
[類] なうふや。

**なうふや** [naufuja] 【名詞】格好をつける人。  
【例】 からー なうふや だら (彼は格好をつ  
ける人なんだ)。

**なうふや** [naufuja] 【形容詞】格好をつける。  
[類] なうふや。

**なうまい** [naumai] 【副詞】何も。【例】 ばー  
すまぬ くとうぎゃー なうまい っさん  
(私は村のことは何も知らない)。

**なうまい んなない** [naumai nnanai] 【成  
句】何もかも全て。【例】 かりやー あいく  
とう にやーん くとうー なうまい んなな  
い むぬっじゅーたい (彼はあることないこと

何もかも全て話した)。かいん でいんまい  
やーまい なうまい んなない たくまいーに  
やーん (彼に金も家も何もかも全て騙し取られ  
た)。

**なうまいあらん** [naumaiaran] 【成句】何  
でもない、大丈夫。【例】 なうでいんまー なう  
まいあらん (大したことはない。大丈夫だよ)。

**なうや あすかたーにやーん** [nauja  
asikatanja:n] 【成句】どうしようもない、途方  
に暮れる。【例】 ばー うっかー あみかっづ  
いー なうや あすかたーにやーっだん (借金  
をたくさん負ってどうしようもなかった)。

**なうやあらん** [naujaaran] 【成句】そんな  
ことはない、そうではない、ちがう。

**なうやひー** [naujahi:] 【副詞】理由を聞く疑  
問の副詞 なぜ、どうして 反問としても使える。  
。【例】 なうやひー あい ないたー (ど  
うしてそうなったの)。なうやひーどう うま  
んかい った (なぜそこにいったの)。なうや  
ひー ふあーじゃーん (なぜ食べない)。なう  
やひー かるー とうず あすたい (何故彼女  
を妻にしたか)。なうやひー ゆびやー さき  
ぬんが くーっだんが (何で昨晩は酒飲みに来  
なかったか)。

**なうやらばん** [naujaraban] 【成句】何でも良  
いから、何でも。 [類] なうやらばんまい、な  
うやらん、なうやらんまい。

**なうやらばんまい** [naujarabammai] 【成  
句】何でも良いから、何でも。【例】 たかから  
ばんまい やすからばんまい なうやらばんま  
い かーでい ((値段が) 高かろうが安かろう  
が何でも良いから買います)。やーすかいば  
なうやらばんまい ふあーでい (おなかのすい  
ているから何でも食べます)。[類] なうやらば  
ん、なうやらん、なうやらんまい。

**なうやらん** [naujaran] 【成句】何でも良いか

ら、何でも。【類】なうやらばん、なうやらばんまい、なうやらん。

**なうやらんまい** [naujarammai] 【成句】何でも良いから、何でも。【類】なうやらばん、なうやらばんばんまい、なうやらんまい。

**なうらす** [naurasi] 【動詞】[s/h 語幹] 成長させる、実らせる。【例】あぐぬ はな どうすぬ はなひー なうらはだかーならん（同級生、友達の出世頭として成功させないとならない）。くぬ あみゃー はいぬ ぶーっじゅまい、んーぎーゆまい なうらすがまた（この雨は畑のサトウキビや芋を成長させるだろう）。

**なうんだい** [naundai] 【感動詞】『応答詞』命令されたことを拒否するときに使う、何でだ、いやだ。【例】なうんだい、ばー うりゅーぎゃー ほうん（なんでだ、おれはそんなことしない）。

**なか** [naka] 【名詞】[C] 中、中身；（外面に対し）内面。【例】かりゃー あら かぎ なかっさり やいば かいが つむぬ なかーゆまいん（彼は外面はきれいだが中は汚いので、彼の心の中は読めない）。

**なが** [naga] 【形容詞】[B] 長い。【例】ながん（長い綱）。ながたび（長旅）。ながみはな（面長）。ばー ういびとう なりー ながみんふ なりー ひとつぬ むぬいや むいとう つかいだ んぎゅー（私は年取って耳が遠くなって全然人の話し声が聞こえなくなっている）。

**なが うっそう** [naga ussu] 【名詞】後頭部のとがった人。

**なかーい** [naka:i] 【動詞】[r/r 語幹] 分ける。【例】たまう なかーい（分け前を分ける）。いんからぬ っぞうー なかーい（漁の魚を分ける[＜海からの]）。じょー っぞうー なかーらでい（さー、魚を分けよう）。

**なかーに** [naka:ni] 【名詞】次女。【例】ばー なかあにゅーど むいとう むづみゅー（私はおたくの二番目の娘さんを愛しています）。

**ながーみ** [naga:mi] 【名詞】梅雨。【例】ながーみんかい なりーにゃーん（梅雨入りした）。ながーみゃー あきーにゃーん（梅雨が明けた）。

**ながーみふー** [naga:mifu:] 【名詞】長くつづく雨。【例】くぬいや みーかまい ながーみふーや ひーゅー（このごろは3日も雨が続けている）。

**ながあーぐ** [nagaa:gu] 【名詞】長綾語（長い歌）。

**ながい** [nagai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 流れる。【例】んすぬかーぬ みっじゃ がーらみどう ながりゅー（ンスヌカーの水はゴーゴーと流れている[ンスヌカーは西原の北にある地下からの湧水の取水場]）。

**ながうちや** [nagautça] 【名詞】『道具』鶴嘴（つるはし）。【例】ながうちやひー いっそうくーす（つるはしで石を掘り出す）。

**ながさ** [nagasa] 【名詞】[C] 長さ、長いもの。【例】ゆぬ ながさ（同じ長さ）。ながさー ます（長い方が良い）。

**なかじゃ** [nakaza] 【名詞】[C] 台所。

**ながす** [nagasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 流す。【例】みずんかい ながす（水に流す）。

**なかずむ** [nakazimu] 【名詞】心の中の思い、優しさ。【例】じゃう なかずむ（良い内心）。まーぬ むぬい ひとつー なかずむー にゃーん（余りにも喋る人は心の中の思い[＝優しさ]がない）。【類】なかち。

**なかたがい** [nakatagai] 【名詞】仲違い。【例】うぬきゃが ふたーいや なかたがいや ひーどう（その二人は仲違いしている）。

**なかち** [nakatçi] 【名詞】[B] 女性の陰核。【例】  
なかつがま（女性の陰核）。[変異] なかつ。

**なかち** [nakatçi] 【名詞】[A] 心の中の思い、優しさ。[変異] なかずむ。

**なかつ** [nakatsi] 【名詞】[B] 女性の陰核。[変異] なかち。

**ながつず** [nagatsizi] 【名詞】長い行列、長く繋がること。【例】かまぬ まっちゃんな ひとつぬどう ながつっじゃ ひーゆー（向こうの店には人々が長い行列をつくっている）。

**ながていび** [nagatibi] 【名詞】中々離席しない人。【例】うりゃー ながていび びーったー（彼は最後まで離席しない）。

**ながに** [nagani] 【名詞】[B] 背中。[類] くすんみ。

**なかまーい** [nakamai] 【名詞】自分の懐に公金等入れること、競争等で走る距離の嘘をつくこと。【例】でいんぬ なかまーい あす（公金等を自分の懐に入れる）。

**ながみーだつ** [nagami:datsi] 【名詞】年増の独身女性。

**ながみつず** [nagamitsizi] 【名詞】『祭礼』祭事「すまふさら」に使う悪霊払いの綱でそれに肉片、骨を途中、途中に入れる。【例】すまふさらんな ながみつっじゅうどう すまぬ はいーふつん はい（スマフサラには村に病気等の悪霊が入らないように村の入口にナガミツジを張る）。

**ながみん** [nagamin] ①【形容詞】耳が遠いこと。【例】ながみん ういびとう（耳の遠い年寄り）。ばー ういびとう なりー ながみんふ なりー ひとつぬ むぬいや むいとう つかいだ んぎゅー（私は年取って耳が遠くなって全然人の話し声が聞こえなくなっている）。かぬ ういびとうー ながみんかいば ひとつ

ぬ むぬいゆぎゃー つかん（あの年寄りは耳が遠いので人の話し声は聞かない）。[類] みんな。②【名詞】耳が遠い人。[類] みんな。

**ながやーじゃう** [nagaja:zau] 【名詞】年取って弱くなりこもりきりになること；長い間病気で養生していること。【例】うやー ながやーじゃうや ひーゆー（おじさんは年取ってこもりきりになっている）。まさいや はずぬふにゆー ぶりー ながやーじゃうゆ ほうーたい（マサイは足の骨を折って長い間養生している）。[変異] ながやうじゃう。

**ながやうじょう** [nagajauzou] 【名詞】年取って弱くなりこもりきりになること；長い間病気で養生していること。[変異] ながやーじゃう。

**ながゆ** [nagaju] 【名詞】[A] 『魚』ボラ。【例】だーながゆ（大型のボラ）。

**なから** [nakara] 【名詞】[C]（入れ物の）半分（の量）。【例】さきゃー くびんぬ なからあり（酒はビンの半分ある）。んなぎゃー すかまー なからーとうんま くーん（今のところ仕事は半分もきていない）。

**なからぐびん** [nakaragupin] 【成句】思慮の足りない人 [＜中身が半分しか入っていない瓶]。【例】かりゃー うむくとうー にゃーん なからぐびん（彼は思慮の足りない人だ）。

**ながんぬつ** [nagannutsi] 【名詞】長命。【例】ながんぬつ ういびとう（長命のお年寄り）

**ながんぶ だーい** [nagambu dai] 【成句】[r/rr 語幹]（疲れを取るために）横になる、寝そべる。【例】ながんぶ だーりー ゆくー（横になって休む）。

**なぎ** [nagi] ①【動詞】[母音語幹] [C] 殴る。[類] なず。②【動詞】[g 語幹] [C]（鉦（なた）や鎌でサトウキビを）薙ぎ倒す。[類] なず。

**なぎ** [nagi] 【名詞】[B] 風。【例】とうりど う なぎゃー ひーゆー（晴れて風になってい

る)。きゅーや なぎゃーひー かじゃーにやーん (今日は風で風がない)。

**なぎ** [nagi] 【接尾辞】[B] (名詞について) 周辺を表す、～辺、～近く、～あたり。【例】うまなぎ (そこら辺)。かまなぎ (向こうら辺)。かーまなぎ (遠くの方)。っさらなぎ (平良辺り)。くまなぎ (ここら辺)。んじゃなぎ (どこら辺)。あがいなぎ (東の方辺り)。

**なぐい** [nagui] 【名詞】[B] 波や風のうねり、余波。【例】きゅーぬ いんな やぐみ なぐい (今日の海は大変なうねりだ)。かでいふつぬ あとうんな なぐいぬどう あい (台風の後には余波がある)。きゅーまい いんな かでいふつぬ なぐいぬどう あい (今日も海には台風の余波がある)。

**なぐかでい** [nagukadi] 【名詞】和やかな風、そよ風。【例】きゅーぬ かじゃー なぐかでいがま (今日の風はそよ風だ)。なぐかでいぬ なゆらしばよ (和風が実らすからよ [古謡「豆が花」より])。

**なさがい** [nasagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 高齢で子を産めなくなる。【例】っふぁー なさがりゅー わーゆどう あびゃーていー あい (年を取って子を産めなくなった豚をアピャーと言う)。<sup>変異</sup> なすあがい。

**なさがい** [nasagai] 【名詞】高齢で子供が産めなくなる事。【例】かぬ みどうんな んめなさがいん なりーどうー (あの女性はもう年を取って子どもを産めなくなっている)。<sup>変異</sup> なすあがい。

**なさんつづあ** [nasanvva] 【名詞】妻か夫の連れ子。【例】うらー ばが なさんつづあ (それは私の {妻/夫} の連れ子だ)。あびゃーわーや なさがい わー (子供の産めない豚は出産能力のない豚だ)。<sup>変異</sup> なさんっふあ。

**なさんっふあ** [nasanffa] 【名詞】妻か夫の連れ子。 [<sup>変異</sup>] なさんつづあ。

**なす** [nasi] 【動詞】[s 語幹] [C] (子供を) 産む、出産する。【例】わーぬどう っふぁがまう なしゅー (豚が子供を産んでいる)。わいていー んくまだかー っふぁー なさいん (うんと力まないと子供は産めない)。びきどうん っづあう なす (男の子を産む)。

**なす** [nasi] 【動詞】[s 語幹] [C] AをBに変化させる、変える。【例】いっさ ぱりー ぐまみん なす (石を割って粉々にする)。

**なず** [nazi] ①【動詞】[g 語幹] [C] なぐる。【例】ぎずぎやうぬ やらびゅー なず (いたずらな子供をなぐる)。②【動詞】[g 語幹] [C] (鉈(なた)や鎌でサトウキビを) 刈る。【例】ぶーっじゅ っざらひー なず (サトウキビを鎌で刈る)。

**なず** [nazi] 【名詞】[B] ヘビ。【例】あうなず (青大将)

**なすあがい** [nasiagai] 【動詞】[r/rr 語幹] (年を取って) 出産能力がなくなる。【例】ばんていが ぶばー っふぁー なさがりーどうー (私の叔母はもう子供が産めなくなった)。<sup>変異</sup> なさがい。

**なすあがい** [nasiagai] 【名詞】高齢で子供が産めなくなる事。 [<sup>変異</sup>] なさがい。

**なずき** [naziki] 【名詞】[C] 《形式名詞》(動詞基本形について)～のが原因で; 口実。【例】くらはい なずきん ほうにやー ぶりーにやーん (殴られたのが原因で骨が折れてしまった)。うにやー ふあうたい なずきん すにーにやーん (フグを食べたのが原因で死んでしまった)。うぬ みどうんな っふあなす なずきん すにー はりーにやーん (その女性は出産が原因で亡くなった)。かりやー ういなずきん ひんぎー はりーにやーん (彼はそれを口実に逃げて行ってしまった)。

**なすずつ** [nasizitsi] 【名詞】産む月、臨月。

【例】ばが みどうんな つふあなすずつ なり  
ーどうーい (私の妻は臨月になっている)。

**なすつづあ** [nasivva] 【名詞】実子。 [変異]  
なすつふあ。

**なすつちや** [nasittça] 【名詞】末っ子。

**なすつふあ** [nasiffa] 【名詞】実子。 [変異]  
なすつづあ。

**なずばい** [nazibai] 【名詞】薙ぎ切ること。  
【例】っさう なずばい あす (草を薙ぎ切る)。

**なすんま** [nasimma] 【名詞】実母、産みの親。  
【例】ばが なすんまー つむかぎ あたい (私  
の生母は優しかった)。

**なそうー** [nasu:] 【名詞】[C] なすび。 【例】  
くとうっさ なそうーゆ いびでい (今年は茄  
を植える)。なそうーぎーぬ すたぬ ぼう  
まーしゃがま (茄子の木の下で棒を振り回す者  
[小さい人の形容])。

**なだ** [nada] 【名詞】[B] 涙。 【例】ふからっ  
さー なだとう ひとうみ (よろこびは涙と共  
に)。

**なだつ** [nadatsi] 【名詞】[C] 《植》ハエキビ  
[根が深く作物の成長を阻害する]。

**なだやす** [nadajasi] ① 【名詞】涙もろい人、涙  
もろいこと。 【例】なだやすさ かんこくどら  
まう みーきゃー すぐ なつどうす (涙もろ  
い人は韓国ドラマを見るとすぐ泣く)。くぬい  
や ういびとうん なりー むいとう なだや  
すん なりーどうー (最近では年寄になってとて  
もなみだもろくなった)。② 【形容詞】涙もろ  
い。 【例】ばー むいとうぬ なだやすびとう  
(私はとても涙もろい人)。くぬいや ういびと  
うん なりー むいとう なだやすふ なりー  
どうー (最近では年寄になってとてもなみだもろ  
くなった)。

**なだら** [nadara] 【形容詞】[B] 平坦な。 【例】  
なだら ずー (平坦な土地)。なだら んつ (平  
坦な道)。なだらかす (平坦にする)。なだら  
んつ (平坦な道)。

**なだらき** [nadaraki] 【動詞】[母音語幹] 平ら  
にする、なだらかにする。

**なだらつ** [nadaratsi] 【動詞】[k 語幹] 平らに  
する、なだらかにする。 【例】うまう なだら  
き (そこを平らにしろ)。

**なちやーら** [natçarra] 【名詞】海神草。 【例】  
なちやーらう ぬんていがー ばたむすぬどう  
うりふー (海神草を飲んだらお腹の虫が下り  
出る)。

**なちやみ** [natçami] 【名詞】[C] 梅雨。

**なつ** [natsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (人が) 泣く、  
(動物が) 鳴く。 【例】あかつづあぬ んぎや  
ーていー なつ (赤ちゃんがおぎやーと泣く)。  
ういびとうー なうちやーにやー かまらず  
かいががら いーいーていー なきゅー (年寄  
りがなにか悲しいのかしくしくと泣いている)。  
あがいよーていー なつ (アガイヨーと泣く)。  
まゆぬどう みやーみやーていー なきゅー (猫  
がニャーニャーと鳴いている)。いつばんどう  
いぬ なきゅー (一番鳥が鳴いている)。[変異]  
なふ。

**なつ** [natsi] 【名詞】[A] 夏。 【例】なつんなり  
ー あつふ なりーにやーん (夏になって暑く  
なった)。

**なっじゅい** [nazzui] 【動詞】[r/r 語幹] 殴る、  
打つ。 【例】たや びやーき なっじゅり (力  
いっぱい殴れ)。ぼーるー ぼっとひー なっ  
じゅり (ボールをバットで打て)。

**なっちやい** [nattçai] 【動詞】[r/r 語幹] (仕事  
などが) 終わる；(仕事などを) 終える；(仕事  
などを) やめる。 【例】くぬ すかまー きゅ  
ーひーや なっちやらいん (この仕事は今日中

には終わらない)。きゅーぬ うぐなーいや  
ういひー なっちらでい (今日の集まりはこ  
れで終わろう)。やくばぬ すかまー んめ  
なっちゃんたい (役所の仕事はもうやめた)。

**なっちゃん** [nattçakan] ①【形容詞】無能  
だ、怠け者だ；(病気で) 仕事ができない。【例】  
うまんな たるがどう んながーな なっちゃ  
かんかい (ここで一番仕事ができないやつはだ  
れだ)。うりゃー たないや にゃーん なっち  
ゃかんまり (彼は頼りにならない怠け者だ)。  
すかまーひらいん なっちゃん ひつにんな  
やーんきー にっづゅーき (仕事のできない  
無能な奴は家に帰って寝ておけ)。がびやうか  
いば なっちゃん (病弱で余り仕事ができな  
い)。からー はっじゃ ぶりーからどう な  
っちゃんふ なりゅー (彼は足を骨折してか  
ら仕事が効率よくできなくなった)。[類] なっ  
ちらん。②【名詞】仕事のできない人、無能  
な人、怠け者。【例】なっちゃんな やーんか  
い はり (怠け者は家に帰れ)。[類] なっちら  
ん。

**なっちらん** [nattçaran] ①【形容詞】無能  
だ、怠け者だ；(病気で) 仕事ができない。[類]  
なっちゃん。②【名詞】仕事のできない人、無  
能な人、怠け者。【例】かりゃー なっちら  
ん やいば いつがみまい すかままい つか  
ん (彼はどうしようもない奴だからいつまでも  
仕事にもつかない)。[類] なっちゃん。

**なつっじゃ** [natsizza] 【名詞】泣き虫。【例】  
なつっじゃ やらび (泣き虫の子供)。なつっじ  
ゃ っふあう あじゃんつ (泣き虫の子をあや  
す)。みーが かず いつまい なきゅー な  
つっじゃ (見る度にいつも泣いている泣き虫)。  
なつ=泣く、っじゃ=じゃ=者

**なつぬ あみ** [natsinu ami] 【名詞】夏の雨、  
スコール。

**なつむぬい** [natsimunui] 【名詞】泣き言、泣  
落し。【例】みどうんみぬ なつむぬいん

だまはいな (女達の泣き落としに騙されるな)。

**なでい** [nadi] 【動詞】[母音語幹] [C] 撫でる。  
【例】やらびぬ かなまいゆ なでいー (子供  
の頭を撫でる)。

**なな** [nana] 【接頭辞】〔数詞〕七。

**ななうさい** [nanausai] 【名詞】〔祭礼〕神に供  
える七つの料理、七盆。[類] ななぶん。

**ななつ** [nanatsi] 【名詞】[C] 〔数詞〕七つ。

**ななぬひとう** [nananuhitu] 【名詞】〔数詞〕  
七人。

**ななぶん** [nanabun] 【名詞】〔祭礼〕神に供え  
る七つの料理、七盆。【例】ななむいぬ うた  
きん うーんまたが かんかい すきー なな  
ぶんぬ むぬんな にーから ばかすたーひー  
ありーどうーい (ななむいの御嶽にウーンマ  
が神にささげる七盆の食べ物煮物からさしみ  
までである)。[類] ななうさい。

**ななむい** [nanamui] 【名詞】〔祭礼〕七杜 西  
原地区の祭事にかかわる集団。メンバーはくじ  
で選ばれる。現在は男性7年、女性は10年務  
める。【例】ななむいぬ うやた (七杜のお  
じいさん達)。

**ななむいぬ つかさ** [nanamuinu tsikasa]  
【名詞】〔祭礼〕七杜 (御嶽) の司 [うーんま (大  
按母)、うーんまぬ とうむ (大按母のお供)、  
なかばい (供え物の端を取り神に捧げる)、あ  
ーぐしゃ (祈願役)、あーぐしゃぬ とうむ (祈  
願役のお供) からなる]。

**なぬか** [nanuka] 【名詞】[A] 〔数詞〕七日。

**なば** [naba] 【名詞】[C] 汚れ、垢。【例】かみ  
ぬ なばう うたす (水瓶の汚れを落とす)。

**なば** [naba] 【名詞】[C] 藻。【例】あうなば  
(水中に生えた藻)。

**なび** [nabi] 【名詞】[C] 鍋。【例】なびゅー  
んーす (鍋を載せる)。

**なびー** [nabi:] 【形容詞】[B] 滑らかな、すべすべした、ツルツルした。【例】うなっじゃ なびーむぬ (鰻は滑々している)。うまー なびーかいば そうくいかいば ならん (ここはすべすべしてよく滑ってしまう)。なびー どうくまん な まさぐん あいき (滑る所ではちゃんと歩け)。

**なびーうんた** [nabi:unta] 【名詞】『生物』トノサマガエル。【例】なびーうんたー なびーむぬ (殿様ガエルはすべすべしている)。

**なびつ** [nabitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] なびく。【例】ぎひつぬどう かでいん なびきゅー (スキが風になびいている)。[変異] なびふ。

**なびぬ くー** [nabinu ku:] 【名詞】鍋の鍔掛屋。【例】なびゃー むりゅーば なびぬ くーゆ ゆらび (鍋が漏れているから鍔掛屋を呼べ)。

**なびふ** [nabifu] 【動詞】[k 語幹] [A] なびく。[変異] なびつ。

**なびゃーら** [nabja:ra] 【名詞】『果物・野菜』ヘチマ。【例】なびゃーらぬ なりゅーたい (ヘチマが実っていた)。かふーん なびゃーらぬ なりゅー (家庭菜園にヘチマがなっている)。

**なふ** [nafu] 【動詞】[A] (人が) 泣く、(動物が) 鳴く。【例】くぬ なつっじゃ、なふな (この泣き虫、泣くな [変異] なつ)。

**なま** [nama] 【接頭辞】少し、ちょっと、何となく。【例】なまあつむぬ (生温かい)。なまひんなむぬ (ちょっと不思議だ)。なまひぐるむぬ (ちょっと冷たい)。なまにゅー (眠り足りない)。なまひぐるむぬ (ちょっと冷たい)。なまぶりむぬ (少しバカな奴)。なまひんな (ちょっと変な)。

**なま** [nama] 【接頭辞】生、十分に～していない。【例】なまにー (十分に炊かれていない)。な

まむぬ (なまもの)。なまみず (生水)。なまにー (生煮え)。

**なまい** [namai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 止まる；やめる。【例】うまん なまり (ここに止まれ)。なまいな (止まるな)。っさびぬどう なまらん (しゃっくりが止まらない)。すかまうぎゃー なまりー ゆくい (仕事をやめて休みなさい)。くるまうぎゃー なまらし (車を止めろ)。すかまう なまい (仕事を辞める)。ずまみゅー ふあうていがー なまらいん (落花生を食べたら止められない)。みどうんみぬ むぬーゆみーからー なまらん (女性達がお喋りすると止まらない)。

**なまうぶい** [namaubui] 【名詞】うろ覚え。

**なまじゃーか** [namaza:ka] 【名詞】もうすぐ朝になる時間、「しゃーか (未明)」より少しあと。【例】なまじゃーか なりー どうーい (もうすぐ朝になる時間になっている)。

**なます** [namasi] 【名詞】[B] 刺身。【例】っぞう なます (魚の刺身)。ぶーた なます (芋ずるの葉っぱの膾 [ブダイなどの高級魚の代用にした])。[類] なまだん。

**なまずー** [namazi:] 【形容詞】やる気のない、怠惰だ。【例】かいがどう んながーな なまずーかい (あいつが一番怠惰だ)。[類] なまずん、なまだん。

**なまずー** [namazi:] 【名詞】やる気のない者、怠け者。【例】なまずーや すかまうぎゃーほうだ やーんかい はり (やる気のないやつは仕事をやめて家に帰れ)。[類] なまずん、なまだん。

**なまずん** [namazin] 【名詞】半殺し。【例】ばー なまずん あすきや しーしーん くらはいたい (私は半殺しにされるまで先生に殴られた)。

**なまずん** [namazin] 【形容詞】怠惰な、仕事をしようとしな。【例】かりゃー すかまうま

い ほうん なまずんんまり (あいつは仕事をしない怠け者だ)。[類] なまずー、なまだん。

**なまずん** [namazin] 【名詞】仕事を怠けること；なまけもの。【例】ばー なまずんな ひー しーしーん くらはいたい (私は半殺しにされるまで先生に殴られた)。[類] なまずー、なまだん。

**なまそう** [namasu] 【名詞】[C] 小潮 [潮の干満差が最も小さくなる潮回りのこと]。

**なまだん** [namadan] 【名詞】やる気がない者、怠惰な人、仕事をしようとしらない人。【例】なまだんな すかまうぎやー ほうだ やーんかい はり (やる気のないやつは仕事をやめて家に帰れ)。なまだんな あそーどう すかま (怠け者は遊びが仕事)。[類] なまずー、なまずん。

**なまだん** [namadan] 【形容詞】やる気がない、怠惰な、仕事をしようとしらない。【例】うまんな たるがどう ながーな なまだんかい (そこではだれが一番仕事をしないのか)。かりやー すかまー ひらいん なまだんむぬ (彼は仕事のできない怠け者だ)。[類] なまずー、なまずん。

**なまだんずみや** [namadanzimja] 【名詞】『昆』「つさずみや」の次に現れる中型のセミ。

**なまちや** [namatça] 【名詞】[C] 怠け者。【例】すかまー ひらいん なまちや (仕事のできない怠け者)。すかまうぎやー まさぐん あっそう なまちや (仕事はちゃんとやれ、怠け者め)。

**なまちやー** [namatça:] 【名詞】生意気な奴。【例】くぬひやーや むいとうぬ なまちやー (こいつはとっても生意気な奴だ)。

**なまっじゃ** [namazza] 【名詞】生半端。[類] なまはんか、なまはんぱ。

**なまにー** [namani:] 【名詞】生煮え。【例】なまにーむぬー んまっふあにやーん (生煮えのものは美味しくない)。

**なまにー** [namani:] 【名詞】寝不足気味。【例】ゆびやー なまにーやひー にゆーたかいばならん。[類] なまにゆー。

**なまにー** [namani:] 【形容詞】生煮えだ。【例】ういんつきやー かいがどう なまにーかい (これよりあれが生煮えだ)。

**なまにゆー** [namanju:] 【名詞】寝不足気味。【例】きゅーや なまにゆーやひー にゆーたかいば ならん (今日は中途半端な眠りで眠くてならない)。[類] なまにー。

**なまはんか** [namahan̄ka] 【名詞】いい加減だ。【例】なまはんかぬ すかまうぎやー ほうん (中途半端な仕事はしない)。[類] なまっじゃ、なまはんぱ。

**なまはんぱ** [namahampa] 【名詞】いい加減だ。【例】すかまー まさぐんな ひらいん なまはんぱむぬ (仕事はまともにできない生半端者)。なまはんぱんまり (いい加減な奴)。[類] なまっじゃ、なまはんぱ。

**なまひぐる** [namahiguru] 【形容詞】肌寒い。【例】きゅーや なまひぐるむぬ (今日はちょっと肌寒い)。

**なまみず** [namamizi] 【名詞】生水。【例】なまみっじゅ ぬん (生水を飲む)。

**なまむぬ** [namamunu] 【名詞】生もの。【例】なまむぬーぎやー にーどう ふあう (生ものは煮て食べる)。

**なみ** [nami] 【動詞】[A] 並べる；比較する。【例】うりゆーぎやー うまん なみる (これをそこにならべろ)。ういとう くいとうー なみーみーる (これとそれを比べてみろ)。



**なみじゅるい** [namizurui] 【名詞】多くの人が集まること。【例】きゅーぬ うぐなーいん かいや やびとうーんな なみじゅるいひー ふいーさまいー やぐみすでいがほー（今日の集会には多くの皆様が集まって頂きありがとうございます）。

**なら** [nara] 【名詞】[B] 音。【例】うぬ さん しんな ならー いでいん（この三線は音が出ない）。はずなら（足音）。みんなら（耳鳴り）。むぬー ふあう とうきやんな ふつならうぎやー いだすな（食事をするときにはくちやくちや音を出すな）。

**なら** [nara] 【代名詞】[B] 『再帰代名詞』自分。【例】ならが ほうでい（自分がしよう）。ならが あっそう（お前がやれ）。からー ならが つむーぎやー むちゃん（あいつは自制心がない）。ならが ほうだかー たるが ほうでい、ならが ほうだかー ならん（自分がやらないなら誰がやるのか、自分がやらないといけない〔「なら」は話し手、聞き手どちらにもとれる〕）。【類】どうー、うな。

**ならーす** [nara:si] 【動詞】[s/h 語幹] 教える。【例】ずーゆ ならーす（勉強を教える）。やらびんかいや あっじー つかひー ならーし（子供には言い聞かせて教えなさい）。うらー ひとつぬ むぬいゆぎやー つかんぼ ならー はいん（彼は人の話を聞かないから教えられない）。にんぎんぬ つふあー んみきー ならー すんつきやー ほうみー ならーすばどう じゃうかい（人間の子供は叱って教えるよりも褒めて教えた方がよい）。

**ならーす** [nara:si] 【名詞】教えること、教え導くこと。【例】ゆがならーす（間違った教え）。やびとうんーんな ひー ならーす じゃうっ じゃひー ふいーさまてい（みなさま指導ご鞭撻をお願いいたします）。

**ならーっしやう** [nara:ççau] 【形容詞】行儀悪い、どうしようもない、躰がなっていない。

【例】ぎずぎやうな ならーっしやう やらび（言うことを聞かない躰がなっていない子供）。

**ならい** [narai] 【名詞】[C] 習い、教え、教育。【例】やー ならいや ほうか ならい（「家庭での躰けは大切〔<家の教育は外の教育だ〕）。

**ならう** [narau] 【動詞】[b 語幹] [C]（人が）並ぶ、整列する；（品物などが）並ぶ、陳列される。【例】うまん ならび（そこに並べ）。まっちゃんどう むぬぬ はーさ ならびーゆーい（店には商品がたくさんならんでいる）。まっちゃんきー ますく かーっでい ならうたい（お店に行ってマスクを買おうと並んだ）。

**ならう** [narau] 【動詞】[w 語幹] [C] 学ぶ、習う。【例】しーしーから ずーゆ ならう（先生から勉強を習う）。ならーす じゃうっ じゃひー ふいーさまてい（ご指導の程よろしくお願ひします〔挨拶するときの決まり文句〕）。すかまー なりむぬ、すかまうぎやー すかまぬ どう ならーす（仕事は慣れていくもの、仕事が仕事を教える）。

**ならういむぬ** [naraumunu] 【名詞】自生植物〔<自分で生えるもの〕。【例】ならういむぬー ちゅーむぬ（自生植物は強い）。

**ならす** [narasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 鳴らす。【例】すばびーゆ ならし（口笛を吹け）。

**ならす** [narasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 平定する、統治する。【例】とうゆみやー すまー ならひどう とうゆみーうたい（豊見親は島を平定して有名になっていた）。

**ならす** [narasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（土地を）平らにする。【例】ずーゆ ならす（土地を平らにする）。

**ならす** [narasi] 【動詞】[A] 飼いならす。【例】ぬーまう ならす（馬を飼いならす）。

**ならっしやう** [naraççau] 【形容詞】躰けの悪い。【例】ならっしやう やらび（躰けの悪い子供）。

**ならどう** [naradu] 【代名詞】[C] 《再帰代名詞》「なら」の複数形。 [変異] ならる。 [類] なーどう。

**ならる** [nararu] 【代名詞】[C] 《再帰代名詞》「なら」の複数形。 [変異] ならどう。

**ならん** [naran] 【成句】「ない」の否定形、ならぬ、ダメだ。 【例】うらー あいひや ならん (それはそうしては駄目だ)。あいや ならん (そうはならぬ)。

**ならん** [naran] 【成句】「(形容詞語幹の活用かいば (~なので) に付いて程度のはなはだしいことをあらわす、~くてならない; 動詞否定条件形「~だかー (なければ)」について、義務をあらわす。 【例】うぬ っずー っさりー ふさかいば ならん (その魚は腐っていてくさくてしかたがない)。いかだかー ならん (行かないといけない)。

**なり** [nari] 【名詞】[C] 習慣、普段のやり方。 【例】ばんていが やーんな あいぬ なり (うちではそういう習慣だ [そういうやり方をしている])。あいぬ あすかたー ばが なり (これが私の普段のやり方だ)。

**なり** [nari] 【動詞】[母音語幹] [C] (動物が人に) 馴れる。 【例】いんがまー やーにんじゅん なりゅー (犬は家族に馴れている)。

**なり** [nari] 【動詞】[母音語幹] [C] 慣れる。 【例】すかまー んめ なりーどう (仕事はもう慣れている)。すかまー なりーにやーん (仕事は慣れた)。

**なん** [nan] 【名詞】[B] 波。 【例】きゅーや なんぶりかいばなん (今日は波が立ってどうしようもない)。なんぬ ぶりーゆー (波が立っている)。

**なんー** [nan:] 【動詞】[mm 語幹] [C] 舐める。 【例】あみじゃたう なんー (飴を舐める)。ん なまー みーつむぬーぎやー なんまん (今は目のごみはなめて取らない)。いんかい なんまいにやーん (犬に舐められた) [類] なんみ。

**なんく** [nan̄ku] 【名詞】[C] 《果物・野菜》《食》カボチャ。 【例】なんくー みやーむぬ (カボチャはホクホクしている)。

**なんざ** [nanza] 【名詞】[C] 銀。

**なんず** [nanzi] 【名詞】[C] 難儀。 【例】くぬすかまー なんず (この仕事は難儀だ)。

**なんつつ** [nantsitsi] 【形容詞】焦げた。 【例】なんつつ んー (焦げた芋)。

**なんつつまい** [nantsitsimai] 【名詞】《食》お焦げご飯。

**なんとうが** [nantuga] ① 【副詞】どうしても、全然、なかなか。 【例】うぬきやが ふたーいや науゆ ほうばんまい なんとうが はなはいん (彼ら二人はどうやってもまったく別れない)。いちやー っふいーゆーぼ なんとうが んがいん (板はかみ合っていてどうしても取り外せない)。ばー かいんかいや なんとうが まみっふあん (私は彼には全然及びもつかない)。からりやー ばんちゅーぎやー なんとうが みやーぎん (彼は私達を全然振り向かない)。② 【副詞】何とか。 【例】かいん たすきらいー なんとうが んぬっちや ぶいらいどうー (彼に助けられて何とか命はもらったようなものだ)。しばうぎやー ほうだうり、なんとうが ないどうす (心配するな、何とかなる)。 [変異] науとうが。 [類] науとうんま、науとうんな。

**なんみ** [nammi] 【動詞】[母音語幹] [C] 舐める。 【例】みーんかいどう みーつむぬぬ はいりーにやーんば なんみーふいーる (目にごみはいったのでなめて (とって) ください [昔は目に入ったごみはなめて取ったり、乳をかけて取った]) ベー あみだまう なんみーふつぬ ばん あすみゅーき (ほら、飴玉をなめて口の番をさせておけ)。いん なんみらいーにやーん (犬に舐められた)。 [類] なんー。



# に

にー [ni:] 【名詞】 [B] 荷。【例】ばしゃんかい  
にーゆ つん (馬車に荷を積む)。

にー [ni:] 【名詞】 [B] 音 [音楽用語として使わ  
れる]。【例】いちゆぬ にー (細い絹糸を引  
いたような高い音、宮古島の音楽)。

にー [ni:] 【名詞】 [C] 根、根元 [複合語では  
「に」となる]。【例】きーぬ にー (木の根)。  
にむとう (根元)。にーにやー (屋号「にーぬや  
ー」と同じ)。にーぬやー (屋号 [根元の家])。

にー [ni:] 【動詞】 [母音語幹] [A] 煮る、飯を  
炊く; 煮える。【例】ゆいが そーゆ にー  
(夕食のおかずを煮る)。むぬー にー (食事を  
つくる)。んーな んめ にーどうー (芋がも  
う煮えている)。

にー [ni:] 【動詞】 [母音語幹] [A] (太陽に皮膚  
を) 焼く。【例】なつぬ あつびーていーん  
にーらいーにやーん (夏の熱い日照りに焼き付  
けられた)。

にーか [ni:ka] 【名詞】 [C] 夜の遅い時間。【例】  
んめ にーか なりー どうーば やーんか  
い はらでい (もうおそくなったから家に帰ろ  
う)。にーかたーひー うきー べんきよーゆ  
あすたい (夜遅くまで起きて勉強した)。

にーから ばかすがみ [ni:kara  
bakasigami] 【成句】 煮物から生もの (さし  
み) まで。 [類] にーからばかすたーひー。

にーから ばかすたーひー [ni:kara  
bakasita:hi:] 【成句】 煮物から生もの (さしみ)

まで。【例】ななむいぬ うたきん うーんま  
たが かんかい うさぎ ななぶんな にーか  
ら ばかすたーひー ありーどうーい (ななむ  
いの御嶽にウーンマが捧げる七盆は煮物からさ  
しみまでである)。 [類] にーから ばかすがみ。

にーだ [ni:da] 【名詞】 [C] だだ (をこねる)。  
 [変異] にーら。

にーだ くず [ni:da kuzi] ① 【成句】 [g 語幹]  
だだをこねる。 [変異] にーら くず。② 【名  
詞】 だだをこねること (「くず」は「こぐ」)。 [変  
異] にーら くず。

にーだーす [ni:dasi] 【名詞】 根絶すること。  
 [変異] にーだす。

にーだーつ [ni:datsi] 【名詞】 根絶すること。  
 [変異] にーだす。

にーだす [ni:dasi] 【名詞】 根絶すること。 [変  
異] にーだーつ、にーだす、にーだーす。

にーだつ [ni:datsi] 【名詞】 根絶すること。  
 【例】かやー にーだっちゃ ひらいん (茅は根  
絶できない)。 [変異] にーだつ、にーだーつ、  
にーだーす。

にーつ [ni:tsi] 【名詞】 [C] 寝息。【例】にー  
っちゆ たていー (寝息をたてる)。

にーまい そうらまい にやーん  
 [ni:mai suramai nja:n] 【成句】 根も葉もない、何  
の根拠もない、にー=根、そうら=木の天辺。  
 【例】つづあが あっじゆー くとうー にーま  
い そうらまい にやーん ほうりむぬい (お

前が言っていることは何の根拠もないバカな話)。

**に一むぬ** [ni:munu] 【名詞】煮物。【例】ゆーいぬ に一むぬ (お祝いの煮物)。<sup>〔変異〕</sup>にむぬ。

**に一ら** [ni:ra] 【名詞】[C] だだ (をこねる)。  
【例】に一らうぎゃー ほうだうり (駄々をこねるな)。<sup>〔変異〕</sup>にーだ。

**に一ら くず** [ni:ra kuzi] ①【成句】[g 語幹] だだをこねる。【例】んめ っうあー ほういふ なりゆーば まーぬ に一ら くがだうり (もう大きいんだからそんなに駄々をこねないの)。<sup>〔変異〕</sup>にーだ くず。②【名詞】だだをこねること (「くず」は「こぐ」)。<sup>〔例〕</sup>うぬ やらびゃー んまが すかまんかい いかっでい あすていがー いつまい に一ら くっじゃ ひー なつ (その子供は母親が仕事に行こうとするといつも駄々をこねて泣く)。<sup>〔変異〕</sup>にーだ くず。

**にあし** [ni:aci] 【名詞】[C] 寝汗。【例】にあしゆー かつ (寝汗をかく)。<sup>〔類〕</sup>にゆーあし。

**にうち** [ni:utci] 【名詞】[C] 値打ち。【例】うらー にうちゃー にゃーん (それは値打ちはない)。

**にがい** [nigai] 【名詞】[C] 〔祭礼〕祈願、神への祈願。【例】かぎにがいぬ ぶんびしぶどうい (ありがたい願いのためのお盆を備えた後の踊り) んぬつだみにがい (命乞いの祈願)。っふあだみにがい (子供を授かる祈願)。にがいまにゃーん うむきまにゃーん ほうやぐみゃー たすきー ふいーさまい (祈願した通りに、思った通りに神様は助けて下さる)。<sup>〔変異〕</sup>かんにがい。

**にがやたー** [nigajata:] 【名詞】祈願のおばーさんたち。 <sup>〔類〕</sup>にがいんまた。

**にがら** [nigara] 【名詞】[C] 早起き。【例】かりゃー にがらびとう (彼は早起きだ)。

**にぐー** [nigu:] 【名詞】[C] 〔貝〕シャコガイ。  
【例】にぐーぬ からう あずくやていー あい (シャコガイの殻をアズクヤと言う)。

**にごー** [nigo:] 【名詞】[C] めかけ。

**にし** [ni:ci] 【名詞】[B] 背負い投げ。 <sup>〔変異〕</sup>んし。

**にしゃい** [ni:çai] 【名詞】[C] 青年。【例】じやうぎ にしゃい (好青年)。<sup>〔類〕</sup>ばかむぬ。

**にじやま** [ni:zama] 【名詞】[C] 起き抜けでまだ寝ぼけている状態、寝入り端 (あるいは起き抜け)。【例】やらびゆーぎゃー にじやまんな うかはん (子供を寝入り端には起こさない [<sup>></sup>起こしてはいけない])。<sup>〔類〕</sup>にじやみ、みじやみ。

**にじやまうつ** [ni:zamautsi] 【名詞】起き抜けでまだ寝ぼけている状態。【例】やらびゃー にじやまうっちゃ ひどう にゆーたぎ なりゆーたい (子供は寝起きなので眠そうだった)。

**にだまい** [nidamai] 【動詞】[r/tr 語幹] (仕事)がさだまる。【例】すかまー にだまらん (仕事が定まらない)。

**にだん** [nidan] 【動詞】[m 語幹] [A] 確定する、定める。【例】じよ、なうがら ゆーいぬ ひかっじゆ にだみーみーでい (さあ、お祝いの日取りを決めよう)。きんだっちゃーひー はらう んじゃん うつつが にだます (糸を張って柱をどこにたてるかを決めさせる)。ささぎゆーいぬ ひかっじや にだまいゆーな (結婚式の日取りは決まったか)。

**につ** [nitsi] 【名詞】[C] 熱。【例】かじゃー ひきどう にっちゃ いじゆー (風邪引いて熱が出ている)。かじゃー ひきー にっちゃいでいー どうーや ほうみきゆー (風邪引いて熱が出て体は熱くなっている)。

**につづい** [nivvi] 【動詞】[母音語幹] [A] 寝る。

**にっぐいばな** [nivvibana] 【名詞】寝入りばな。

**にっぐいや うきうき** [nivvija ukiuki] 【成句】(仕事をせず)食っちゃ寝、食っちゃねしていること；(何もせず)寝たり起きたりすること。【例】まいやーまいにち すかまーにゃーんば にっぐいや うきうき ひーゆー(毎日毎日仕事がないので、食っちゃ寝、食っちゃ寝の生活をしている)。かでいふつんな にっぐいや うきうき(台風の時にはには寝たり起きたりしている[>なにもせず家でごろごろしている])。

**ににゆー** [ninju:] 【名詞】[B] 居眠り。【例】だりー ににゆーや ほーうたい(疲れて居眠りしていた)。ににゆーや たっぐあみきーどー(こっくりこっくりと居眠りしている)。やらびやー つーゆ ぬんきやー ににゆーや かつら(赤ちゃんは乳を飲むとこっくりこっくり(眠った))。すみやーすみやー ふあいぬ あとうんな ににゆーゆどう あす(昼食後は居眠りする)。

**にぬは** [ninuha] 【名詞】[C] 子の方、北の方角。

**にぬはでいー** [ninuhadi:] 【名詞】北支部。

**にばら** [nibara] 【名詞】[C] 〔魚〕マダラハタ [ハタの一種]。【例】にばらう つー(ハタを釣る)。ほーうつ にばら(口の大きいハタ)。にばらー ほーううつ むぬ(マダラハタは口が大きい)。

**にぶい** [nibui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 寝ぼける。【例】やらびやー にぶりーどー(子供は寝ぼけている)。[類] にぶり。

**にぶいどうい** [nibuidui] 【名詞】寝ぼけて時を告げる鳥。[類] にぶりどうい。

**にぶり** [niburi] 【動詞】[母音語幹] [A] 寝ぼける。[類] にぶい。

**にぶりどうい** [niburidui] 【名詞】寝ぼけて時を告げる鳥。[類] にぶいどうい。

**にまい** [nimai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 染み込む。【例】うまー すばい かじゃぬどーにまりゆー(ここは小便臭が染み込んでいる)。

**にむとー** [nimutu] 【名詞】[B] 根本。【例】ぎすつぬ にむとー(スキの根本)。

**にむぬ** [nimunu] 【名詞】[C] 煮物。【例】ゆーいぬ にむぬ(お祝いの煮物)。[変異] にーむぬ。

**にむぬい** [nimunui] 【名詞】寝言。【例】いみやー みー にむぬい あす(夢を見て寝言する)。にむぬや(よく寝言を言う人)。

**にやー** [nja:] 【接尾辞】(名詞、動詞基本形について)競い合い、競い合う。【例】はーさにやー(かけっこ[「はーすにやー」ともいう])。うーずにやー(水泳の競争)。なつにやー(泣き合い)。ばらうにやー(笑い合い)。だますにやー(騙し合い)。あすにやー(やり合い)。んみつにやー(叱り合い)。ばかいにやー(奪い合い)。ったつにやー(殴り合い)。すまとういにやー(相撲取り勝負)。きゆーぬ はーりやー くずしょーぶにやー(今日のハーリーは漕ぎ勝負だ)。うまむぬぬ いでいっちゆーたいばどー ふあうにやーや ほーうたい(ごちそうが出てきたので我先にと食べた)。たるがなーが ばかすむぬいゆ あっじゆーたいばどー ばらうにやーや ほーうたい(誰かが冗談を言ったのでみなで大笑いをした)。

**にやーい** [njai:] ①【動詞】[r/rr 語幹](相手にものを渡すために)手を前に出す；手を差し伸べる、助ける；(物を)あげる。【例】うるー っじさまでいていー ういびとうんかい ていーゆ にやーいたい(これを受け取ってください)と言ってお年寄りに手を差しだした)。んーぬ ふいーっじゃー ていーゆ にやーり(芋をやるから手を出せ)。きばんむぬんかい ていーゆ にやーい(貧乏な人に手を差しのべる)。

かいが どうっじゃ がずかいば むぬーぎや  
ー にやーらん (彼の妻はケチなので人にも  
はあげない)。[類] にやーい (母音語幹)。◎  
【動詞】[r/rr 語幹] (相手に) 手をあげる、手  
を出す、叩く。【例】ひとつんかい ていーゆぎや  
ー にやーらんどー (人に手を出して (叩いて)  
はいけないよ)。[類] にやーい (母音語幹)。

**にやーい** [nja:i] ◎【動詞】[母音語幹] (うけ  
とるために) 手を前に出す; (わたすためにま  
たは助けるために) 手を差し伸べる。【例】く  
らー ばが にやーいん でいんがま (これは  
私の僅かしかない金 [>あげられないお金])。  
[類] にやーい (r/rr 語幹)。◎【動詞】[母音語  
幹] (相手をたたくために) 手をあげる、叩く。  
[類] にやーい (r/rr 語幹)。

**にやーす** [nja:si] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 失く  
す。【例】でいんな にやーひーにやーん (お  
金をなくしてしまった)。からー うんかいば  
むぬーぎやー ふあいー にやーはん (彼は大  
食いだから食べ物を食い尽くしてしまう)。

**にやーだ んず** [nja:da nzi] 【成句】[g 語  
幹] なくなる (「にやーん」の連用形「にやー  
だ」+「んず」)。【例】やーや むいー やー  
や にやーだんぎーにやーん (家は火事になっ  
て家はなくなってしまった)。やーぬ かぎや  
ー にやーだんずていがー うらー なんと  
うが どうみらいん (家の鍵は無くしたら (それ  
は) 全然見つけれられない)。

**にやーだかー** [nja:daka:] 【成句】なくてはな  
らない。【例】にやーだかー ならんむぬ (な  
くてはならないもの)。[変異] あらだかーなら  
んむぬ。

**にやーん** [nja:n] 【助動詞】[不規則] 動詞連  
用形について意図しない動作の完了の意味を付  
け加える、～てしまった [過去形は、「～にやー  
っだん (てしまった)】。【例】むぬー んめ  
ふあいにやーん (食べ物はもう食べてしまっ  
た)。いきーにやーん (行っちゃった)。なうち

やーにやー ばらいーにやーん (思わず笑っ  
てしまった)。

**にやーん** [nja:n] 【動詞】[不規則] [C] (無生物  
がない [生物の非存在は「みーん」を使う。;  
持っていない [(生物には～が) ない、(無生物  
には～が) ない]。【例】ばー どうっじゃ  
にやーん (私は妻がない [>結婚していない])。  
でいんな にやーん (金がない)。じかんな  
にやーん (時間がない)。ばぬんな むぬ ふ  
あう まどうーまい にやーん (私には食事を  
する時間もない)。くぬ すかまー みくんな  
にやーん (この仕事は将来性がない)。[類]  
みーん。

**にやーん** [nja:n] 【接辞】「動詞基本形+が」に  
ついて様態を表す、ように。【例】かいが な  
らーすがにやーん あっそう (あの人が教える  
ようにやりなさい)。からー っぞうぬ うー  
ずがにやーん うーず (あいつは魚がおよぐよ  
うに泳ぐ)。ばが あすがにやーん あっそう  
(私がやるようにやりなさい)。みーたいがにや  
ーん かき (見たように書きなさい)。

**にやーんひー** [nja:nhi:] 【副詞】無いように、  
無く。【例】うるーぎやー にやーんひー ん  
なし (それは無くしてしまえ)。

**にゆー** [nju:] 【動詞】[v 語幹] [A] 眠る [否  
定形: にっづあん、連用形: にっづい]。【例】  
んめ にっづあでい (もう 眠る)。やらびや  
ー にっづいーどう (子供は寝ている)。ばー  
にっづゆーらでい (私は寝ておく)。ばー  
いつまい はーひーん にゆー (私はいつも早  
い時間に眠る)。ばー んめ にゆーたかいば  
にっづゆーらでい (私はもう眠いから寝てい  
よう)。やらびやー にっづいーどうーば は  
ずならうぎやー いだはだ やーらきふがま  
あいき (子供が寝ているから足音をださずに静  
かに歩け)。

**にゆー** [nju:] 【形容詞】[B] 遅い。【例】かり  
やー なうゆ あすみんまい にゆー (彼は何

をさせても遅い)。かりゃー いつまい にゅー (彼女はいつもおそい(遅れてくる))。からー はずにゅー ひとつ (彼は足の遅い人)。

**にゅー あじゃーな** [nju: aza:na] 【形容詞】寝相が悪い。【例】にゅー あじゃーなんまり (寝相の悪い奴)。

**にゅー ずみ** [nju: zimi] 【名詞】寝心地が良いこと。

**にゅー ふがます** [nju: fugamasi] 【形容詞】ぐずって中々寝かせられない子供。。【例】にゅー ふがます やらび (寝るときにぐずる子)。

**にゅー やっづい** [nju: javvi] 【名詞】寝違い。【例】にゅー やっづやー ひー ぬどうー まーらん (寝違えて首が回らない)。

**にゅー あし** [nju: aʃi] 【名詞】寝汗。【例】にゅー あしゅー かつ (寝汗を掻く)。[類] にあし。

**にゅー ぐり** [nju: guri] 【形容詞】寝苦しい。【例】ゆびやー あつかいば にゅー ぐりかいば ならっだん (昨晩は暑くて寝苦しかった)。

**にゅー さい** [nju: sai] 【動詞】[r/r 語幹] 腐りかけている。【例】んーな にゅー さりー どう (芋は腐りかけている)。うぬ まいや にゅー さりー どう (この米は腐れかかっている)。にゅー さりむぬーぎやー ふあーん (腐れかかったものは食べない)。

**にゅー た** [nju: ta] 【形容詞】[A] 眠い。【例】にゅー たぎ ひとつ (眠そうな人)。くいが はなっそう つふていがー いつまい にゅー たふ ないどうす (あいつの話の聞いたらいつも眠くなる)。

**にゅー たら** [nju: tara] 【名詞】良く眠るもの(人、家畜)、眠たがり、寝坊助。【例】かりゃー やぐみ にゅー たら (彼はよく眠る人だ)。にゅー たら、うきー ひんじやぬ っさー かりー くー (眠たがりめ、起きてヤギの草刈

りて来い)。にゅー たら はやまり うきる (寝坊助、早く起きろ)。

**にゅー たらーん** [nju: tara:n] 【成句】寝足りない、寝不足だ。【例】ばー きゅーや にゅー たらーん (私は今日は寝足りない)。

**にゅー たらぎー** [nju: taragi:] 【名詞】『植』ねむの木。

**にゅー どうくな** [nju: dukuna] 【名詞】寝るところ。[類] にゅー どうくま。

**にゅー どうくま** [nju: dukuma] 【名詞】寝るところ。【例】にゅー たふ ないていがー にゅー どうくまう どうみー (眠くなったら寝所を探す)。[類] にゅー どうくな。

**にゅー ぱぎ** [nju: pagi] 【名詞】床ずれ。【例】ぶじゃが にゅー ぱぎやー いちゃぎむぬ (おじさんの床ずれは痛そうだ)。

**にゅー ふうい** [nju: fui] 【名詞】寝たふり。【例】にゅー ふういゆぎやー ほうだ はやまり すかまんかい はり (寝たふりをしてないで早く仕事に行け)。

**にゅー ふたら** [nju: futara] 【名詞】足の遅い人。【例】つづあー なうばいぬ にゅー ふたらが (あなたは何でそんなに足が遅いのか)。

**にんぎん** [ningin] 【名詞】(まともな)人間。【例】ういんな にんぎんな ひらいん (あいつには人間はできない [ > あいつの行動は人間らしくない ])。かりゃー にんぎんな あらん (あいつは人間ではない [ > 彼は信用できない ])。

**にんじゅ** [ninzu] 【名詞】[C] 仕事仲間、(船などの)乗組員。【例】ふなにんじゅ (船の乗組員)。

**にんそうー** [ninsu:] 【名詞】人相。【例】やな にんそうー (見かけがわるいこと、またその人)。





# ぬ

**ぬ** [nu] 【助詞】《格助詞》属格 普通名詞について所有を表す〔代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある〕；「名詞＋格助詞」「述語」などに付いて次の名詞を修飾する機能を持つ、「の」〔代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある〕。

【例】しーしーぬ ほうんぬ かりったい（先生の本を借りてきた）。ひんじゃぬ っさー かりーくー（ヤギの草を刈ってこい）。はーさぬ ひとつ（たくさんの人）。いつぬ ひとつ（五人〔<5の人〕）かなだからぬ ていがみ（カナダからの手紙）。いふがまたぬ ひとつ（行く予定の人）また あいていぬ ばー（そういうことなのだ〔<またそうだとのこと〕）〔類〕が。

**ぬ** [nu] 【助詞】《格助詞》主格 普通名詞について動作、状態の主体を表す、「が」〔代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある〕。【例】っずうぬどう びじゅー っふいーうい（魚が餌を食っている）。ほうらだつん まずむぬぬ ういていんどー（大浦口に幽霊がいるそうだよ）。うまん がっこーぬどう あい（そこに学校がある）。っづあ じかんぬ あるーんな（お前時間があるかい）。〔類〕が。

**ぬー** [nu:] 【動詞】[b 語幹] [C]（体が）延びる、（ゴムなどが）延びる、（道などが）延びる。〔類〕ぬび。

**ぬー** [nu:] 【動詞】[C] 縫う。【例】つんぬぬー（着物を縫う）。

**ぬー** [nu:] 【名詞】[B] 野、野原、在野。【例】ぬーぬ みー（野原の中）。うまぬ はいや っさー ういどう ぬーん なりーゆー（あの畑は草が生えて野原になってしまった）。ぬーからどう ぶっさ いでいー（在野から偉人は生まれる）。

**ぬーい** [nu:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（乗り物などに）乗る、（木などに）登る、（家などに）上がる。【例】くるまんかい ぬーい（車に乗る）。あわている んめ ふにん ぬーい うくいがまた（急げ、もう 船に乗り遅れるぞ）。きーんかい ぬーい（木に登る）。かりゃー あずまうつ びとう やいば かいが ふつぐるまんぬーいな（彼は甘言な人だから彼の口車には乗るな）。かいだんぬ うりや ぬーい ぬーい あす（階段を降りたり上がったりする）。やーんかい ぬーりー んみやてい（家に上がっていらっしやい）。うまんかい ぬーりーくー（ここに上がって来なさい）。

**ぬーがい** [nu:gai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] はかどる。【例】きゅーや すかまー ぬーがらん（今日は仕事は捗らない）。〔類〕ぬびゃがい。② 【形容詞】よくはかどること。【例】きゅーや すかまー やぐみ ぬーがいむぬ（今日は、仕事は良くはかどる）。ぬーがい すかま（捗る仕事）。〔類〕ぬびゃがい。

**ぬーす** [nu:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（ものや人を乗り物に）乗せる；（機械などに）セットする。【例】ぶーっじゅ ばしゃんかい ぬーし（サトウキビを馬車に乗せる）。まいや す

いはんきんかい ぬーひーだー (ごはんを炊飯器にセットした)。

**ぬーず** [nu:zi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] (高熱、病気等で) 唸 (うな) る。【例】 ぱーや かなまいや やみー くーかんががら ぬーじゅー (おばあさんは頭痛で苦しいのかうなっている)。  
[変異] ぬーでい。[類] ぬーっず、ぬーっでい、ぬーでい。

**ぬーっず** [nu:zzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] (高熱、病気等で) 唸 (うな) る。【例】 ばんていが ぱーや やんとうきやんな いつまい ぬーっじゅーい (私の祖母は病気の時はいつもうなっている)。  
[類] ぬーず、ぬーっでい、ぬーでい。

**ぬーっでい** [nu:ddi] 【動詞】 [母音語幹] (高熱、病気等で) 唸 (うな) る。【例】 ぬーっでい ういびとう ((高熱等で) うなってる年寄り)。  
ぱーや かなまいや やみー くーかんががら ぬーっでいーどうー (おばあさんは頭が痛くて苦しいのかうんうんうなっている)。  
[変異] ぬーでい。[類] ぬーず、ぬーっず、ぬーでい。

**ぬーでい** [nu:di] 【動詞】 [母音語幹] [A] (高熱、病気等で) 唸 (うな) る。[変異] ぬーっでい。[類] ぬーず、ぬーっず、ぬーっでい。

**ぬーま** [nu:ma] ① 【名詞】 [B] 馬。【例】 んま ぬーま (親 (母) 馬)。びきぬーま (雄馬)。みーぬーま (雌馬)。さにんま (種馬)。ふしびや ぬーま (言うことをきかない暴れ馬 [人間にも使う]) ② 【名詞】 [B] 三線の駒。

**ぬーまじゅー** [nu:mazu:] 【名詞】 馬肉。【例】 うぬ ぬーまじゅーや ひつにかいば かまいん (この馬肉はかたくてかめない)。

**ぬーまぬ かんぎ** [nu:manu kaŋgi] 【名詞】 馬のたてがみ。

**ぬーまぬふらがた** [nu:manufuragata] 【名詞】 『昆』 クルマバツタ。

**ぬい** [nui] 【名詞】 [B] 糊 (のり)、ペンキ。【例】 ぬいひー かびーゆ はい (糊で紙を貼る)。

**ぬい** [nui] 【名詞】 [r/rr 語幹] [B] (ペンキなどを) 塗る。【例】 ぺんきゅー ぬい (ペンキを塗る)。

**ぬい** [nui] 【名詞】 [B] おにぎり。【例】 まいぬい (ご飯のおにぎり)。あーぬい (粟のおにぎり)。んーぬい (芋のおにぎり)。

**ぬい** [nui] 【名詞】 [B] 海苔、藻。【例】 すぬい (モズク)。

**ぬいじゅー** [nuizu:] 【名詞】 『植』 念珠藻 (ネンジュモ) [ラン藻の一種]。

**ぬーっでい** [nu:ddi] 【動詞】 (病気、苦痛で) 唸る。【例】 かなまいや やみどう ぬーっでいー うい (頭痛で唸っている)。

**ぬか** [nuka] 【名詞】 [B] 糠 (ぬか)。【例】 まいぬか (米糠)。

**ぬがい** [nugai] 【動詞】 [r 語幹] [C] 抜かれる。  
[変異] んがい。

**ぬかす** [nukasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 残す。  
【例】 ふあいぬかす むぬ (食べ残し)。  
[変異] ぬくす。

**ぬかす** [nukasi] 【名詞】 [C] (食べたり、飲んだりした) 残り。【例】 からー ひとつぬ ふあいぬかつそうぎゃー ふあーん (彼は人の食べ残しは食べない)。  
[変異] ぬくす。

**ぬくい** [nukui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 残る。  
【例】 かぬきやが はだぬ ひとつんみゃー たうかー ぬくらだ まみっじゃにゃーだ せんそーん すにー はりーにゃーん (彼等の年頃の人達は一人残らず誰もかれも戦争で亡くなって行ってしまった)。

**ぬくい** [nukui] 【名詞】 [C] 残り。【例】 ふあいぬくい (食べ残り)。うーぬくい (売り残り)。

**ぬぐい** [nugui] 【動詞】[母音語幹] [C] (手ぬぐいなどで) ふく、ふいてきれいにする。

**ぬぐう** [nuguu] 【動詞】[w 語幹] [C] (手ぬぐいなどで) ふく、ふいてきれいにする。【例】  
べー さずひー っづあが っふすー みはな  
う ぬぐい (ほら、タオルでお前の汚れた顔を拭え)。むぬー ふあいぬ あとうんな ふっ  
ちゅ ぬぐい (食後は口を拭え)。ぬすみー  
ふあいやー くとうーぎゃー ふっちや ぬぐ  
いー うき (盗み食したときは口を拭え [ > 悪いことをしたときは証拠を隠せ])。

**ぬくす** [nukusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 残す。  
【例】むぬーぎゃー ぬかはだ ふあい (食べ物  
は残さないで食べなさい)。[変異] ぬかす。

**ぬくずー** [nukuzi:] 【名詞】のこぎり。【例】  
ぬくずーひー きーゆ きー (鋸で木をきる)。

**ぬさき** [nusaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 覗く。  
[変異] ぬすき、ぬそうき。[類] ぬさつ、ぬす  
つ、ぬそうつ。

**ぬさつ** [nusatsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 覗く。  
【例】たぶひー いんぬ なかう ぬさきーみ  
ー (タグで水中を覗いてみる)。ひとうぬ きな  
いゆぎゃー ぬさつな (他人の家庭は覗くな)。  
[変異] ぬすつ、ぬそうつ。[類] ぬさき、ぬす  
き、ぬそうき。

**ぬす** [nusi] 【名詞】[C] 持ち主。【例】やーぬ  
す (家主)。はいぬ ぬす (畑の主)。

**ぬず** [nuzi] ① 【動詞】[g 語幹] [C] 追い抜く。  
【例】まうきやーぬ ひとうー ぬぎ (前の人を  
追い抜け)。[変異] んず。② 【動詞】[g 語幹]  
[C] 先回りする、気持ちを読む。【例】まいかい  
んっちや とうーりー んーなう ぬずたい  
(近道を通ってみんなの先回りをした)。まいや  
ぬぎー あい (前を先回りして話す [ > 相手  
の気持ちを読んで話をする])。[変異] んず。

**ぬすつ** [nusitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 覗く。  
[変異] ぬすつ、ぬそうつ。[類] ぬすき、ぬさ  
き、ぬそうき。

**ぬずん** [nuzin] 【動詞】[m 語幹] [A] 好きだ、  
(結婚相手として) 望む。【例】ばー っづあ  
う ぬずみゆー (私はあなたを望む [ > あなた  
がすきだ、あなたと結婚したい])。ばー なか  
ーにゆーどう ぬずん (私は (あの家の) 次女  
が好きだ、(あの家の) 次女と結婚したい)。ば  
ー かりゆーどう ぬぞうみゆー (私はあの人が  
好きだ、あの人と結婚したい)。

**ぬずん** [nuzin] 【名詞】[A] 希望すること、望  
むこと。【例】ぬずんどう あつない (のぞむ  
ことが高い [ < 希望するからこそ何事も成立す  
る])。

**ぬそうき** [nusuki] 【動詞】[母音語幹] [A] 覗  
く。【例】あらう ぬそうきー みーみーる  
(戸外を覗いて見てごらん)。[変異] ぬさき、ぬ  
すき。[類] ぬさつ、ぬすつ、ぬそうつ。

**ぬそうどう** [nusudu] 【名詞】[B] 泥棒。【例】  
ぶーず ぬそうどう (サトウキビ泥棒)。ぬそ  
うどうー かつみらいーにやーん (泥棒は捕ま  
えられた)。

**ぬそうん** [nusun] 【動詞】[m 語幹] [C] 盗む。  
【例】ぶーっじゅ ぬそうみー ふあう (サト  
ウキビを盗んで食べる)。

**ぬだつ** [nudatsi] 【名詞】[C] 『地名』久松集落。

**ぬっちー** [nuttçi:] 【形容詞】動作が緩慢な。  
【例】ぬっちーんまり はやまり あいき (のろ  
まめ、早く歩け)。

**ぬっちーやらび** [nuttçi:jarabi] 【名詞】動作  
の鈍い子。

**ぬっちやー** [nuttça:] 【名詞】動作の鈍い子。

**ぬどう** [nudu] 【名詞】[C] 首筋、喉、首。【例】  
ながぬどうびとう (首の長い人) ぬどうー な

がたんなりどう つづあう まっちゅーたい  
(首を長くしてお前を待っていた)。かじゃー  
ひきどう ぬどうぬ やみゅー (風邪をひいて  
のどが痛い)。っぞうぬ ほうにうぬ ぬどう  
ん かかるー (魚の骨がのどに引っかかっている))。[変異] ぬぶい。

**ぬどうぐら** [nudugura] 【名詞】 のどぼとけ。

【例】 んきゃーんな ひんじゃぬ ぬどうぐら  
まい ふあいどうーたい (昔はヤギののどぼと  
けも食べていた)。うぬ びきやらびゃー ぬ  
どうぐらー んなーぎゃー いでいや うらん  
(この男の子はまだのどぼとけは出ていない)。

**ぬどうだつ** [nududatsi] 【名詞】 首の高さ。

【例】 からー ばが ぬどうだつ (彼は私の首ま  
での高さだ)。うぬ ぷーるぬ ふかさー ば  
が ぬどうだつ (このプールの深さは私の首ま  
である)。

**ぬどうふず** [nudufuzi] 【名詞】 首(がすわる)；

首すじ。【例】 ぬどうふっじゃ むちーどう  
(首が座っている)。にゅーやっづゃーひー ぬ  
どうふずぬ やみゅー (寝違えて首筋が痛い)。

**ぬどうぶに** [nudubuni] 【名詞】 首の骨。

**ぬどうむぬ** [nudumunu] 【名詞】 無口な人。

【例】 うぬ ぬどうむぬー いつまい まむぬい  
や にゃーん (あの無口な人はいつもまともに  
話さない)。

**ぬぬ** [nunu] 【名詞】 [B] 布。【例】 ぬぬー

んます (布を湿らす)。ぬぬふあや (布を食う  
人 [ > 長身の人、長身の人は多くの布を必要と  
する])。

**ぬぬばた** [nunubata] 【名詞】 織機。

**ぬび** [nubi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (体が) 延び  
る、(ゴムなどが) 延びる、(道などが) 延びる。

【例】 だりー どうーや ぬびーどう (疲れて  
胴体はのびている [ > 曲がった腰が寝たために  
伸びたから])。うぬ ぐむー やりふ なりー

ぬびん (このゴムは古くなって延びない)。く  
ぬ んっちゃ っさらたーひー ぬびーどうー  
(この道は平良まで延びている)。

**ぬびー** [nubi:] 【名詞】 [C] 《植》《食》野蒜(ノ  
ビル)。【例】 きゅーや ぬびー とういが (今  
日は野蒜取りに(行こう))。

**ぬびやがい** [nubjagai] ①【動詞】 [r/rr 語幹] 伸  
びあがる；(人が) 出世する；(会社が) 業績が  
伸びる。【例】 かんち ていーゆ あぎー ど  
うーゆ ぬびやがらし (こういう風に手を上げ  
て、体をのばしなさい)。から ぬびやがりー  
どう しゃちょーん なりーにゃーん (あいつ  
は出世して社長になった)。かまぬ かいしゃ  
ー ぬびやがりどう がぼーん なりーにゃー  
ん (あそこの会社は成長して大きくなった)。②  
【動詞】 [r/rr 語幹] はかどる。【例】 すかまー ぬ  
びやがらん (仕事は捗らない)。[類] ぬーがい。

**ぬぶい** [nubui] 【名詞】 [C] 首筋、喉、首。【例】  
ながぬぶい びどう (首の長い人) ひんじゃぬ  
ぬぶい (ヤギの首) [類] ぬどう。

**ぬぶす** [nubusi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] (頭が)  
のぼせる。【例】 かなまいや ぬぶひーどうー  
(頭はのぼせている)。

**ぬるー** [nuru:] 【動詞】 [w 語幹] [A] 呪う。  
【例】 いっだまーひー ぬるー (生き霊で呪う)。  
ひとうーぎゃー ぬるーん (人を呪わない [呪  
ってはいけない])。

**ぬるい** [nurui] 【名詞】 [A] 呪い、呪うこと。  
【例】 ひとうーぎゃー ぬるいゆぎゃー ほうん  
(人を呪わない [呪ってはいけない])。[変異]  
ぬるー。

**ぬん** [nun] 【名詞】 [C] 蚕(ノミ)。【例】 つん  
から ぬんぬ とうい (着物からノミを取る)。

**ぬん** [nun] 【名詞】 [B] 《道具》ノミ、大工道具。  
【例】 ぬんひー あなう あきー (ノミで穴を  
開ける)。

**ぬん** [nun] 【動詞】 [m 語幹] [C] 飲む；(要求を) 飲む。【例】さきゅー ぬん (酒を飲む)。みっじゅ ぬん (水を飲む)。じょー さきゅー ぬまでい (さあ 酒を飲もう)。しゃちよーや しんかぬ あっじゅーくとう ぬんたい (社長は社員のいうことを飲んだ)。

**ぬんくん** [nun:kun] 【動詞】 [m 語幹] 飲み込む。【例】ぬどうん っぞうぬ ほうにぬ かかいていがー んーぬ ふつぬ ひていつ かまだ ぬんくみ (食道に魚の骨が引っかかったら芋を口いっぱい噛まないで飲み込め)。



# ね

ね [ne] 【助詞】『終助詞』基本形について突き放した態度、反語的な態度を示す〔「ん」をともな

うことも多い〕、～かよ。【例】ばーっしゅーんね（俺が知ってるかよ）。





# は

**ば** [ba] 【接尾辞】動詞基本形、形容詞に付いて理由節を作る、焦点助詞「どう」が付くことが多い、文末に来て理由を述べる場合もある、「から」「ので」「からね」「なんだよ」；動詞基本形に付いて条件節を作る質問を説明を加える「；動詞未然形について仮定条件を表す。【例】とういぬ むっじゅ ほうしゃー とうくまんかい っちゅーば うるー うち (鳥が麦を干してある所に来ているからそれを追い返せ)。ばーぬどうー かーきーどうーば みっじゅぬまひーふいーる (私は喉が渴いているので水を飲ませてくれ)。あみやー つふあんば あまぐい ほうだかー なん (雨が降らないので雨乞いしないとまらない)。あつかいば あうずひー あうず (暑いので扇で扇ぐ)。でいんな あたらかかいば まさぐん つかい (お金は大切なものだから正しく使いなさい)。

**ば** [ba] ① 【助詞】『終助詞』動詞命令形に付いて、「～たらどうだ」と命令口調を弱めたり、勧誘的な口調を加える。【例】みーるば (見なさいよ)。くーば (来なさいよ)。② 【助詞】『終助詞』動詞基本形について疑問詞疑問を表す。説明を求める場合に多く用いられる。【例】うらー なくやいば (これはなんなの)。つづあんなま んじゃんどう うるーば (お前今どこにいるの)。

**はー** [ha:] 【名詞】[B] 歯。【例】ふとうていばー (虫歯) まいばー (前歯) つーばー (犬歯) はーぬ いちやかいば んびゃーいん (歯が痛いので我慢できない)。うすばー (白歯)。はー

ゆ ぎーつぎーつ ならず (歯をぎりぎりならず [>歯ぎしりをする])。

**はー** [ha:] 【名詞】[B] 刃。【例】かたなぬ はー (包丁の刃)。つぎらぬ はーや つーむぬ (鎌の刃はよく切れる)。

**はー** [ha:] 【名詞】[B] 葉。【例】きーぬ はー (木の葉)。んーぎーぬ はーや んまい (芋の葉っぱはおいしい)。

**はー** [ha:] 【形容詞】[B] 速い、早い。【例】はーさにゃーや ばがどう かいんつきゃー はーかい (競争は私が彼より速い)。かいが すかまー ていびんかいどう はーかい (彼の仕事は仕事は一向に前に進まない [＜後ろの方に早い])。[類] ひゃー。

**はー** [ha:] 【接頭辞】[B] 大きい、年長であることを表す。【例】はーな (大きい穴)。はーぶ (大きな洞窟 [＜はー+あーぶ])。はーに (長女、年齢が上の親しい女性、お姉さん)

**はー** [ha:] 【名詞】[C] おばあさん。 [変異] ばー。

**はー** [ha:] 【副詞】すでに、早々と。 [変異] ひゃーん。

**ばー** [ba:] 【代名詞】[C] 一人称単数代名詞主題形 私、ぼく [複数形は「ばんちゃー」(「私たちは(聞き手を含まない)')]。【例】ばーあちや うつなーんかい (私は明日沖縄に(行く))。ばーくまぬ すまんどう んまりたい

(私はこの島で生まれた)。「類」ばん、ばが、ばぬー、ばぬんかい。

**ばー** [ba:] 【名詞】 [C] わけ、状況。【例】あいぬ ばー (そんなわけだ)。また あいぬ ばー (そうなんですか)。なうていぬ ばーが (どういうわけだ)。ばー いかでいばー (俺はいくのだ)。あていがー つづあー いかじゃーんていぬ ばー (じゃ、お前は行かないのか)。つづあー でいんぬぎゃー かしや ふいーじゃーんていぬ ばー (あんたは金を貸してはくれないということなのか)。

**ばー** [pa:] 【名詞】 [C] おばあさん。【変異】はー。

**はーうつ** [ha:utsi] 【名詞】 早口。【例】はーうつ びとう (早口の人)。「類」はーらうつ。

**はーえー** [ha:e:] 【感動詞】 あー そうだ。

**はーか** [ha:ka] ① 【形容詞】 [A] 真っ赤、真っ赤な。【例】はーか ていだ (真っ赤な太陽)。はーか あか (潮で焼けた髪) ② 【名詞】 [C 特殊] 赤毛の人。

**はーかがた** [ha:kagata] 【名詞】 『昆』セスジツチイナゴ、マダラバッタ。

**はーからういうさ** [ha:karaiusa] 【名詞】 『植』セイロンベンケイソウ、マザーリーフ。【例】はーからういうさー はーからどう みーや いでいー (セイロンベンケイソウは葉っぱから新芽が出る)。

**ばーき** [ba:ki] 【名詞】 [C] (竹でできた) ざる。【例】ていび ほうぎ ばーきんな みっじゃ たまらん ((お尻に穴が開いている) 竹籠には水は溜まらない [＜お金が貯められない人の形容])。

**はーさ** [ha:sa] 【名詞】 [C] 速さ、早さ。【例】ひかいぬ はーさー はからいどうすちや (光の速さは測れるんだって)。ばぬんな かいが

すかまぬ はーさんな かしやいん (私には彼の仕事の早さには勝てない)。「変異」ひゃーさ。

**はーさ** [ha:sa] 【形容詞】 [A] 多い。【例】つづあが つじだまどう はーさかい (お前の取り前がより多い)。せんきよぬ とうきやんなうながかたぬ はーさからだかー かしやいん (選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。

**はーさにやー** [ha:sanja:] 【名詞】 競争、かけっこ。【変異】ひゃーさにやー。「類」きやーさにやー。

**はーす** [ha:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 這わせる、ハイハイさせる。【例】やらびゆー はーす (赤ちゃんをハイハイさせる)。やらびゆー はーすにやー あすみる (赤ちゃんにハイハイ競争をさせる [＜あかちゃんを])。

**はーだ** [ha:da] 【形容詞】 [A] (眠りなどが) 中途半端な、(やり方、仕事) 雑だ。【例】はーだ ゆん (不正確な数え方)。はーだ ふあう (雑な食べ方)。はーだ にゆー (中途半端な眠り)。はーだ あす (雑なやり方)。かいが すかまー はーだかいば ならん (彼の仕事は雑だ)。はーだ びとう (仕事が雑な人)。

**ばーっていー** [ba:titi:] 【オノマトペ】 ザッと、ひととおり。【例】かまう ばーっていー みーみーみーる (向こうをざっと見てみてごらん)。

**ばーとう うや** [pa:tu uja] 【成句】 祖父母。【例】ばんていが ばーとう うやー んなーぎゃー がんじゆー (私達の祖父母はまだ元気だ)。

**はーどうい** [ha:dui] 【動詞】 [r/rr 語幹] 這う。【例】やらびゃー はーどうりー どうー (子供はハイハイしている)。「類」はい。

**はーな** [ha:na] 【名詞】 [C 特殊] 大きい穴、洞窟。【例】はーなんかい はいー (洞窟に入る)。

**はーに** [ha:ni] 【名詞】 [C] 長女。

**はーばす** [ha:basi] 【名詞】 歯と歯の間。【例】  
 みんなー はーばすんかい つふあまらひー  
 ずみゃー にゃーん (するめを歯の間にはさまらせていらいらする)。

**はーひー** [ha:hi:] 【副詞】 (朝) はやくに、とうに、さっき、早い時分。【例】 ひとつむてい  
 はーひー (早朝)。ばー はーひーから って  
 いーどう (私は早い時分から来ている)。<sup>[変異]</sup>  
 ひゃーひー。<sup>[類]</sup> しゃーか。

**はーひー** [ha:hi:] 【名詞】 早朝、速く、以前。  
<sup>[変異]</sup> ひゃーひー。

**はーぶ** [ha:bu] 【名詞】 [C 特殊] 大きな洞窟。  
<sup>[類]</sup> あーぶ。

**ばーふー** [ba:fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] 冗談を言  
 ってからかう、悪口を言っていじめる、ばかに  
 する、相手にしない。【例】 ばー っづあが  
 なうてい あっじゃばんまい ばー っづあう  
 ぎゃー ばーっふいーどうーだら (私はお前が  
 何といっても私はおまえなんか相手にしない)。  
 あいや ひとつーぎゃー ばーっふあん (そん  
 なに人をからかっではいけない)。うぬ みど  
 うんがまう ばーっふい なかし (あの女の子  
 をからかっでは泣かそう)。<sup>[類]</sup> ばーっふい。

**はーみつ** [ha:mitsi] 【動詞】 [k 語幹] 息はハー  
 ハーしている。【例】 ばー あてい うだいや  
 ひどう ひとつまた あいつきゃー いっちゃ  
 はーみきーどうー (私はとても太っているので  
 一歩歩くと息が切れる)。<sup>[変異]</sup> っふあみつ。

**はーもー** [ha:mo:] 【名詞】 歯のない人。【例】  
 はーもー ういびとう (歯のない年寄り)。

**はーらー** [ha:ra:] 【助詞】 (節を取って伝聞や  
 伝聞に基づく推論を表す) ~そうだ、(~言った)  
 らしい [引用の「ていー」を付けてもよい]。  
 【例】 しーしーがどう うぬ くとろーぎゃー  
 っさすなていー はーらーい (そんなことを知

らせるなど言ったらしい) しーしーが うるー  
 むちいきてい はーらー (先生がそれを持っ  
 て行けと言ったそう)だ。あい はーらー (そう  
 言ったらしい)。いつたい はーらー (行ったら  
 しい)。なつたい はーらー (泣いたらしい)。

**はーらうつ** [ha:rautsi] 【名詞】 早口。【例】  
 はーらうつびとう (早口の人)。はーらうつひ  
 ー むぬい (早口でしゃべる)。<sup>[類]</sup> はーうつ。

**はーり** [ha:ri] 【名詞】 [C] 爬龍船 (はりゅうせん)  
 競争、船漕ぎ競争の祭事、ハーリー [旧暦の  
 5月4日に行われる船漕ぎ競争]。【例】 はー  
 りん ふにゅー ぐず (ハーリーに船を漕ぐ)。

**はーりくず** [ha:rikuzi] 【名詞】 爬龍船 (はり  
 ゅうせん) 競争、船漕ぎ競争の祭事、ハーリー  
 [旧暦の5月5日に行われる船漕ぎ競争 <は  
 ー (早) +くず (漕ぎ)]。<sup>[類]</sup> はーり。

**はい** [hai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 這 (は) う。  
 【例】 やらびゃー はいどうー (赤ちゃんは這  
 っている)。<sup>[類]</sup> はーどうい、はう。

**はい** [hai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 映える、美  
 しい。【例】 かぬ しょじよぬ かーぎゃー  
 はいどうーい (あの若い女性の顔は美しい)。  
 うぬ みどうんな しゃしんな ぼりどう は  
 いゆー (その女性はとても写真写りがよくてき  
 れいだ)。<sup>[変異]</sup> ばい。

**はい** [hai] 【接尾辞】 (写真などで) 映えること、  
 美しいこと。【例】 しゃしんばいひとつ (写真  
 写りが良い人)。

**はい** [hai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 行く、帰る、  
 (連用形について) ~てしまう。【例】 っづあー  
 かまんかい はり (お前は向こうに行け)。か  
 りゃー やーんかい はりーにゃーん (彼は家  
 に帰った (行った))。かぬきゃー ばんちゅー  
 ぎゃー すていーはりーにゃーん (彼らは私達  
 をおいてきぼりにしていった)。かまんかい  
 はりーにゃーん (向こうに行った)。うつなー

んかい はりーにやーん (沖縄に行った)。かりやー いんかい はりーにやーん (彼は海に行った)。んなない ゆーいぬ うさいや っ ていつ むっちゃひー はりーにやーん (全員お祝いの料理をそれぞれ持ち帰った)。やーん かい はらでい (家に帰る)。じょ、やーんかい はら (さあ、家に帰ろう)。すにー はりーに やーん (死んでしまった)

**はい** [hai] 【動詞】[A] 貼る。【例】ぬいひー かびーゆ はい (ノリで紙を貼る)。

**はい** [hai] 【動詞】[母音語幹] [C] (家が) 栄える。【例】かまぬ きないや むいとう はいー どう (向こうの家はとても栄えている)。

**はい** [hai] 【名詞】[B] ハエ。【例】はいまい やーでい (蠅も家族)。

**はい** [hai] 【名詞】[C] 畑。【例】はいぬ あ っじゃう あいつ (畑の端を歩く)。いすぐー ばい (石ころだらけの畑)。きゅーや あみ やー っふいぬ あとう やいば はいや す とうりー どうーい (今日は雨降った後だから畑は湿っぽい)。はいゆ あきー (開墾する)。[類] はる、だーず、だやず。

**はい** [hai] 【名詞】[C] 針。【例】はいぬ ふ つ (針先) はいぬ みーゆ たみー (針の目を目がける)。はいぬ みーゆ っちゃんつ (針の目を通す)。ういが つむー はいぬ ふつ ぬ ほういまい にやーん (あいつの心は針先の大きさもない)。

**はい** [hai] 【名詞】[B] 南。【例】っづあが とうみゆーむぬー はいなぎんどう あい (お前が探しているものは南にある)。

**はい** [hai] 【感動詞】『応答詞』そう、そうだ。【例】はい、あいだら (そう、そのとおりだね)。

**ばい** [bai] 【動詞】[r/r 語幹] [A] 似ている。【例】っぎ っふあぬ かーぎやー ばりー ど うーい (父子の顔かたちはよく似ている)。

**ばい** [bai] 【形容詞】[B] 悪い。【例】ばがどう ばいかたい (私が悪かった)。むぬいばどう ばいかい (何かものを言うとき悪いことがある [ >物言えば唇寒し])。

**はいー** [hai:] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 入る。【例】はいふつから はいり (入口から入れ)。う まから はいらいん (ここから入れない)。

**はいーふつ** [hai:futsi] 【名詞】入口。[変異] はいふつ。

**ばい** [bai] ①【動詞】[母音語幹] [C] 映える、美しい。②【動詞】[r/r 語幹] [A] 映える、美しい。[類] はい。

**ばい** [bai] ①【動詞】[r/r 語幹] [A] (瓦、石などを) 割る。【例】かーらう ばい (瓦を割る)。やーゆ ばい (家を壊す)。まかいゆ ばい (お椀を割る)。②【名詞】[A] 割れたもの、破片。【例】かーらぬ ばい (瓦の破片)。③【動詞】[母音語幹] [A] 割る。【例】さきゅー み ずひー ばいー くー (酒を水で割って来い)。

**はいがさ** [haigasa] 【名詞】主に子供がかかっていた脱毛病、禿頭病。【例】んきやーんぬ やらびんみやー すぶたいかたいばどう うん そうく はいがさまい いじゅーたい (昔の子供は不潔だったからたくさん脱毛症状がでていた)。

**はいかでい** [haikadi] 【名詞】南風。【例】はいかでいがまぬどう ふきどう すだすないが ま ひーゆー (今日は南風が吹いて涼しい [ <ちょっとすずしくなっている])。はいかでいぬ はやしばよー (南風が生い茂らすからよ)。

**はいから** [haikara] 【名詞】ハイカラな人。

**ばいくみ** [baikumi] 【動詞】[母音語幹] 大声で叱る、説得する、どなりこむ。【例】ぬそう どうー はいぬ ぬすん ばいくみらいにやーん (泥棒は畑の主に言い込められた)。[類] ばいくん。

**ばいくん** [baikun] 【動詞】[m 語幹] 大声で叱る、説得する、どなりこむ。【例】ひとーぎゃー ばいくまん (人を怒鳴らない [>怒鳴ってはいけない])。やらびぬ くとーひー がっこうかい ばいくん (子供のことで学校に抗議する)。**[類]** ばいくみ。

**ばいさ** [baisa] 【名詞】[C] 悪事。【例】ばいさう あすていがー つふあんまがたーひーまい とうがまいどうす (悪事を働いたら子孫代々まで咎まれる)。

**はいすーばだ** [haisi:bada] 【名詞】排水溝。【例】あみやー つふいどう はいすーばだんな みずぬ たまりゆーたい (雨が降って排水溝は水がたまっていた)。

**はいつー** [haitsi:] 【名詞】腱、靭帯、血管。【例】ぬーまぬ はいつーや ひつにかいば かまいん (馬の筋はかたくて噛み切れない)。つづあが ていーぬ はいつーや みーらいんば あかっちゃ とうらいん (あなたの手の血管は見えないので血が取れない)。

**はいつー** [haitsi:] 【形容詞】ねばりづよい、筋力が強い。【例】やぐみ はいつー すまとうら (とても土俵際で粘りづよい相撲取り)。**[類]** はいつーじゅー。

**はいつつ** [haisitsi] 【名詞】刺青。【例】ぼんていが ぱーが ていーんな はいつつぬ あたい (私の祖母の手には入れ墨があった)。はいつつ あす (入れ墨を入れる)。**[類]** はずつ。

**はいでいー** [haidi:] 【動詞】[母音語幹] (家が) 栄える。【例】かまぬ やーや はいでいーどうー (あそこの家は栄えている)。はいでいー やー (栄えている家)

**ばいでいん** [baidin] 【名詞】村の各家族への割り当て金。【例】すまぬ ばいでいんぬ うぐない (村の割り当て金を集めなさい)。

**ばいど** [baido] 【名詞】[C] サトウキビの根元に土を盛ること、培土。【例】ぶーずぬ ばいど (サトウキビの根元に盛った土)。

**はいどー** [haido:] 【感動詞】相手の言うことに同意するときに使う、「そうだ」。【例】A: (ものを渡しながら) つづあが むぬ ういな。B: はいどー、ういどう あたい (A: あなたのはこれですか。そうです。B: それです [<それでした])。

**ばいどく** [baidoku] 【名詞】梅毒。

**はいばら** [haibara] 【名詞】南の辺り。

**ばいふ** [baifu] 【副詞】悪く (言う、思う、なる)。【例】ひとーぎゃー ばいふ あっじやん (人のことは悪くは言わない)。ばいふ うむーだうり (悪く思うな)。かいが やなやんな ばいふ なりーどうー (彼の病気は悪くなっている)。

**はいふつ** [haifutsi] 【名詞】入口。【例】ひとぬどう やーぬ はいふつんかい っちゅーい (人が家の入り口に來ている)。はいふつから はいり (入口から入れ)。**[変異]** はいーふつ。

**はいまい とうばん** [haimai tuban] 【成句】蠅も飛ばない [>人の出入りが無い状態]。【例】せんきよん まきーみーていがー かまぬ やーんな はいまい とうばん [>誰も寄ってこない]。

**はいまがん** [haimagan] 【名詞】《生物》スナガニ科メナガオサガニ [砂浜にいる白っぽく足の速いカニ]。

**ばいみつ** [baimitsi] 【動詞】[k 語幹] 色々と不平不満を言う。【例】いっじゃ いでいー ばいみき (いくらでも不平不満を言え)。

**はいゆはい** [haijuhai] 【感動詞】(自分に気が付いてない相手に呼びかけるときに使う) あのちょっと、おい君。【例】はいゆはい、マサイ、

つうあ んじゃんかいが (おい、マサイ、お前はどこに行くんだ [どこにか])。はいゆはいまいごとうぬ うやっざよ (あのちよっと前里の親父さんよ)。

**ばいんき** [bainki] ①【動詞】[母音語幹] 喋る；文句を言う、怒鳴りこむ、事を荒立てる。[類] ばいんふ、ばいんつ。②【動詞】[母音語幹] 詰め込む、押しこむように食べる。[類] ばいんふ、ばいんつ。

**ばいんつ** [baintsi] ①【動詞】[k 語幹] 文句を言う、喋る、怒鳴りこむ、事を荒立てる。[変異] ばいんふ。②【動詞】[k 語幹] 詰め込む、押しこむように食べる。[変異] ばいんふ。

**ばいんふ** [bainfu] ①【動詞】[k 語幹] 文句を言う、喋る、怒鳴りこむ、事を荒立てる。【例】おい ゆががなまい まーぬ ばいんふな (おい、馬鹿野郎、がたがたさわぐな)。ばー ぶー っじゃ ぬすみー ふあーっでいー ひー むいとう ばいんかいーにやーっだん (私はサトウキビを盗んでたべようとしてひどく叱られた)。まーぬ ばいんかだうり (あまり事を荒立てるな)。[変異] ばいんつ。②【動詞】[k 語幹] 詰め込む、押しこむように食べる。【例】かばんかい つんぬ ばいんきー いるる (カバンに衣類を詰め込め)。やーらふ ないがまた やいば まーぬ ばいんかだうり (やわらかくなるのであまり押し込むな)。むぬー ばいんきー ふあう (飯を押し込むように食べる)。[変異] ばいんつ。

**はう** [hau] 【動詞】[w 語幹] [C] 這う。【例】やらびやー んめ はいーどうー (子供はもう這うことができる)。はうぬどう はいーゆー (ヘビが這っている)。[類] はい。

**はう** [hau] 【名詞】[B] ヘビ。【例】はうぬ すでいがら (ヘビの脱け殻)。はうぬどう はいーゆー (ヘビが這っている)。やらびやー んめ はいーどうー (子供はもう這うことができる)。[変異] ばう。

**ばう** [bau] 【名詞】[C] 棒。【例】なそうーぎ ーぬ すたぬ ばう まーしゃがま (茄の木の下の棒を回す人)。(小さい人の比喩的表現)

**ぱう** [pau] 【名詞】[B] ヘビ。[変異] はう。

**はうい** [hau] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (水、種などを)まく。【例】つふあいゆ はうり (肥料をまけ)。みなかんかい みっじゆ はうり (庭に水をまけ)。はいん むっじゆ はうい (畑に麦をまく)。[類] はうり。

**はうか** [hauka] ①【名詞】[C] 有能な人、やり手。【例】うまぬ すかまんかいや はうかう いらび (そこの仕事にはやり手を選べ) ②【形容詞】[C] 有能な；有能だ。【例】ばが にんじゆから かにがどう んながーな はうかい (私の部下のうちでカニが一番有能だ)。

**ばうず** [bauzi] 【名詞】[C] 坊主。【例】てらぬ ばうず (寺の坊主)。

**ばうちら** [bautçira] 【名詞】腕白坊主、暴力的な人。【例】ぎっじゃ ひらいん ばうちら やらび (手に負えない腕白坊主)。くぬ ぎずぎやうな ばうちらー ひとつぬ むぬいゆぎやー なうちゆんま つかん (このわんぱく坊主、人の話をぜんぜん聞かない)。

**はうつ** [hautsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 掃く。【例】うまぬ ぷきゆー はうつひー はうき (ここのゴミを箒で掃け)。

**はうつ** [hautsi] 【名詞】[C] ほうき。【例】うまぬ ぷきゆー はうつひー はうき (ここのホコリを箒で掃け)。

**ばうばう** [baubau] 【オノマトペ】ワンワン、犬の鳴き声を示す擬声語。【例】いんぬ ばうばうていー ぶいーゆー (犬がワンワンと吠えている)。

**はうり** [hauri] 【動詞】[母音語幹] [A] (水、種などを)まく。[類] はうい。

**はか** [haka] 【名詞】[B] 墓。【例】はかぬ まいゆ あいつていがー ひぎやうむぬ (墓の前を通ったら鳥肌が立つ)。[類] むとう。

**ばか** [baka] 【形容詞】[A] (人が) 若い; (植物、果物が) 育ってない、熟してない。【例】ばかむぬ (若者)。ばー んめ ばかつふあにやーん (私はもう若くない)。ばかあかほうにやー すぐ ふあーいどうす (若いニンジンはそのままで食べられる)。くまんな んめ ばかかい まんじゅーゆ おかつじゃ ひー ふあう (ここではまだ熟していないパイヤをおかずにして食べる)。

**ばが** [baga] 【代名詞】一人称単数代名詞所有格形、「私の」、「ぼくの」[複数形は「ばんていが」](「私たちの(聞き手を含まない)」。)【例】うらー ばが とうず (これは私の妻だ)。[類] ばん、ばぬー、ばー、ばぬんかい。

**ばが** [baga] 【代名詞】一人称単数代名詞主格形、「私が」、「ぼくが」[複数形は「ばんていが」](「私たちが、私たちの(聞き手を含まない)」。)【例】ばが ほうだかー たるがどう あすが また (私がやらないならだれがやるんだ)。[類] ばん、ばぬー、ばー、ばぬんかい。

**ばが そうみやー** [baga sumja:] 【名詞】私の愛おしい人。

**ばかーい** [baka:i] ① 【動詞】別れる。【例】うぬきやが ふたーいや ばかーりーにやーん (その二人は別れた)。とうずとう ばかーい (妻と離婚する)。うぬきやうぎやー ばかーらし (彼らを別れさせろ)。[変異] ばきやーい。② 【名詞】別れ。【例】かんすうとうばかーい ((人が) 神となって人々と別れること [>死ぬこと])。とうずぶとうばかーい (夫婦別れ、離婚) ばがぶとう あたいひとう ばぬー あていくとう しつきゅーたいばどう とうずぶとう ばきやーい あすたい (私の夫だった人は私をとっても虐待したので、離婚した)。[変異] ばきやーい。

**ばかーい** [baka:i] ① 【接尾辞】くらい。【例】うるー みーつばかーい ふいーる (それを三つぐらいくれ)。ひこーきひー とーきよーたーひーや さんじかんばかーい かかいどうす (飛行機で東京まで三時間ぐらいかかる)。ぶーっじゃ ふたひるばかーい あり (サトウキビは2尋 [=約3.6メートル] ぐらいある)。くまぬ はいや にたんばかーい あり (ここの畑は2反ぐらいある)。いさきばかーい (どれ位)。いだきばかーい (どれぐらいの高さ(深さ)位)。いじゃーばかーい (どれ位の長さ(距離))。いかっさばかーい (値段はどれ位)。いほうぎばかーい (どれ位の大きさ)。いなぎばかーい (どれ位の長さ)。んじゃばかーい (どこら辺)。[類] だちゃー。② 【助詞】節を取って概数を表す、～するくらい。【例】ゆーいんな んまむぬー ふあーいんばかーい あたい (お祝いにはごちそうが食べられないぐらいあった)。すぐすからまい なたぬ いでいばかーい ほうからすむぬ (膝から涙が出るほどうれしい [<とてもうれしいときの形容])。

**はかい** [hakai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 測る。【例】まみゆー つがひー はかい (豆を秤ではかる)。

**はかい** [hakai] 【名詞】[C] 秤。【例】じてんしゃー はかいむぬ (自転車はバランスもの)。さたう はかいひー かきー かう (黒糖を秤で計量して買う)。

**ばかい** [bakai] 【動詞】[母音語幹] [C] (人のものを) 奪う、(取られたものを) 取り返す。[類] ばかう。

**はかいむぬ** [hakaimunu] 【名詞】自転車、オートバイ等 (バランスを取る乗り物)。【例】はかいむぬん ぬーい とうきやんな まさぐん ぬーり (自転車などに乗るときは気を付けて乗れ)。

**ばかう** [bakau] 【動詞】[w 語幹] [C] (人のものを) 奪う、(取られたものを) 取り返す。【例】



ひとうぬ むぬーぎゃー ばかーん (人の物は奪わない)。ばかいにゃー (奪い合い)。ばかーいーやーむぬー とういかいす (奪われたものを取り返す)。とうらいたい むぬー ばかい (取られたものを奪い返せ)。**[類]** ばかい。

**はかうつ** [hakautsi] **[名詞]** (仕事の) やり方、順番、段取り。【例】すかまうぎゃー はかうつちや ちゅっふい あっそう (仕事を段取りを(ちゃんと)してやれ)。かいが すかまぬ はかうつちや じゃうつふあにゃーんば、かいが すかまー ぬーがらん (彼の仕事の段取りはよくないので、彼の仕事ははかどらない)。すかまぬ はかうつちゅ あきる (仕事の段取りをうまくやれ)。はかうつちゅ つきー あっそう (段取りをつけて仕事をする)。

**ばかさう** [bakasau] ① **[名詞]** 見かけが実際より若く見える人。【例】ばー ばかさうゆぬずん (私は若く見える人がいいです)。**[変異]** ばかしゃう。② **[形容詞]** 見かけが実際より若く見える。【例】どうすんみぬ なかから かいがどう んながーんな ばかさうかい (彼が一番若く見える)。**[変異]** ばかしゃう。

**ばかしゃう** [bakaçau] **[名詞]** 見かけが実際より若く見える人。 **[変異]** ばかさう。

**ばかしゃう** [bakaçau] **[形容詞]** 見かけが実際より若く見える。 **[変異]** ばかさう。

**ばかす** [bakasi] ① **[形容詞]** **[B]** 恥ずかしい。【例】ばー あいぬ かんじがままい っさいだ ばかすかいば ならん (私はこんな漢字も知らなくて恥ずかしくてならない)。② **[形容詞]** **[B]** 面白おかしい。【例】あてい ばかすかいば ばたぶにぬ ぶいきゃ ばらいーにゃーん (余りにも面白いのでお腹の骨が折れるまで笑った)。かいが はなっさ あか ばかすかいば ならん (彼の話は可笑しくてならない)。あいぬ ばかす むぬいゆぎゃー ほうん (そんな可笑しい話はしない [ > するな])。

**ばかす** [bakasi] **[動詞]** **[C]** 沸かす。【例】みっじゅ ばかす (水を沸かす)。

**ばかす** [bakasi] **[名詞]** **[B]** (普通は一升用の) 酒を入れる壺。

**ばかっづあ** [bakavva] **[名詞]** 赤ちゃん。【例】ばかっづあぬ んま (赤ちゃんの母親) **[類]** あかっづあ。

**はかどうい** [hakadui] **[動詞]** [r/rr 語幹] 抄(はかど)る。【例】すかまー はかどうりー どうー (仕事は抄っている)。

**ばかばい** [bakabai] ① **[動詞]** [r/rr 語幹] 植物が青々と再生して繁る、芽吹く。【例】あみやー っふいーみーていがー んーぎーや ばかばいーどうーい (雨が降ったあとで、芽ずるは青々と芽吹いている)。② **[動詞]** [r/rr 語幹] 吹き出物が広がる。【例】ふがさー ばかばいーどうーい (おできは広がっている)。

**ばかばいむぬ** [bakabaimunu] **[名詞]** (食べる) 吹き出物を悪化させる食べ物。【例】あいつぞうー ばかばいむぬ (アイゴは食べると吹き出物がわるなる)。ほうがさぬ あいと うきゃんな ばかばいむぬーぎゃー ふあーん (おできのあるときは吹き出物を悪化させる食べ物を食べたらいけない)。

**ばかぼう** [bakabau] **[名詞]** 神様の名前、命の神様。

**はがみ** [hagami] **[動詞]** [母音語幹] **[C]** ニコニコ笑う。 **[類]** はがん。

**はがみつ** [hagamitsi] **[動詞]** [k 語幹] ニコニコ笑う。 **[類]** はがみんつ。

**はがみんつ** [hagamintsi] **[動詞]** [k 語幹] ニコニコ笑う。 **[類]** はがみつ。

**ばかむぬ** [bakamunu] **[名詞]** 若者。 **[類]** にしゃい。

**はかり** [hakari] **[動詞]** [母音語幹] **[C]** (量を) 測る。【例】っぞうぬ んぶさー いっかつさ

ありがていー はかりたい (魚の重さはいくらあるのか測った)。[類] はかい。

**はがん** [hagan] 【動詞】 [m 語幹] [C] ニコニコ笑う。【例】 やらびゃー ほうからすかいががら はがみーどうー (子供は嬉しいのかニコニコ笑っている)。[類] はがみ。

**はかんまり** [bakammari] 【名詞】 1月から3月に生まれた子、早生まれ。【例】 くぬ つふあ ばかんまり やいば ひていつが すじゃんみとう がっこーん いじゅー (この子は早生まれなので、一つ年上の子たちと学校に行っている)。

**はぎ** [hagi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (髪の毛が) はげる、(色が) あせる。【例】 ばー んなーぎゃー はぎや うらん (私はまだはげてない)。うぬ しゃしんぬ いるー はぎーどうー (この写真の色はあせている)。

**はぎ** [hagi] 【名詞】 [C] はげ。【例】 はぎがなまい (剥げ頭)。

**ばき** [baki] ①【動詞】 [母音語幹] [A] 湧き出る。[類] ばつ。②【動詞】 [母音語幹] [A] 沸騰する、沸く。[類] ばつ。③【動詞】 [母音語幹] [A] 発酵する。【例】 んつがまー みーかばかーいひー ばきどうす (お神酒は三日ぐらいで発酵する)。[類] ばつ。

**ばき** [baki] 【動詞】 [母音語幹] [C] 分ける、分配する。【例】 っぞうだまう ばきー (魚の取り分を分ける)。

**ばきがみ** [bakigami] 【名詞】 髪の毛を分けること、また、髪の毛を分けた人。【例】 からー ばきがみ ひーゆー (彼は髪を分けている)。ばんていが ばーや んきやどうらぬ ばきがみん とうなかう ばかーいたい (うちの祖母は荷川取の分け髪男に卵をとられた [「荷川取の分け髪男」は100年ほど前の実在の人物])。

**ばきだま** [bakidama] 【名詞】 分け前。【例】 ばが ばきだまー くさき (私の分け前はこれ

だけだ)。くまぬ はいや ばが ばきだま (あそこの畑は私の取り分だ)。[類] たま、っじだま、とういまい。

**ばきやーい** [bakjari] 【動詞】 別れる。[変異] ばかーい 1。

**ばきやーい** [bakjari] 【名詞】 別れ。[変異] ばかーい 1。

**はぎやう** [hagjau] ①【形容詞】 [B] (場所、人、もの、話などが) 鳥肌が立つ様な変な気持ちにさせる、嫌な気持ちにさせる。【例】 かまー はぎやう とうくま (あそこは不気味なところだ)。からー はぎやうんまり (あいつは気味がわるいやつだ)。ういびとうから はぎやうはなっそう つふたい (お年寄りから気味悪い話を聞いた)。かいが はなっさ はぎやうむぬ あたい (彼の話は気味が悪かった)。②【形容詞】 [B] 嫌な気持ちになる。【例】 かるー みーていがー はぎやうさぬ (あいつを見ると気持ちが悪くなる)。

**はく** [haku] 【名詞】 [C] 箱。【例】 じゅーばくぬ にゃーんば くぬ はくん むつーゆ つみる (重箱がないので、この箱にもちをつめる)。

**はぐい** [hagui] 【動詞】 [r/r 語幹] [A] (仕事などの) 機会を失う、(仕事に) あぶれる、(人と) はぐれる。【例】 かりゃー うむくとうあいかないびとう やいば すかままい なうまい はぐらん (彼は頭がいい、まじめな人だからしごとにはあぶれない)。やらびゃー んまから はぐりーはりー とうみらいっだんぎーにゃーん (子供はお母さんからはぐれてしまって(探しても)みつからなくなった)。[類] はぐり。

**ばくらう** [bakurau] ①【名詞】 馬を売買・周旋する人、馬喰。【例】 まうきゃーぬ っぎー ばくらうどう あたい (向かいの家の父親は博労だった)。②【名詞】 嘘つき。【例】 からー むいとうぬ ばくらう (彼はとつても嘘つきだ)。あいや ひとつんかいや ばくらうゆぎゃー

ほうん (そんなに人にうそをつくな)。かいがむぬいや いつまい ぼくらう (彼の言うことはいつも嘘だ)。

**はぐらかす** [hagurakasi] 【動詞】[s/h 語幹] はぐらかす、ごまかす。【例】あいや ひとつめ はなっそうぎゃー はぐらかはん (そういうふうになんて人の話ははぐらかしてはいけない)。  
[類] はぐらす。

**はぐらす** [hagurasi] 【動詞】[s/h 語幹] はぐらかす、ごまかす。【例】あいや ひとつめ はなっそうぎゃー はぐらはん (そういうふうになんて人の話をぐらかしてはいけない)。  
[類] はぐらかす。

**はぐり** [haguri] 【動詞】[母音語幹] [A] (仕事) 機会を失う、(仕事に)はぐれる。[類] はぐい。

**ばさ** [basa] 【名詞】[C] 芭蕉、バナナ。【例】ばさない (バナナの実)。ばさずん (芭蕉布の着物)。

**ばさぎー** [basagi:] 【名詞】バナナの木。

**ばさない** [basanai] 【名詞】バナナの実。

**はさん** [hasan] 【動詞】[m 語幹] [C] 挟む。【例】うますひー むぬー はさみー ふあう (お箸で食べ物を挟んで食べる)。

**はさん** [hasan] 【名詞】[C] ハサミ。【例】はさんひー むぬー きー (ハサミで布を切る)。

**ばし** [baçi] 【名詞】[C] (家や島などの) 間、すき間、(雨戸などの) 通り道、棧。[類] ばす。

**ばしや** [baça] 【名詞】[B] 馬車。【例】ばしやんかい にーゆ つん (馬車に荷を積む)。ばしやむちゃ (御者)

**ばじやう** [bazau] 【動詞】[vv 語幹] [A] くすぐる。[類] ばじゅー。

**ばじゃかい** [bazakai] 【動詞】[r/rr 語幹] (自分の指、肢、四肢を) 広げる。【例】たくぬどう

ばじゃかりゅーい (タコが足を広げている)。  
ばじゃかりー にゅー (大の字になって寝る)。  
[変異] ばだかい。[類] ばだからす、ばだかす。

**ばじゃかす** [bazakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (自分の四肢を) 広げる、(他人の四肢を) 広げさせる。[変異] ばだかす。[類] ばじゃかい、ばじゃからす、ばだからす、ばだかす。

**ばじゃからす** [bazakarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (自分の四肢を) 広げる、(他人の四肢を) 広げさせる。[変異] ばだからす。[類] ばじゃかい、ばじゃかす、ばだからす、ばだかす。

**ばじゃばじゃていー** [bazabazati:] 【オノマトペ】さっさと。【例】すかまうぎゃー ばじゃばじゃていー あっそう (仕事をさっさとやれ)。

**ばじゅー** [bazur:] 【動詞】[vv 語幹] [A] くすぐる。【例】からー ばぬー ばじゅーたい (彼は私をくすぐった)。かいん ばじゅっあー ひぎやうかいば ならっだん (彼に擦られてくすぐったくてしかたなかった)。っぎー ならっだん (お父さんはなんとなく子供をくすぐってしまった)。  
[類] ばじやう。

**ばじゅら** [pazura] ① 【名詞】[C] 人を軽蔑して言う言葉、奴。【例】んじやうなばじゅら (どうしようもない奴)。ほうりばじゅら (バカな奴)。っそうだすからん ばじゅら (どうしようもない奴)。みーちやぎばじゅら (見苦しい奴)。② 【名詞】[C] おしゃべりで落ち着きがない人。【例】からー むぬいや つっちゃん ばじゅら (彼は話が切れないおしゃべりだ)。むぬゆん ばじゅら (おしゃべり)。

**はす** [hasi] 【名詞】[C] 箸。[類] うます。

**はず** [hazi] 【動詞】[g 語幹] [C] (皮などを) はぐ、(うろこ)を取る。【例】ぬーまぬ かーゆ はず (馬の皮をはぐ)。っぞうぬ いっちゆ はず (魚の鱗を取る)。

**はず** [hazi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 剥がす。【例】はだらぬ いーきやー かたかいば はずぐり (やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい)。

**はず** [hazi] 【動詞】[g 語幹] [C] (船をつくる)。  
【例】ふにゅー はず (造船する)。

**はず** [hazi] 【名詞】[C] 足 [接尾辞的に使う場合は「ばず」になることが多い]。【例】ながばず (長い足)。まるばず (短い足)。ほうっぱず (大きい足)。たーん<sup>°</sup>んばず (大きい足、田んぼ作業に向いた足)。まずむぬんな はっじゃにやーんちゃ (幽霊には足がないんだって)。ひとうぬ はずとういゆぎやー ほうん (人の足を引っ張ることをしない)。

**ばす** [basi] 【名詞】[B] (家や島などの) 間、(雨戸などの) 通り道、棧。【例】んきやーんなやーばっさ しばっふあ にやーっだん (昔は家と家の間は狭くはなかった)。いらうとういきまぬ ばす (伊良部と池間の間)。やらびやー あみぬ ばすがまうどう とばす (子供は雨と雨の隙間を走る)。やどう ばす (雨戸のさん)。<sup>○</sup>【類】ばし。

**ばす** [basi] 【名詞】[B] アダンの実の中の芯。

**ばすー** [basi:] 【動詞】[s/ss 語幹] [A] 忘れる [基本形の形はあまり使わない<sup>9</sup>]。【例】ばぬんな ばーぬくとうー ばっさいん (私には祖母のことが忘れられない)。<sup>○</sup>【類】ばっし。

**はすか** [hasika] 【形容詞】[B] (こどもが) しっかりした、動きの良い。【例】やぐみ ていーや かからん はすかやらび (全然手のかからないしっかりした子供)。からー やらびあいきやー はすかむぬどう あたい (あいつは子供の時はしっかり者だった)。

**はずかないやらび** [hazikanaijarabi] 【名詞】小さいときに歩けるようになった子供。

**はずき** [haziki] 【動詞】[母音語幹] [C] (爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱などが) 破裂する。 [変異] ばずき。<sup>○</sup>【類】はずつ。

**はずじゅー** [hazizu:] 【形容詞】健脚。【例】はずじゅーびとう (健脚の人)。からー はずじゅーかいば ぶらたーひーや あいかいどうす (あの人は健脚なので、保良までは歩いて行ける)。

**はずつ** [hazitsi] <sup>①</sup> 【動詞】[k 語幹] [C] (爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱などが) 破裂する。【例】だいだまー はずきーにやーん (ダイナマイトは破裂した)。すばいずつんな はずかっでいどう ほうー (膀胱が破裂しそうだ)。<sup>○</sup>【変異】ばずつ。<sup>○</sup>【類】はずき。<sup>②</sup> 【動詞】[k 語幹] [C] (手で何かを) 弾く。【例】っそう ひだう はずき (サザエの蓋を弾け [サザエの蓋をおはじきとして使っていた])。<sup>○</sup>【変異】ばずつ。<sup>○</sup>【類】はずき。

**はずつ** [hazitsi] 【名詞】[C] 唇の端、口角。  
【例】ばずつぬ つつてい いちゃかいばならん (唇の端が切れて、痛くて仕方がない)。

**はずつ** [hazitsi] 【名詞】[C] 刺青。【例】ばがやらびあいきやー みどうん ういびとうん みやー はづつぬどう あたい (私が子供の頃、女性の年寄り達には刺青があった)。<sup>○</sup>【類】はいつつ。

**ぱずつ** [pazitsi] <sup>①</sup> 【動詞】[k 語幹] [C] (爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱などが) 破裂する。 [変異] はずつ。<sup>②</sup> 【動詞】[k 語幹] [C] (手で何かを) 弾く。<sup>○</sup>【変異】はずつ。

**はずなら** [hazinara] 【名詞】足音。【例】やらびぬ にっづゅーば はずならうぎやー いだはだ すなーかがま あいき (子供が寝ているから足音は立てずに静かに歩け)。はずなら=足音)。ふつなら=口音)。ういが ふーふっちゃ はずならひー っさいどうす (彼がかえってくることは足音でわかる)。

**はずふず** [hazifuzi] 【名詞】足首。【例】はずふっじゅどう ないらひーにやーん (足首をねん挫した)。

**はずん** [hazin] 【動詞】[m 語幹] [A] 膨らむ、(筋肉が) 盛り上がっている。【例】くーきゅー いらばんまい たいやーや はずまん (空気を入れたのにタイヤが膨まない)。ばかむぬぬ くっうあ はずみーどうーい (若者のふくらはぎは筋肉が盛り上がっている)。ふーせんぬ はずまし (風船を膨らませろ)。[変異] はずん。

**はた** [hata] 【動詞】[C] 「はい」の過去形「はたい」の省略形。【例】かりやー くるまひー はた (彼は車で帰った)。

**はた** [hata] 【名詞】[B] 織り機、はた。

**はた** [hata] 【名詞】[B] (建物、土地、場所などの) 境界、端、縁、浜; (皿、鍋、お椀などの) 縁。【例】やすつぬ はた (屋敷の境界)。はいぬ はたぬ っさう とうい (畑の端の草を取る)。いんぬ はたう あいきーまーい (浜を歩き回る)。まかいぬ はたー ばりーにやーん (お椀の縁が割れた)。

**ばた** [bata] 【名詞】[B] 腹。【例】ばたー んていーどうー (満腹している)。ばた やん (腹痛)。ばたぶ (出っ腹の人)。ばたぐーむぬ (おなかが悪い)。ばた ずみやー にやーん (お腹の調子が悪い)。

**ばだ** [bada] 【名詞】[B] 溝。【例】うまぬ ばだー ふかかいば ばたらいん (その溝は深いから渡れない)。うまぬ ばだん っふあい や いらー、ぶーっじゅ いび (その溝にたい肥を入れてサトウキビを植える)。

**ばた ふさい** [bata fusai] 【成句】[r/r 語幹] 腹が立つ。【例】ばー っぐあが ならうてい あっじゃばんまい ばたー ふさらん (私は君が何と言っても腹は立たない)。かるーぎやー ばたふさらし (彼を怒らせろ)。

**ばた ふっでいんまり** [bata fuddim-mari] 【成句】人に意地悪する奴。【例】ばた

ふっでいんまりとうや うぐなーらん (人に意地悪する人とは同席しない)。

**ばたー にやーん** [bata: njam] 【成句】度胸がない [＜腹がない、腹が座っていない]。【例】ばたー にやーんんまり (度胸のない奴)。

**ばたー むぎやっりー** [bata: mugjarri:] 【成句】酷く腹を立てる、はらわたが煮えくりかえる。【例】ばー かさますかいば ばたー むぎやっりーどうーい (私はくやしくてはらわたが煮えくりかえている)。

**はだ** [hada] ① 【名詞】[B] 年頃、(そのことに適切な) 時期、適齢期。【例】ゆぬはだ (同じ年頃)。はだ なりーどうーい (その時期になっている [種まき、き、結婚、学校に行くなど])。うなが はだんな わいていー かないー とうず っふあうぎやー つかないだかーならん (自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない)。ぶとう むつ はだ (夫を持つ年頃 [女性の結婚適齢期])。とうず とうみ はだ (妻を探す年頃 [男性の結婚適齢期])。がっこう いつ はだん なりーどうー (学校に上がる年齢になっている)。っふあ なる はだ (出産可能な年齢)。② 【名詞】[B] 直前、間近 [連濁して「ばた」になるのが原則]。【例】ねんきんぬ いでいばたん なりーどうー (もうすぐ年金が出る頃だ)。っふあ なる ばた (出産間近)。

**はだ** [hada] ① 【名詞】[B] (年寄りや若者が) 年齢相応でないこと。【例】はだーにやーんんまり (年齢相応でない奴 [若作りの年寄り、年寄りっぽい若者])。② 【形容詞】[B] (子供が) しっかりしている、(子供が) 手がかからない。【例】はだやらび ((幼い子が) 年齢にしてはしっかりしている)。うぬ やらびやー やぐみ はだむぬ (その子はともしっかりしている)。

**はだ** [hada] ① 【名詞】[B] (人の) 肌。【例】きつき はだ (綺麗な肌)。っそうはだびとう (色白の人)。はだーにやーんんまり (不健康そう

な顔色の悪い奴)。ういが はだー ぴたーて  
いどう ほうー (彼女の肌は滑らかだ)。◎【名  
詞】[B] 相性。【例】かいとうや はだー あ  
ーん (彼とは肌が合わない)。

**ばたい** [batai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (向こう  
側に) 渡る。【例】ふにひー すまう ばたい  
(舟で島を渡る)。

**はだかす** [hadakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (服を)  
脱がす、(人が人に指示して服を) 脱がせる。  
【例】やらびぬ つんぬ はだかす (子供の服を  
脱がす)。うまん やらびんみん つんぬ は  
だかし (ここで子供たちに服を脱がせなさい)。  
[変異] はっだかす。

**ばだかす** [badakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (手、  
扇、股などたたんであるものを) 開く、広げる。  
[変異] ばじゃかす。[類] ばだつ、ばじゃか  
らす。

**はだかんま** [hadakamma] 【名詞】馬具を着け  
ていない馬、裸馬。【例】はだかんまん ぬー  
いていがー ていーぬんぬ やん (馬具を着け  
ていない馬に乗るとお尻が痛くなる)。

**はだき** [hadaki] 【動詞】[母音語幹] [C] (服を)  
脱ぐ。[変異] はっだき。

**はたきまい** [hatakimai] 【名詞】『植』陸稻。

**ばだく** [badaku] 【名詞】[C] 溝。【例】ばだ  
くー ばたり (溝を渡れ)。[類] ばだ。

**ばたずみ** [batazumi] 【名詞】お腹の調子 [「ば  
たずみゃー にゃーん」形で否定的に用いられ  
る]。【例】わーぬ あっづあー ふあいどう  
ばたずみゃー にゃーん (豚の脂肉を食べて  
お腹の調子が良くない)。

**はだたつ** [hadatatsi] 【形容詞】憎らしい、イ  
ライラする。【例】かいが むぬいゆ つふて  
いがー はだたつむぬ (彼の話の聞くとイライ  
ラする)。

**はだつ** [hadatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (服を)  
脱ぐ。【例】つんぬ はっだき (服を脱げ)。  
[類] はっだつ。

**ばだつ** [badatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (手、扇、  
股などたたんであるものを) 開く、広げる。  
【例】ていーはっじゃ ばだきー にっぐゆーい  
(手足を開いて大の字で寝ている))。[変異] ば  
だかす。

**ばたっさい** [batassai] 【動詞】[r/rr 語幹] 腹  
を立てさせる。[変異] ばたふさい。

**ばたっさい** [batassai] 【形容詞】腹立たしい。  
[変異] ばたふさい。

**はだっさり** [hadassari] ①【形容詞】気さくな、  
人見知りしない；よく成長している、年相応に  
成長している。【例】はだっさりびとう (気さ  
くな人)。はだっさりやらび (人見知りしない、  
元気で手のかからない子) ②【形容詞】(病気  
などで) 顔色が悪い、気分がすぐれない。【例】  
からー やんぬ あとうーひどう はだっさり  
(彼は病気の後で顔色が悪い)。きゅーや ぱち  
んこー まきー むいとう はだっさりむぬ  
(今日はパチンコで負けておもしろくない)。

**ぱたていー** [patati:] 【オノマトペ】パタッと。  
【例】ういびとうー んつん ぱたていー た  
うりーにゃーん (老人は道でパタッと転んだ)。  
[変異] ぱたていー。

**ばたふくる** [batafukuru] 【名詞】(お金やたば  
こなどを入れる) キンチャク袋。【例】ばたふ  
くるんかい でいんぬ いりー (財布に金を入  
れる)。

**ばたふさい** [batafusai] 【動詞】[r/rr 語幹] 腹  
を立てさせる。【例】かいはん ばたふさらい  
にゃーん (彼に腹を立てさせられた ([>彼の  
言動で腹が立った])。[変異] ばたっさい。

**ばたふさい** [batafusai] 【形容詞】腹立たしい。  
【例】ばたふさいかいば ならん (腹立たしく  
てならない)。[変異] ばたっさい。

**ばたふっじゃ** [batafuzza] 【名詞】他人の感情を逆撫でする人、人をイライラさせる人。

【例】かりゃー むいとうぬ ばたふっじゃ やいば かいが やかたんな びじゃだうり (彼はとても他人の感情を逆なでする人だから彼のとなりに座るな)。

**ばたふっず** [batafuzzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] 他人の気分を害する、他人をイライラさせる。

【例】まーぬ ひとうーぎゃー ばたふっずな (あまり人をイライラさせるな)。  
【類】ばたふっでい。

**ばたふっでい** [batafuddi] 【動詞】[母音語幹] 他人の気分を害する、他人をイライラさせる。

【例】からー ばたふっでいんまり やいば うりゅーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり (あいつは他人の神経を逆なでする奴だから彼を相手にするな)。  
【類】ばたふっず。

**ばたぶに** [batabuni] 【名詞】お腹の骨 [おなかに骨はないが、大笑いするときの比喩に使われる]。【例】あてい ばかすかいば ばたぶにぬ ぶいきゃ ばらいーにゃーん (余りにも面白いのでお腹の骨が折れるまで笑った)。

**はだやらび** [hadajarabi] 【名詞】手のかからない子供。

**はだら** [hadara] 【名詞】[C] 《魚》ヤクシマイワシ、トウゴロウイワシ [浜辺に群れを作って泳ぐ鱗のかたい小魚]。【例】はだらぬ いーきゃー かたかいば はずぐり (やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい)。

**ばたら** [batara] 【名詞】[C] 《生物》ワタリガニ科イシガニ。【例】ばたらん うゆびゃー かんむらいーにゃーん (バタラに指を噛まれてしまった)。

**はたらつ** [hataratsi] ① 【動詞】[k 語幹] 働く。

【例】ていーん はらぬ いでいきゃ はたらつ (手にマメができるまで働く)。  
【変異】はたらふ。② 【名詞】働き、稼ぎ。

**はたらふ** [hatarafu] 【動詞】[k 語幹] 働く。

【変異】はたらつ。

**ばたらみつ** [bataramitsi] 【動詞】[k 語幹] (足を)バタバタさせる。

【例】やらびゃー がんなりー はっじゅ ばたらみきゅーたい (子供は駄々をこねて足をバタバタしていた)。

**ばたんつ** [batantsi] 【動詞】[k 語幹] 満腹になる。

【例】ばたんちゅーば んめ ふあーいん (おなかがいっぱいでもう食べられない)。つふあんみぬ まいんきや むぬーぎゃー ばたんつきや びびききや ふあうだら (子供たちのところに行くとき食事をお腹いっぱいになるまで、口からあふれるほど食べる)。

**ばちやみ** [batçami] ① 【動詞】[母音語幹] [C]

大事にしまう、隠す。【例】ばが ばちやみー あたい さきぬどう ひなりゅー (私が大事に取って置いた酒が減っている)。でいんぬぎゃー まさがんていー ばちやみゅーき (お金をちゃんとしまっておけ)。  
② 【動詞】[母音語幹] [C] (食器等を)片付ける。【例】ちやばんぬ あらいー ばちやみる (湯呑を洗って片付けなさい)。まかいゆぎゃー ばちやみーんなし (お椀を片付けてしまいなさい)。まかいや ばちやみらいどうー (お椀は片付けられている) 【類】ばちゃん。

**ばちゃん** [batçan] ① 【動詞】[m 語幹] [C] 大事にしまう、隠す。

【類】ばちやみ。② 【動詞】[m 語幹] [C] (食器等を)片付ける、しまう、隠す。【類】ばちやみ。③ 【名詞】[C] 片付けること、しまうこと。【例】ぺんな ふかばちゃんひー どうみらいん (ペンを奥深くしまっで見つけられない)。

**はつ** [hatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] (動詞基本形について)動作が尽きる、終わる。

【例】なうばい ふあーんまい ふあうはたいん (どんなに食べても食べきれない)。  
【類】はてい。

**ばつ** [batsi] ① 【動詞】[k 語幹] [A] 湧(わ)く。

【例】みずぬ いすぬ ばすからどう ばきー

ゆー（水が石の間からわきでている）。[類] ばき。②【動詞】[k 語幹] [A]（お湯が）沸（わ）く。【例】なびぬ みっじゃ ばきー どうー（鍋のお湯は沸いている）。[類] ばき。③【動詞】[k 語幹] [A] 発酵する。[類] ばき。

**ばつ** [batsi] 【動詞】[k 語幹] [C]（鋸で木を）切る。【例】ぬくずーひー きーゆ ばつ（鋸で木をきる）。

**ばつ** [batsi] 【名詞】[B] ばち（があたる）、罰（を受ける）。【例】かりヤー やなばつちや あたりー すにーにヤーん（彼は悪い罰を受けて死んでしまった）。きゅーや がっこーん ばつちや ひらいたい（今日は学校で罰を受けた）。

**ばっし** [baççi] 【動詞】[母音語幹] [A] 忘れる。【例】くぬいや むいとう むぬー ばっしー ならん（最近はよくものを忘れて仕方がない）。ういびとう なりー ひとつぬ はなっ そうぎヤー すぐ ていびから ばっしーどうーい（年取って人の話したことを即座に忘れてしまう）。みどうんぬ くとうーぎヤー ばっしる（女の事は忘れる）。べんとーゆぎヤー ちゅっふいやーば むちーいつ むぬーぎヤー ばっしーな（弁当を作ったので持っているのを忘れるな）。かぎゅー かばん いらゆーたい くとうー ばっしーにヤーん（鍵をかばんに入れていたことを忘れていた）。

**ばっじやい** [bazzai] 【動詞】[母音語幹]（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。【例】っぞうー ばっじやいる（魚をさばく）。[類] ばっず、ばっじやう。

**ばっじやう** [bazzau] 【動詞】[w 語幹]（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。【例】っぞうー ばっじやう（魚を調理用に鱗を剥いだり、内臓を取り出したり、肉を切ったりする）。わーゆ ばっじやう（豚を調理用に内臓を出したり、毛を剥いだり、肉を切ったりする）。[類] ばっず、ばっじやい。

**はっじゃき** [hazzaki] ①【動詞】[母音語幹]（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。[変異] ぱっじゃき。[類] はっじゃつ、はっじゃす。②【動詞】[母音語幹]（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。。

**はっじゃす** [hazzasi] ①【動詞】[s/h 語幹]（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。【例】かぬふっじゅ うんかっでいーひー はっじゃきー げんのーひー うなが うゆびゅー っつきーにヤーん（釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった）。[変異] ぱっじゃす。[類] はっじゃつ、はっじゃきはっじゃす。②【動詞】[s/h 語幹]（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。。

**ばっじやす** [bazzasi] 【動詞】[s/h 語幹] 捌（さば）く。【例】っぞうー ばっじやす（魚を捌く）。[類] ばっじやい、ばっじやう、ばっず。

**はっじゃつ** [hazzatsi] ①【動詞】[k 語幹]（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。【例】まとう はっじゃきー うーつつひー うなが はっじゅ ったきーにヤーん（的を外して大ハンマーで自分の足を叩いてしまった）。[変異] ぱっじゃつ。[類] はっじゃす、はっじゃき。②【動詞】[k 語幹]（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。。【例】いつはっじゃき（行きそびれる）。ふあうはっじゃき（食べそびれる）。すかまー あすぱっじゃきーにヤーん（仕事をやり損ねた；ちゃんとできなかった）。やーや ふつはっじゃきーにヤーん（家を作りそこなった〔「作る機会がなかった」と「ダメな家を作った」の両方の意味がある）。

**はっず** [hazzi] ①【動詞】[zz/dd 語幹] [C]（服を）脱ぐ。【例】あいぬ とうくまん つんぬ



ぎゃー はっじゃん (そんなところで服を脱ぐな)。[類] はだつ、はだだつ、はっでい。◎【動詞】[zz/dd 語幹][C] (仲間から) 外れる。

**ばっず** [bazzi] 【動詞】[zz/dd 語幹][A] (魚、ヤギ等を) 捌 (さば) く。【例】ひんじゃう ばっじ (ヤギをさばけ)。[類] ばっじゃい、ばっじゃう。

**ばっだ** [badda] 【名詞】[C] 脇。【例】ばっだー ばっだかじゃぬどう あす (脇は腋臭がする)。

**ばっだかじゃ** [baddakaza] 【名詞】腋臭。

**はだかす** [haddakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (服を) 脱がす、(人が人に指示して服を) 脱がせる。[類] はだかす。

**はだかす** [haddakasi] 【動詞】[s/h 語幹] (服を) 脱がせる。【例】つんぬ はだかし (服を脱がせろ)。[変異] はだかす。

**はだき** [haddaki] 【動詞】[母音語幹] (服を) 脱ぐ。【例】つうあが つふす一つんぬ はだきーみる (お前の汚い服を脱いでみる)。[変異] はだき。[類] はだだつ、はだす、はだす。

**ばだぎー** [baddagi:] 【名詞】脇毛。

**ばだだき** [baddadaki] 【名詞】脇までの高さ、深さ。[類] ばだだつ。

**ばだだつ** [baddadatsi] 【名詞】脇までの高さ、深さ。【例】かりゃー ばが ばだだつ (彼は私の脇までしかない)。うまぬ いんな ばが ばだだつ ((海の) あそこのあたりは脇ぐらいの深さだ)。[類] ばだだき。

**ばだだに** [baddadani] 【名詞】脇のリンパ腺。【例】ばだだにぬどう ふくりゅー (脇のリンパ腺が腫れた)。

**はだだつ** [haddatsi] 【動詞】[k 語幹] (服を) 脱ぐ。【例】ふくー はだだきー うーっじゅ

あっそう (服を脱いで水浴びしなさい)。[変異] はだつ。[類] はだだき、はだつ。

**はっでい** [haddi] ①【動詞】[母音語幹][C] (服を) 脱ぐ。【例】おい すぶたら、うぬ すぶたい つんぬぎゃー はっでい (おい、この不潔野郎、その不潔な服を脱げ)。[類] はだだつ、はだだつ、はっず。◎【動詞】[母音語幹][C] (仲間から) 外れる。【例】やなどうすんみから はっでいー はりーにゃーん (悪い友達グループから抜けた)。

**はっどー** [haddo:] 【成句】はず (はずだ) + どー (終助詞) の縮約形、~はずだよ。【例】あいはっどー (そのはずだよ)。なつはっどー (なくはずだよ)。いつはっどー (行くはずだよ)。にゅーはっどー (眠るはずだよ)。なうがらはっどー (何かあるはずだよ)。

**ばっぱい** [bappai] ①【動詞】[母音語幹] 間違える。【例】えげ、んっちゅ ばっぱいーにゃーん (しまった、道を間違えた)。かにゅー まさいていー ばっぱいーにゃーん (カニをマサイだと見間違えた)。けーさんぬぎゃー ばっぱいな (計算を間違えるな)。◎【名詞】勘違い、間違い。【例】つつばっぱい (聞き間違い)。みーばっぱい (見間違い)。きゅーまい けいさんばっぱいや ひーにゃーん (今日も計算間違いをしてしまった)。

**はてい** [hati] 【名詞】[B] はるか遠く、1番はしの所。【例】かまぬ はてい (ずっと向こうの方)。かまぬ ぶらはていたーひー いきゅーたい (あの遠くにある保良まで行った)。

**はてい** [hati] 【動詞】[母音語幹][A] (動詞基本形について) 動作が尽きる、終わる。【例】なうばい ふあーんまい ふあうはていらいん (どんなに食べても食べきれない)。あてい かーま やいば いつ はていらいん (とても遠いので行き着くことはできない)。かいが あばらぎさー あいはていらいん (彼女の美しさは言い尽くせない)。きゅーんな うぬ ほう

んな ゆんはていらいん（今日中にはその本は読み切れない）。[類] はつ。

**はてい** [hati] 【形容詞】[A] 果敢な、向こう見ずな。【例】はていみどうん（失敗を恐れない果敢な女性）。

**はていびとう** [hatibitu] 【名詞】（失敗を恐れない）果敢な人、向こう見ずな人。【例】かりゃー なうゆまい いっづいん はていびとう（彼・彼女は何をも恐れない強い人だ）。[類] はていむぬ。

**はていみどうん** [hatimidun] 【名詞】勇敢で、怖さを恐れない女性。【例】うぬ はていみどうんな あつないや ひどう うやきん なりーにゃーん（その失敗を恐れない女性は商売をして裕福になった）。

**はていむぬ** [hatimunu] 【名詞】怖さを知らない人。[類] はていびとう。

**はとう** [hatu] 【名詞】[B] 山鳩。

**はな** [hana] ① 【名詞】[B]（家、机、モノの）上、上の方、（階級などの）一番上。【例】やーぬ はなんかい かーらう ぬーす（家の上 [= 屋根] に瓦をのせる）。つくいぬ はなんかい ぬーいな（机の上に乗るな）。やーぬ はなんどう つっちゆぬ いじゅー（家の上に月が出ている）。どうすぬ はな あぐぬ はな とうゆまし（友達の上（一番）として同級生の上としてえらくなりなさい [古謡：[ますむいぬ歌] から）。② 【名詞】[B] 供え物の上または端のごく一部分。【例】かんかい はなう うさぎ（供え物の上または端のごく一部を神に供える [供え物を用意して、神にお祈りをして、それから供え物の一部をトゥムたちがとって神に供える]）。

**はな** [hana] 【名詞】[B] 花。【例】はなぬ つぶん（花のつぼみ）。はなー さきーどうー（花が咲いている）。

**はな** [hana] 【名詞】[B] 鼻。【例】びだばな（低い鼻）。たかばな（高い鼻）。はなぬ あーぎん ほうがさぬ いでいー いちやかいば ならん（鼻の上の方におできができて痛くてしかたがない）。からー あてい いばいかいば かいが はなー ぶらだかー ならん（あいつは威張りすぎてるので、あいつの鼻をへし折ってやらないといけない）。

**ばな** [bana] ① 【名詞】[B] 頃、時期、時分。【例】てだぬ ぬーい ばな（太陽がのぼる頃）。すかま あすばな（仕事を始める頃）。たかー ふー ばな なりーどうー（サシバが飛来する時期になっている）。んめ っさらんかい つふばな（もう平良に着く時分だ）。ロサンゼル っさ んなまずぶんな んめ ゆい ふあうばな（ロスアンジェルスはいまごろはもう晩御飯を食べる時分だ）。② 【名詞】[B]（あることをする）年頃、適齢期。【例】ぶとうとうみ ばな（夫を探す年頃 [= 女性が結婚する年頃]）とう ずとうみ ばな（妻を探す年頃 [ > 男性が結婚する年頃]）。んまがー んめ がっこー いでい ばな なりーどうー（孫は学校に入学する年頃になっている）。

**ばな** [bana] 【名詞】[B] 紐などを輪の形にして獲物を捕るためのもの、罟。【例】ばなひー たかう ふんず（紐を輪にしたワナで鷹を引っ掛ける）。

**はない** [hanai] 【動詞】[r/r] 語幹 [C]（場所から）離れる、（人から）別離する。【例】ふにゃー んなとうから はなりーはい（船は浜から離れて行く）。みどうんな ばんから はなりー はりーにゃーん（妻は私から離れて行ってしまった）。[類] はない（母音語幹）。

**はない** [hanai] 【動詞】[母音語幹] [C] 離れる。

**はなう ならす** [hanau narasi] 【成句】[s/h] 語幹 いびきをかく。【例】ぶじゃー はなー

ならひー につづー (おじさんはいびきをかきながら寝ている)。

**はなう ひつ** [hanau hitsi] 【成句】 [k 語幹] 風邪をひく、くしゃみをする。【例】やらびやー はなー ひきどう につちや いだひー につづー (子供は風邪をひいて熱を出して寝ている)。はなひつ とうきやんな ひとうん かい つつじゅぎやー とうばすな (くしゃみをするときには唾を飛ばすな)。なうががら はなひつ びとう (何かしらよくクシャミする人)。

**ばなかん** [banakan] 【助詞】 (動詞基本形について)～している間に。【例】やらびぬ につづーばなかん つんぬ あらーでい (子供が寝ている間に洗濯しよう)。ささぎゆーいぬ ばなかん びきどうんな ほうからっさひー なきーたーな うたい (結婚式の間、新郎はうれしくてずっと泣いていた)。

**はながんふ** [hanaganfu] 【名詞】 (浜からみて) 上にある岩。【例】はながんふぬ あーぎんな とういがまぬ うたい (岩の上に小鳥がいた)

**はなぎー** [hanagi:] 【名詞】 《植》 ブッソウゲ、ハイビスカス。

**はなす** [hanasi] ① 【動詞】 [s/h 語幹] [C] (人や物を人や物から) 離す、離れたところに連れていく、(部品を本体) 外す。【例】んまー いすがすかいば うぬ なつっじゃうぎやー はなひー うき (お母さんは忙しいのでその泣き虫を離しておきなさい)。っざらう ゆるから はなす (鎌の刃を柄からはずす)。みがにゆー はなひーみーる (メガネを取ってみろ)。ぬーまん ぬーいとうきやんな たづなうぎやー はなはん (馬に乗るときには手綱は離さない)。② 【動詞】 [s/h 語幹] [C] (絡まったものを) ほどく。【例】いとうー がでいらくんなり どう なうちゆんま はなはいん (糸がからまってぜんぜんほどけない)。

**はなす** [hanasi] 【名詞】 [B] 話、相談、お話し。

【例】うたきんな じゃう はなっそうたーな あっそう (ウタキではいい話だけしなさい)。つづあとう はなすぬどう あい (お前と話がある)。あいぬ はなっそうぎやー つきやー みーん (そんな話は聞いたことがない)。

**はなず** [hanazi] 【名詞】 [A] (船などの) 先頭部分、(動物などの) 鼻先。【例】ふにぬ はなず (船の船首)。ぬーまぬ はなず (馬の鼻先)。[変異] はなでい。

**はなた** [hanata] 【名詞】 [A] 崖、絶壁。【例】いんぬ はなた (岸壁)。やまぬ はなた (山の崖になっているところ)

**はなでい** [hanadi] 【名詞】 [A] (船などの) 先頭部分、(動物などの) 鼻先。【例】ふにぬ はなでい (船の先端)。[変異] はなず。

**はなならす** [hananarasi] 【名詞】 いびき。【例】かまぬ っざが はなならっさ んじやたーひーまい つかいどうす (あそこのお父さんのいびきはどこまでも聞こえる)。

**はなぬばー** [hananupa:] 【名詞】 《祭礼》 七柱の上位五人の司 [ウーンマ、アークシャ、ナカバイ、アークシャヌ トウム、ウーンマヌ トウムからなる]。[類] はなぬんま。

**はなぬんま** [hananumma] 【名詞】 《祭礼》 七柱の上位五人の司 [ウーンマ、アークシャ、ナカバイ、アークシャヌ トウム、ウーンマヌ トウムからなる]。[類] はなぬばー。

**はなひつ** [hanahitsi] 【名詞】 風邪、くしゃみ。【例】からー いつまい ゆーどう はなひつ あす (彼はいつもくよくしゃみをする)。

**はなぶー** [hanabu:] 【名詞】 下駄などの緒の先の部分、鼻緒。【例】あっちゃぬ はなぶーぬ つつていーにやーん (下駄の鼻緒が切れた)。

**はなみず** [hanamizi] 【名詞】 鼻水。

**はなむつ** [hanamutsi] 【名詞】(海岸の) 切り立っているところ、崖。【例】いんぬ はなむつ (海岸べりの崖)。

**ばなむぬ** [banamunu] 【名詞】分担金や分担品(村の祭事、台風等で各戸に割り当てられる)。【例】かでいふつぬ あとうんな ばなむぬー いだす (台風の後には割り当てを出す)。ばなむぬー たるまい いだはだかー ならんむぬ (割り当て金は誰もがみな出さなければならぬものだ)。

**はなり** [hanari] 【名詞】[C] 離れ小島。【例】さんしんばなり (三線離れ小島)。[変異] ばなり。

**ぱなり** [panari] 【名詞】[C] 離れ小島。[変異] はなり。

**はに** [hani] 【名詞】[B] 羽根、翼。【例】とういぬ はに (鳥の羽根)。[類] はにがい。

**はにがい** [hanigai] 【名詞】翼。[類] はに。

**はにぐい** [hanigui] 【動詞】[r/rr 語幹] 跳ね返る。【例】やきゆーぬ ぼーるー はにぐりー ばぬんかい うちャーリーにャーン (野球のボールは跳ね返って、ぼくに当たった)。んきャーんぬ っしャー っそうー まいきャー しーるぬ はにぐりっちゅーたい (昔のトイレは糞をすると水肥が跳ね返った)。

**ばぬー** [banu:] 【代名詞】[C] 一人称単数代名詞目的格形 私を、ぼくを [複数形は「ばんちゅー」(「私たちを、僕たちを(聞き手を含まない)」)]。【例】ばぬー みーる (私を見てください)。ばぬーぎャー まさいていどう あい (私はマサイと言います [自分の名前を言う時の言い方]) [類] ばん、ばが、ばぬんかい。

**ばぬんかい** [banuŋkai] 【代名詞】一人称単数代名詞与格 私に、ぼくに [複数形は「ばんていんかい」(「私たちに」聞き手を含まない)]。【例】ばぬんかいまい っさひー ふいーる

(私にも知らせてください)。[類] ばん、ばが、ばぬー、ばぬんかい。

**はばす** [habasi] 【名詞】[C] 歯茎、歯間。【例】はばすぬどう ふくりゅー (歯茎が腫れている)。

**はばつ** [habatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (職などを) 探す、(必要なものを) 調達する、工面する。【例】すかまう はばきーくーでい (仕事を探してくる)。からー むぬ はばつ じゅー (彼は物資を調達するのが上手い)。

**ばばん** [baban] ①【形容詞】[B] とても気前の良い; ものにこだわらない; ; (仕事が) おおざっぱだ。【例】かりャー ばばんんまり (彼は気前よしだ、ものにこだわらない)。かいが すかまー ばばんかいばならん (彼の仕事はおおざっぱだ)。②【名詞】[A] 気前の良くふるまうこと。【例】なうゆまい すぐ ばばんな ひー ひとつん ばきーふいー うながたまー にャーン (なんでもすぐきまえよく分けて、自分の取り分がない)。

**ばふ** [bafu] 【名詞】[C] 宮古上布の糸をヤマで整形して、それからカシギにかけて長さを測り、そのあとでバフに巻き、それからツミグルに巻いて織る。ツミグルより大きい糸巻。

**ばふうす** [bafuusi] 【名詞】大きいおすの牛、雄牛。【例】ばふうすんな がぼー んぬぬど う あい (牡牛には大きな角がある)。

**はま** [hama] 【名詞】[C] 浜、海岸 (主として砂浜、海岸の付近で魚や貝がとれるところ)。【例】じょ、はまんき っぞう とういが (さあ、浜に魚を取りに(行こう))。じょー はまうりが (さあ漁に出よう)。[変異] ひだ。

**はまい** [hamai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (ものが穴に) はまる。【例】っさびャー あなんかい ずみく はまりーにャーン (楔は穴に見事にはまった)。

**はまうつ** [hamautsi] 【名詞】浜辺。 [変異]  
はまふつ。

**はまうり** [hamauri] 【名詞】漁に出ること。  
【例】きゅーや かじゃー ふきー はまうりや  
ー ひらいん (今日は風があつて漁に出られない)。

**はまぐんぼう** [hamagumbau] 【名詞】『植』  
アザミ。

**はまだてい** [hamadati] 【名詞】浜沿い。【例】  
はまだていん あいきー いき (浜に沿って歩いて行け)。

**はまふつ** [hamafutsi] 【名詞】浜辺。【例】は  
まふつがまん なながまぬ ぶりーうい (浜のほうにさざ波が押し寄せている)。はまうつ  
んな はいまがながまぬ うい (浜辺には足の速いカニがいる)。[変異] はまうつ。

**ばみつ** [bamitsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] 大声  
を出して騒ぐ、大声を出す、喚く。【例】あい  
や ほうりぎなりや ばみかん (そんなに馬鹿  
みたいに喚かない)。つうあがどう ばいかい。  
まーぬ ばみかだうり (お前が悪い。大声で騒  
ぐな)。②【名詞】[A] 大声を出して騒ぐこと。  
【例】ほうりばみつ (バカ騒ぎ)。

**はむぬ** [hamunu] 【名詞】[A] 刃物。

**はやーす** [haja:si] 【動詞】[s/h 語幹] (植物のつ  
る、雑草などを) 繁らせる、繁茂させる。【例】  
びーずん なるーば っふあいや いりー ん  
ーぎーゆ はやーす (春先になったので肥料を  
入れて芽づるを成長させる)。あっじゃきやー  
ばっしー っさー はやーひーにやーん (畑  
の端の草刈りを忘れて、雑草を繁茂させてしま  
った)。[類] はやらす。

**はやい** [hajai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (植物が)  
生い繁る。【例】んーぎーや あうたんなり  
ー ういー はやいー どうーい (芋の木(蔓)  
は青々と生えて蔓は伸び繁っている)。

**はやい** [hajai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (疫病、フ  
アッションなどが) 流行る。【例】かさがまぬ  
どう はやりゅー (麻疹が流行っている)。フ  
アッション、映画

**はやまり** [hajamari] 【副詞】さっさと、早く、  
急いで。【例】はやまり ふあい (さっさと  
食べる)。

**はやらす** [hajarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (植物  
のつる、雑草などを) 繁らせる、繁茂させる。  
【例】はいかでいぬ はやらしばよー (南風が生  
い茂らすからだよ [古謡「豆が花」から]) [類]  
はやーす。

**はら** [hara] 【助数詞】「村」を数えるため助数詞  
[歌語]。【例】すまんーなぬ みそうばらぬ  
そうじゃがまた (島全体の 30 の集落の先輩た  
ち)。[漲水のクイチャー]

**はら** [hara] 【名詞】[C] 柱。【例】うずんばら  
やー (柱を地面に埋め込んだ小屋)。ぶとう  
ー やーぬ んなかばら (夫は家の大黒柱だ)。  
くっそう はらんかい たでいー (腰を家の柱  
に当てる)。

**はら** [hara] 【名詞】[C] (肉体労働等で手などに  
できた) 肉刺(まめ)。【例】はらぬ いでい  
きや はたらつ (マメが出るまで働く)。

**ばら** [bara] 【名詞】[B] 藁。【例】ばらんな (藁  
綱)。

**ばらい** [barai] 【名詞】[A] 笑い。【例】ゆが  
ばらい (作り笑い)。ばーっふいばらい (冷やか  
し笑い)。なつばらい (泣き笑い)。ちゅっふい  
ばらい (作り笑い)。すたばらい (見下した笑  
い)。はがみばらい (照れ笑い)。ふからすぎば  
らい (嬉し笑い)。ほうりっじゃばらい (節操の  
ない笑い)。ほうりぎばらい (バカ笑い)。はな  
すかみばらい (鼻をしかめる笑い)。かいくん  
ばらい (大丈夫だと言う笑い)。

**はらいっぱい** [haraippai] 【成句】腹一杯。  
【例】ばー はらいっぱいてい あっじー あと

うん っさん ふいや ひー いかっさまい  
ふあう ひとうーどう ふあーん ふい なな  
まかいていー あい (私はお腹一杯と言って後  
でこっそりといくらでも食べる人を「食べない  
振り七お椀」と言う)。

**はらう** [harau] 【動詞】[w 語幹] [C] (ゴミや  
ほこりを) はらって取る、取り除く。【例】て  
れびぬ はなぬ ぷきゅー ういひー はらい  
(テレビの上のゴミをこれで取り除け)。

**はらう** [harau] 【動詞】[w 語幹] [C] (代金、手  
間賃、給料などを) 払う。【例】ていまーゆ  
はらう (手間賃を払う)。

**ばらう** [barau] 【動詞】[w 語幹] [A] 笑う。  
【例】みーや にやーんきや ばらいーにやーん  
(沢山笑った [く目がなくなるまで笑った])。わ  
いていー ばらい (うんと笑え)。からー ば  
らうっちゃー っさん (彼は笑い方を知らない、  
彼は冗談を理解しない)。

**はらうず** [harauzi] 【名詞】親戚 [血縁のみを  
含む]。【例】はらうず うぐなーい (親戚の  
集まり)。「はらうず」は近親関係。「うとうじ  
ゃ」は義理の関係も含んだ広い意味。「かたい」  
は姻戚を表す。はらうっじゃ かなすむぬ (親  
戚は愛おしい)。[類] うとうじゃ、かたい。

**ばらじゃん** [barazan] 【名詞】リーフでの追  
込み漁の一種。【例】っしん ばらじゃんぬ  
あす とうきやんな みじゅきぬ つぶん あ  
んな はりゅーとういどう っぞうーぎやー  
がにー とうい (リーフで追い込み漁をする  
ときは、瀬と瀬の間の深みに網を張っていてそ  
こに魚を追い込み、(網を) 引っ張ってとる)。

**はらす** [harasi] ① 【動詞】[s/h 語幹] [C] (人  
を家に) 帰す。【例】やらびゅーぎやー やー  
んかい はらす (子供を家に帰す)。② 【動詞】  
[s/h 語幹] [C] (船を) 航行させる。【例】ふに  
ゅー はらす (船を走らせる)。

**はらふにや** [harafunja] 【名詞】野にできる野  
生の大根。【例】くぬいや はらふにやまい  
みーらいん (最近では野大根も見えない)。はら  
ふにやー んぎやむぬ (野大根は苦い [辛味  
があるものも苦いという])。

**はらます** [haramasi] 【動詞】[s/h 語幹] (女性  
を) 妊娠させる、(子供を) 受胎させる。【例】  
みどうんぬ はらます (女をはらます)。みどう  
ん っふあう はらます (女に子をはらます)

**はらん** [haran] 【動詞】[m 語幹] [C] (子) を  
妊娠する。【例】みどうんつうあー はらみー  
どうー (娘ははらんでいる)。

**はらん** [haran] 【名詞】[B] 魚卵、白子。【例】  
っぞうぬ はらん (魚の体内のタマゴ)。びき  
ばらん (白子)。みーばらん (魚卵)。

**はり** [hari] 【名詞】[B] 屋根を支える木材、梁  
(はり)。【例】やーぬ はり (家の梁)。

**ばり** [bari] 【名詞】[A] 破片。【例】かーらぬ  
ばり (瓦の破片)。

**はる** [haru] 【名詞】[A] 春。【例】はるんなり  
ー んふふ なりーにやーん (春になって温く  
なった)。

**はるばんやー** [harubanja:] 【名詞】畑の番屋。  
【例】ひーまゆくいんな はるばんやーん ゆ  
くー (昼の休みには番屋で休む)。[類] はいば  
んやー。

**はるやー** [haruja:] 【名詞】専業農家。【例】  
はるやーたー いんぬ すかまうぎやー ほう  
ん (専業農家の人たちは漁業はしない)。

**ばるん** [barun] 【名詞】[B] ススキやサトウキ  
ビの穂のふくらみ。【例】ぶーずぬ ばるん  
(サトウキビの穂のふくらみ)。[成長しきると膨  
らみができる]

**はるんな** [harunna] 【名詞】《生物》カタツム  
リ。【例】あみぬ っふいぬ あとうんどう

はるんなー うんそうく うい (雨降りの後にカタツムリが沢山いる)。

**はん** [han] 【名詞】 [B] 印鑑。【例】はんぬうす (押印する)。

**ばん** [ban] ① 【名詞】 [B] 順番、担当；監視をすること。【例】くとうっさ はんちよーん ない ばん (今年は支部長になる順番だ [自治会の4つの支部の長を班長という])。はまばん (浜に行つてカツオの餌になる小魚を取る係り) きゅーや やーばん (今日は留守番)。うるー ばんな ひーうき (これを番しておけ)。② 【名詞】 [B] いること、滞在すること。【例】やらび あいきゃー ひとついぎゃーみゃーす いんぬ ばんあた (子供の頃は一日中海にいた)。

**ばん** [ban] 【代名詞】 [C] 一人称単数代名詞の単独形 私、ぼく [複数形は「ばんてい」(「私たち(聞き手を含まない)')]。【例】ばんから ほうでい (私からやろう)。ばんとう ひとつみ いかでい (私と一緒に行こう)。ばんまい っさだん (私も知らなかった)。うぬ し ゃしんー うっちゅー むぬー ばん (この写真に写ってるのは僕だ)。ばんつきゃー かいがどう たかかい (私より彼の方が背が高い)。うるーぎゃー ばんかい ふいーる (それを私にくれ)。[類] ばが、ばぬー、ばー。

**はんき** [han̄ki] 【名詞】 [B] 亀頭。【例】ばんきまら (亀頭の出た陰茎)。[変異] ばんき。

**ばんき** [paŋki] 【名詞】 [B] 亀頭。[変異] はんき。

**はんきまら** [han̄kimara] 【名詞】 陰茎、ちんぽこ。[変異] ばんきまら。

**ばんきまら** [paŋkimara] 【名詞】 陰茎、ちんぽこ。[変異] はんきまら。

**ばんきまらんーた** [paŋkimaran:ta] 【名詞】 [植] イチゴ。[類] ばんきぬそうらんーた。

**はんし** [han̄çi] 【動詞】 [母音語幹] [A] 完遂する、(難しい仕事を) やり遂げる、(借金を) 完済する、(登山などに) 挑戦しやり切る。【例】はんめ うぬ すかまー はんしーだー (もうその仕事はやってある)。うっかうぎゃー こんげつひー はんしらいどうす (借金をこんげつで完済できる)。きゅーや ふじさんぬ はなんかい はんしーみーでい (今日は富士山の頂上に登ってみるぞ)。

**はんし** [han̄çi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (的を) はずす、(動詞連用形について) ~するのに失敗する、~損じる。[変異] はんでい。

**はんじ** [han̄zi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (的を) はずす、(動詞連用形について) ~するのに失敗する、~損じる。[変異] はんでい。

**はんじやう** [han̄zau] 【名詞】 繁盛、繁栄。【例】かまぬ きないや はんじやうや ひどううやきゃー ほうー (あそこの家庭は繁栄していて、裕福だ)。

**はんじやつ** [han̄zatsi] 【動詞】 [k 語幹] (的を) はずす、失敗する。【例】かにふっじゅげんのーひー うちやつじやいきー はんじゃきーにゃーん (釘を金づちで打とうとして、はずしてしまった)。[類] はっじやつ。

**ばんじゅーがに** [ban̄zu:gani] 【名詞】 直角に曲がった金属製の物差し、大工道具の一つ。指金、曲尺(かねじゃく)。

**はんず** [han̄zi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] (的を) はずす、(ひもなどを) 切り離す、(動詞連用形について) ~するのに失敗する、~損じる。【例】かにふっじゅげんのーひー うちやつじやいきー はんじーにゃーん (釘を金づちで打とうとしてはずしてしまった)。ん<sup>°</sup>なう かたなひー はんず (縄を包丁で切り離す)。むぬー ふあいはんじーにゃーん (飯を食い損じた)。ん<sup>°</sup>なう かたなひー つーはんず (縄を包丁で切り離す)。[変異] はんっず。[類] はんじやつ、はんす。

**はんっず** [hanzzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] (的を) はずす、(ひもなどを) 切り離す、(動詞連用形について) ~するのに失敗する、~損じる。[変異] はんず。[類] はんじゃつ、はんす。

**ばんず** [banzi] 【名詞】[A] 人生の最盛期、(子育てなどの) 忙しい時期、真っ最中。【例】かぬ ばかむぬー んなまどう ばんず (あの若者はいまが最盛期だ)。さら ばんず (人生の盛り)。っふあむつ ばんず (子育てでの真っ最中)。ひーまぬ ばんず (真っ昼間)。

**はんた** [hanta] 【形容詞】[A] 繁多、忙しい。【例】きゅーや はんたかいば ならん (今日は忙しくてならない)。[変異] ぱんた。

**ばんた** [banta] 【代名詞】[C] 一人称複数形、私たち。[類] ばんてい。

**ぱんた** [panta] 【形容詞】[A] 繁多、忙しい。[変異] はんた。

**はんたい** [handai] 【名詞】鼻たれ小僧。【例】はんたい やらび (鼻たれを垂らした子供)。[変異] ぱんたい。[類] はんだら。

**はんだま** [handama] 【名詞】『果物・野菜』『食』水前寺菜 [春菊にいた野菜]。

**はんだら** [handara] 【名詞】鼻たれ小僧。【例】くぬいや ぱんだらまい みーん (最近鼻たれ小僧もいない)。[変異] ぱんだら。[類] はいだい。

**ぱんだら** [pandara] 【名詞】鼻たれ小僧。[変異] はんだら。

**はんち** [hantçi] 【動詞】[母音語幹] [C] かじる。[変異] はんっち。[類] はんつ、はんっつ、はんつー。

**ばんちくら** [bantçikura] 【名詞】グアバ。[変異] ばんちゅくら。

**はんちまー** [hantçima:] 【名詞】いい加減な奴。[変異] はんつまー。

**ばんちゅくら** [bantçukura] 【名詞】グアバ。【例】やらびあいきゅー ばんちゅくらう ゆー ふあうたい (子供の頃はよくグアバを食べた)。ばんちゅくらー んみーどう (グアバは熟している)。ばんちゅくらう むい (グアバを挽ぎ取る)。[変異] ばんちくら。

**はんつ** [hantsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] (的を) はずす、(動詞連用形について) ~するのに失敗する、~損じる。[類] はんず、はんじゃつ、はんでい。

**はんつ** [hantsi] 【動詞】[cc/tt 語幹] [C] かじる。[変異] はんっつ、はんつー。[類] はんっつ、はんっち。

**はんつ** [hantsi] 【名詞】[C] かじること。[変異] はんっつ。

**ばんつぎー** [bantsigi:] 【名詞】桑の木。【例】ばんつぎーぬ んーたー んみーどうーい (桑の実が熟している)。

**ばんつぎーぬない** [bantsigi:nunai] 【名詞】桑の実。【例】ばんつぎーぬないや んめ んみー どう (桑の実がもう熟している)。[類] ばんつぎーぬみー。

**ばんつぎーぬみー** [bantsigi:numi:] 【名詞】桑の実。[類] ばんつぎーぬない。

**はんっつ** [hanttsi] 【動詞】[cc/tt 語幹] かじる。【例】っぞうー はんっちー ふあい (魚を(生のまま) かじって食べる)。うぬ ひんじゅー なまにー やいば はんちやいん (このヤギは生煮えなのでかみ切れない)。[変異] はんつ、はんつー。[類] はんち、はんっち。

**はんっつ** [hanttsi] 【名詞】かじること。【例】っぞうー なまばんっつ あす (魚を(調理し



ないで) 生のままかじって食べる)。[変異] はんつ、はんつー。[類] はんち、はんっち。

**はんつまー** [hantsima:] 【名詞】 いい加減な奴。 [変異] はんちまー。

**はんでい** [handi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (的を) はずす、(動詞連用形について) ~するのに失敗する、~損じる。 [変異] はんじ、はんし。 [類] はんじやつ、はんす、はんでい。

**はんでい** [handi] 【動詞】 [母音語幹] [A] はみ出る。 【例】 からー たかかいば もーふから はっじゃ はんでいーどうー (彼は身長が高いので毛布から足がはみ出ている)。

**ばんてい** [banti] 【代名詞】 [C] 一人称複数形、私たち。 [類] ばんた。

**はんばむぬ** [hampamunu] 【名詞】 半端もの。 【例】 すかまー ひらいん はんばむぬ (仕事

のできない半端者)。

**はんまい** [hammai] 【名詞】 食糧、食べる物。 【例】 きばんかいば きゅーぬ はんまいまいにゃーん (貧乏だから今日の食糧もない)。

**ばんまい** [bammai] 【接尾辞】 動詞未然形や形容詞について譲歩を表す、「~ても」。 【例】 くーきゅー いらばんまい たいやーや はずまん (空気を入れたのにタイヤが膨まない) さきやー いかっさ ぬまばんまい びゅーいん さきじゅー ばりがみ (酒をいくら飲んでも酔わない酒豪だ) たかからばんまい やすからばんまい なうやらばんまい かーでい ((値段が) 高かろうが安かろうが何でも良いから買います)。 [類] んまい。

**ばんや** [banja] 【名詞】 [B] 番屋、番小屋。 【例】 ばんやんかい やまばん あすが いかでい (番屋に山番しに行こう)。

# ひ

ひー [hi:] 【助詞】《格助詞》手段、道具を表す格助詞、「で」。【例】うぎんひー っぞうー つふ（銚で魚を突く）。うますひー むぬー はさみー ふぁう（お箸で食べ物を挟んで食べる）。

ひー [hi:] 【助詞】《接続助詞》「やひー」の形で、コピュラの連用中止法を表す、「で」「なので」。【例】やぐいやひー やどうゆん あす（大声でケンカする）。やびとーんーな がんじゅーやひー うらまいんなー（皆さんお元気でいらっしゃいますか）。とうずぶとうばきやーいやひー まーいかたーにやーん（離婚してどうしようもない）。

ひー [hi:] 【名詞】[B] 日より、日取り。【例】きゅーぬ ひーや やぐみ じゃうどうりがま（今日はとてもいい天気だ）。きゅーぬ ひーや やぐみ じゃう ひゅーい（今日はとてもいい日取りだ）。

ひー [hi:] 【名詞】[B] おなら。【例】っさ びー（臭いおなら）。ひーゆ ひつ（おならをする）。[変異] びー。

ひー [hi:] 【名詞】[B] 女性器。【例】ひーゆ まず（性交する）。ひーぬ うい（女性の陰部が興奮して大きくなる）。[変異] びー。

ひー [hi:] 【名詞】[B] ニンニク。【例】びーっきな（ニンニクの漬物）。はいんどう びーぬ ういゆー（畑にニンニクが生えている）。[変異] びー。

びー [bi:] 【動詞】[z 語幹] [A] 座る。【例】うまん びじ（ここに座れ）。うまー びーまー

や あきーどうー（ここは座るところは空いている）。

びー [bi:] 【接尾辞】（～を主に引き受けて行う）人、（稼ぎ）手、（働き）手。【例】ぼんていが やーんな まうきびーや たうかーどうーい（私たちの家では稼ぎ手は一人しかいない）。つかなうびー（働き手）。しんどうー ふに はらす びー（船長は船を走らせる人だ）。

びー [pi:] 【名詞】[B] おなら。[変異] ひー。

びー [pi:] 【名詞】[B] 女性器。[変異] ひー。

びー [pi:] 【名詞】[B] ニンニク。[変異] ひー。

ひーき [hi:ki] 【名詞】[A]（戸、壁などで）あいていて向こうが見える穴。【例】やどうぬ ひーき（戸の穴）。[変異] びーき。

びーき [pi:ki] 【名詞】[A]（戸、壁などで）あいていて向こうが見える穴。[変異] ひーき。

びーぐじゃ [bi:guza] 【名詞】座ったまま中々立とうとしない人（尻の重い人）。【例】からー んめ ふーていがー やーんかい はらっでいや ほうん むいとうぬ びだく びーぐじゃ（彼はもうきたらもう家にはかえろうとしない尻の重い人だ）。[類] びーぐず。

びーぐず [bi:guzi] 【名詞】座ったまま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながちり。【例】まーぬ びーぐず あすな、とうずぬ まいんかい はり（そんなにながちりせずに、奥さんところに帰りな）。[類] びーぐじゃ。

**ひーさ** [hi:sa] 【名詞】 [C] 寒さ。【例】っぞう すん びーさ (魚が凍え死にそうな寒さ)。  
[変異] びーさ。[類] っしさ、びーふ。

**びーさ** [pi:sa] 【名詞】 [C] 寒さ。[変異] ひーさ。

**びーずん** [bi:zin] 【名詞】 春先。【例】びーずん なりー っさまい むいとぅ ういどぅー (春先になって草もとても青々として来ている)。

**ひーそうー** [hi:su:] 【名詞】 引き潮。【例】ひーそうーんな っしんゝん あすが いつ (引き潮にはリーフに漁をしに行く)。

**びーた** [bi:ta] ①【形容詞】 [C] (人や場所などが) じめじめして不潔だ。【例】うまー びーたかいば ならん (ここはとてもじめじめして不潔だ)。びーた やらび (水洩まみれで汚い子)。あみ ふーぬ はいや びーたかいば はいらいん (雨降りの畑は水でどろどろで入れない)。  
[類] すぶたい。②【形容詞】 [C] ~まみれだ、~だらけだ、(太陽、虫など) あふれている。【例】あしゃー びーた (汗がびっしょりだ)。っづあ どうるー びーたかいば かんきー あらいくー (お前は泥で汚いから井戸で洗って来い)。ていだー びーた (日がカンカン照りだ)。あっづあー びーた (脂だらけだ)。っしやなさー びーた (とても不潔だ)。っそう びーた (糞でまみれている)。っそうそうー びーたやらび (よだれを垂らした子供)。  
③【名詞】 [C] ~まみれ、~だらけ、(太陽、虫など) あふれていること [意味は形容詞に準じる。形容詞用法と違い、程度を問題にしない]。【例】うまー びーた やいば ばー びじゃじゃーん (ここはじめじめして不潔なので座らない)。

**びーた** [bi:ta] 【名詞】 [C] 酒座等でいつまでも居座る人、尻が重い人。【例】かりやー びーた やいば さきゅー ぬんきやー やーんか いや はらっでいや ほうん (彼は尻が重いか

ら酒を飲んだら家には帰ろうとしない)。  
[類] びだく。

**ひーだき** [hi:daki] 【名詞】 笛、口笛。【例】ひーだきゅー びーていー ふつ (口笛をびーと吹く)。きーぬ はー ひーだき (木の葉の笛 (= 草笛))。[変異] びーだき。[類] すばびー。

**びーだき** [pi:daki] 【名詞】 笛、口笛。[変異] ひーだき。

**ひーちや** [hi:tʃa] ①【形容詞】 [A] 少ない。

【例】っづあー ひーちやかい むぬー とうい (おまえは少ない方をとれ)。ひーちやがま (少しだけ)。ひーちやかい でいん (少ない方のお金)。  
[変異] びーちや。[類] ひっちや、ぴっちや。②【名詞】 [A] 少量、すこし。【例】ひーちやぬ でいん (僅かのお金)。ひーちやまい にやーん (少しもない)。  
[変異] びーちや。[類] ひっちや、ぴっちや。

**びーちや** [pi:tʃa] 【形容詞】 [A] 少ない。[変異] ひーちや。

**びーちや** [pi:tʃa] 【名詞】 [A] 少量、すこし。  
[変異] ひーちや。

**ひーちやー** [hi:tʃa:] 【名詞】 女性器同士を合わせること。[変異] びーちやー。

**びーちやー** [pi:tʃa:] 【名詞】 女性器同士を合わせること。[変異] ひーちやー。

**ひーつ** [hi:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (きりなど尖った物で) 穴をあける。【例】いーがまひーかびーゆ ひーつ (千枚通しで紙に穴をあける)。  
[変異] びーつ。

**びーつ** [pi:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (きりなど尖った物で) 穴をあける。[変異] ひーつ。

**ひーていー** [hi:ti:] 【名詞】 太陽光線、(強い) 陽ざし。【例】なつぬ ひーていー (夏の陽射し)。

**ひーていーあみ** [hi:ti:ami] 【名詞】 日が照っているときに降る雨、日照り雨、天気雨。

【例】ひーていーあみぬどう つふゆー（日照り雨が降っている）。

**ひーていーじゃり** [hi:ti:zari] 【名詞】日焼け、太陽光線をまともに受けること。【例】なつぬ ひーていーじゃりやー ひどう どうーや つふたん なりゆーい（夏の日差しにさらされて、日焼けした）。

**びーない** [bi:nai] 【副詞】（否定を伴って）微動だに（～ない）。【例】くぬ いんな むぬーふいーきやたーひーや びーないやとうんまほうん（この犬はエサを与えるまでは微動だにしない）。うまん びーないや ほうだ びじうき（そこにじっとすわっている）。[類] ぶーない。

**ひーふ** [hi:fu] 【名詞】[A] 寒波。【例】っしびーふんな いんきー っぞうー っそー（寒波のときには海に行き行って魚を拾う）。っぞうすん びーふ（魚が凍え死ぬような寒波）。[変異] びーふ。[類] っしき、びーさ。

**ひーふ** [pi:fu] 【名詞】[A] 寒波。 [変異] ひーふ。

**ひーま** [hi:ma] 【名詞】[A] 昼、昼間。【例】ひーまむぬ（昼食）。ひーまぬ んなか（真昼間）。ひーまゆくい（昼休み）。

**ひーまあとう** [hi:maatu] 【名詞】午後1時から3時ぐらまで、昼過ぎ。【例】ひーまあとうん ひーに ほうでい（昼過ぎに昼寝をしよう）。

**ひーまばかつじゃ** [hi:mabakazza] 【名詞】『生物』岸の上トカゲ [赤っぽくて大きい]。【例】んーぬ かじゆーきやーどう ひーまばかつじゃぬ いでいっちゆーたい（芋を掘っていたら岸の上トカゲが出てきた）。

**ひーまむぬ** [hi:mamunu] 【名詞】昼食。 [類] すみやーすむぬ。

**ひーまら** [hi:marara] 【名詞】中性（男でも女でもない、オスでもメスでもない）の人や動物。 [変異] びーまら。

**びーまら** [pi:marara] 【名詞】中性（男でも女でもない、オスでもメスでもない）の人や動物。 [変異] ひーまら。

**ひーまらひんじゃ** [hi:marahinza] 【名詞】生殖器のない中性の山羊。【例】ひーまらひんじゃんな つーびまい ひらいんば つふあーなさはいん（中性のヤギには交尾もできないので、子供はできない）。[変異] びーまらひんじゃ。

**びーまらひんじゃ** [pi:marahinza] 【名詞】生殖器のない中性の山羊。 [変異] ひーまらひんじゃ。

**びーや** [bi:ja] 【名詞】[C] ゴキブリ。 [類] くーむや。

**ひかい** [hikai] ① 【名詞】[A] 光、輝き、明かり。【例】かまぬ ていんぬ あかびかいゆ みーる（あそこの空の赤い光を見ろ）。いなびかい（稲光）ちゅーびかい（強い光）。だいあもんどぬ ひかい（ダイヤの光）。[類] あかい。② 【形容詞】[B] まぶしい。【例】まなつぬ ていだー ひかいかいばならん（真夏の太陽はまぶしくてならない）。

**ひかい** [hikai] 【動詞】[r/r] 語幹 [C] 光る、輝く、明るくなる。【例】かまん ひかるー ほうっそうぎやー なうていどう あいが（あそこに光っている星はなんていうの）。かまー つふあかいば かまう ひからし（あそこは暗いからあそこを照らせ）。[類] あかい。

**ひがい** [higai] ① 【動詞】[r/r] 語幹 [C] 変化する、化ける、。【例】はうや かんぬ ひがいむぬ（ヘビは神の化けたもの）。まずむぬぬぐーにやん なりー ひがりー っちゆーい（幽霊が昆虫になって化けて来ている）。[類] ひ

がいー (r/rr 語幹)、ひがりー (r/rr 語幹)。◎【動詞】[r/rr 語幹][C] 破産する、夜逃げする。【例】かまぬ やーや ひがいりー はりーにやーん (あその家は破産してしまった)。かまぬ きないや ひがりー はりーにやーん (向こうの家は消え失せてしまった)。

**びかい** [bikai] 【動詞】[母音語幹][A] 賭けにまけて取られる。【例】でいんな びかいーにやーん (金は賭けで取られた)。かにふっじゅ びかいーにやーん ((子供の遊びで) 釘を賭けで取られる)。

**ひがいー** [higai:] 【動詞】[r/rr 語幹] 変化する、化ける、。【変異】ひがい。

**ひかず** [hikazi] 【名詞】[A] 日数、日取り。【例】かんにがいぬ ひかつじゅ とうい (祈願の日取りをとる)。

**ひがりー** [higarri] 【動詞】[r/rr 語幹] 変化する、化ける、。【変異】ひがい。

**ひがん** [higan] 【動詞】[m 語幹][C] うらやましがる、ねたむ。【例】あい ひがんとんてい なうぬ たみんまい ならん (そんなにうらやましがってもどうにもならない)。ひとつぬ くとうー ひがんな (他人のことをねたむな)。

**ひがん** [higan] 【名詞】[C] 彼岸。

**ひぎ** [higi] 【名詞】[B] 髭。【例】ひぎゃーぬびゅーば さんぱつやーんきー ひぎゅーそうらだかー ならん (ひげがのびたので、散髪屋に行って髭を剃らないといけない)。ひぎゅー うーす (ひげを はやす)。

**びき** [biki] 【接頭辞】(動物) 雄、男性。【例】びきひんじゃ (雄の山羊)。びきゆむぬ (オスのネズミ)。びきずみやぬどう なつ (オスのセミがなくのだ)。

**びきうす** [bikiusi] 【名詞】雄牛 (おうし)。

**びきだつ** [bikidatsi] 【名詞】独身男性、男やもめ。【例】ながびきだつ (ずっと独身の男)。びきだつせーねん ((結婚適齢期をすこしすぎた) 独身男性)

**びきどうい** [bikidui] 【名詞】雄鶏。

**びきどうん** [bikidun] ①【名詞】男。【例】みどりかいぬ うぐなーいんな いつまい びきどうんぬどう ひーちゃかい (みどりの集会にはいつも男性がすくない [「みどりの会」は西原地区の老人会の名前])。びきどうんういびとう (老人)。かまぬ やーんな びきどうんつうあ いつぬひと みどうんつうあー むゆぬひとつ うりーどう (向こうの家には男の子は5名、女の子は6名いる)。◎【名詞】夫。【例】ばが びきどうんな すかまんかい はりーにやーん (私の夫は仕事に行った)。

**びきどうんびー** [bikidumbi:] 【名詞】あぐら。【例】びきどうんびー あす (あぐらをか)く)。

**びきぬーま** [bikinu:ma] 【名詞】雄馬。

**ひきやう** [hikjau] 【動詞】[w 語幹][A] 引っ張る。【例】ん<sup>ろ</sup>なう ひきやい (綱を引っ張れ)。

**びぎやう** [bigjau] 【動詞】[vv 語幹][A] (すっぱいものを食べたりしたときに) 歯にしみる。【変異】ひぎやう 2。

**びぎやう** [bigjau] 【形容詞】[B] (すっぱいものを食べたりしたときに) 歯にしみる。【変異】ひぎやう 2。

**ぴぎやう** [pigjau] 【動詞】[vv 語幹][A] (すっぱいものを食べたりしたときに) 歯にしみる。【変異】ひぎやう 2。

**ぴぎやう** [pigjau] 【形容詞】[B] (すっぱいものを食べたりしたときに) 歯にしみる。【変異】ひぎやう 2。

**ひぎやう** [higjau] ①【形容詞】くすぐったい。

【例】かいん ばじゅつうあいー ひぎやうかいば ならっだん (彼にくすぐられてくすぐったくて仕方がなかった)。ひぎやうかいば ばじゅつうあだうり (くすぐったいからくすぐるな)。②【形容詞】(こわいので)鳥肌が立つ。  
【例】はかぬ まいゆ あいつていがー ひぎやうむぬ (墓の前を通ったら鳥肌が立つ)。

**ひぎやう** [higjau] ①【動詞】[vv 語幹] (すっぱいものを食べたりしたときに) 歯にしみる。

【例】やまとうぬ ひとつー そうーむぬー ふあーばんまい はーや ひぎやつうあんちゃ (やまとの人はすっぱいものを食べても歯にしめないそうだ)。  
[変異] ひぎやう、びぎやう。  
②【形容詞】(すっぱいものを食べたりしたときに) 歯にしみる。  
【例】そうーむぬー ふあいー はーぬ ひぎやうかいばならん (すっぱいものを食べて歯がしみて仕方がない)。  
[変異] ひぎやう、びぎやう。

**びきやどうむら** [bikijadumura] 【名詞】《具》

水字具 [門や軒先などに下げて魔除けに使う。角が魔物、幽霊の目を突いて追い払うと言われる]。

**びきりや** [bikirja] 【名詞】[C] 若い男性。【例】

かぬ びきりやとう とうずぶとうん なり (あの若者と結婚しろ)。

**びく** [biku] 【名詞】[C] 《歌語》男の子。【例】

びくが はな とうゆませ (男の子の出世頭になれ [古謡「マスムイのあーぐ」から])。

**ひぐい** [higui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (体が)

冷える、(液体、個体、食べ物などが) 冷える、(空間が) 冷える。【例】やらびゃー ひぐりーにゃーん (子供は体が冷えた)。みっじゃ ひぐりー さしーどうー (水は冷えて、肌にしみる)。あらー ひぐりーどうーい (外はとても寒い)。いんぬ みっじゃ ひぐりーどうー (海の水は冷えている)。

**ひぐい** [higui] 【名詞】[C] 寒さ、冷たさ、寒気。

【例】ひぐいや いりーどう っしふなりゆー ((冬の) 寒気が入って寒くなっている)。ひぐいつー (冷氣)。きゅーぬ ひぐいや やぐみ ひぐい (今日の冷たさは大変な冷たさだ)。

**ひぐい** [higui] 【形容詞】[B] 寒い; 冷たい。

【例】あうひぐい (肌寒い)。きゅーぬ みっじゃ ひぐいかいば ならん (水が冷たくてしかたがない)。

**ひぐらす** [higurasi] 【動詞】[s/h 語幹] 冷やす。

【例】みっじゅ ひぐらし (水を冷やせ)。

**ひぐる** [higuru] ①【形容詞】[B] (気候が) 寒い、(物が) 冷たい; (人が) 薄情だ、冷たい。

【例】きゅーや ひぐる (今日は寒い)。きゅーぬ かじゃー ひぐる (今日の風は冷たい)。ひぐる みず (冷たい水)。からー ひぐるっふあにゃーん (彼は冷たくない)。  
②【名詞】[A] 薄情な人。【例】からー ひぐる やいば でいんぬぎゃー かしゃーふいーんよ (彼は薄情者だから金は貸してくれないよ)。

**ひぐるつー** [higurutsi:] 【名詞】冷氣。【例】

ひぐるつーぬどう あい ()。

**ひさ** [hisa] 【名詞】[B] 足のくるぶしより下の

部分、足の甲、足首。【例】ひさう きー (つまづく)。ひさひー ぼーる きー (足の甲でボールを蹴る)。はずぬ ひさう かつん (足首をつかむ)。  
[変異] っさ。[類] っさびじゃ。

**ひさだつ** [hisadatsi] 【名詞】(深さ、高さが) 足

首までの深さ、高さ。【例】そうーや ひきー ひさだつ なりゆー (潮が引いて足首ほどの浅さになっている)。ぐらんど ごるふじょーぬ しばふー ひさだつん なるーば じょそうらでい (グラウンドゴルフ場の芝生が足首くらいになったので、刈ろう)。  
[変異] っさだつ。

**びし** [bici] 【動詞】[母音語幹] [A] 置く、設置

する。【例】くまん やーゆ びしる (ここに

家を建てなさい)。かんだなん かうるー びしる (神棚に香炉を置け)。

**びじーまい たちーまい うらいん** [bizi:mai tatçi:mai urain] 【成句】居ても立っても居られない。【例】んまがぬ くとうー しば やいば ばぬんな びじーまい たちーまい うらいん (孫のことが心配で、私は居ても立っても居られない)。

**びじやい** [bizai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (人や動物、雨雲などが) 長く居座る、その場所を離れずとどまる。【例】かいが びじやりーきやー やーんかいや はらん (彼が居座ったら家には帰らない)。うまん びじやり (そこに座てる)。たくぬどう あでいふん びじやりーうたい (タコがタコの巣にデンと座っていた)。びじやらだ たち (ぐずぐずせずに立て)。

**びじやら** [bizara] 【名詞】[C] (酒席などで) 居座り続ける人。【類】びだく。

**びじゆ** [bizu] ① 【名詞】[C] (魚を釣る) 餌。【例】つぞうぬどう びじゆー つふいーゆーい (魚が餌にくいついている) ② 【名詞】[C] こどもをあやすための遊び道具。【例】うぬ やらびんな まーいゆ びじゆ あすみー んたばほうーき (この子供にはボールを遊び道具としてもたして遊ばしておけ)。

**ひず** [hizi] 【動詞】[B] 肘 (ひじ)。【例】ひっじゆぎやー つかだ むぬーぎやー ふあい (ひじをつかずに食事をしろ)。

**ひず** [hizi] 【名詞】[g 語幹] [C] (おろし金などで) 薄く削る、(やすりや砥石などで木の大きさを調整するために) 削る。【例】んーな かなひー ひぎー んーくっじゆ とうい (芋を下ろし金で薄く削って芋の澱粉を取る)。きーゆ ひず (木を削る)。

**びす** [bisi] 【動詞】[s 語幹] [A] 置く、設置する。【類】びし。

**びす** [bisi] 【動詞】[s 語幹] [A] 役割を与える、担当させる。【例】ひんじゃぬ っさかいぬ かたあきゆー やらびんかい びす (山羊の草刈りの担当を子供に任せる)。うまぬ たーや かいんかい びさはいたい (その田んぼは彼にまかせられた)。

**ひずー** [hizi:] 【形容詞】[C] 切れない。【例】ひずーがたな (切れない刀)。

**ひだ** [hida] 【名詞】[C] (海岸べりで) 湧き水が海水と交わり、浜、海岸の付近で魚や貝がとれるところ。【例】じよ、ひだんき いきーぬーまう あらーでい (さあ、淡水のある海岸べりに行って馬を洗おう)。**【類】**はま。

**びだ** [bida] 【形容詞】[A] (仕事ができなくて、役に立たなくて) だめなやつだ、(病気で) つらい。【例】からー すかまー ひらいん びだむぬ (彼は仕事をしない怠け者だ)。かぬ ひとうー やみゆーそうがんまらーひどう びだびだていー ひーゆーい (あの人は病気のようでつらそうにしている)。

**びだ** [bida] 【形容詞】[A] (山などが) 低い; (人の背が) 低い。【例】かまぬ やまー びだがま (あその山は低い)。かぬ ひとうー びだひとうがま (あの人は背が低い)。うぬ くしかきやー ばぬんな あていどう びだかい (この腰掛は私には低すぎる)。**【類】**っさ。

**ぴたー** [pita:] 【オノマトペ】(肌など、表面が) すべすべだ (擬態語)。【例】かいが はだーぴたーていどう ひーゆー (彼の肌はスベスベしている)。

**ひだい** [hidai] 【名詞】[A] 左。【例】ひだらー ひだいでいーひー ずーゆ かつ (左利きは左手で字を書く)。

**ひだいん<sup>°</sup>な** [hidaiɲna] 【名詞】《祭礼》魔除用の左綱 (な) いの祭事用の綱。

**ひだが一** [hidaga:] 【名詞】『地名』ヒダガー、西原の北西にある湧水の出る場所、集落から200m位離れたところにある。【例】いきまから っていや ひだが一ぬ みっじゅどうぬみゅーたいちゃ（池間から来た当時はヒダガーの水を飲んでいたそうだ）。

**ひだかす** [bidakasi] 【動詞】[s/h 語幹]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを）開く、広げる、開ける。。【変異】びらかす。

**びだく** [bidaku] ①【名詞】[C] 座ったまま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながちり。【例】からー んめ ふーていがー んめ やーんかいや はらっでいやほうん むいとうぬ びだく びーぐじゃ（あいつはもう来るともう家に帰ろうとしない大変ながちりだ）。②【形容詞】[C] 座ったまま中々立とうとしない、尻の重い、ながちりである。【例】かりゃー いつまい さきゅー ぬん とうきやんな びだく（彼はいつも酒を飲むときはながちりだ）。

**びだくげった** [bidakugetta] 【名詞】座ったまま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながちり。【類】びだく。

**ひだたす** [hidatasi] 【動詞】[s/h 語幹]（二つのもの、二人）の間をあける。【例】うぬきやが ふたっちゅぎゃー ひだたひーうっき（これらの二つは隔てて置け）。やらびんみゅーぎゃー ひだたひー びじゃし（子供たちを間をあけて座らせなさい）。

**ひだつ** [hidatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [A]（人や物の）間を置く、（人や物から）人や物の間をあける、（ほかの人やものに）差をつける、格別よい。【類】ひだてい。

**びだつ** [bidatsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるも

のを）開く、広げる、開ける。（本、箱など閉じてあるものを）開ける。【変異】びらつ。

**びだっふい** [bidaffi] ①【形容詞】（仕事ができなくて、役に立たなくて）だめなやつだ、（病気で）つらい、（機械や物が）使い物にならない。【類】びだふー。②【動詞】（仕事をせず）ぶらぶらしている、（病気で）つらくなる、（機械や物が）使い物にならなくなる。【類】びだふー。

**びだっふや** [bidaffja] 【名詞】（仕事をしない）ダメな人、なまけもの。【例】うりゃー びだっふや やいば うりゅーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり（彼は信用できないだめな奴だから、あいてにするな）

**ひだてい** [hidati] 【動詞】[母音語幹] [A]（人や物の）間を置く、（人や物から）人や物の間をあける；（ほかの人と）差をつける；（人）を差別する。【例】うぬきやが ふたーいゆぎゃー ひだていー びじゃし（この二人は離して座らせろ）。うまつからー むい むぬーぎゃー ひだている（火からは燃えるものを遠ざけなさい）。かりゃー ひだていどう うむくとう あいかい（彼は特別に頭が良い）。ひとうーぎゃー あいや ひだていん（人をそんなには差別するな）。【類】ひだつ。

**ひだばん** [hidaban] 【名詞】カツオ船を浜で待っている人。カツオの餌である雑魚を確保して、カツオ船に知らせる役目の人。浜番。【類】はまばん。

**びだふー** [bidafu:] ①【動詞】（仕事をせず）ぶらぶらしている、（病気で）つらい、（機械や物が）使用不可能になる。【例】かりゃー きゅーや すかまうぎゃー ほうだ びだっふいーどうーい（彼は今日は仕事をせずにぶらぶらしている）。うぬ くるまー やりー びだっふいー んめ ぬーらいん（この車は古くなって使い物にならなくなってもう乗れない）。うぬ うまっさ じゃうぎーひー ちゅっふあいゆーば、 науちゅんま びだっふあいん（こ



の箸は上等の木で作られているので折れない。  
 [類] びだっふい。②【形容詞】(仕事ができなくて、役に立たなくて) だめなやつだ、(病気で) つらい、(機械や物が) 使い物にならない。【例】かりゃー すかまうぎゃー ほうん びだっふいんまり (彼は仕事をしない怠け者だ)。びだふー むぬ (壊れて使えない物)。[類] びだっふい。

**びだふくり** [bidafukuri] 【名詞】(仕事をせず) ぶらぶらしている (人、もの)、(病気で) つらくしている (人)、(機械や物が) 使い物にならない、またその機械やもの。【例】うりゃー びだふくりんまり やいば うりゅーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり (あいつはろくでなしだからあいつを相手にするな)。くぬ けいたいや むいとうぬ びだふくり (この携帯はまったく使い物にならない)。[類] びだふくる、びだふくりゃ。

**びだふくる** [bidafukuru] 【名詞】(仕事をせず) ぶらぶらしている (人、もの)、(病気で) つらくしている (人)、(機械や物が) 使い物にならない、またその機械やもの。【例】うらー びだふくる むぬ (それはダメなもの)。[類] びだふくり。

**ひだます** [hidamasi] 【動詞】[s/h 語幹] 低くする、へこませる。[変異] びだます。

**びだます** [bidamasi] 【動詞】[s/h 語幹] 低くする、へこませる。[変異] ひだます。

**ひだまらす** [hidamarasi] 【動詞】低くする、へこませる。【例】うまうぎゃー んめ ひーちやがま びだまらし (そこをもう少しだけ低くしなさい)。[変異] びだまらす。

**びだまらす** [bidamarasi] 【動詞】低くする、へこませる。[変異] ひだまらす。

**びたみつ** [pitamitsi] 【動詞】[k 語幹] (肌など、表面が) すべすべだ。

**ひだら** [hidara] 【名詞】[C] 左利きの人。

**ひだん** [hidan] 【動詞】[m 語幹] [A] へこむ、(花や風船が) しばむ。【例】くるまぬ たいやー ばんくーひー ひだみにゃーん (車のタイヤはパンクしてぺちゃんこになった)。[変異] びだん。[類] ひだみ、びだみ。

**びだん** [bidan] 【動詞】[m 語幹] [A] へこむ、(花や風船が) しばむ。[変異] ひだん。

**びちや** [bitɕa] ①【形容詞】[C] (人が仕事が) 下手だ、(仕事のできが) 水準に達していない、(ものが) 粗悪だ。【例】かりゃー なうゆ あすみんまい びちや (彼は何をさせても下手だ)。ういが すかまー いつまい びちやかいばならん (あいつの仕事はいつも出来が悪い)。あいぬ びちやむぬーぎゃー かーだうり (そんな粗悪なものは買うな)。②【名詞】[C] 仕事が下手な人、水準に達していない仕事、粗悪なもの。【例】からー なっちやかん びちや やいば かるーぎゃーつかーだうり (あいつはろくでもない仕事下手なのであいつは使うな)。かいが すかまー んながーんな びちや あたい (あいつの仕事は一番ダメだった)。あいぬ びちやうぎゃー ていっぐいすている (そんな粗悪なものは捨ててしまえ)。

**ひつ** [hitsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] (ものを手前に) 引く、引っ張る；(草などを) 引き抜く；(くじを) 引く。【例】やらびぬ ていーゆ ひつ (子どもの手を引く)。ん<sup>ろ</sup>なう ひつ (綱を引く)。みなかぬ っさう ひつ (庭の草を引きぬく)。ふっじゅ ひつ (くじを引く)。②【動詞】[k 語幹] [A] (食べた後の食器などを) 引く、(食べものの恵みを) 減らす [神事のことば]。【例】まかいだうゆ ひつ (食器をかたづけ)。じゃうっふあにゃーん きない やいば ふつかたう ひかはでい (よくない家庭だから幸せ運を減らそう [＞神様が不和家庭の戒めをする際の文句])。③【動詞】[k 語幹] [A] (潮が) 引く。【例】そーや ひきーどー

(潮は引いている)。そうーぬ ひつきゃたーひー  
ー っしんかい うり むぬーぎゃー まてい  
(潮が引くまでリーフに行くのは待ちなさい)。

**ひつ** [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (楽器を) 弾く、  
(風邪を) ひく、(最盛期が) すぎる。【例】さん  
しんぬ ひつ (三線を弾く)。はなう ひつ  
(風邪をひく)。かりゃー つーや ひきーど  
うー (彼は盛りをすぎて、元気がなくなっている)  
にっちゃ ひきーにゃーん (熱が引いた)。

**ひつ** [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (むしろや布  
団を) 敷く。【例】むっそー ひつ (むしろ  
を敷く)。ふとんぬ ひつ (布団を敷く)。

**ひつ** [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (屁を) ひる。  
【例】ひーゆ ひつ (屁をひる)。

**ひつ** [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (食事の量な  
どが) 減る。【例】ういびとう なりゆーそ  
うが むぬー ひかん (年取っているが食事の量  
は減らない)。

**ひつ** [hitsi] 【名詞】[C] 着物を入れる箱。【例】  
ひつん つんぬ いりー (櫃 (ひつ) に着物を入  
れる)。

**ひつ** [hitsi] 【名詞】[C] 特別に目をかけて便宜  
をはかること、味方、引き。【例】うりゃー  
せんきよんな かまぬ ひき (彼は選挙には向  
こう側に付いている)。

**ひつ** [hitsi] 【名詞】[B] 《魚》スズメダイ (小  
さい魚でサンゴ礁でよくとれる、塩漬けて冬場  
に食べる)。【例】あんつかいたがどう ひつ  
がまうぎゃー とうい (追い込み漁師達がスズ  
メダイをとる)。

**ひつ** [hitsi] 【名詞】[A] (選挙などで同じ候補  
を応援している) 仲間。【例】かぬきゃー ば  
んていが ひつ (あいつらは私たちの応援仲間  
だ)。

**びつ** [bitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 賭けに勝って  
相手のかけたものを取る。【例】でいんぬ び

つ (金を賭けで取る)。でいんぬ びつにゃー  
(賭博での金の賭け合い)。かにふっじゅ びつ  
(子供の遊びで) 釘を賭けで取り合う)。ばぬ  
んな はなふだひや でいんな びかいったん  
(私は花札では賭けに勝てなかった)。

**ひっがい** [higgai] 【動詞】[r/rr 語幹] (人とか  
家が) なくなる、破滅する。【例】かまぬ や  
ーや ひがりー はりにゃーん (あその家  
はつぶれて一家離散した)。

**ひつき** [hitsiki] 【動詞】[母音語幹] [A] 躑 (し  
つ) ける。【例】やらびゆーぎゃー あいや  
ひつきん (子供をあんなにはしつけない [>そ  
んなに厳しくしつけをするな])。くぬひゃーゆ  
ぎゃー ひつきー とうらし (この野郎を躑け  
てやりなさい)。[類] ひつつ。

**ひっくす** [hikkusi] 【動詞】[s 語幹] 引っ越す。

**ひったうー** [hittau:] 【動詞】[vv 語幹] (嫌が  
っている人を) 引っ張り出す。【例】かりゆー  
ひったうーいー くいちゃーゆ ぶどうらし  
(あいつを引っ張り出してクイチャーを踊らせ  
る)。ぶどういんかい かにゆー ひったうー  
そうが んばてい たちゃだん (踊りにカニ  
を引っ張ったが嫌と言って立たなかった)。[類]  
ひったうーい。

**ひったうーい** [hittavvi] 【動詞】[母音語幹]  
(嫌がっている人を) 引っ張り出すこと。[類]  
ひったうー。

**ひったんぐー** [hittangu:] 【名詞】(嫌がっ  
ている人を) 引っ張り出す。【例】みがう ぴー  
ていーえーぬ やくいんかい ひったんぐー  
あす (ミガを PTA の役員に引っ張り出す)。

**ひっちやつ** [hittcatsi] 【動詞】[k 語幹] (紙  
や布などを) 引き裂く、(人と人の仲を) 裂く。  
【例】かびーゆ ひっちやつ (紙を引き裂け)。  
ばが つんな うまぬ ひっちやつかいー ぴー

きゅーば うまう くーやひー ふいーる (私の着物はそこが破れて穴が開いているので、繕ってくれ)。うぬきやが ふたーいゆぎやー ひっちゃきーすている (彼ら二人 (の仲) を引き裂いてしまえ)。[変異] ひっちゃふ。

**ひっちゃふ** [hittɕafu] 【動詞】[k 語幹] (紙や布などを) 引き裂く、(人と人の仲を) 裂く。  
[変異] ひっちゃつ。

**ひつつ** [hitsuɕtsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 躰 (しつ) ける、いじめる。 [類] ひつき。

**ひつなす** [hitsuɕnasi] 【動詞】[s/h 語幹] 仕上げ、やってしまう。【例】くまぬ すかまうぎやー きゅーぬちゃん ひつなはでい (この仕事を今日のうちにやっ飛ばそう)。きゅーやきゅー あちゃー あちゃ やいば きゅー あすがまたぬ くとうーぎやー きゅーひー ひつなすばどう じゃうかい (今日は今日、明日は明日だから今日やるべきことは今日で片付けた方がよい)。

**ひつに** [hitsuɕini] ① 【形容詞】[B] 硬くて噛みきれない、(相撲などが) 粘っこい。【例】うぬぬーまじゅーや ひつにかいば かまいん (この馬肉は硬くて噛みきれない)。かーきだくーぐむぬ んまりやーひー ひつにかいば ならん (燻製のタコはゴムのようによく硬くてかみ切れない)。かぬ すまとうりやが すまー やぐみ ひつに (あの相撲とりの相撲はねばりっこい)。② 【名詞】[B] 筋肉、硬くて噛めない筋肉。【例】ぬーまぬ ひつにやー ひつにむぬ (馬の筋肉は硬くて噛みきれない)。

**ひつにん** [hitsuɕinin] 【名詞】昔納税を免れた障碍 (がい) 者、転じて、仕事のあまりできない人。【例】かりやー すかまー ひらいん ひつにん (彼は仕事のできない障がいをもった人だ)。すかまー ひらいん ひつにんな やーんきー にっづゆーき (仕事のできない奴は家に帰って寝とけ)。

**びっぴーまちや** [bippi:matɕa] 【名詞】『鳥』ヒヨドリ。【例】びっぴーまちやー んきやーんな みーらいっだん (ヒヨドリは昔は見られなかった)。

**ひつむどうい** [hitsuɕmudui] ① 【動詞】[r/rr 語幹] 引き戻す、引き返す; (嫁に行った人が離婚して) 実家に戻る。【例】っさらん いきーすぐ ひつむどうい (平良に行って直ぐに引き返す)。かぬ みどうんな やなびきどうん あたりどう ひつむどうりーっちゅー (あの女の人は悪い男に当たって出戻ってきた)。② 【名詞】引り返すこと。【例】はい いきー そーぐ ひつむどうい あすたい (畑に行って直ぐに引り返した)。かぬ みどうんな やなびきどうん あたりどう ひつむどうい あすたい (あの女の人は悪い男に当たって出戻ってきた)。

**ひつん** [hitsuɕin] 【副詞】頻繁に、いつも、常に、ひっきりなしに。【例】かりやー ひつん つむでいーどうー (彼は常に怒っている)。くぬいや ひつん あみぬ っふゅー (最近はいつも雨が降っている)。うまぬ んつからー ひつん くるまぬ とうーい (この道はひっきりなしに車が通る)。

**ひでいー** [hidi-] 【名詞】[B] 傷跡、おできの治った痕、火傷の痕。【例】かなまいぬ ひでいー (頭の傷痕)。ほうがさぬ なうりぬ あとうぬ んずぎ ひでいー (おできが治った後の醜い傷痕)。

**ひでいー** [hidi:] 【名詞】[B] ひでり、旱魃 (かんばつ)。【例】くとうっさ ひでいーや ひーぶーずまい さりー はりーにやーん (今年は日照りでサトウキビも枯れてしまった)。

**ひていつ** [hititsi] 【名詞】[C] ひとつ [ものの数量を表す]、一歳 [年齢を表す]。【例】ばぬんまい にぐーゆぎやー ひていつちゅぎやーばきー ふいーる (私にもシャコガイを一つ分けてくれ)。やらびやー ひていつ なりー

どうー (子供は1歳になった)。うまんな つか  
ーい まかいや ひていつまい にゃーん (こ  
こには使えるお椀は一つもない) かんにがいぬ  
ひていつちや んぬちちゆぎゃー ぶいどう  
す (一回の祈願で命を(神から)頂くことがで  
きる [ > 神に一回祈ることで健康になれる ] )。  
[類] っていつ。

**ひていつがゆい** [hititsigajui] 【名詞】 1つ  
違い。【例】うぬきやが きよーだいや ひて  
いつがゆいや ひー いつぬひとつ うり (こ  
の人たちの兄弟は一つ違いで5人いる)。

**ひとつ** [hitu] 【名詞】 [A] 人、他人。【例】ひ  
とうー うまんな いふたーい うり (人はそ  
こに何人いるの)。ひとつだすきやー どうー  
だすき (人を助けることは自分を助けること  
だ (情けは人の為ならず))。ひとつづかいぬ  
あらびとう (人使いが荒い人)。ひとつー す  
かす (人をだます)。

**ひとつー ひとつ どうーや ど  
うー** [hitu: hitu du:ja du:] 【成句】 他人は他人、  
自分は自分。【例】ひとつー ひとつ どうー  
や どうー やいば うなが うむいが にゃ  
ーん あっそう (自分は自分他人は他人なので  
自分が思う通りにしなさい)。

**ひとつあん** [hituan] 【名詞】 追込み漁でのひ  
と網。【例】あうきやー ひとつあんな ふた  
から みからがまどう とうらい (あおりいか  
は一網で二三尾だけとれる)。[類] ひとつふん。

**ひとつい** [hitui] 【名詞】 [B] 一日; ある日。  
【例】うまぬ すかまー ひとついんな ひらい  
ん (ここの仕事は一日ではできない)。ひとつ  
いんな どうすぬ まいんかい いきゅーきや  
ー からー さきゅー ぬみゅーたい (ある日、  
友だちのところに行ったら、彼は酒を飲んで  
いた)。

**ひとつい** [bitui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 満腹  
になる。【例】ばー んめ ひとつうりーどうー

ば、んみやひや ふあーいん (私はもう満腹で  
もうこれ以上食べられない)。

**びどうい** [bidui] 【名詞】 [C] 亥 (いのしし)  
年。【例】ばー びどういんまり (私は亥年生  
まれだ)。

**ひとついがーまーす** [hituiga:ma:si] 【成  
句】 一日中。[変異] ひとついぎゃーみゃーす。

**ひとついぎゃーみゃーす** [hituigja:m-  
ja:si] 【成句】 一日中。【例】やらびあいきやー  
ひとついぎゃーみゃーす いんぬ ぼんあた  
い (子供の頃は一日中海であそんでいた)。か  
ぬ むぬゆみゃー ひとついぎゃーみゃーすま  
い むぬー ゆみーどうーい (あのおしゃべり  
は一日中もおしゃべりしている)。きゅーや  
ひとついぎゃーみゃーす むぬー ふあーん  
ば やーすかいば ならん (今日は一日中食事  
はしていないのでひもじい)。[変異] ひとつい  
がーまーす。

**ひとついつ** [hituitsi] 【名詞】 一気、一息、す  
ごく近い。【例】んみや ひとついつひー く  
ぬ にぐーや とうらいどうす (あと一息でこ  
のシャコガイは取れる)。さきゅーぎゃー ひ  
どういつん ぬみ (酒は一気に飲め)。っさら  
たーひや ひとついつ (平良まではあっという  
間だ)。

**ひとついづい** [hituivvi] 【名詞】 人見知  
り。【例】くぬ やらびゃー ひとついづい  
ーがー ほうん (この子は人見知りしない)。

**ひとついひやうす** [hituigausi] 【名詞】 ある  
時、ある日 (副詞としても使える)。【例】ひ  
どういひやうす っしん<sup>ん</sup>かい いきゅーき  
ゃー がばー たくー とういたい (ある日サ  
ンゴ礁での潮干狩りに行ったら、大きなタコが  
とれた)。

**ひとつかき** [hitukaki] 【名詞】 一房の中の一  
かけら。[類] ひとつつがき。

**ひとつかた** [hitukata] 【名詞】人形。【例】みどうんやらびがまー ひとつかたー むちー あそびゆーたい（（その）女の子は人形をもって遊んでいた）。

**ひとつきゅーやー** [hitukju:ja:] 【名詞】一軒家。【例】かまんどう ひとつきゅーやーぬ あい（向こうに一軒家がある）。

**ひとつだかーい** [hitudaka:i] 【名詞】人がたくさん集まっている。【例】かまんな ひとつだかーいや ひどう ひとつぬ っふあまりゆー（あそこには人がたくさん集まって混雑している）。うんどうかいや ひとつだかーい あたい（運動会は人がたくさん集まっていた）。  
[類] ひとつだかい。

**ひとつだかい** [hitudakai] 【名詞】ひとだけ。 [類] ひとつだかーい。

**ひとつづあまい** [hituvvamai] 【名詞】（動けないほどの）人の混雑。【例】みゃーくずつんな じゃーがまんな ひとつづあまいや ほうー（ミャークツツは広場は人で混んでいる）。

**ひとつつがき** [hitutsigaki] 【名詞】一房の中の一かけら。【例】ぴーぬ ひとつつがき（ニンニクの一房の中の一かけら）。[類] ひとつかき。

**ひとつっさ** [hitussa] 【名詞】人の噂。【例】ひとつっさ あす（人の噂をする）。ひとつっさう またつつ あす（人の噂をまた聞きする）。  
[変異] ひとつっじゃ。

**ひとつっじゃ** [hituzza] 【名詞】人の噂。

**ひとつっじゃぬ すー** [hituzzanu si:] 【名詞】他人を噂をよくする人、うわさの発信源。【例】あいや ひとつっじゃぬ すーゆぎゃー ほうん（そんなに人のことを言いふらすな）。

**ひとつっでい** [hituddi] 【名詞】おなじ干支の人、同年生。【例】ひとつっじゃー かなす（同じ学年の友達に愛おしい）。ばんちゃー ひとつっでい（私達は同じ学年だ）。[類] あぐ。

**ひとつてい** [hituti] 【名詞】[B] ある年、一年間。【例】ひとつていinna やぐみ ほうーつぬ ありどう はーさぬ ひとつぬ すんたいちゃ（ある年にははやり病があつて、たくさんの方が死んだそうだ）。くぬ すかまー ひとつていinna ほうだかー ならん（この仕事は一年でしないとイケない）。[変異] ひとつていー。[類] ひとつていない。

**ひとつていー** [hituti:] 【名詞】ある年、一年間。 [変異] ひとつてい。

**ひとつでいー** [hitudi:] ①【名詞】（人の）労働力、ひとで（がたりない）。【例】ひとつでいーぬ たらーんば くまぬ すかまー きゅーんな ひらいん（人手が足りないのだからこの仕事は今日中にはできない）。②【名詞】他人の所有、ひとで（にわたる）。【例】かまぬ やーや ひとつでいーんかい ばたりーにやーん（あそこの家は人手に渡った）。

**ひとつていーない** [hitutinai] 【名詞】ある年、一年間。 [変異] ひとつていない。

**ひとつていない** [hitutinai] 【名詞】ある年、一年間。 [変異] ひとつていーない。[類] ひとつてい。

**ひとつに** [hituni] 【名詞】[C] 朝まで起きることなく眠ること（熟睡すること）。【例】あちやがみゃー ひとつに（あした（の朝）まで熟睡する）。[変異] ひとつにー。

**ひとつにー** [hituni:] 【名詞】朝まで起きることなく眠ること（熟睡すること）。 [変異] ひとつに。

**ひとつぬ くとう あす** [hitunu kutu asi] 【成句】[不規則] 他人の（世話、面倒）を

見る。【例】ひとつぬ くとう あっさ どう一ぬ くとう あす (人のことをやる事は自分の事をやるのも同然だ [ > 良いことをすると自分に返ってくる ])。ま一ぬひとつぬ くとう一ぎゃー あすな (あまり他人のことをするな (自分の (家庭の) ことをちゃんとしろ))。

**ひとつぬ っさ あす** [hitunu ssa asi] 【成句】 [不規則] 人のうわさ話をする。【例】ひとつぬ っさ あっさ どう一ぬ っさ あす (人の悪口を言う事は自分の悪口を言うようなもの (全て自分に返ってくる))。【類】ひとつ っさ。

**ひとつぬ ばたう ふっず** [hitunu batau fuzzi] 【成句】 [zz/dd 語幹] 人の気に触ることを言う。

**ひとつぬっさ** [hitunussa] 【名詞】 人の噂。【変異】 ひとつぬふさ。

**ひとつばた** [hitubata] 【名詞】 時々、たま [「ん (に)」をつけて副詞として使う。]。【例】ひとつばたぬ ゆくい (たまの休み)。ひとつばたんな くまんかいまい まーりーくー (たまにはここにも寄って来い)。ひとつばたんな あそーがまい いつ (たまには遊びにも行く)。

**ひとつばたな一** [hitubatana:] 【名詞】 時々、たま [「ん (に)」をつけて副詞として使う。]。【類】ひとつばた。

**ひとつはな** [hituhana] 【名詞】 一輪の花。【例】かまぬ や一ぬ みなかぬ はなう ひとつはな とういくー (あそこの家の庭の花を一輪取ってこい)。まみがはな ひとつはなよ (豆の花一輪よ [古謡「豆が花」] より)。

**ひとつひゃーい** [hituça:i] 【名詞】 一食分。【例】うさきがまひや やーにんじゅぬ ひとつひゃーいぬ たままい にゃーん (これだけでは家族の一食分もない)。

**ひとつひゃーい** [hituça:i] 【名詞】 たま、ときどき、ひところ。【例】ひとつひゃーいんな っぞう つーがまい いつぶすむぬ (たまには魚釣りにも行ってみたい)。ひとつひゃーいんな でいんぬ まうきたい (ひところは金を儲けた)。

**ひとつひゃうす** [hituçausi] 【名詞】 ある時、ある日 [副詞としても使える]。【例】かりゃー ひとつひゃうす うーっふいー すなっじやうたい (彼はおぼれて死にそうになったことがある)。【類】ひとついひゃうす、ひゃうす、ひゃうな、ひとつひゃうな。

**ひとつひゃうな** [hituçauna] 【名詞】 ある時、ある日 (副詞としても使える)。

**ひとつびゅーい** [hitubju:i] 【名詞】 人が多くて気分が悪くなること、人酔い。【例】とーきよーんな あてい ひとつぬ ういかいば ひとつびゅーい あす (東京には人が多すぎて人酔いする)。

**ひとつふあや** [hitufaja] 【名詞】 他人にたかって生きる人。【例】かりゃー すかまうぎゃー ほうん むいとうぬ ひとつふあや (彼は仕事をしないで人にたかって生きているやつだ)。

**ひとつふい** [hitufui] ① 【名詞】 偉ぶること、実際より自分をえらく見せること。【例】ひとつふいんまり (格好をつけるやつ)。ま一ぬ ひとつふいゆぎゃー あすな (あんまり格好つけるな)。② 【形容詞】 偉ぶる、実際より自分をえらく見せる。【例】からー むいとうぬ ひとつふい にんぎん (彼はとても虚勢をはるやつだ)。からー ばかかいぎゃー むいとう ひとつふいかたい (彼は若いときは格好ばかり付けていた)。

**ひとつふりや** [hitufurja] 【名詞】 偉ぶること、実際より自分をえらく見せること。

**ひとつまた** [hitumata] 【名詞】ごく近く、一  
 跨ぎ。【例】っさらー ひとつまた（平良はず  
 ぐ近くだ）。はわいたーひや ひこーきひや  
 ひとつまた（ハワイまでは飛行機で一跨ぎだ）。

**ひとつみ** [hitumi] 【副詞】一緒に。【例】じ  
 よー っさらんかい ひとつみ いかでい（さ  
 あ、平良と一緒にいこう）。ほうからっさー な  
 だとう ひとつみ（嬉しさは涙と一緒に）。うぬ  
 きゃが ふたーいや いつまい ひとつみ（彼  
 等の二人はいつも一緒だ）。むぬーぎゃー や  
 ーにんじゅー ひとつみ ふあい（食事は、家  
 族と一緒に食べなさい）。

**ひとつむつき** [hitumutsiki] 【名詞】僅かの  
 間。【例】うまぬ すかまうぎゃー ひとつむ  
 つきんな あすどうす（ここの仕事はわずかの  
 間にやっしまえる）。

**ひとつむてい** [hitumuti] 【名詞】朝。【例】  
 ひとつむていむぬ（朝ご飯）[変異] すつむてい。

**ひとつむてい** [hitumuti] 【名詞】朝、早朝。  
 【例】ひとつむていぬ まみがはな（朝の豆の花  
 [古謡「豆が花」より）。

**ひとつむてい ゆさらび** [hitumuti  
 jusarabi] 【成句】朝夕。【例】くまなぎゃー  
 ひとつむてい ゆさらびゃー すだすむぬ（こ  
 ころへんは朝夕はずしい）。ひとつむてい ゆ  
 さらび いんぬ はまう あいきーまーい（朝  
 夕海浜を歩き回る）。

**ひとつむとう** [hitumutu] 【名詞】一株。【例】  
 ぎすっちゃ ひとつむとうからどう うさきな  
 うやいーゆーい（ススキは一株だけからこん  
 なに増えているんです）。

**ひとつん** [hitun] 【副詞】一度、一回。【例】  
 かりゃー みーかん ひとつん くまんかい  
 あそーが ふー（彼は3日に一度ここに遊び  
 に来る）。

**ひとつぬふさ** [hitonufusa] 【名詞】人の噂。【例】  
 ひとつぬふさう あすていがー うながどうー  
 んかいどう まーりーふー（人の悪い噂をする  
 と自分自身にはねかえってくる）。ひとつぬ  
 ふさうぎゃー つかだうり（人の噂は聞くな）。  
 ひとつぬ ふさうぎゃー ほうん（人の噂はし  
 ない）。[変異] ひとつぬつさ。

**ひない** [hinai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（物、生き  
 物、人の数が）減る、（腹が）減る。【例】ばが  
 ばちやみー あたい さきぬどう ひなりゆ  
 ー（私が大事に取って置いた酒が減っている）。  
 くぬいや みどりかいんかい ふー ひとつー  
 ひなりーどうー（最近はみどりかいに来る人  
 が減っている）。ばたー ひなりー やーすか  
 いば ならん（腹が減ってしかたがない）。

**ひなかい** [hinakai] 【動詞】[r/rr 語幹]（足を取  
 られて、おされて）倒れる、（驚いて）ひっくり  
 返る。【例】っさーきりー ひなかいたい（つ  
 まづいてこけた）。あてい うどうるっちや  
 ーひー ひなかいりーにゃーん（余りにもびっく  
 りしてひっくり返った）。[変異] ひなかいー。

**ひなじや** [hinaza] 【名詞】[C] へなへなした  
 人、馬鹿な奴、仕事能力のあまりない人、差別  
 的な使い方。【例】おい すかまー ひらいん  
 ひなじや（おい 仕事のできない奴）。

**ひにー** [hini:] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（首、足  
 首、手首などを）ひねる、（抜くために木の根な  
 どを）ねじる、（瓶のフタなどを取るために）ね  
 じる。【例】ばー んぬ はっじゃ ひにり  
 ー ないぎーどうーば いかいん（私は足をひ  
 ねってびっこをひいているので行けない）。き  
 ーぬ にーゆ ひにりー、 うるー んず（木  
 の根をねじって、それを抜く）。くびんぬ ふた  
 ー ひにりー はなす（瓶のフタをねじって開  
 ける）。

**びばくーす** [bibaku:si] 【形容詞】吐き気がす  
 る。【例】っさりむぬー ふあいー びばくー

すむぬ (腐った物を食べて吐き気がする)。びばくーすかいばならん (吐気がしてならない)。

**びばつ** [bibatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (物を食べ過ぎて) 吐く、戻す。【例】 っさん さきぬんな ひー びばきーにゃー (分からないほど酒を飲んで戻した)。むぬーぎゃー びばつきゃたーひー ふあい (食べ物を吐くまで食べる)。**[変異]** びばふ。

**びばふ** [bibafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (物を食べ過ぎて) 吐く、戻す。 **[変異]** びばつ。

**びびやう** [bibjau] 【動詞】 [vv 語幹幹] [C] 酸っぱくて歯に浸みる。【例】 そうー ふにゅーや ふあいー はーや びびやうぐいーどうーい (酸っぱいミカンを食べ歯に浸みている)。**[類]** ひぎやう。

**びふ** [bifu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 賭け、遊びで相手の物品等をせしめる。【例】 でいんぬ びふ (金をせしめる)。かにふっじゅ びふ (釘をせしめる)。めんこー びふ (メンコをせしめる)。**[変異]** びつ。

**びふっじゃ** [bifuzza] 【名詞】 人の気に触ることを言う人。【例】 かりゃー むいとうぬ びふっじゃ やいば、かいが ふーていがー いつまい あうやー (彼は人の気に触ることを言うので、彼が来るといつも喧嘩だ)。

**ひむ** [himu] 【名詞】 [A] 干ばつ。【例】 くじゅぬ ひむんな んない むいとう やーっさあすたい (去年の干ばつではみんなとても飢えに苦しんだ)。ひむーひー ぶーっじゃ さりー はりーにゃーん (旱魃でサトウキビは枯れてしまった)。**[類]** ひゃーい。

**ひゃー** [ɕa:] ①【形容詞】 [B] 速い、早い。【例】 ひゃーにゃーんな かいがどう んながーな ひゃーかい (かけっこでは彼が一番早い)。ひゃー ぶじやがま (競争の速いおじさん)。みんびゃー (早耳)。**[類]** はー。②【副詞】 速く、早く；すでに、早々と。**[類]** ひゃーひー、はーひー。

**ひゃー** [ɕa:] 【名詞】 [C] 〔蔑称〕「人」の卑称、野郎。【例】 くぬ ひゃーゆぎゃー ゆらはん (こいつは許せない)。かぬ ひゃーや ひんぎー はりーにゃーん (あいつは逃げちゃった)。くぬ びきどうんひゃーたー なうまい ひらいん (この男連中はなにもできない)。

**ひゃー** [ɕa:] 【名詞】 [C] 昔、以前。【例】 ひゃーぬ はなす (もう済んだ話)。

**ひゃーい** [ɕa:i] 【名詞】 [A] 干ばつ。【例】 くとうっさ あみまい っふあん ひゃーいたーな やいば やーそうんどう ないぎかい (今年は雨も降らない日照りばかりで、飢饉になりそう)。**[類]** ひむ。

**ひゃーい** [ɕa:i] 【接尾辞】 助数詞、数詞について食を数えるのに使う。【例】 ひとつ ひゃーいが たま (一食分)。つうあから かうたい わーや いふひゃーいまい ふあーいどううたい (あなたから買った豚は何食でも食べられる)。

**びゃーき** [bja:ki] 【名詞】 [A] (ちから) いっぱい。思い切り。【例】 たやびゃーき なっじゅり (力いっぱい殴れ)。

**ひゃーくいち** [ɕa:kuitɕi] 【名詞】 百に一つしか本当のことを言わない人、ほら吹き。

**ひゃーさ** [ɕa:sa] 【名詞】 [C] 速さ、早さ。**[変異]** はーさ。

**ひゃーさにゃー** [ɕa:sanja:] 【名詞】 かけっこ、徒競走。【例】 ひゃーさにゃーゆ あす (かけっこをする) **[変異]** はーさにゃー。

**ひゃーす** [ɕa:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] はやしたてる、おだてる。【例】 ひゃーひー ぶどうらし (おだてて踊らせろ)。ぶどうりていー ひゃーす (踊れと急かす)。**[変異]** ぴゃーす。

**ぴゃーす** [pja:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] はやしたてる、おだてる。 **[変異]** ひゃーす。



**ひゃーひー** [çahi:] 【副詞】(朝)はやくに、と  
うに、さっき、早い時分。【例】ひゃーひー  
ったんまー(早く来たら(良かったのに))。ひ  
とうむてい ひゃーひー くー(朝早く来い)。

**ひゃーひー** [çahi:] 【名詞】早朝、速く、以前。  
【例】ていだぬ いでいだ ういきや ひゃー  
ひーん いんかいや いかでい(太陽が出ない  
中、朝早く海に行こう)。むぬーぎやー ひゃー  
ひーん ふあい(飯は急いで食べなさい)。か  
らー あいぬ くとうー ひゃーひーから あ  
っじゅーたい(彼はそんなことを以前から言っ  
ていた)。「変異」は一ひー。「類」ひゃー、は一。

**ひゃーまい** [çamai] 【動詞】[r/rr 語幹](日取  
りなどが)早まる。【例】こんげつぬ みどり  
かいや とうか ひゃーまいたい(今月のみど  
り会は10日早まった)。すかまうぎやー んめ  
ひー ひゃーまらし(仕事はもっと早ませ)。  
ひゃーまり ふあい(早く食べる)。

**ひゃーん** [çan] 【副詞】すでに、早々と。【例】  
からー ひゃーん っさらんかい はりーにや  
ーん(彼はもう平良に行った)。「変異」は一。

**ひゃーんつ** [çantsi] 【名詞】下り坂 [＜ひ  
ゃー(早い)＋んつ(道)]。

**ひょうす** [çausi] 【名詞】[C] たま、「[～ん  
(に)」を伴って副詞として用いられる、たまに、  
ときどき」。【例】きゅーや ひょうすぬ ゆ  
くい やいば よーんな にっづい うらでい  
(今日はたまの休みなので、ゆっくり寝ていよ  
う)。ひょうすんな んまむぬーまい ふあう  
(たまにはご馳走もする)。ひょうすんな うつ  
なーゆまい いきーみーだかーならん(たまに  
は沖縄本島も行ってみないとならない)。ひゃ  
うすんな ばがまいんかいまい まーりってい  
あすび(たまにはうちにも来て遊べ)。ひゃ  
うすんな えいがうまい みーが いつ(たま  
には映画も観に行く)。

**ひょうな** [çauna] 【名詞】[C] たま、「[～ん

(に)」を伴って副詞として用いられる、たまに、  
ときどき」。【類】ひょうす。

**ひょうな** [çauna] 【名詞】[C] 海の深いとこ  
ろ、外海。【例】ぶらぬ あらひょうな(保良  
の東平安名崎の波の荒い外海)。きゅーや か  
まぬ ひょうなんきー っぞうー っちーくー  
でい(今日は例の外海に行って魚を釣りに行っ  
てこよう)。

**ひょうつき** [çakki] 【名詞】[C] 100斤(60キロ  
グラム)。【例】っぞうー ひょうつき がにど  
うたい(魚を100斤網で取ってきた)。

**ひゅーい** [çui] 【名詞】[B] 祭日(御嶽の祭  
事、正月等)、(陰暦の)日取りを計算すること。  
【例】くとうすぬ みゃーくずつぬ ひゅーい  
ゆ とうい(今年のミャークズツの日取りを決  
める)。

**びゅーい** [bju:i] ①【動詞】[母音語幹][C] 酔  
っぱらう。【例】びゅーいー まーっさ ん  
まだ あいきゅー(酔ってふらついて歩いてい  
る)。さきやー あてい んんなひどう びゅ  
ーいーにやーん(酒を飲み過ぎて酔っぱらって  
しまった)。たーくん なりー びゅーい(ぐで  
んぐでんに酔う)。ばー んなーぎやー びゅ  
ーいや うらん(私はまだ酔っぱらってはいな  
い)。びゅーいびやー びとう(酔いの早い人)。  
びゅーいやす ひとつ(酔いやすい人)。②【動  
詞】[母音語幹][C](腐った魚や肉で)食あた  
りを起こす。【例】あかいらうっちゃ ふあいど  
う びゅーいー ゆー(ビブダイを食べて食あ  
たりしている)。③【名詞】[C] 酔うこと。【例】  
さきびゅーい(酒に酔うこと)。ひとつびゅー  
い(人混みに酔うこと)。なまびゅーい(ほろ酔  
い)。びゅーい ひとつ(酔っぱらい)。

**びゅーいがっさ** [bju:igassa] 【名詞】〔植〕ク  
ワズイモ。【例】びゅーいがっさー ふあー  
いん(クワズイモは食えない)。「類」びびーが  
っさ。

**ひゅーいとういんま** [çu:ituimma] 【名詞】

『祭礼』祭事の日取りとるおばあさん。

**ひら** [hira] 【名詞】 [C] 『道具』芋等を植える農

機具、篋（へら）。【例】ひらひー んーぬ  
いびー（へらで芋を植える）。

**ひらい** [hirai] 【動詞】 [母音語幹] [C] あす（す

る）の可能形、できる。【例】ほうりむぬんな  
ほうりむぬぬ まーびゃー ひらいん（馬鹿  
は馬鹿のまねはできない）。つうあとうや ひ  
とうみ ひらいどうす（お前とは一緒に（仕事  
が）できる）。ぎっじゃ ひらいん ぎずぎや  
うな やらび（手に負えない腕白坊主）。

**ひらい** [hirai] 【名詞】 [C] 交際のための贈り

物、つけとどけ。【例】やくにんかいや まー  
ぬ ひらい あすな（役人にはあまり付け届け  
をするな）。ひとうびらい（知り合いに贈り物  
をすること）。どうすびらい（ともだちとの贈り  
物の交換）。ういびらい（上司などへの贈り物）。  
どうすびらいや ひどう どうすんかい さき  
ゃー むちいきー ぬますたい（友達との交際  
のために酒を持って行って飲ませた）。[類] て  
いだい。

**ひらいがにゃーん** [hiraiganjan] 【成句】で

きる限り、（無理をせず）できる範囲内で。【例】  
ひらいがにゃーんどう あす（できる範囲内で  
やる）。

**びらう** [birau] 【動詞】 [w 語幹] [C] お世辞を

言う、へつらう；（わいろを）わたす。【例】か  
らー いつまい しーしーんかい びらう（あ  
いつはいつも先生にお世辞を言う）。せいじか  
んかい びらいゆ びらいー きーひつん か  
つみらいにゃーん（政治家にわいろを渡して警  
察につかまってしまった）。

**びらかす** [birakasi] 【動詞】 [s/h 語幹]（指、手、

扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるも  
のを）開く、広げる、開ける。【例】うゆびゆ  
ー びらかし（指を開け）。たろーが じろー

んかい っぞうぬ ばたう びらかすたい（太  
郎が次郎に魚のはらわたを取らせた）。[変異]  
びだかす。[類] あうばだかす、びらつ。

**びらつ** [biratsi] 【動詞】 [k 語幹] [A]（指、手、

扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるも  
のを）開く、広げる、開ける。（本、箱など閉じ  
てあるものを）開ける。【例】ほうんぬ びら  
き（本を開け）。はくー びらきー なかう み  
ーみーる（箱を開けてなかをみる）。にぐーや  
ふっちゃ びらきーどうー（シャコガイが口  
を開けている）。[変異] びだつ。[類] びらかす。

**びらふ** [birafu] 【名詞】 [C]（キャンンと言う蔓

草（つるくさ）の芯で作られた）籠（かご）。  
【例】びらふー うまんかい かきる（ビラフ籠  
をそこに掛ける）。いんかい むちーいつ び  
らふーぎゃー うきゃんひどう ちゅっふいー  
うたい（海に持って行くビラフ籠をウキャン  
で作っていた）。

**びり** [biri] 【名詞】 [C] 最下位、ビリ、ビリの人。

【例】つうあんな びりどう んびやう（お前  
は最下位しかできない）。びりゃー くまんか  
い くー（ビリはここに来い）。

**ひるます** [hirumasi] 【形容詞】 変だ、不思議

だ、（人に関して）変わった。【例】ゆびゃー  
みーや みーん ひるます ゆみゆー みーた  
い（昨夜は見たこともない不思議な夢を見た）。  
ひるますむぬ、 でいんぬ にゃーんふ ない  
びゃーさぬ（不思議だなあ、すぐにお金がなくな  
る）。ひるますむぬ、すまほぬ とうみらいん  
（変だな、スマホが見つからない）。やーにんじ  
ゆぬ なかんな くいがどう んながーん  
ひるますかい（家族の中では彼が一番変人だ）。

**ひるます** [hirumasi] 【形容詞】 ありがたい、欲

しい、大切だ。【例】かぬとうきゃん つうあ  
が でいんぬ かしーふいー あたいば、やぐ  
み ひるます ほうからすむぬ あたい（あの  
時は、あなたがお金を貸してくれたので、とて  
もありがたくて、うれしかった）。ういが なう

ばい たかだいむぬ やらばんまい ばー ひ  
るますっふあにやーん (これがどんなに高いも  
のだとしても、私は何とも思わない)

**ひろし** [hiroçi] 【名詞】[A]『魚』ナポレオンフ  
ィシュ。【例】ひろしっぞう (ひろし)。

**ひんぎ** [hinggi] 【動詞】[母音語幹] [C] 逃げる。  
[類] ひんず。

**ひんじゃ** [hinza] 【名詞】[C] やぎ。【例】ひ  
んじゃぬ やー (山羊小屋)。

**ひんず** [hinzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 逃げる。  
【例】うぬ ぎずぎやうな やらびゆー ひんぎ  
や はらん やうんていー んつみゆーき (こ  
の言うことを聞かない子供を逃げていかないよ  
うにおさえておけ)。ぶーっじゃ ぬすみー  
ひんず (サトウキビを盗んで逃げる)。ぬーま  
ー ひんがひーにやーん (馬を逃がしてしまっ  
た)。[類] ひんぎ。

**ひんそうー** [hinsu:] 【形容詞】貧乏だ、貧相  
だ。【例】ひんそうーかいば っふあんみやー  
うむくとうまい あいそうが がっこうまい  
いだはいん (貧乏だから子供たちは頭も良い  
が学校も行かせられない)。かりやー ひんそ  
うーないぎ ほうーそうが やぐみ うやきび  
どう (彼は貧乏そうに見えるが、(本当は)とて  
も金持ちだ)。[類] きばん。

**ひんた** [hinta] 【形容詞】[C] 役に立たない (も  
の、ひと)。【例】ひんた びきどうん (なん  
の役にも立たない男)。ひんた むぬがま (何  
の役にも立たない物)。ひんた かんがい (役  
に立たない考え) からー むいとうぬ ひんた  
(あいつは全く役に立たないやつだ)。[類] ひん  
だぐー。

**ひんたぐー** [hintagu:] 【形容詞】役に立たな  
い (もの、ひと)。[類] ひんた。

**ひんたら** [hintara] 【形容詞】駄目な。【例】  
ひんたらむぬーぎやー てっやがらーひー  
すている (駄目なものは捨てなさい)。

**びんだらい** [bindarai] 【形容詞】洗面器。【例】  
びんだらいんかい みっじゃ いらー みはな  
う すみー (洗面器に水を入れて顔を洗う)。

**ひんな** [hinna] 【形容詞】[A] 変な、不思議な。  
【例】うらー まーだー ひんなむぬ (それは  
ちょっと変なもの)。なま ひんな (ちょっと  
変だ)。ひんなむぬ うぬ やらびやー うま  
ん あすびー うたいそうがどう とうみらい  
ん (へんだなあ、あの子はそこで遊んでいたけ  
ど、見つからない)。

**ぴんふ** [pinfu] 【名詞】[B]『地名』西原の北東  
にある山。

# ふ

**ふ** [fu:] 【動詞】 [不規則] [C] 来る、(聞き手のところに) 行く [否定形:「くーん」、連用形:「ってい、っち」、過去形:「ったい」命令形:「くー」。【例】かいがどう うつなーから ふー (彼が沖縄から来る)。ばー んなまから っづあがまいんかい くーでい (僕はお前のところに行くよ [＜来るよ])。はやまり ばがまいんかい あそーが くー (早くうちに遊びに来い)。んなまどう ったい ((私は) 帰ったよ [= ただいま])。みどうんぬ ふー むぬー まつ (妻が帰るのを待つ)。

**ふ** [fu:] 【補助動詞】 連用形を取って、話し手や視点のある方に動作が向かう; 本来の場所に戻る、「～てくる」。【例】あまいなうぬ いんかい うりー ふー (竜巻が海におりてくる) あみぬ ふいー ったい (雨が降ってきた)。むどっり ったい (戻ってきた)。いきー くーでい (行ってくるよ)。

**ふ** [fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] [C] (雨が) 降る。【例】あちゃー あみぬどう ふーはず (明日は雨が降るだろう)。うむちゃき やいば わいていー ほうだかー ゆびゃー あみぬ ふーたいちゃ (昨夜は雨がふったって)。ひーまから あみぬ ふーぶすぎむぬ (昼から雨が降りそうだ)。やぐみ ほうすず あみぬ っふゆー (とても大粒の雨が降っている)。

**ふ** [fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] [A] (窓、ドア、箱などを) 閉める、(窓、ドア、箱などが) 閉まる、(栓、フタなどを) する、(栓、フタなどが) 閉まる。【例】やどうー ふー (戸、窓を閉める)。

ならん (疲れているが残り僅かの仕事だから頑くぬ くびんぬ ふたー ばぬんな っふあいん (この瓶の栓は私には閉められない)。みー つむぬー はいりー みーや っふあいん (目にゴミが入って目が閉じられない)。はくー ふー (箱を閉める)。

**ふ** [fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] [C] (人や動物が歯で) 噛む、(魚がエサに) 食いつく; (蚊や蜂が) さす。【例】かりゃー なうちゃーにゃー すばー っふいどう つむでいーうたい。(彼は突然理由もなく唇をかんでおこっていた)。ひとうー ふー いん (人をかむ犬)。がぼういびとうー ずーや っふいーどうーい (古老は腰が曲がって頭は地面に着くほどだ [＜古老は地面に噛みついている])。っぞうぬどう びじゅー っふいーうい (魚が餌を食っている)。っぞうぬどう つーゆ っふゆー (魚が釣り針を食っている)。かじゃん っふあいーにゃーん (蚊に刺されてしまった)。**[類]** かん。

**ふ** [fu:] 【名詞】 [C] 運。【例】やぐみ ふー あい ひとつ (とても運の良い人)。やらびゃー ふーや にゃーだ すにーはりーにゃーん (子供は運がなく死んで行ってしまった)。きゅーや ふーや にゃーだんががら いすばぎ あたい (今日は運がなかったのか不漁だった)。

**ぶ** [bu:] 【名詞】 [C] 隅。【例】っしぬ ぶー (リーフのはしのところ)。たむぬー なかじゃぬ ぶーん うっき (薪は台所の隅に置きなさい)。じゃーぬ ぶー (広場のはし)。かふ

ーぬ ぶー (家庭菜園 [家の後ろにある畑] のはし)

**ぶー** [bu:] 【名詞】 [B] 《植》 苧麻 (ちょま) [宮古上布の糸の材料]。【例】 ぶーずん (苧麻でできた着物)。ぶーずんぬ つー (宮古上布の着物を着る)。ぶー ん<sup>ん</sup> (苧麻の糸を紡ぐ)。  
[類] ぶばい。

**ぶー** [bu:] 【名詞】 [C] (下駄の) 緒、紐、ロープ。【例】 あっちゃぬ ぶー (鼻緒)。くばずーぬ ぶー (つるべの綱)。あんかーぬ ぶー (イカリのロープ)。

**ぶーうー** [bu:u:] 【動詞】 [vv 語幹幹] 揺さぶる、振り回す。【例】 やらび あいきや ぬーまん つふあいー ぶーつづあいたい (こどものころ馬に噛まれて振り回された)。

**ふーき** [fuki] 【形容詞】 [B] 大げさだ。【例】 ふーき んまり (大げさな奴)。かりヤー いつまい ふーきかいば かいが むぬいゆぎやー つかだうり (あいつはいつも大げさだからあいつの言うことは聞くな)。

**ぶーず** [bu:zi] 【名詞】 [C] サトウキビ。【例】 あずま ぶーず (甘いサトウキビ)。ほうすず ぶーず (太い茎のサトウキビ)。ながすず ぶーず (長い茎のサトウキビ)。ぶーっじゆ ゆっひー ぶりー たうす (サトウキビを手斧で切り倒して収穫する)。ぶーずぬ からがい ゆ ほうだかーならん (サトウキビの手入れをしないとイケない)。

**ぶーずがら** [bu:zigara] 【名詞】 サトウキビの収穫後の枯れた葉っぱや茎など。【例】 きゅーや ぶーずがら むーはでい (今日はサトウキビの枯葉を燃やします)。

**ふーずき** [fu:ziki] 【名詞】 ほおずき。[類] ふーずきばらん。

**ふーずきばらん** [fu:zikibaran] 【名詞】 ほおずき。【例】 ふーずきばらんぬ んたう (ほおずきの袋をいじくる)。  
[類] ふーずき。

**ぶーずぐる** [bu:ziguru] 【名詞】 サトウキビの茎。【例】 ぶーずぬ さり ぐる (サトウキビの枯れた茎)。

**ぶーずすず** [bu:zisizi] 【名詞】 さとうきびの茎。【例】 ほうすず ぶーず (茎の大きなサトウキビ)

**ぶーずたうす** [bu:zitausi] 【名詞】 サトウキビ収穫。【例】 ぶーずたうすぬ ん<sup>なう</sup> なう (サトウキビ収穫用の縄をなう)。  
[類] ぶーずぶい。

**ぶーずなか** [bu:zinaka] 【名詞】 サトウキビ畑の中。【例】 ぶーずなかんどう はうぬ うたい (サトウキビ畑に蛇がいた)。

**ぶーずぬ さに** [bu:zinu sani] 【成句】 サトウキビの茎を植えるために切ったもの。【例】 ぶーずぬ さに とうい (サトウキビの種取り (サトウキビの茎を植用に 25 cmに切ること))。

**ぶーずぬ はーがら** [bu:zinu ha:gara] 【成句】 サトウキビの枯れた葉。【例】 っづあー ぶーずぬ はーがらとう ぐー (お前はサトウキビの枯れた葉と同じようなものだ [>お前は何の役にも立たない奴だ])。

**ぶーずぬすどう** [bu:zinusidu] 【名詞】 サトウキビ泥棒。

**ぶーずぶい** [bu:zibui] 【名詞】 サトウキビ収穫。[類] ぶーずたうす。

**ぶーずん** [bu:zin] 【名詞】 宮古上布。【例】 ぶーずんな っづあんかいは はいどうす (宮古上布の着物はあなたには似合う)。

**ぶーた** [buta] 【名詞】 [C] 《魚》 アオブダイの一種、大型の高級魚。【例】 ぶーたなます (ぶーたのさし身 [御嶽の女性たちがイモの葉のあえものを「ぶーたなます」といって食べた])。

**ふーたい** [fu:tai] 【名詞】 計量するときの本体以外の容器、袋など (の重さ) のこと、サトウ

キビなら葉や土の部分、体重なら服などの重さ。

【例】はかりヤー んぶさから ふーたいゆ  
ひつ (測った重さから容器などの重さを引く)。  
ばが んぶっさー ふーたいゆ ひきー 90  
キロ (私の体重は服などを引いて 90 キロだ)。  
っうあどうが ぶーずぬ ふーたいや いかっ  
さばかーい あた (お前たちのサトウキビの風  
袋 (全体から不要部分として引かれた部分) は  
どれくらいだった)。

**ぶーつ** [bu:tsi] 【動詞】[k 語幹] [A] すすぐ。

【例】つんぬ ぶーつ (着物をすすぐ)。  
[変異] ぶーふ。

**ぶーっづあす** [bu:vvasi] 【動詞】[s/h 語幹]

(木などを) 揺さぶる、(言うことを聞かせるた  
め、正気にもどすため人を) 揺する。【例】き  
ーぬ ないゆ ぶーっづあひー うたし (木の  
実を揺さぶって落とせ)。あいや あらんてい  
ー やらびゆー ぶーっづあひー むぬいゆ  
つかす (そうじゃないと子供 (のからだ) を揺  
すって言うことを聞かせる)。

**ぶーとうい** [bu:tui] 【名詞】『祭礼』五穀豊穡

の祈願、マークツツの二日目、ナナムイのお  
じーたちが旗に神様からの果報を持ってきて、  
一般の人が旗を触って神様から果報をいただく  
こと。【例】ないかにかから ぶーとういゆ あ  
す (ナイカニ神 (農業の神様) から五穀豊穡の  
果報を頂く)。

**ぶーない** [bu:nai] 【名詞】(否定を伴って) 微

動 (だに～ない)。【例】こんくりやーや が  
ばーないんまい ぶーないや とうんま ほう  
ん (コンクリートの家は大地震でもびくともし  
ない)。  
[類] びーない。

**ぶーない** [bu:nai] 【副詞】微動だに (にしな

い)。  
[変異] ぶいない。

**ぶーふ** [bu:fu] 【動詞】[k 語幹] [A] すすぐ。

[変異] ぶーつ。

**ふーふつ** [fu:futsi] 【名詞】(人が近づく) 気配、

(足音などでわかる) 帰ってきた気配。【例】か  
らー はずならー にゃーんば かいが ふー  
ふっちゃ っさいん (彼は足音を立てないので  
彼が帰ってきたかどうかわからない)。ういが  
ふーふっちゃ はずならひー っさいどうす  
(彼が来るときは足音でわかる)。

**ぶーや とうい** [bu:ja tui] 【成句】奥の小

部屋に閉じこもること。【例】ぱーや ういび  
とう なりー ぶーや とうい うたい (おば  
あさんは年取って (病弱になり) 奥の小部屋に  
閉じこもっていた)。  
[類] ぶーゆとうい。

**ぶーら** [bu:ra] 【名詞】[C] 年の近いもの。[変

異] ぶーりや。

**ぶーりや** [bu:rja] 【名詞】[C] 年の近いもの。

【例】ぶーりやたが うぐなーい (年の近い者  
同士の集まり)。  
[変異] ぶーら。

**ふあーす** [fa:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (手で)

殴る、(かかとを) ぶつける、(石などを) ぶつ  
ける。【例】みんたっづあう じゃらてい  
ふあーし (耳の周囲を (平手で) ぼしっと叩け)  
まーまう がんまていー ふあーす (げんこつ  
をガッチンとくらわす)。あどうぐるー ふあ  
ーす (かかと落としを食らわせる)。うーつつ  
ひー いっそう ふあーし (ハンマーで石を叩  
け)。

**ふあーす** [fa:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 穴を埋

める、(失敗などの) 穴埋めをする。[類] っ  
ふあす。

**ふあーず** [fa:zi] 【動詞】[g 語幹] [A] (他人の

悪口を) 言って回る。【例】ひとうー ふあー  
ず (人の悪口をいいふらす) [変異] ふあやず。

**ふあーんふい ななまかい** [fa:nfui

nanamakai] 【成句】食べない振りして沢山食べ  
る人。【例】ばー はらいっばいてい あっ  
じー あとうん っさん ふいやひー いかっ

さまい ふあう ひとつうどう ふあーんふい なな まかいていー あい (私はお腹一杯と言って後でこっそりといくらでも食べる人を「食べない振り七お椀」と言う))。からー むいとうぬ ふあーんふい ななまかい (彼は食べてないふりをして大食いする)。

**ふあいでのむぬ** [faidimunu] 【名詞】 食べ  
 であること。

**ふあいはなつ** [faipanatsi] 【動詞】 食う [「ふ  
 あい」より下品な言い方]。

**ふあう** [fau] ① 【動詞】 [w 語幹] [A] 食べる。  
 【例】 あしゅー ふあう (朝ご飯を食べる)。んなーぎやー ひーまむぬ ふあーん (まだ昼飯は食べていない)。まくがんぬぎやー ふあいや みーん (ヤシガニは食べたことがない)。うっじゅぎやー ふあいまーみーだ (ウツボは食べたことあるかい)。うらー ばが ふあうぬ むちやー にやーん (それは私の食べる分はない [私の取り分はない]、それは私の食べる分としては十分ではない [私が全部食べたい])。ふあうがまい (食べ飽きること)。ふあうあまらす (食べ残す)。ふあうはっじゃつ (食べ損ねる) ふあいでのむぬ (食いでがある)。わーやあてい ふあうや ひー みーがまいまい ひーどう (豚肉は食べ過ぎて、見飽きもしている)。② 【動詞】 [w 語幹] [A] 生活する、生きる、食っていく。【例】 きゅーまい すかまー ひー ふあーだかー ならん (今日も仕事して生きないとならない)。あいぬ くー かまらす ゆーゆぎやー ふあーん (こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない)。あいや ふあーいん (そんなふうには生きていけない)。③ 【動詞】 [w 語幹] [A] する、やる。【例】 なうす ふあーっでいどう あいぬ くとう ほうー (何のためにそんなことをするのか)。なうす ふあーっじゃーにやーだ あいぬ いたらん くとうーぎやー ほうん (何のつもりなのかあんなつまらないことはしない)。④ 【動詞】 [w 語幹] [A] (人を) だます。【例】 かいん ふあ

ーいーにやーん (かれにだまされた) ⑤ 【動詞】 [w 語幹] [A] 浪費する。【例】 あいていがー あいだき ふあうどうす (あったらあったで浪費する)。⑥ 【補助動詞】 [w 語幹] (動詞連用形に続いて) 完了の強調を表す、失敗等のニュアンスがあるが、必ずそうとは限らない。[無意志の自動詞には使えないか不自然、その場合は「ふあーいーにやーん」を使う。]。【例】 やーゆ つぐい ふあいにやーん (家を売ってしまった)。ったつきやー なきー ふあいにやーん (叩いたら泣いてしまった)。やーや っちゆりー ふあーいにやーん (家は壊れてしまった)。やーゆ っちゆらひー ふあいにやーん (家を壊してしまった)。からー ぬどうー ふっでいー すにー ふあーいにやーん (彼は首をくくって死んでしまった)。

**ふあうふー** [faufu:] 【名詞】 食事中や、宴会などに出会って食事をもらうこと、食べ福、食事運。

**ふあうふつ** [faufutsi] 【名詞】 食べる口 (食うに困らないこと)、仕事。【例】 きゅーまい ふあうふっचा にやーん (今日も仕事はない)。にんぎんぬ つふあー ふあうふっचा ありどう んまりーふー (人間の子供は食うことに困らないように生まれてくる [＞人間は助けあって生きていく])。[類] ふあいふつ。

**ふあうむぬ** [faumunu] 【名詞】 食べ物。【例】 きゅーまい ふあうむぬー にやーん (今日も食べ物がない)。

**ふあや** [faja] 【名詞】 [C] (接尾辞的に) ~を食うひとやもの、~を消費するひとやもの。【例】 くぬ くるまー やぐみ あっづあふあや (この車は燃費が悪い)。びきどうん ふあや (男を駄目にする女)。ひとふあや (詐欺師)。でいんふあや (お金を浪費する人、(維持や所有に) お金がかかるもの)。やー ふあや (家を食潰す人)。

**ふあやず** [fajazi] 【動詞】 [g 語幹] [A] (他人の

悪口を) 言って回る。[変異] ふあーず。[類] ふやず。

**ふい** [fui] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 振る。【例】んばていー かなまいゆ ふりーにやーん (いやだと首を振った)。はたう ふり (旗を振れ)。ていーゆ ふい (手を振る)。

**ふい** [fui] 【接尾辞】動詞の基本形について、その動作をするふりをする、～ふり。【例】にゆうふい (眠っているふり)。なつふい (うそなき)。うむくとう あい ふい (頭の良さそうふり)。でいん あいぎ ふい (お金がありそうふり)。かりゆーぎやー っさん ふい あっそう (彼のことは知らないふりをしなさい)。うむっしふあにやーん はなす あたいそうが ばー ばらうふい ほうーたい (面白くない話だったが私は笑うふりをした)。ばーすかまんかい いつふい あすたいそうが いかっだん (私は仕事に行くようなふりをしたが行かなかった)。

**ふいー** [fi:] ① 【動詞】[母音語幹] [A] (動植物に餌、水などを) 与える；(話者が聞き手や第三者にものを) やる、あげる；(聞き手や第三者が話し手およびその身内にものを) くれる。【例】がうらんかい みずまい ふいー つふあいまい ふいー (ニガウリに水もまき、肥料も入れる)。ひんじゃん っさう ふいー (山羊に草をやる)。うるーぎやー っづあん ふいーでい (これをお前にやろう)。うるーぎやー ばぬんかい ふいーさまでい (これを私に下さい)。かいがどう ばぬん でいんぬ ふいーたい (彼が私にお金をくれた)。そうるいどう かぎさ やいば むぬーぎやー ひとつみ ふいーる (みんなで集まる方が楽しいから食事は一緒に食べるようにさせてくれ)。② 【動詞】[母音語幹] [A] (父親などが聞き手や第三者に娘を) 嫁にやる、(父親などが話し手およびその身内に娘を) 嫁にくれる。【例】ばがみどうんっづあうぎやー っづあがまんかいや ふいーじゃーん (私の娘はお前なんかにはや

らない)。っづあが つふあう ばぬん ふいーる (あなたの娘を私にください)。③ 【動詞】[母音語幹] [A] (動詞連用形について、話者が聞き手や第三者に)～てやる、～てあげる；(動詞連用形について、聞き手が、第三者や話し手およびその身内に)～てくれる。【例】ぶじゃー ばぬん でいんぬ かしーふいーたい (おじさんは私にお金をかしてくれました)。やらびん っぞうぬ ほうにやー とうい ふいー (子供に魚の骨を取ってあげる)

**ぶい** [bui] ① 【動詞】[母音語幹] [C] (犬などが) 吠える。【例】いんぬ ぶいゆー (犬が吠えている)。② 【動詞】[母音語幹] [C] 口うるさく言う。【例】まーぬ ぶいな (あんまり文句を言うな)。

**ぶい** [bui] ① 【動詞】[r/r 語幹] [C] (木の枝などをわざと) 折る；(事故などで足などを) 折ってしまう；(釘や針金を) 折り曲げる；(立っている木や植物をなたなどで) 切り倒す、またそのようにして(サトウキビなどを) 収穫する。【例】まつぎーぬ ゆだう ぶいていがー だみ (松の木の枝を折ったらだめだ)。はずぬ ほうにゆー ぶりーにやーん (足の骨を折ってしまった)。かにふっじゅ ぶい (釘を曲げる)。ぶーっじゅ ゆつひー ぶい (サトウキビを手斧で切り倒す)。[類] ぶり (母音語幹)。② 【動詞】[r/r 語幹] [C] (骨が) 折れる、(紙が) 折れる、(釘や針金が) 折り曲がる、(腰が) 曲がる。【例】はずぬ ほうにぬ ぶりーにやーん (足の骨が折れた)。かでいふつん ぶーっじゃ ぶりーにやーん (台風でサトウキビが折れた)。くーぶり ういびとう (腰の曲がった年寄り)。[類] ぶり (母音語幹)。③ 【動詞】[r/r 語幹] [C] (着物などを) 折りたたむ、(紙を) 折る。【例】つんぬ きつぎんてい ぶい (着物をきれいに折りたたむ)。かびーゆ ぶりー つるー ちゅふー (紙を折ってつるを作る)。[類] ぶり (母音語幹)。

**ぶい** [bui] ① 【動詞】[母音語幹] [C] (神から) も



らう、奉(うけたまわ)る、頂く(敬語形)、(給金などを)もらう、(命を)助けられる。【例】きゅーや あみゃー ぶいー ぶーずまい ういなうい あすどうす(今日は(めぐみの)雨を得て、サトウキビもまたちゃんとそだつだろう))。ばー すかまんきー でいんぬ ぶいくーでい(私は仕事に行って、お金をかせいで来よう)。かながなすから くがにゅー ぶいたい(神様から子供をさずかった)。かいが うぶき ぬぬちゅ ぶいたい(彼のおかげで命を救われた)。**[類]** ぶい(r/rr 語幹)。**②**【動詞】[r/rr 語幹][C](神から)もらう、奉(うけたまわ)る、頂く(敬語形)。

**ぶい** [bui] 【名詞】[C] 着物の幾何学模様。

**ぶいたが** ぶいた [buitaga buita] 【副詞】ぶつぶつと(文句をいう)。【例】うぬ さきぬみゃー びゅーいどう ぶいたがぶいたていー ぶいたみきゅーい(その酒飲みは酔っばらって、ぶつくさ文句を言っていた)。

**ぶいたみつ** [buitamitsi] 【動詞】[k 語幹] ぶつぶつ文句をいう。**[類]** ぶいみつ、たいみつ、だいみつ。

**ぶいない** [buinai] 【副詞】微動だに(にしない)。【例】ほういっさ ぶいないや とうんまほうん(この大石は微動だにしない)。**[変異]** ぶーない。

**ぶいみきや** [buimikja] 【名詞】口うるさい人、文句を言う人。【例】ふがます ぶいみきゃー いつまい ぶいみきーどう(口うるさい人はいつもブツブツと文句を言う)。

**ぶいみつ** [buimitsi] 【動詞】[k 語幹] 口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。【例】かまぬ っぎー ぶいみつんまり(あそこのお父さんはブツブツ文句を言う奴だ)。かいが みど うんな ぶとうぬ なうゆ あすんまい いつまい ぶいみきーどうー(彼の奥さんは旦那がなにをしてもいつも文句を言っている)。やら

びあいきゃー ばー いつまい っぎから ぶいみかい うたい(こどものころ私はいつも父親から小言を言われていた)。**[類]** ぶいたみつ、たいみつ、だいみつ。

**ぶいむぬ** [buimunu] 【名詞】奉り物、祭事、祝いからの頂き物、お祝いで頂くご馳走、神様に供えたものを下げた飲食物、おさがり。【例】やらびゃー ゆーいぬ ぶいむぬー とういがいつ(子供はお祝いのご馳走を取りに行く)。

**ふか** [fuka] 【形容詞】[B](水深が)深い。【例】ふか あうそう(深い深海)。ふか いん(深い海)。くまなぎゃー ぶかかいば はっじゃいんぬ そうくんかいや つかん(こころ辺は深いので、足が海の底につかない)。うまー ぶかかいば まさぐん うーぎ(ここは深いのでちゃんと泳げ)。

**ふか** [fuka] 【形容詞】[B](ものや地面が)固い、(体が)固い。**[変異]** ぶか。

**ぷか** [puka] 【形容詞】[B](ものや地面が)固い、(体が)固い。【例】ぷかぐーゆ ばい(固い岩を割る)。くぬ かーっさ ぶかかいば かまいん(この菓子は硬くて噛めない)。ゆながい ひむーひー ずーや ぶかかいば かでいらいん(長い間干ばつで地面が固いので耕せない)。ういびとうん なりー ばかかいんつきゃー どうーや ぶかふ なりーどうー(年を取って若い時より体がかたくなっている)。**[変異]** ぶか。

**ふがい** [fugai] **①**【動詞】[r/rr 語幹][C] 不平、不満を言う。【例】まーぬ ぶがいな(そんなに不平を言うな)。からー いつまい たるん かいまい ぶがいりゅー(彼はいつも誰に対しても不満を言っている)。**[類]** ぶがいり。**②**【形容詞】[C] 愚痴っぽい。【例】やぐみ ぶがいびとう(とても文句を言う人)。

**ぶがい** [bugai] **①**【動詞】[r/rr 語幹][C] 疲れる。【例】きゅーや あみゃー っふいー ど

うーや ぶがっりゆー (今日は雨が降って体がだるい)。◎【名詞】[A] 疲れ。【例】ぶーずぶいぶがい (サトウキビの収穫疲れ)

**ぶかい** [pukai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 固くなる。【例】っしかいば ていーまい ぶかりー どうーい (寒いので手もかじかんでいる)。<sup>[変異]</sup> ほうかい。

**ふかいぬみー** [fukainumi:] 【名詞】(取れないぐらい) 深いところ、(探せないほど) 奥まったところ。【例】たくー ふかいぬみーんどう うるーば とうらいん ((その) タコは奥深いところにいるので取れない)。でいんな むいとう ふかいぬ みーん ばちゃみー あたいそがどう ぬそうまいーにゃーん (金はとても奥まったところに隠してあったが、盗まれてしまった)。

**ぶがいり** [fugairi] 【動詞】[r/r 語幹] 不平、不満を言う。【例】ぶがますんまりゃー きゅーまい ぶがいりーどう (うるさい奴は今日も口うるさくブツブツものを言っている)。<sup>[類]</sup> ぶがい。

**ぶがいり** [fugairi] 【動詞】[r/r 語幹] (ものが) 消えてなくなる、(家庭が) 一家離散する。【例】かまぬ やーや ぶがっりー はりーにゃーん (向こうの家は一家離散してしまった)。<sup>[類]</sup> ぶがい。

**ぶかす** [fukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (大、小便を) 漏らす。【例】すばいゆ ぶかす (小便を漏らす)。っそうー ぶかす (大便を漏らす)。

**ぶがなす** [buganasi] 【動詞】[s/h 語幹] 〔歌語〕分相応な振る舞いをする。【例】ぶがなしば ぶがどう ない (その地位になればその地位にふさわしくなる [古謡「豆の花」から])。

**ぶがましや** [fugamaça] 【名詞】口うるさい人。【例】かぬ ういびとうー やぐみ ぶがましや (あの老人はとても口うるさい人だ)。

**ぶがます** [fugamasi] ①【形容詞】口うるさい、よく文句を言う。【例】ぶがます ういびとう (口うるさい老人)。ういびとうん ないていがー たるまい ぶがますふ ない (老人になるとだれもが口うるさくなる)。◎【形容詞】(子供が) だだをこねる、(動詞基本形について)～するさいに文句を言う。【例】やらびゃー ンまんかい っそういやひー ぶがますふ ない (その子は母親についていこうとしてぐずる)。にゅーぶがます やらび (寝るときにぐずる子供)。うらー いつまい ふあうぶがます やいば ういんな むぬーぎゃー ふいーだうり (あいつはいつも食べるものに文句を言うのであいつに食べ物をやるな)。③【名詞】文句を言うこと、だだをこねること。【例】まーぬ ぶがます あすな (あんまり口うるさく言うな)。

**ぶかみー** [fukami:] 【名詞】奥目。【例】ぶかみー みどうん (奥目の女性)。

**ぶからす** [fukarasi] 【形容詞】嬉しい、楽しい、幸せだ。【例】にんぎんな っじすんつきゃー ふいーばどう ぶからすかい (人間は貰うよりも与える方が嬉しい)。ばー っうあん いじゃうていがー いつまい ぶからす (私はあなたに出会ったらいつも嬉しい)。ぶからっさー なたどう ひとつみ (嬉しさは涙とともに(ある))。<sup>[変異]</sup> ほうからす。

**ぶからっさむい** [fukarassamui] 【形容詞】嬉しがりな、嬉しがりだ。【例】ぶからっさむい ひとつー いつまい ばらい ばらいていー あす (嬉しがりの人はずっとニコニコしている)。

**ぶがり** [bugari] 【形容詞】[C] 気だるい。【例】きゅーや あみゃー っふいー ぶがりかいば ならん (今日は雨が降って気だるくてしかたがない)。

**ぶき** [fuki] ①【動詞】[k 語幹] [A] 口をすぼめて息を出す、(笛を、ほらを) 吹く、(煙草を) 吸う。【例】あつむぬーぎゃー ふーふーてい

ふきーふあい (熱い食べ物にはふーふーと吹いて食べる)。からー いつまい ぶらう ふきー まーい (彼はいつもほらを吹いて回ってる)。すばびーゆ ふつ (口笛を吹く)。**[類]** ふつ。  
 ㊦【動詞】[k 語幹][A] (風が)吹く。【例】か  
 दैぬ ふつ (風が吹く)。**[類]** ふつ。㊧【動  
 詞】[k 語幹][A] (中から液体、気体が)吹き  
 だす。【例】ほーっさ ばずきー みっじゃ ふ  
 きーにやーん (ホースが破裂して水が吹きだ  
 した)。すばいぬどう ふきぎかい (小便が漏れ  
 そうだ)。ぴーぬどう ふきぎかい (おならが漏  
 れそうだ)。**[類]** ふつ。㊨【動詞】[k 語幹][A]  
 (水が)沸騰する、(鍋、やかんなどが)噴(ふ)  
 く。【例】みっじゃ ふきー どうーい (水は  
 沸騰している)。なびぬ んっつーや ふきー  
 どうー (鍋のおつゆが沸騰している)。**[類]** ふ  
 つ。㊩【動詞】[k 語幹][A] (息、命が)途絶え  
 る。【例】んぬつぬ ふきーきや (命が途絶え  
 るまで)。**[類]** ふつ。

**ふき** [fuki] 【動詞】[母音語幹][A] (家と家の  
 間などを)通り抜ける。 **[類]** ふつ。

**ぷき** [puki] ㊦【名詞】[B] 細かいゴミ、ほこり。  
 【例】うまぬ ぷきゅー はうつひー はうき  
 (ここのゴミを箒で掃け)。てれびぬ はなぬ  
 ぷきゅー うーひー はらい (テレビの上のゴ  
 ミをこれで取り除け)。**[変異]** ほうき。㊧【名  
 詞】[B] フケ。**[変異]** ほうき。

**ぷぎ** [pugi] 【動詞】[母音語幹][A] (心が)満  
 ち足りる、満足する。 **[変異]** ほうぎ。

**ふきやかす** [fukjakasi] 【動詞】[s/h 語幹] 疾  
 走する。【例】ふきやかひー まいぬ ひと  
 うー んぎ (疾走して前の人を追い越せ)。

**ふきやぎ** [fukjagi] 【名詞】[C] 食 十五夜に  
 食べる米の団子 (小豆と一緒に煮る)。**[平良と**  
**西原ではふきやぎのつくりかたがちがう。平良**  
**ではもち米の粉で団子をたいて、そのだんごに**  
**塩味のするあずきをつける。西原では団子と小**  
**豆と一緒にたく。]**。【例】ふきやぎやー ぷか

かいば んぶひー ふあーでい (この米の団子  
 は固いので蒸して食べよう)。まみそうい ふ  
 きやぎ (小豆が表にのった団子)。

**ふく** [fuku] 【名詞】[C] 食 食用としての動  
 物の肺臓。【例】わーぬ ふくー んまか  
 いむぬ あらん (ブタの肺はうまいものではな  
 い)。

**ふくい** [fukui] 【動詞】[r/rr 語幹][A] 腫(は)  
 れる、膨(ふく)れる。【例】やらびやー ひと  
 ういがーまーす くんぎー かたむすまい ふ  
 くりーうたい (子供を一日中おんぶして肩も腫  
 れた)。たうしんばいや ひどう みはな一  
 ふくりゅー (おたふく風邪で顔が腫れている)。

**ふぐい** [fugui] 【名詞】[C] 陰囊(ふぐり)、蟹・  
 ヤドカリ等のお腹の卵。【例】あらがぬ ふ  
 ぐいゆ あらう (オカガニが産卵する)。

**ふぐみ** [fugumi] 【名詞】[A] くぼみ、溝。 **[変**  
**異]** ふぐん。

**ふぐん** [fugun] 【動詞】[m 語幹][A] くぼむ、  
 へこむ。【例】かまぬ んっちや ふぐみゅー  
 ば まさがん うんてんあっそう (あそこの道  
 はくぼんでるから注意して運転しろ)。くるま  
 ぬ ばんばーや ふぐみーどうー (車のバンパ  
 ーがへこんでいる)。

**ふぐん** [fugun] 【名詞】[A] くぼみ、溝。【例】  
 うまぬ ふぐんぬ またぎー くいる (ここの  
 溝をまたいで越えろ)。ふぐんー はっじゃ  
 とうらいーにやーん (くぼみに足をとられた)。  
 はいぬ ばだぬ ふぐんぬぎやー まさぐん  
 あいき (畑の溝の窪みはちゃんと歩け)。**[変異]**  
 ふぐみ。

**ふさ** [fusa] ㊦【名詞】[B] 数量、量。【例】くる  
 まんかいや はいー ふさどう はいー (車に  
 は入るだけしか入らない)。かいが ふさ ば  
 ぬんまい ふいーさまてい (彼と同じ量を私に  
 も下さい)。㊧【助数詞】(数詞を伴って)～倍。

【例】ふたふさ（2倍）。からー むぬーぎゃー  
ばが ふたふさ ふあうどうす（彼は食べ物  
を私の2倍食べる）。からー ばぬんつきゃー  
いふふさまい はーふだー（彼はわたしより  
何倍も速い）。

**ふさ** [fusa] 【名詞】[B] 草。【例】ぬーまぬ  
っさかいや やらびんみぬ すかま（馬の草刈  
りは子供達の仕事）。んつふさうぎゃー ふあ  
ーだ はやまり あいき（道草を食ってないで  
早く歩け）。[変異] っさ。

**ふさ** [fusa] 【名詞】[C] 噂、噂話。【例】あい  
や ひとうぬ っさうぎゃー ほうん（そんな  
に人の噂話はしない）。[変異] っさ。

**ふさ** [fusa] 【形容詞】[B] 臭い。【例】うぬ  
っずー っさりー ふさかいば ならん（その  
魚は腐っていてくさくて仕方がない）。ふさ  
びー（臭い屁）。ふさ いつ（臭い息）

**ふさい** [fusai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 腐る、腐  
った。【例】ふさい むぬーぎゃー ふあーん  
（腐ったものは食べない）。っぞうー ふさりや  
うらん（魚は腐っていない）。ふさい んー  
（腐った芋）。[変異] っさい。[類] ふさり。

**ふさか** [fusaka] 【名詞】[C] これだけ。[変  
異] くさか。

**ふさがい** [fusagai] ①【動詞】[r/rr 語幹]（道を）  
ふさぐ、（穴を）埋める。【例】うまー んー  
なが あいつ んつ やいば うまうぎゃー  
ふさがいな（そこはみんなの通り道だからそこ  
をふさぐな）。うまぬ あなうぎゃー ふさが  
い（ここの穴を塞ぐ）。[類] ふさず、ふさがい  
（母音語幹）。②【動詞】[r/rr 語幹]（障害物で道  
が）ふさがる、通れなくなる；（穴が）埋まる。  
【例】うまぬ んっちゃ みっじゃ たまりー  
ふさがりゆーば かまう あいき（この道は水  
が溜まって通れなくなっているからあっちを歩  
け）。かまぬ あなー んなまー ふさがりー  
どうー（あそこの穴はもう埋まっている）。③

【動詞】[母音語幹]（道を）ふさぐ、（穴を）埋  
める。[類] ふさず、ふさがい。④【名詞】（通  
り道を）ふさいでいるもの、また、通り道をふ  
さぐこと；（表情が）暗いこと。【例】うまぬ  
ふさがいゆ とういすている（そこの（通り道  
を）ふさいでるものをどかせ）。うまん たち  
ー あいや ふさがいや ほうん（そこに立っ  
て道をふさぐな）。うむてい ふさがい（顔の  
表情が暗い人）。

**ふさき** [fusaki] 【名詞】[C] これだけ。[変異]  
くさき。

**ふさず** [fusazi] 【動詞】[g 語幹] [A]（道を）ふ  
さぐ、（穴を）埋める。[類] ふさがい（母音  
語幹、子音語幹）。

**ふさに** [fusani] 【名詞】[A]（小さい芋などが  
付いた、主根になりかけている）根。【例】い  
みすず んーがまうどう ふさに んーがまて  
いー あい（小さいイモを「ふさに んーがま  
という）。[変異] っさに。

**ふさり** [fusari] 【動詞】[母音語幹] [C] 腐る。  
【例】まいや ふさりーどうー（米は腐ってい  
る）。ふさりまい（腐った米）。[類] っさい、っ  
さり。

**ふし** [fuci] 【名詞】[C] 癬、性癬。[変異] ふす。

**ふしびや** [fucibja] 【名詞】[C] 言うことを聞か  
ない暴ん坊、管理が難しい人や馬。【例】ふし  
びや ぬーま（言うことをきかない暴れ馬（皮  
肉で人間にも使う）。ふしびや んまり（人の  
言うことを聞かない奴）。ふしびや やらび（腕  
白坊主）。[類] ぎずぎやうな。

**ぶじや** [buza] 【名詞】[C] おじさん（父方、母  
方、父親、母親より上か下かは問わない）親族  
でなくとも近所の中年以上の男性を指すことも  
できる。名称、呼称ともに使える。【例】か  
いがどう はーぶじや（彼が足の速いおじさん  
だ）。

**ぶじゃがま** [buzagama] 【名詞】おじさんの中で一番年齢が若い人。

**ぶじゅぶじゅ** [buzubuzu] 【オノマトペ】ニョロニョロ。

**ぶじゅみつ** [buzumitsi] 【動詞】[k 語幹] (蛇などの動作が) ニョロニョロする; (虫などが集まって) 動く。[変異] ぶじゅみふ。

**ぶじゅみふ** [buzumifu] 【動詞】[k 語幹] (蛇などの動作が) ニョロニョロする; (虫などが集まって) 動く。【例】はうぬどう ぶーずぬ はーがらぬ すたから ぶじゅぶじゅていー ぶじゅみきー いでいっちゅー (ヘビがサトウキビの葉っぱの下からニョロニョロと這い出てきた)。むいとう はーさぬ むすぬどう きーぬ すたん ぶじゅみきゅーたい (とてもたくさんの虫が木の下にうじゃうじゃうごめいていた)。[変異] ぶじゅみつ。

**ふす** [fusi] 【名詞】[C] 癬、性癬。【例】やなふす (悪い癬)。つづあが やなふしゅーぎやー ならし (お前の悪い癬を直せ)。[変異] ふし。

**ふす** [fusi] 【名詞】[B] (竹や木などの) 節 (ふし)。【例】たきぬ ふす (竹の節)。きーぬ ふす (木の節)。ふすあな (節穴)

**ふす** [fusi] 【名詞】[B] 櫛 (くし)。【例】ふすひー あかう きっず (櫛で髪を解く)。

**ふず** [fuzi] 【名詞】[B] くじびき、またくじびきに用いる紙片など。【例】ふっじゅ ひつ (くじを引く)。ふっずぬ あたい (くじがあたる)。はーにやー ふずん あたりー うーんまん ないたい (一番上のお姉さんはくじにあたって、ウーンマになった)。

**ふず** [fuzi] 【名詞】[B] (手、足、体の) 首、襟足。【例】ていーふず (手首)。はずふず (足首)。ぬどうふず (首)。やらびやー ふっじゃ むちーどうーい ((この) 子供は首が座っている)。

**ふず** [fuzi] 【名詞】[B] 釘。【例】かにふず (鉄の釘)。きーふず (木の釘)。ふっじゅ うつ (釘をうつ)。ふっじゅ んず (釘を抜く)。くぬ ふっじゃ まがりーどうー (この釘は曲がっている)

**ぶす** [busi] 【名詞】[A] 偉人 [＜武士]。【例】みどんぶす (女傑)。ぬーからどう ぶっさいでいー (在野から偉人は生まれる)。

**ぶす** [busi] 【形容詞】[B] 動詞基本形について、～したがる/したい [「ほうす」(ほしい)の項を参照。「ぶす」は「ほうす」の連濁した形、聞き手に～してほしいという場合は、「動詞連用形+ふいーぶす」を使う、三人称に～してほしいという場合は使えず、その場合は、「～ていーがー じゃうかい (～たらしいのに)、「～ふいーばー いー (～てくれたらしいのに)を使う」。【例】どうんぎやう みーみーぶすむぬ (マグロの大群を見てみたい)。[変異] ほうす。

**ふず** [puzi] 【動詞】[g 語幹] [A] (心を) 満たす。[変異] ほうず。

**ふずー** [fuzi:] 【形容詞】[C] 身支度が遅い。【例】みどうんな ふずーかいば ならん (女性は身支度が遅くてならない)。

**ふずー** [fuzi:] 【形容詞】[C] もたもたすること、準備に時間がかかること。【例】みどうんみやー ふずーかいば まちやいん (女性たちは準備に時間がかかって待ってられない)。ふずーみどうん (準備に時間のかかる女)。

**ふすい** [fusii] 【名詞】[C] 薬。【例】っそういゆ ぬん (薬を服用する)。ほうがさんかい ふそういゆ まみー (おできに薬を塗る)。[変異] っそうい。

**ふずくば** [fuzikupa] 【名詞】くじ運の悪い人。

**ふずつ** [fuzitsi] 【名詞】[A] (家の周りの) 敷石、家の縁石。[類] ふずつす。

**ふずついす** [fuzitsiisi] 【名詞】(家の周りの) 敷石、家の縁石。 [類] ふずつ。

**ふすぶす** [fusibusi] 【名詞】(関節などの) 節々。  
【例】ふすぶす やんかいば いちやかいば  
あいかいん (節々が痛むから痛くて歩けない)。

**ふずやば** [fuzijapa] 【名詞】くじ運の良い人。  
【例】からー ふずやばびとう やいば たか  
らふっじゅぎゃー かいん かーし (あいつは  
くじ運の良い人だから宝クジはあいつに買わせ  
る)。

**ふずんみ** [fuzimmi] 【名詞】『地名』西原の後  
方にある丘。

**ふそう** [fusu] 【名詞】[B] 糞。 【例】ふそ  
うー まい (大便をする)。えっげー ふそ  
うー ん<sup>ん</sup>みーにゃーん (しまった、糞をふんでし  
まった)。ふそ<sup>ん</sup>な はいぬどう むい  
とう たかりゅー (糞にはハエが集っている)。ふ  
そ<sup>だ</sup>すからんまり (どうしようもない奴)。  
[変異] っそう。

**ふそうい** [fusui] 【名詞】[C] 薬。 [変異] っ  
そうい。

**ふそうすばい** [fususibai] 【名詞】糞尿。 【例】  
つんだらさ ういびとうなりどう ふそうすば  
いや むちゃいーゅー (可哀想に年取って下の  
世話をしてもらっている)。

**ふそ<sup>だ</sup>すからん** [fusudasikaran] 【成句】  
仕事をしない、(障がいなどがあって) 仕事がで  
きない。 【例】すかまーひらいん ふそ<sup>だ</sup>  
すからん んまり (仕事のできない能のない奴)。

**ふそうみず** [fusumizi] 【名詞】海水。 【例】  
ほうすみっじゅ ん<sup>ん</sup> (海水を汲む)。うーふ  
あっじやいきー ほうすみっじや はーさ ぬ  
みーにゃーん (溺れそうになって海水をたくさ  
ん飲んでしまった)。[変異] ふすみず、ほうす  
みず。

**ぶた** [buta] ①【形容詞】[A] (見かけより中身が)  
多い。 【例】ういがどう ぶたかいはず やい  
ば うるー とうい (こちらが中身が多そうだ  
からこっちを取れ)。くぬ はくぬどう ぶた  
かい (この箱の方が中身が多いよ)。かまぬ っ  
ぞうぬどう ぶたかいどー (あっちの魚の方が  
中身が多いよ)。②【接尾辞】(見かけより内容  
物が) 多い、(嬉しさなどが) 満ち溢れている。  
【例】いそぶた (とても幸運な人)。ばー ほ  
うからすかいば みはなぶたむぬどう あたい  
(私は嬉しくて満面の笑みだった)。うだまぶた  
(神様からのたくさんの果報)。うぬ っぞうー  
みーぶたむぬ (その魚は見かけより中身が多  
い)。からー やぐみ いずぶた (あの人はと  
ても元気がいい)。

**ふだー** [fuda:] 【接尾辞】形容詞の語幹につい  
て、「～んだよ」「～だな」という強調の意味を表  
す語尾。 【例】いみふだー (小さいんだ)。ほ  
ういふだー (大きいんだ)。きつぎふだー (きれ  
いなんだ)。んずぎふだー (見にくいんだ)。い  
からふだー (少ないんだ)。ひーちゃふだー (少  
ないんだ)。

**ふたーい** [futa:i] 【名詞】『数詞』二人。

**ふたーつ** [futa:tsi] 【名詞】『数詞』二つ。

**ふたい** [futai] 【名詞】[B] 額 (ひたい)、おで  
こ。 【例】うむくとう あいぎ ふたい (頭の  
良さそうな額)。なが ふたい (突き出たおで  
こ (をした人))。

**ぶだい** [budai] 【名詞】[B] 舞台。 【例】ぶだ  
いんかい ぬーり (舞台にあがれ)。ぶだいか  
ら うりる (舞台から降りろ)。

**ふたか** [futaka] 【名詞】[A] 双子。 【例】ふた  
かー むいとう んーしーどう ((この) 双子  
はとっても似ている)。

**ふたかいまていや** [futakaimatija] 【成句】  
(否定をとって) 二度とは～ない。 【例】ばー

ふたかいまていや あいぬ くとうーぎやー  
ほうじゃーん (私は二度とそんなことはしま  
せん)。

**ふたきな** [futakina] 【助詞】《接続助詞》(動詞  
連用形(+や)、動詞基本形+きやー(時)に  
ついて)「～やいなや」、「～と同時に」の意  
味を表す接続助詞。【例】あいきやー ふた  
きな(言うやいなや)。からー ぬーまじゃき  
やいば ぬんきやー ふたきな ぎっじゃ ひら  
いん(あいつは酒癖が悪いので飲んだら  
すぐに手が付けられなくなる)。やーゆ  
いでいや ふたきな あみぬ つふい  
ったい(家を出たらすぐに雨が降って  
きた)。

**ふたっとうい** [futattui] 【動詞】[r/rr 語幹]  
ぼんやりする、迷う、ためらう。【例】ふた  
っとりー たちゃだうり(ぼんやり立っ  
ているな)。やらびやー さんすーぬ もん  
だいや っさいんば ふたっとうりーう  
たい(その子供は算数の問題が分から  
ないので困っていた)。つうあ  
なうゆどう ふたっとうりゆー(お前  
は何を迷っているんだ)。ふたっとう  
らだ すぐ きみる(迷わないですぐ決  
めろ)[類]ふたっとり。

**ふたっとうらす** [futatturasi] 【動詞】[s/h 語  
幹]立ち往生させる、戸惑わす。【例】む  
ずかす しつもんな ひー やらびゆー  
ぎやー ふたっとうらすな(難しい質  
問をして子供を困らせるな)。

**ふたっとうり** [futatturi] ①【動詞】[母音語  
幹]ぼんやりする、戸惑う。【例】ふた  
っとうりだ すぐ きみる(迷わない  
ですぐ決めろ)ばー なうばい ほう  
でいがていー ふたっとうりーうい  
(私はどうしようか戸惑っている)。  
すかまー なまりー なうや あすか  
たー にやーだ いつまい ふたっ  
とうりー うい(仕事をやめて、な  
にもすることがなくていつもぼん  
やりしている)。[類]ふたっとうい。  
②【名詞】立ち往生すること、困惑  
すること、ぼんやりすること、また、  
その人。【例】おい ふたっ

とうり とうりぼりんまり(おい、  
(この)ぼんやりの、うすらとんか  
ち)。

**ふたっとら** [futattora] 【名詞】ぼん  
やりした人。

**ふたていない** [futatinai] 【名詞】一  
年前、去年[池間は数えて年を数える  
ので、今年が1年となるため、昨年  
は文字通りには「2年前」となる]。  
【例】ふたていないや あみぬどう  
むいとう うんそうく あたい(去  
年は雨がとても多かった)。ふた  
ていないぬ まうきやー ひやく  
まんえんどう あたい(去年の  
もうけは100万円だった)。  
[類]くじゆ。

**ふたていあとう** [futatiatu] 【名詞】  
一年後、来年[池間は数えて年を  
数えるので、今年が1年となるため、  
来年は文字通りには「2年後」と  
なる]。[類]やーに。

**ぶだひつまーい** [budahitsimai] 【名詞】  
(急激に東寄りの風が北向きの強風  
になること)。

**ふだみ** [fudami] 【名詞】[A]草鞋  
(わらじ)。【例】っしん<sup>ん</sup>かいや  
ふだみゆー ん<sup>み</sup>ーいつ(リーフ  
での潮干狩りには草履を履いて  
行く)。

**ふたんていや** [futantija] 【成句】  
(否定をとって)二度とは～ない。  
【例】かまぬ まっちゃんかい  
や ふたんていや いかん(あそ  
この商店には二度と行かない)。  
[類]ふたかいまていや。

**ふちや** [futça] 【名詞】[C]お喋り  
の人、口数の多い人。【例】かり  
やー むいとうぬ ふちや(あいつ  
はとてもおしゃべりだ)。からー  
ふちや やいば むぬいゆぎやー  
つつちゃん(彼はお喋りなので  
話をやめない)。

**ぶちやうな** [butçauna] 【形容詞】  
(子供が、体の)成長が遅い、年  
齢相応に成長していない。[類]  
ぶちゆーな、ぶちゆーい。

**ふちゃんた** [futçanta] 【名詞】粘  
土。

**ぶちゅーい** [butɕu:i] 【形容詞】(子供が、体の)成長が遅い、年齢相応に成長していない。  
[類] ぶちやうな、ぶちゅーな。

**ぶちゅーな** [butɕu:na] 【形容詞】成長が遅い、年齢相応に成長していない。【例】ぶちゅーな やらび(年齢相応に成長していない子供)。  
[類] ぶちゅーい、ぶちやうな。

**ぶちゅーながま** [butɕu:nagama] 【名詞】成長が遅い、年齢相応に成長していない子供。

**ふつ** [futsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (風が)吹く。  
【例】きゅーや かでいがまぬ ふきー すだすむぬ(今日はすこし風があって涼しい)。かじゃー きーぬ あーぎんどう ふつ(風は木の上に吹く[>一番責任のあるものには風当たりが強いという意味])。かिसかでいぬ ふつ(台風の返し風が吹く)。  
[類] ふき。

**ふつ** [futsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (家を)建てる。【例】やーゆ ふつ(家を建てる)。

**ふつ** [futsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (ものの表面を)拭く、拭いて(汚れなどを)取る。【例】だいゆ ふつ(台を拭く)。てれびぬ はなぬ ぷきゅー ういひー ふき(テレビの上のほこりをこれで拭け)。さずひー みはなう ふき(タオルで顔を拭け)。

**ふつ** [futsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 通り抜ける。【例】ひとうぬ やーや ふきー んつんかい いでいー(人の家屋敷を通り抜けて道に出る)。うまぬ やーぼっさ ふきらいん(ここの家と家との間は通り抜けられない)。  
[類] ふき。

**ふつ** [futsi] 【名詞】[B] 仕事口。【例】ふつちや にやーん(仕事はない)。きゅーや すかまふつ とうみが(今日は仕事口探しに)。ばーすかまー にやーんば ふあうふつ とうみが(私は仕事がないので、仕事口を探しに(行く))。  
[変異] うつ [母音間]。

**ふつ** [futsi] 【名詞】[B] 頃、時間;(少しの間、すき)。  
【例】ばー ゆびやー みどうんぬ やーんかい ふー ふつちゅぎやー つさだん(私は昨晚の妻の帰宅時間は知らなかった)。やらびぬ につづゆー ふつん つんぬ あらーでい(子供が寝ている間に洗濯しよう)。

**ふつ** [futsi] 【名詞】[B] (包丁や鎌などの)刃。  
【例】かたなぬ ふつ(包丁の刃)。つざらぬ ふつちゅ とうず(鎌の刃を研ぐ)。

**ふつ** [futsi] 【名詞】[B] サンゴ礁などの終わりのところ、縁(ふち)。【例】っしぬ うていふつ(礁の外側のへり)。

**ふつ あす** [futsi asi] 【成句】[不規則] (ある方向を)向く。【例】くまんかい ふつちゅ あっそう(こちらを向け)。かまぬやーや はいんかいどう ふつちや ひーゆー(向うの家は南に向いている)。

**ふつ くぱら** [futsi kupara] 【成句】口下手。

**ふつ** [futsi] ①【名詞】[B] 口、口中。【例】ひとうふつ(一口)。いみ ふつがま(小さい口)。ふつん っふん(口に含む)。あにや うさきがまぬ むぬー ふつんな さーらん(そんなすこしの食べ物では少なすぎて足りない)。  
[変異] うつ [母音間]。②【名詞】[B] (瓶などの)口、入り口。【例】うぬ くびんぬ ふつちや いみかいば じょーぐぬ にやーだかー さきやー いりらいん(この瓶の口は小さいので、じょうごがないと酒は入れられない)。すまぬ ふつんな んなとうぬどう あい(島の入り口には港がある)。かでいぬ かिस ふつんな かじゃー にやーん(台風の目に入ったら風はない)。  
[変異] うつ [母音間]。

**ふつ** [futsi] ①【名詞】[B] 話すこと、話しぶり。【例】ふつちゅ あーす(口裏を合らす)。ふつかた びとう(口の堅い人)。ふつがる びとう(口の軽い人)。ふつくばい ひとう(口下手な



人、吃りがちな人)。うぬ あばさが ふっちゅぎゃー ったきー ならーし (そのお喋りの口は叩きなおせ)。ふつあじゃーな びとう (口の悪い人)。ふつぱぎんまり (口の悪い奴)。あらうつ (歯に衣着せぬ人)。あつうつ (誉め言葉を並べる人)。ひゃーうつ びとう (早口の人)。ふつたーなぬ にんぎん (口 (口先) だけの人間)。ほうーつ (大げさな人)。うなが ふつん ふあーいーにゃーん (自分の口に食われた (口は禍の元))。ふつかない びとう (雄弁な人)。[変異] うつ [母音間]。㊟【接尾辞】ことば、普通接尾辞的に使って「～語」を表す。「うつ」と発音される場合も多い。単独でことばを表すときは「むぬい」を使う。【例】すまふつ (故郷のことば)。みゃーくふつ (宮古語 [普通、平良のことばを言う])。やーまふつちや っさいぐりむぬ (八重山語は分かりにくい)。やまとうふつちや むぬっじゃいん (共通語は話せない)。[変異] うつ [母音間]。

**ふつ** [futsi] ㊟【動詞】[k 語幹] [A] (水が) 沸騰する、(鍋、やかんなどが) 噴(ふ)く。【例】みっじゃ ふきー どうーい (水は沸騰している)。なびぬ んつーや ふきーどうー (鍋のおつゆが沸騰している)。[類] ふき。㊠【動詞】[k 語幹] [A] 口をすぼめて息を出す、(笛を、ほらを) 吹く、(煙草を) 吸う。【例】あつむぬーぎゃー ふーふーてい ふきー ふあい (熱い食べ物はふーふーと吹いて食べる)。からー いつまい ぶらう ふきーまーい (彼はいつもほらを吹いて回ってる)。すばびーゆ ふつ (口笛を吹く)。はーもにかーゆ ふつ (ハーモニカを吹く)。たばくー ふつ (煙草を吸う)。[類] ふき。㊡【動詞】[k 語幹] [A] (中から液体、気体が) 吹きだす。【例】ほーっさばずきー みっじゃ ふきーにゃーん (ホースが破裂して水が吹きだした)。すばいぬどう ふきぎかい (小便が漏れそうだ)。ぴーぬどう ふきぎかい (おならが漏れそうだ)。[類] ふき。㊢【動詞】[k 語幹] [A] (息、命が) 途絶える。【例】んぬつぬ ふきーきや (命が途絶える

まで)。いつぬにーゆ ふつ (息の根を止める [＜息の根を吹く])。[類] ふき。

**ふつあじゃーな** [futsiaza:na] 【形容詞】言いたい放題、言うべきことを判断できない。

【例】かりゃー ふつあじゃーなかいばならん (彼は言いたい放題だ)。

**ふつあまーす** [futsiama:si] 【形容詞】話し方が乱暴で失礼だ。【例】からー ふつあまーす びとう やいば ういが むぬいゆぎゃー つかだうり (彼は口が悪いので彼の言うことは気にするな)。

**ふついでい** [futsiidi] 【成句】口出し。

**ふつか** [futsika] 【名詞】[A] 《数詞》二日。

**ふつがーい** [futsigai:i] 【成句】自慢すること。

**ふつかじや** [futsikaza] 【名詞】口臭。【例】つうあが ふつかじやー っさかいば ならん (お前の口臭は臭くてならない)。

**ふつかた** [futsikata] 【名詞】幸せ運。[類] ゆー。

**ふつかない** [futsikanai] 【形容詞】口が上手い (人、ほめ上手、うまいことを言ってだます)。【例】かりゃー ふつかない むいとうぬ あつうつ (彼は口がうまい、ゴマすりだ)。

**ふつぐたい** [futsigutai] 【名詞】反論、口答え。【例】まーぬ ふつぐたい あすな (あまり口答え)。

**ふつぐるま** [futsiguruma] 【名詞】口車。【例】かいが ふつぐるまんかいや ぬーいな (彼の口車には乗るな)。

**ふっじゃ** [fuzza] 【名詞】[A] クジラ。【例】うまなぎんな ふっじゃー みーん (こら辺にくじらはいない)。

**ふつすー** [futsisi:] 【名詞】よだれ。【例】うぬ やらびゃー ふつすー たらしゃ (その子は良く涎を垂らす子)。[類] っそうすー。

**ふっず** [fuzzi] ①【動詞】[zz/dd 語幹] (穴などを) ほじくる、ほじくって取る; (神経を) 逆なです。【例】みんぬ ふっじー みんぬ っそうー とうい (耳をほじくって耳垢を取る)。わーぬ ほうにぬ ずーゆ ふっでい (豚の骨の髓をほじくって取る)。ばた ふっず (怒らせる)。からー ひとつぬ ばた ふっずんまり (彼は人の神経を逆なでするやつだ)。[類] ふっでい。②【動詞】[zz/dd 語幹] (ものを見つけるために、引き出し、カバンなどを) 探す。【例】ひきだしぬ みーゆ ふっでいー かぎゆー とうみたい (引き出しの中を探ってカギを探した)。[類] ふっでい。

**ふっず** [fuzzi] ①【動詞】[zz/dd 語幹] (縄やはりがねなどで) 引っ掛けてとる。【例】たかう ばなひー ふっでいー とうい (鷹をわなでひっかけてとる)。[類] ふっでい。②【動詞】[zz/dd 語幹] (首などを) くくる。【例】ぬどうー ふっでいー すーにーやーん (首を吊って死んだ)。[類] ふっでい。

**ぶったーらす** [butta:ra:si] 【動詞】[s/h 語幹] 揺り動かす。【例】うぬ くるまう ぶったーらし (その車を揺り動かせ)。

**ふつだま** [futsidama] 【名詞】主張した分だけ分け前があること。【例】ふつかない びとうんな ふつだまぬどう あい (よく主張できる人には主張した分だけの分け前がある)。

**ふっちゃ はまい** [futtça hamai] 【成句】[r/rr 語幹] 能力があると自慢する。【例】うらー ふっちゃ はまりんきゆーそうが ういんな なうまい ひらいん (口ではできると威張っているが彼には何もできない)。

**ふっでい** [fuddi] 【動詞】[母音語幹] [C] (鍋の底に焦げ付いた食べ物を) こそげとる。

**ふっでい** [fuddi] ①【動詞】[母音語幹] (穴などを) ほじくる、ほじくって取る、(神経を) 逆なです。[類] ふっず。②【動詞】[母音語

幹] (ものを見つけるために、引き出し、カバンなどを) 探す。[類] ふっず。

**ふっでい** [fuddi] ①【動詞】[母音語幹] (縄やはりがねなどで) 引っ掛けてとる。[類] ふっず。②【動詞】[母音語幹] (首などを) くくる。[類] ふっず。

**ふっとうらー** [futtura:] 【名詞】トラブルメーカー。【例】からー ふっとうらーぬ すーびとう (彼はトラブルを起こす人だ)。

**ぶっとうる** [buturu] 【名詞】皮膚に生まれつき出ている小さいこぶ、突起物。【例】みんばにぬ ぶっとうるがま (耳のちいさなこぶ)。

**ふつな** [futsina] 【名詞】[A] 〔植〕ハルノノゲシ [春の野野菜、食用にする]。[変異] ふつにや。

**ふつなず** [futsinazi] 【名詞】〔魚〕海のウナギの一種。【例】きゆーや ふつなっじゆ とういったい (今日はウナギを取ってきた)。

**ふつなら** [futsinara] 【名詞】(ご飯を食べるときに出る) 音。【例】むぬー ふあうとうきやんな ふつならうぎやー ほうだうり (ものを食べるときには口から音をだすな)。

**ふつにや** [futsinja] 【名詞】[A] 〔植〕ハルノノゲシ [春の野野菜、食用にする]。[変異] ふつな。

**ふつぬそうら** [futsinusura] 【名詞】口先 (ことばだけ)。【例】うらー ふつぬ そうらばかーいひー あっじゆー (彼は口先だけでしゃべっている)。

**ふつばらいにがい** [futsibarainigai] 【名詞】〔祭礼〕神願いの一種、人の悪口を払い捨てて元気になるための願い。

**ふつひぎ** [futsihigi] 【名詞】口髭。【例】ふつひぎゆー うーす (口ひげを生やす)。

**ふつびや** [futsibja] 【名詞】[C] 皮膚病の一種で突起してイボの様なもの。【例】うゆびんど

う ふつびやぬ いじゅー (指に皮膚病のイボができています)。

**ふつむとう** [futsimutu] 【名詞】舟が出入りする場所。【例】まじやぬ ふつむとう ([リーフを割って作った] 真謝の舟の出入り口)。

**ふつむとうにがい** [futsimutunigai] 【名詞】『祭礼』漁船の出入りの安全祈願 [旧暦2月(3月から4月ごろ)に安全に出入りできるようにと祈願した]。

**ふつんきやー** [futsin:kja:] 【名詞】接吻、キス。【例】かなす ふたーいや ふつんきやーゆ ひーうたい (愛し合う二人はキスしていた)。みどうんとう ふつんきやー あす (女の人と接吻する)。

**ふつんつ** [futsintsi] 【動詞】[k 語幹] 向かい合う; キスする。【例】んなまー ころな やいば ふつんかだ むぬっじゃだかー ならん (今はコロナだから向かい合わないで話さないといけない)。うぬきやが ふたーいや ふつんきゅーたい (彼等二人は向かい合っていた)。

**ふでい** [fudi] 【名詞】[A] 『地名』大神島の後方岩礁。【例】うがんぐすんどう ふじゃーあい (大神島の後方にフディ岩礁はある)。

**ふていていばー** [futitiba:] 【名詞】虫歯。【例】ふていていばーぬどう やみゅー (虫歯が痛んでいる)。[類] ふとうていばー。

**ぶとう** [butu] 【名詞】[A] 夫。【例】ぶとうーむつ ((女性が) 結婚する)。うぬ みどうんな ぶとうぬ からがいゆぎやー ほうん (この女性は夫の面倒を見ない)。

**ぶどうい** [budui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 踊る。【例】ぶどういゆ ぶどうい とうきやんな ていーぬ ふっじゅ まさぐんていー つかう ぼどう じゃうずん ない (踊りを踊るときには手の関節を上手く使えば上手になる)。ばー

ぶどういたっふあにやーん (私は踊りたくない)。

**ぶどうい** [budui] 【名詞】[A] 踊り。【例】すななき ぶどうい (品のある踊り)。うぬきやが ぶどういや むいとう たないや にやーん (あの人たちの踊りはとても不器用だ)。

**ふとうくる** [futukuru] 【名詞】懐(ふところ)。【例】うぬ でいんぬぎやー つづあが ふとうくるんかい いりーうき (このお金をお前のふところに入れておけ)。ふゆんな ぱーが ふとうくるん かったかいー につづいー うたい (冬にはおばあちゃんに抱かれてねていた)。[類] ふちゅくる。

**ふとうた** [fututa] 【名詞】[C] ダメな奴、バカなやつ。【例】かりやー ふとうちゃ (彼はダメな奴だ)。[類] ふとうちゃ。

**ふとうつ** [fututsi] 【動詞】[cc/tt 語幹] [C] (木などが) 朽ちる、(芋などに虫が入って) 食べられなくなる。【例】くぬ きーや ふとうちゅー (この木は腐っている)。[類] ふとうてい。

**ふどうつ** [fudutsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (異性を) 口説く、説得する。【例】うぬ あばらぎ みどうんな ふどきー とうずあっそう (そのきれいな女性を口説いてお嫁さんにしなさい)。うらー ふどうきー だいがいくいんかい いかし (彼を説得して大学院に行かせる)。

**ふとうてい** [fututi] 【動詞】[母音語幹] [C] 木などが 朽ちる、(芋などに虫が入って) 食べられなくなる。[類] ふとうつ。

**ふとうてい** [fututi] 【形容詞】[B] 朽ちた(木など)、虫の入った(芋など)、おろかな(人)。【例】ふとうてい んー (虫の入った芋)。ふとうていんまり (馬鹿な奴)。うぬ はーぬどう んながーんな ふとうていかい (この歯が一番虫歯が進んでいる)。

**ふとうていばー** [fututiba:] 【名詞】虫歯。【例】ふとうていばーゆぎやー んがだかー な

らん（虫歯を抜かないといけない）。うすばーや ふとうていーばー（奥歯は虫歯だ）。

**ふとうていんー** [fututin:] 【名詞】虫のはいったいも。【例】んきやーんな ふとうていんーなぎ ひどう んーくっじゅ ちゅっふゆーたい（昔は虫の入ったいもなどでいもくずをつくっていた）。

**ぷとうぷとう** [putuputu] 【オノマトペ】ぶるぶる。【例】っしかいば ぷとうぷとうていー ほうーりー うたい（寒いのでぶるぶると震えていた）。

**ぷとうみつ** [putumitsi] 【動詞】[k 語幹]（怖くて、うれしくて）ドキドキする。【例】まずむぬー みー つむぬどう ぷとうみきゅー（幽霊を見て、（怖くて）胸がドキドキした）。あばらぎ みどうん いじやいー つむー ぷとうみきゅーたい（きれいな女性に出会って胸がドキドキした）。

**ふない** [funai] 【名詞】[C] 船酔い。【例】ばーふにん ぬーいきやー ふたきな ふない あす（私は船に乗ったらすぐに船酔いする）。

**ふなうさぎ** [funausagi] 【名詞】旅に出る船を見送ること。【例】じょ、たろーゆ ふなうさぎ あすが（さー、太郎を見送りに（行こう））。

**ふなず** [funazi] ①【動詞】[g 語幹] [C] 交接の動作をする。【例】ぴーゆぎやー ふなずっちゃん まず（上下の動きをしながら女陰器と交合する）。②【名詞】[C] 交接の時の上下の動き。【例】ぴーゆ まず とうきやんな ふなず あす（セックスするときは（腰の）上下運動をする）。

**ふなつき** [funatsiki] 【名詞】舟着き場。【例】かまぬ ふなつきんかい ふにゆー とうみる（あそこの船着き場に舟を泊めろ）

**ふなばんやー** [funabanja:] 【名詞】舟を置くための掘立小屋。

**ぶなりや** [bunarja] 【名詞】[C] 女性（普通は若くて品のある女性を言うときに使う）。【例】かぬ あばらぎ ぶなりやう とうずほうでい（あのきれいな女性を妻にしよう）。

**ふに** [funi] 【名詞】[C] 船、舟。【例】ふにぬ とうむ（船尾）。ふにぬ うやかた（船主）。ふにぬ しんどう（船長）。ふにぬ しんか（船員）。ふにゆー はず（船を作る）。んきやーんな ふにから うつなーたーひー いきゅーたい（昔は船で沖縄まで行っていた）。

**ふにぬとうむ** [funinutumu] 【名詞】船尾、とも。【例】ばー ふにぬ とうむん びじー かつじゅ とうらでい（私は舟のともに座って舵をとろう）。

**ふにぬはなず** [funinuhanazi] 【名詞】船首。【例】つうあー ふにぬ はなずん たちー かつちゅー っち（お前は船首に立ってカツオを釣れ）。

**ふにゆー** [funju:] 【名詞】[C] 柑橘類の総称、みかん。【例】そー ふにゆー（すっぱいみかん）

**ふにゆーぎー** [funju:gi:] 【名詞】ミカンの木。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどうー（そのミカンの木は枝が集っている）。

**ぶば** [buba] 【名詞】[C] おばさん [自分の父親、母親の姉、妹]、親族でなくとも近所の中年以上の女性を指すこともできる。名称、呼称ともに使える。【例】かいがどう かないぶば（彼女が仕事の良くできるおばさんだ）。[類] ぶばま、ぶばんま。

**ぶばい** [bubai] 【名詞】[B] 《植》苧麻（ちよま）[宮古上布の糸の材料]。【例】ぶばい ぎー（苧麻の木）。[類] ぶー。

**ぶばがま** [bubagama] 【名詞】おばさん [自分の父親、母親の一番下の妹]、親族でない大人の女性を親しみを込めて指す。名称、呼称ともに使える。【例】ぶばがまー みゆーいんつき

やーまい うっとう ((その) 末のおばさんは、おい (めい) よりも年下だ)。

**ぶばな** [bubana] 【名詞】[C] 穂。【例】ぎすつぬ ぶばな (ススキの穂花)。ぶーずぬ ぶばなぬどう いじゅーい (砂糖キビの穂花がでた)。

**ぶばま** [bubama] 【名詞】[C] おばさん [自分の父親、母親の姉、妹]、名称、呼称両方に使える。親族のみに使う。【類】ぶば、ぶばんま。

**ぶばんま** [bubamma] 【名詞】おばさん [自分の父親、母親の姉、妹]、名称、呼称両方に使える。親族のみに使う。【類】ぶば、ぶばま。

**ぶぶーい** [bubui] 【動詞】[r/rr 語幹] (服などに付いたごみ、ほこりを) 払ったり、振ったりして落とす。【例】もーふぬ くびゅー ぶぶいりー うたす (毛布のゴミをふるって落とす)。【変異】ぶぶい。

**ぶぶい** [bubui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (服などに付いたごみ、ほこりを) 払ったり、振ったりして落とす。【変異】ぶぶーい。

**ふや** [fujā] 【名詞】[C] 知ったかぶりをするひと。【例】からー むいとうぬ ふやがま (あいつは知ったかぶりをするやつだ)。

**ふやず** [fujazi] 【動詞】[g 語幹] [C] (他人を) 悪く言う。【例】あいや ひとつーぎゃー ふやがん (そんなに他人の悪口を言うな)。からー いつまい うなが んまーさぬ くとろーど う ふやぎーまーるー (彼はいつも自分の両親の悪口を言ってまわっている)。【類】ふあやず。

**ふゆ** [fuju] 【名詞】[A] 冬。【例】ふゆん なりー っしふ なりーにゃーん (冬になって寒くなった)。

**ふゆー** [fuju:] 【名詞】[A] 怠け者、骨惜しみ。【例】からー むいとうぬ ふゆー (あいつは

とっても怠け者だ)。まーぬ ふゆー あすな (骨惜しみせずにちゃんとやれ)。

**ふゆー** [fuju:] 【形容詞】[B] (いいわけをして) 仕事をしない。【例】かりゃー いつまい ふゆーかいばならん (彼はいつも (あれこれと理由をつけて) 怠けてばかりいる)。からー すかまー ひらいん ふゆーんまり (彼は仕事をしない怠け者だ)。

**ふら** [fura] 【名詞】[B] (馬の) くら。【例】ぬーまぬ ふら (馬のくら)。

**ぶら** [bura] 【名詞】[A] 『地名』保良 (ぼら)。【例】ぱーや ばぬー さーりー ぶらぬ むぬすーぬ まいたーひー いきゅーたい (おばさんは私を連れて保良のユタのところまで行った)。

**ぶらーい** [burai] 【動詞】[母音語幹] (風に) 煽 (あお) られる。【変異】ぶりゃーい。

**ぶらう** [burau] 【動詞】[w 語幹] [C] 風が吹く、(扇風機やせんすの) 風が当たる；(風が旗などを) はためかせる。【例】きゅーや ちゅーかでいぬどう ぶらいゆー (今日は風が強い)。あうずひー くまんかい かじゅー ぶらーし (扇子でこっちに風を送れ)。【変異】ぶりゃう。

**ぶらかいー** [burakai:] 【動詞】[r/rr 語幹] 転倒する、ひっくり返る。【例】ん<sup>ん</sup>ぬ うまんぶらかいーたい (昨日、ここで転んだ)。ういびとう ないていがー はっじゃ ゆーりーでいーゆ つかだかー ぶらかいーがまた (年取ったら足が弱って杖を突かないとひっくり返る)。みっふあまーいやひどう ぶらかいらっじゃうたい (立ち眩みして急に倒れそうになった)。【類】ぶらかいり。

**ぶらかいす** [burakaisi] 【動詞】[s/h 語幹] ひっくり返す。【例】いっさ ぶらかいひー かんぬ とうい (大きな石をひっくり返してカニを取る)。

**ぶらかいり** [burakairi] 【動詞】[母音語幹] 転倒する、ひっくり返る。 [類] ぶらかいー。

**ぶらふきや** [burafukja] 【名詞】嘘つき、ほら吹き。【例】かりゃー ぶらふきや やいば かいが むぬいゆぎゃー まさぐんな つかだうり (彼はほら吹きだから彼の話はまともには聞くな)。うりゃー ぶらふきや やいば ういが むぬいや まとうー ひらいん (彼はほら吹きだから彼の言うことは当てにできない)。

**ぶり** [buri] ①【動詞】[母音語幹] [C] (木の枝などをわざと) 折る; (事故などで足などを) 折ってしまう; (釘や針金を) 折り曲げる; (立っている木や植物をなたなどで) 切り倒す、またそのようにして (サトウキビなどを) 収穫する。 [類] ぶい (r/tr 語幹)。②【動詞】[母音語幹] [C] (骨が) 折れる、(紙が) 折れる、(釘や針金が) 折り曲がる、(腰が) 曲がる。 [類] ぶい (r/tr 語幹)。③【動詞】[母音語幹] [C] (着物などを) 折りたたむ、(紙を) 折る。 [類] ぶい (r/tr 語幹)。

**ぶりー** [buri:] 【名詞】[C] 失礼、無礼。【例】ばー んぬー っうあんかい いたらーん くとうー あっじー やぐみ ぶりー あたい (私は昨日あんたに対して思慮の欠けたことを言っ大變申し訳なかった)。

**ぶりなん** [burinan] 【名詞】リーフや岸辺に打ち寄せる波。【例】うがんぐす ふでい ならび ぶりなんがまぬよ いちゆんな なりー かしんな なりー (大神の後方にフデ岩が並んでいて、(それに) 当たる白波が 糸になり、かし糸になり [古謡「漲水のクイチャー 5 番、6 番」より])。

**ぶりゃーい** [burja:i] 【動詞】[母音語幹] (風に) 煽(あお)られる。【例】かでいん ぶりゃーいーにゃーん (風に煽られた)。 [変異] ぶらーい。

**ぶりゃう** [burjau] 【動詞】[w 語幹] [C] (風が旗などを) はためかせる。【例】かでいぬ

はたう ぶらいゆー (風が旗をはためかせている)。 [変異] ぶらう。

**ぶりんつ** [burintsi] 【動詞】[k 語幹] (穴等に誤まって) 落ちる。 [変異] ぶりんふ。

**ぶりんふ** [burinfu] ①【動詞】[k 語幹] (穴等に誤まって) 落ちる。【例】はーなんかい ぶりんきーにゃーん (大穴に落ちてしまった)。 [変異] ぶりんつ。②【動詞】[k 語幹] (家とか石垣などがいっぺんに) 崩れ落ちる。【例】やりやーや ないん ぶりんきー たうりーにゃーん (古家が地震でどっと崩れ落ちた)。

**ぶるくん** [burukun] 【名詞】『魚』タカサゴ。【例】ぶるくんつーや うむっし (タカサゴを釣ることは面白い)。 [類] ぐるくん。

**ふん** [fun] 【名詞】[C] (学校などの) 組、味方。【例】くまぬ ふんな でいきふん (こっこの組は頭のいい組だ)。ばんていが ふん (味方側)。

**ぶん** [bun] 【名詞】[C] 盆 (配膳のために食器や食べ物をのせる平たい器)。【例】かんにがいぬ ぶん (祈願の盆)。

**ぶんかいり** [buŋkairi] 【副詞】特別に、非常に。【例】からー ぶんかいりどう うむくとう あいかい (彼は非常に頭が良い)。かりゃー ぶんかいりどう かないかい (彼は特別に仕事ができる)。 [変異] ぶんかっり、ぶんかりー。

**ぶんかっり** [buŋkarri] 【副詞】特別に、非常に。 [変異] ぶんかいり。

**ぶんかりー** [buŋkari:] 【副詞】特別に、非常に。 [変異] ぶんかいり。

**ふんず** [funzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A] わなで引つ掛ける; 縄で縛る; (契約、条件などが行動を) 制約する。【例】ばなひー たかう ふんず (ワナで鷹を引つ掛ける)。ひんじやう ふんず (ヤギを縄で縛る)。でいんぬ かいていがー ういんどう ふんじやらい (お金を借りたらそれに縛られる)

**ぶんびし** [bumbiçi] 【名詞】『祭礼』祈願のお膳を供えること、そのお盆の置き方。【例】ぶんぶしゅーぎゃー まさがん あっそう（お盆の置き方をちゃんとしなさい）

**ぶんびしぶどうい** [bumbiçibudui] 【名詞】『祭礼』お膳を供えて祈願が神様に通じるように願う踊り。【例】かぎにがいぬ ぶんびしぶどうい

**ぶんみかす** [bummikasi] 【動詞】[s/h 語幹] 一目散に走る。【例】ぶんみかひー とうばし（一目散に走れ）。

**ぶんみゃー** [bummja:] 【名詞】昔女性たちが上布を作ったところ、村番所（現在の旧公民館）。【例】んきゃーんな みどんみゃー ぶんみゃーん うぐなーらはいどう ぶーずんぬ うらはい うたいちゃ（昔は女性たちがぶんみゃーに集められて苧麻を織らされたそうだ）。

へ

べー [be:] 【感動詞】『間投詞』命令、依頼の前に使う、「ほら」[同年以下に使う。年上には「じゃー」を使う]。【例】べー つづあが っふ

すー みはなう くぬ さずひー ぬぐい (ほら、お前の汚れた顔をこの手拭いで拭け)。べー ふあい (ほら、食べなさい)。





# ほ

**ぼーしゅー** [bo:ɕu:] 【名詞】 24 節気の一つ。太陽の黄径が 75 度のときをいう。陰暦 5 月の節で、陽暦の 6 月 6 日頃に当たる。稲、麦など芒（のぎ）をもつ穀物の種をまく時期とされていた。芒種。【例】ぼーしゅー なりゅーば まいまい むずまい いびだかーならん（芒種になっているので米も麦も植えないとならない）。

**ほーらいまい** [horaimai] 【名詞】 それまで主流だったタイ米に代わって、台湾で品種改良されて作られたジャポニカ米の一種、おいしいコメの代名詞だった。【例】ほーらいまいや んまい（蓬莱米は美味い）。

**ほう** [hu] 【動詞】 不規則動詞「あす（する）」の未然形。否定形（－ん）、意志形（－でい）、否定条件（－だかー）を取るときに使われる。【例】ばが ほうだかー たるが ほうでい（私がやらないと誰がやるのだ）。

**ほう** [hu] 【接頭辞】 大きい、最年長を表す。【例】ほうやー（大きい家）。ほうなん（大波）。ほうみどうん（大きい体格の女性）。ほうがばー（とても大きい）。ほうーに（大きな船）。ほうっぴとう（大人、偉い人）。ほうじなん（二男を力強く呼ぶ言い方）

**ほうー** [hu:] 【名詞】 [B] 帆。【例】ふにぬ ほうー（舟の帆）。

**ほうーい** [hui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]（体が）震える；（怖くて、寒くて、緊張して）震える。

【例】あてい っしかいば ほうりーどう（余りにも寒いので震えている）。うとうるすかいば ほうーりゅーたい（怖くて震えていた）。っし かいば ほうーりーどうー（寒いので震えている）。ひとうぬ まいん はなす あすていがー ほうーいどうす（人の前で話をする緊張して震える）。[類] ほうーり。

**ほうーい** [hui] ①【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 欲しい、欲しがる。【例】いんぬどう っぞっー ほうーりー ゆー（犬がさかなをほしがっている）。がずむぬー いつまい でいんぬ ほうーりーゆー（ケチな人はいつもお金を欲しがる）。[類] ほうーい（母音語幹）。②【動詞】 [母音語幹] [A] 欲しい、欲しがる。[類] ほうーい（r 語幹）。

**ほうーき** [hu:ki] ①【動詞】 [母音語幹] [C] 実際より誇張して話す、大げさに言う。【例】まーぬ ほうーきだうり（余り大げさにものを言うな）。②【形容詞】 [B]（話が実際より）誇張されている、大げさだ。【例】からー いつまい ほうーきかいば ならん（彼はいつも話が大げさだ） ほうーきんまり（大げさな奴）。

**ほうーぐる** [hu:guru] 【名詞】 おばけ、魔物。【例】ほうーぐるぬ ふーば なかだうり（お化けが来るから泣くな）。やらびやー ほうーぐる いっぐい あす（子供はお化けを怖がる）。

**ほうーぐる** [hu:guru] 【形容詞】 とても怖い、恐ろしい。【例】ほうーぐる まずむぬ（怖いおばけ）。ほうーぐる あす（怖がる）。

**ほうーぐるうー** [hu:guruu:] 【成句】 [vv 語幹] (お化けなどを) ととても怖がる。【例】 やらびやー まずむぬー ほうーぐるうーいづうい (子供はお化けをととても怖がっている)。しーとうんみやー うぬ しーしーゆ ふーぐるうーいづやー ほうー (生徒たちはその先生をととても怖がる)。

**ほうーじゃにやーん** [hu:zanja:n] 【成句】 年齢相応でない。【変異】 ほうーでいや にやーん。

**ほうーたい** [hur:tai] 【名詞】 広い額 (ひたい)。【例】 ほうーたいびとう (額の広い人)。

**ほうーちや** [hur:ɕa] 【名詞】 [C 特殊] 大口をたたく人。【例】 からー むいとうぬ ほううつ (あいつは大口たたきだ)。

**ほうーつ** [hur:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 実際より誇張して話す、大げさに言う。【例】 まーぬ ほうーかだうり (余り大げさにものを言うな)。

**ほうーつ** [hu:tsi] 【名詞】 [C 特殊] コレラなどの伝染病のこと; 『祭礼』またそれを防ぐための無病息災の祈願、ウチャナクを供えて祈願する。ジャウヌ カニソウジャウヤが100年ほどまえに始めた。【例】 ほうーつにがい (疫病予防の祈願)

**ほうーっじゃにやーん** [hu:zzanja:n] 【成句】 年齢相応でない。【変異】 ほうーでいや にやーん。

**ほうーでいや** [hu:dija] 【副詞】 大体において。【例】 つづあが たまぬどう ほうーでいや はーさかい (あなたの分け前が大体において多いです)。

**ほうーでいや にやーん** [hu:dija nja:n] 【成句】 年齢相応でない。【例】 かりやー ほうーっじゃにやーん ういびとう (彼は年相応

の分別がない年寄りだ)。【変異】 ほうーじゃにやーん、ほうーっじゃにやーん。

**ほうーます** [hu:masi] 【動詞】 [s/h 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。【例】 やらびんかい おもちやう ほうーます (子供におもちゃを見せびらかす)。

**ほうーみつ** [hu:mitsi] 【動詞】 [k 語幹] (興奮して) 声を荒立てる。【例】 まーぬ ほうーみつな (そんなに声を荒立てるな)。

**ほうーや** [hu:ja] 【名詞】 [C] 長男。

**ほうーらーしゃ** [hura:ɕa] 【名詞】 見せびらかすだけでくれない人、ケチ。【例】 かりやー むいとうぬ ほうらーしゃ (彼はとてもケチだ)。からー いつまい むぬー むぬー ほうーらかひーぬ ほうーらーしゃ (彼はいつもものをみせびらかすケチだ)。【変異】 ほうーらーしゃ。

**ほうーらーす** [hura:si] ① 【動詞】 [s/h 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。【例】 まーぬ ひとつんかい でいんぬぎやー ほうーらーすな (あまり人に金を見せびらかすな)。ほうーらーす がずんまり (見せびらかしのケチ)。【変異】 ほうーらす。【類】 ほうーらかす。② 【形容詞】 見せびらかすだけでくれない、ケチでしみわたっている。【例】 からー ほうーらすんまり (あいつはケチだ)。あいぬ ほうーらーす くとーぎやー ほうん (そんなしみわたれたことをしない [>してはいけない])。【類】 かーかん、がず。

**ほうーらかす** [hurakasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。

**ほうーらしゃ** [hura:ɕa] 【名詞】 見せびらかすだけでくれない人、ケチ。【変異】 ほうーらーしゃ。

**ほうーらす** [hura:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。【変異】 ほうーらーす。

**ほうーり** [huri] 【動詞】[母音語幹][A] (体が)震える。[類]ほうーい。

**ほうーん** [hu:n] 【動詞】[m 語幹][C] 欲しがる。【例】ばが っぎー さきゅーぎゃー ぬまんば さきゅー ほうーんていぬ くとうーにゃーん (私の父は酒は飲まないの酒を欲しがることはない)。

**ほうーんみ** [hu:mmi] 【名詞】(魚の)大群。【例】ぐんぬどう ほうーんみん なりー ゆりっちゅーば じょ あんぬ はらでい (むろあじが大群になって押し寄せてきているから網を張ろう)。

**ほうい** [hui] 【動詞】[r/rr 語幹][C] (穴を)掘る、周りを掘る、掘って取る。【例】かーゆ ほうい (井戸を掘る)。きーぬ にーゆ ほうい (木の根を掘る)。んーぷらひー んーぬ ほうい (芋掘り棒で芋を掘る)。

**ほうい** [hui] 【動詞】[r/rr 語幹][A] 惚れる、(恋愛の対象として)好きになる。【例】ばーあばらぎ なかーにんかい ほういたい (私はきれいな次女を好きになった)。[類]ほうり。

**ほうい** [hui] 【形容詞】[B] 大きい。【例】ほういかい っぞうー とういー っじる (大きい魚を取って自分の分にしなさい)。ほういふない (大きくなる)。うぬ にぐーや まーぬ ほういつふあにゃーんば とういや だみ (このシャコガイはあまり大きくないから取っちゃだめだ)。じゅーがつぬ かでいふつぬどう ほういかたい (10月の台風の方が大きかった)。

**ほういさ** [huisa] 【名詞】[C] 大きさ、おおきいこと。【例】ほういさう はかい (大きさを測る)。っぞうー ほういさー ます (魚は大きいのがいい)。ていんぬ ほういさー っさいん (空の大きさは分からない)。

**ほういさー ます** [huisa: masi] 【成句】大

きい方が良い、大は小を兼ねる。【例】ほういさー ます (大きい方がよい)。

**ほういつ** [huitsi] 【名詞】[C] (驚いたときに出る)声にもならない声；(失望したときに出る)ため息。【例】かりゃー うどうるきどう ほういつちや すんきー うたい (彼は驚いて声にもならない声を上げていた)。やきゅーゆみーっちゃーん ほういつ あす (野球を見ながらため息をつく)。

**ほうか** [huka] 【名詞】[C] (自分の家でない)よそ、~以外、外側。【例】やらびんみゃー ほうかんかい あそーが はりーにゃーん (子供たちは他所(よそ)に遊びに行ってしまった)。やらびんみぬ ほうかんな うまんた たるまい みーん (子供たちのほかにはそこには誰もいない)。あんぬ ほうかぬ うにゃ (網の外のフグ [>役立たず、仲間外れ])。

**ほうか** [huka] 【名詞】[C] 外海、リーフの外側の海。【例】きゅーや ほうかんきー いきー っぞー とうらでい (今日は外海に行つて魚を取ろう)。

**ほうか** [huka] 【名詞】[C] 以外。【例】てれびゃー やぶりゅーば かいふー ほうかーにゃーん (テレビは壊れているので買つてくる以外にない)。

**ほうかい** [hukai] 【動詞】[r/rr 語幹][C] 固くなる。[変異]ぶかい。

**ほうがさ** [hugasa] 【名詞】[B] おでき、外傷が膿んだもの。【例】ほうがさー んみーどう (おできが膿んだ)。いちゃ ふがさー いでいー やんかいば ならん (痛いおできが出て痛くてならない)。

**ほうがさー** [hugasa:] 【名詞】裏がえし、さかさ。【例】つんぬ ほうがさーん つー (服を裏返しに着る)。[類]さかさー。

**ほうがす** [hugasi] ① 【動詞】[s/h 語幹][A] 穴をあける、(穴を)あける [「穴」は「ほうが

す」の意味に入っているため、無くてもよいが、明示してもよい。【例】がばーちゃ ほうがし（大きな穴をあける）。くまう ほうがひーみーる（そこに穴をあける）。いーがまひーかびーゆ ほうがす（千枚通しで紙に穴をあける）。みーゆ ほうがす（体に穴をあける [＞だます]）◎【動詞】[s/h 語幹] [A]（心に）穴をあける [= 気落ちさせる]。【例】ばー きゅーや かいん あていくとう あっじゃーい つむー ほうがはいにゃーん（私は今日は彼にあまりにもいわれて気が滅入った）。

**ほうがす** [hugasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（穴を）開ける。【例】いいひー あなう ほうがし（錐で穴を開ける）。

**ほうがなまい** [huganamai] 【名詞】頭の大きい人、偉い人（比喩的表現）。【例】からー ほうがなまい やいば くぬ ぼーしゃー いみふだー（彼は頭が大きいからこの帽子は小さすぎる）。ほうがなまいたが むぬいゆぎゃー つかだかー ならん（偉い人達の話は聞かないといけない）。

**ほうかびじ** [hukabizi] 【名詞】『地名』保良の北側にあるリーフの名前。

**ほうがら** [hugara] 【形容詞】[C 特殊] 大柄な、大柄だ。【例】ほうがら びとう（大柄な人）。

**ほうからす** [hukarasi] 【形容詞】嬉しい、楽しい、幸せだ。【例】きゅーや やびとうー んなん いじゃーい やぐみ ほうからすむぬ（今日はみなさんにお目にかかれてとてもうれしいです）。んまがぬ すぐいていがー ほうからす（孫が出世してくれたら嬉しい）。[変異] ふからす。

**ほうからっさ** [hukarassa] 【名詞】楽しいこと、うれしいこと。【例】ゆーいんな ほうからっさ あす（お祝いで楽しくすごす）。ほうからっさー なたとう ひとつみ（うれしさは

なみだとともに [＞うれしいときは涙もでるものだ]）。

**ほうき** [huki] ①【名詞】[B] 細かいゴミ、ほこり。[変異] ぶき。◎【名詞】[B] フケ。[変異] ぶき。

**ほうぎ** [hugi] 【動詞】[母音語幹] [A]（心が）満ち足りる、満足する。【例】んまむぬー ふあいー つむまい ほうぎーどうー（おいしいものを食べて心も満ち足りた）。[変異] ぶぎ。[類] ほうず。

**ほうぎ** [hugi] 【動詞】[母音語幹] [A] 穴があく、穴をあける。[類] ほうず。

**ほうぎゃん** [hugjan] 【名詞】[C 特殊] 『食』高粱（コウリヤン）。【例】ほうぎゃんぬ ほうーぐる（高粱の茎）。

**ほうじゃう** [huzau] 【名詞】[C] 煙草入れ（革製）。【例】んきゃーんぬ ひとつんみゃー ほうじゃうん きざみ たばくー いるーたい（昔の人達は煙草入れに刻み煙草を入れていた）。

**ほうす** [husi] ①【動詞】[s 語幹] [A] 欲しがる/ほしい。【例】いんぬどう みっじゅ ほうしゅーい（いぬが水をほしがる）（「どう」がなくてもいい）（語調の整え）◎【形容詞】[B] 欲しがる/ほしい。【例】ばー ういがどう ほうすかい（私はそれが欲しい）。ばー きばんかいば でいんぬ ほうすかいばならん（私は貧しいから金が欲しくてならない）。③【形容詞】[B] 動詞基本形について、～したがる/したい [通常 連濁して「ぶす」となる、聞き手に～してほしいという場合は、「動詞連用形＋ふいーぶす」を使う、三人称に～してほしいという場合は使えず、その場合は、「～ていがー じゃうかい（～たらいいのに）、「～ふいーばーいー（～てくれたらいいのに）」を使う。【例】からー うぬっぞうー みーぶすむぬちゃ（彼はその魚を見たがっているんだって）。っうあ

ー なうゆどう ふあうぶすかいが (あなたは何をたべたいですか)。んまっぞうー ふあうぶすかい (おいしい魚を食べたい)。つづあが  
つふあー んじゃんかいどう いつぶすかいが  
いー (君の息子はどこに行きたいのかね)。つづあが  
つさらんかい いきーふいーぶすむぬ (君が平良に行ってほしい)。ばー つづあん  
うるー けんきゅーや ひーふいーぶすむぬ (君にこれを研究してほしい)。**[変異]** ぶす。

**ほうす** [husi] 【動詞】[s 語幹] [C] (着物などを) 干す。【例】つんぬ ほうす (着物を干す)。つんほうすざう (物干し竿)。すまん  
なつぞうーぎゃー ほうしや ふあーっだん (村では魚を干して食べなかった)。

**ほうす** [husi] 【動詞】[s 語幹] [C] (乾かすために) 干す。【例】つんぬ ほうす (着物を干す)。

**ほうす** [husi] 【名詞】[A] 星。【例】つच्चゆ  
な ていんぬ ほうっそう みー (月夜には天の星を眺める)。**[類]** ふす。

**ほうず** [huzi] 【動詞】[g 語幹] [A] (心を) 満たす。【例】つむー ほうずきやたーひー  
んまむぬ ふあうたい (心ゆくまでごちそうを食べた)。んまがぬ だいがくんかい ごーかく  
ー ひー つむー ほうがはいにやーん (孫が大学に合格してうれしかった [＜心が満たされた])。**[変異]** ぷず。**[類]** ほうぎ。

**ほうず** [huzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A] 穴があく、穴をあける。【例】つづあが ずぼんぬ  
ていびゃー ほうぎーどうー (お前のズボンのお尻は穴があいている)。**[類]** ほうぎ。

**ほうずむ** [huzimu] 【名詞】[C 特殊] 広い心、また、心の広い人。【例】からー つむかぎ  
ほうずむびとう (彼は心がきれいで、優しい人だ)。**[変異]** ほうっずむ。

**ほうすん** [husin] 【動詞】[m 語幹] [C] 欲しがる/ほしい。【例】やらびぬどう みっじゅ

ほうすみゅー (犬が水を欲しがっている)。ひ  
とうぬ むぬーぎゃー ほうすまん (人の物を欲しがるな)。

**ほうそうー** [husu:] 【名詞】[C] 海水、潮。  
【例】ほうそうーゆ ん<sup>ん</sup>が いかでい (海水を汲みに行こう)。**[変異]** ほうっそうー、ほう  
っそう。**[類]** ほうそうみず。

**ほうそうみず** [husumizi] 【名詞】海水、潮。  
**[類]** ほうそうー。

**ほうだ** [huda] 【副詞】量を表す表現の前に来て概数を表す、大体、およそ。【例】くぬ てれ  
びゃー ほうだ いっかねんぎゃー なりーど  
う (このテレビは (買ってから) 約一年くらいになる)。くまぬ はいや ほうだ やそうる  
(ここの畑は約 1 反だ)。うつなーたーひー ひ  
こうきひー ほうだ いちじかん かかい (沖縄まで飛行機で約 1 時間かかる)。

**ほうだに** [hudani] 【名詞】[C 特殊] 大きな睾丸、また象皮病が原因で睾丸が大きくなること、またその睾丸、またその人。【例】んきやーん  
な かじゃん つふあいー つさやんな ひー  
ほうだにんまい ないたいちゃ (昔は蚊に刺されて象皮病になって、大きな睾丸になったりしたそうだ)。

**ほうっづあい** [huvvai] 【名詞】牛・馬等によってできた肥料、堆肥 [化学肥料は「きんぴ」という]。【例】ほうっづあいや むぬ でい  
かす むぬ (堆肥は植物の成長に良い)。

**ほうっさ あす** [hussa asi] ① 【動詞】[不規則] ほしがる、ほしい (と思う)。【例】ばー  
んなま とうず ほうっさ ひーうい (私は嫁が欲しいと思っている)。からー ばかかい  
きゃー むいとう でいんほうっさ あすたい (彼は若いときはとてもお金を欲しがった)。②  
【接尾辞】[不規則] (動詞の基本形について) たがる、たい。【例】ばが っぎー いつまい  
さきゅー ぬんぶっさ ひーうい (私の父は酒飲みなので酒をのみたがっている) さきゅー

ほうっさ ひーうい (酒を飲みたがっている)。  
とうずとうみぶっさ ひーうい (嫁を貰いたがっている)。

**ほうっずむ** [huzzimu] 【名詞】広い心、また、心の広い人。 [変異] ほうずむ。

**ほうっそう** [hussu] 【名詞】 [C] 海水、潮。  
[変異] ほうそうー。

**ほうっそうー** [hussu:] 【名詞】海水、潮。  
[変異] ほうそうー。

**ほうっばば** [hubbaba] ① 【形容詞】幅が広い、大股だ。【例】ほうっばば んつ (幅の広い道)。ほうっばば やすつ (大きな敷地)。② 【名詞】幅が広いこと、大股。【例】ほうっばば ひー あいつ (大股で歩く)。

**ほうっばんまい** [hubbammai] 【名詞】主食。  
【例】んきゃーんぬ ほうっばんまいや んー あたい (昔の主食は芋だった)。[変異] ほうばんまい。

**ほうっびとう** [hubbitu] 【名詞】偉い人。  
【例】かぬ だいがくぬ しーしーや やぐみ ほうっびとう (あの大学の先生はとても偉い人だ)。ほうっびとう ふいゆ あす ひとう (偉そうなふりをする人)。ほうっびとう ふや (えらくないのに偉そうにする人)。ほうっびとう ふいんまり (偉そうにして鼻持ちならない奴)。

**ほうっびゆーい** [hubbjui] 【名詞】『祭礼』神事の名前、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる。【例】ほうっびゆーいんな あーんちちゆ ぬん (大日取りには粟の神酒を仲間御嶽で飲む)。

**ほうっぶに** [hubbuni] 【名詞】大きな骨、大きい骨格。【例】からー ほうっぶに びとう やいばどう んぶかい (彼は骨太なので体重が重い)。ほうっぶにゆーぎやー っづあが ふあい (大きな骨はお前が食べる)。[変異] ほうぶに。

**ほうっぶらふきや** [hubburafukja] 【名詞】大ぼら吹き。

**ほうてい** [huti] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (体を温めるために火、たき火などに) あたる。 [変異] ほうていー。

**ほうていー** [huti:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (体を温めるために火、たき火などに) あたる。  
【例】うまつん ほうていー んふばーい (火にあたって温まる)。[変異] ほうてい。

**ほうでいー** [hudi:] 【名詞】 [C] 手が大きい (人)、気前がよい (人)。【例】ぼんていが ばーや つむかぎ ほうでいー あたい (私のおばあさんは心優しく、気前の良い人だった)。

**ほうとうー** [hutu:] 【名詞】 [C 特殊] 大海、大海原。【例】ふにやー ほうとうーんかい いでいたい (船は遠くの大海原に出た)。[類] うほうとうー、うほうとう。

**ほうどうー** [hudu:] 【名詞】 [C 特殊] 立派な体格。【例】まさいや たやぎ ほうどうーびとう (マサイはとても立派な体格で力がありそうだ)。

**ほうどうー** [hudu:] 【名詞】 [C 特殊] 八重干瀬の中にあるひとつりーフの名前。

**ほうどうい** [hudui] 【動詞】 [母音語幹] [A] (こどもが) 成長する。【例】やらびやー あたくまん ほうどういどうす (子供はあつと言う間に大きくなる)。

**ほうどうつ** [hudutsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (結んだ帯、糸、もつれた糸などを) ほどく。  
【例】そうくーゆ ほうどうつ (帯を解く)。まつつだりゆー いとうー ほうどうき (絡み合っている糸を解きなさい)。

**ほうなん** [hunan] 【名詞】 [B 特殊] 大波。【例】きゆーや ほうなんぬ たちゆーば っぞうとういが いかじやーん (今日は大波が立っているから魚を取りに行かない)。

**ほうに** [huni] 【名詞】[C] 骨。【例】ほうにたかい っぞう（骨の多い魚）。っぞうぬ ほうにぬどう ぬどうん かかりゆー（魚の骨が喉にひっかかっている）。

**ほうにずー** [hunizi:] 【名詞】（食べやすくするために）魚を骨ごと切ること。【例】いみかい っぞうぎゃー ほうにずー あっそう（小さい魚は骨ごと切りなさい）。

**ほうにぶかい** [hunibukai] 【形容詞】骨身にこたえる（寒さ、つらさ）。【例】きゅーや やぐみ ほうにぶかい っしさ（今日は骨身にこたえる寒さだ）。

**ほうにや** [hunja] 【名詞】[C] 大根。【例】ほうにやー ふゆんどう やすだいかい（大根は冬がやすい）。[変異] うほうにや。[類] だいほうにや。

**ほうばんまい** [hubammai] 【名詞】主食。  
[変異] ほうっばんまい。

**ほうぶに** [hubuni] 【名詞】[C 特殊] 大きな骨、大きい骨格。 [変異] ほうっぶに。

**ほうみ** [humi] 【動詞】[母音語幹] [C] ほめる。  
【例】やらびゆーぎゃー んみかだ ほうみる（子供は叱らないで褒めて使え）。

**ほうみたーつづあす** [humita:vvasi] 【動詞】[s/h 語幹] ほめちぎる。【例】うりやー ほうみばやー やいば ほうみたーつづあし（彼は褒められるとその気になる奴だから褒めちぎれ）。

**ほうみつ** [humitsi] ①【動詞】[k 語幹] [A]（風邪などで体が）熱くなる、火照る。【例】かんぼーや ひどう っづあが どうーや ほうみきーどう（あなたの身体は熱っぽい）。②【動詞】[k 語幹] [A] 興奮する、熱くなる、騒ぎ立てる。【例】まーぬ いたらーんくとうんかい ほうみつな（余りつまらないことに騒ぎ立てるな）。③【形容詞】[A]（火の近くにいるため

に）熱い、（熱で体が）熱い。【例】うまつぬ やかたー ほうみつかいばならんば ひーちゃがま はなる（火の側は熱いから少し離れなさい）。にっちや いでいー みはなー むいとう ほうみつむぬ（熱が出て顔はとても火照っている）。

**ほうみつ** [humitsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（体に）熱がある。【例】かじゃー ひきどう どうーや ほうみきーゆー（風邪をひいて熱がある）。

**ほうみばやー** [humibaja:] 【名詞】ほめられとすぐその気になる人、おだてにのりやすい。【例】かりやー むいとうぬ ほうみばやー（彼はほめられるとすぐその気になる人だ）。うりやー ほうみばやー やいば ほうみー つかい（彼はほめられたらその気になる人だからほめて使いなさい）。

**ほうむず** [humuzi] 【名詞】[C 特殊] 大麦。  
【例】んっそう ちゆふ とうきやんな ほうむずひーどう かうっじゆ ちゆっふ（味噌を作るときには大麦で麴を作る）。

**ほうむぬい** [humunui] 【名詞】大げさにものを言うこと。【例】たくー ひとつから とういっていまい とうから といったいていー ほうむぬいゆ あす（タコを一匹取って来ても10匹取って来たとき大げさにものを言う）。[変異] ほうむぬゆい。

**ほうむぬゆい** [humunujui] 【名詞】大げさにものを言うこと。 [変異] ほうむぬい。

**ほうむぬゆみや** [humunujumja] 【名詞】大げさにものを言う人、大ぼら吹き。【例】からー ほうむぬゆみや やいば かいが むぬいや とうーん ひていっちや つかいん（彼は大ぼら吹きだから彼の言うことは10の中1つも信用できない）。

**ほうらだつ** [huradatsi] 【名詞】《地名》ホウラダツ（大浦集落の入口）。【例】ほうらだつ



んな まずむぬぬ うい (ホウラダツには幽霊がいる)。

**ほうらつ** [huratsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (目や本を閉じられた状態から) 開ける [「ふー (閉じる)」の反対語]。【例】あてい ばかすかい ば みーや ほうらかだ ばらうたい (あんまりおかしかつたので目を開けないで笑った [あまりの嬉しさで笑うこと])。ほうんぬ ほうら きーみーる (本をあけなさい)。

**ほうらな** [hurana] 【名詞】[C] (水をためるために掘った) ため池 [馬などを洗うために掘った]。【例】みっじゃ たまらん ほうらな (水の溜らない掘り穴)。んきやーん やらびん みやー ほうらなぬ みっじゅまい ぬみゆー たい (昔のこどもたちはため池の水まで飲んで いた)。がっこうぬ ていびぬ ほうらな (学校後方の池)。

**ほうらふきや** [hurafukja] 【名詞】ほら吹き。【例】うりやー ぶらふきや やいば うい が むぬいや まとうー ひらいん (彼はほら吹きだから彼の言うことは当てにできない)。【類】ぶらふきや。

**ほうらふつ** [hurafutsi] 【名詞】ほらを吹くこと。【例】ほうらふつちや じゃうかいむぬ あらん (ほらを吹くことはいいことではない)。

**ほうり** [huri] 【動詞】[母音語幹] [A] 惚れる。【例】ばー つうあがまんかいや ほうりん (俺はおまえなんかには惚れない)。【類】ほうい。

**ほうり** [huri] 【名詞】[A] 惚れること、自分をわすれるほど夢中になること [連濁して「ぶり」となる]。【例】みどうんぶり (女に夢中になること)。びきぶり (男に夢中になること)。かりやー どうすぶりやーひどう すかままい ほうだ どうすぬ まいんかい あそーが はりーにやーん (彼は友達づきあいがよくて、今日も仕事もせず友達のところに遊びに行った)。

**ほうりぎちくら** [hurigitçikura] 【名詞】バカな奴。【例】むいとうぬ ほうりぎちくら (とてもバカな奴)。

**ほうりっふあい** [huriffai] 【名詞】非常に太っていること、またそのような人。【例】からー あてい うんかいばどう ほうりっふあい や ひーゆー (彼はとても大食いなので太っている)

**ほうりふい** [hurifui] 【形容詞】バカげた、冗談の。【例】ほうりふい むぬい あす (馬鹿なことを言う)。ほうりふいんまり (冗談をよくいう奴)。

**ほうりみつず** [hurimitsizi] 【名詞】右往左往、落ち着かない様子、ショックなどでどうしていかかわからない状態。【例】みーんな さうや にやーだ ほうりみつず あす (目には落ち着きがなく視点が定まらないようすだ)。

**ほうりむぬ** [hurimunu] 【名詞】バカ者。【例】かりやー うむくとうー にやーん まーんていぬ ほうりむぬ (彼は考えの浅い本当の愚か者だ)。ほうりむぬぬ ほうりむぬふあう (バカの大食い)。ほうりむぬぬ ほうりさきぬん (バカの大酒飲み)。かりやー ばぬーぎやー いつまい ほうりむぬ みー (彼は私のことをいつも馬鹿扱いする)。ほうりむぬんな ほうりむぬぬ まーびやー ひらいん (馬鹿は馬鹿のまねはできない)。

**ほうりむぬみー** [hurimunumi:] 【名詞】見下すこと、馬鹿扱い。【例】ほうりむぬみー あす (馬鹿扱いする)。

**ほうりむぬゆん** [hurimunujuun] 【名詞】馬鹿なこと、くだらないこと。【例】まーぬ ほうりむぬゆんぬぎやー あすな (余り馬鹿なことを言うな)。

**ほうん** [hun] 【動詞】[m 語幹] [A] ほめる。【例】やらびゆーぎやー んみかだ ほうみー

つかい (子供は叱らずに褒めて使え)。うながど  
うーゆぎゃー ほうまん (自分をほめない)。

**ほうん** [hun] 【名詞】 [B] 本。【例】ほうんぬ  
ゆん (本を読む)。ほうんぬ っふいみーみ  
ーる (本を閉じなさい)。ほうんぬ かふ (本を  
書く)。ほうんな うむくとう いだす むぬ  
(本は知識を与えてくれるもの)。

**ほうんだい** [hundai] 【名詞】 我がまま、自分  
勝手、またその対象。【例】ならほうんだい  
やらびがま (自分勝手な子供)。ばー っづあ  
が ほうんだいや あらん (私はお前の我がま  
まの相手じゃない)。まーぬ ほうんだい あ

すな (あんまりわがまま言うな)。うぬ みど  
うん やらびがまー むいとうぬ ほうんだい  
がま (この女の子はとても自分勝手だ)。

**ほうんつ** [huntsi] 【名詞】 [B 特殊] 大通り。  
【例】がっこーんかい いつとうきやんな ほう  
んっちゅ あいきー いき (学校に行くときには  
大通りを歩いていけ)。

**ぼろぼろ** [boroboro] 【オノマトペ】 ぐつぐつ、  
ぐらぐら。【例】なびぬ んつつーや ぼろぼ  
ろていどう ふきゅー (鍋のおつゆがぐらぐら  
と沸騰している)。**[類]** ふき。



# ま

**ま** [ma] 【助詞】『終助詞』基本形について突き放した態度、反語的な態度を示す[「ん」をとともなうことも多い]、～かよ。【例】ばー すーんま (俺が知るかよ)。

**まー** [ma:] 【名詞】[C] 空間的余裕、空き間、すき間；時間的余裕、暇。【例】うまー しばかいば びー まーや にゃーん (ここは狭いから座る余裕がない)。うまー つうあが びーまーや あきーどうー (ここは君の座るところがある)。まーや ありー びじ (間隔をおいて座れ)。ばー きゅーや まーや にゃーんば かしーや ひらいん (今日は時間がないので手伝いはできない)。きゅーや いすがすかたいば むぬー ふあう まーまい にゃーっだん (今日は忙しかったので食事をする時間もなかった)。

**まー** [ma:] 【名詞】[C] 足跡、手の形、痕跡。【例】ひとうぬ はずぬ まー (人の足跡)。ぬさうどうぬ はいらー まーぬどう あるー (泥棒の入った跡がある[「はいらー」<「はいりゃー」<「はいりー+あい」(入って+ある)])。

**まーい** [mai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 歩いて訪ねる；遠回りをする。【例】すまう まーい (集落を歩き回る)。かまから まーりー くら (向こうから回って来い)。② 【接尾辞】(名詞について) 歩き回ること、訪問すること。【例】はらうずまーい (親戚回り)。すままーい (集落を歩き回ること)。③ 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (動詞の連用形についてその動作をしながら何か所かに連続して) 移動する。【例】あいきーまーい

(歩き回る)。んすぬ いんぬ うーぎーまーい (真謝の海を泳ぎ回る)。とうびーまーい (走って回る)。ぶーっじゃ ぬすみー ひんぎーまーいたい (サトウキビを盗んで逃げまわった)。やーばっそう ふきーまーい (家と家の間を通り抜けて近道をする)。とうみーまーい (探し回る)。なきーまーい (泣きながら歩き回る)。ばらいーまーい ((人の悪口を言いながら友達のところなどをたずねて) 馬鹿にして回る)。かつふいーまーい (隠れて逃げまわる)。④ 【接尾辞】動詞基本形について名詞を作る接尾辞、(その動作をしながら) 歩き回る。【例】さきぬんまーい (集落を酒を飲むために歩き回ること)。かにゃー ういびとうん なりー くぬいや むぬゆんまーいゆぎゃー ほうん (カニは年を取って最近はおしゃべりして回ることはしない)。

**まーい** [mai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (ものや身体が) 回転する；(回転して、忙しくて目が) 回る；(否定をともなって、借金で首が) 回らない。【例】ぐるたん なりー まーるーきゃー みーぬどう まーるーたい (ぐるぐる回ってたら目が回った)。きゅーや いすがすかたいば みーぬ まーりゅーたい (今日は忙しかったので目が回った)。うっかぬ はーさ ありー ぬどうまい まーらん (負債が沢山あって首も回らない)。

**まーい** [mai] 【名詞】[A] (ものや人の) 周り、周囲；交際範囲。【例】やーぬ まーい (家の周囲)。ばたぬ まーいゆ はかい (腹の周りを測る)。かいが まーいんな ひとうぬどう

うんそうく うぐなーりゅー (彼の周りには人がたくさん集まっている)。

**まーい** [mai] 【名詞】[A] 順番。【例】ばがまーいぬどう っちゅー (私の順番がきている)。  
[類] まーる。

**まーい** [mai] 【名詞】[C] ポール、まり。【例】まーいゆ つふ (まりをつく)。みどうんやらびんみゃー まーいひー あそー (女の子供達はまりで遊ぶ)。まーいゆ きー (ポールを蹴る)。

**まーい** [mai] 【接尾辞】名詞について漁の種類を表す接尾辞。【例】いんまーい (漁に出ること)。みがにまーい (素潜り漁 [＜水中メガネ漁])。だいだままーい (ダイナマイト漁 [終戦直後、不発弾の火薬を抜き取りそれを使って多くの人が密漁していた])。あんつかいまーい (網を使った追込み漁)。たくとういまーい (タコとり漁)。っぞうつまーい (魚釣り [＜魚釣り回り])。

**まーいうむくとう** [ma:iuumukutu] 【名詞】社会性；人付き合いがちゃんとできること、また、そのための知恵。【例】うらー がっこーうむくとうー あいそうが ばぬんつきゃーまーいうむくとうー にゃーん (彼は勉強はできるが、私より社会性はない)。

**まーいかたー にゃーん** [ma:ikata:njan] 【成句】(感情的に、金銭的に解決の方法がなくて) どうしようもない、八方ふさがりだ。【例】とうずぶとう ばきゃーいや ひーさびすかいば まーいかたー にゃーん (離婚してさびしいのでどうしようもない)。うっかー あみかっづいー まーいかたー にゃーん (借金をみんなひきうけてしまってどうしようもない)。からー まーいかたー にゃーんまり (彼は使いものにならないどうしようもない奴だ)。

**まーく** [ma:ku] 【名詞】[C] 背が低い人。【例】まーくがま (背の低い人)。からー まーくがま

やいそうが たやー っぐあんつきゃー あり (彼は背は低いけれど、力はお前よりある)。  
[類] まーしゃがま。

**まーく** [ma:ku] 【形容詞】[C] (人の) 体が小さい；(ものが) 小さい。【例】ばー いみかいきゃー あぐたが なかん なながーんなまーくかたい (私は幼い時は同級生のなかで一番背が低かった)。うぬ ながーんな まーくかい えんぴच्चゅぎゃー すている (この一番短い鉛筆を捨てろ)。  
[類] いみ。

**まーくん ない** [ma:kun nai] 【成句】[r/r 語幹] 体を丸くする、身を屈 (かが) める。【例】っしかいば どうーや まーくん なりゅーたい (寒くて体が丸くなった)。まーくん ならだかー うまから とうーらいん (身をかかめないとそこを通れない)。

**まーしゃ** [ma:ʃa] 【名詞】[C] (何かを) 回す人。【例】なそーぎーぬ すたぬ ぼうまーしゃがま (茄の木の下で棒を回す人 [この比喩から「背が低い人」という意味に使われる])。

**まーじゅん** [ma:ʒun] ① 【副詞】ほかの人と同じことを、同じように；一緒に。【例】んーなとう まーじゅん あっそう (皆と同じようにやりなさい)。じょ まーじゅん ふあーでい (さあ、一緒に食べよう) ② 【形容詞】同じ。【例】ういとう かいとうー まーじゅんむぬ (これとあれはおなじようなものだ)。

**まーす** [ma:si] ① 【動詞】[s/h 語幹] [A] 回転させる；(別の人に) 回す。【例】くまう まーす (コマを回す)。まーすがにゅー まーひーあそー (鉄の輪っかを回して遊ぶ)。うぬ ンまじゃきゅー ばぬんかいまい まーひーふいーる (そのおいしい酒を私のところにも回してくれ)。② 【動詞】[s/h 語幹] [A] (風を) あげる。【例】かびとういゆ まーす (風をあげる)。  
[類] あぎー。

**まーそう** [ma:su] 【名詞】[C] 塩。【例】まーそうー なんー (塩をなめる)。まーそうー かきー (塩をふる)。

**まーそうさうず** [ma:susauzi] 【名詞】『祭礼』(魔よけのため) 塩で清めること。【例】うまんな やなむぬぬどう ういば まーそうさうず あっそう (ここは悪いものがあるので塩できよめる)。

**まーそうにー** [ma:suni:] 【名詞】塩だけで煮る魚の料理法、塩ゆで。【例】あいつぞうぬ まーそうにーや むいとう んまい (アイゴの塩ゆではとても美味しい)。

**まーた** [ma:ta] 【名詞】[C] 『祭礼』魔除けの目印 [ススキの葉で輪っかを作り、それを作物を植えた直ぐの畑や、持って行かれない物に刺して魔除けとした。人が亡くなったときにはマータを両門におき、入り口には棒をおいて魔除けとした]。【例】まーたう ゆー (魔除けを結う)。まーたー ゆっぐいー うまんさすていがー まずむぬまい ひとうまい といやはらん (マータを結ってここにさしたら魔物も人も (これを) とってはいかない)。

**まーだぎゃー** [ma:dagja:] 【副詞】まあまあ、ある程度。【例】まーだぎゃー がばー っぞう あたい (まあまあ大きな魚だった)。

**まーっさ** [ma:ssa] 【名詞】(ふらついたりしない) まともな歩き方。【例】まーっさ ん<sup>ん</sup> (ふらつかずにちゃんと歩く)。やらびぬ まーっさう ん<sup>ん</sup>みゅーば みーみーる (赤ちゃんがちゃんと歩いているので見てみて)。びゅーいびとうぬ まーっさ ん<sup>ん</sup>まだ あいきゅー (酔っ払いがふらついて歩いている)。<sup>[類]</sup> っさ。

**まーっぞう** [ma:zzu] 【名詞】(追い込み漁でとるようなアイゴやブダイなどの) 近海魚。【例】かっちゅんつきゃー まーっぞうどう んまかい (カツオより近海魚が美味しい)。

**まーに** [ma:ni] 【名詞】[C] 『植』黒つぐ、皮を紐として使う植物。【例】まぐー かやとう まーにぬ かーひどう ちゅっふあい (糸入れかごは茅と黒つぐの皮で作られる)。くーすふあやう まーにぬ ばなひー ふっでいー あそうびゅーたい (木登りトカゲを黒つぐの罫で括って遊んでいた)。

**まーにんぎん** [ma:ninjin] 【名詞】普通の人、正常人、真人間。【例】かりゃー ほうりむぬー あらん、まーにんぎん (彼は馬鹿者ではなくまともな人だ)。

**まーぬ** [ma:nu] 【副詞】動詞、形容詞を修飾して程度が大きいことを表す、あまり [否定を表す表現と呼応して程度が大きくないことを表す。共通語の「あまり」と違って理由節では使えない。共通語の理由節に当たる表現では、「あてい はーさ ふあいみーていがー ばたぬどう やみゅーたい (あんまりたくさん食べたら、おなかを壊した)」のように事実条件節を使い、「あてい (とても)」を使う]。【例】おい ゆがかなまい まーぬ ばいんつな (おい、あんまりぶつくさ言うな)。うらー まーぬ じゃうっふあにゃーん (それは余り良くない)。ばが っちゃー っぞうー まーぬ ほういっふあ にゃーっだん (私の釣った魚はあまり大きくなかった)。まーぬ むぬー ふあうていがー ばたぬどう やんがまた (あんまりたくさんたべるとおなかを壊すよ)。

**まーび** [ma:bi] 【名詞】[A] 真似。【例】ひとぬ まーびゅーぎゃー あすな (人の真似はするな)。

**まーぶ** [ma:bu] 【感動詞】子馬が離れかけたときに離れないようにこちらにもどれと呼ぶときに使う呼びかけ。

**まーぷい** [ma:pui] ① 【動詞】[r/rr 語幹] (暗いところから明るいところにでて目が) くらむ ; (太陽などをみて) まぶしくて目がくらむ。【例】えいがかんから いでいー みーや まーぷり

ー あいつぐりむぬ あたい (映画館からでて目がくらんで歩きにくかった)。ていだー みー みーや まーぶりゅーたい (太陽を見て目がくらんだ)。◎【動詞】[r/rr 語幹] 目まいがする、目が回る、フラフラする。【例】みーや まーぶりーどうー (目まいがしている)。**[類]** まぐい。

**まーぶら** [ma:pura] 【名詞】めまい。【例】まーぶら ひーどうー (目が回っている)。

**まーま** [ma:ma] 【名詞】[C] 後妻、継母。【例】やなくんじやう まーま (意地が悪い継母)。**[類]** まーまんま。

**まーま** [ma:ma] 【名詞】[C] げんこつ。【例】まーまう ちゃらていー ふあーす (げんこつをがちんとくらす)。

**まーまんま** [ma:mamma] 【名詞】後妻、継母。**[類]** まーま。

**まーゆ** [ma:ju] 【名詞】[A] 『魚』フエフキダイ。

**まーゆ** [ma:ju] 【名詞】[A] ヤシ油。【例】まーゆひー さたていんぷらう やつ (ヤシ油で沖縄風ドーナツを揚げる)。

**まーらす** [ma:rasɪ] 【動詞】[s/h 語幹] 回す、回らす。【例】まーすがにゅー まーらす (鉄の輪っかを回す [遊びの一種])。**[類]** まーす。

**まーる** [ma:ru] 【名詞】[A] 順番、順序が回ってくること。【例】んなーまー ばが まーる (今は私の順番)。ぶどうい まーる (踊りの順番)。**[類]** まーい。

**まーんぐとう** [ma:ŋgutu] 【名詞】真実、本当のこと。【例】うらー まーんぐとうな (それは本当ですか)。あがいー あがいー ぶとうー すにーはりーにやーんよー、うらー まーんぐとうよー (あー、旦那は死んでしまった、本当なんだ (信じられない))。

**まーんていー** [ma:ntɪ:] ①【名詞】(嘘でなく) 本当のこと、(偽物でなく) 本当のもの。【例】つうあが あっじゅーくとうー まーんていーや あらん (お前の言っていることは間違っている)。つうあが さんすーぬ くだいや まーんていーや あらん (お前の算数の答えは正しくない)。くぬ だいやー まーんていーぬ むぬ (このダイヤは本物だ)。②【副詞】本当に。【例】きゅーや まーんていー あつかいばならん (今日は本当に暑くて仕方がない)。くぬいぬ わーつっちゃ まーんていー さだかー ひらいん (最近のお天気は本当に予測できない)。からー まーんていー うむくとう あい ひとつ (彼は本当に頭がいい人だ)。③【感動詞】なるほど、なるほどだよ、本当、本当だよ。【例】まーんていーだら (なるほどね)。

**まい** [mai] 【接尾辞】尊敬の動詞接辞 子音語幹動詞の未然形に付く。母音語幹動詞では、「さまい」。

**まい** [mai] 【名詞】[C] (空間的に、人、もの、場所などの) 前; (時間的に) 前。【例】つうあー ばが まいん たち (君は僕の前にたちなさい)。やーぬ まいん ばすぬ ていりゅーじよぬ あい (家の前にバス停がある)。かいが みーゆー まいんどう ばー たういたいが おーかん (彼が見ている前で私は倒れたらしい)。あしぬ まいん うぬ っそういゆぬみ (朝ごはんの前にこの薬を飲みなさい)。まいや んぎー あい (相手が何か言う前に先を読んで言う)。しーしーたが んみゃいー まいん さきゅー いだほうーき (先生方がいらっしゃる前に酒を出しておきなさい)。

**まい** [mai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 大便をする。【例】っしんきー っそうー まい (トイレに行って大便をする)。っそう まりや ていーゆ あらい (大便をした後は手を洗え)。

**まい** [mai] 【動詞】[母音語幹] [C] (鷹のような大きな鳥などが上空を) ゆっくり舞うように飛ぶ。**[類]** まう。

**まい** [mai] 【名詞】[B] 米。【例】まいぬい（おにぎり）。まいだーら（米俵）。[類] くみ。

**まい** [mai] ① 【名詞】[C] 近く、近所；時間的に近く。【例】しょーがっこーや ぼんていがやーぬ まいんどう あい（小学校は我が家の近くにある）。まっちやー まいがまん あい（店はすぐ近くにある）。いんな すぐ まい（海はすぐ近くだ）。きゅーりょーびやーんめ まいん なりーどうー（給料日が間近になっている）。② 【形容詞】[C] 空間的に近い；時間的に近い。【例】んながーんな まいかい まっちやー んじやんどう あい（一番近い店はどこにあるの）。くまからー っさらぬどうぶらんつきやー まいかい（ここからだっただら平良のほうが保良より近い）。とうんでいさうがつとう くりすますとう いでいがどうまいかい（冬至の集まりとクリスマスとどっちが時期的に近いですか）。

**まい** [mai] ① 【助詞】『副助詞』「も」[(名詞や、名詞+格助詞について)ほかの人、もの、ことに加えてそれもという累加の意味を加える]。【例】ぼんまい いかっじやー っうあまい いきーふいーる（私も行くのでお前も行ってくれ）。きゅーまい まうきじゅくー にやーん（今日も仕事はない）。うぬ んまじやきゅーばぬんかいまい まーひーふいーる（そのおいしい酒を私のところにも回してくれ）。② 【助詞】『副助詞』「も」[(疑問詞や数詞、疑問詞や数詞+格助詞について)否定とともに使われて、「だれも、なにも、どこも、いくらも、いつも、(3人)も～ない」という全部否定の意味を加える]。【例】うぐなーいんかい いきーみーていがー たるまい みーっだん（集まりに行ってみたらだれもいなかった）。ふにやー みやーていぬ にやーだかー んじやまい いかいん（舟は目的地がないとどこにも行けない）。ぼーかいかいんかいや んめ みっふあさまい なうまい にやーん（わたしは彼女には憎しみもなにもない）。ふあうむぬーぎやー なうゆまい むまん（食べ物はどうなものでも好き嫌いが

ない）。いじゅーまい ふあーっだん（どちらもたべなかった）。③ 【助詞】『副助詞』「でも」[(疑問詞、疑問詞+格助詞について)それらすべてという意味を加える]。【例】ばー なうまい んち（私は何でも沢山ある）。からー なうまい っしーどうー（あの人はなんでも知っている）。やらびやー たるんかいまい あまい あまいていー ひーゆー（子供はだれにでも愛嬌をふりまく）。なうまい ゆぬむぬ（どれでも同じだ）。いつまい にゆーたぎむぬ（いつも眠そうだ）。みやーくずつんな んじやからまい はーさぬ ひとうぬ すまー ならひー んみやい（ミヤークズツにはそこらじゅうから多くの人々がどっと押し寄せて来る[<どこからも村をどよめかせていらっしやる]）。でいんぬ あいていがー なうまい かーいどうす（金があればなんでも買える）。いかっさまい ふあうたいそうが、んめひー ふあうぶすむぬ あたい（たくさん食べたが、もっと食べたかった[<いくらでも食べたが]）。④ 【助詞】『副助詞』「～も、～まで」[(名詞(特に数詞)や、名詞(特に数詞)+格助詞について)程度が極端なこと、(予測より)多いことあるいは少ないことを表す]。【例】うほうがぬ いみやーがまんまい ひとうぬ うい（こんなちいさな家にも人が住んでいる）。ばいさう あすていがー っふあ んまがたーひーまい とうがまいどうす（悪事を働いたら子孫代々まで非難される）。あかうまい あらーん かうさだりや（髪も洗わない不潔な奴）。ん°ぬ あぐたが みちやーいまい っちゅーたい（昨日友達が3人も来た）。みどうんな いちじかんまい まつたいそうがくーっだん（妻を一時間も待ったがこなかった）。ささぎゅーいんかいや ごじゅーめいまい ゆらばっだん（結婚式には50人も呼ばなかった）。ひとうむていから むぬまい ふあーんば やーすかいば ならん（朝から食事もしてないので腹が減って仕方がない）。っうあーにじゅーまんえんまい むちーどうー（お前は20万円も持っているのか）。からー ぶんすごーまい あっじやいどうすちや（あいつは



フランス語も話せるんだって)。㊦【助詞】『副助詞』「も」[(量を表す名詞について)概数を表す]。【例】にしえんえんまい あいていがーたらうどうす(二千元もあれば足りるだろう)

**まいがーす** [maiga:si] 【名詞】ポン菓子。

**まいかき** [maikaki] 【名詞】『道具』前掛[馬の首に掛け、馬と鋤(すき)と繋ぐ馬具]。[変異]まいがき。

**まいがき** [maigaki] 【名詞】『道具』前掛[馬の首に掛け、馬と鋤(すき)と繋ぐ馬具]。[変異]まいかき。

**まいだつ** [maidatsi] 【名詞】(馬などが)両前足を上げること。【例】びきぬーまぬどうまいだっちゃ ひーゆー(雄馬が両前足を上げている)。

**まいちや** [maitɕa] 【名詞】[C] 着物の裾。【例】んまが つんぬ まいちやう かつん(母親の着物の裾をつかむ)。

**まいつ** [maitsi] 【名詞】[A] 手斧、薪割用の斧。【例】まいつひー たむぬー ばい(斧で薪を割る)。

**まいぬ あらいずー** [mainu araizi:] 【名詞】米のとぎ汁。【例】まいぬ あらいずーゆいたきーすていー(米のとぎ汁をすてる)。

**まいぬい** [mainui] 【名詞】米のおにぎり[普通なにも味を付けず、球状に握る]。

**まいふが** [maifuga] 【形容詞】かしこい、お利口さんだ[こどもをほめるときに使う]。【例】まいふが やらび(お利口さん)。かいがどうんながーんな まいふがかい(彼が一番おりこうさんだ)[類]まうふが。

**まいやー まいにつ** [majja: mainitsi] 【成句】毎夜毎日、寝ても覚めても、いつも。【例】まいやーまいにつ かなす みどうんぬ くと

うー うむいーゆー(いつも好きな彼女のことを思っている)。

**まう** [mau] 【動詞】[w 語幹][C](鷹のような大きな鳥などが上空を)ゆっくり舞うように飛ぶ。【例】たかぬどう やぐみ はーさ まいゆー(鷹がとてもたくさん飛んでいる)。**[類]**まい。

**まう** [mau] 【名詞】[C]『祭礼』自分自身の守り神、先祖神。【例】うなが まうや うながやーんどう あい(自分自身の守り神は自分自身の家にある)。**[類]**まうかん。

**まうかん** [maukan] 【名詞】『祭礼』個人の守り神、先祖神。【例】とうかんでいんな んまぬまうかんかいどう ていーゆ かみー(トゥカンティには母親の守り神に手を合わす)。まうかんかい むぬー すきー(守り神にお供えをする)。**[類]**まう。

**まうき** [mauki] ①【動詞】[母音語幹][C](仕事などについて)儲かる；(お金を)儲ける、稼ぐ。【例】くぬ すかまー まうきどうす(この仕事は儲かる)。でいんな まうきー ふあう(金を稼いで生活する)。でいん まうきが(金を稼ぎに(行こう))。**[類]**まうつ。②【名詞】[C] 稼ぎ、儲け。【例】きゅーぬ まうきやー やぐみ はーさ(今日の稼ぎはとても多い)。きゅーぬ まうきやー うさきがま(今日の稼ぎはたったこれだけしかない)。きゅーや なうぬ まうきまい にやーん(きょうは何の稼ぎもない)。

**まうきじゆく** [maukizuku] 【名詞】儲ける手段、稼げる仕事、飯のたね；仕事。【例】まうきじゆくー とうみーくーでい(稼げる仕事を探してくる)。きゅーまい まうきじゆくー にやーん(今日も仕事はない)。

**まうきやー** [maukja:] ①【名詞】南側にある隣家 [西原は絶対方位を使用しているので南側が「前」になる]。【例】まうきやーた(南側の家の人たち)。②【名詞】何かを基準として

その前方；物の前方部。【例】まうきやーん  
たち（（私の）前に立て）。きーぬ まうきやー  
ん はうぬ うい（木の前に蛇がいる〔蛇は木  
と話し手の間にいる〕）。くるまぬ まうきやー  
ぬ やぶりにやーん（車の前方部が壊れた）。  
っづあが まうきやーゆ どうみる（あなたの  
前の方を探せ）。

**まうつ** [mautsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 儲かる、  
儲ける、稼ぐ。 [類] まうき。

**まうとう** [mautu] 【名詞】 [C] 直進したとこ  
ろ、（よそ見せず）真っ直ぐの方向（へ進む）。  
【例】しやくしよー うまぬ まうとうんどう  
あい（市役所はここをまっすぐ行ったところ  
にある）。まうとうー みー あいき（真っ直ぐ  
前を見て歩け）。まうとうー たみー あいき  
（よそ見せず）真っ直ぐ歩け）。

**まうゆ あき** [mauju aki] 【成句】 [母音語幹]  
『祭礼』自分自身の守護神を持つこと。【例】か  
んぶり びとうー まうゆ あきばどう なう  
い（神のことで病んでいる人は自分自身の守護  
神を持てば治る）。[類] まうゆ あぎ。

**まうゆ あぎ** [mauju agi] 【成句】 [母音語幹]  
『祭礼』自分自身の守護神を持つこと。[類] ま  
うゆ あき。

**まか** [maka] 【名詞】 [C] ~次第だ；~による；~  
の意志による [「名詞+がぬ」の後に付ける]。  
【例】あすむ ほうんむー っづあが まか（や  
る、やらないはお前次第だ）。うるー きみー  
くとうー ひゅーいぬ まか（それをやるのは  
日取りによる）。にんぎんぬ んぬっちゃ て  
いだやぐみぬ まか（人の命は恐れ多い神様の  
思し召しのままだ）。

**まかい** [makai] 【名詞】 [C] お椀、お茶碗。  
【例】んっつーゆ いり まかいゆ むちーくー  
（おつゆを入れるお椀をもってこい）。まいゆ  
まかいん いりー ふあう（ごはんをお茶碗に  
入れて食べる）。まかいだうー（お茶碗、皿、湯

呑等の食器）。んまー ゆいや ふあいぬ あ  
とうんな まかいだうーゆ あらう（お母さん  
は夕食後食器を洗う）。っていつ あい まか  
いや ばいやすむぬ（一つしかないお椀は割れ  
やすい [＞一人っ子は死ぬとなにも残らないと  
いうことのたとえ]）。

**まがい** [magai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]（もの  
が）まがる；（道を）まがる。【例】くぬ か  
にふっじゃ まがるーば、まうとうーぬ むぬ  
ー むちーくー（この釘は曲がっているのでま  
っすぐなのをもってこい）。かまぬ ゆまたう  
んすんかい まがりー いき（あそこの十字  
路を右に曲がっていけ）。

**まがい** [magai] 【名詞】 [A] 角；横道（誘惑）。  
【例】かまぬ まがいから いき（あそこの角  
を曲がれ）。なうぬ まがいていー にやーだ  
わいていー かない（横道にそれずにがんば  
れ）。

**まかない** [makanai] 【名詞】 料理を作ること；  
料理を作る人。【例】やーふつ ゆーいぬ ま  
かないゆ あす（新築祝いの料理を担当する）。  
ばー むぬにー まかないどう あたい（私は  
ものを煮る係りだった）。

**まかや** [makaja] 【名詞】 [B] 茅。【例】まぐ  
ー まかやとう まーにぬ かーひどう ちゅ  
っふあいーゆー（マグ（かごの一種）は茅と黒  
つぐの皮（で作った紐）で作られている）。[類]  
かや。

**まき** [maki] ① 【動詞】 [母音語幹] [A] 負ける。  
【例】きゅーぬ うんどーかいんな ばんちゃ  
ー まきーにやーん（今日の運動会で私達は負  
けた）。② 【名詞】 [A] 負け。【例】っづあー  
まき（あなたは負けだ）。

**まきならい** [makinarai] ① 【形容詞】（相手に  
対して）いつも負けている人、負け癖がついて  
いる人、（勝負における）カモ。【例】かにや  
ー ばぬんな いつまい まきならいがま（カ

ニは私のカモだ)。からー かにんな まきならい ひとう やいば きゅーまい ちやいん はず (彼はカニにはいつも負けている人なので今日も勝てないだろう)。◎【名詞】(相手に対して)いつも負けている、負け癖がついている、(勝負における)カモである。【例】きゅーまい まきならいがまぬ っちゅー (今日もカモが来た)。

**まきやーい** [makja:i] ①【動詞】[r/rr 語幹] (家や部屋が)散らかった、整理整頓されていない。【例】まきやーい まっちやぬ むぬー むいとう とうみらいん (整理整頓されていない店の商品は全然探せない)。やーゆ まきやーらすな (家を散らかすな)。くじゃひっちや まきやーるーば まさぐん あっそう (客間がちらかっているので整理しろ [「くじゃひつ」は寝室でもあった])。◎【動詞】[母音語幹] (家や部屋が)散らかった、整理整頓されていない。

**まきやーす** [makja:si] 【動詞】[s/h 語幹] (ものをこわして)散乱させる、(部屋などを)とり散らす、(風などがものを)飛び散らかす。【例】まかいゆ ばりー まきやーす (お椀を割って散乱させる)。かでいん かびーや まきやーはいにやーん (風に紙が飛び散らかされた)。

**まきやーらす** [makja:ras:i] 【動詞】[s/h 語幹] (ものをこわして)散乱させる、(部屋などを)とり散らす、(風などがものを)飛び散らかす。

**まぐ** [magu] 【名詞】[C] 『道具』丸めた茅を黒つぐの紐で縛って作ったカゴ。苧麻を紡いだ糸を入れたりする。【例】まぐんかい ぶーや ん°みー うるー いりー (カゴに苧麻を糸に紡いだ糸を入れる)。

**まぐい** [magui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 目がくらくらする、混乱する。【例】ばー うきー ふたきな やいば みーや まぐりーどうー (私は起きてすぐだから目がくらくらしている)。まぐりんまり (バカな奴)。[類] まーぶい。

**まくがん** [makugan] 【名詞】『生物』ヤシガニ。【例】まくがんな ちゅーかいば とうらいぎ つふあにやーん (ヤシガニは力が強いで捕れそうにない)。

**まくぶ** [makubu] 【名詞】[C] 『魚』シロクラベラ；ブダイの一種で大きなこぶがある。

**まくぶなます** [makubunamasi] 【名詞】『祭礼』御嶽で使われる言葉で「芋の葉の和え物」を意味する。文字通りにはマクブ (ブダイの一種)の刺身で、芋の葉をマクブの刺身にみたてる。。

**まぐみん** [magumin] 【名詞】全体的に丸まった耳 [「まぐ」は宮古上布の糸を入れるかご]。

**まさい** [masai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (他人と比べて)能力、容姿が優れている。【例】ひとうつきやー まさり (人より優れた人間になれ)。かぬ みどうんぬどう つむかぎさー まさりゅー (あの女性のほうが心がきれいだ)。

**まさか** [masaga] 【名詞】[C] 正しいこと、ちゃんとしていること。【例】まさかー にやーんんまり (どうしようもない奴)。かりやーぶらふきや やいば かいが むぬいゆぎやー まさがんな つかだうり (彼はほら吹きだから彼の話はまともには聞くな)。[類] まなが、まさぐ、まさぎ。

**まさかぬ** [masaganu] 【連体詞】(人に関して)真面目な；(仕事に関して)丁寧な、ちゃんとした；(仕事に関して)まともな正業である。【例】ぶとうーぎやー まさがぬ びぎどうんぬ とうみる (旦那には真面目な男性を探せ)。やーゆぎやー まさがぬ さやふん たぬみー まさがぬ やーゆ ちゅっふい (家はちゃんとした大工に頼んでちゃんとした家を建てろ)。んなまぬ すかまー なまりー まさがぬ すかまう あっそう (今の仕事をやめてまともな仕事をしろ)。[類] まさぎぬ、まさぐぬ、まながぬ。

**まさがん** [masagan] 【副詞】ちゃんと、きちんと、しっかりと、気を付けて、正確に [副詞化の接尾辞「ていー」を伴うことも多い]。  
【例】ゆまたうぎゃー まさがん あいき (十字路は気を付けて歩け)。でいんぬぎゃー まちがいや にゃーん やうん まさがんていー ゆみ (お金は間違いのないようにちゃんと正確に数えろ)。まさがん みーる (ちゃんと見なさい)。まさがんていー かんがいる (ちゃんと考えよ)。むぬーぎゃー まさがんていー ふあい (ご飯はちゃんと食べなさい)。まさがんていー びじ (ちゃんと座れ)。やらびゆーぎゃー まさがんていー みーる (子供はちゃんと管理しなさい)。[類] まながん、まさぐん、まさぎん。

**まさりー** [masari:] 【副詞】比較するためにつける副詞、(ほかの人、ものと比べて) よりももっと。【例】くぬ ひとうがどう かいんつきゃー まさりー うむくとう あいかい (この人のほうが彼よりもっと賢い)。くぬ くるまぬどう かぬ くるまんつきゃー まさりー あっづあうぎゃー ふあーん (この車のほうがあの車より燃費がいい)。まさりーまい ういがどう ばいかい (かえて彼がもっと悪い [ > 彼のほうがもっとわるい])。

**まさりーまい** [masari:mai] 【成句】どういたしまして、こちらこそ。【例】「すでいがほー」ていー あっじゃいていがー 「まさりーまい」ていー かいすばどう じゃうかい (「すでいがほー」といわれたら「まさりーまい」と返事するのがいい)。

**まじや** [maza] 【名詞】[A] 《地名》真謝 [西原の北東の海岸でそこから漁に出る]。【例】すまぬ ひとうんみゃー まじやから ふにゆーいだす (西原の人は真謝港から船を出す)。でいんがにゃー むぬゆんぱじゅら やいば まじやん いつきやたーひーまい むぬいゆぎゃー つっちゃはん (ディンガニはおしゃべりだから真謝につくまで話は途切れさせない)。

**ましん** [maçin] 【副詞】多めに。【例】ばぬんな ましんがま ふいーる (私にはちょっと多めにくれ)。

**ます** [masi] 【助数詞】畑の助数詞 [四角の形が升に似ているため]。【例】っづあー はいや いふます あり やいば (あなたは畑はいくつあるか)。ななます あきゆーとうい、やそます あきゆーとうい (七つの畑を開墾していて、八つの畑を開墾していて [古謡「うほうらだつ」から])。

**ます** [masi] 【名詞】[A] ~の方がよい。[述語としてしか使えない]。【例】くいと うー いでいがどう ます (これとこれとはどっちがいい)。っぞうんつきゃー わーぬどう ます やいば わーゆ かいくー (魚より豚肉がいいので、豚肉を買ってこい)。うまどう ます (そこがよい)。ほいさー ます (大きいほうがいい)。

**まず** [mazi] 【副詞】先ず、先ずは。【例】まず っづあから あっそう (まずお前からやれ)。まずていー ひーみーみーる (先ずやってみなさい)。[類] まずがー。

**まず** [mazi] 【動詞】[g 語幹] [A] (女性器に) 男性器を挿入する、交接する、まぐわう、セックスする「目的格をとる」。【例】ひーゆ まず (性交する)。ぴーゆぎゃー ふなずっちゃーん まず (女性器に男性器を挿入し、上下の動きをしながら交接する)。

**まずがー** [maziga:] 【副詞】先ず、先ずは。【例】まずがーていー ひーみーみーる (先ずはやってみなさい)。[類] まず。

**ますぎた** [masigita] 【名詞】石垣。【例】ないんどう ますぎたー っちゆりーにゃーん (地震で石垣が倒壊した)。ぬぬずん ますぎた (きれいに積まれた石垣)。

**ますむい** [masimui] 【名詞】《祭礼》ミヤークズツの祭事の一つで、枅に酒を盛って新生児の

健康祈願をすること。【例】ますむいんな うぬ とうすん んまいたい っふあがんみう すまぬ たから ほうでい すまぬ んーなひー あーぐ あいっチャーん かんがいがい あす (マスマイにはその年に生まれた新生児たちを村の宝にしようと村人全員で歌を歌いながら祈願する)。

**まずむぬ** [mazimunu] ①【名詞】幽霊、魔物、化け物。【例】まずむぬー うとうるすむぬ (幽霊は怖い)。うまんな まずむぬぬ うい (そこには幽霊がいる)。かりヤー まずむんつきゃー むいとうぬ まずむぬ (彼は幽霊よりも更に怖い化け物だ)。**[変異]** まずむん。②【名詞】人を軽蔑しているのしりことば、やつ。【例】んずぎ まずむぬ (醜い奴 [皮肉で身だしなみの悪い人に使う])。くぬ まずむぬ (この野郎)。ほうりまずむぬ (馬鹿なやつ)。うむくとうー にゃーん まずむぬ (学のないやつ)。でいんな にゃーん、でいんぐ まずむぬんみ (金のない、金に恵まれない貧乏人達)。ぬそどうまずむぬ (盗人)。**[変異]** まずむん。

**まずむぬぬぬーま** [mazimunununu:ma] 【名詞】《昆》ナナフシ。

**まずむぬぬみーつつうさ** [mazimununumi:tsitsiusa] 【名詞】《植》シロバナセンダングサ [＜化け物の目を突く草]。【例】やまう あいつていがー まずむぬぬみーつつうさぬ とうずぬどう うんそうく たばい (野山を歩いたらシロバナセンダングサの刺が沢山くつつく)。

**まずむぬん んつみらい** [mazimununntsimirai] 【成句】金縛りにあう。【例】まずむぬん んつみらいーにゃーん (金縛りにあった)。

**まずむん** [mazimun] ①【名詞】幽霊、魔物、化け物。**[変異]** まずむぬ。②【名詞】人を軽蔑しているのしりことば、やつ。**[変異]** まずむぬ。

**まずん** [mazin] 【動詞】[m 語幹] [A] 沢山の物を積みあげる。**[類]** まずんー、まずんみ。

**まずんー** [mazin:] 【動詞】[mm 語幹] 沢山の物を積みあげる。【例】かやう まずんー (茅をたくさん積みあげる)。ほうんぬ まずんみ (本をつみあげろ)。あいや ぶーっじゅぎゃー まずんまん (サトウキビはそんなふうに積むもんじゃない)。**[類]** まずん、まずんみ。

**まずんみ** [mazimmi] 【動詞】[母音語幹] 沢山の物を積みあげる。**[類]** まずんー、まずん。

**まそうー** [masu:] ①【名詞】[A] 正面、まっすぐ。【例】まそうーん やどうふつぬ あい (正面に入口がある)。うまぬ んっちゅ まそうーん あいき (この道をまっすぐ歩きなさい)。**[類]** まうとう。②【名詞】[A] 回りくどくなくて、率直な物言い；率直なこと。【例】むぬいゆぎゃー まそうーから あい (ものは(回りくどくいわず)はつきりと言え)。からーやぐみ まそうーびとう (彼はとても率直な人だ)。

**また** [mata] ①【名詞】[B] 股。【例】はずぬ また (足のまたぐら)。またぬどう かうかいばならん (股がかゆくてしかたがない)。またうぎゃー ひらかだうり (股を開くな)。ながまたびとう (足が長い人)。**[類]** またばい。②【名詞】[B] 歩幅、歩数の数えかた、～歩。【例】ほうまたびとう (歩幅の大きい人)。いみまたがまひー あいつ (小さい歩幅で歩く)。かまたーひーや とうまたひーや いかいどうす (あそこまでは10歩でいける)。ながまたひー あいつ (長い歩幅で歩く)。っさらたーひーや ひとつまた (平良までは一股だ [＞とても近い])

**また** [mata] 【副詞】もう一度繰り返すさま、また、再度。【例】じょ また さき ぬまでい (また酒を飲もう)。からー また きゅーまい っちゅーい (彼は今日もまた来た)。また あそうーが んみやてい (また、遊びにいらっしやい)。がっこーん ほうんな ぼっしにや

ーんば また いたたい (学校に本を忘れたのでまた行った)。

**また** [mata] 【名詞】[B] 一つから二つ (以上に) 別れているもの; 木のまた (Y字になっている部分、木が枝分かれしている部分)。【例】かまんかい いたふっちゃ ふたまたん なりゆー (あっち側に行く入り口は二股になっている)。きーぬ またひー ぐむかんぬ ちゅっふ (木のまたでパチンコ [=スリングショット] を作る)。また なゆり なりゆー さやよー (木のまたに実っている豆のさやよ [古謡「豆が花」から])。

**また** [mata] 【形容詞】[B] 大便をしたい。【例】っそう またむぬ (糞をしたい)。っそう またかいば んびゃーいん (ウンコがしたくて我慢できない)。

**また** [mata] 【接頭辞】(動詞基本形の前につき) 二度～をすること。【例】またにゆー (二度寝)。またばい (二度食い [食べた後におなかがすいてまたすぐ食べること])。またいつぬ なんっじゅぎゃー ほうん (二度行くという面倒なこととはするな [ >仕事は一回行って済ませろ])。

**また** [mata] 【間投詞】『フィラー』(つなぎの言葉として口癖的に使う)。

**またーたい** [mata:tai] 【動詞】[r/rr 語幹] (幼児、病人などが) 膝を伸ばしたままで、不安定な歩き方をする、たどたどしく歩き始める; 飛び越える。[変異] またたい。

**またぎす** [matagisi] 【名詞】部下、下のもの、奴隷、召使い、(比喩的に) 奴隷のように従ってしまうこと。【例】またぎっそう まーぬ しつきな (下の者をあまり酷使するな)。にんぎんな うむくとう あいひとうぬ またぎす (人間は(どうしても)学のある人の言うことを聞いてしまうものだ)。にんぎんな つむぬ またぎす (人間は心の良い人には共感する [ <

従ってしまう])。にんぎんな でいんぬ またぎす (人は金の奴隷だ)。

**またぐい** [matagui] 【動詞】[r/rr 語幹] (またを開いてなにかの上を) 超える、またぐ。【例】うまう またぐりー くー (そこをまたいで来い)。ひとうーぎゃー またぐらん (人をまたいではいけない)。びだ かつがまう またぐらっじゃーきー たうりー ていーや ぶりーにゃーん (低い垣根をまたごうとして転んで手を骨折した)。うまぬ ふぐんぬ またぎー くい (ここの溝を跨いで越えろ)。[類] またず。

**またず** [matazi] 【動詞】[g 語幹] [C] (またを開いてなにかの上を) 超える、またぐ。【例】うまう またぎー くー (そこをまたいで来い)。うまぬ ばだー ふかかいば うまうぎゃー またがん (ここの溝は深いからここはまたがない)。[類] またぐい。

**またずつ** [matazitsi] 【名詞】また聞き。[変異] またつつ。

**またたーい** [matata:i] 【動詞】[r/rr 語幹] (幼児、病人などが) 膝を伸ばしたままで、不安定な歩き方をする、たどたどしく歩き始める; 飛び越える。[変異] またたい。

**またたい** [matatai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] (幼児、病人などが) 膝を伸ばしたままで、不安定な歩き方をする、たどたどしく歩き始める; 飛び越える。【例】やらびゃー んめ またたりーどー (赤ちゃんはもう歩き始めている)。うまう またたりーくー (そこを飛び越えて来い)。[変異] またーたい、またたーい。② 【名詞】(赤ん坊の) よちよち歩き、(病人の) ふらふら歩く様子。【例】ばーや やっとうがま やんな なうりどー がいとーがいとー またたいゆ ひーゆー (おばあちゃんなんとか病気が治ってふらふらあるいている)。

**またたいあいつ** [matataiaitsi] 【名詞】よちよち歩き。【例】やらびゃー またたいあいつ

ちゃ ひーどうー (赤ちゃんはよちよち歩きしている)。

**またつつ** [matatsitsi] 【名詞】また聞き。【例】  
ひとつっじゃう またつつ あす (他人の噂をまた聞きする)。くらー またつつ やいば  
なうていまい あっじゃいん (これはまた聞きなのでなんとも言えない)。[変異] またずつ。

**またにゆー** [matanju:] 【名詞】二度寝、起きて直ぐにまた眠ること。【例】またにゆーゆぎ  
ゃー ほうん (二度寝はしない)。きゅーや  
またにゆーや ひー にゆーたかいはば ならん  
(今日は二度寝して眠くてならない)。

**またばい** [matabai] 【名詞】またぐら、股間。  
【例】またばいぬ かうかいば ならん (またぐ  
らがかゆくてしかたがない)。[類] また。

**またま** [matama] 【名詞】[C] 分け前。【例】  
つづあが またまー うさき (お前の分け前は  
これだけだ [変異] まだま)。

**まだま** [madama] 【名詞】[C] 分け前。[変  
異] またま。

**またまぶた** [matamabuta] 【名詞】想像以上  
に多い分け前。【例】きゅーぬ ばが ばきだ  
まー またまぶた (今日の私の分け前は想像以  
上に多い)。[変異] まだまぶた。

**まだまぶた** [madamabuta] 【名詞】想像以上  
に多い分け前。[変異] またまぶた。

**またんまが** [matammaga] 【名詞】ひ孫。【例】  
またんまがー かなすかいばならん (ひ孫は可  
愛くてしかたがない)。

**まてい** [mati] 【接尾辞】尊敬の動詞接辞「まい」  
の依頼形。子音語幹動詞の未然形に付く。母音  
語幹動詞では、「さまてい」。【例】んみやらま  
てい (お召し上がりください)。うまん びじ  
やまてい (ここお座りください)。

**まつ** [matsi] ① 【動詞】[c/t 語幹] [C] 時間が来る  
まで場所を動かずにいる、時間が来るのを待つ、  
(人)を待つ。【例】んなまー ひーちゃがま  
まてい (ちょっと待てよ [言葉を思い出すと  
きなどに言う])。うまん まちうき (ここで待  
っている)。さんじたーひー まつたい (三時ま  
で待った)。ばぬーぎゃー まちやだ さつん  
いき (私を待たないで先に行ってください)。  
ゆながい まちゅーそうが かりゃー いつが  
みまい くーん (長い間まっているが彼はいつ  
までも来ない)。つづあー いつまでいまい  
まちやいん (お前のことをいつまでも待てない  
[> (私は) お前のことをいつまでも待っては  
いられない)。ばっそう まつ (バスを待つ)。か  
いが ふーきやたーひー まちやでい (彼が来  
るまで待とう)。② 【動詞】[c/t 語幹] [C] (動  
詞基本形+「むぬー」について「～するのを」)  
待つ。【例】みどうんぬ ふーむぬー まつはて  
いらいん (妻が来るのを待ちあぐねる)。かり  
ゃー あみぬ やんむぬー まちやだ いでい  
ーはりーにゃーん (彼は雨が止むのを待たず  
に出かけた)。かいが むぬいゆ あいむぬー  
まつ (彼がものを言うのを待つ)。

**まつ** [matsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (水)をま  
く；(植物に)水をやる；(穀物等の種)をまく。  
【例】みなかんかい みっじゅ まつ (庭に水  
をまく)。みなかぬ きーんかい みっじゅ  
まき (庭の木に水をやれ)。むぬだにゆー ま  
つ (穀物の種を蒔く)。[変異] まふ。

**まつ** [matsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (網などを)  
巻き取る；(ひもなどを)ねじり合わせて編む；  
(ねじなどを)巻く。【例】あんぬ まき (網  
を巻きとれ)。うぶん<sup>°</sup>なう まつ (錨の綱をよ  
って作る)。[変異] まふ。

**まつ** [matsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (煙などが)  
立ち込める、充満する。[変異] まふ。

**まつー** [matsi:] 【動詞】[v 語幹] [A] (糸な  
どが)絡みあう、もつれる。[類] まつづい、  
まつっだい。

**まつぎ** [matsigi] 【名詞】[C] まつ毛。【例】ながまつぎ (長いまつ毛)。ひとうぎやー まつぎぬ すたからー みーん (人を見下すな [ < 人をまつ毛の下から見るな ])。かいが まつぎんな つまよーじまい ぬーいどうす (彼のまつ毛には爪楊枝も乗る)。

**まつぎー** [matsigi:] 【名詞】松の木。【例】まつぎーたむぬ (松の木の薪)。んきやーんな まつぎーひーどう やーぬ ゆかう ちゅっふゆーたい (昔は松の木で家の床を作っていた)。

**まっこー** [makko:] 【名詞】『植』ハリツルマサキ、鑑賞用の低木。【例】きつぎ まっこーぎーゆ みなかん いびー (きれいなハリツルマサキを庭に植える)。まっこーうや (まっこーを取ってきて売って歩く人) [類] まっこーぎー。

**まっこー** [makko:] 【名詞】面と向かってはつきりということ、直接。【例】まっこーから あいや あたらんていー あい (面と向かってそれは間違っていると言う)。あいや みそう かむぬいや ほうだ まっこーん あっじ (そんなふうにはひそひそと話をせずに、直接言ってみよ)。

**まっさーら** [massa:ra] ① 【名詞】真っ白。【例】かびーや むいとう まっさーら (紙はとても真っ白だ)。② 【形容詞】真っ白だ、真っ白な。【例】ういがどう まっさーらかい (こっこのほうが真っ白だ)。

**まっず** [mazzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [C] 混ぜる。【例】とうぬかとう みりきんくーゆ まっでいる (卵とメリケン粉を混ぜる)。[類] まっでい、まんき、まんつ。

**まっチャ** [mattɕa] 【名詞】[B] 商店。【例】まっチャー まいがまん あい (店はすぐ近くにある)。すきやーりまっチャ (ごちゃごちゃした商店)。

**まつづい** [matsivvi] 【動詞】[母音語幹] (糸などが) 絡みあう、もつれる。【例】いとう

ー まつづいーにやーん (糸は絡んでしまった)。ていぐすいぬ まつづいーば はなひー ふいーる (釣り糸が絡まったからほどいてくれ)。[類] まつー、まつっだい。

**まつっだい** [matsiddai] 【動詞】[r/rr 語幹] (糸などが) 絡みあう、もつれる。[類] まつー、まつづい。

**まっでい** [maddi] 【動詞】[母音語幹] [C] 混ぜる。【例】さきんかい ぶーどうるー まっでいー みるくじゃきゆー ちゅっふい (酒に練乳を混ぜてミルク酒を作れ)。[類] まんき、まんつ、まっず。

**まつぬみん** [matsinumín] 【名詞】松茸 (マツタケ)。【例】まつぬみん とういが ぬーだんかい いつ (松茸を取りにヌーダに行く [ヌーダは地名。ヌー (野) タ (田) の意味])。

**まつふあ** [maffa] 【名詞】[B] 枕。【例】たかまつふあ (高い枕)。んきやーんな まつふあー にやーっだん (昔は枕はなかった)。

**まとう** [matu] ① 【名詞】[C] 的、目当て。【例】んじやんかい いつかたー にやーだ まとうー にやーだ ふにゆー いだす (どこにもあてもなく船を出す [ < いく場所もなく、目当てもなく ])。うまぬ まとうんかい たみーみーる (この的にあててみる)。② 【名詞】[C] 頼り。【例】ばー っづあうどう まとうー ほうー (私はあなたを頼りにしている)。っふあんみぬどう ばが まとう (子供たちが私の頼りだ)。んまがぬ はたらっチャ まとうー ひらいん (孫の働きは期待できない)。

**まどう** [madu] 【名詞】[C] (なにかをするための) 時間 ; (することがなくて) 暇だ。【例】きゆーや науちゆんま まどうー にやーん (今日はぜんぜん暇はない)。きゆーや あみやー っふいー まどう (今日は雨が降って暇だ)。



**まどう** [madu] 【名詞】[C] 普段。【例】かりやー まどうからどう やなくんじやう（彼は普段から根性がわるい）。まどうんな はいぬすかまうどう あす（普段は畑仕事をする）。

**まどうづあい** [maduvai] 【名詞】間食、間食すること。【例】まどうづあいゆ とうい（間食を摂る）。まどうづあい あすていがー っふあいどうす（間食すると太る）。まどうづあいむぬ（間食）。[変異] まどうばい。

**まどうばい** [madubai] 【名詞】間食、間食すること。[変異] まどうづあい。

**まどうばんまい** [madubammai] 【名詞】間食。

**まとうんかでい** [matuŋkadi] 【名詞】順風、追い風。【例】ふにやー まとうんかじやーうきー やぐみ はーむぬ（舟は順風を受けてとても速い）。

**まない** [manai] 【形容詞】[C] おとなしい、優しい。【例】かいが ぶとうー やぐみ まない じゃうびとう（彼女の旦那はおとなしくていい人だ）。っぎー ういびとうん なりーひっちやがま まないふ なりーゆー（父は年をとって、すこし優しくなった）。

**まないん** [manain] 【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に〔「まないんていー」も可〕。【例】まないん とうず っふあうぎやー みばからだかー（ちゃんと 妻子は養わないと（いけない））。まないんていー かたなうぎやー っかい（気をつけて包丁を使いなさい）。っさー きらはんやうんていー やらびゆーぎやー まないんていー みーる（つまづかないように〔つまづかせないように〕子供は注意してみなさい）。

**まながぬ** [managanu] 【形容詞】真面目な、ちゃんとした。【例】ぶとうーぎやー まながぬ びぎどうんぬ とうみる（夫にはちゃんとし

た男性を探せ）。[類] まさがぬ、まさぎぬ、まさぐぬ。

**まながん** [managan] 【副詞】ちゃんと、きちんと、しっかりと、気を付けて、正確に〔「まながんていー」も可〕。【例】うぬ まかいゆぎやー まながん ゆすぎ（このお椀はちゃんとゆすぎなさい）。むぬーぎやー まながん ふあい（食事はきちんと食べなさい）。[類] まさがん、まさぐん、まさぎん。

**まなぎん** [managin] 【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に〔「まなぎんていー」も可〕。【例】すかまうぎやー まなぎん あっそう（仕事はちゃんとやりなさい）。[類] まさがん、まさぎん、まさぐん、まながん、まなぎん、まなぐん。

**まなぐん** [managun] 【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に〔「まなぐんていー」も可〕。【例】むぬーぎやー まなぐんていー ふあい（ご飯はちゃんと行儀よく食べなさい）。まなぐん びじ（ちゃんと座れ）。[類] まさがんていー、まさぎんていー、まさぐんていー、まながんていー、まなぎんていー。

**まなちや** [manatça] 【名詞】[B] まな板。【例】まなちやうぎやー つかうていがー あらい（まな板は使ったら洗え）。

**まなや** [manaja] 【名詞】[C] 可愛い子供；おばあさんなどが孫に声をかけるときの呼びかけのことば。【例】まなや、ぱーが まいんかい くー（いいこちゃん、おばあちゃんのところにおいで）。

**まに** [mani] 【名詞】[B] 畝（うね）。【例】ぶーっじゆぎやー まにやー あぎどう いびー（サトウキビは畝をあげて植える）。

**まびつ** [mabitsi] ① 【動詞】[k 語幹] [C]（密生した作物を）間引く。【例】きゆーや あかふにゆー まびかだかー ならん（今日はニンジンの間引かないといけない）。[変異] まびふ。

◎【名詞】[C] 間引くこと。【例】あーゆ まびつ あす ((密生した) 粟を間引きする)。[変異] まびふ。

**まびとう** [mabitu] 【名詞】[C] 3歳以上の子ども [昔は3歳までに死ぬ子供が多かった]。【例】やらびゃー んめ まびとうん なりーにゃーん (子供はやっと (生き延びて) 3歳以上になった)。[類] まーにんぎん。

**まびふ** [mabifu] ①【動詞】[k 語幹] [C] (密生した作物を) 間引く。[変異] まびつ。②【名詞】[C] 間引くこと。[変異] まびつ。

**まふ** [mafu] 【動詞】[k 語幹] [A] (煙などが) 立ち込める、充満する。【例】うまん な たばくぬ きゅーすぬどう まきゅー (ここには たばこの煙が充満している)。[変異] まつ。

**まふ** [mafu] 【動詞】[k 語幹] [A] (網などを) 巻き取る; (ひもなどを) ねじり合わせて編む; (ねじなどを) 巻く。【例】あんぬ まき (網を巻く)。とけーぬ にじゅー まつ (時計のねじを巻く) [変異] まつ。

**まふ** [mafu] 【動詞】[k 語幹] [C] (水を) まく; (植物に) 水をやる; (穀物等の種を) まく。[変異] まつ。

**まぶゆ** [mabuju] 【名詞】[B] 『魚』テングハギ。【例】まぶゆぬ っぞうなます (てんぐはぎの刺身)。

**ままーい** [mamai] 【名詞】周辺、近い人間関係。【例】うまぬ ままーいゆ とうみる (その周辺を探せ)。まーにゃー なかまうたきぬ ままーいんどう あい (黒つぐは仲間御嶽の周りにある)。ばが やーぬ ままーいんなびよーいんな にゃーん (私の家の近くには病院はない)。ばが ままーいんな いしゃーみーん (私の知り合いには医者はいない)。

**ままさ** [mamasā] 【名詞】[C] 継父。【例】ままさうぎゃー みっふあかいば みーたっふあ

にゃーん (継父は嫌いだから見たくない)。[類] ままさざ。

**ままさざ** [mamasazza] 【名詞】継父。[類] ままさ。

**ままみ** [mamami] 【名詞】[A] 枝豆の一種。

**まみ** [mami] 【動詞】[母音語幹] [A] (薬を) 塗る。【例】ふがさんかい っそういゆ まみる (おできに薬を塗れ)。ぱーや あかんかい わーぬ あっづあう まみー (おばあさんは髪に豚の油をつける [豚の油を整髪料として使うこともあった])。

**まみ** [mami] 【名詞】[B] 腎臓。【例】ひんじやぬ まみ (ヤギの腎臓)。

**まみ** [mami] 【名詞】[B] 豆、特にあずき、大豆のことを言う。【例】だいずまみ (大豆)。まみゅー ひきー たうふー ちゅふー (大豆をひいて豆腐を作る)。まみそういまい (あずきご飯のおにぎり)。

**まみく** [mamiku] 【名詞】[C] きなこ [大豆を煎って焦がし白でひいて粉にしたもの。これに砂糖を入れて食べる。菓子の材料としても用いる。]。【例】まみゃー いーきー まみくー ちゅふー (大豆を煎ってきなこをつくる)。[変異] まみぐ。

**まみぐ** [mamigu] 【名詞】[C] きなこ。[変異] まみく。

**まみそういまい** [mamisui mai] 【名詞】小豆ご飯、赤飯、普通おにぎりにして食べる。【例】さうがつんな まみそういまいゆ ふあう (正月には赤飯のおにぎりを食べる)。

**まみっじゃにゃーだ** [mamizzanja:da] 【成句】どれもこれも、誰もかれも; 区別ができてない。【例】うまん いだはいゆー むぬーぎゃー まみっじゃにゃーだ ふあい (ここにだされているたべものをどれもこれもみんな食べなさい)。かぬきゃが はだぬ ひとうんみゃー たうかー ぬくらだ まみっじゃにゃーだ

せんそーん すにー はりーにゃーん (彼等の年頃の人たちは一人残らず誰もかれも戦争で亡くなってしまった)。うるーまい かるーまい まみっじゃにゃーだ っじる (それもこれもみんな貰いなさい)。いらばだ まみっじゃにゃーだ とうい (選ばないで全て取れ)。やまとうぬ にんぎんみゃー っぞぬ なーゆぎゃー まみっじゃにゃーだ っさん (県外の間人は魚の名前は区別がつかない)。

**まみっじゃにゃーん** [mamizzanja:n] ①

【成句】(どれもこれも、誰もかれも) 区別ができない。【例】くぬいぬ かしゆんみゃー たるがたるががら まみっじゃにゃーん (最近の歌手たちは誰が誰やら区別がつかない)。ういまい くいまい まみじゃにゃーんばかーい じゃうとうー やいば ふあい (これもこれもどれも (区別ができないくらい) おいしいから 食べなさい)。②【成句】(人や場面に合わせて) 加減できない。【例】まみっじゃにゃーん んまり (手加減を知らない奴)。

**まみな** [mamina] 【名詞】[C] モヤシ。【例】

まみなう ふあう (もやしを食べる)。

**まみふー** [mamifu:] 【動詞】[f/ff 語幹] 勝負する、勝つ、かなう

【「全然かなわない」という意味で否定形で使われることが多い】。【例】ばぬんかい まみっふーみーる (俺に挑戦してみる)。ばー はーさにゃーや かいんな まみっふあん (私は、競走は彼には全然かなわない)。っづあー ばぬんかいや まみっふあん (あなたは私にはかなわないよ)。【類】まみっふい。

**まみまーらしゃ** [mamimara:ŋa] 【名詞】『鳥』

ツバメ。【例】まみまーらしゃぬ みーらいゆーば まみまい とうい ずぶん (ツバメが渡ってくる頃なので小豆を収穫する時分になっている [秋の初め、十五夜のころ])。

**まむちや** [mamutŋa] 【名詞】[C] きれいにた

たむこと。【例】つんな はっでいー まむち

ゃー ひー うっきゆーたい (着物を脱いできちんとたたんで置いていた)。

**まゆ** [maju] 【名詞】[B] 猫。【例】まゆー ゆ

むぬーどう とうい (猫は鼠をとる)。まゆー つかなう (猫を飼う)。からばいまゆがま (灰のついた猫 [古謡「池間ぬ主」から])。

**まゆ** [maju] 【名詞】[B] 眉毛。【類】まゆぎー。

**まゆぎー** [majugi:] 【名詞】眉毛。【例】う

いびとう なりー まゆぎーまい っそうふ なりーどう (年取って眉毛も白くなっている)。【類】まゆ。

**まゆずきやふ** [majuzikjafu] ①【名詞】『鳥』

カモメ。【類】つきやふ。②【名詞】不美人。【例】かぬ みどうんな むいとうぬ まゆずきやふ (あの女はとても不美人だ)。【類】んずぎ。

**まら** [mara] 【名詞】[B] 男根、おちんちん。

【例】まらぬどう ういゆー (男根がかたくなっている)。あさまら (朝の勃起した男根)。

**まらういかびっちや** [marauikabittŋa] 【名

詞】『魚』ツノダシ。【例】まらういかびっちやー きつぎむぬがま (ツノダシはとてもきれいだ)。

**まらちやー** [maratŋa:] 【名詞】男根を合

わすこと、仲のいい男同士の友達の形容。【例】かにとう まさいや まらちやーあぐ (カニとマサイはとても仲が良い子供の時からのお友達)。

**まり** [mari] 【名詞】[A] 稀 (まれ)。【例】う

らー まりんどう あい (それは稀にある)。

**まる** [maru] 【形容詞】[A] (ものの長さが) 短

い; (時間が) 短い。【例】まるんぬつ (短い命)。うぬ くばずーぬ ん<sup>°</sup>なー まるかいは みっじゃ ん<sup>°</sup>まいん。(このつるべの綱は短いので水が汲めない)。くぬいぬ しょーがっこーぬ やすみじかんな まるかいは あそうばいん (最近の小学校の休み時間は短いので遊べない)。

**まるた** [maruta] 【名詞】[A] 丸太。【例】まるたひー やーゆ ふつ（丸太で家を建てる）。

**まるつ** [marutsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（縄で）縛る、まとめる、丸める、（網の口を）とじる。【変異】まるふ。

**まるふ** [marufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（縄で）縛る、まとめる、丸める、（網の口を）とじる。【例】つうあうぎゃー むぬいゆ つかだかー まるかっどー（お前は言うことを聞かないと縛りあげるぞ）。ぐんな せんぎばかーい はいりゆーば、じょ あんな たつづいー まるかでい（むろあじは千斤くらいはいったので、網を引きよせて（網の）口を閉じよう [1斤=600グラム、「グン」は「ムル」の成魚になったもの]）。ひんじゃう まるき（ヤギの（足を）しばれ）。ひんじゃぬ はっじゆ まるふ（山羊の足を縛る）。ぶーっじゆ まるふ（サトウキビを束ねる）。【変異】まるつ。【類】すまい。

**まるん** [marun] 【動詞】[m 語幹] [A]（ものを）丸める；（髪を）丸く結う；（人を）丸め込む。【例】かびーゆ まるみー すていたい（紙を丸めて捨てた）。あかう まるん（髪を丸く結う）。ひとらーぎゃー まるまん（人を丸め込まない [＞丸め込んではいけない]）。

**まるんぬつ** [marunnutsi] 【形容詞】短命だ。【例】さきぬん たばくふつ ひとらんみゃー まるんぬつむぬ（酒飲みで喫煙者は短命だ）。

**まんき** [majki] 【動詞】[母音語幹] [C] 混ぜる。【例】うぬきやが ふたーっちゆ まんきる（その二つを混ぜなさい）。【類】まんつ、まっでい、まっず。

**まんじゆー** [manzu:] 【名詞】パパイヤ、パパイヤの実。【変異】まんちゆー。

**まんじゆーぎー** [manzu:gi:] 【名詞】パパイヤの木。【変異】まんちゆーぎー。

**まんず** [manzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A]（物が表面に）飛び出る、（ものが取まりきらずに）はみでる。【例】やいー ほうにやー まんでいー どうーい（痩せて骨が飛び出ている）。【変異】まんっず。【類】まんでい、とうんでい。

**まんちやー** [mantɕa:] 【名詞】ごったまぜ；異なる系統（人種など）の両親を持つ子供。【例】まいゆまい おかつじゆまい まんちやーやひー ふあい（ご飯もおかずもごったまぜして食べなさい）。

**まんちやー かんちやー** [mantɕa: kantɕa:] 【名詞】ごちゃまぜにすること。【類】まんちやー くんちやー。

**まんちやー くんちやー** [mantɕa: kunteɕa:] 【名詞】ごちゃまぜにすること。【類】まんちやー かんちやー。

**まんちゆー** [mantɕu:] 【名詞】パパイヤ、パパイヤの実。【例】うまんな んみまいぬ まんちゆーゆ ふあう（ここでは熟れる前のパパイヤを（野菜として）食べる）。まんちゆーやまん やいば んつきぬ すたん ういていがー すずうす あすちや（パパイヤは万だから [＞パパイヤは万の力があるから]、軒下に植えると家系が絶えるんだって [昔は家の近くには木を植えないほうが良いという生活の知恵があったようである。さらに「まんちゆー」の「まん」と「まんやいば」の「まん」との掛詞、「んつき」が「軒下」と「おさえつける」という意味上の掛詞、また「すず」「うす」「あす」で脚韻をふんでいる]）。【変異】まんじゆー。

**まんちゆーぎー** [mantɕu:gi:] 【名詞】パパイヤの木。【例】んつきぬ すたぬ まんちゆーぎーゆぎゃー っちゆひー すている（軒下のパパイヤの木は倒してしまえ）。【変異】まんじゆーぎー。

**まんっず** [manzzi] 【動詞】（物が表面に）飛び出る、（ものが取まりきらずに）はみでる。【変異】まんず。【類】まんでい、とうんでい。

**まんつ** [mantsi] 【動詞】 [A] 混ぜる。 [類] まんき、まっでい、まっず。

**まんでい** [mandi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (物が表面に) 飛び出る、(ものが収まりきらずに) はみでる。【例】 やどうから かにふずぬどう まんじゅー (戸から釘が突きでてい)。はいぬ んなかなな ほういすぬどう まんでい

ーゆー (畑の真ん中には大岩が飛び出ている)。  
っづあが わいしゃっちゃ まんじゅーば なかんかい いる (ワイシャツがはみ出てるので中に入れろ)。ぶーっじゅぎゃー とらっくんかいや まんじゃはだ つみ (サトウキビは、はみださないようにトラックに積み)。 [類] まんず、とうんでい。

# み

**みー** [mi:] ①【動詞】[母音語幹] [C] (目で) 見る。【例】からー いつまい ていんぬ ほうっそう みー (彼はいつも空の星を見る)。かいが すかまー みーちゃぎかいば みーらいん (彼の仕事はなっていないので見るに耐えない)。かりゃー つむでいていがー まいゆぎゃー みーん (彼はいったん怒ったら手が付けられない [＜前を見ない])。ふにゃー みーらいだ んぎーにゃーん (船は見えなくなった)。ぶーっじゃ ぬそうみー ていびゅーぎゃー まーりや みーだ ちゃー ひんず (サトウキビを盗んで後ろを振り返ることなく一目散に逃げる)。②【動詞】[母音語幹] [C] (子供や老人などを) 世話する、見守る。【例】ういびとうー みー (老人の面倒を見る)。[類] みばかい。③【動詞】[母音語幹] [C] (否定の形で、生き物が) いない; 所有していない [「うらん」と同義]。【例】んきゃーんな うまなぎんな まゆー みーっだん (むかしはここらへんには猫はいなかった)。ぱー みどうんな みーん (私は妻はいない)。ぱが ままーいんな いしゃー みーん (私の知り合いには医者はいない)。

**みー** [mi:] 【補助動詞】(動詞連用形について) (～して) みる [～みーみー (～みてみる) のように重ねて使うこともある]。【例】どうんびゃう みーみーぶすむぬ (マグロの大群を見たい)。うぐなーいんかい いきーみーていがー たるまい みーっだん (集まりに行ってみたらだれもいなかった)。うるー ふあいみーみーる (これを食べてみろ)。くぬ むぬいゆ あっじーみーみーる (この単語を言ってみ

てくれ)。あーぐー あっじーみーみーる (歌を歌ってみろ)。ひとうかいま いじやいみーみーでい (一度会ってみようか)。

**みー** [mi:] 【名詞】[B] (貝などの) 身。【例】さぐなぬ みーや まーぬ んまつふあにゃーん (ほら貝の身はあまりおいしくない)。やいがんな みーや にゃーん (やせたカニには中身はない)。

**みー** [mi:] 【名詞】[B] (失敗の) 穴埋め、(欠損の) 穴埋め。【例】ういが みーや つふあはいん (その穴埋めはできない)。

**みー** [mi:] 【名詞】[B] 目。【例】ほうみー (大きな目)。みーや ほうらかだ ばらう (目は開けないで笑う [＞あまりの嬉しさで笑うこと])。みーや にゃーんきゃ ばらいーにゃーん (目がなくなるほど笑った [＞沢山笑った])。

**みー** [mi:] 【名詞】[B] 使い物 (にならない)。【例】うらー なうぬ みーんな ならん (それは何の役にも立たない)。つうあが でいんぬ はーさ あいたんていー うらー ばぬんな なうぬ みーんまい ならん (あなたがお金が沢山あったとしてもしても私にとっては何の役にも立たない)。

**みー** [mi:] 【形容詞】[B] 新しい。【例】みーやー (新築の家)。みーぐるま (新車)。みーずん (新しい着物)。くいがどう んながーんな みーかい (これが一番新しい)。

**みー** [mi:] 【接頭辞】メスの。【例】みーうす（メスの牛）。みーどうい（めんどり）。みーぬーま（雌馬）。みーひんじゃ（雌の山羊）。

**みー つつんく** [mi: tsitsin̄ku] 【成句】落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること。「みーや/みーぬ つつんく」なども可。【例】やらびゃー みーや つつんくん なりー んまう どうみーまーりゅー（子供は右往左往して母親を探し回っている）。[変異] みーつつんつ、みーつつんふ。

**みー つつんつ** [mi: tsitsints̄i] 【成句】落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること。「みーや/みーぬ つつんつ」なども可。[変異] みーつつんく、みーつつんふ。

**みー つつんふ** [mi: tsitsinfu] 【成句】落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること。「みーや/みーぬ つつんふ」なども可。[変異] みーつつんく、みーつつんつ。

**みーい** [mi:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（女性らしく）成熟する、女らしい体つきになっている。[類] みっり。

**みーか** [mi:ka] 【名詞】[A] 《数詞》三日。

**みーかいす** [mi:kaisi] 【動詞】[s/h 語幹] 見返す。【例】うやきんなりー かりゅーぎゃー みーかいはでい（金持ちになって彼を見返してやる）。[変異] みかいす。

**みーかない** [mi:kanai] 【名詞】おととい、一昨日。「今日」から数えると三日前なので、「みー」になる。】。

**みーかない** [mi:kanai] 【名詞】目のいい人。

**みーがまくーがま** [mi:gamaku:gama] 【副詞】くまなく。【例】やーぬかぎゃー みーがまくーがま どうみたいそうが なうちゅんま どうみらいん（家の鍵はくまなく探したが全く見つからない）。[類] いーがまくーがま。

**みーさみー** [mi:sami:] 【名詞】見下すこと。

【例】きばんていー みーさみー あすな（貧乏だと言って見下すな）。[類] いみさみー。

**みーそうい** [mi:sui] 【成句】[r/rr 語幹] 眼光鋭い。「みーや そうい/みーぬ そうい」も可。【例】じゅーどーぬ せんしゅー いつまい みーや そーりーどーい（柔道の選手はいつも眼光が鋭い）。

**みーたう** [mi:tau] 【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。[類] みーとう、みーはー。

**みーだつ** [mi:datsi] 【名詞】独身女性 [独身男性は「びきだつ」と言う]。【例】ながみーだつ（年齢の高い独身女性）。

**みーちやぎ** [mi:ɕagi] 【形容詞】（顔かたち、服装などの）見た目が悪い、（仕事などの）見栄えが悪い、（食べ物などの）見た目が悪い；（言葉が）適切でない。【例】からー いつまい やりずんな っちー みーちやぎかいば ならん（彼はいつもぼろ服を着ていて、とても見苦しい）。かいが すかまー みーちやぎかいば みーらいん（彼の仕事は見るに耐えない）。うぬ むぬー みーちやぎあたいそうがどう ふあうていがー んまい あたい（その食べ物は見た目は悪かったけれど食べたらうまかった）。かりゃー いつまい ひとつんかい うっさひー ひんぎーはい みーちやぎんまり（彼はいつも人のせいにしてにげていく卑怯者だ）。あいぬ みーちやぎ むぬいゆぎゃー ほうん（そんな下品な言い方をしてはいけない）。

**みーつ** [mi:tsi] 【名詞】[A] 《数詞》三つ。

**みーつき** [mi:tsiki] 【動詞】[母音語幹]（人が別の人に）目をつける、（人やものを）凝視する、（けんか相手などを）にらみつけ、（恋人が相手を見つめる）。【例】っぎー つふあう みーつきー んみきゅー（お父さんは子供をにらみつけて叱っている）。[類] みーつふ、みーつつ。

**みーつつ** [mi:tsitsi] 【動詞】[k 語幹] (人が別の人に) 目をつける、(人やものを) 凝視する、(けんか相手などを) にらみつけ、(恋人が相手を) 見つめる。【例】むぬいゆぎゃー つかん やらびゆー みーつきー うたい (言うことを聞かな子供をにらみつけていた)。みどぅんな ながら かなす ぶとうー みーつきー うたい (妻は自分のいとおいしい夫を見つめていた)。[変異] みーつつふ。[類] みーつき。

**みーつない やらび** [mi:tsinai jarabi] 【成句】若輩者、仕事のできない大人 [ < 3 歳になる子供 ]。【例】ばー んなーぎゃー なくや っさん みーつない やらび (私はまだまだ何も知らない未熟者だ)。

**みーつふ** [mi:tsifu] 【動詞】[k 語幹] (人が別の人に) 目をつける、(人やものを) 凝視する、にらむ、(人) を見つめる。【例】ぎずぎやうなー しーしーん みーつかいーにやーん (腕白坊主は先生に目をつけられた)。あいや ひとつーぎゃー みーつかん (そんなに人をにらみつけない)。ばー きーぬ はなぬ たかう みーつきゆーたい (私は木の上のサシバを凝視した)。つぐあー みがうどう むいとう みーつきゆーたいだら (お前はミガをじっと見つめてただろう)。[変異] みーつつ。[類] みーつき。

**みーつむぬ** [mi:tsimunu] 【名詞】目に入ったゴミ。【例】みーんかいどう みーつむぬぬ はいりー にやーんば なんみーふいーる (目にゴミがはいってしまつてなめて (とつて) ください)。

**みーていない** [mi:tinai] 【名詞】おとし、一昨年、2 年前 [「今年」から数えると三年前なので、「みー」になる。]。

**みーとう** [mi:tu] 【名詞】[C] 外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。【例】かりやー いつまい やりずんな っちー みーとうんな にやーん (彼はいつも古い服を着て見た目が悪

い)。かいが ぶどういや みーとうー にやーん (彼・彼女の踊りはさまになっていない)。[変異] みーとうー。[類] みーたう、みーはー。

**みーとうー** [mi:tu:] 【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。[変異] みーとう。

**みーな** [mi:na] 【名詞】[A] 葦 (にら)。【例】みーなとう まみなう いたみー (にらをもやしと炒める)。みーなう いびー (ニラを植える)

**みーぬ すたみー** [mi:nu sitami:] 【成句】見下すこと、蔑視、軽視。【例】ひとつーぎゃー みーぬ すたみーゆぎゃー ほうん (人を見下してはいけない)。

**みーぬっふあ** [mi:nuffa] 【名詞】瞳。【例】つぐあが みーぬっふあんかい うんそうく ほうりーゆー (君の瞳にととも魅了された)。つぐあ みーぬっふあう いつまい みーみーぶすむぬ (君の瞳をいつも見つめていたい)。みーぬっふあぬ っふかいぎゃー わいていー かなーだかー ならん (瞳が黒い間は頑張つて働かないといけない)。

**みーはー** [mi:ha:] 【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。【例】あてい ばかすか いば みーはーや にやーん (とても恥かしくてあわせる顔がない)。うぬ つんな みーはーや にやーんば うりゆーぎゃー っちゃだうり (この服は見た目が悪いから着るな)。ひとつぬ みーはーまい にやーん (世間体が悪い)。[類] みーたう、みーとう。

**みーはぎ** [mi:hagi] ① 【名詞】(栄養不足で) 赤目になって目がよく見えない人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーぱぎ。② 【名詞】(一時的に充血して) 目が赤くなること；(一時的に充血して) 目が赤くなった人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーぱぎ。③ 【名詞】物探しが下手な人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーぱぎ。



**みーばぎ** [mi:pagi] ①【名詞】(栄養不足で)赤目になって目がよく見えない人。[変異] みはぎ、みばぎ、みーはぎ。②【名詞】(一時的に充血して)目が赤くなること；(一時的に充血して)目が赤くなった人。[変異] みはぎ、みばぎ、みーはぎ。③【名詞】物探しが下手な人。[変異] みはぎ、みばぎ、みーはぎ。

**みーはなー にやーん** [mi:hana: nja:n] 【成句】恥かしい、面目がない。[変異] みはなー にやーん。

**みーばらーしゃ** [mi:bara:ɕa] 【名詞】目元が涼しくて笑顔がきれいな人。【例】からーいつまい みーばらーしゃがま (彼・彼女はいつも笑顔がきれいだ)。

**みーはん かーはん** [mi:han ka:han] 【副詞】何でもかんでも、めくらめっぽう、手当たり次第、何でもかんでも。【例】みーはん かーはん まかいゆ ばい (手当たり次第に茶碗を割る)。  
[類] みっふあかつふあ。

**みーぷかい** [mi:pukai] 【形容詞】(光などが)まぶしい。【例】っふあ あなから いでいてい みーていがー みー ぷかいかいば ならん (暗い穴からでてきたものだからまぶしくてしかたない)。  
[類] みーぷたい。

**みーぶた** [mi:buta] 【形容詞】見た目より中身が多いこと。【例】うぬ っぞうー いみむぬがま やいそうが みーぶたむぬ (この魚は小さいけれど中身は多い)。やまー にやーん すまー みーぶたすま (山のない島はなかみが多い [>畑がたくさん作れる])。

**みーぷたい** [mi:putai] 【形容詞】(光などが)まぶしい。【例】きゅーぬ ていだー みーぶたいかいば ならん (今日の太陽はまぶしくてならない)。  
[類] みーぷかい。

**みーまーい** [mi:mai] 【動詞】[r/rr 語幹] 見て回る。【例】かでいふつぬ あとうぬ はいぬ

ぶーっじゅ みーまーい (台風の後の畑のサトウキビを見て回る)。

**みーまーい** [mi:mai] 【名詞】目が回ること、目がくらむこと。【例】っざん ぐるみきまーはい みーまーい ひーうたい (お父さんにぐるぐる回されて目が回った)。みーまーいや ひー いじゃどう いじゃががら さだかーひらいん (目がくらんでどこがどこだか分からない)。

**みーや にやーん** [mi:ja nja:n] 【成句】目がなくなる [笑い顔を誇張した言い方]。【例】みーや にやーんきや ばらいーにやーん (沢山笑った (目がなくなるほど沢山笑った))。

**みーや ほうらんばかーい** [mi:ja hurakambaka:i] 【成句】目が開かないくらい、程度がはなはだしい様子をあらわす。【例】みーや ほうらん ばかーい がーりー まーりー うたい (まぶしいくらいきれいに [(あるいは) 目も当てられないくらいはでに] 着飾って歩き回っていた。みーや ほうらんばかーい ばらいーにやーん (目が開かなくなるほど笑った [これ以上笑えないほど笑った])。

**みか** [mika] 【名詞】[C] こめかみ。【例】やいぬーまー みかぬどう ふぐみゅー (痩せた馬はこめかみがへっこんでいる)。

**みが** [miga] 【名詞】[C] 女性のこと、女性の名前によくつかわれる [ミガガマ、ユヌスミガ、カナスミガ、カニミガ、ジャンミガ、ウツミガ、などがある]。

**みがー** [miga:] 【名詞】[B] 瞼(まぶた)。【例】かやばたん みがーや ささいーにやーん (小さい蜂にまぶたを刺された)。

**みかいたす** [mikaisi] 【動詞】[s/h 語幹] 見返す。  
[変異] みーかいたす。

**みがつ** [migatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 磨く。  
[変異] みがふ。

**みがに** [migani] 【名詞】[C] 眼鏡、水中メガネ。

【例】みがにやー みーんな あーんば みーむぬー かーでい（眼鏡があってないので新しいのを買おう）。みがにまーいゆ いなうん あす（素潜り漁を内海でする）。

**みがにまーい** [miganima:i] 【名詞】素潜り漁。

【例】きゅーや みがにまーいや ひーたくとうらでい（今日は素潜り漁でタコを取ろう）。みがにまーいや ひー っぞうー つかでい（素潜りで魚を突こう）。

**みがふ** [migafu] 【動詞】[k 語幹] [C] 磨く。

【例】くच्चゅ みがかでい（靴を磨こう）。はーゆ みがふ（歯を磨く）。[変異] みがつ。

**みくん** [mikun] ① 【名詞】[C] 計画、将来性。

【例】すかまうぎやー みくんな たていー あっそう（仕事は計画を立ててやりなさい）。っづあが んなまぬ すかまー なうぬ みくんな にやーん（あなたのいまの仕事は何の将来性もない）。[類] みくんさー。② 【形容詞】[C] 計画性がある、見通しがある、先を読む力がある [先を読みすぎて投機的だという悪い意味になることもある]。【例】からー みくんかいびとう（彼は見通しのある人だ）。っづあー かいが みくんさーや にやーん（あなたは彼のような先見の明がない）。

**みくんさ** [mikunsa] 【名詞】計画性、先見の明。

[変異] みくんさー。[類] みくん。

**みくんさー** [mikunsa:] 【名詞】計画性、先見の明；計画性、先見の明のある人。 [変異] みくんさ。

**みくんじゅー** [mikunzu:] ① 【名詞】計画性、先を読む力；先見の明があること。 【例】からー みくんじゅー やいば かぶー ほうんまい うどうつていぬ くとうー にやーん（彼は先を読む力があるので、株をやっても損することはない）。からー やぐみ みくんじゅー（彼は先を読む力がある）。② 【形容詞】計画性

がある、先を読む力がある；先見の明がある。

【例】かいがどう ばぬんつきやー みくんじゅーかい（彼のほうが私より先が読める）。

**みざし** [mizaci] 【名詞】[C] 琉球王朝時代の下級官僚、「池間の主」の下の地位。 【例】みざししゅーとうや たきやーあらん（目差主とは身分が違う [古謡「豆が花」から]）。

**みさだみ** [misadami] 【名詞】見定め、目算。

【例】わーや なんきん あいがていー みさだみ あっそう（豚は何斤あるか見さだめなさい）。

**みし** [mici] 【動詞】[母音語幹] [C] 見せる。

【例】しゃしんぬ みしー（写真を見せる）。っづあが うぬ ていがみゅー みしる（お前のその手紙を見せろ）。からー くぬいや みはなうぎやー みしん（彼は最近顔を見せない）。

**みじやつ** [mizatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 目が覚める、起きる。 [変異] みじあふ。

**みじあふ** [mizafu] 【動詞】[k 語幹] [C] 目が覚める、起きる。 [変異] みじやつ。[類] みじあふ、みそうい。

**みじあみ** [mizami] 【名詞】[A] 目覚め、寝起き。 【例】くぬ やらびぬ みじあみやー いたつまい にゅーたぎむぬ（この子の寝起きはいつも眠たそう）。[類] みそうい。

**みじあん** [mizan] 【動詞】[m 語幹] [C] 目が覚める、起きる。 【例】やらびやー みじあみー どうー（子供はもう起きている）。ばーきゅーや しゃーかぬ さんじんどう みじあんたい（私は今日は夜中の3時に起きた）。[類] みじあふ、みそうい。

**みじゆき** [mizuki] 【名詞】[C] 魚の多い漁場

[リーフとリーフの間の深み、魚の通り道でもある]。 【例】っしん ばらじゃんぬ あすとうきやんな みじゆきぬ つぶん あんな はりゅーとういどう っぞうーぎやー がに

ー とうい (リーフで追い込み漁をするとき瀬と瀬の間の深みの壺に網を張っていてそこに魚を追い込み巻き込んでとる)。じょー、きゅーや  
かまぬ みじゆきんきー、あんぬ はらでい (さあ、今日はあの漁場に行って網を張ろう)。

**みじゆぬ** [mizunu] 【名詞】 [C] 『魚』 イワシ。  
【例】 みじゆぬー あんかい がにー (イワシを網に追いこむ)。みじゆぬー いみ ほうにがま たかいむぬ (イワシは小骨がたくさんある)。

**みじゆら** [mizura] 【名詞】 [C] 『魚』 浜辺にいる小魚、和名不明。【例】 みじゆらー あながまー ほうりー うい (ミジユラは小穴を掘ってそこにいる)。

**みず** [mizi] 【名詞】 [B] 水 [お湯のこともさす]。【例】 ひだが一ぬ みっじゆ ぬん (ヒダガーの水を飲む)。みっじゆ んん (水を汲む)。はいんかい みっじゆ まつ (畑に水をまく)。ほうにゃんかい みっじゆ ふいー (大根に水をやる)。みっじゆ あっちやす (お湯を沸かす)。うらー あつみず やいば まないんていー むち (それはお湯なので気を付けて持て)。あまみず (淡水)。ほうそうみず (海水)。

**みずがーら** [mizigara] 【名詞】 大きな水流。  
【例】 あみゃー っふいぬ あとうぬ みずがーら (雨の後の大きな水流)。

**みずがさ** [mizigasa] 【名詞】 水疱瘡、水痘。  
【例】 やらびんどう みずがさぬ いじゅー (子供に水痘が出ている)。

**みすかす** [misikasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (隠された意図、嘘などを) 見透かす。【例】 っづあが あっじゅー くとうー みすかはいどうー (あなたが言っていることは見透かされている)。

**みずかに** [mizikani] 【名詞】 ガラス。【例】 くびんな みずかに (瓶はガラス (でできてい

**みすかむぬい** [misikamunui] 【名詞】 ひそひそ話、秘密の話。 [変異] みそうかむぬい。

**みすてい** [misiti] 【動詞】 [母音語幹] [C] 見捨てる。【例】 うらー つむー にゃーんまり やいば みすている (彼は心のない奴だから見捨てる)。

**みずぬっぞう** [mizinuzzu] 【名詞】 『魚』 フナ。  
【例】 みずぬっぞう とうい うやがま (フナ取り専門のおじいさん)。 [類] たーぬぞう。

**みずばな** [mizibana] 【名詞】 鼻水。【例】 かじゃー ひきどう みずばなぬ いじゅー (風邪ひいて鼻水が出ている)。 [類] みずぱんだい。

**みずぱんだい** [mizipandai] 【名詞】 鼻水。  
 [類] みずばな。

**みずぶくい** [mizibukui] 【名詞】 水でふやけていること; (水に浸かって) 皮膚がふやけること。【例】 みずぶくい ひーゆー まみひー たうふー ちゅっふ (水につけてふくれた豆で豆腐を作る)。ゆながい うーぎー みーきゃー みずぶくい ひーゆー (長時間泳いだので水でふやけた)。

**みそう** [misu] 【名詞】 [C] 『古語』 舟。【例】 ふにがま、みそうがま (小舟、小舟 [古語「唐人渡来」から])。

**みそうい** [misui] ① 【動詞】 [r/tr 語幹] [C] 目覚める、起きる。【例】 んめ やらびゃー みそりーどうーい (子供はもう目覚めている)。ばー はーひーから みそりーどうー (私は早いうちから目覚めている)。やらびぬ みそりーや すぐ なつどうす ((この) 子は目が覚めたらすぐ泣くよ)。 [類] みじゃん、みじやふ。② 【名詞】 [C] 目覚め、寝起き。【例】 みそいじやう やらび (寝起きのいい子)。みそいばい やらび (寝起きの悪い子)。

**みそうかむぬい** [misukamunui] 【名詞】 ひそひそ話、秘密の話。【例】 みどうんみぬ み

そうかむぬいゆ ほうー (女性達がひそひそ話をしている)。**[変異]** みすかむぬい。

**みたまい** [mitamai] 【名詞】目が見えない人、盲人；もの探しのへたな人。【例】からー やみどう みたまいん なりーにやーん (彼は病気で目が見えなくなってしまった)。みたまいんな にぐーや とうみらいん (探し物下手にはシャコガイは見つけれない)。**[類]** みたまら、みつふあ。

**みたまら** [mitamara] 【名詞】目が見えない人、盲人；もの探しのへたな人。【例】おい みたまら、つうあが とうみゆー むぬー すぐうまん あいさ (この物探しのへたっぴー、お前の探しているものはすぐそこにあるぞ)。**[類]** みたまい、みつふあ。

**みちやーい** [mitçai] 【名詞】《数詞》三人。

**みつづあい** [mivvai] 【名詞】家庭的で面倒見が良いこと。【例】ほうゆがーぬ なかーにやー やぐみ みつづあい あい みどうん (ホウユガーの次女はとても面倒見のよい女性だ)。

**みつき** [mitsiki] 【動詞】[母音語幹] [C] 睨む。【例】やらびゆー たやん みつきー (子供を強く睨む)。**[類]** みつつ。

**みつず** [mitsizi] 【名詞】[A] 探するのが下手な人。【例】むいとうぬ みつずんまり (ほんとうに探するのがへたな奴だ)。**[類]** みたまい。

**みつつ** [mitsitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 睨む。**[類]** みつき。

**みつふあ** [miffa] 【名詞】[B] 盲目の人。【例】みつふあんま (盲目のお母さん)。**[類]** みたまい、みたまら。

**みつふあ** [miffa] 【形容詞】[B] (人などが)嫌いだ、憎い、(他人を)差別をする。

**みつふあ かつふあ** [miffa kaffa] 【副詞】えり好みせず；めくらめっぽう、手当たり次第。

【例】むぬぎやー いらばだ みつふあかつふあ ふあい (食べ物はいり好みせず、何でも食べなさい)。あい みつふあかつふあ いっそう ていっづあんまい まとうんかいや あたらん (そんな風に手あたり次第石を投げても的には当たらない)。**[類]** みーはん かーはん。

**みつふあさ** [miffasa] 【名詞】(人を)嫌うこと [ペットなどにも使える]、憎しみ。【例】うぬ みどうんな ひとうー みつふあさ あす うむくとうー にやーん ひとう (この女性は人を嫌うことを知らない人)。たるーまい みつふあさ ひーや ならん (だれもきらってはいけない)。ばー まさいゆーぎやー みつふあさ (私はマサイは嫌いだ)。ばー かいんかいや んめ みつふあさまい ならん (わたしは彼女には憎しみもなにもない)。

**みつふあまーい** [miffamai] 【名詞】立ち眩み。【例】みつふあまーいぬ ひーゆー (立ち眩みがしている)。みつふあまーいやひー がらていー たうりーにやーん (立眩みしてばたっと倒れた)。ばー きゆーや たちやっでいー あすきやー みつふあまーいや ひーたういぎかたい (私は今日は立ち上がろうとしたらたちくらみがして、倒れそうになった)。

**みっり** [mirri] 【動詞】[母音語幹] [A] (女性らしく)成熟する、女らしい体つきになっている。【例】うぬ みどうんがまー っちゃまりゆー ががら みっりーどうー (その女の子は成熟してきているのか女らしい体つきになっている)。**[類]** みーい。

**みとうーす** [mitu:si] 【動詞】[s/h 語幹] (景色などを)見渡す；(人の性格などを)見通す；(人や会社などの将来性を)見通す。【例】ゆーかーまたーひー みとうーはいどうーい (遠くまで見渡せる)。つうあが つむぬ なかぬ わるだくみやー みとうーはいどうー (お前の心の中の悪だくみはお見通しだ)。かいが かいしゃぬ じゆーねんあとうぬ くとうー

みとうーはいん (彼の会社の10年あとのことは見通せない)。

**みどうん** [midun] ①【名詞】[B] (成人、未成人を問わず) 女、女性。【例】かぬ みどうんな つむかぎ (あの女の人は性格がいい)。みどうん きよーだい (姉妹)。②【名詞】[B] 妻。【例】からー やぐみ みどうんかなっさびとう (彼はとても愛妻家だ)。ばー みどうんな みーん (私は妻はいない)。みっづあいあい みどうんぬ とうみぶすむぬ (家庭のやりくりのうまい奥さんを見つきたい)。[類] とうず。

**みどうんそうがい** [midunsugai]【名詞】男性が女性の格好をすること、女装。

**みどうんつづあ** [midunvva]【名詞】娘。【例】あたらかぬ みどうんつづあうぎゃー つづあんかいや ふいーん (大切な娘はお前にはやらない)。ばー みどうんづあぬどう みちやーい ーい (私は娘が三人いる)。

**みどうんぶす** [midumbusi]【名詞】社会的に活躍していて影響力のある女性 [＜みどうん＝女、ぶす＝武士]。【例】からー うむくとうあい みどうんぶす (彼女は賢くて優秀な女性だ)。

**みなか** [minaka]【名詞】[C] 前庭 [家の後ろは家庭菜園 (かふー) にするのが普通]。【例】みなかぬ っさう ひつ (庭の草を引く)。

**みばかい** [mibakai] ①【動詞】[r/rr 語幹] (田んぼ、畑、家などを) 手入れする、(組織、建物など全般を) 管理する。【例】かまぬ はいぬぬっさ はいゆぎゃー みばからんば はいやずみく っさー ーいー あばりゆーい (あそこの畑の主は畑の手入れしないので畑は荒れ果てている)。かんちよーていー こーみんかんぬ みばかいたい (館長として公民館を管理した)。[類] みー、みばつ。②【動詞】[r/rr 語幹] (家族、年寄、病人などの) 世話をする。【例】みがー うっとうがまう わいていー みばかい

たい (ミガは弟をよく世話した)。つづあがわいていー みばきゆーば、つづあが とうっじゃ みゃーす はず (あなたが一生懸命面倒を見ているので、あなたの妻は楽なはず)。まないん とうず つふあうぎゃー みばからだかー (ちゃんと 妻子は見守らないと (いけないよ))。ういびとうぬ っそうすばい みばかいゆ あす (老人の排便・排尿の世話をする)。やんびとうーぎゃー みばかい (病人の世話をする)。[類] みー、みばつ。③【動詞】[r/rr 語幹] (人)を 監視する、(人)を見張る。【例】うぬ ぎずぎやうなう みばかりゆーき (この腕白小僧を見張っておけ)。[類] みー、みばつ。

**みはぎ** [mihagi] ①【名詞】[C] (栄養不足で) 赤目になって目がよく見えない人。【例】んきやーんな みはぎゃー ひー むぬー みーらいっだ んぎたい ひとつまい うたいちゃ (昔は赤目でものが見えなくなる人もいたそうだ)。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーばぎ。[類] みはぎゃ。②【名詞】[C] (一時的に充血して) 目が赤くなること；(一時的に充血して) 目が赤くなった人。【例】みはぎみー ((充血して) 赤くなった目)。みはぎびとう (赤目の人) [変異] みはぎ、みーはぎ、みーばぎ。[類] みはぎゃ。③【名詞】[C] 物探しが下手な人。【例】ばー みはぎ やいば にぐーや とうみらいん (私はもの探しが下手でシャコガイは見つけられない)。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーばぎ。[類] みはぎゃ。

**みぱぎ** [mipagi] ①【名詞】[C] (栄養不足で) 赤目になって目がよく見えない人。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーばぎ。②【名詞】[C] (一時的に充血して) 目が赤くなること；(一時的に充血して) 目が赤くなった人。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーばぎ。③【名詞】[C] 物探しが下手な人。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーばぎ。

**みはぎや** [mihagja] ①【名詞】[C] (栄養不足で) 赤目になって目がよく見えない人。[類] みはぎ。②【名詞】[C] 目が赤くなること；目が

(一時的に)赤くなった人;赤目の人。[類] みはぎ。③【名詞】[C]もの探しのへたな人。[類] みはぎ。

**みはず** [mihazi] 【動詞】[g 語幹] [C]目が赤くなる、充血する。【例】まずむぬー みーたんががら、みーや みはぎーどう (幽霊を見たのか目が赤くなっている)。

**みばつ** [mibatsi] ①【動詞】[k 語幹] [C] (田んぼ、畑、家などを)手入れする、(組織、建物など全般を)管理する。[類] みばかい。②【動詞】[k 語幹] [C] (家族、年寄、病人などの)世話をする。[類] みばかい。③【動詞】[k 語幹] [C] みはる。[類] みばかい。

**みはな** [mihana] 【名詞】[C] 顔、顔色。【例】うどうるきー みはなんな いるー にやーん (びっくりして顔に血色がない)。がんじゅーぎ みはな (元気そうな顔)。かいが はなっさうむっしかいば んない みはなー にやーんきや ばらうたい (彼の話は面白いのでみんな顔をくしゃくしゃにして笑いこけた)。

**みはなー にやーん** [mihana: nja:n] ①【成句】恥かしい、面目がない。【例】ばかすかいば みはなーにやーん (恥ずかしくて人に合わせる顔がない)。[変異] みーはなー にやーん。

**みはなー ほうらかんばかーい** [mihana: hurakambaka:i] 【成句】合わせる顔がないくらい。【例】みはなー ほうらかいんばかーい ばかすかいばならっだん (合わせる顔がないくらい恥ずかしかった)。

**みはながーゆ んつ** [mihanaga:ju ntsi] 【成句】(他人の恥ずかしいことを)ばらす、(真実の姿を明らかにして)化けの皮をはがす。【例】んーなが まいん みはながーや んかいーにやーん (皆の前で恥ずかしいことをばらされた)。

**みはなぶた** [mihanabuta] 【形容詞】(家族などが偉くなったりして)自慢だ、(自分が成功したりして)得意満面だ。【例】んまがー しーしーんまい なりー やぐみ みはなぶたむぬ (孫が教師になってとても自慢だ)。からーりゅーだinkinかい ごーかくー ひー みはなぶたむぬ はず (彼は琉球大に合格して得意満面だろう)。

**みまーい** [mimai:i] 【動詞】[r/rr 語幹] 見回る。【例】ぶーっじゃ ういゆーんむていー はいゆ みまーい (サトウキビの芽が出ているかどうか畑を見まわる)。

**みまた** [mimata] 【名詞】[A] 三叉路。

**みみじやー** [mimiza:] 【名詞】『魚』ヒメフエダイ。【例】みみじやーや やぐみ んまっぞう (ヒメフエダイはとても美味しい魚だ)。

**みやー** [mja:] 【形容詞】[A] (芋やお菓子が)ほくほくしている。【例】みやーんー (ほくほくしたイモ)。くぬ んーな みやーむぬーひー んまい (この芋はほくほくしてうまい)。

**みやーか** [mja:ka] 【名詞】[A] 昔の大きな墓。【例】んきやーんぬ どうゆみやぬ みやーか (昔の豊見親の墓)。

**みやーぎ** [mja:gi] ①【動詞】[母音語幹] [C] (上を)見上げる。【例】かまぬ やまぬ はなう みやーぎーみーる (あそこの山の上を見てみろ)。ていんぬ ほうっそ みやーぎーみーる (空の星を見上げてみなさい)。②【動詞】[母音語幹] [C] (後ろを)振り向く;訪問する;相手にする;挨拶する。【例】ひやうすんなかぬきやうまい みやーぎーみーる (たまには彼らの家にも行ってあげなさい)。からーく まうぎやー なんとが みやーぎーまい みーん (彼はここをまったく訪ねて来ることもない)。かりやー ばんちゅーぎやー なんとが みやーぎん (彼は私達のことをちっともかまってくれない)。かりやー ばぬんかい い

じゃーばんまい みゃーぎゃーとうんま みーん (彼は私にあっても挨拶さえもしない)。から あてい えらいふ なりー ばんていんな みゃーぎらいん (彼はあんまりえらくなって我々には近寄りがない)。

**みゃーく** [mja:ku] ①【名詞】[A] 治世、現世、時代。【例】なかそね とうゆみやが みゃーく (仲宗根豊見親の治世)。んなまー かいが みゃーく (今は彼の時代だ)。くーみゃーく (苦しい現世)。くーさぬ みゃーくからーすんな ながーい (苦しいこの世から逃れるためには死ぬしかない [=死ぬのが逃れることだ])。んなまー ばが みゃーくー あらん (今は私の時代ではない)。②【名詞】[A] 故郷、都。【例】くまー ばが みゃーく (ここは私の故郷だ)。んなまー とーきよーぬどう ばが みゃーく (今は東京は私の都だ [住めば都])。

**みゃーく** [mja:ku] 【名詞】[A] 宮古。【例】くまー みゃーくずま (ここは宮古島です)。

**みゃーくじょーふ** [mja:kuzo:fu] 【名詞】宮古上布 「宮古上布は」の対応形は「みゃーくじょーっふあ」「みゃーくじょーふー」のどちらでもよい。「宮古上布を」の対応形は「みゃーくじょーっふ」「みゃーくじょーふー」のどちらでもよい。【例】みゃーくじょーふー ぶーずん (宮古上布は苧麻でできた着物だ)。

**みゃーくずつ** [mja:kuzitsi] 【名詞】『祭礼』お盆から約 60 日後の甲午の日に行われる池間系の人的一年で最大の祭事。【例】みゃーくずつんな んじゃからまい はーさぬ ひとつぬ すまー ならひー んみゃい (ミャークズツにはそこらじゅうから多くの方々が地面をどんと響かせて押し寄せる)。みゃーくずつんな ますむい ぶーとういぬ あい (ミャークズツにはマスムイ、ブートウイがある)。

**みゃーくなぎ** [mja:kunagi] 【副詞】永久に、永遠に。【例】ばんていが うやきゃー みゃ

ーくなぎ ふあーいん (私たちの富は永久に食い尽くせない)。

**みゃーす** [mja:si] ①【形容詞】[A] (病気が治って) 体調がいい。【例】やんな ならーりー みゃーすふ ならーどうー (病気が治って体調がよい)。②【形容詞】[A] 生活に余裕がある、(生活が) 楽である、裕福な; (仕事などが) 楽だ。【例】ふあう みゃーす ((食べるのに事欠かない) 楽な生活)。かまぬ きないや みゃーす きない (向こうの家は裕福だ)。くぬいや ていまーまい あがりー みゃーすふ ならーどう (最近では給与も上がって生活が楽になった)。みゃーす すかまていや にゃーん (楽な仕事 (というものは) ない)。

**みゃーす** [mja:si] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (違いを調べるために見たり、持ったりして) 比べる。【例】うぬ ふたーっちゆ みゃーひーみる (この2つを比べてみなさい)。くぬ さきとう うぬ さきゆー ぬみー みゃーひーみる (この酒とその酒を飲んで比べてみなさい)。

**みゃーてい** [mja:ti] 【名詞】[C] 目的地、生きがい。【例】くぬ ひこーきゃー んじゃんかいぬ みゃーてい (この飛行機はどこが目的地なんだ)。ふにゃー みゃーていぬ にゃーだかー んじゃまい いかいん (舟は目的地がないとどこにも行けない)。つふあんまがぬ どう ばが みゃーてい (子や孫が私の生きがい)。[類] まとう。

**みゃーなか** [mjanaka] 【名詞】『祭礼』御嶽の建物の外側にある神事を行う場所。

**みゃーらび** [mja:rabi] 【名詞】浮気っぽい女性。【例】みゃーらび みどうん (みだらな女)。

**みゃい** [mjai] 【動詞】[r 語幹] [C] ふあう (食べる) の尊敬語形。

**みゃらび** [mijarabi] 【名詞】『歌語』一七、八

の若い女性。【例】みやらび かぎさ (若い女性の美しさ)。

**みやらまてい** [mjaramati] 【成句】食べてください (「ふあう (食べる) の敬語形 「みゃい」 の依頼形)。【例】ていや いかーひー かーっそう とうい みやらまてい (手を伸ばしてお菓子を取って食べてください)。なまっそう みやらまてい (刺身をお召し上がり下さい)。

**みゆーい** [mjui] 【名詞】[C] (男女を問わず) 両親の兄弟のこども、甥 (おい)、姪 (めい)。【例】ぶばがまー みゆーいんつきゃーまい うっとう (末っ子のおばさんは甥 (姪) よりも年下だ)。みゆーいっふあんみ (甥っ子たち (姪っ子たち))。みちゃーいぬ みゆーい (三名の甥 (姪))。

**みゆーとう** [mjutu] 【名詞】[A] 夫婦。【例】かなすぎ みゆーとう (仲がよさそうな夫婦)。うぬきやが ふたーいや みゆーとうん なりーどー (彼ら二人は夫婦になった)。[類] とうずぶとう。

**みゆーぶき** [mjubuki] 【名詞】(神様の) おかげ、おかげで。【例】くぬくとうー やぐみぬ みゆーぶき (このことは神様のおかげだ)。やぐみぬ みゆーぶき たすきらいたい (畏れ多い神様のおかげで)。[類] うぶき。

**みりきんくー** [mirikinku:] 【名詞】メリケン粉。[変異] みりきんぐー。[類] みるくんぐー、みるくんくー。

**みりきんぐー** [mirikingu:] 【名詞】メリケン粉。【例】みりきんぐーひー てんぷらう やつ (メリケン粉で天ぷらを揚げる)。[変異] みりきんくー。[類] みるくんぐー、みるくんくー。

**みるくじゃき** [mirukuzaki] 【名詞】ミルク酒 [泡盛に練乳を混ぜてつくる飲み物]。【例】さきんかい ぶーどーるー まっでいー みる

くじゃきゅー ちゅっふい (酒に練乳を混ぜてミルク酒を作れ)。

**みるくんくー** [mirukunku:] 【名詞】メリケン粉。[変異] みるくんぐー。[類] みりきんくー、みりきんぐー。

**みるくんぐー** [mirukungu:] 【名詞】メリケン粉。[変異] みるくんくー。[類] みりきんくー、みりきんぐー。

**みん** [min] 【名詞】[B] 耳 [聴覚機能ではなく体外に出ている耳の部分は「みんばに」という。]。【例】みん とうーき ういびと (小さい音でもよく聞こえる老人)。ういびとうん なりー みんな つかいんふ なりゅー (年寄りになって耳が遠くなった)。みんぬ ひっばい (耳を引っ張る)。みんぬ かうかいば ならん (耳がかゆくてしかたない)。

**みんがくむん** [mingakumun] 【名詞】耳学問。

**みんがみ** [mingami] 【名詞】取っ手のついた甕 (かめ)。【例】んそうがみゃー みんがみ (味噌がめは取っ手のついたかめだ)。

**みんきや** [minkja] 【名詞】[C] するめイカ。【例】みんきゃー ひつにむぬ (スルメは硬い)。みんきゃー はーばすんかい っふあまりーにゃーん (スルメイカが歯の間にはさまった)。

**みんぐ** [mingu] 【名詞】[C] 耳の遠い人。【例】みがにまーいびとうんみゃー みんぐむぬ (素潜り漁をするひとたちは耳が遠い)。[類] みんぴちやら、ながみん。

**みんだい** [mindai] 【名詞】耳だれ、耳漏。【例】やみどー みんだいぬ いじゅー (病気に耳垂れが出ている)。

**みんたっづあ** [mintavva] 【名詞】顔面平手打ち、びんた。【例】みんたっづあう ったつ (ビンタを張る)。みんたっづあう ふあー



す (ピンタを張る)。ばいさーひー しーしー  
ん みんなたつづあー ったかいにやーん (悪さ  
をして先生に平手打ちされた)。

**みんなたま** [mintama] 【名詞】目ん玉、目玉。

【例】っぞうぬ みんなたまう ふあう (魚の目ん  
玉を食べる)。

**みんなとうーきや** [mintu:kja] 【名詞】耳のい

い人、耳ざとい人。【例】かりやー みんな  
とうーきや (彼は耳ざとい人だ)。  
【類】みんなぴーきや。

**みんながはな** [minnagahana] 【名詞】(主に

女性が) 旧暦三月三日の大潮のときに浜に行き、  
触って清める潮。【例】さにつんな みんなが  
はなう うがなが いんかい いつ (旧暦の3  
月3日には海水を祈願に行く [＞海水で身を清  
めるため])。

**みんなぬっそう** [minnussu] 【名詞】耳垢。【例】

みんなぬ っさうー とうい (耳垢を取る)。

**みんなばに** [mimbani] 【名詞】耳、耳の外に出て

いる部分 (耳殻、耳翼)。【例】っざん みんな  
ばにゆー ちゅーく かつみらいたい (父親に  
つよく耳を引っ張られた)。

**みんなぴーき** [mimpi:ki] 【名詞】(皮がはがれ

るような激しい) 床ずれ。【例】うぬ ういび  
とうぬ みんなぴーきやー やぐみ やなむぬど

う あたい (この年寄りの床ずれはとてもひど  
い)。

**みんなぴーきや** [mimpi:kja] 【名詞】耳の良く

聞こえる人。【類】みんなとうーきや。

**みんなぴちやら** [mimpitçara] 【名詞】耳の遠

い人、難聴の人。【例】ながいつびとうんみや  
ー みんなぴちやらぬどう んち (すもぐりで深  
く潜れる人は難聴が多い)。  
【変異】みんなひつら、  
みんなぴつら。【類】みんなぐ、ながみんな。

**みんなひつら** [minhitsira] 【名詞】耳の遠い人、

難聴の人。【変異】みんなぴちやら。

**みんなぴつら** [mimpitsira] 【名詞】耳の遠い人、

難聴の人。【例】からー みんなぴつら やい  
ば みんな つかん (彼は難聴だからよく耳は  
(あまり) 聴こえない)。  
【変異】みんなひつら、  
みんなぴちやら。

**みんなぶーら** [mimbu:ra] 【名詞】(脂っこくて

食べにくい) 身震いすること (脂っこい豚  
専用のことば)。【例】わーぬ あっづあう  
みんなぶーらーひー ふあう (豚の脂肉を身震い  
して食べる)。わーぬ あっづあう ふあうて  
いがー みんなぶーら あす (豚のあぶら肉を食  
べると身震いする)。みんなぶーら あすっちや  
ーん わーぬ あっづあう ふあう (身震いし  
ながら豚の脂肉を食べる)。

# む

**むー** [mu:] 【名詞】 [B] 藻。【例】いんぬ むー (海の藻)。むーや なびーむぬ (藻はすべりやすい)。うまなぎんな むーぬどう ういゆー (ここら辺は藻が生えている)。

**むーす** [mu:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 燃やす。【例】うまっちゅ むーす (火を燃やす)。くぬ きーや むーはっでい ほうばんまい むいん (この木は燃やそうとしても燃えない)。

**むーっず** [mu:zzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] (老眼で目が) ぼやける、(老化で目が) 見えにくくなる。【例】くぬいや ういびとう なりーどう みーや むーっじゅー (最近年を取って目がぼやけている)。みーや むーっでいどう いみずーがまー みーらいん (目がぼやけて小さい字は見えない)。とうっさ とういどう みーぬ むーっでい っちゅー (年取って老眼になっている)。むーっでい みー (老眼化してぼやけた目)。**【類】** むーっでい。

**むーっでい** [mu:ddi] 【動詞】 [母音語幹] (老眼で目が) ぼやける、(老化で目が) 見えにくくなる。 **【類】** むーっず。

**むい** [mui] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (こどもの) 守をする、子守をする。【例】っふあう むい (子供の守をする)。② 【名詞】 [C] 子守、子守をすること。【例】っふあむい (子守り)。

**むい** [mui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (酒やご飯などを器に) 盛る、(上の方に) 捧げる。【例】まかいんかい まいゆ はーさ むい (ちやわん

にご飯をたくさんもる) みゃーくずつんな ちやばんかい さきゃー いりどう うるー むい (ミャークズツには茶碗に酒を入れそれを上方にささげる)。

**むい** [mui] 【動詞】 [母音語幹] [A] 燃える。【例】うまっちゅ むいーどうー (火は燃えている)。んみぎーや なんとが むいん (湿った木はなかなか燃えない)。

**むい** [mui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (人や動物などが) 群れる、(植物などが) 群生する、(魚が) 群れる。【例】みゃーくずつんな じゃーがまん ひとつぬ はーさ むいゆー (ミャークズツにはジャーガマに人がたくさん集まっている)。ぎすつぬどう いーぶーん むいとう むいゆー (ススキが北支部にたくさん群生している) [「いーぶー」は西原集落の東西南北区画の中の北の区画をさす]。むっるー むいゆー (ムロアジが群れている)。

**むい** [mui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (果物などを) もぎ取る、摘み取る。【例】んーたう むい (木の実をもぎ取る)。ばんちゅくろう むい (グアバを挽ぎ取る)。

**むい** [mui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (ブランコ、ゆりかご、などを) 揺する、子守のためにブランコを揺するように子供を揺する。【例】やらびゆー ぶらんこんかい ぬーひー むい (こどもをブランコにのせて揺する)。なつっじや やらびゆー むい (泣いている子を揺する)。

**むい** [mui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (液体が外に) 漏れる。【例】みずぬどう むりゆーい (水が漏れている)。すばいぬどう むいぎかい (小便が漏れそうだ)。

**むい** [mui] 【名詞】[B] 『祭礼』御嶽のあるところ、杜 (もり)、「ななむい」としてしか使わず、単独では使わない。

**むい** [mui] 【接頭辞】形容詞について程度がはなはだしいことを表す [限られた単語にのみ用いられる]。【例】ばー かりゆーぎゃー むいみっふあ (私は彼のことが大嫌いだ)。きゅーや むいひぐる (今日はとても寒い)。からー むいとうぬ むいほうりむぬ (彼は大バカ者だ)。

**むいあに** [muiani] 【名詞】子守姉。【例】ばが むいあにゃー ほうゆがーぬ はーに (私の子守姉はホウユガーの長女お姉ちゃんだ)。つぐあ まさいが むいあに やいば わいていかないら (お前はマサイの子守なので、がんばってね)。

**むいがーい** [muigai] 【名詞】(周りの様子などが) 全体的に変わること、(人の様子、雰囲気などが) 全体的に変わること。【例】かまーんきゃーんとうや むいがーい (向こうは昔とはすっかり変わった)。あがいにゃーぬ みががまー ほういふ なりー むいとう あばらぎふ なりー むいがーいや ひーどうー (東隣のミガちゃんは大きくなって、とてもきれいになって雰囲気が変わった)。

**むいじゃうき** [muizauki] 【名詞】『道具』箕 (み) [米などの穀物の脱穀の際に殻や塵を取り除くための農具]。【例】むいじゃうきひー ぶきゅー とうばす (箕で小さなゴミを飛ばす)。

**むいた** [muita] 【名詞】[C] (木の葉などが風で吹きだまった) 集まり、(魚などの) 群。【例】かまぬ むいたう とうみーみーる (向こうの木の葉の集まっているところを探してみなさい)。

むいたがまんな きーぬはーなぎぬどう あい (風の吹き溜まりには木の葉などがある)。つぞうー ひとつむいたひー ひゃっき あぎらいどう うたい (魚は (一網で) 一群れ百斤あげることができた)。

**むいだり** [muidari] 【形容詞】とてもつかれている、過労状態だ。【例】きゅーや んめ むいだり (今日はもうひどく疲れている)。きゅーや くーすかまー ひー むいだりかいばならん (今日はきついしごとをしてだるくて仕方がない)。

**むいつ** [muitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。【変異】むゆふ、むいふ、むゆつ。

**むいつき** [muitsiki] 【副詞】(ものを) みんなまとめて、合計で。【例】うまぬ みーっちゃ むいつきー いかっさが (ここの3つはまとめていくらですか)。

**むいとう** [muitu] ①【副詞】程度の大きいことを表す、とても、たいへん；(後ろに否定を伴って)「全然、決して」(~しない)「[むいとうどう]のように「どう」を伴うこともある)。【例】むいとう はーさぬ ひとうぬどう うぐなーりゅー (とてもたくさんの人が集まっている)。むいとうどう ひとうぬ むぬいゆぎゃー つかん (全然人の言うことに従わない)。②【副詞】動詞を修飾して程度がはなはだしいことを表す副詞、とても、(能力的に) とても (できない)、ほとんど (しない)。【例】ばー みががまうどう むいとう ぬずみゅー (私はミガをとても愛している)。ういとう くいとうや むいとう んーしーどうー (それとこれとはよく似ている)。すーがくのもんだいや むずかすかいば ばぬんな むいとう っさいん (数学の問題は難しすぎて私にはとてもわからない)。くぬいや むいとう あいきや うらん (最近ほとんど歩いてない)。

**むいふ** [muifu] 【動詞】[k 語幹] [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。 [変異] むゆふ、むゆつ。

**むいぶい** [muibui] 【動詞】[r/rr 語幹] (年取って) ぼける；(異性に) 凄く惚れている、夢中になっている。 [類] むいぶり。

**むいぶり** [muiburi] ①【動詞】[母音語幹] (年取って) ぼける；(異性に) 凄く惚れている、夢中になっている。【例】ばー っうあんかいや むいぶり (私はあなたには凄く惚れている)。からー みがんかい むいとう むいぶりやー ひーどー (彼はミガにすっかりむちゆうだ)。ばー ういびとん なりー むいぶりやー ひー なうゆまい っさん (私は年取ってぼけてしまってなにも分からない)。[類] むいぶい。②【形容詞】ばかもの。【例】かりやー むいとうぬ むいぶりむぬ (彼はとても大変なばかだよ)。

**むいんとうー** [muintu:] 【名詞】(体が) ずぶ濡れになること。【例】あみん っふあいー むいんとうーや ひーうたい (雨に降られてずぶ濡れになった)。きゅーや ほうすず あみん っふあいー むいんとうー あたい (今日は大粒の雨に降られてずぶ濡れだった)。[変異] むいんとうー。[類] むいんみ。

**むいんみ** [muimmi] 【名詞】(体が) ずぶ濡れになること。【例】あみん っふあいー むいんみやー ひーうたい (雨に降られてずぶ濡れになった)。きゅーや ほうすず あみん っふあいー むいんみ あたい (今日は大粒の雨に降られてずぶ濡れだった)。[変異] むいんみー。[類] むいんとう。

**むいんみー** [muimmi:] 【名詞】(体が) ずぶ濡れになること。 [変異] むいんみ。

**むがい** [mugai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [A] お腹の中が(食あたりなどで)ゴロゴロすること。

[変異] むぎゃい。②【動詞】[r/rr 語幹] [A] (怒りで) はらわたが煮えくり返ること。[変異] むぎゃい。③【動詞】[r/rr 語幹] [A] (水などが) 濁る。[変異] むぎゃい。

**むがく** [mugaku] 【名詞】[A] 無学、学校教育を受けていない人。【例】ばー むがく やいば ずーや ゆまいん (私は無学だから字は読めない)。

**むがっらす** [mugarrasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を) 掻き回す；(まとまりなどを) 掻き乱す。 [変異] むぎやらす。

**むがらす** [mugarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を) 掻き回す；(まとまりなどを) 掻き乱す。 [変異] むぎやらす。

**むき** [muki] 【名詞】[C] 向き、得意分野 「むきむき」と重ねて使うことが多い。【例】うなが むきむきぬ すかまう とうみ あっそう (自分の向いている仕事を探せ)。

**むぎゃ** [mugja] 【名詞】[C] 《魚》キンメダイもどき、鰹釣り用の餌の一つ。【例】しゃーかん あんな はりー むぎゃう とうい (未明に網を張ってキンメダイもどきを取る)。

**むぎゃい** [mugjai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [A] お腹の中が(食あたりなどで)ゴロゴロすること。【例】っさり むぬー ふあいー ばたー むぎゃりーどー (腐ったものを食べてお腹の中がゴロゴロなっている)。ひんじやー ふあいみーていがー ばたー むぎゃっらはいにやーん (やぎを食べたらお腹の調子が悪くなってしまった)。[変異] むがい。[類] むがっり、むぎゃっり。②【動詞】[r/rr 語幹] [A] (怒りで) はらわたが煮えくり返ること。【例】かさますかいば ばたぬ なかー むぎゃっりーどー (いらいらしてお腹の中は煮えたぎっている)。[変異] むがい。[類] むがっり、むぎゃっり。③【動詞】[r/rr 語幹] [A] (水などが) 濁る。【例】うまぬ みっじゃ むぎゃっりーどー (そのの

水は濁っている)。**〔変異〕** むがい。**〔類〕** むがり、むぎやっり。

**むきやう** [mukjau] 【名詞】[A] 〔植〕グミ。

**むきやうん一た** [mukjaun:ta] 【名詞】グミの実。

**むぎやっらす** [mugjarrasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。**〔変異〕** むぎやらす。

**むぎやっり** [mugjarri] ①【動詞】[母音語幹] お腹の中が(食あたりなどで)ゴロゴロすること。**〔類〕** むぎゃい、んぎゃい。②【動詞】[母音語幹] (怒りで) はらわたが煮えくり返ること。**〔類〕** むぎゃい、んぎゃい。③【動詞】[母音語幹] (水などが) 濁る。**〔類〕** むぎゃい、んぎゃい。

**むぎやらす** [mugjarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。  
【例】んっちゅ むがらし(みきをかきまぜろ) [んつ=粟や米を噛んで発酵させたもの、御酒(みき)]。うむくとう にゃーん ほうりむぬぬ うぐなーいんかい はいりってい うまぬ うぐなーいや むがらーはいにゃーん(思慮分別のない馬鹿者が集会に入ってきてそこの集会は掻き乱された)。**〔変異〕** むがらす、むがっらす、むぎやっらす、んがらす、んがっらす、んぎやっらす、。

**むく** [muku] 【名詞】[C] 婿; 入り婿 [家から見た言い方、女性本人から見た夫は「ぶとう」と言う]。【例】ぼんていが むくー やぐみかないびとう(うちの婿はとてもはたらきものだ)。かまぬ やーや みどうんっぐあ たーな やいば むくー とうらだかー ならん(向こうの家は娘だけだから入り婿を取らないといけない)。

**むぐい** [mugui] 【動詞】[r/r 語幹] [A] 潜る。  
【例】うまんかい むぐりー くぶすみやう とうい(そこに潜って甲イカをとれ)。

**むす** [musi] 【名詞】[B] 虫。【例】みどうんなーむっそうどう うんそうく いっづいー(女の人は芋虫をととも怖がる)。いっそう かいすきゃー むすぬ はーさ いでいっちゅーたい(石をひっくりかえしたら虫がたくさん出てきた)。ばたむす(お腹の寄生虫)。

**むず** [muzi] 【名詞】[B] 麦。【例】とういぬ むっじゅ ほうしゃー とうくまんかい っちゅーば うるー うっち(鳥が麦を干してある所に来ているからそれを追い返せ)。

**むずうはつ** [muziuhatsi] 【名詞】〔祭礼〕初物の麦 [麦の初穂の祭り]。【例】むずうぱつぬ にがい(麦の初穂の祈願)。**〔変異〕** むずうぱつ。

**むずうぱつ** [muziupatsi] 【名詞】〔祭礼〕初物の麦 [麦の初穂の祭り]。**〔変異〕** むずうはつ。

**むずかす** [muzikasi] 【形容詞】(問題などが) 難しい; (人が) 付き合い方がむずかしい。【例】すーがくー むずかすかいば っさいん(数学は難しくて分からない)。からー むずかすひとう やいば むぬいぼどう ばいかい(彼は難しい人だから、(彼に)しゃべっていいことはない)。**〔変異〕** むつかす。

**むずく** [muziku] 【名詞】[C] 〔食〕はったい粉 [麦を煎って焦がし、白でひいて粉にしたもの。これに砂糖を入れて食べる。菓子材料としても用いる。]。

**むずぐる** [muziguru] 【名詞】麦の茎。【例】むずぐるー たむぬー むーす(麦の茎を薪として燃やす)。

**むずたっじゃ** [muzitazza] 【名詞】初収穫の麦を炊いたもの。【例】きゅーや うーんまが やーん むずたっじゃう ふあう(今日はウーンマの家で初収穫の麦を炊いたものを食べる)。「ウーンマ」はナナムイの長のこと)

**むずなか** [muzinaka] 【名詞】麦畑。【例】ぼんていが むずなかに ふずんみなぎんどろあい（うちの麦畑はフズンミあたりにある）。

**むずぬうぱつにがい** [muzinuupatsinigai] 【名詞】『祭礼』麦の初収穫の祈願 [「むずうはつ」参照]。

**むすぬぬん** [musinunun] 【名詞】『祭礼』虫払いの願い [舟のようなものを木で作り、それに害虫等を載せて流す。害虫駆除のための祈願]。【類】むすぬぬんばらい、むすぬぬんばらいにがい。

**むすぬぬんばらい** [musinunubarai] 【名詞】『祭礼』虫払いの願い。【類】むすぬぬん、むすぬぬんばらいにがい。

**むすぬぬんばらいにがい** [musinunubarainigai] 【名詞】『祭礼』虫払いの願い。【類】むすぬぬん、むすぬぬんばらい。

**むたぎ** [mutagi] 【動詞】[母音語幹] [C] 持ち上げる。【類】むたず。

**むたず** [mutazi] 【動詞】[g 語幹] [C] 持ち上げる。【例】うるー むたぎー ふいーる（それを持ち上げてくれ）。あきんさう ひー いっそう むたず（金棒で（てこの原理で）石を持ち上げる）。【類】むたぎ。

**むだす** [mudasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]（元の状態に）戻す；（元の持ちぬしに）返却する。【例】つうあが かいっチャー むぬー やぶりーゆーば うりゆーぎやー むだし（あなたが買ってきたものは壊れているからそれは返品しなさい）。【変異】むどうす。

**むちやい** [mutçai] ①【動詞】[母音語幹] [C] 寄りかかる。【例】ばぬんかい むちやいる（私（の体）によりかかれ）。②【動詞】[r/rr 語幹] [C] 寄りかかる。

**むつー** [mutsi:] 【名詞】[B] 餅。【例】むつーゆ ふあう（餅を食べる）。むつーゆ つふ（餅をつく）。

**むつ** [mutsi] ①【動詞】[c/t 語幹] [C]（ものを手に）持つ、（ものを）所有する。【例】んなないゆーいぬ うさいや っていつ むっちゃひー はりーにやーん（全員お祝いの料理はそれぞれ持ち帰った）。っぎらう むちってい っさう かり（鎌を持ってきて草を刈れ）。うつなーんかいぬ むぬー かいんかい あっちやいーむたすたい（沖縄への物を彼に頼んで（預けて）持たした）。ばー くるまう むちやうらん（私は車を持ってない）。はいゆ むつ（畑をもつ）。②【動詞】[c/t 語幹] [C]（夫、妻を）持つ、（家庭を）持つ；（仕事を）持つ。【例】なかにやー ぶとうー むちやだ やーん ーうい（次女は結婚しないで家にいる）。きないゆ むつ（家庭を持つ、家庭内をうまく世話する）。すかまう むつ（仕事を持つ）。③【動詞】[c/t 語幹] [C]（子を）そだてる、教育を受けさせる；（家庭内のいろんなことの）世話をする、（村のいろんなことの）面倒を見る。「すまう むつ」などの形で（代表として村のもろもろのことを）する。【例】っふあう じゃうずん むつ（子供を立派に育てる）。っふあう だいがくんかい むつ（子供を大学にやる）。ばー ーんなーぎやー っふあー むちやー うらんば、っふあぬ むつかたー っさん（わたしはまだ子供がいないので子供の育て方はわからない）。そーむん なりー すまう むつ（自治会長になって村の世話をする）。

**むつ** [mutsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] 連用形で移動手段を表す、（車、自転車、舟を）運転して、操って。【例】くるまー むちー っさらんかい っいつ（車を運転して平良に行く）ぬーまう むちー はいんかい っいつ（馬を駆（か）って畑に行く）。

**むつ** [mutsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（皮を）むく、（サトウキビの皮などを）はぎとる。【例】ぶ

ーっじゅ むぎー ふあう (サトウキビ (の外殻) を剥いて食べる)。ふにゅーぬ かーゆ  
むつ (ミカンの皮をむく)。みはながーゆ む  
きゅーだら (顔の皮をむく [ > 面子を潰す ] )。

**むつ** [mutsi] 【形容詞】 [A] もちもちしている、ねばねばしている。【例】むつーや むつむぬ (餅はもちもちしているものだ)。ん<sup>ろ</sup>むぬ  
いとうー むつむぬ (クモの糸はねばねばしている)。

**むつ** [mutsi] 【名詞】 [C] (私の、あなたなどの) 分、分け前。【変異】むてい。

**むつ** [mutsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (仕事などが) 向いている。【変異】むふ。

**むつかす** [mutsikasi] 【形容詞】 (問題などが) 難しい; (人が) 付き合い方がむずかしい。【例】かいが つむー むずかすかいば っさい  
ん (彼女の心は難しくて分からない)。かいが  
なーや むずかすかいば かかいる (彼の名前は難しくて書けない)。【変異】むずかす。

**むっしーとうい** [muççi:tui] 【動詞】 [r/rr 語幹] (貼られたものを) はがす; (かさぶたなどをむりに) 取る。【例】ぼすたーゆ むっしー  
とうい (ポスターをはがせ)。ほうがさぬ か  
たうさう むっしとういや だみ (おできのかさぶたをとってはいけない)。

**むっそう** [mussu] 【名詞】 [B] 筵 (むしろ)。【例】むっそうー すき (筵を敷け)。むっそう  
ー たくび (筵を片付けよ)。

**むったーい** [muttai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (ものともものが) くっ付く、(人に) くっついて回る。【例】かびーゆ ぬいひー むったーらし  
(紙を糊でくっ付けろ)。かーらう やーぬいひ  
ー むったーらし (瓦を漆喰でくっ付けろ)。う  
ぬきやが ふたーいや いつまい むったーり  
ーどうー (その二人はいつもくっ付いてまわっている)。【類】むったーう、むったーづい。

**むったーう** [mutta:u] 【動詞】 [vv 語幹] (ものともものが) くっ付く、(人に) くっついて回る。【類】むったーい、むったーづい。

**むったーづあす** [mutta:vvasi] ① 【動詞】 [s/h 語幹] (ものともものを) くっ付ける、(人) をくっつかせる。【類】むったーらす。② 【動詞】 [s/h 語幹] (木などを抜くために) ゆりうごかす。【例】うぬ きーゆぎゃー むったーづあ  
ひー んぎ (この木を揺りうごかして抜け)。

**むったーづい** [mutta:vvi] 【動詞】 [母音語幹] (ものともものが) くっ付く、(人に) くっついて回る。【類】むったーう。

**むったーらす** [mutta:rasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (ものともものを) くっ付ける、(人) をくっつかせる。【例】ばか みどうんとう びきどう  
んぬ むったーらす (若い男女を結びつける)。【類】むったーづあす。

**むつみ** [mutsimi] 【名詞】 [A] 餅のように粘りけのあること。【例】むつーや むつみぬどう  
あい (餅は粘りけがある)。

**むっる** [murru] 【名詞】 [A] 〔魚〕 ムロアジ [ムロアジがおおきくなるとグンと呼ばれる。]。  
【例】むっるー むいゆー (ムロアジが群れている/ムロアジはむれるものだ)。むっるぬ  
がばーむぬーどう ぐんていー あい (ムロアジの大きいものをグンと言う)。

**むてい** [muti] 【名詞】 [C] (私の、あなたなどの) 分、分け前。【例】つーや やらびぬ む  
てい (母乳は赤ちゃんの分だ)。うさきひーや  
ばが ふあうぬ むちゃまい にやーん (これくらいでは私の食べる分もない [「たま (分)」  
は、「ふあう たま」を使い、「ふあうぬ たま」とは言えない。「むちゃ」は「ふあうぬ む  
ちゃ、ふあう むちゃ」両方とも言える])。【変異】むつ。【類】たま。

**むとう** [mutu] 【名詞】 [C] 墓。【例】くまー  
ばんていが むとう (ここは私達の墓だ)。た

かつじゃーむとう (タカッジャーの墓 [タカッジャーは家の名前])。あくまがまうぎゃーむとうんかいや いりん (生後間もなく亡くなった子供は墓には入れない)。[類] はか。

**むとう** [mutu] 【名詞】 [C] 本、元、基、当て、頼り。【例】つふあう むとうん あす (子供を(家の)基にする [ <子供を大切にする])。

**むとうー だき** [mutu: daki] 【成句】 [母音語幹] 働いた分に見合った報酬をもらう。【例】ばー っじだまー ういひー むとうー だきー どう (自分の配当分はこれで十分だ)。

**むどうい** [mudui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (元の状態に) 戻る; (元の位置に) 帰る; ポケる。【例】うぬ ぶりーにゃーん ほうにゃー むとうんかいや むどうらん (この折った骨はもとにはもどらない)。かまんかい むどうりー はりーにゃーん (向こうに戻って行った)。んなまどう すかまから むどうりー ったい (今、仕事から戻ってきた)。ういびとうー んめ むどうりーどうー (老人はもうポケている)。ういびとうなりどう むどうりゅー (年取って呆けている)。

**むどうす** [mudusi] ① 【動詞】 [s/h 語幹] [C] (元の状態に) 戻す; (元の持ちぬしに) 返却する。【例】つづあが むゆかひーやー むぬーぎゃー むとうんかい むどうし (お前が動かしたものをもとに戻せ)。うらー だみな むぬ やいば まっちゃんかい むどうし (それは不良品だから、店に返品しなさい)。[変異] むだす。② 【動詞】 [C] 食べ物を戻す (吐く)。【例】むぬー むどうす (食べ物を吐く)。[類] あぎー。

**むとうやー** [mutuja:] 【名詞】 本家。【例】あがいにゃーや むとうやー かーばた (東隣は本家のカーバタだ)。きじやいんな むとうやーんきー そーかう あす (祭事には本家に行って焼香する)。

**むない** [munai] 【名詞】 [C] 他人の動作を無意識にまねてしまうこと。【例】っさだ ういきゃー すまとうらぬ むないゆ あす (無意識のうちに相撲取りの動作をする)。すまう みーとうきゃんな むないゆ あす (相撲を観戦するとき関取の動作を無意識のうちに真似る)。

**むぬ** [munu] ① 【名詞】 [B] 物質、物; 人、者 [この意味では敬意を表す人には使えない]; 前に出た名詞を繰り返さないための代用形、もの、の。【例】つふあかいば むぬー とうみらいん (暗くてものが探せない)。かまんどう みーや みーん ひんな むぬぬ あい (あそこに見たことのない変なものがある)。うまんな みーむぬー にゃーん (そこには新しいものはない)。つづあー んじゃぬ むぬが (お前はどこの村の者だい)。うぬ あかくっちゃ ばがむぬ (その赤い靴は、私のだ)。くりゃー っざが くつ。ばが むぬー かい (これは、お父さんの靴だ。私のはあれだ)。あかりんごぬ さらぬ はなん あい むぬー とうい ふあうたい (赤いリンゴが皿の上にあるのを取って食べた)。② 【名詞】 [B] 食事、食べ物; 餌。【例】むぬー ふあう (食事する)。いんな むぬー ふいーきや たーひーや びーないや とうんま ほうだ むゆかん (犬は食餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。③ 【名詞】 [B] 節を取って動作の対象を表す。【例】たなかさんな くじゅから しんぶんな ゆんむぬー なまりーにゃーん (田中さんは去年から新聞を読むのをやめた)。とうないぬ とうずぬ ばが とうずんかい はなす ほうー むぬー つふたい (隣の奥さんがうちのに話しているのを聞いた)。④ 【名詞】 [B] 分裂文の主題部分につく、「節+のは、なにになにだ」の「の」の位置に使われる。【例】びきどうんつづあぬ ぬーり ったい むぬー くぬ くるま (息子が乗ってきたのは、この車だ)。かぬふあぬ なきゅー むぬー やーすかいばどう なきゅー (あの子が泣いているのは、腹がへっているからだ) [「なきゅー (泣いている) は繰り返した方がよ



い)。⑤【接尾辞】形容詞の語幹について名詞化をする接尾辞。述語として使われ、活用させるときは繋辞（コピュラ）をつける。。【例】あいつぐりむぬ（歩きにくい）。っぞうまたむぬ（大便がしたい）。やぐみ うとうるすむぬ あたい（とても恐ろしかった）。

**むぬー あかす** [munu: akasi] 【成句】[s/h 語幹]（過去・未来のことを）占う。【例】むぬすーぬ むぬー あかす（ユタが過去・未来のことを占う）。

**むぬー ゆん** [munu: jun] ①【成句】[m 語幹] お喋りする。【例】まーぬ むぬー ゆんな（余りお喋りするな）。かぬ むぬゆみやー いつまい むぬー ゆみーうい（あのお喋りはいつも喋りっぱなしだ）。むぬゆんあぐ（お喋り友達）。②【成句】[m 語幹] 駄々をこねる。【例】やらびやー むぬー ゆみんきー ぎっじやひらいん（子供は駄々をこねていうことがきかせられない）。

**むぬい** [munui] ①【名詞】[B] お喋り、話し、言うこと、言葉。【例】むぬいゆ ゆん（お喋りをする）。むぬいゆぎやー つっちゃはん（おしゃべりを途切れさせない）。つづあー まーぬ むぬいゆぎやー むぬっじゃだうり（お前はあんまりしゃべるな）。いたらーん むぬいゆぎやー あっじゃすな（バカな言動はさせるな）。②【名詞】[B] 言葉、言語、方言。【例】すまぬ むぬい（故郷の言葉）。きたていむぬい（ほかの地域の言葉）。いきまぬ むぬい（池間のことば）くぬいぬ ばかむぬんみやー むぬいや つつそうが むぬっじゃいん（最近の若者たちは村のことばは聞けるが、聞きとれても話せない）。[類] ふつ、うつ。

**むぬいっづい** [munuivvi] 【名詞】こわがること、ものおじ。【例】やらびやー むぬいっづゆーぎやー ほうん（子供というのはものおじじしないものだ）。

**むぬいぶっさ** [munuibussa] 【名詞】話した

がること；そのような人。【例】かりやー むぬいぶっさ、ふっちゃ なまらん ひとつ（彼ははなしたがりで、くちがとまらないひとだ）。

**むぬうぶい** [munuubui] 【名詞】物覚え。【例】ういびとう なりーどう むぬうぶいや ひらいん（年取って物覚えがわるい）。

**むぬがま** [munugama] 【名詞】小食の人；食が細いこと。【例】むぬがまー むぬーぎやー いかっさー ふあーん（小食の人は食事はいくらかも食べない）。かりやー むぬがまびとう やいば まーぬ むぬーぎやー ふあーん（彼は食が細いから余り飯を食べない）。[類] むぬがみや、むぬがみやびとう。

**むぬがみや** [munugamja] 【名詞】小食の人、食の細い人。[類] むぬがま、むぬがみやびとう。

**むぬかんがい** [munukangai] 【名詞】思案、ものを考えること。【例】ばぬんな かなまい や やみー むぬかんがいや ひらいん（私は頭が痛くて、ものをかんがえられない）。

**むぬくや** [munukuja] 【名詞】乞食、他人の所に行つて食べ物をもらつて食べる人。【例】むぬくやー ひとつぬ やーや あいきーまーりー むぬ っじー ふあう（物乞いは人の家を歩き回つて飯をもらつて食べる）。

**むぬすー** [munusi:] 【名詞】霊能力を持ち、ものを言い当てる人、祈祷師、ユタ。【例】かりやー じゃうむぬすー やいば ゆーどう あたらす（彼女は非常に強い霊力がある人なのでよく言い当てる）。むぬすーぬ なうやひー んまー すにーはりにやーんがていー あかす（祈祷師がどうして母親はなくなったかという）。びきむぬすーぬ むぬー あかす（男性の祈祷師が吉凶を占う）。

**むぬだに** [munudani] 【名詞】穀物の種。【例】むぬだにゆーぎやー いらうどうす、ひとつだにゆーまい いらうどうす（穀物の種は選ぶも

の、人の血統も選ぶもの〔「結婚相手は家柄を選べ」と言う格言。〕

**むぬっしやう** [munuɕçau] 【名詞】事をしそんじること。【例】ますぎたう ばらっでい あすきやー むぬっしやうや ひー うじやー ぶりーふあいーにやーん（石垣を割ろうとしたら、失敗して腕を折ってしまった）。

**むぬっじゃんぐとう** [munuzɕangutu] 【成句】何も聞かないで、何も言わないで、無断で。【例】かりやー んめ あていくとう がずかいば ひとつぬ やー っていーや むぬっじゃんぐとう なうゆまい んめ むちーはい（彼はあまりにもけちなので人の家に来ては何も聞かないで何でももうもっていく）。

**むぬにー** [mununi:] 【名詞】食事を準備すること。【例】きゅーや むぬにー ぐな（今日は食事を準備する係りだ）。

**むぬばっし** [munubaɕçi] ①【名詞】物忘れ。【例】きゅーや むぬばっしやー ひー でいんまい やーん ばっしっていにやーん（今日はいろいろ忘れてお金も家に忘れてきてしまった）。②【形容詞】物忘れ。【例】ういびとう なりーどう むぬばっしかいばならん（年取って物忘れがひどい）。

**むぬふあいじやら** [munufaizara] 【名詞】食事用の皿；仕事〔「物を食べる皿」からの比喩〕。【類】むぬふあうじやら。

**むぬふあう はかうつ** [munufau hakautsi] 【成句】生活の糧、仕事。【例】きゅーまい あちやまい むぬふあう はかうつちや にやーん、んみや どうず つふあんみんな なうゆ ふいーでいが（きょうもあしたも仕事がない、妻子に何を食べさせようか）。

**むぬふあうじやら** [munufauzara] 【名詞】食事用の皿；仕事〔「物を食べる皿」からの比喩〕。【例】やーんな むぬふあうじやらまい

にやーん（家には食事用の皿もない）。むぬふあうじやらまい にやーんば むぬまい ふあーいん（仕事もないので食事にもありつけない）。きゅーまい むぬふあうじやらー にやーん（今日も仕事がない）。ばー すかまー にやーだ んぎーにやーんば むぬふあうじやらー とうみーくーでい（私は仕事がなくなったので仕事を探しに行っ行って行こう）。【類】むぬふあいじやら。

**むぬふあうふつ** [munufaufutsi] 【名詞】仕事、仕事口。【例】むぬふあうふつまい にやーんば むぬまい ふあーいん（仕事もないので食事にもありつけない）。

**むぬゆみや** [munujumja] 【名詞】よく喋る人、おしゃべり、お喋りの人、口数の多い人。【例】かぬ むぬゆみやー ひとついがーまーすまい むぬー ゆみーどうーい（あのおしゃべりは一日中話をしている）。かりやー むいとうぬ ふちや むぬゆみや（彼女はとてもおしゃべり 口数が多い）。おい むぬゆみや、まーぬ むぬーぎやー ゆまだうり（おい お喋り、余り喋るな）。【類】むぬゆんぱじゅら。

**むぬゆんぱじゅら** [munujumpazura] 【名詞】おしゃべり。【例】でいんがにやー むぬゆんぱじゅら やいば まじやん つききや たーひーまい むぬいゆぎやー つっちやはん（ディンガニはおしゃべりなので真謝につくまで話を切らさない）。【類】むぬゆみや。

**むふ** [mufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（ミカンなどの皮などを）むく、（サトウキビの皮などを）はぎとる。【例】ふにゆーぬ かーゆ むふ（ミカンの皮をむく）。ぶーっじゅ むきー ふあう（サトウキビ（の皮）をむいて食べる）。【変異】むつ。【類】むき。

**むふ** [mufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（仕事などが）向いている。【例】ばぬんな やーぬ なかぬ すかまんつきやー あらぬ すかまぬどう むふ（私には屋内の仕事より屋外の仕事の方が

向いている)。つぐあんかいや ひやくめーと  
るんつきやー せんごひやくめーとるぬどう  
むふ（お前には100 mよりも1500 mのほうが  
向いている）。うぬ すかまー つぐあんかい  
や むきや うらん（この仕事はお前にはむい  
ていない）。[変異] むつ。

**むむ** [mumu] 【名詞】[B] もも、ふともも。【例】  
くぬ とういぬ むむー がばー やいば や  
ぐみ あいでいむぬ（この鶏のももは大きくて、  
食べでがある）。[類] むむに。

**むむくーら** [mumukura] 【名詞】胃袋。【例】  
ひんじゃぬ むむくーらう うまつん あつづ  
いー やきー ふあう（山羊の胃袋を火にあぶ  
って焼いて食べる）。

**むむに** [mumuni] 【名詞】[B] ふともも。【例】  
がばー むむに（大きなふともも）。[類] むむ。

**むむはい** [mumuhai] 【名詞】『祭礼』百回の祈  
願 [祈願の最後に繰り返す言葉の一部]。【例】  
ひとつはいや むむはい ふたはいや しえん  
はい（一回の祈願は百回の祈願と同じで、二回  
の祈願は千回の祈願と同じだ）。

**むやい** [mujai] ① 【名詞】[A] もやい [頼母子  
講 何名かのメンバーが月に一回位の割で集ま  
って定額のお金を出し合い、それを順番かクジ  
でメンバーの誰かが受け取る仕組みで、メンバ  
ーの親睦にもなっている。]; また、そこで集ま  
ったお金。【例】じよ むやいゆ すきやき  
っじゃ つぐあまい はいりー ふいーる（も  
やいを始めるのでお前も入ってくれ）。ばー  
むやいゆぎやー んなま なまらっじゃー あ  
とうぬ ぶんたーひー はらいーうかでい（私  
はもやいを今回でやめようと思うので後の分ま  
で払っておこう）。きゅーや むやいぬ あい  
ば すかまうぎやー はーひー とうどうみで  
い（今日ではもやいがあるので仕事を早めに終わ  
ろう）。きゅーや むやいゆ とうらでい（今  
日は、もやいで集まったお金をもらおう）。②  
【名詞】[A] 集まっている人。【例】かまぬ む

やいや なるゆどう ほうーがい（向こうの集  
団はなにをしているのかな）。[類] うぐなーい。

**むやがい** [mujagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 脹（ふ  
く）れる; (土地などが) 盛り上がる。【例】む  
つーや やつきや むやがりーにやーん（餅を  
焼いたら脹れた）。かまー むやがりどう ま  
まーいんつきやー たかかい（あそこは盛り上  
がっていて周囲より高い）。

**むやがらす** [mujagarasi] 【動詞】[s/h 語幹]  
（食べ物を入れ物に）山盛りにする、（荷台など  
にものを）山盛りに積む。【例】ういが たま  
うぎやー びらふんかい つぞうーぎやー む  
やがらし（彼の分け前をびくに魚を山盛りにし  
なさい）。さらんかい おかつじゆぎやー む  
やがらひー ふあーでい（皿におかずをたくさ  
ん盛って食べよう）。ぼしやんかい っさう  
むやがらす（馬車に草を山盛りに積む）

**むゆか** [mujuka] 【名詞】[A] 『数詞』六日。

**むゆつ** [mujutsi] 【動詞】[k 語幹] [C]（機械、  
車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休  
んでないで）働き始める、（石やものなどおいて  
あるものがおしたりして）動く、（心が）動く。  
[変異] むゆふ、うゆふ、ういふ、ういつ、  
うゆつ。

**むゆぬひとつ** [mujunuhitu] 【名詞】『数詞』  
六人。

**むゆふ** [mujufu] 【動詞】[k 語幹] [C]（機械、車  
などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休  
んでないで）働き始める、（石やものなどおいて  
あるものがおしたりして）動く、（心が）動く。  
【例】うぬ くるまー やぶりどう むゆかん  
（この車は壊れて動かない）。くぬ やーや な  
いんまい むゆかん（この家は地震でも動かな  
い）。ばが みどうんやらびやー ほうんやー  
んかい いつていがー ひとつとうくまから  
むゆふていぬ くとうー にやーっだん（私の  
娘は本屋に行くとか所から動くことはなかつ

た)。うまうぎゃー むゆふな (そこを動くな)。やらびゃー いつまい むいきーまーりゅーば まさがん みーうき ((この) 子はいつも動き回るのでちゃんと見ておきなさい)。すまとうらー なうばい うさばんまい むいつていぬくとうー にゃーん (相撲取りはどんなに押しても動くということはない)。かいが ていびたいや ずーん むったーりー なんとうが むゆかん (彼のお尻は地面にくっ付いていて全然動かない [>尻が重くて働かない])。いんな むぬー ふいーきゃたーひーや びーないや とろんまほうだ むゆかん (犬は食餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。くぬ きかいや くまう うすきゃー すぐ むゆつどうす (この機械はここを押すとすぐ動く)。くぬほういっさ なうばい うさばんまい むゆかん (この大石はどんなに押しても動かない)。むゆかん やうんていー ぶりゅー ていーんかい ぎぶっそう あす (動かないように折れた手にギブスをする)。なうばいぬ あばらぎみどうんぬ みーたんていー ばが つむー むゆかん (どんなにきれいな女性を見ても私の心は動かない)。[変異] むいふ、むいつ、むゆつ、ういふ、ういつ、うゆつ、うゆふ。

**むらがい** [muragai] 【動詞】[r/rr 語幹] 群になる。【例】っぞうぬどう はーさ むらがりゅー (魚が沢山群れになっている)。

**むらだてい** [muradati] 【名詞】村立て [村を新しく開拓すること]。【例】んすむらむらだてい (西原村立て)。[類] すまだてい。

**むらだみにがい** [muradaminigai] 【名詞】『祭礼』村の鎮守祈願、旧暦 10 月頃。

**むらに** [murani] 【名詞】[C] 子守すること、また子守する人。【例】なつつじゃやらびぬ むらに (泣き虫の子の守り)。

**むりゃがい** [murjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] (湧き水が) 湧き出る、(土などが) 盛り上がる。【例】ばきみずぬどう そうくから むりゃがりゅー (湧き水が (水の) 底から湧き出ている)。んたう むりゃがらし (土を盛り)。

**むるす** [mursi] 【名詞】[A] 小石。【例】いすぐーばいぬ むるっそう っそうい (石が混ざった畑の石をとりのぞけ)。

**むん** [mun] 【動詞】[m 語幹] [A] (食べ物、事柄、人などを) えり好みする; (人などを) 差別する; (人) を気に入らない (という)。【例】ふあうむぬーぎゃー なうゆまい むまん (食べ物はどんなものでも好き嫌いが無い)。びきどうん みどうんていーや むまだ かないかい ひとつー いらび (男女を問わず仕事のできる人を選べ)。きばんびとうやんていー あいや ひとつーぎゃー むまん (貧乏人だと言ってそんなふうに人を差別してはいけない)。くぬ やらびゃー ひとつーぎゃー むまん。(人見知りをしな)い。うぬ みどうんな うぬびきどうんぬぎゃー むみどう うたい (この女性はこの男性を気に入らないと言っていた)。

**むん** [mun] 【動詞】[m 語幹] [A] (体をほぐすために) もむ。【例】はっじゅ むん (足をもむ)。かたむっそう むみー ふいーる (肩をもんでくれ)。

**むんたうー** [muntau:] 【動詞】[vv 語幹] よくあえる; (紙などを) くしゃくしゃにする。【例】あいじゅーゆぎゃー むんたっづい (和え物はよくあえなさい)。かびーゆ むんたっづいー まーくん なす (紙をくしゃくしゃにして丸める)。



# も

も一ふ [mo:fu] 【名詞】 [C] 毛布。

もくも一 [mokumo:] 【名詞】 『植』 木麻黄（もくもう）。 【例】 もくも一ぎ一（木麻黄の木）。



# や

**や** [ja] 【助詞】(提題助詞「あ」の変異形:長母音、二重母音で終わる名詞の後に付く。【例】きゅーや(今日は)。ほうや(蛇は)。**[変異]** あ。

**や** [ja] 【助詞】(第二目的格助詞「あ」の変異形:長母音、二重母音で終わる名詞の後に付く。【例】まいや すいはんきんかい んしーだー(米を炊飯器にかけた [ > 米を入れてスイッチを入れた])。 **[変異]** あ。 **[類]** ゆ。

**やー** [ja:] 【名詞】 [C] 家; (家の中という意味で) 部屋。【例】やりやー(古い家)。やーゆふつ(家を建てる [ < 家を葺く])。やーゆいだす(家を建てる/建増しする)。うほうがぬやーんまい ひとつー みーん(こんな大きな家にも人は住んでいない)。やーからー むぬー いでいや ふあーいん(家からは何も出てこないのだから食べられない [ > 家そのものは金を生まない])。

**やーかず** [ja:kazi] 【名詞】 各家、それぞれの家。【例】やーかつじゃ まーりー ばいでいんぬ っじ(各戸を回って、分担金をもらう)。んじゃぬ やーんまい やーかずぬ かつ まうかんぬ うらまい(どこの家にもそれぞれご先祖神がいらっしゃる)。

**やーがま** [ja:gama] 【名詞】 (小さい) 家、小屋。【例】ばんていが やーがまぬどう んじやぬ やーんつきやーまい じゃうかい(自分の家がどこの家よりもいい)。

**やーがま くーがま** [ja:gama ku:gama] 【成句】 一軒一軒。【例】やらびゅー やーが

ま くーがま いじゃどうーす とうみー まーい(子供を一軒一軒、一軒残さずすべて探し回る)。

**やーから しーからー いでいん** [ja:kara ɕi:kara: idin] 【成句】 全然外出しない [「まい」を付けることもある]。 **[変異]** やーから すーから いでいん。

**やーから すーから いでいん** [ja:kara si:kara idin] 【成句】 全然外出しない [「まい」を付けることもある]。【例】からーいつまい やーから すーから いでいん(彼はいつも家の中に閉じこもって外に出ない)。びき ういびとうんみやー やーからまい すーからまい いでいん(男の年寄たちは全然外出しない)。 **[変異]** やーから しーからー いでいん。

**やーき** [ja:ki] 【名詞】 [C] 家族。【例】やーきやー ななぬ ひとつ (家族は7名です)。 **[類]** やーでい、やーにんじゅ。

**やーぐまい** [ja:gumai] ①【動詞】 [r/r 語幹] 病気等で家に籠る、巣ごもりする。【例】くぬいや ころなー ひー やーぐまりゅー(最近はコロナで巣ごもりしている)。ばんていが ういびとうー やーぐまりやーひー っそうすばいや ゆみん むちやいゆー(うちの年寄り家は家で寝たきりで、しもの世話を嫁にしてもらっている)。②【名詞】 病気等で家に籠ること、巣ごもり。【例】かりやー はっじゃ ぶりどう やーぐまいや ひーうい(彼女は足を折って家にこもっている)。ゆながいや やーぐまいゆ



ぎゃー あすたっふあにやーん (ながいこと巢ごもりはしたくない)。[変異] やぐまい。

**やーじゃう** [ja:zau] 【名詞】治療；老人が老齢で寝たきりになって世話を受けること。【例】みーぬ やーじゃうや ひどう にゆーいんな ひーうたい (目の治療で入院していた)。ぼんていが ぱーや ういびとうん なりー ながやーじゃうや ほうー (うちの祖母は年を取って家でずっと寝たきりである)。

**やーす** [ja:si] 【形容詞】[B] ひもじい、腹が減っている。【例】ひとつむていから むぬまい ふあーんば やーすかいば ならん (朝から食事のできないのでお腹が減って仕方がない)。やーすかいば まいまい みーらいん (ひもじくて前も見えない [＞腹が減ってどうしようもない])。

**やーずみや** [ja:zimja] 【名詞】ヤモリ。【例】やーずみやぬ っけっけっけていー なきゆー (ヤモリがけっけっけと鳴いている)。ていんじやうん やーずみやぬ はーどうるー (天井にヤモリが這っている)。

**やーだますー** [ja:damazi:] 【名詞】長男が引き継ぐ畑 [条件が一番いい畑は長男が引き継ぐ]。【例】やーだますーゆぎゃー うっとうんみんなかいや ふいーん (やーだますーは弟たちにはやらない)。

**やーたり** [ja:tari] 【形容詞】(おかゆやスープなどが) トロトロして軟らかい；(天ぷら粉などを溶いたもの、ごはんなどが) 水分が多すぎて、柔らかすぎる；(土などが) ドロドロして(歩きにくい)。【例】しらゆーや やーたりむぬ (出産のときに配るお粥はトロトロして軟らかい)。あみやー つふいぬ あとうぬ はいぬ なたー やーたりかいばならん (雨が降ったあとの畑の土はどろどろしててしかたがない)。

**やーつ** [ja:tsi] 【名詞】[A] 『数詞』八つ。

**やーっさがーき** [ja:ssaga:ki] 【名詞】飢え、ひもじさ、空腹。【例】きゅーや ひとつむていから むぬー ふあーだ やーっさがーきやー ひーうたい (今日は朝から食事していないので腹が減っていた)。つーにやんまぬ つふあー いつまい やーっさがーき (乳の出ない母親の子供はいつも空腹だ)。

**やーっさばた** [ja:ssabata] 【名詞】(食事から時間がたって) 腹が減る時間。【例】んめ じゆーにじ なるーば やらびんみやー やーっさばた (もう12時になるのでこどもたちはお腹がすく時分だ)。[類] やーっさばな。

**やーっそう** [ja:ssu] 【名詞】飢饉。【例】くとうさ あみまい つふあん ひやーいたーな やいば やーっそうんどう ないぎかい (今年は雨も降らない干ばつばかりだから飢饉になりそうだ)。くじゆー ひむひー やぐみ やーっそう あたい (去年は干ばつで大変な飢饉だった)。

**やーでい** [ja:di] 【名詞】[C] 家族。[類] やーにんじゆ、やーき。

**やーなか** [ja:naka] 【名詞】家の中。【例】あみぬ つふいーふーば やーなかんかい はいり (雨が降ってきたので家の中にはいりなさい)。まさい、やーなかんたーな うらだ あらっていー あそび (マサイ、家の中にばかりいないで、外に来て遊べよ)。

**やーならいや ほうかならい** [ja:naraija hukanarai] 【成句】家庭での教育が外でも生かされる。【例】やーならいや ほうかならい やいば やらびゆーぎゃー やーん やーでい わいていー ならーはだかー ならん (家庭教育は社会教育なので子供たちを家族でしっかりと教育しなければならない)。

**やーに** [ja:ni] 【名詞】[C] 来年。【例】やーにやー みやーくんかい んみやいーふいーさまてい (来年は宮古に来てください)。ぼんていが んまがー やーにからー しょーがっこー

(うちの孫は来年からは小学校だ)。やーにたーひーや さきやー ぬまいん (来年までは酒は飲めない)。

**やーにんじゅ** [ja:ninzu] 【名詞】家族。〔類〕やーでい、やーき。

**やーぬい** [ja:nui] 【名詞】家の瓦に塗る漆喰。  
【例】かーらんかい やーぬいゆ ぬい (瓦に漆喰を塗る)。〔類〕やーむつー。

**やーぬくび** [ja:nukubi] 【名詞】かやぶきの家のススキの茎で編んだ壁。【例】やーぬくびゆー ぎすつぬ すずひー あん (家の壁をススキの茎で編む)。

**やーばす** [ja:basi] 【名詞】家と家との間。【例】うまぬ やーばっさ ふきらいん (ここの家と家との間は通り抜けられない)。うまぬ やーばっそうぎやー ふきん (ここの家と家との間は通り抜けるな)。うまぬ やーばっそう ふきる (ここの家と家との間を通り抜ける)。

**やーばん** [ja:ban] 【名詞】留守番。【例】やーばんぬ あす (留守番をする)。かにんかい やーばんぬ たぬん (カニに留守番を頼む)。

**やーふつかしー** [ja:futsikaçi:] 【名詞】家づくりの手伝い。【例】やーふつかしーゆ あす (家づくりの手伝いをする)。きゅーや かーばったが やーんかい やーふつかしーんかい いつがまた (今日はカワバタの家に家づくりの手伝いに行くことになっている)。っざが やーふつかしーんかい いきゅー とうくまんかい いきー むぬー っじーふあう (父親が家づくりの手伝いに行っているところに行つて食べ物ももらって食べる)。〔類〕やーふつすきなふ。

**やーふつすきなふ** [ja:futsisikinafu] 【名詞】家づくりの加勢 (手伝い)。〔類〕やーふつかしー。

**やーま** [ja:ma] 【名詞】〔A〕『地名』八重山。  
【例】やーまんぬ おもとだけていぬ たかやま

ぬどう あい (八重山には於茂登岳という高い山がある)。

**やーむつー** [ja:mutsi:] 【名詞】家の瓦に塗る漆喰。〔類〕やーぬい。

**やーら** [ja:ra] 【形容詞】〔A〕やわらかい。【例】んそうなー やーらむぬ (みそ菜はやわらかい)。やーら むつー (やわらかい餅)。やーら んた (やわらかい土)。

**やーらあみ** [jaraami] 【名詞】細かい雨、やわらかい雨。【例】やーらあみがまぬ っふゆー (霧雨が降っている)。

**やーんな ていびやー つかん** [ja:nna tibja: tsikan] 【成句】家にじっとしてられないこと。【例】うぬ みどうんな いつまい やーんな ていびやー つかん (その女性はずっと家にじっとしてられない)。

**やーんまが** [ja:mmaga] 【名詞】内孫。【例】やーんまがぬどう かなすかい (内孫の方が可愛い)。

**やい** [jai] 【動詞】〔r/rr 語幹〕〔A〕コピュラ 「あい」の変異形、文末では通常使わない。〔「やいば (だから)」、「やいそうが (だけれど)」、「やらばんまい (であつても)」など、「～ば」、「～そうが」、「動詞未然形+ばんまい」などの接続形式を伴つて使われる。否定形、過去形、過去否定形は「あい」を使い、それぞれ「あらん」、「あたい」、「あらだん」となる〕。【例】くぬ とういぬ むむー がばー やいば やぐみ あいでいむぬ (この鶏のももは大きくて、食べである)。きゅーや さうがつ やいば そうーかうやーんきー むぬー すきーくーでい (今日は正月なので実家に行つてもものをそなえにいつてこよう)。たかからばんまい やすからばんまい なう やらばんまい かーでい ((値段が) 高かろうが安かろうが何でも良いから買います)。〔変異〕えい。〔類〕あい。

**やい** [jai] 【動詞】[母音語幹][A] 痩せる。【例】かにやー くじゅんつきや むいとう やいーどうーい (カニは去年よりかなり痩せているね)。むぬーぎやー ふあーだ やいる (飯は食わないで痩せなさい)。

**やい** [jai] 【形容詞】[B] 痩せた。【例】やいひんじゃ (痩せた山羊)。やいびとう (痩せた人)。んながーな やいかい ひんじゃー くだ (一番痩せているヤギはこれだ)。

**やいぐら** [jaigura] 【名詞】非常に痩せている人や生き物。【例】やいぐらぬーま (非常に痩せた馬) [類] やいさぎ。

**やいさぎ** [jaisagi] 【名詞】非常に痩せている人や生き物。 [類] やいぐら。

**やいっち** [jaittci] 【動詞】[c/cc 語幹] やせる。【例】やいっちびとう (やせた人)。[変異] やいっつ。

**やいっつ** [jaittsi] 【動詞】[c/cc 語幹] やせる。【例】かにやー くじゅんつきやー むいとう やいっちーどうー (カニは去年よりかなりやせている)。[変異] やいっち。

**やいていがー** [jaitiga:] 【接続詞】～だったら [コピュラ「あい」に条件形「～ていがー」が付いたもの]。 [変異] やていがー、えていがー。

**やいば** [jaiba] 【接続詞】～だから [コピュラ「あい」の変異形「やい」に理由を表す「～ば」が付いたもの]。 [変異] えいば。

**やいばどう** [jaibadu] 【成句】～だから (こそ) [「やいば (だから)」に焦点助詞「どう」の付いた形]。 [変異] えいばどう。

**やいん** [jain] 【動詞】[m 語幹][A] (水中に) 飛び込む; 潜る。【例】うまんかい やいみーみーる (ここに飛び込んでごらん)。[変異] やうん。[類] やうんつ、やいんつ。

**やいんつ** [jaintsi] 【動詞】[k 語幹] (水中に) 飛び込む; 潜る。【例】うまんどう たくぬういば やいんき (そこにタコがいるから飛び込め)。[変異] やうんつ。[類] やうん、やいん、やぐん。

**やうか** [jauka] 【名詞】[A] 『数詞』 八日。

**やうかん** [jaukan] 【助動詞】「節+がおーかん」あるいは「名詞+がおーかん」の形を取って、現在の観察状況や伝聞状況から～と推論できるということを表す、～らしい、～ようだ。 [変異] おーかん。

**やうたい** [jautai] 【名詞】姿、形、格好、様子、見かけ。【例】じゃうぎ やうたい (良さそうな姿)。かりやー やうたいや にやーん んまり (彼は不格好な奴だ)。やうたいや にやーん つん つーかた (格好の良くない着物の着け方)。

**やうん** [jaun] 【接尾辞】動詞基本形について動作の目的や結果を表す、ように (～する)、ように (なる)。【例】やきゅーぬ ぼーるぬ とぅびーふーば あたらんやうん うそうんたい (野球のボールが飛んできたのであたらぬようにしゃがんだ)。[類] やうんてい。

**やうん** [jaun] 【動詞】[m 語幹][A] (水中に) 飛び込む; 潜る。 [変異] やいん。

**やうんつ** [jauntsi] 【動詞】[k 語幹] (水中に) 飛び込む; 潜る。 [変異] やいんつ。

**やうんていー** [jaunti:] 【接尾辞】動詞基本形について動作の目的や結果を表す、ように (～する)、ように (なる) [「やうん」のように「ていー」を省略することもできる]。【例】とういぬ ふーやうんていー くまんかい むぬーうっきーうき (鳥が来るようにここにえさをおいておけ)。ばが つふあー うーがいやうんていーなりゅーい (うち子は泳げるようになったよ)。[類] やうん。

**やかーら** [jaka:ra] 【名詞】(人やものの) 傍ら、そば; (建物などの) となり。 [類] やかた。

**やかた** [jakata] ① 【名詞】 [B] 胴体の両側。 ② 【名詞】 [B] (人やものの) 傍ら、そば; (建物などの) となり。 【例】 ばが やかたん びじ (私の傍に座れ)。かにかが ふにぬ やかたんど う っざくー あい (カニの舟のすぐそばに權(かい)がある)。ばんていが やかたんな まさいたが やーぬどう あい (うちの隣にはマサイの家がある)。

**やかたばた** [jakatabata] 【名詞】 横腹、脇腹。 【例】 やかたばたぬ やみゆー (わき腹が痛い)。

**やかたぶに** [jakatabuni] 【名詞】 肋骨、あばら骨。 [類] さうきぶに。

**やがます** [jagamasi] 【形容詞】 やかましい、うるさい。 【例】 やがますんまりんみ (うるさい奴ども)。つうあー やがますかいば むぬいな (お前はうるさいから喋るな)。 [類] んがます。

**やから** [jakara] ① 【名詞】 [A] 怖い人、すぐ暴力をふるう人。 【例】 やからびとう (怖い人)。からー むいとうぬ やから やいば かいが まいんかい いふな (あいつはとっても怖い人なので彼の近くによるな)。 ② 【名詞】 [A] 人に対する蔑称、やつ。 【例】 あうみーやから (虚勢を張っている奴) かぬ やからー やからびとう やいば うるーぎゃー たきゆーぎゃー ほうだうり (あいつは怖い奴だから、(あいつの) 相手をするな)。 ③ 【形容詞】 [A] 怖い、すぐ暴力をふるう。 【例】 まさいや やからかいば うとうるすかいば ならん (マサイはすぐ暴力をふるうので怖くて仕方がない)。

**やぐい** [jagui] 【名詞】 [B] 大声、怒鳴り声。 【例】 やぐいやひー やどうゆん あす (大声でケンカする)。うまんや やぐいゆぎゃー いだはだうり (ここでは大声を出さないでおけ)。あいや やぐいゆぎゃー かきん (そんなに大

声を出すな)。からー みんぐ やいば やぐいゆ かきる (彼は耳が遠いから大声で話しかけなさい)。やぐいや かきー いっづあす (大声(怒鳴り声)をかけて脅す)。

**やぐまい** [jagumai] 【名詞】 病気等で家に籠ること、巣ごもり。 [変異] やーぐまい。

**やぐみ** [jagumi] ① 【形容詞】 [A] 大変な; (程度が) ひどい。 【例】 やぐみ ぐとう (大変なこと)。 [いいことにも悪いことにも使える] くぬいや やぐみ あみぬどう つふゆー (最近ひどい大雨が降っている)。かんな やぐみ むぬ (神様は畏れ多い)。 ② 【副詞】 とても、非常に。 【例】 やぐみ うとうるす びとう (とても怖い人)。やぐみ あばらぎ みどうん (とても美しい女性)。やぐみ うむくとう あいひとう (大変頭の良い人)。やぐみ ふちゃみどうん (とても口数の多い女性)。

**やぐみ** [jagumi] 【名詞】 [A] 畏れ多い神様。 【例】 やぐみぬ みゆーぶき たすきー ふいーさまてい (畏れ多い神様の御慈悲で助けて下さい)。にんぎんな ていだよぐみぬ まか (人の一生は畏れ多いお天道様次第だ)。にがいまにやーん うむきまにやーん ほうやぐみやー たすきー ふいーさまい (祈願した通りに、思った通りに神様は助けて下さる)。

**やぐみ あみ** [jagumi ami] 【名詞】 大変な雨、大雨。

**やぐん** [jagun] 【動詞】 [m 語幹] [A] 飛び込む; 潜る。 【例】 うまんかい やぐみ (ここに飛び込め)。からー たくー とうらっでい うぎんな むちー やぐみゆー (彼はタコをとるために銚(もり)を持って潜っている)。 [類] やいん、やうん、やうんつ。

**やすー** [jasi:] 【名詞】 [A] ヤスリ。 【例】 やすーひー とうぎ (ヤスリで研げ)。

**やすだい** [jasidai] 【形容詞】 安い、安価な。 【例】 やすだい ぐるま (安価な車)。くぬ や

一ぬ んながーんな やすだいかい (この家が一番安い)。

**やすつ** [jasitsi] 【名詞】[C] 敷地 [家屋の意味ではない]。【例】がばー やすつ (大きい敷地)。

**やすまい** [jasimai] 【動詞】[r/rr 語幹] (心が穏やかになる、休まる。【例】つむー んみゃー やすまりーどうー (心はもう穏やかになっている)。くぬ あーぐー つふていがー つむまい やすまいどうす (この歌を聞くと心も落ち着く)。

**やづまい** [jazimai] 【動詞】[r/rr 語幹] 子供が産めなくなる。【例】ばが みどうんな んめ やづまりーどうー (私の妻は子供が産めなくなった)。くぬ うっさ どうっさ どういー やづまりーどうー (この牛は年を取って子が産めなくなった)。

**やづまい** [jazimai] 【名詞】子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。【例】かぬ んーまー やづまいん なりーにゃーん (あの馬は子が産めなくなった)。[変異] やづまり。[類] やづまら。

**やすます** [jasimasi] 【動詞】[s/h 語幹] (心を) 落ち着ける、(体を) 休ませる。【例】つむー やすまひーから ばが はなっそう つき (心を落ち着けてから、私の話を聞きなさい)。からー くーかいはず やいば ひーちやがま やすまし (彼は疲れているはずだから、すこし休ませなさい)。

**やづまら** [jazimara] 【名詞】子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。[類] やづまい、やすまり。

**やすまり** [jazimari] 【名詞】子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。[変異] やづまい。

**やすん** [jasin] 【動詞】[m 語幹] [C] (心が) 穏やかになる、休まる、(気持ち) 鎮まる；(仕

事などの手を止めて) 休む。【例】ばー かまらすかいはば つむー やすまらん (私は悲しくて心が休まらない)。すかまうぎゃー やすん やすん あっそう (仕事は休みながらやれ)。ばー くーかいはば ひっちやがま やすまでい (私は疲れたのですこしやすもう)。

**やそうる** [jasuru] 【名詞】[A] 一反、300坪。【例】やそうるばい (一反の畑)。ぼんていが やすっちや やそうる あり (うちの敷地は300坪ある)。

**やそうるばず** [jasurupazi] 【名詞】一反足、足の裏が大きい足。【例】あいぬ やそうるばずんかいや くっちや すなーはいん (こんな大きい足には靴は合わすことはできない)。

**やちゆ** [jatçu] 【名詞】[C] お灸。【例】やちゆー あす (お灸をすえる)。やちゆー ひーゆー (お灸をしている)。

**やちゆーさ** [jatçu:sa] 【名詞】《植》ヨモギ、モグサ [お灸に使う]。【例】やちゆーさう ひんじゃじるんかいは いりー (ヨモギを山羊汗に入れる)。はずぬ つぶー やちゆーさひー やつ (足のつぼをもぐさで焼く [足つぼにお灸をすえる])。

**やつ** [jatsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (残り火の灰のなかで) 料理する、(豚やヤギなどを) 火であぶる；油で揚げる；(家を誤って) 火事にする。【例】んきゃーんな っぞうーぎゃー からばいんかいは いりどう やきゆーたい (昔は魚を残り火の灰に入れて焼いた)。ひんじやう やつ (山羊を屠殺して(毛を取るために) 焼く)。っぞうー あっづあひー やつ (魚を油で揚げる)。さたていんぶらう やつ (沖縄風ドーナツを油で揚げる)。にゆーっちゃーん たばくー ふつていがー やーゆぎゃー やきどう ふあう (寝ながらたばこを吸うと家を燃やしてしまう)。

**やつづあす** [javvasi] 【動詞】[s/h 語幹] (機械類を) 故障させる、壊す；(人間関係などを) 壊

す。【例】くるまー ちゃーらひー やっづあひーにやーん（車をぶつけて壊してしまった）。あうやーや ひー どうす やっづあーひーにやーん（けんかをして友達関係を壊してしまった）。[変異] やっづやす。

**やっづい** [javvi] 【動詞】[母音語幹] [C] 失敗する、故障する、ダメになる。【例】とうずとうみ やっづいーにやーん（奥さんを選びそこなって結婚が破綻してしまった）。ぶとうむつ やっづいーにやーん（夫を選びそこなって、結婚が破綻してしまった）。くるまー やっづいー にやーん（車が故障した）。

**やっづいぐるま** [javviguruma] 【名詞】故障した車。

**やっづいじやた** [javvizata] 【名詞】等外の黒糖 [黒糖には等級があり、上位から特等、一等、二等、等外となっていた]。

**やっづいずん** [javvizin] 【名詞】ぼろ着物。

**やっづや** [javvja] ①【名詞】[C] 怖い人、良く叱る人、性格の荒い動物。【例】やっづやっざ（怖いお父さん [ >叱ったり怒ったりするお父さん ] ）。②【形容詞】[C] 性格の荒い（人、動物）。【例】まさいが っざぬどう んながーんな やっづやかい（マサイのお父さんが一番怖い）。

**やっづやす** [javvjasi] 【動詞】[s/h 語幹]（機械類を）故障させる、壊す；（人間関係などを）壊す。[変異] やっづあす。

**やっかいな** [jakkaina] 【連体詞】煩わしい、厄介な。【例】うらー んめ やっかいな くとう（それはもう煩わしいことだ）。

**やっつぞう** [jatsizzu] 【名詞】焼き魚 [残り火の灰で焼いた魚]。

**やっとう** [jattu] ①【名詞】[A] やつとのこと、ぎりぎり [「ん」をつけて、副詞としても使う]。【例】やっとうぬ くとうがま うらー

ひらいたい（やつとのことのでそれができた）。やらびやー やっとうん にっづいーにやーん（子供がやつと寝た）。②【副詞】やつと、何とか、辛うじて、やつとのこと。【例】あかやっとうがまどう ひらいたい（なんとかやつとのことのできた）。だいがくんかいや やっとうがまどう ごーかくあすたい（大学には辛うじて合格した）。じゅーじぬ かいぎんかい やっとうがま まにあうたい（10時の会議にやつとまにあった）。ういびとうー やっとうがまどう あいきゅー（年寄りはやつとのことので歩いている）。

**やつんー** [jatsin:] 【名詞】焼き芋 [残り火の灰で焼いたサツマイモ]。

**やどう** [jadu] 【名詞】[B] 戸、雨戸、ドア。【例】やどうー しみる（戸を閉めろ）。やどうー あきる（戸を開けろ）。かまからどう あみぬ いらゆーば やどうー っふい（あそこから雨がはいっているから、戸を閉めろ）。

**やどうばす** [jadubasi] 【名詞】戸の通り道、敷居。【例】やどうばすん いすがまぬ っふいー やどうー なんとが あきらいん（敷居に小石がはさまって、戸がどうしても開けられない）。やどうばすがまや うとうだか かりやーよー ならん やどう さぎまちゅーりよ（敷居は音が出るので、ならない戸（むしろなど）を下げてまっておいてくれ）[古謡 「伊良部トウガニ」から [一部改変]]

**やどうふつ** [jadufutsi] 【名詞】玄関先、戸口。【例】やどうふつんな たちやだ なかんかい はいりーんみやてい（玄関に立っていないで、中にお入りください）。

**やどうむら** [jadumura] 【名詞】《貝》水字貝 [魔除けのために玄関先や門に下げる]。

**やどうゆん** [jadujun] 【名詞】戸口での罵り合い、他人に聞いてもらうためにするののしり合い。【例】うぬ とうずぶとうー やどうゆん

な ひどう ばみきゅーたい (その夫婦は (玄関先で) 口喧嘩をしてののしり合っていた)。やぐいやひー やどうゆん あす (大声でケンカする)。やどうゆんぬぎゃー ほうん (ケンカはしない)。うぬきやが どうずぶとうー ばか かいぎゃー うんそうく やどうゆんぬまい ひーうたい (その夫婦は若い頃はいつもよくケンカしていた)。くーさぬ やどうゆん (生活の苦しさゆえにおこる どなりあい/いいあい/喧嘩)。

**やどうゆんぬ すー** [jadujunnu si:] 【名詞】良くもめ事を起こす人。【例】かりゃー いつまい やどうゆんぬ すー (彼女はいつもトラブルメーカーだ)。

**やな** [jana] 【接頭辞】名詞/形容詞について駄目なこと、悪いことを表す接頭辞。

**やなうつ** [janautsi] 【名詞】悪口。 [変異] やなふつ。

**やなうむくとう** [janaumukutu] 【名詞】悪知恵。【例】からー やなうむくとうびとう (彼は悪知恵の働くやつだ)。やなうむくとうー ひー ひとつー だまひー でいんぬ まうきたい (悪知恵を働かせて、他人をだまして、金をもうけた)。

**やなくんじゃう** [janakunzau] 【名詞】根性の悪いこと、またそのような人。 [類] やなつむつ。

**やなじゃい** [janazai] ① 【名詞】嘘つき、ずるい人、信用できない人。【例】かりゃー やなじゃい やいば かいんな すかはいな (彼はうそつきなので彼にだまされるな)。② 【形容詞】嘘をつく、ずるい、信用できない。【例】かりゃー やなじゃいかいば ならん (彼はとてもずるい)。やなじゃいんまり (嘘つき野郎)。

**やなづむ** [janazimu] ① 【名詞】意地悪な行為；またそのような人。【例】たるんかいまい や

なづむー ひーや ならん (誰に対しても意地悪をしてはいけない)。かりゃー やなづむんまり (彼は性格が悪い奴だ)。② 【形容詞】性格が悪い。【例】やらびあいぎゃ んながーんな やなづむかい ぬーまん つふあいにゃーんっだん (こどものころ一番性格が悪い馬に噛まれたことがある)。かにんつきゃー まさいがどう やなづむかい (カニよりマサイの方が性格が悪い)。 [類] やなばた。

**やなつむつ** [janatsimutsi] 【名詞】根性が悪いこと、またその人。【例】あいぬ やなつむつちゃ むちや だみだら (そんな悪い根性ではないけない)。かりゃー やなつむつんまり (彼は根性の悪い奴だ)。まさいや やなつむぬ やいば うるーぎゃー たきゃー ほうだうり (マサイは意地が悪い奴だから相手にするな)。

**やなばた** [janabata] 【名詞】性格が悪い。【例】かりゃー やなばたかいばならん (彼はとても性格が悪い)。やなばたんまり (性格が悪い奴)。 [類] やなづむ。

**やなばた** [janabata] 【名詞】小型の蜂；すぐに怒り出す人。【例】んなまがたがま っさー かりゅーとうい やなばたがまん つふあいにゃーん (さつき草を刈っているとき小さい蜂に刺されてしまった)。からー やなばたがま やいば すぐ つむでいどうす (彼は短気だからすぐに怒りだす)。かりゃー いつまい つむでいぬ やなばた (彼はいつも怒っている根性の悪い奴だ)。 [類] かやばた。

**やなふつ** [janafutsi] 【名詞】悪口。【例】ひとうぬ やなふつちゅぎゃー ほうん (人の悪口を言ってはいけない)。やなふつちゃ うながどうーんかいどう まーりーふー (悪口は自分自身に回ってくる)。やなふつういびとう (口の悪い年寄り)。 [変異] やなうつ。

**やなむぬ** [janamunu] 【名詞】幽霊、悪霊。【例】やなむぬぬ うい (幽霊がいる)。やなむ

ぬ はらす にかい (ネズミや、害虫などをはらう祈願)。**〔類〕** ますむぬ。

**やなやん** [janajan] **〔名詞〕** (死に至るような) 重い病気。**〔例〕** うやー やなやんなひー すにーにやーん (おじいさんは重い病気で亡くなった)。ばかむぬんかい やなやんな たばりー すにーはりーにやーん (若者に悪い病気がついてなくなってしまった)。

**やなわざ** [janawaza] **〔名詞〕** 嫌な仕事、大変な仕事。**〔例〕** くまぬ すかまー やぐみ やなわざ (ここの仕事は大変嫌な仕事だ)。

**やなんじゃ** [jananza] **〔名詞〕** 無能なやつ; 悪いやつ、ひどい奴。**〔例〕** すかまー ひらいん やなんじゃ (仕事ができないでくの坊)。からー やなんじゃ やいば かいん だまはいな (彼は悪い奴だから彼にだまされるな)。

**やば** [japa] **〔形容詞〕** [B] (竹などが) 柔軟性がある; (人柄が) 穏やかな。**〔例〕** っぞうつー やば さうがま (魚釣り用の柔軟な竿)。からー つむかぎ やばびとう (彼は心の良い穏やかな人だ)。

**やばあみ** [japaami] **〔名詞〕** 細かい雨。**〔例〕** ゆびやー やーら あみがまぬどう っふゆーたい (昨晩は細かい雨が降っていた)。

**やびじ** [jabizi] **〔名詞〕** [A] 《地名》八重干瀬、池間の北方のリーフ、礁 (しょう)。

**やびとう** [jabitu] **〔名詞〕** [C] ままごと。**〔類〕** やびとうがま、やびとうがなが、やびとうがながー。

**やびとうがま** [jabitugama] **〔名詞〕** ままごと。**〔類〕** やびとう、やびとうがなが、やびとうがながー。

**やびとうがなが** [jabituganga] **〔名詞〕** ままごと。**〔類〕** やびとう、やびとうがま、やびとうがながー。

**やびとうがながー** [jabituganga:] **〔名詞〕** ままごと。**〔例〕** やびとうがながーひー あそーうー (ままごととして遊ぶ)。**〔類〕** やびとう、やびとうがま、やびとうがなが。

**やびとうんーな** [jabitun:na] **〔名詞〕** 皆さん、家族みんな。**〔例〕** やびとうんーなひー くぬ すかまうぎやー かなーでい (皆でこの仕事をがんばろう)。やびとうんーな がんじゆーやひー うらまいんな (みなさんお元気ですか)。みやーくずつんな すまぬ やびとうんーなひー ぶどうい (みやーくずつでは村をあげてみなで踊ります)。

**やふ** [jafu] **〔名詞〕** [A] 厄、厄年。**〔例〕** やふずぶんな うながどうーゆぎやー うながどうーひー わいていー みばからだかー ならん (厄年には自分で自分の体調をちゃんと管理しなければならない)。にんぎんぬ やふどうっさ ななじゆーにさんよ (人の厄年は72、3歳だよ)。

**やふいしや** [jabuiça] **〔名詞〕** 医師の資格なしで医療行為を行う人、もぐりの医者 (日本語の「やぶ医者」と異なり、医師免許は持っていない)。**〔例〕** かなまいぬ やみゆーば やふいしやぬ まいんかい いつたい (頭が痛いのでやぶ医者の所に行った)。

**やふず** [jafuzi] **〔名詞〕** [C] (家の中であちこち) 探し回ること; 出かける準備に時間がかかること。**〔例〕** っづあー ならうゆどう やふっじゃ ほうー (あなたは何を探し回っている)。やふずんまり (出かける準備に時間がかかる人)。

**やふどうす** [jafudusi] **〔名詞〕** 厄年。**〔類〕** やふばな。

**やふばな** [jafubana] **〔名詞〕** 厄年。**〔類〕** やふどうす。

**やふびとう** [jafubitu] **〔名詞〕** 厄の人; (厄と関係なく) 病気がちのひと。**〔類〕** がびやう。



**やま** [jama] 【名詞】[B] 《道具》 鋤 (すき)、畑を浅く耕すための農機具。【例】やまひー ずーゆ ひつ (鋤で畑を耕す)。

**やま** [jama] 【名詞】[B] 山。【例】みゃーくん な たかやまー にゃーん (宮古には高い山はない)。やまぬ はぎーていがー たうかー つつぬ ゆー、やまぬ あうんていがー ふあうぬ ゆー ぬんぬ ゆー (山が禿げたら、ひとりひとり突く世の中、山が青くなったら食べる世の中、飲む世の中だ [ >山が禿げたらお互い殺し合いの世、山が青くなったらちゃんと飲み食いできる豊かな世の中だ])。

**やまあす** [jamaasi] 【名詞】山のふもと。

**やまいん** [jamain] 【名詞】野良犬；不美人。

**やまがらかじゃ** [jamagarakaza] 【名詞】野生の生き物の臭い。【例】はうや やまがらかじゃぬどう あす (ヘビは野生の匂いがする)。

**やまぐ** [jamagu] 【名詞】[C] すぐ怒り出す人、短気な人。【例】からー やまぐ やいば かいんかいや なうちゃーにゃー むぬいな (あいつは短気なので気をつけてものを言え)。

**やまざる** [jamazaru] 【名詞】山猿；不美人；親しい人への呼びかけ語。【例】おい やまじやる っうあー んじゃんかいが (おい、山猿、お前はどこに行くのか)。[変異] やまじやる。

**やまじやる** [jamazaru] 【名詞】山猿；不美人；親しい人への呼びかけ語。 [変異] やまざる。

**やます** [jamasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (体の一部を)くじく、痛める。【例】はっじゅ やます (足をくじく)。

**やまずん** [jamazin] 【名詞】山積み。【例】ぶーっじゅ やまづん あす (サトウキビを山積みする)。

**やまだつ** [jamadatsi] 【名詞】下痢。【例】やまだっちゅ ふかす (下痢してもらす)。やら

びゃー やまだっちゅ ひどう ちびるんな っそうだりゃーひー まーりゅー (子供は下痢してお尻は糞がついて歩きまわっている)。ばー やまだっちゅひー くーかいばならん (私は下痢して苦しくてならない)。やらびあいぎゃ わーぬ あっづあー はーさ ふあーいー やまだっちゅ ほうーたい (子供の頃は豚の脂肉を食べ過ぎて下痢していた)。

**やまだん** [jamadan] 【名詞】ヤマダニ。【例】やまんな やまだんぬ うい (山にはヤマダニがいる)。

**やまとう** [jamatu] 【名詞】[B] 日本本土。【例】やまとうんかい いつ (日本本土に行く)。やまとうびとう (日本本土の人)

**やままゆ** [jamamaju] 【名詞】野良猫；不美人の形容；親しい人への呼びかけとしても使う。

**やらー** [jara:] 【助詞】コピュラ「やい」の提題形、「の中では」「としては」。[変異] やりゃー。[類] かりゃー。

**やらう** [jarau] 【名詞】[A] 《植》 テリハボク。

**やらうぎー** [jaraugi:] 【名詞】《植》 テリハボク。【例】やらうぎーぬ ない (てりはぼくの実) [類] やらうだにぎー。

**やらうだに** [jaraudani] 【名詞】《植》 テリハボクの実。

**やらうだにぎー** [jaraudanigi:] 【名詞】《植》 テリハボク。 [類] やらうぎー。

**やらし** [jaraçi] 【感動詞】けんかや勝負をけしかけるときの呼びかけ語、頑張れ。【例】やらし、 わいていー あっそう (さあ行け 頑張れ)。

**やらばん** [jaraban] 【助詞】《接続助詞》(名詞について) 譲歩を表す、～でも、～であろうが。【例】なうやらばん ばー うつなーんかい いかでい (どうしても私は沖縄に行く)。ういびとうやらばん、ばかむぬやらばん、やらびやらば

ん、すまぬ うんどーかいんな んなない い  
でいだかー ならん（老人でも、若者でも、子  
供でも、村の運動会には出なければならぬ）。

**やらばんまい** [jarabammai] 【助詞】『接続助  
詞』（名詞について）譲歩を表す、～でも、～であ  
ろうが。

**やらん** [jaran] 【助詞】『接続助詞』（名詞につい  
て）譲歩を表す、～でも、～であろうが。

**やらんまい** [jarammai] 【助詞】『接続助詞』  
（名詞について）譲歩を表す、～でも、～であらう  
が。

**やらび** [jarabi] 【名詞】[C] 子供。【例】やら  
び あいきゃ（子供の頃）。やらびっじやんまり  
（子供っばい奴）。やらびんみゃー かまんきー  
あそび（子供たちはあっちに行って遊べ）。  
やらびつかいや どう一つかい（能力のない者  
を使うと責任は自分自身に回ってくる）。

**やらびなー** [jarabina:] 【名詞】幼名 [かつ  
ては戸籍に登録した名前以外に村独特の幼名が  
あった]。【例】ばが やらびなーや まさい、  
がっこーぬ なーや ひろゆき（私の幼名はマ  
サイで、戸籍上の名は博之です）。

**やり** [jari] ①【形容詞】[B]（ものが）使い古さ  
れた；（ものや動物、人が）ダメな、使い物に  
ならない [接頭辞的に使うことが多い]。【例】  
やりぐるま（おんぼろ車）。やりさなず（古いふ  
んどし）。やりやーゆ っちゆす（古い家を壊  
す）。やり づんぬ つくきー つー（古い着  
物を（何枚も）重ねて着ける）。くぬ つんな  
やりふ なりー んめ っちやいん（この服  
は古くなってもう着られない）。②【名詞】[B]  
使い古したもの；ダメな、使い物にならない動  
物や人。【例】うらー やり やいば うるーぎ  
ゃー つかーだうり（これは使い物にならない  
のでこれは使うな）。くじゆ っづあから か  
うたい ぬーまー やり あたい（去年おまえ  
から買った馬は使い物にならなかった）。

**やりがい** [jarigai] 【形容詞】（ものが）使い古  
された；（ものや動物、人が）ダメな、使い物に  
ならない。【例】うぬ つんな やりがいむぬ  
（この着物は古いものだ）。

**やりがい** [jarigai] 【名詞】使い古されたもの；  
ダメなものや動物、人、使い物にならないもの  
や動物、人。【例】うぬ つんな やりがいむ  
ぬ（この着物は古いものだ）。

**やりがに** [jarigani] 【名詞】スクラップ（鉄、  
真鍮等の廃品）。【例】やりがにやー（廃品回  
収業者）。

**やりずん** [jarizin] 【名詞】古い着物。【例】ふ  
ゆんな やりずんぬ つくきー つーまい あ  
す かうーまい あすたい（冬には古い着物を  
重ねて着たり、（夜寝るときに布団がわり）か  
けたりもした）。

**やりっしゅーつ** [jaricçutsi] 【動詞】[k 語  
幹]（動作やものを）そのまま放置しておく。  
【例】なつっじゃ やらびゆーぎゃー やりっし  
ゅーき（泣き虫はそのまま泣かして置け）。う  
まぬ あふたうぎゃー やりっしゅーき（そこ  
のごみはそのままほうっておけ）。れいぞーこ  
んかい いりだ やりっしゅーていがー っぞ  
うー っさりーにやーん（冷蔵庫に入れずにほ  
っといたら魚は腐ってしまった）。

**やりやー** [jarja:] 【助詞】コピュラ「あい」の  
変異形「やい」の提題形、「の中では」「として  
は」。【例】んすむらぬ ひとつやりやー う  
とうなす（西原の人の中ではおとなしい）。[変  
異] やらー。[類] かりやー。

**やん** [jan] 【動詞】[m 語幹] [C]（体の部位が）  
痛む；病気だ。【例】んじゃぬどう やみゆ  
ー（どこが痛い）。かなまいぬどう やみゆ  
ー（頭が痛い）。からー ばたぬどう やみゆ  
ーが おーかん（彼は胃腸がわるいらしい）。

**やん** [jan] 【名詞】[C] 病気；痛いこと。【例】  
やんびとう（病人）いしゃー やんぬ ゆふな

す（医者は病気を治す）。かなまいぬ やん（頭の病 [「頭が痛い」という意味にもなる]）。すんやん（命にかかわる病気）

**やん** [jan] 【形容詞】 [C] 痛い。【例】とうっさとういどう くすまい やんかいば ならん（年取って腰も痛くてならない）。いちゃ ふが

さー いでいー やんかいば ならん（痛いおできが出て痛くてならない）。

**やんふい** [janfui] 【名詞】 仮病；病気をしているふりをする人。

**やんふや** [janfuja] 【名詞】 病気をしているふりをする人。

# ゆ

**ゆ** [ju:] 【助詞】《格助詞》目的格助詞「う」の変異形、「を」：長母音、二重母音、uで終わる名詞の後に付く。【例】はうゆ かつん（蛇をつかまえる）。みーゆ っさがい（目を閉じる）。[変異] う。[類] や。

**ゆー** [ju:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A]（縄を）結（ゆ）う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]；（髪を）結上げる。【例】まーたう ゆー（魔除けの輪を作る）ん<sup>°</sup>なう ゆー（綱をねじってよる）。うぶん<sup>°</sup>なう ゆっぐいー ちゅっふ（錨の綱をよって作る）。かなーいや みどうんまい びきどうんまい からっじゅぎゃー ゆっぐいどう うたい（昔は女性も男性も髪を結っていた）。きゅーや ぶどういぬ あいば からっじゃ ゆっぐいーから いかでい（今日は踊りがあるので髪を結い上げてから行こう）。ぶーいとうー っそうかいば ばぬんな ゆっぐあいん（この苧麻糸は細いので私にはよって糸にできない [苧麻の繊維は2本をよって糸にする]）。[類] ゆい、ゆーい、ゆっぐい。

**ゆー** [ju:] 【名詞】[B] 世、世の中、時代、時世。【例】なうい ゆー（豊かな世）。いっさゆー（戦の世）。

**ゆー** [ju:] 【名詞】[B] 裕福、幸運、豊穰。【例】ゆーあい ひとつ（幸運の人）。ゆーむつ ひとつ（幸運に恵まれた人）。

**ゆー** [ju:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 吸う、しゃぶる；吸い取る。【例】うなが ほうーゆびゆー ゆー やらび（自分の親指をしゃぶる子供）。

**ゆー** [ju:] 【名詞】[B] お粥。【例】ゆーゆ ふあう（おかゆを食べる [「人の成功を祝う」と言う意味でも使う]）

**ゆー** [ju:] 【名詞】[B] 晩、夜。【例】きゅーがゆー（今晚）。[「きゅーぬ ゆー」とも言う。]つつぬ ゆー（月の夜）。

**ゆー** [ju:] 【形容詞】[B]（体が）弱い、（勝負などに）弱い。【例】からー がびゃうかいば どうーぬ ゆーかい（あいつは病気がちで体が弱い）。かりゃー すまう とうらばんまい なうゆ ほうばんまい むいとう ゆーむぬ（彼は相撲をとっても何をしてもとても弱い）。ほうゆー（勝負にとっても弱い）。

**ゆー** [ju:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 恐がる。[変異] うー。

**ゆーい** [ju:i] 【動詞】[母音語幹] [A]（縄を）結（ゆ）う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]；（髪を）結上げる。[類] ゆい、ゆー、ゆっぐい。

**ゆーい** [ju:i] 【動詞】[r/r 語幹] [A]（人や動物が）弱る、衰える；（食用動物や魚などが）腐って食べられなくなる。【例】ういびとう ないていがー はっじゃ ゆーりー だーゆ つかだかー ぶらかいーがまた（年取ったら足が弱って杖を突かないとひっくり返る）。ういびとう なりどう はずまい くすまい ゆーりゆー（年取って足も腰も弱っている）。とうす とういがなか ゆーりーはい（年を取るに

つれて弱っていく)。っぞうー ゆーりーどう  
(この魚は腐っている)。

**ゆーい** [ju:i] 【名詞】[A] 《祭礼》お祝い；1月  
15日の後生（ぐそう）の正月 [家族や親族  
が集まって家族や子孫の健康・発展を祈願する。  
西原では15日に行われ、平良では16日に行  
われる。これは昔平良の役人たちの家族に供す  
るために魚を取ってくるために1日前にやった  
ことによる]。【例】ささぎゆーい（結婚祝）。  
やーふつゆーい（新築祝）。やーぬ ゆーい（新  
築祝い、改築祝いなどを含む家の祝い）。つぶ  
あぬ ゆーい（出産祝い）。んまがぬ ゆーい  
（孫の出産祝い）。ゆーいぬ うさいや んなな  
い んまがたが うながたまたま っていつ  
むっちゃひー はりーにやーん（お祝いの料理  
はみんな孫がそれぞれひとつずつ持たされて帰  
った）。

**ゆーいでいん** [ju:idin] 【名詞】お祝いとして  
渡すお金、祝儀。【例】ゆーいでいんぬ さ  
んぜんえん とうらすたい（祝儀を3千円渡し  
た）。

**ゆーか** [ju:ka] 【名詞】[C] 夜更かし。【例】き  
ゆーまい ゆーか（今日も夜更かしだ）。ゆび  
ゆーかー ひー ににゆーや かっらんに  
なりゆー（昨晚、夜更かをして、眠くてこっく  
りこっくりしている）。んぬが ゆーや ゆー  
か あすたい（昨晚は夜更かしした）。んぬー  
ゆーか あたい（昨晚は夜更かしだった）。

**ゆーか** [ju:ka] 【名詞】[A] 4日。【例】くま  
ぬ すかまー ゆーか かかいどうす（この仕  
事は4日かかる）。

**ゆーがー** [ju:ga:] 【形容詞】（体や精神が）弱  
い。【例】からー ゆーがー（彼は弱い）。ゆ  
ーがーずむびとう（気の弱い人）[類] ゆー。

**ゆーがーい** [ju:ga:i] 【名詞】時代が変わること、  
世がわり。【例】ゆーがーいや ひー み  
やーすふ なりーどうー（世がわりして生活は

楽になっている)。あめりかゆーから やまと  
うゆーんかい ゆーがーい（アメリカの世から  
日本の世に世変わり [アメリカ占領時代から日  
本に返還されたこと]）。

**ゆーかーま** [ju:ka:ma] 【名詞】遠いところ。  
【例】ゆーかーまぬ いん（遠くの海）。うじゃ  
ーぬ ゆーかーまから んみやいーふいーさま  
い やぐみ すでいがほー（はるか遠方からい  
らしてくださって大変感謝いたします）。

**ゆーかない** [ju:kanai] 【名詞】3日前 [文  
字通りには4日前。数えて数えるので4日前は  
3日前になる。]。

**ゆーくい** [ju:kui] 【名詞】《祭礼》ななむい（7  
杜）の女性たちの神様への裕福の祈願、無病息  
災、五穀豊穡の祈願 [「ユークイ」と「ミヤ  
ークズツ」は西原の二大祭事]。【例】ゆーくい  
んな ぱーたー よーんてい い あいつち  
やーん すまう あいきーまーい（ユークイに  
はおばあさん達は世を豊かにして下さいと言  
いながら集落を歩き回る）。

**ゆーぐむい** [ju:gumui] 【名詞】《祭礼》夜籠  
り。【例】うたきんぬ ゆーぐむいぬ かんに  
がい（御嶽の夜籠りの祈願）。うたきん ゆぐむ  
いあす（御嶽で夜籠りする）[変異] ゆぐむい。

**ゆーさ** [ju:sa] 【名詞】[C] 《鳥》鷺（サギ）。  
【例】ながぬどう ゆーさ（首の長い鷺）[首が  
長い人のあだ名としても使われる]。

**ゆーず** [ju:zi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [C] 茹でる。  
【例】わーゆ ゆーでい（豚肉を茹でなさい）。  
[変異] ゆーっず。[類] ゆーでい。

**ゆーだみにがい** [ju:daminigai] 【名詞】《祭  
礼》世鎮めの祈願。

**ゆーつ** [ju:tsi] 【名詞】[A] 《数詞》四つ。

**ゆーっず** [ju:zzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] 茹でる。  
[変異] ゆーず。

**ゆーてい** [ju:tei] 【名詞】[A] 《数詞》四年。

**ゆーでい** [ju:di] 【動詞】〔母音語幹〕〔C〕茹でる。【例】わーゆ ゆーでいる（豚肉を茹でなさい）。【類】ゆーず。

**ゆーていあとう** [ju:tiatu] 【名詞】3年後 [文字通りには4年あとであるが、数えて数えるので3年あとになる]。

**ゆーていない** [ju:tinai] 【名詞】3年前 [文字通りには4年前であるが、数えて数えるので3年前になる。]

**ゆーなぎー** [junagi:] 【名詞】〔植〕オオハマボウ アオイ科の常緑高木。【例】ゆーなぎーぬ はーひー まいぬいゆ ーない（オオハマボウの葉でおにぎりをにぎる）。【類】ゆなぎー。

**ゆーふらがん** [ju:furagan] 【名詞】〔生物〕ソデカラッポガニ。【例】ゆーふらがんな うぬ ふあう どうくままい にやーん（ソデカラッポガニには何の食べるところもない）。

**ゆーらす** [ju:راس] 【動詞】〔s/h 語幹〕（縛ったものなどを）緩める。【例】うぬ なーゆ ひーちやがま ゆーらし（この縄を少しだけ緩めろ）。

**ゆーんてい** [ju:ntiru] 【成句】〔祭礼〕「裕福を満たせ」という意味の祈願の言葉。【例】ゆーくいんな ななむいぬ ぱーたー うきやんひー かなまいや うそういどう ゆーんてい ゆーんていいていー ななむいや まーりー かな にがいーうたい（ユークイにはナナムイのおばあさんたちは、つる草で頭を覆って、世を裕福で満たせ、裕福で満たせとナナムイを回って祈願していた）。【変異】よーんてい。

**ゆい** [ju:] ① 【動詞】〔r/rr 語幹〕〔A〕（風などで）揺れる；揺らす；（篩（ふるい）などに）かけてより分ける。【例】かでいふつんな きーぬ ゆりゆー（台風で木が揺れている）。ぶらんこー ゆい（ブランコを揺らす）。しーなうひー

みりくんぐーゆ ゆい（ふるいでメリケン粉をよりわけろ）。② 【動詞】〔r/rr 語幹〕〔A〕揺り動かす [赤ちゃんの名前を付けるために、まず最初にお盆に神様、先祖神の名前を書いた紙を小さく丸めて乗せて、お盆を揺り動かす。3回連続して落ちたものがその子の名前となる]。【例】つふあぬ なーゆ ゆい（赤ちゃんの名前の候補を揺り動かす）。

**ゆい** [ju:] 【動詞】〔r/rr 語幹〕〔A〕（場所に）たち寄る；（船などが）流れ着く、（魚の群れが）おしよせる。【例】むとうやーんかい ゆい（実家に寄る）。ゆーかーまから やりふにぬどう ゆりっちゆー（遠くからぼろ船が漂着した）。むっるぬどう まじゃんかい ゆりーっちゆーい（ムロアジが真謝におし寄せてきている）。

**ゆい** [ju:] 【動詞】〔母音語幹〕〔A〕（縄を）結（ゆ）う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]；（髪を）結上げる。【例】からっじゆ ゆいー（髪を結上げる）。【類】ゆー、ゆっぐい、ゆーい。

**ゆい** [ju:] 【名詞】〔A〕（農作業などを）お互いに助け合うこと。【例】きゆーや かにたが ぶーずたうすぬ ゆいんかい いかだかー ならん（今日はカニのうちのサトウキビの収穫の手伝いに行かないといけない）。【類】ゆいまーる。

**ゆい** [ju:] 【名詞】〔C〕夕食。【例】ゆいゆ ふあう（夕食を食べる）。ゆいが そうー（夕食のおかず）[「ゆいぬ そうー」とも言う]。ゆいや ふあいから にっぐい（夕食食べてから眠る）。ゆいぬ そうがいゆ ほうだかー ならん（夕食の支度をしないといけない）。

**ゆい** [ju:] 【名詞】〔B〕（年齢の）間隔、間。【例】うぬきやー ふた一つが ゆいや ひぬ きやうだいどう あたい（彼らは2歳ちがいのきょうだいだった）。

**ゆいまーる** [juima:ru] 【名詞】相互扶助。【例】きゆーや やーふつ すきなふぬ ゆいまーる（今日は家づくりの相互扶助だ）。【類】ゆい。

**ゆいまい ひーまい** [juimai hi:mai] 【成句】昼も夜も。【例】ゆいまい ひーまい みどうんぬ くとうー うむー（昼も夜も妻のことを思う）。

**ゆか** [juka] 【名詞】[B] 床。【例】んきゃーんな まつぎーひーどう やーぬ ゆかう ちゅっふゆーたい（昔は松の木で家の床を作っていた）。なかゆか（食事をする部屋）。

**ゆが** [juga] 【形容詞】[A]（釘や腰など）曲がった；（心が）曲がった。【例】ゆがかにふっじゅ すんばし（曲がった釘をのばせ）。ゆがんつ（曲がりくねった道）。ゆながい びじゅーていがー くっさ ゆがふなりー にゅーぐりむぬ（ながく座っていると腰が曲がって眠りにくい）。ゆがうむくとう（悪知恵）。ゆががなまい（常識に外れたことを言う人）。

**ゆかい** [jukai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（精神的に）豊かになる、金持ちになる。【例】んまがー だいがくんかい ごーかくー ひー ゆかりーにゃーん（孫が大学に合格してうれしい）。でいんぬ はーさ まうきー ゆからでい（お金をたくさんもうけて裕福になろう）。ばんちゃー ゆかりー ふあいゆー（私たちはゆたかに生活している）。

**ゆかい ういびとう** [jukai uibitu] 【成句】それなりに年を取っている人。【例】かいまいんぬ ゆかい ういびとう なりーどう（彼もそれなりに年を取っている）。

**ゆがいな** [jugaina] 【形容詞】面白い、愉快な、滑稽な、剽軽（ひょうきん）な。【例】かりゃー ゆがいなびとう（彼は面白い人だ）。かにゃー ゆがいながま（カニは滑稽な人だ）。ゆがいなんまり（面白い奴）。ゆがいな はなす（面白い話）。

**ゆかいびとう** [jukaibitu] 【名詞】金持ち；身分の高い人、えらい人。【例】くぬ すまん

んながーんな ゆかいびとうー たる（この村で一番裕福な人は誰ですか）。【類】ゆかいむぬ。

**ゆかいむぬ** [jukaimunu] 【名詞】金持ち；身分の高い人、えらい人。【類】ゆかいびとう。

**ゆがうむくとう** [jugaumukutu] 【名詞】悪知恵、よこしまな考え。【例】ゆがうむくとうむちや ならん（悪い考えを持ってはいけない）。

**ゆががなまい** [jugaganamai] 【名詞】頭の格好が悪い人；ずるい奴、バカな奴、バカなことを言う（考える）人、へそ曲がり、話の的を射ていない人。【例】ばー かぬ ゆががなまいん ずみく だまくらはいーにゃーん（私はあのバカな奴に見事に騙されてしまったた）。かりゃー ゆががなまい えいば ひとつぬ むぬいゆぎゃー つかん（彼はへそ曲がりなので人の言う事を聞かない）。【類】ゆががなまりや。

**ゆががなまりや** [jugaganamarja] 【名詞】頭の格好が悪い人；ずるい奴、バカな奴、バカなことを言う（考える）人、へそ曲がり、話の的を射ていない人。【例】かりゃー ひとつぬ はなっそうぎゃー つかん ゆががなまりや（彼は人の話に耳を傾けない協調性にない人だ）。【類】ゆががなまい。

**ゆかす** [jukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] だます。【例】あいや ひとつーぎゃー ゆかはだうり（そんなに人をだますな）。【変異】ゆくす。

**ゆがずー** [jugazi:] 【名詞】理屈っぽいこと。【例】ゆがずーびとう（理屈っぽい人）。

**ゆがたい** [jugatai] 【名詞】世間話、おしゃべり。【例】みどうんみぬ ゆがたいゆ すきやきていがー んめ ゆさらびたーひー なまらん（女性たちがおしゃべりを始めるともう夕方まで止まらない）。ういびとうんみぬ ゆがたい（年寄りたちの世間話）。ゆがたい あぐ（お喋り友達）。かなすぎないやひー ゆがたいがま あす（愛おしそうにお喋りする）。

**ゆかどう** [jukadu] 【名詞】[A] 四つ角；十字路。【例】やーぬ ゆかどうんかい まーそうー はうい（家の四つの角に（魔除けの）塩をまく）。やーぬ ゆかどうんな かんぬどううい（家の4つの角には神がいる）。ゆかどうーぎゃー まさぐん あいき（十字路は気を付けて歩け）。[類] ゆまた。

**ゆがはず** [jugahazi] 【名詞】がに股。【例】ぬーまん ぬーいていがー ゆがはずんどう ないちゃ（馬に乗るとがに股になるそうだ）。

**ゆがばらい** [jugabarai] 【名詞】（相手を）馬鹿にして笑うこと。

**ゆがほうー** [jugahu:] 【名詞】豊年、豊作。【例】くとうっさ ゆがほうー やーにやー がんじゅー（今年は豊作、来年は健康）。

**ゆがほうーあみ** [jugahu:ami] 【名詞】恵みの雨。

**ゆがまーい** [jugama:i] 【動詞】[r/rr 語幹] これといった目的なく歩き回る。【例】つづあーん じゃんかい いきどう ゆがまーい ったいが（あなたはどこをほつつき歩いてきたの）。

**ゆかりや** [jukarja] 【名詞】[C] 豊かな人、幸せ者。【例】かいがどう んながーんな ゆかりや（彼が一番金持ちだ）。

**ゆがん** [jugan] ①【動詞】[m 語幹] [A]（釘、体が）曲がる、（戸などが）歪む、（考えなどが）歪む。【例】くぬ かにふっじゃ ゆがみーどーうー（この釘は曲がっている）。くすぬ ゆがん（腰が曲がる）。くぬ やどーうー ゆがみゆーば まうとーうん なうし（この戸は歪んでるからまっすぐに直せ）。②【名詞】[B] 身体の歪み；心の歪み、間違い。【例】くすぬ ゆがんぬ なうし（腰のゆがみを直しなさい） やらびゆーぎゃー かんがなすぬ みゆーぶき ゆがんでいや にやーだ すぐらひー ふいーさまてい（子供たちが神様のおかげを持って間違いを起こすことなく立派になれ [祈願の文句]）。

**ゆぎゃー** [jugja:] 【助詞】（格助詞＋提題）「うぎゃー」の変異形、目的格形に提題を付けた形、「をば」に当たる。【例】うぬ まかいゆぎゃー まながんでいー ゆすぎ（このお椀をちゃんとゆすぎ）。ゆそうみーゆぎゃー ほうだうり（よそ見をするな）。くまぬ だいゆぎゃー かまんかい ゆっじゃし（ここのテーブルを向こうに寄せろ）。やーぬ んつきんな まんじゅーゆぎゃー いびん（家の軒下にはパパイヤの木は植えない）。[変異] うぎゃー。

**ゆく** [juku] 【名詞】[C] 欲。【例】ゆくじゅー（欲深い）。ゆくじゅーんまり（欲深い奴）。ゆくじゅーびとーう（食欲な人）。うなが ゆくんふあーいー うどうきー はりーにやーん（自分自身の欲に負けて損をした）。

**ゆくー** [juku:] 【動詞】[w 語幹] [C] 憩う、休む。【例】じょー ゆくーでい（さあ 休もう）。うや、ゆくーまてい（おじいさん、おやすみなさい）。[類] ゆくい。

**ゆくい** [jukui] ①【動詞】[母音語幹] [C] 休む。【例】じょー ゆくい（さあ休もう）。うまん ゆくいる（そこで休みなさい）。[類] ゆくー。②【名詞】[C] 休憩。【例】さんじゆくい（三時の休憩）。くまん ひーまゆくい ほうでい（ここで昼休みをしよう/ここで昼ごはん食べよう）。

**ゆくし** [jukuçi] 【名詞】[C] 嘘、でたらめ。[変異] ゆくす。

**ゆくす** [jukusi] 【名詞】[C] 嘘、でたらめ。【例】まーぬ ゆくす むぬいゆぎゃー あすな（あんまりでたらめを言うな）。ういが はなっさ ゆくすむぬいどう はーさかい（彼の話は嘘の話が多い）。[変異] ゆくし。

**ゆくす** [jukusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] だます。[変異] ゆかす。

**ゆくたーい** [jukutai:] 【動詞】[r 語幹]（疲れて）横になる、横たわる。【例】すかまー だ



りってい ゆくたーりゆー（仕事で疲れてきて横になっている）。まうきやーいんな さんしんばなりぬどう ゆくたーりゆー（大浦湾にはサンシンバナリが横たわってる）。

**ゆくぬどう** [jukunudu] 【名詞】気管支。【例】むぬーどう ゆくぬどうんかい かからひーにやーん（食べ物を気管支に入れてしまった）。

**ゆくむい** [jugumui] 【名詞】『祭礼』夜籠り。  
[変異] ゆーぐむい。

**ゆくん** [jukun] 【動詞】[m 語幹] [A] いきむ、力を入れる。【例】まばい っふあー んなまいでいーくーっじゃうば わいていー んくみ（マパイ、子供は今産道から出て来ようとしているからしっかりと力め）。[類] んくん。

**ゆさらび** [juserabi] 【名詞】夕方。【例】ゆさらび なりどう やらびやー ふがますふ なりゆー（夕方になって子供がうるさくなっている）。ゆさらび ないていがー やらびやー んまうどう とうみー（夕暮れになると子供は母親を探す）。

**ゆさらびがた** [juserabigata] 【名詞】夕方ごろ。

**ゆす** [jusi] 【形容詞】[B]（農地が）肥えた、豊かな、肥沃な。【例】くぬ はいや ゆすばい（この畑は土地が肥えている）。ゆすかいずーどう むぬー でいきー（肥沃な土地に作物ができる）。

**ゆずー** [juzi:] 【名詞】[C] 夜釣り。【例】ゆずーんかい いつ（夜釣りに行く）。

**ゆすず** [jusizi] 【動詞】[g 語幹] [A]（食器などを）ゆすぐ、すすぐ；（口を）すすぐ、うがいする。【例】うぬ まかいゆぎやー まながんていー ゆすぎ（このお椀をちゃんとゆすげ）。むぬー ふあいぬ あとうんな ふっちゆ ゆすず（食後は口をすすぐ）。つんぬ ゆすず（着物を濯ぐ）。

**ゆすばい** [jusibai] 【名詞】寝小便。【例】ゆすばいや っしー んまん んみかいにやーん（寝小便をしてお母さんに叱られた）。やらびやー きゆーまい また ゆすばい（子供は今日も又寝小便だ）。

**ゆすばいふかしや** [jusibaifukaça] 【名詞】寝小便をする人。【例】くぬ ゆすばいふかしや、きゆーまい また ゆすばい（この寝小便たれ、今日もまた寝小便か）。

**ゆそう** [jusu] 【名詞】[C]（本来あるところとは）別のところ、よそ。【例】いつまい ゆそうんかいや いかだどう やーん うい（いつも外出しないで家にいる）。ゆそうみーゆぎやー ほうだうり（よそ見をするな）。

**ゆそうずま** [jusuzima] 【名詞】他の集落。  
【例】ばぬんな ゆそうずまむぬいや つかいん（私にはよその村の言葉は聞き取れない）。

**ゆそうでいー** [jusudi:] 【名詞】利き手でないほうの手。【例】ちゆーしゃうぎやー ゆそうでいーん うつばどう じゃうかい（注射は利き手でない方に打つのがいい）。

**ゆだ** [juda] 【名詞】[B] 枝。【例】かでいふつん きーぬ ゆだー ぶりーにやーん（台風で木の枝が折れた）。ゆだなゆり なりゆー まみよー（枝にたわわに実っている豆よ〔古謡「豆が花」から）。

**ゆたーい** [jutai:] 【名詞】『数詞』四人。

**ゆだい** [judai] 【名詞】[B] よだれ。【例】ゆだいや たらす（よだれを垂らす）。くぬ ゆだら、つうあが ゆだいや ふき（このよだれたらし、お前のよだれをふけ）。

**ゆだたかーい** [judatakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 木に枝が密集していること。[変異] ゆだだかい。

**ゆだだかい** [judadakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 木に枝が密集していること。【例】ふにゆーぎー

や ゆだーたかりーどうー (ミカンの木は枝が集っている)。**[変異]** ゆだたかーい。

**ゆたみつ** [jutamitsi] 【動詞】 [k 語幹] ふらつく。【例】 ゆたみきー あいつ (よたよたと歩く)。

**ゆたゆたていー** [jutajutati:] 【オノマトペ】 よたよたと。【例】 びゅーい びとうー ゆたゆたていー あいきー まーりゅー (酔っぱらいはよたよたと歩き回っている)。

**ゆだら** [judara] 【名詞】 [C] よだれを垂らしている人。【例】 ほうりゆだら (馬鹿な奴)。

**ゆちり** [jutçiri] 【名詞】 [C] 役にたつこと、使い道。【例】 うりゃー ゆちりゃー にゃーんば ていっぐい すている (それは役に立たないので捨てる)。うりゃー なうぬ ゆちりゃー あいどうすな (それは何の役に立つのか)。つうあー すかまー ひらいん ゆちりゃーにゃーんまり (お前は仕事のできないどうしようもない奴だ)。**[変異]** よちり。

**ゆつ** [jutsi] 【名詞】 [B] 斧。【例】 ゆつひーきーゆ なく (斧で木をたたき切る)。

**ゆつづい** [juvvi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (縄を) 結 (ゆ) う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]; (髪を) 結上げる。【類】 ゆい、ゆー、ゆーい。

**ゆっじゃす** [juzzasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (別の位置に) 移動させる、寄せる。【例】 くまぬだいゆぎゃー かまんかい ゆっじゃし (このテーブルを向こうに寄せる)。

**ゆっず** [juzzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] ある地点に近づく; ある地点から離れて別の地点に近づく。【例】 ばが かまんかい ゆっじゃでい (私があっちに行きましょう)。ばが まいんかい ゆっでいー くー (私の近くに寄れ)。

**ゆったーづあす** [jutta:vasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 揺さぶる。【例】 きーゆ ゆったーづあす (木を揺り動かす)。

**ゆっだき** [juddaki] 【名詞】 四つ竹 [幅4センチ、長さ10センチ位の竹でできたカスタンネットのような打楽器。二枚で一組、これを両手に持ち (計四枚) 踊りに合わせて音を出す]。【例】 ゆっだきゅー ったきー ぶどうい (四竹を叩いて踊る)。

**ゆっでい** [juddi] 【動詞】 [母音語幹] [A] ある地点に近づく; ある地点から離れて別の地点に近づく。【例】 くまんかい ゆっでいー くー (ここに近づいて来い)。かまんかい ゆっでい (あっちに寄れ)。

**ゆどうます** [judumasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 淀ませる; (人、車などを) ある場所にとどませる; ものを炊くときに弱火にしておく、また、火を止めておいて一定時間おいて、味をしみさせたり、さましたりする。【例】 ころな ういるっそうぎゃー やーぬ なかんな ゆどうまはだ あらんかい ながすぼどう じゃうかい (コロナウイルスは部屋の中にとどめずに外に流すのがいい)。うぬきやが ふたーいゆぎゃー うまん ゆどうまほうーき (彼ら二人をそこにとどめておけ)。んーなびゅー ゆどうます (芋鍋を (味をしみさせるため) 弱火にしておく)。やきぬ ふたきなぬ ていんぷらー あつかいば ひーちやがま ゆどうまひーから ふあい (揚げたばかりの沖縄風ドーナツは熱いのですこしさましてから食べなさい)。

**ゆどうん** [judun] ① 【動詞】 [m 語幹] [A] (水などが) 淀む、(人、車などが) 一か所にとどまる。【例】 みっじゃ ゆどうみーどうーい (水は淀んでいる)。かでいふっちゃ ゆぬとうく まんどう ゆどうみゅーがおーかん (台風は同じ所に居座っているようだ)。② 【名詞】 [B] よどみ、止まること。【例】 っぞうー みずぬ ゆどうんどう うい (魚は水のよどみにいる)。

なうぬ ゆどうんていーまい にやーだ、 かかいていーまい にやーだ かなーすみー ふいーさまてい ((子供たちが) 何の淀みもなく、障害もなく、頑張らせてくださいませ [> (子供たちが) 立ち止まることもなく、障害にもまげず、がんばるようお導きください。] [祈願の文句])。]

**ゆなうす** [junausi] 【名詞】世直し。【例】とうゆみゃー ゆなうす あす (豊見親は世直しする [>指導者はいいい世の中を作る (べきだ)])。]

**ゆなか** [junaka] 【名詞】[B] 夜中。【例】んきゃーんな ゆなかん うきゅー ひとつーまーぬ みーっだん (昔は夜中に起きている人はあまりいなかった)。

**ゆながい** [junagai] 【名詞】長い期間；長い間 [副詞としても使われる]。【例】ゆながいぬ ゆくい (長い間の休み)。きたてい ゆながい (とても長い間)。ゆながい まちゅーそうがかりゃー いつがみまい くーん (長い間まっているが彼はいつまでも来ない)。やらびゃー ゆながい とうみたいそうがどう とうみらいっだん (子供を長時間探したが見つからなかった)。ばー かりゅーぎゃー ゆながい みーや みーっだん (私は彼を長い間見たことなかった)。

**ゆなかばい** [junakabai] 【名詞】畑仕事で帰りが遅くなること、仕事で帰りが遅いこと、帰りが遅くなること。【例】きゅーや ゆなかばい (今日は帰りが遅くなる)。んまー きゅーまい ゆなかばい (お母さんは今日も仕事で帰りが遅い)。

**ゆなぎー** [junagi:] 【名詞】《植》オオハマボウ アオイ科の常緑高木。【例】んきゃーんな ゆなぎーぬ はーひどう まいぬいゆ んなりゅーたい (昔はオオハマボウの葉っぱでおにぎりを握っていた [炊き立てのご飯は熱いのでオオハマボウの葉にご飯を載せて包んで握った])。 [類] ゆーなぎー。

**ゆなつ** [junatsi] 【名詞】[C] 夜泣き。【例】ゆなつ あす やらび (夜泣きする子供)。

**ゆに** [juni] 【名詞】[B] 粟。【例】あーぬ くとうーどう ゆにていーまい あい (粟のことをユニとも言う)。 [類] あー。

**ゆぬ** [junu] 【形容詞】[B] 同じ、同じだ；似ている。【例】ゆぬ ぶーりゃ (同じ年ごろ)。ゆぬ とうす (同じ年齢)。ゆぬ たうかーちやう やいていがー みどうんつづあどう じやうかい (同じひとりだったら女の子の方が良い)。ゆぬ だい (同じ値段)。ゆぬ ほうりむぬ (同じようなバカ)。ゆぬ すま (同郷)。ゆぬ ひとつっでい (同じ干支の人)。ゆぬ たらき (同じ家系)。ゆぬ うむい (同じ思い)。ゆぬ ほうい (同じ大きさ)。ゆぬ たかさ (同じ高さ)。ゆぬ どうきゃ (同じ時間)。ゆぬ たき (同程度)。ゆぬ たま (同じ分け前)。ういとう くいとうー ゆぬ (それとこれとは同じだ)。くいとう ゆぬかい むぬー いだし (これと同じものを出せ)。ういがどう くいとう んながーんな ゆぬかい (それがこれと一番似ている)。

**ゆぬーい** [junu:i] 【名詞】一年の同じ時期、一周年、一周忌、満一年、一年後の同じ季節・時期・折。【例】くつすまい まみまつ ゆぬーいぬどう っちゅー (今年も豆を蒔く季節がきた)。 [変異] ゆぬい。

**ゆぬい** [junui] 【名詞】[C] 一年の同じ時期、一周年、一周忌、満一年、一年後の同じ季節・時期・折。 [変異] ゆぬーい。

**ゆぬす** [junusi] 【名詞】[C] 神様の名前。人名にも使われる。【例】ゆぬっさ あばらぎ (ユヌスはきれいだ)。

**ゆぬそうい** [junusui] ① 【名詞】似ているもの、同じもの。【例】ふたかー ゆぬそうい (双子は似ている)。うぬきゃが ふたーっちゃ ゆぬそうい (この二つは似ている)。つづあまい ばんとう ゆぬそういゆ いらび (君も僕と

同じものを選び)。[類] ゆぬむぬ。◎【形容詞】似ている、同じ。【例】ういがどう かいとう ゆぬそういかい (それがあれと同じだ)。

**ゆぬむぬ** [junumunu] 【名詞】同じもの、同じだ；(「動詞未然形・+(ば) んまい ゆぬむぬ」の形で)～てもいい。【例】ういとう くいとうー ゆぬむぬ (それとこれとは同じだ)。まさいが みがん ふいーやー むぬ かにが むぬとう ゆぬむぬ あたい (マサイがミガにやったものはカニが持っているものと同じだった)。つづあが ほうすかいていがー ふいーんまい ゆぬむぬ (君が欲しいなら上げてもいいよ)。ばんまい つづあとう ひとうみ いかばんまい ゆぬむぬ (私も君と一緒にいってもいいよ)。

**ゆぬりや** [junurja] 【名詞】[C] (作物を植える) 折、時節、季節。【例】ゆぬりや なりーどうーば ぶーずまい いびだかーならん (時節になっているからサトウキビも植え付けられない)。[類] ゆぬい。

**ゆばい** [jubai] 【名詞】[B] 夜這い。【例】ほりむぬー ゆばいほうっじゃ いきー かつみらいーにやーん (馬鹿者は夜這いしようとして捕まった)。

**ゆび** [jubi] 【名詞】[C] 昨晚。【例】ばー ゆびの くとうーぎやー うぶいや うらん (私は昨晚のことは覚えていない)。ゆびやー ゆながいたーひー うきゆーたいば くにゆーや ひーどうー (昨晚は長いこと起きていたので居眠りをしていた)。ゆびやー あみぬ つふゆーたい (昨夜は雨が降っていた)。

**ゆびだー** [jubida:] 【名詞】足が深くまでめり込む田んぼ。

**ゆぶそう** [jubusu] 【名詞】[C] つむじ。【例】かぬ やらびんな ゆぶそうぬどう みーつまい ゆーつまい ありゆー (あの子にはつむじが三つも四つもある)。

**ゆぶそうかでい** [jubusukadi] 【名詞】つむじ風。【例】うんどうじょーんな ゆぶすかでいがまぬどう ふきゆー (運動場にはつむじ風が吹いている)。ゆぶそう かでいぬどう ふきやぎやりゆー (つむじ風が舞い上がっている)。

**ゆふない** [jufunai] 【動詞】[r/rr 語幹] (病気などが) 良くなる [成績などが良くなる場合は、「じゃうふない」を使う]。【例】かなまいやんな ゆふなりーどう (頭痛は良くなっている)。

**ゆふなうらす** [jufunaurasi] 【動詞】[s/h 語幹] (病気などを) 直す、(機械などを) 修理する。【例】くるまー ゆふ なうらはい どうー (車は直った)。

**ゆふなし** [jufunaçi] 【動詞】[母音語幹] (病気などを) 直す、(機械などを) 修理する。[類] ゆふなす。

**ゆふなす** [jufunasi] 【動詞】[s 語幹] (病気などを) 直す、(機械などを) 修理する。【例】いしやー やんぬ ゆふなす (医者病気を治す)。くるまう ゆふなし (この車を修理しろ)。[類] ゆふなし。

**ゆまた** [jumata] 【名詞】[B] 十字路。【例】ゆまたうぎやー まさぐん あいき (十字路は気を付けて歩け)。[類] ゆかどう。

**ゆみ** [jumi] 【名詞】[A] 嫁。【例】つむかぎ あばらぎ ゆみ (きだてが良くて美人の嫁)。ゆみんかい いだす (嫁に出す)。ゆみゆー っじ (嫁をもらう) かーばったが みどうんづあう ゆみんかい っじたい (カワバタの娘を嫁にもらった)。

**ゆみ** [jumi] 【名詞】[B] 夢。[変異] いみ。

**ゆみーまーい** [jumi:mai] 【動詞】[r/rr 語幹] (噂話を) 言いふらす。【例】かりやー ひとつっじゃぬ すー やいば いつまい ひとうぬ くとうー ゆみーまーい (彼は噂話の発信源だからいつも人のことをいいふらす)。

**ゆむじゃ** [jumuzə] 【名詞】[C] 年を取ってできるしみ、老斑。【例】ういびとう ないていがー ゆむじゃぬどう いでいーふー（年を取るとしみが出てくる）。

**ゆむぬ** [jumunu] 【名詞】[C] ネズミ；無能な人を軽蔑して指す罵声語、やつ。【例】まゆー ゆむぬーどう とい（猫は鼠をとる）。くぬなうや ひらいん ゆむぬ（この何もできない奴）。くぬ ほうりゆむぬ（この馬鹿野郎）。

**ゆむぬ だすからん** [jumunu dasikaran] 【成句】頼りにならない。【例】ゆむぬ だすからん んまり（頼りにならないどうしようもないやつ）。

**ゆら** [jura] 【名詞】[C] 〔魚〕小さい魚の名前。

**ゆら** [jura] 【名詞】[C]（農作業の）時期、（台風などの）季節。【例】んみゆら（熟する時期）。かいゆら（刈り取る時期）。ぶーずぶいゆら っていーどうー（サトウキビ収穫の時期がきている）。かでいふつゆらん ないていがー あうそうんぬどう うんそうく とうびーふー（台風の季節にあるとトンボがたくさん飛んでくる）。

**ゆら** [jura] 【名詞】[C] クラゲ、毒クラゲ。【例】ながでいーゆら（毒クラゲ）。

**ゆらい** [jurai] 【動詞】[r/rr 語幹][C] 放浪する、迷子になる。【例】かりやー やまとうん ゆらりー まーりゆーたい（彼は内地に放浪していた）。うぬ っふあー ゆらりどう んまー とうみかにー なきーうたい（その子供は迷子になって、母親が見つけれなくて泣いていた）。やらびやー ゆらりー ほうりみつ っじゃ ひーうい（子供は迷子になってパニックになっている）。

**ゆらう** [jurau] 【動詞】[b 語幹][A]（名前を）呼ぶ、来いという；（会などに人を）招待する。【例】ひとうぬ なーゆ ゆらう（人の名前を

呼ぶ）。んまがどう っづあう ゆらびゆー（お母さんがお前を呼んでいる）。ゆーいんかい ひとうー ゆらう（お祝いに人を招く）。

**ゆらがす** [juragasi] 【動詞】[s/h 語幹]（風などが木などを）ゆらす。【変異】ゆるがす。

**ゆらき** [juraki] 【動詞】[母音語幹][C] 譲る。【変異】ゆるき。

**ゆらぎ** [juragi] 【動詞】[母音語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。【変異】ゆるぎ。【類】ゆりず、ゆりぎ、ゆらず。

**ゆらす** [jurasi] 【動詞】[s/h 語幹][C] 許す。【例】ぬそうどうーぎやー ゆらはん（泥棒を許さない）。【変異】ゆるす。【類】ゆるがす。

**ゆらす** [jurasi] 【動詞】[s/h 語幹][C] 揺らす。【例】かでいぬどう きーぬ はーゆ ゆらほうーたい（風が木の葉を揺らしていた）。まんじゆーぎーゆ ゆらひー まんじゆーゆ うたし（パパイヤの木を揺らしてパパイヤの実を落とせ）。【類】ゆい。

**ゆらず** [jurazi] 【動詞】[g 語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。【変異】ゆるず。【類】ゆりず、ゆりぎ、ゆらぎ。

**ゆらつ** [juratsi] 【動詞】[k 語幹][A] 譲る。【変異】ゆるつ。【類】ゆるき。

**ゆらら** [jurara] 【名詞】[C] 放浪者、流れ者。【例】やまとうゆらら（内地からの放浪者）

**ゆららす** [jurarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 行方不明にさせる、迷子にさせる。【例】っふあー ゆららひー むいとう しば（子供を迷子にさせてしまったとても心配だ）。

**ゆらりむぬ** [jurarimunu] 【名詞】あちこち落ち着きなく移動する人、流れ者。【例】やまとうゆらりむぬ（内地からの浮浪者）。

**ゆらりんまり** [jurarimmari] 【名詞】流れ者。

- ゆりぎ** [jurigi] 【動詞】[母音語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。[類] ゆりず、ゆらず、ゆらぎ、ゆるず。
- ゆりぎ** [jurigi] 【名詞】[A] 流木。【例】うきぬ ゆりぎぬ すたんな かっちゆぬ うい (沖の流木の下にはカツオがいる)。
- ゆりず** [jurizi] 【動詞】[g 語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。[類] ゆりぎ、ゆらず、ゆらぎ、ゆるず。
- ゆる** [juru] 【名詞】[C] (農具等の) 取っ手、柄。【例】つぎらぬ ゆる (鎌の取っ手)。つぶあつぬ ゆる (鍬の取っ手)。
- ゆるがす** [jurugasi] 【動詞】[s/h 語幹] (風などが木などを) ゆらす。【例】かでいぬどうきーぬ はーゆ ゆるがほうーたい (風が木の葉を揺らしていた)。まんじゅーぎー ゆるがひー まんじゅーゆ うたし (パパイヤの木を揺らしてパパイヤの実を落とせ)。[変異] ゆらがす。[類] ゆらす。
- ゆるき** [juruki] 【動詞】[母音語幹][C] 譲る。【例】ゆまんほうんぬ いちゆふんかい ゆるきたい (読まなくなった本をいここに譲った)。[変異] ゆらき。[類] ゆるつ、ゆらつ。
- ゆるぎ** [jurugi] 【動詞】[母音語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。[変異] ゆらぎ。[類] ゆるず、ゆらず、ゆらぎ、ゆりず。
- ゆるす** [jurusu] 【動詞】[s/h 語幹][C] 許す。【例】うりゆーぎゃー ゆるすな (そいつを許すな)。[変異] ゆらす。
- ゆるす** [jurusu] 【動詞】[k 語幹][C] ゆれる、ゆらぐ。[変異] ゆるつ。
- ゆるず** [juruzi] 【動詞】[g 語幹][A] ゆれる、ゆらぐ。【例】かでいふつんな きーぬ ゆるず (台風には木がゆれる)。[変異] ゆりず。[類] ゆるぎ、ゆらぎ、ゆりぎ、ゆりず。
- ゆるつ** [jurutsi] 【動詞】[k 語幹][C] ゆれる、ゆらぐ。【例】うらー ゆるつていぬ くとうー にゃーん (それが揺れ動くということはない)。[変異] ゆるす。
- ゆるつ** [jurutsi] 【動詞】[k 語幹][C] (緊張を) ゆるめる。【例】つむー ゆるつ (心を緩める [リラックスする])。
- ゆるつ** [jurutsi] 【動詞】[k 語幹][A] 譲る。[変異] ゆらつ。
- ゆるみ** [jurumi] ①【動詞】[母音語幹][C] (精神や糸などの緊張が) ゆるむ。[類] ゆるん。②【動詞】[母音語幹][C] (精神や、带状のものの緊張を) ゆるめる。[類] ゆるん、ゆるます。
- ゆるん** [jurun] ①【動詞】[m 語幹][C] (精神や糸などの緊張が) ゆるむ。【例】つむー ゆるん (心が緩む)。[類] ゆるみ。②【動詞】[m 語幹][C] (精神や、带状のものの緊張を) ゆるめる。【例】ばー そくーゆ ゆるまでい (私は帯紐をゆるめよう)。さんしんぬ ちるー ひーちやがま ゆるみ (三線の弦をすこし緩める)。[類] ゆるみ、ゆるます。
- ゆん** [jun] ①【動詞】[m 語幹][C] (本や文字を) 読む。【例】ほうんぬ ゆん (本を読む)。ばぬんな うぬ ずーや ゆまいん (私にはその字は読めません)。②【動詞】[m 語幹][C] (いくつあるか) 数える; (数を) 数える。【例】でいんぬ ゆん (お金を数える)。かうー ゆん (線香を数える)。つぞうー いふから あいがていー ゆみ (魚が何匹あるか数えろ)。とうーたーひー ゆみ (10まで数えろ)。③【動詞】[m 語幹][C] (話を) する、(おしゃべりを) する。【例】むぬー ゆん (おしゃべりする)。むぬいゆ ゆん (おしゃべりをする)。ひとうから つきやー はなっそうぎゃー ゆんな (人から聞いた話をするな)。くぬいや んきやーんばなっそう ゆん ひとつー みーん (近頃は昔話をする人がいない)。④【動詞】[m 語幹][C] 駄々をこねる [「むぬー ゆん」の形で

現れるのが普通]。【例】まーぬ むぬーぎゃー  
 ゆまだうり (あまりだだをこねるな)。んま  
 が はいんかいてい あすきゃー やらびゃー  
 むぬー ゆみんぎゅー (お母さんが畑に行こ  
 うとすると子供は (行くなど) 駄々をこねてい  
 る)。なかさん うとうがま ゆまさん うと  
 うがま (弟よ、泣かさないよ、駄々をこねさせ  
 ないよ [ちゃんとお守りをするので泣いちゃだ  
 め、駄々こねちゃダメという意味の子守歌 [古  
 謡「東里真中 (あがいじゃとうんなか」から])。]

◎【動詞】[m 語幹] [C] (願いを) 唱える、祈  
 願する。【例】ふつゆん (口で唱えながら祈願す  
 る)。かんかいぬ にがいゆ ゆん (神への祈  
 願を唱える)。

**ゆん** [jun] 【名詞】[B] 弓。【例】ゆんぬ ひ  
 つ (弓を引く)。

**ゆんぶに** [jumbuni] 【名詞】あばら骨 (弓の様  
 になっている骨)。【類】あばらぶに。

# よ

**よーんている** [jo:ntiru] 【成句】『祭礼』「裕福を満たせ」という意味の祈願の言葉。〔変異〕ゆーんている。

**よーんなー** [jo:nna:] 【副詞】ゆっくりと、音を立てずしずかに。【例】むぬーぎゃー よーんなー ふあい（食事はゆっくりと食べなさい）。やらびゃー にっづゆーば よーんなー

あいき（子供が寝ているからしずかに歩け）。  
〔類〕よーんなーなー。

**よーんなーなー** [jo:nna:na:] 【副詞】ゆっくりと、音を立てずしずかに。〔類〕よーんなー。

**よちり** [jotçiri] 【名詞】〔C〕役にたつこと、使い道。〔変異〕ゆちり。





ら

らく [raku] 【名詞】 [B] 楽。 【例】 らく ほう 　　でい (楽をしよう)。



# り

りす [risi] 【名詞】 [B] 金利。 【例】 でいんぬ りっさ たかかいぼ ならん (金利が高すぎる)。



# ろ

ろくまく [rokumaku] 【名詞】 肋膜炎。 【例】 ろくまく一ひー すんたい（肋膜炎で亡くなった）。



# わ

**わー** [wa:] 【名詞】 [C] 豚。【例】 ぼんていがやーんな わーゆ つかない うたい (我が家では豚を飼っていた)。

**わーかう** [wa:kau] 【形容詞】 不気味で怖い；危険だ。【例】 かまー わーかう どうくま (向こうは怖いところだ)。うまー わーかうかいば うまんかい いかだうり (そこは危ないからそこにはいくな)。

**わーくらしや** [wa:kuraŋa] 【名詞】 豚の屠殺人。【類】 わーしゃー。

**わーくらすかんにがい** [wa:kurasikan-nigai] 【名詞】 『祭礼』 人の身代わりに豚の命を神に捧げる祈願。【例】 いーがまん わーくらすかんにがい あすたい (イーガマで豚を命の身代わりとする祈願をした [イーガマはヒダガーの西側])。【変異】 わーくらすかんにがい。

**わーくらすかんにがい** [wa:kurasigan-nigai] 【名詞】 『祭礼』 人の身代わりに豚の命を神に捧げる祈願。【変異】 わーくらすかんにがい。

**わーしゃー** [wa:ŋa:] 【名詞】 豚の屠殺人。【類】 わーくらしや。

**わーじゃう** [wa:zau] 【名詞】 豚肉の好きな人。

**わーつつ** [wa:tsitsi] 【名詞】 天気。【例】 きゅーや じゃう わーつつ (今日は良い天気だ)。んぬー やな わーつつどう あたい (きの

うは悪い天気だった [天気が悪かった])。きゅーや ひとつむていから あみふー わーつつ (今日は朝から雨降り天気だ)。

**わーつな** [wa:tsina] 【形容詞】 無礼な、傲慢な。【例】 からー むいとうぬ わーつなんまり (あいつはとても無礼な奴だ)。

**わーない** [wa:nai] 【名詞】 くちげんか。【例】 うぬぎやが とうずぶとうー いつまい わーない あっさ すかま (その夫婦はいつもけんかをすることは日常茶飯事だ)。【類】 やどうゆん、わーないやどうゆん。

**わーないやどうゆん** [wa:naijadujun] 【名詞】 くちげんか。【類】 わーない。

**わーにむん** [wa:nimun] 【名詞】 豚の煮物。【例】 さうがつんな わーにむんぬ ふあう (正月には豚の煮物を食べる)。

**わーぬたうに** [wa:nutauni] 【名詞】 豚のエサ入れ。

**わーぬっし** [wa:nuççi] 【名詞】 豚小屋。【類】 わーぬやー。

**わーぬやー** [wa:nuja:] 【名詞】 豚小屋。【類】 わーぬっし。

**わーばん** [wa:ban] 【名詞】 「名詞 + {~ぬ・が}」や「節+ぬ」の後ろについて「~だけでなくその他に、~の上に」を表す。【変異】 あーばん。

**わーび** [wa:bi] 【名詞】 [A] 上、高い方；上座；上級。【変異】 あーび。



**わーぶり** [wa:buri] 【形容詞】馬鹿だ、馬鹿な。

【例】あいぬ わーぶり むぬいゆぎゃー あいな (そんな馬鹿な話はするな)。わーぶりん まりゃー たきゃー ひらいん (バカな性分の奴は相手にできない)。

**わーら** [wa:ra] 【名詞】[A] 上の方; 上座。

【例】やーぬ わーらんどー たかぬ どうびゅー (家の上の方にサシバが飛んでいる)。やまぬ わーらなぎゅー みーる (山の上のほうを見ろ)。そうじゃたー わーらんかい いかまてい (先輩方は上座の方にいらしてください)。  
[類] あーぎ。

**わいていー** [waiti:] 【副詞】しっかりと、一生懸命に。

【例】うなが はだんな わいていー かないー どうず つふあうぎゃー つかなー だかーならん (自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない)。うたきぬ うだいゆぎゃー わいていー かなー ーでい (御嶽の役割はしっかりと果たそう)。わいていー んびゃう (一生懸命に我慢する)。じょー やびとーんーな わいていー そうる きーみーでい (さあ皆さん元気よく頑張ってみ

よう)。

**わいる** [wairu] 【名詞】[C] 賄賂。【例】わいるーひや ならん (賄賂をしては駄目だ)。  
[類] かまい。

**わざしやー** [wazaça:] 【名詞】技巧派。【例】かぬ すまとうらー やぐみ わざしやー (あの相撲取りは凄い技巧派だ)。

**わだち** [wadatçi] 【名詞】[C] 轍 (わだち)。

**わちやく** [watçaku] 【名詞】[C] いたずら、悪さ、意地悪、邪魔。【例】ひとうんかいや が いっじゅまい わちやくーまい ほうん (他人には害もするな、悪さもするな)。あいや ひとーぎゃー わちやくーぎゃー ほうん (そんなには人に意地悪しない [＜人を])。まーぬ ばぬんかい わちやく あすな (あまり私に悪さをするな)。まーぬ ばぬー わちやく あすな (あんまり私を邪魔するな)。

**わちやくんまり** [watçakummari] 【名詞】いたずらもの。

# ん

**ん** [n] 【助詞】『格助詞』(場所を表す名詞について) 位置、目標を表す、「に」;(場所を表す名詞について) 動作が行われる場所、イベントがある場所を表す、「で」;(時間を表す名詞について) 時点を表す、「に」;(人を表す名詞について) 与格を表す、「に」;(人を表す名詞について) 受け身、使役の動作主を表す、「に」。

【例】くるーぎゃー んじゃん うつつばどう じゃうかい (これはどこに置けばいいの)。うまん まちゅーき (ここで待っていてくれ)。しがつん みゃーくずまん とらいあすろんぬ あい (4月に宮古島でトライアスロン大会がある)。さんじん さーりが くーでい (3時に迎えに来るよ)。かいんな ゆーていないん いじやいたい くとうぬ あい (あの人には3年前にあったことがある [数えで数えるので「ゆーていない (4年前)」は共通語では3年前、「ん」はなくてもよい])。かにゃー ばいさー ひーんまん んみかいたい (カニは悪いことをしてお母さんに叱られた)。うるーぎゃー たるがなーん あすみる (それは誰か他の人にやらせろ)。

**ん** [n] 【接尾辞】否定形をつくる。母音で終わる動詞の語幹について単純否定を表す [「みー (見る) +ん=みーん」、「いび (植える) +ん=いびん」。語幹が子音で終わる動詞は、未然形に「ん」を加える。意志否定は「ん」のかわりに「じゃーん」を付ける: 例「みーじゃーん」「いびじゃーん」、「かかじゃーん」。

**んー** [n:] 【副詞】 沢山。 【例】ばぬんたーな

まーぬ んー むちやすな (私にだけ余り沢山持たすな)。

**んー** [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [C] (果物などが) 熟する。 [類] んみ。

**んー** [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [A] 紡ぐ。 【例】ぶーゆ んー (苧麻を紡ぐ)。 [類] んみ。

**んー** [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [C] おできが中の膿が出せる程に化膿している、膿む。 【例】ふがさぬ んー (おできが膿む)。 [類] んみ。

**んー** [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [A] (雨などに) 濡れる。 [類] んみ。

**んー** [n:] 【名詞】 [B] 芋。 【例】んーぬ ふあう (芋を食べる)。みゃーんー (ほくほくした芋)。んーな ふたうず あり (芋は2個ある)。

**んーぎー** [n:gi:] 【名詞】 芋づる。 【例】んーぎーや あうたんなりー ういー はやいー どうーい (芋のつるは青々と生えて蔓は伸び繁っている)。んーぎーぬ はー (芋づるの葉っぱ)。んーぎーゆ いび (芋づるを植える)。

**んーぎーなます** [n:gi:namasi] 【名詞】 『祭礼』 祭礼の時大型ブダイの代わり使う芋の葉の和え物。 [類] ぶーたなます。

**んーく** [n:ku] 【名詞】 [B] 濃。 【例】ほうがさー んみーどうーば んーくー あーし (おできは赤く化膿しているので濃を出せ)。

**んーくず** [n:kuzi] 【名詞】 芋の澱粉 [夏場の芋の沢山取れる時期に、芋を擦った物を布袋に入

れて汁を絞り、沈殿させた物、夏にぜんざいを  
作る材料。【例】んーくずひー ぜんざいゆ  
ちゅっふ（芋くずでぜんざいをつくる）。んー  
な かなひー ひぎー んーくっじゅ とうい  
（芋を下ろし金で薄く削って芋の澱粉を取る）。

**んーさ** [n:sa] 【形容詞】[C] 似たような、同じ  
ような。【例】うぬ ふたーっちゃ んーさむ  
ぬ（この二つは似たようなものだ）。うぬきや  
が とうずぶとうー んーさむぬ（その夫婦は  
似た者同士だ）。

**んーしぬ** [n:cinu] 【連体詞】よく似た（もの、  
人）；似た者（夫婦）。【例】んーしぬ やー  
ぬどう ならびゆー（似たような家が並んでい  
る）。んーしぬ っざっふあ（よく似た父子）。  
んーしぬ とうずぶとう（お似合いの夫婦）。

**んーじゃに** [n:zani] 【名詞】乾燥イモ、冬の  
食用に芋をを3ミリ位の厚さに切って干したも  
の。【例】ふゆんな なつん ちゅっふやー  
んーじゃにゆー ふあう（冬には夏に作ってお  
いた乾燥芋を食べる）。

**んーす** [n:si] 【動詞】[s 語幹] [A] 似ている。  
【例】ういとう くいとうや むいてう んー  
しーどう（それとこれとはよく似ている）。う  
ぬきやが っざっふあー ゆーどう んーしー  
ゆー（その父子はよく似ている）。[類] んーす  
[s/h 語幹]。

**んーす** [n:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 似ている。  
[類] んーす（s 語幹）。

**んーす** [n:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] のせる。  
[類] んーす（s 語幹）。

**んーずん** [n:zin] 【動詞】[m 語幹] 山積みする。  
【例】ばしゃんかい ぶーっじゅ んーずん  
あっそう（荷馬車にサトウキビを山積みする）。

**んーた** [n:ta] 【名詞】[C] 木の実。【例】ばん  
つぎーぬ んーた（桑の実）むきやう んーた  
（グミの実）かにゆー んーた（山ブドウの実）。

**んーだみにがい** [n:daminigai] 【名詞】『祭  
礼』イモがたくさんできるように行う祈願、五  
穀豊穡のねがい。

**んーだり** [n:dari] 【名詞】芋のお粥。【例】く  
ぬ んーだりやー やぐみ かただり（この芋  
のお粥はこってりしている）。んーな むみー  
んーだりゆー ちゅっふあでい（芋を手で練  
って芋粥をつくろう）。

**んーつ** [n:tsi] 【名詞】[A] 『数詞』六つ。

**んーずん** [n:zin] 【動詞】[m 語幹] 山積みする。  
【例】ばしゃんかい ぶーっじゅ んーずん  
あっそう（荷馬車にサトウキビを山積みする）。

**んーでい** [n:di] 【感動詞】『応答詞』（同年齢ま  
たは年下に対する返事）うん、そうだ。【例】  
んーでいだら（そうなんだよ）。んーでい っ  
づあが あいが にやーん（うん、おまえの言  
う通りだ）。A: うらー とうぬか? B: んーで  
い（A: それは卵かい B: うん、そう）。A: っづ  
あー あちやー っさらんかい? B: んーで  
い（A: 君は、明日平良に行くの B: うん）。

**んーていーまい すんていーまい**  
[n:ti:mai sinti:mai] 【成句】うんともすんとも、  
音沙汰がない。【例】かいからー んーていー  
まい すんていーまい なうていーまい にや  
ーん（あいつからはうんともすんとも言ってこ  
ない）。

**んーでいだーら** [n:dida:ra] 【名詞】なんでも  
言うことを聞く人、イエスマン。【例】う  
むくとうーにやーん んーでいだーら（自分の  
考えのないイエスマン）。からー んーでいだー  
ら やいば なうていー あっじゃばんまい  
んーでい、えー、おーていどう あいだ（あいつ  
はイエスマンだから、なんと言っても、はい、  
えー、そうですと言った）。うまぬ かいしやぬ  
やくいんな しゃちようんかい んーでいだ  
ーら（この会社の役員たちは社長のイエスマ  
ン[<社長にイエスマン]）。うりやー あいて  
いー あすていがー あい、かいていー あす

ていがー かいていぬ んーでいだーら (あいつは、こうと言ったら、こう、ああと言ったら、ああというイエスマンだ)。[類] んーでいだーり、んーでいだーりや。

**んーでいだーり** [n:didari] 【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。[類] んーでいだーら、んーでいだーりや。

**んーでいだーりや** [n:didarja] 【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。[類] んーでいだーり、んーでいだーら。

**んーとう** [n:tu] 【オノマトペ】苦しくて唸るときの声、うんうん、うーん、うー。【例】かりやー かなまいや やみどう むいとう んーとう んなりゆーたい (彼は頭がいたくて、ひどく「うんうん」うなっていた)。

**んーな** [n:na] 【名詞】[C] みんな、全員、全部。【例】やびとうーんーな がんじゆーやひーうらまいんなー (皆さんお元気でいらっしゃいますか)。んーなが なかん なながーん ながーい じゃうかい (みんなのなかでこれが一番いい)。[類] んない。

**んーなか** [n:naka] 【名詞】芋畑。

**んーにーなび** [n:ni:nabi] 【名詞】芋を炊く鍋。

**んーぬ かー** [n:nu ka:] 【名詞】芋の皮。

**んーぬい** [n:nui] 【名詞】芋のおにぎり。【例】んーぬいゆ ふあう (芋のおにぎりを食べる)。んーぬいゆ んない (芋のおにぎりを握る)。

**んーぱ** [n:pa] 【感動詞】『応答詞』いやだ。【例】ばー んーぱ、うまんかいや いかじゃーん (私はいやだ。そこには行かない)。[類] んば、あかんば、あかふそう。

**んーぱとう** [n:batu] 【名詞】『昆』コガネムシの幼虫。

**んーぶ** [n:bu] 【名詞】[C] へそ。【例】ながんーぶ (長いへそ)。

**んーぷら** [n:pura] 【名詞】『道具』芋掘り用の棒、潮干狩りにも使う。【例】んーぷらひーしなう とうい (芋掘り棒でハマグリをとる)。

**んーむつ** [n:mutsi] 【動詞】[c/t 語幹] 背負い込む。【例】たうかーひー んーむつ (一人で背負い込む)。

**んがーい** [ŋgai] 【動詞】[母音語幹] 逃れる、まぬがれる。【例】くー すかまから んがーい (きつい仕事から逃れる)。くーさぬ みやーくからー すんな んがーい (苦しい現世からは死ぬことが(苦から)逃れること)。[類] んがーい (r/r 語幹)。

**んがーい** [ŋgai] 【動詞】[r/r 語幹] 逃れる、まぬがれる。[類] んがーい (母音語幹)。

**んがーす** [ŋga:si] 【動詞】[s/h 語幹] 逃す; ゆるす。[変異] んがす、んがーらす。

**んがーらす** [ŋgarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 逃す、ゆるす。【例】んがーらひー ふいーさまでい (ゆるして下さい)。ぎんとうどう っづあが うるー ひーやーていがー っづあうぎやー んがーらはん (もしもあなたがそれをやったとしたらあなたを許さない)。[変異] んがす、んがーす。

**んかい** [ŋkai] 【動詞】[母音語幹] [A] 迎える、案内する。【例】どうっそう んかいが (友達を迎えに(行く))。しーしーゆ かまんかい んかいる (先生をあちらに案内して差し上げる)。[類] んかう。

**んかい** [ŋkai] 【名詞】[A] 迎え。【例】うくいとう んかい (送り迎え)。

**んかい** [ŋkai] 【名詞】[A] (人の) 向かい側、(家などの) 向かい側。【例】ばが んかいん びじ (私の向かいに座れ)。ばが やーや くぬ

まっちゃぬ んかいんどう あい(私の家は  
この店の向かい側にあります)。

**んかい** [ŋkai] 【助詞】《格助詞》(場所を表す名詞について)位置、目標を表す、「に」;(人を表す名詞について)与格をあらわす、「に」。【例】あがいんかい(東に)。うつな-んかい(沖縄に)。やらびゃー んまぬ あらんかい いでい- あすていが- いつまい がんない(子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる)。きばんかいば うむくとう あらばんまい あ-ぎぬ がっこ-んかいや いかはいん(貧乏なので 学力があったとしても上の学校には 行かせられない)。ばぬんかい うる- ふい-さまてい(私にそれをください)。[類] ん。

**んがい** [ŋgai] 【動詞】[C] 抜かれる。 [変異] ぬがい。

**んかいかでい** [ŋkaikadi] 【名詞】向かい風。

**んかう** [ŋkau] 【動詞】[w 語幹] [A] 迎える。  
[類] んかい。

**んかう** [ŋkau] 【動詞】[w 語幹] [A] (手を)差し出す、向う。 [変異] んきやう。

**んがす** [ŋgasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 逃す; ゆるす。 [変異] んが-す、んが-らす。

**んがっらす** [ŋgarrasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を)掻き回す; (まとまりなどを)掻き乱す。  
[変異] むぎやらす。

**んがます** [ŋgamasi] 【形容詞】やかましい、うるさい。【例】んがますんまり(うるさい奴)。  
[変異] んぎやます。[類] やがます。

**んがらす** [ŋgarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を)掻き回す; (まとまりなどを)掻き乱す。 [変異] むぎやらす。

**んき** [ŋki] 【接辞】(動詞基本形について相互動作、複数動作、連続動作を表す)~お互いに~し

合う、みんなで~する、(一人が)ずっとする。  
[変異] んき-。

**んぎ** [ŋgi] 【動詞】[母音語幹] [C] 動詞の否定連用形「~だ」について、「~なくなる」を表す。  
【例】くぬいや んめ みんない つかいだ んぎ-にや-ん(最近はもう耳も聞こえなくなった)。ば- くじゅから さきゆ- ぬまだ んぎにや-ん(私は去年から酒を飲まなくなった)。くぬいや んめ おと-りや- ほうだ んぎ-なり-にや-ん(最近はおと-りはやらなくなりました)。[類] んず。

**んぎ** [ŋgi] 【名詞】[B] 《植》アダンの木。【例】んぎやま- ま-りどう あだなっそう とう いったい(アダンの木の山を回って気根を取ってきた)。[類] あだんぎ-。

**んき-** [ŋki:] ①【助詞】名詞について、「目的地に行つて(~する)」を表す [「いき-」を伴うこともある]。【例】つぐあ どうるび-たか いかば か-んき- あらいく- (お前は泥だらけだから井戸で洗つて来い)。ば- すかまんき- でいんぬ ぶいく-でい(私は仕事に行つて、お金をかせいで来よう)。つさらんき- いき- そうばう ふあ-でい(平良に行つてそばを食べよう)。②【助詞】動詞基本形について、その動作の程度が多いこと、あるいはその結果を表す、「~して(~する)」、「とても~して」。【例】やらびゃー むぬ-ゆみんき- ぎっじゃひらいん(子供は駄々をこねていることをきかすことができない)。んまんかい すがりんき- がんない(母親に縋り付いて駄々を捏ねる)。かばんかい つんぬ ばいんき- いらる(カバンに衣類を詰め込め)。③【接尾辞】(動詞基本形について相互動作、複数動作、連続動作を表す)~お互いに~し合う、みんなで~する、(一人が)ずっとする。【例】まさいとう かにや- ったつんき-うたい(マサイとカニは殴りあっていた)。うぬきやが とうずぶとう- かなすんき-うたい(その夫婦は愛し合っていた)。み-つきんき-うたい

(にらみあっていた、みつめあっていた)。かりゃー いつがみまい なつんきーうたい (彼はずっと泣いていた)。んなない ばらいんきーうたい (みんな笑いあっていた)。すまとうらたー ちゃんこなびゅー ふあうんきー うたい (相撲取りたちはちゃんこなべをたらふく食べていた)。[変異] んき。

**んぎゃ** [ŋgja] 【形容詞】[B] 苦い。【例】っそういや んぎゃむぬ (薬は苦い)。がうらーんぎゃ (ニガウリは苦い)。

**んぎゃー** [ŋgja:] 【オノマトペ】赤ん坊の泣き声、おぎゃー。【例】あかつうあぬ んぎゃーていー なつ (赤ちゃんがおぎゃーと泣く)。

**んきゃーす** [ŋkja:si] 【動詞】[s/h 語幹] (人を互いに) 向かい合わせる。【例】すまう とうい とうきやんな ふたーいゆ まず んきゃーす (相撲を取るときには二人を先ずは向い合せる)。

**んきゃーん** [ŋkja:n] 【名詞】昔。【例】んきゃーん ばなす (昔話)。んきゃーんな きばん あたいそうが んなまー うやき (昔は貧乏だったが今は金持ちだ)。ばんちゃー んきゃーんな きばんかいば ならっだん (私たちは昔はとても貧乏だった)。

**んきゃーんあーぐ** [ŋkja:na:gu] 【名詞】古謡。

**んきゃーんじゅく** [ŋkja:nzuku] 【名詞】金言、格言、諺。【例】んきゃーんじゅくー やぐみむぬ (格言は素晴らしい)。「やー ならいや ほうか ならい」、くらー んきゃーんじゅく (「家庭での躾けは大切 [＜家の教育は外の教育だ]」、これは諺だ)。

**んぎゃい** [ŋgjai] 【名詞】[B] 胆嚢。【例】んぎゃいや んぎゃかいば とうい すている (胆嚢は苦いので取って捨てなさい)。

**んきゃう** [ŋkjau] 【動詞】[w 語幹] [A] (手を) 差し出す、向う。【例】くまんかい ていーゆ

んきゃーし (ここに手を差しだしなさい)。ふにゃー うつなーんかいどう んきゃいーゆー (船は沖縄に向かっている)。[変異] んかう。

**んきゃぎ** [ŋkjagi] 【動詞】[母音語幹] [A] 召し上がる。【例】なまっそう んきゃぎさまてい (刺身を召し上がって下さい)。

**んぎゃっらす** [ŋgjarrasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。[変異] むぎゃらす。

**んきゃでい** [ŋkjadi] 【名詞】[B] ムカデ。【例】んきゃでいん かまいていがー いちやむぬ (ムカデに噛まれたら痛い)。んきゃでいん ささいーにゃーん (ムカデに刺された)。

**んきゃふ** [ŋkjafu] 【名詞】[B] 『食』海ブドウ。

**んぎゃます** [ŋgjamasi] 【形容詞】やかましい、うるさい。【例】んぎゃます やらびんみ (うるさい子供たち)。[変異] んがます。[類] やがます。

**んぎゃらす** [ŋgjarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。[変異] むがらす。

**んくん** [ŋkun] 【動詞】[m 語幹] [A] 力む。【例】わいていー んくまだかー つふあー なさいん (うんと力まないと子供は産めない)。[類] ゆくん。

**んげ** [ŋge] 【感動詞】しまった、困った。[類] んげーしまい。

**んげーしまい** [ŋge:ɕimai] 【感動詞】しまった、困った。[類] んげー。

**んさ** [nsa] 【形容詞】[B] 良い、構わない。【例】ういがどう んさはず (それが良いはずだ)。うい やらばんまい んさ (それでもよい [＞構わない])。たかからば んさていぬ くとうーにゃーん (値段が高いからと言って良いと言うわけではない)。ういどう んさかい (それがいい)。[類] じゃう。

**んさぐ** [nsagu] 【名詞】[C] 『蔑称』 乞食、身分の低い人 [＜昔の役人の奴隷]。

**んし** [nɕi] 【名詞】[B] 背負い投げ。 [変異] にし。

**んし** [nɕi] 【動詞】[母音語幹][A] (鍋などをかまどなどに) かける; 炊飯器のスイッチを入れる。 [類] んす。

**んじや** [nza] 【名詞】[C] 『蔑称』 下司、奴隷、昔身分の低かった人、下男、下人、人を蔑む時に使う言葉の一つ。 【例】 やなんじや (駄目なやつ)。くぬんじや (このゲス野郎)。 [類] またぎす。

**んじや** [nza] 【名詞】[C] 『疑問詞』 場所を尋ねる疑問詞、どこ。 【例】 んじやなぎ (どこら辺)。つづあー んじやんかいが (お前はどこに (いくの) か [出会ったときの挨拶])。うらー んじやんまい かーいどうす (それはどこでも買えるよ)。んじやう とうみばんまい にゃーっだん (どこを探してもなかった)。 [変異] いじや。 [類] いや。

**んじやうな** [nzauna] 【形容詞】 残念な、残念だ; かわいそうな、かわいそうだ。 【例】 ばーくじゅ ぶとうー すなひー んじやうなかいば ならっだん (私は去年夫を亡くして残念でならなかった)。ういびとう なりー くすまい ぶりー んじやうなかいば ならん (年取って腰も曲がって残念でならない)。くぬいぬ ばかむぬんみゃー すまぬ むぬいゆまい っさんば んじやうなむぬ (近頃の若者には方言がわからないから、かわいそうなものだ)。

**んじやどうーす かまどうーす** [nɰadu:si kamadu:si] 【成句】 あちこち、方々。 【例】 やらびゆー んじやどうーす かまどうーす とうみー まーいたい (子供をあちこち探し回った)。 [変異] いじやどうーす かまどうーす。

**んじやとううたき** [nzatuutaki] 【名詞】 『祭礼』 西原集落の北東にある御嶽。

**んじやみ** [nzami] ① 【動詞】 [母音語幹][A] 目が覚める。 ② 【名詞】 [B] 寝覚め。

**んじやん** [nzan] 【動詞】 [m 語幹][A] 目が覚める。 【例】 やらびゃー んなーぎゃー んじやまん (子供はまだ寝覚めない)。

**んじゅあん** [nzuan] 【名詞】 『道具』 袋網。

**んじゅかす** [nzukasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 見逃す、許す。 【例】 ぬそうどうぎゃー んじゅかはん (泥棒は見逃さない)。

**んす** [nsi] 【動詞】 [s/h 語幹][A] (鍋などをかまどなどに) かける; 炊飯器のスイッチを入れる。 【例】 んーなびゆー かまどうんかい んす (いも鍋をかまどにのせる)。まいや すいはんきんかい んしーだー (米を炊飯器にかけた [＞米を入れてスイッチを入れた])。 [類] んし。

**んす** [nsi] 【名詞】 [A] 北、西原の後方 (北)。 【例】 んすぬ そうく ばい (北の低地にある畑)。

**んす** [nsi] 【名詞】 [A] 右。 【例】 んすでいー (右手)。んす なぎ (右の方面)。

**んす** [nsi] 【形容詞】 [A] 肥沃な。 【例】 んすばい (肥沃な畑)。くぬ んすばいんな むぬぬ どう ゆー でいきー (この肥沃な畑では作物がよくできる)。

**んず** [nzi] ① 【動詞】 [g 語幹][C] 追い抜く、追い越す。 【例】 かぬ にゆーふたらー んめんがいーにゃーん (あの足の遅いやつはもう追い抜かれた)。とうばひー まうきゃーぬ ひとつー んがし (早く走って前の人を追い越せ)。 [変異] ぬず。 ② 【動詞】 [g 語幹][C] 先回りする、気持ちを読む。 [変異] ぬず。

**んず** [nzi] 【動詞】 [g 語幹][C] 動詞の否定連用形「～だ」について、「～なくなる」を表す。

【例】ばー ういびとう なりどう ひとうぬ  
むぬいや つかいだ んぎゅー (私は年取って  
人の話が聞こえなくなっている)。ふにゃー  
みーらいだ んぎーにゃーん (船は見えなくな  
った)。[変異] んぎ。[類] なりゅー。

**んず** [nzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 脱ぐ。【例】っ  
ぐあが っふす一つぬ んぎーみーる (お前  
の汚いきものをぬぎなさい)。

**んず** [nzi] 【動詞】[g 語幹] [C] (刺さっている  
ものを) 抜く; (歯を) 抜く。【例】うぬ か  
にふっじゅ んぎ (この釘を抜け)。はーゆ  
んぎ (歯を抜け)。べー うりゅー んぎーふ  
いーる (おい、それを抜いてくれ)。

**んず** [nzi] 【名詞】[C] 刺。【例】んっじゅ ん  
ず (刺を抜く)。んずぬどう はずんかい く  
まりーにゃん (刺が足に刺さった)。

**んずーつん** [nzi:tsin] 【動詞】[m 語幹] 沢山  
積み込む。【例】にーゆ ばしゃんかい んず  
ーつん (荷を馬車に沢山積み込む)。

**んずぎ** [nzigi] 【形容詞】[B] 見苦しい、美しく  
ない。【例】んずぎ やままゆ (醜い山猫 [不  
美人の比喩])。

**んずぎや** [nzigja] 【名詞】[C] 醜い奴、不美人。

**んすでいー** [nsidi:] 【名詞】 利き手、右手。

**んすぬかー** [nsinuka:] 【名詞】『地名』ンスヌ  
カー、西原の北西にある大浦湾に流れ込む湧水  
のどとところで、以前は生活のための取水や洗  
濯などのために使われていた。ヒダガーから北  
に100m位離れたところにある。【例】やら  
びゃー んすぬかーん うーっふいー にゃー  
ん (子供はンスヌカーで溺れた)。

**んすばい** [nsibai] 【名詞】土の肥えた畑。【例】  
ゆきだき ばいや やぐみ んすばい (横竹畑  
はとても土が肥えている)。

**んすむら** [nsimura] 【名詞】『地名』西原。

**んそう** [nsu] 【名詞】[B] 味噌。【例】なまん  
そう (まだ熟成していない味噌)。んそうだり  
(味噌煮込み)。

**んそうだりかずつ** [nsudarikazitsi] 【名詞】  
味噌煮込み [味噌を水に溶かし、芋ずるの葉や  
刺身などを入れた煮込み汁。ウニの色に似てい  
るのでこう呼ばれる]。

**んそうな** [nsuna] 【名詞】[B] みそ菜。【例】ん  
そうなー やーらむぬ (みそ菜はやわらかい)。

**んた** [nta] 【名詞】[B] 土。【例】っふんた (黒  
土)。あかんた (赤土)。んたう むりやがりや  
し (土を盛り上がらせる)。

**んだい** [ndai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (傷が)  
化膿する。【例】ほうがさー んだりーにゃ  
ーん (おできは化膿してしまった)。② 【動詞】  
[r/rr 語幹] [C] (本などを) 破る、(機械などを)  
壊す。【例】ほうんぬ んだい (本を破る)。く  
るまー んだりー どうー ((その) 車は壊れ  
ている)。つんな んだりーにゃーん (着物は  
破れてしまった)。

**んだい** [ndai] 【名詞】[C] 化膿した傷。【例】  
うぬ ひでいーや っざらひー ひーきー  
んだいん なりーにゃーんむぬ (このケロイド  
状の傷跡は鎌で切って化膿してできたものだ)。  
[類] ほうがさ。

**んだいむぬ** [ndaimunu] 【名詞】 傷物。

**んたう** [ntau] 【動詞】[b 語幹] [C] 指先でも  
てあそぶ、いじくる; やっつける。【例】ふー  
ずきばらんぬ んたう (ほおずきをいじくる)。  
やらびんな おもちやう んたばし (子供には  
おもちゃをいじらせる)。まさいや かにん  
んたばい にゃーん (マサイはカニにやっつけ  
られた)。



**んたす** [ntasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 満たす。

【例】みずがみんかい みっじゅ んたし (水瓶に水を満たせ)。

**んたつ** [ntatsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 背伸びする。

【例】かまう んたきーみーる (向うを背伸びして見なさい)。

**んち** [ntçi] 【動詞】[母音語幹] [C] 沢山ある、大勢いる。

【例】ばー でいんな んち (私はお金は沢山ある)。ひとうぬどう んちゅー (人が大勢いる)。なうまい かまぬ やーんな んちゅー (何でも向こうの家には沢山ある [ > 向こうの家にはなんでもたくさんある ])。[変異] んてい。

**んち** [ntçi] 【動詞】[母音語幹] [C] (容器が)

いっぱいになる ; (おなかが) いっぱいになる ; (潮が) 満ちる ; たくさんある ; おおぜいいる。[変異] んてい、んつ。

**んちや** [ntçai] 【感動詞】『応答詞』 そうだ。【例】

んちや んちや あいどう あたい (そうだ、そうだ、そうだった)。

**んちやがい** [ntçagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 潮が

満ちる。

**んちやがい** **じゅー** [ntçagai zu:] 【名詞】

満潮、上げ潮、満ち潮。【例】んちやがいじゅーぬ そーや ひゃーむぬ (満ち潮の潮の流れは早い)。

**んちやみ** [ntçami] 【動詞】[母音語幹] [A] 収める、片づける ; 捕まえる。

【例】まかいゆぎゃー んちやみる (お椀は片付けなさい)。うぬ ぬそどうー んちやみる (その泥棒を捕まえる)。[類] んちゃん。

**んちゃん** [ntçan] 【動詞】[m 語幹] [A] 収める、片づける ; 捕まえる。 [類] んちやみ。

**んつ** [ntsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] (容器が) っ

ぱいになる ; (おなかが) いっぱいになる ; (潮

が) 満ちる ; たくさんある ; おおぜいいる。

【例】ばたー んていーどうー (腹いっぱいになっている)。んなまー そーんつ (今は満潮だ)。んなぎゃー そーや んたん (まだ潮は満ちていない)。[類] んち、んてい。

**んつ** [ntsi] 【名詞】[B] 神酒 (みき)。

【例】んつがまー ばきーどうー (お神酒が発酵している)。ほうっびゅーいんな んっちゅ なかまうたきん ぬん (ホウツビューイでは、お神酒を仲間御嶽で飲む [ホウツビューイは豊作祈願の祭礼の一つ])。

**んつ** [ntsi] 【名詞】[C] 道。

【例】んつばた (道端)。やまんつ (山道)。いすぐーんつ (石ころだらけの道)。どうる んつ (泥道)。んつなか (途中)。んっちゅ ぼっしーにゃーん (道を忘れた)。くぬ んっちや あたりゅーんむな (この道はあってるか)。

**んつき** [ntsiki] 【名詞】[B] 軒。

【例】やーぬ んつき (家の軒)。んつきぬ すたぬ まんちゅーぎーゆぎゃー っちゅひー すている (軒下のパパイヤの木を取ってしまえ)。

**んつき** [ntsiki] 【名詞】[B] (家の) 軒。

【例】やーぬ んつきんな まんじゅーゆぎゃー いびん (家の軒にはパパイヤの木は植えない)。

**んつきゃー** [ntsikja:] 【助詞】(「名詞、動詞基本形、動詞基本形+ (そう)」について) 比較を表す、~より~の方が。

【例】っぞうんつきゃー わーぬどう たかだいかい (魚より豚肉の方が値段が高い)。なうんつきゃーまい かがいどう じゃうかい (何よりもあれが良い)。にんぎんな っじんつきゃー ふいーばどう ほうからすかい (人間は貰うよりも与える方が嬉しい [「っじそうんつきゃー」でもよい])。かんがいんつきゃー ひとうんかい つふばどう はーかい (考えるより人に聞いたほうがはやい)。みーんつきゃー あすばどう むずかすかい (みるよりやるほうがむずかしい)。

**んつだてい** [ntsɨdati] 【成句】道に沿って。

【例】んつだてい あいき (道に沿って歩け)。

**んつつー** [nttsi:] 【名詞】味噌汁、おつゆ。【例】

んなんつつー (具の何も入っていない味噌汁)。

んつつー ちゅっふ (味噌汁を作る)。

**んつつーきな** [nttsi:kina] 【名詞】おつゆ用

しゃもじ。

**んつつさ** [ntsissa] 【名詞】道草。【例】がっこ

ーからー んつつさうぎゃー ほうだ やーん

かいや まうとうん くー (学校からは道草し

ないで家には真っ直ぐ帰りなさい)。つづあー

んじゃんどう んつふさー ふあいうた (お

前はどこで道草食っていた)。**[変異]** んつふさ。

**んつなか** [ntsɨnaka] 【名詞】道半ば、(道の)途

中；(仕事などが)完成していないこと。【例】

かりゃー っさらんかい はりーにゃーんそう

が んなーぎゃー んつなかはず (彼は平良に

行ったがまだ途中のはずだ)。ひゃーくー ん

つなか (百歳は(まだ人生の)途中だ)。すかま

ー んなーぎゃー んつなかがま (仕事はまだ

途中だ)。

**んつふさ** [ntsɨfusa] 【名詞】道草。【変異】ん

つつさ。

**んつみ** [ntsɨmi] 【動詞】[母音語幹][A] (人を

逃げないように)押さえる；押して出す。【例】

ひんじやう んつみる (ヤギを押さえつける)。

**[類]** んつん。

**んつやっづやしや** [ntsɨjavvjaʃa] 【名詞】ブ

ルドーザー [くんつ (道) + やっづあしや (壊

すもの)]。【例】くるまぬどう んつやづやし

ゃんかい うちゃーりーにゃーん (車がブルト

ーザーにぶつかった)。

**んつん** [ntsɨn] 【動詞】[m 語幹][A] (人を逃げ

ないように)押さえる；押して出す。【例】う

ぬ ぎずぎやうな やらびゆー ひんぎや は

らんやうんていー んつみゆーき (この腕白小

僧を逃げないようにおさえておけ)。んつん

つきる (押さえつける)。んつんぬ んつみー

いだし (にきびを押してだせ)。**[類]** んつみ。

**んつん** [ntsɨn] 【名詞】[B] ニキビ。【例】ん

つんぬ んつみー あーし (ニキビを押さえて

潰せ)。

**んてい** [nti] 【動詞】[母音語幹][C] (容器が)

いっぱいになる；(おなかが)いっぱいになる；

(潮が)満ちる；たくさんある；おおぜいいる。

【例】まかいん んていきゃたーひー みっ

じゆ いる (お椀に一杯になるまで水を入れ

る)。そうーや んていーどう (潮は満ちてい

る)。そうーや んなーぎゃー んていん (潮

はまだ満ちていない)。ばたー んていー ど

うー (お腹はいっぱいだ)。でいんな んてい

ーどうーだら (金はたくさんある)。**[変異]** ん

ち。**[類]** んつ。

**んでい** [ndi] 【名詞】[A] 《疑問詞》どれ、どっ

ち [人でも物でも可]。【例】ばが たまー

んでい (私の分け前はどれだ)。**[変異]** いでい。

**んどうら** [ndura] 【名詞】[C] 一番大切なところ、

中心部。【例】はいぬ んどうら (畑で作物

がよくできるところ)。わーぬ んどうら (豚

肉で一番おいしいところ)。

**んな** [nna] 【名詞】[B] サザエなどの巻貝の総

称。【例】かりゃー いすびとう やいば っ

しん<sup>ん</sup>かい いつていがー たくから にぐ

ーから んなから なうゆまい はーさ とう

いどうす (彼は幸運な人だから潮干狩りに行く

とタコからシャコガイからサザエから何でも沢

山とれる)。っし ン<sup>ん</sup>なひー んな とうい

が (潮干狩りしてサザエ取りに)。っしん<sup>ん</sup>き

ー んなう とうい (潮干狩りに行ってサザエ

をとる)。

**んな** [nna] 【名詞】[B] 何もないこと。【例】ん

なんつつー (具の何も入っていないみそ汁)。ん

なんつつーんな んなぬどう はいりゆー (具

の入っていない味噌汁にはサザエが入っている  
[<なにもない味噌汁にはなにもないものが入  
っている。[「んな(サザエ)」と「んな(何もない  
こと)」をかけた] ジョーク)。

**んな** [nna] 【名詞】[B] 綱、縄。【例】み一つ  
ぬ ん°なう ゆいー がばー ん°なう なう  
(3本の縄を編んで太い縄をなつた)。うぬ く  
ばずーぬ ん°なー まるかいは みっじゃ  
ん°まいん (このつるべの縄は短いので水は汲  
めない)。ぶーずたうすぬ ん°なう なう (サ  
トウキビ収穫用の縄をなう)。ぶーずたうすた  
ーひんな ん°なー ないうとうい つかーだ  
かーならん (サトウキビの収穫までには綱をな  
っておいて使わないといけない)。

**んなーき** [nna:ki] 【名詞】半分。【例】うりゆ  
ーぎゃー ほういかいば んなーきん ばきん  
(それは大きいので半分に分ける)。ういが ん  
なーき つぐいー ふいーる (その半分売っ  
てくれ)。はいぬ んなーきゃー つぐあが  
たま (畑の半分 (の土地は) あなたの取り分だ)。  
ばぬんな ういが んなーき ばきー ふいー  
さまてい (私にはその半分分けて下さい)。ば  
が たまー つぐあが むぬぬ んなーきが  
ほうい (私の分はあなたのものの半分だ)。

**んなーぎゃー** [nna:gja:] 【副詞】動詞の否定  
形が後続して、まだ(～ない)。【例】んなーぎ  
ゃー ふあーん (まだ食べていない [<食べな  
い])。からー んなーぎゃー くーん (彼はま  
だ来ていない [<来ない])。[類] んなまぎゃー。

**んない** [nnai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 《古語》  
ある地点から離れて別の地点に移動する、(あ  
っちに) 寄る、(あっちに) 行く ; (自分の家に)  
帰る [命令形を使うのが普通]。【例】うまん  
うらだ かまんかい んなり (ここにいない  
で向こうに行け)。やーんかい んなり (家に  
帰れ)。

**んない** [nnai] 【動詞】[母音語幹] [C] 《古語》  
ある地点から離れて別の地点に移動する、(あ

っちに) 寄る、(あっちに) 行く ; (自分の家に)  
帰る [命令形を使うのが普通]。[類] ゆっづ、  
んない (r/rr 語幹)。

**んない** [nnai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (おにぎ  
りを) 握る。【例】んーぬいゆ んなり (芋の  
お握りを握れ)。ゆなぎーぬ はーひー まい  
ぬいゆ んない (ゆうなの木の葉でおにぎりを  
握る)。

**んない** [nnai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] うなる。

**んなう** [nnau] 【動詞】[w 語幹] [C] 合う、比  
較できる。【例】かいが むぬいとう あすく  
とうー んなーん (彼の言うことと やるこ  
とは 合わない)。

**んなか** [nnaka] 【名詞】[B] 真ん中。【例】ん  
なかぬひー (ミヤークズツの中目)。あがいじ  
ゃとう んなか (東里真中 [歌の題])。

**んながーんな** [nnaga:nna] 【副詞】一番。  
【例】んながーんな まうきゃー (一番前)。ん  
ながーんな ていび (一番後ろ)。んながーん  
な でいきぶつ (一番良く勉強ができる人)。

**んなかばら** [nnakabara] 【名詞】家の中心の  
柱(くじゃしつ(居間)となかゆか(ダイニン  
グ)の間にある柱)、大黒柱; 家の主人。【例】  
んなかばらう たていー (大黒柱をたてる)。や  
ーぬ んなかばらん いすがまう うつつ (落  
とした魂をもどすために家の大黒柱に小石を置  
く)。つぎー やーぬ んなかばら (お父さん  
は大黒柱だ)。[類] やーぬんなかばら。

**んなぐ** [nnagu] 【名詞】[B] 砂。【例】んな  
ぐばま (砂浜)。んなぐとう せめんとうじゃ  
りゃー まっでいー こんくりゆー ちゅっふ  
(砂とセメントと砂利を混ぜてコンクリートを  
作る)。

**んなくず** [nnakuzi] 【名詞】《地名》昔の西原  
の呼び名、西原の昔の集落。【例】あかうぎー  
うたきゃー んきゃーんぬ んなくず うた

きちゃ (アカウギー御嶽は昔のシナクス御嶽だ  
ってさ)。

**んなす** [nnasi] 【動詞】[C] (ものを) 別の場所  
に移動させる、どける、『補助動詞』動詞連用形  
に付いて、移動させて取り除くことを表す「～  
てしまう」。【例】うりゆーぎやー かまんか  
い んなし (これは向こうに移動してしまえ)。  
うらー んぶかいば ばぬんな たうかーひや  
んなはいん (それは重いので一人では移動で  
きない)。うりゆーぎやー かまんかい むゆ  
かひー んなし (これは向こうに移動させてし  
まえ)。

**ん<sup>°</sup>なず** [nnazi] 【動詞】[g 語幹] 繋ぐ。【例】ぬ  
ーまう ひんがんやうんていー ん<sup>°</sup>なず (馬  
を逃げないように繋ぐ)。くまぬ ぎすつん  
ぬーまぬ ん<sup>°</sup>なう ん<sup>°</sup>なぎゆーき (ここのス  
スキに馬の綱を繋いでおけ)。

**んなずつ** [nnazitsi] 【名詞】杵 (きね)。【例】  
んなづつひー まいゆ つつ (杵で米をつく)。

**んなとう** [nnatu] ①【名詞】[A] 干瀬と島との  
間の内海。【例】んなとうんどう っぞうまい  
たくまい ならうまい うえい (内海に魚もタコ  
も何でもいる)。②【名詞】[A] 港。【例】すま  
ぬ ふつんな んなとうぬどう あい (島の入  
り口には港がある)。んなとうんどう ふにや  
ー とうまい (港に船は泊まる)。ふにや  
んなとうんかいどう つふ (船は港に着く)。

**んなない** [nnanai] 【名詞】全て、全部、全員、  
皆。【例】んなない ふあい (全部食べなさい)。  
んなないひー ふあい (全員で食べなさい)。  
んなないが たま (全員分)。すまぬ や  
びとうー んなない うぐなーらまてい (村の  
人々全員集まって下さい)。

**んなばぎ** [nnapagi] 【名詞】全くないこと。  
【例】きゆーぬ いんな んなばぎ あたい (今  
日の漁果は皆無だった)。

**んなま** [nnama] 【名詞】[C] 今。【例】んな  
まが っさー しばー にやーん (今のところ  
心配はない)。んなま そうぐ うまんかい  
いき (今すぐそこに行け)。んなまがたがま (今  
し方)。

**んなまがしゆく** [nnamagaçuku] 【名詞】今  
のところ、今ごろ。【例】いんびとうんみ や  
ーつふばなー んなまがしゆくー あらん (漁  
師たちが家につく時間はまだまだ先だ)。  
[変異] んなまがそうく。[類] んなまがしやく。

**んなまがそうく** [nnamagasuku] 【名詞】今  
のところ、今ごろ。 [変異] んなまがしゆく。

**んなまがた** [nnamagata] 【名詞】今しがた。  
【例】かりやー んなまがたどう やーんかい  
はたい (彼はついさっき家に帰った)。

**んなまぎやー** [nnamagja:] 【副詞】まだ。  
【例】んなまぎやー やらび (まだ子供だ)。  
[類] んなーぎやー。

**んなまどうーら** [nnamadura] 【名詞】今ご  
ろ。【例】つづあー ならうやひー んなまどう  
ーら ったいば (お前はなんでいまごろきたん  
だ)。んなまどうーら なりーから ふーたん  
てい ならうまい にやーん (今ごろ来てもなに  
もないよ)。

**んなまぬちゃん** [nnamanutçan] 【副詞】今  
のうちに。【例】んなま んなまぬちゃん  
うまぬ すかまうぎやー ひーすていでい (今、  
今のうちにそこの仕事をやってしまおう)。

**んならす** [nnarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 移動さ  
せる。【例】うりゆーぎやー かまんかい ン  
ならし (これを向こうに移動させなさい)。

**んぬ** [nnu] 【名詞】[B] 蓑 (みの)。【例】んき  
やーんな あみふーんな んぬー かづづゆー  
たい (昔は雨ふりには蓑を被っていた)。

**ん<sup>°</sup>ぬ** [nnu] 【名詞】[B] 角 (つの)。

**んぬ** [ɲnu] 【名詞】[C] 昨日。【例】んぬみゃーくん つふたい(昨日宮古に着いた)。うう あー んぬ なうゆどう ほうーたー(昨日は何をしていたの)。

**んぬがん** [ɲnugan] 【名詞】『生物』ワタリガニ科タイワンガサミ、ノコギリガサミ。【例】つーび んぬがんぬ どうい(交尾しているガザミをとる)。いんぬ あいきゅーきゃー んぬがんぬ んん(海(の浅瀬を)を歩いていた時にノコギリガサミを踏んだ)。

**んぬつ** [ɲnutsi] 【名詞】[C] 命。【例】ながんぬつ(長命)。きゅーや んぬつぶい にがいほうでい(今日はンヌツブイ願いをしよう [>(漁などに出て)危険な目にあって、命が助かったので神様へのお礼を言う祈願をする])。んぬちゅぎゃー あたらっさ ほうだかーならん(命は大切にしないとならぬ)。かんがなすから んぬちゅ ぶい(神様から命を頂く)。んぬちゅ むつぎつふあにゃーん(命は持ちそうにない)。たるまい んぬちゅ っとうつ(誰もみな命は1つだ)。んぬつぬ ふかっでいー あすきや くらはいたい(息の根がとまるぐらいなぐられた)。

**んぬつじゅー** [ɲnutsizu:] 【形容詞】強運だ、強運の。【例】んぬつじゅーびとう

**んぬつすてい** [ɲnutsisiti] 【名詞】危険な仕事、命を捨てる様なもの。【例】だいだまー いや うなが んぬつすてい(ダイナマイトでの密漁は命を捨てるようなもの)。[類] んぬつふあう。

**んぬつだみにがい** [ɲnutsidaminigai] 【名詞】『祭礼』健康祈願、健康長寿の祈願[<命を取られないように命を留めさせるための祈願]。【例】わーや くらひー んぬつだみ にがいゆ あすたい(豚を殺して(生贄として)ンヌツダミの祈願をした)。むぬすーや ゆらびー んぬつだみにがいゆ あすたい(ユタを呼んでンヌツダミの祈願をした)。

**んぬつだみわー** [ɲnutsidamiwa:] 【名詞】『祭礼』ヌツダミ祈願のための生贄の豚。

**んぬつぬ はだ** [ɲnutsinu hada] 【成句】一生涯、生きていく限り。【例】つづあがくとうー んぬつぬ はだ ぼっしらいん(あなたのことは一生涯忘れられない)。

**んぬつびやー** [ɲnutsibja:] 【名詞】早死に。【例】んぬつびやー びとう(早死にの人)。

**んぬつふあう** [ɲnutsifau] 【名詞】危険な仕事、命を捨てる様なもの。[類] んぬつすてい。

**んば** [mba] 【感動詞】『応答詞』いいえ、いやだ、「あかんば、あかふそう」はより否定が強い。【例】ばー んば(私はいやだ)。A: じょー あちやー いんかい B: んば(A: さあー、明日は海に行こう B: いやだ)。A: あれー じょーはい ひとうみ いかでい B: んばよ(A: あれ、一緒に行こうよ B: いやなんだよ)。[類] んーば、あかんば、あかふそう。

**んばい** [mpai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 踏ん張る、頑張る; 頑張りすぎてぐったりする。【例】ぬーまうぎゃー んばらし(馬を踏ん張らせろ[ハーリーの後の余興で馬の力比への勝負の時に使われる表現])。わいていー んぱり(しっかり頑張れ)。あてい んぱりやー ひー むいだり(余りにも頑張ったので疲労困ぱいだ)。

**んばす** [mbasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] のばす。【例】どうーゆ んばす(胴体をのばす)。はりがにゅー んばす(針金をのばす)。くっそう んばす(腰を伸ばす)。

**んばだら** [mbadara] 【感動詞】『応答詞』いや、いやだよ。【例】んばていー あすていがー んばだら、つづあ たうかー はり(いやと言ったらいやだよ。お前一人で行け)。[類] んば。

**んびやい** [mbjai] 【動詞】[母音語幹] [C] 我慢する、耐え忍ぶ。[類] んびやう。

**んびやう** [mbjau] 【動詞】 [w 語幹] [C] 耐え忍ぶ、我慢する。【例】きばん かたいそうがわいていー んびやうたい (貧乏だったが一生懸命に耐え忍んだ)。っそう またかいば んびやーいん (糞したくて我慢できない)。かなすがまが くとうー うむーていがー ばぬんな んびやーいっだん (カナスちゃんのことを思ったら私は我慢ができなかった)。やらびあいきやー ふゆんな っしかいば んびやーいっだん (子供の頃は冬には寒くて我慢できなかった)。[類] んびやい。

**んふ** [nfu] 【形容詞】 [B] (気候が) あたたかい、(空間が) あたたかい。【例】びーずん なりー んふふ なりーどう (春になって温くなっている)。くまー んふむぬ (ここはあたたかい)。

**んぶ** [mbu] 【形容詞】 [A] (ものの重量が) 重い、(体調がわるく体が) 重く感じる。【例】んぶやらびゆー くんず (重い子供をおんぶする)。うらー んぶかいば むちやいん (それは重くて持てない)。うーつっちゃ んぶむぬ (大鎚は重い)。きゆーや あみっふあうじやうむ なうむ どうーぬ んぶかいば ならん (今日は雨が降るような気配で体が重くてならない [＜雨がふりそうなのかなにか])。

**んぶさ** [mbusa] 【名詞】 [A] 重さ。【例】くぬいすぬ んぶさー いかっさ ばかーい (この石の重さはどれくらいだ)。

**んぶす** [mbusi] 【動詞】 [A] 蒸す；水分を蒸発させるために弱火にする、蒸らす。【例】ふきやぎゆー んぶす (団子を蒸す)。んーな たっでいぬ あとうんな んぶすばどう んまかい (芋が煮えた後は、蒸らした方がうまい)。ふきやぎやー ぶかかいば んぶひー ふあーでい (団子は固いので蒸して食べよう)。んめ んーな にーゆーば んーぬ すーや すたみー んぶらはでい (もう芋は煮えて煮汁をこぼして水分を蒸発させよう)。[類] んぶらす。

**んぶだーい** [mbudai] 【動詞】 [r/rr 語幹] うつぶせになる、伏せる。【例】うまん んぶだーい (そこに伏せなさい)。

**んふばーい** [nfubai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (火にあたって) 温もる、(温かいものを飲んだりして) 温まる。【例】うまつん んふばーい (火に(当たって)温もる)。っし どうきやん あつ んつつーゆ んふていがー どうーぬどう んふばーい (寒いときは熱いみそ汁を飲むと体が温まる)。

**んぶらす** [mburasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 蒸す；水分を蒸発させるために弱火にする。[類] んぶす。

**んふん** [nfun] 【動詞】 [m 語幹] [C] 暖を取る。【例】うまっちゆ んふん (火に当たって暖を取る)。

**んま** [mma] 【名詞】 [C] お母さん。【例】みどうんつづあー んまぬ かーぎやー むちやん (女の子は母親の顔より美しさは劣る)。

**んま** [mma] 【形容詞】 [B] 美味しい。【例】きじやいんな んまむぬぬどう いでいー (祭事には美味しいものがでる)。なまにー むぬー んまっふあにやーん (生煮えのものは美味しくない)。っぞうぬ んまさ あい むぬー にやーん (魚ほど美味しいものはない)。

**んまーさ** [mma:sa] 【名詞】 両親 [＜んま (母) +あさ (父)]。【例】ばんていが んまーさー がんじゆー (私たちの両親は元気だ)。んまーさーうぎやー たかさ あっそう (両親を大切にしなさい)。んまーさー すなひや うむくとうぬどう いでいー (両親を亡くすと知恵、思いやりもでるものだ)。

**んまい** [mmai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 生まれる。【例】ばが っぎー しょーわ にねんどう んまいたい (私の父は昭和二年に生まれた)。くじゆ ばぬん びきつづあぬ んまいたい (去年私に男の子が生まれた)。

**んまい** [mmai] 【接尾辞】動詞未然形や形容詞について謙歩を表す、「～ても」。【例】すまぬ ばかむぬんみぬ なかんな すまぬ むぬいや つかいんまい むぬっじゃいん ひとつまい は一さ ういどうす (村の若者の中には村の言葉は聞けても話せない人もたくさんいますよ)。ばー ならぬ くとうぬ あらんまい はらでい (俺は何があっても帰るのだ)。たかからんまい やすからんまい なららんまい かーでい ((値段が) 高かろうが安かろうが何でも良いから買います)。[類] ばんまい。

**んまが** [mmaga] 【名詞】[C] 孫。【例】んなーぎゃー んまがー みーん (まだ孫はいない)。んまがー ならばいぬ すかまうどう ひーゆー (お孫さんはどんな仕事をされてますか)。ばー んまがー みちやーい うり (私は孫が三人いる)。

**んまぎ** [mmagi] 【形容詞】[B] (食べ物)が美味しそうな、(容姿などが) 綺麗な。【例】んまぎ むぬ (美味しそうなもの)。んまぎ あか (綺麗な髪)。

**んます** [mmasī] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 湿らす、濡れさせる。【例】ぬぬー んます (布を湿らす)。

**んまちゃ** [mmatça] 【名詞】[C] バカなことを言う人、何をするかわからないやつ。【例】おい んまちゃ (おい、バカ者)。[類] んまつまー。

**んまつ** [mmatsi] ① 【形容詞】[A] バカな、横着な。【例】かりやー むいとうぬ んまつむぬ (彼はとても横着な奴だ)。② 【感動詞】『応答詞』予測できないこと、あり得ないことが起きたときに発することば、そんなばかな、まさか。【例】A: かぬきやが ふたーいや とうずぶとうんないがまたちや B: んまつ (A: あの二人は夫婦になるんだって B: まさか)。A: : かりやー すにー にやーんちや B: んまつ (A: 彼は死んだそうだと B: そんなばかな)。

**んまっざ** [mmazza] 【名詞】両親 [＜んま (母) + っざ (父)]。

**んまつまー** [mmatsima:] 【名詞】バカなことを言う人、何をするかわからないやつ。【例】かりやー んまつまーんまり やいば きゅーや ならゆ あすががら っさいん (あいつはいきなり馬鹿なことをする奴だから、今日は何をするかわからない)。んまつまーゆぎゃー たきゅーぎゃー ほうん (バカは相手にしない [＞相手にするな])。かりやー むいとうぬ んまつまー ほうりむぬ (彼はとてもバカな奴だ)。[類] んまちゃ。

**んまていだ** [mmatida] 【名詞】『歌語』池間に来ていた役人の側室・愛人・現地妻。

**んまぬ みはながま** [mmanu mihanagama] 【成句】お母さんそっくり [＜母親の顔]。

**んまぬは** [mmanuha] 【名詞】南、午の方角。

**んまぬはでいー** [mmanuhadi:] 【名詞】『地名』南支部 [西原の南の方の地域]。

**んまは** [mmaha] 【感動詞】『応答詞』いやだ。【例】A: : うりゆー ひー ふいーる B: ンまは ばー ンまは (A: これをやってくれ。B: いや、私はいやだ)。[類] ンば。

**んまばす** [mmabasi] 【名詞】『昆』蜂の一種、ヤエヤマアシナガバチ。

**んまむぬ** [mmamunu] 【名詞】ご馳走。【例】かぬきやが まいんどう んまむぬぬ あい (あの人たちの所にご馳走がある)。

**んまゆい** [mmajui] 【名詞】『祭礼』ナナムイの神司を選ぶこと。

**んまらーひー** [mmarahi:] 【成句】(「名詞＋属格」について) その名詞が持つ性質と同じように (する)。【例】からー っぞうぬ んまらーひー ひやーたん うーがいどうす (あいつは魚のように早く泳げるよ)。ばが ひーゆ

ーが んまらーひー あっそう（私がやっているようにやってください）。やらびぬ ていーぬ んまらーひー いみでいーがま（こどもの手のように小さい）。

**んまり** [mmari] ①【接尾辞】形容詞について、そういう性質をもった人を表す、やつ。【例】つづあんな すかままい ひらいんな、みーちやぎんまり（お前には仕事もできないのか、見苦しい奴だ）。うむくとうーにやーんまり（バカなやつ〔<知恵がない奴〕）。やなんまり（ダメなやつ）。②【接尾辞】「名詞＋属格」について～似ている；（名詞について）例示や比況をあらわす、～ように、まるで～ようだ。【例】ばが つふあー ばがんまり（私の子供は私に似ている）。つづあがんまりー あばらぎ ひとつー みーや みーん（あなたのようにきれいな人は見たことがありません）。

**んまり** [mmari] 【名詞】[A] 生まれ。【例】ばが んまりやー んすむら（私の生まれは西原だ）。

**んまりじゃう** [mmarizau] 【名詞】性分、性格。【例】やな んまりじゃう（駄目な性分）。くぬ うむくとうー にやーん んまりじゃう（この性悪野郎め）。んじゃうな んまりじゃう（残念な性格）。

**んまりなうす** [mmarinausi] 【動詞】[s/h 語幹] 生まれかわる。【例】かぬ やらびやー んまりなうひーどうー（あの子は生まれかわった）。んまりなうしよー（立派になれよ〔<生まれかわれ〕）

**んまりなが一ぬ** [mmarinaga:nu] 【連体詞】生まれながらの。【例】からー んまり なが一ぬ うむくとう あいひとつ（彼は生まれながらの頭の良い人）。

**んまりばん** [mmariban] 【名詞】蒙古斑。【例】んまりばんな ていびたいんどう あい（蒙古斑はお尻にある）。

**んまりやっづい** [mmarijavvi] 【名詞】成長するに従い可愛くなくなる事、またそういう人。【例】うぬやらびやー やらびがまあいきやー むいとう あばらぎがまあたいそうがどう ほういふなりみていが んまりやっづやーほう（この子は赤ちゃんの頃はとても可愛かったけれど、成長したらかわいくなっている）。

**んまんなか** [mmannaka] 【名詞】『祭礼』祭礼煙草（ウタキの言葉）。【例】んまんなかぬ ゆーい（たばこ祝い〔うたきでみなで煙草を回す祭礼の一部〕）。

**んみ** [mmi] 【動詞】[母音語幹] [A]（雨などに）濡れる。【例】あみん んみー（雨に濡れる）。ざいんきー んみーにやーん（ずぶ濡れになった）。[類] んー。

**んみ** [mmi] 【動詞】[母音語幹] [C]（果物などが）熟する。【例】ばんちゆくらー んみーどうーい（グアバは熟している）。ばさぬ ないや んな一ぎやー んみや うらん（バナナの実はまだ熟していない）。ふにゆーや んみーどうーい（ミカンは熟している）。ばんつぎーぬ んーたー んみーどうーい（桑の実は熟している）。[類] んー。

**んみ** [mmi] 【動詞】[C] おできが中の膿が出せる程に化膿している、膿む。【例】ふがさー んみーどう（おできは膿んでいる）。[類] んー。

**んみ** [mmi] 【名詞】[B] 山の名前の後ろにつける接尾辞、みね。【例】ふずんみ（西原の後方の嶺）。

**んみ** [mmi] 【名詞】[B] 群れ [「つぞうんみ（魚の群れ）」のように接尾辞的にも用いられる]。【例】ぶるくんぬ んみ（グルクンの群れ）つぞうぬどう やぐみ んみん なりゆー（魚が大群をなしている）。

**んみ** [mmi] 【接尾辞】複数を示す接辞 [人間を表す普通名詞に付く、指示詞、代名詞、家族名



詞は「かいた、くいた、つぎた「一た」を持ちいる。。【例】しーしーんみ (先生たち)。やらびんみ (こどもたち)

**んみ** [mmi] 【名詞】 [B] 胸、心。【例】つむからんみから つぎあうぎやー むいとう かなす (心からあなたの事は大好きだ [＜心から胸から])。つむまい んみまい やすまらん (心が休まらない [＜心も胸も])。[類] んみうつ。

**んみうつ** [mmiutsi] 【名詞】 胸。【例】 んみうつぬ やみゆー (胸が痛い [「心が痛む」という意味はない])。やぐみ じゃうぎ んみうつちゃ ひーどうー ((運動選手などが) 立派な胸をしている [「乳房が大きい」という意味はない])。はとう んみうつ (鳩胸)。[変異] んみゆーつ。[類] んみ。

**んみかみばら** [mmikamibara] 【名詞】 床柱。

**んみつ** [mmitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 叱る。【例】 ぎずぎやうな やらびやー きゆーまい んみかい うたい (いたずらな子は今日も怒られていた)。ひとうぬ つふあうぎやー まーぬ んみかん (他人のこどもをあんまり叱らない [＞叱ってはいけない])。にんぎぬ つふあー んみきー ならーす んつきやー ほうみー ならあすばどう じゃうかい (人間の子供は叱って教えるよりも褒めて教えた方が良い)。んまん んみかいにやーん (母親に叱られた)。

**んみや** [mmja] 【副詞】 もう、すでに。[変異] んめ。

**んみや** [mmja] 【感動詞】 大変だ、困った。[変異] んめ。

**んみや** [mmja] 【感動詞】 『フィラー』 もう、あの。[変異] んめ。

**んみや** [mmja] 【副詞】 もう、すでに。[変異] んめ。

**んみやーす** [mmja:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 比べる。【例】 ういとう くりゆー んみやーし (それとこれを比べる)。

**んみやーてい** [mmja:ti] 【成句】 「んみゃい」の命令形、いらっしやいませ。[変異] んめてい、んみゃてい。

**んみゃい** [mmjai] 【動詞】 [A] 「いる、行く」の尊敬形、いらっしやる。【例】 んみゃてい (いらっしやい)。きゆーや しーしーがどうかていほうもんな ひー んみゃい (今日は先生が家庭訪問でいらっしやる)。しーしーがどう んみゃい (先生がいらっしやる)。

**んみゃがま** [mmjagama] 【感動詞】 大変、大変だ、困った。【例】 んみゃ、んみゃがま やらびやー ひんがひーにやーん (大変、大変だ。子供を逃がしてしまった)。ばー きゆーや だりー んみゃがまていどうほうー (私は今日はつかれて、大変だった)。んみゃ んみゃ んみゃよ、ぶとうぬ くとうー むいとう しばよ (あーもう、夫のことがとても心配だ)。

**んみゃてい** [mmjati] 【名詞】 [A] 『植物』 ヒメクマヤナギ (直径4ミリ位の紫色の実をつける木)。[類] んみゃていんーたぎー。

**んみゃてい** [mmjati] 【成句】 「んみゃい」の命令形、いらっしやいませ。[変異] んめてい、んみゃーてい。

**んみゃていんーたぎー** [mmjatin:tagi:] 【名詞】 『植物』 ヒメクマヤナギ (直径4ミリ位の紫色の実をつける木)。[類] んみゃてい。

**んみゃひ** [mmjahi] 【副詞】 もっと、これ以上は。[変異] んめひ、んめひー、んみゃひー。

**んみゃひー** [mmjahi:] 【副詞】 もっと、これ以上は。【例】 かまんな さきやー んみゃひー あり (あそこには酒がもっとある)。ばぬんかい んみゃひー さきゆー つぎ (私にもっと酒をつけ)。ういがどう かいんつきやー

んみやひー ばいふ じゃうかい (これがあれよりも更に何倍も良い)。んみやひー ばいふ あい (更にもっと悪く言う)。ばー んめ び どうりーどうー、んみやひや ふあーいん (私はもうおなかがいっぱいこれ以上は食べられない)。んみやひー ふいーさまてい (もっと下さい)。[変異] んめひ、んめひー、んみやひ。

**んみゆ一つ** [mmju:tsi] 【名詞】胸。 [変異] んみうつ。

**ん°む** [ɲmu] 【名詞】 [B] 雲。 【例】 ん°むぬ いでいっちゅー (雲がでてきた [＜出てきている])。]

**ん°む** [ɲmu] 【名詞】 [B] 蜘蛛。 【例】 てい んぬ ん°む まい きーぬ ん°む まい ゆぬ ん°む (天の雲も木の蜘蛛も同じ「くも」)。 [類] くーむや。

**んめ** [mme] 【副詞】 もう、すでに。 【例】 んめ よじ なりーどうーな (もう4時になったのか)。あわている んめ ふにん ぬーいうく いがまた (急げ、もう船に乗り遅れるぞ)。[変異] んみや。

**んめ** [mme] 【感動詞】 『フィラー』 もう、あの。 [変異] んみや。

**んめ ばいふ** [mme baifu] 【成句】 更に何倍も。 【例】 ういがどう かいんつきやー んめ ばいふ じゃうかい (これがあれよりも更に何倍も良い)。

**んめ んめよ** [mme mmejo] 【成句】 もうもう大変。 【例】 んめ んめよ ぶとうー すにーにやーん。(ああ、もう大変だ、夫は死んでしまった)。

**んめちやう** [mmetçau] 【動詞】 [w 語幹] 大変なことになる、大変だ。 【例】 ばー ん°ぬ うーっふいー んめちやうたい (私は昨日溺れかけて大変だった [＜溺れて])。]

**んめてい** [mmeti] 【成句】 「んみゃい」の命令形、いらっしやいませ。 [変異] んみゃーてい。

**んめひ** [mmehi] 【副詞】 もっと、これ以上は。 [変異] んみやひー、んめひー。

**んめひー** [mmehi:] 【副詞】 もっと、これ以上は。 【例】 かまんな さきやー んめひー あり (あそこには酒がもっとある) ばぬんかい んめひー さきゅー つぎ (私にもっと酒をつげ)。んめひー ばいふ あい (更にもっと悪く言う)。んめひー わいていー あっそう (もっと頑張れ)。んめひー ふあい (もっと食べなさい)。[変異] んみやひ、んめひー。

**ん°ん** [ɲn] ① 【動詞】 [m 語幹] [A] 踏む; (踏んで) こねる。 【例】 っし ん°ん (潮干狩り [＜リーフを踏む])。ん°んはっじゃき (踏み外す)。びゅーいびとうぬ まーっさ ん°まだ あいきゅー (酔っ払いがふらついて歩いている)。んたう ん°ん (土をこねる)。② 【動詞】 [m 語幹] [A] 履く。 【例】 くっちゅ ん°ん (靴を履く)。あっちゃう ん°ん (下駄を履く)。なうや ん°まん っさばずひー やまんかい はいりー いつたい (何も履かない裸足で山に入ってしまった)。うぬ やらびぬ くつぬ ん°んかたー ぐーはん (その子の靴の履き方は左右反対だ)。

**ん°ん** [ɲn] 【動詞】 [m 語幹] [A] 汲む。 【例】 ふにぬ あかまう ん°み (船底に溜まった水を汲む)。くばずーひー みっじゅ ん°ん (つるべで水を汲む)。みっじゅ ん°みー くー (水を汲んで来い)。

**ん°んたー** [ɲnta:] 【名詞】 滅茶苦茶に踏みつけること、(人を) 非難してやっつけること。 [類] ん°んたーぐー、ん°んたーぐーたー。

**ん°んたーぐー** [ɲnta:gu:] 【名詞】 滅茶苦茶に踏みつけること、(人を) 非難してやっつけること。 【例】 うりゅーぎやー ん°んたーぐーたー あっそう (それを踏みつぶせ)。い

っちゃー っさん むぬいゆ あい ひとつぎ  
ゃー ん°んたーぐーたーや ひー いちやま  
し (筋の通らないことを言う人を責めてやっ  
ける)。[類] ん°んたー、ん°んたーぐーたー。

**ん°んたーぐーたー** [n̥nta:gu:ta:] 【名詞】  
滅茶苦茶に踏みつけること、(人)を非難して  
やっつけること。[類] ん°んたー、ん°んたー  
ぐー。

**ん°んびき** [m̥mbiki] 【動詞】[母音語幹] 踏ん  
づける。[類] ん°んびつ。

**ん°んびつ** [m̥mbitsi] 【動詞】[k 語幹] 踏んづ  
ける。【例】いんぬ っそー ん°んびきー  
にゃーん (犬の糞を踏んづけてしまった)。く  
るまん ん°んびかいにゃーん (車にひかれた)。  
[類] ん°んびき。



## 著者略歴

仲間博之 (なかま ひろゆき)

1947年 沖縄県平良市西原で生まれる  
1970年 琉球大学理工学部物理学科卒業  
1970年 高校教諭採用  
1970年～2008年 県立高校勤務  
2008年 宮古高校校長で定年退職

田窪行則 (たくぼ ゆきのり)

1950年 岡山県玉野市で生まれる  
1980年 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得学修(言語学)  
1980年～1982年 韓国東国大学慶州分校日本語日文学科 専任講師  
1980年～1990年 神戸大学教養部日本語日本事情 専任講師・同助教授  
1990年～2000年 九州大学文学部 助教授・同教授  
2000年～2016年 京都大学大学院文学研究科 教授  
2017年～現在 京都大学名誉教授、大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所 所長

岩崎勝一 (いわさき しょういち)

1951年 東京都江東区で生まれる  
1988年 UCLA 言語学博士課程修了  
1987年～1990年 タイ・タマサート大学(日本語学科)国際交流基金派遣講師  
1990年～現在 UCLA アジア文化学部 助教授・同教授  
(2013年～2016年 ハワイ大学 東アジア言語文化学部教授)

五十嵐陽介 (いがらし ようすけ)

1976年 東京都稲城市で生まれる  
2005年 東京外国語大学院地域文化研究科博士後期課程修了博士(言語学)  
2005年～2006年 理化学研究所脳科学総合研究センターテクニカルスタッフ  
2006年～2009年 日本学術振興会特別研究員 PD  
2009年～2015年 広島大学大学院文学研究科准教授  
2000年～2020年 一橋大学大学院社会学研究科准教授・同教授  
2020年～現在 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所教授

中川奈津子 (なかがわ なつこ)

1982年 石川県宇出津市で生まれ、滋賀県東浅井郡びわ町(現長浜市)で育つ  
2016年 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了博士(人間・環境学)  
2015年～2017年 日本学術振興会特別研究員 PD/千葉大学  
2019年 千葉大学特任研究員  
2019年～現在 国立国語研究所特任助教

# NINJAL Language Variation Division

10-2 Midori-cho Tachikawa City, Tokyo, 190-8561 JAPAN

Ikema-Japanese Dictionary

Author: Hiroyuki Nakama, Yukinori Takubo, Shoichi Iwasaki, Yosuke Igarashi and Natsuko Nakagawa

Published in Tokyo, Japan by Language Variation Division, National Institute for Japanese Language and Linguistics

Printed in Tokyo, Japan by Junbunsha

## 池間方言辞典

---

発行日	2022年3月26日(初版)
著者・編者	<small>なかまひろゆき たくぼゆきのり いわさきしょういち いがらしようすけ なかがわなつこ</small> 仲間博之 田窪行則 岩崎勝一 五十嵐陽介 中川奈津子
出版者	国立国語研究所 言語変異研究領域 190-8561 東京都立川市緑町 10-2 0570-08-8595 <a href="https://www.ninjal.ac.jp">https://www.ninjal.ac.jp</a>
印刷所	絢文社
ISBN	978-4-910257-12-9 C3581

---